

福岡市障がい児・者等実態調査 報告書

令和2年3月
福岡市

<目 次>

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の設計と回収（実施）状況.....	1
3 調査結果利用上の注意①（全調査共通）.....	2
4 調査結果利用上の注意②（身体障がい者調査、知的障がい者調査のみ）.....	2
第2章 福岡市の障がい児・者等の概況	3
1 身体・知的障がいの概況.....	3
2 身体障がいの状況.....	4
（1）身体障がいの種別（主な障がいの部位）.....	4
（2）身体障がいの程度（身体障害者手帳の等級）.....	5
（3）身体障がい児・者の性・年齢構成.....	6
3 知的障がいの状況.....	7
（1）知的障がいの程度（療育手帳の判定）.....	7
（2）知的障がい児・者の性・年齢構成.....	8
4 精神障がいの状況.....	9
（1）精神障がい者の定義.....	9
（2）現住所が福岡市にある精神障がい者数（精神障がい者調査（一次調査結果）より）.....	9
5 発達障がいの状況.....	11
6 難病の状況.....	12
第3章 調査結果の概要と考察	13
1 調査の特徴.....	13
2 調査結果の考察.....	13
（1）乳幼児期の真の家族支援を保障できる地域づくり.....	13
（2）幼児期から学校や職場など日中活動の充実を.....	14
（3）地域社会での生活にこだわり、市民との繋がりを大切にする施策.....	14
（4）障がい当事者が相談したり、学んだりする友人を増やし、多様な学びの機会を保障.....	15
（5）一人の人間としての多様な関係性の保障.....	15
（6）個々のコミュニケーション支援の重視.....	15
（7）相談機能の機能強化と統合化.....	15
（8）地域移行や定着支援.....	16
（9）子どもや成人への共通の支援と障がい児・者に特有の支援の棲み分け.....	16
（10）すべての障がい児・者の地域生活を保障する相談支援体制の構築.....	16
3 調査対象者の基本属性や障がいの状況.....	16
4 生活状況.....	17
（1）住まいと同居家族.....	17
（2）同居家族の状況.....	17
（3）主な介助者の平均年齢.....	17
（4）深夜介助.....	17
（5）世帯の課税状況.....	17
（6）主な収入.....	17

5	日中の活動状況と就労の課題	18
	(1) 障がい児の日中活動	18
	(2) 療育・教育について	18
	(3) 育児に関する相談相手	18
	(4) 障がい者の就労の状況	18
	(5) 日中活動の場及び就労支援	20
	(6) 精神障がい者の日中活動の場	20
6	地域生活について	21
	(1) 外出の状況	21
	(2) 外出時に必要な支援	21
	(3) コミュニケーションの支援	21
	(4) 地域との関わり	21
	(5) 福祉サービスの利用	21
	(6) 相談窓口の利用状況	22
7	今後の障がい者の生活や必要な支援について	22
	(1) 今後の暮らし	22
	(2) 自宅や地域での生活の必要条件	22
8	災害対策について	22
9	障がい者に対する差別について	22
10	障がい者支援として望むこと	23
	(1) 障がい者施策として市に力を入れてほしいこと	23
11	障がい者への福祉サービスを提供する事業所等の状況	23
	(1) 事業所の状況	23
	(2) 事業所の課題と今後の方向性	23

第4章	身体障がい者調査	25
------------	-----------------	-----------

1	基本属性	25
2	障がいの状況について	26
	(1) 身体障がい者手帳の等級、身体障がいの部位	26
	(2) 知的障がい、精神障がいとの重複状況	29
	(3) 障がい支援区分の認定状況、判定	30
	(4) 要介護認定の認定状況、判定（40歳以上）	30
3	生活状況について	31
	(1) 住まいの形態	31
	(2) 同居家族の状況	32
	(3) 主な介助者の状況	33
4	外出の状況について	37
	(1) 外出の頻度	38
	(2) 主な外出先	39
	(3) 外出時の移動手段	40
	(4) 外出時に不便や困難を感じること	41
5	コミュニケーションについて	43
	(1) 利用しているコミュニケーション支援	43
	(2) コミュニケーションで困っていることの有無	44
	(3) コミュニケーションで困っていること	45
6	就労の状況について	46
	(1) 就労の有無、就労形態	46
	(2) 仕事を探した方法	48
	(3) 月収	49
	(4) 仕事をやめた原因	51

(5) 就労意向	52
(6) 障がい者の就労に対する社会の理解度	53
(7) 障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由	54
(8) 障がい者の就労支援として必要なこと	55
7 福祉サービスの利用について	57
(1) 福祉サービスの利用状況	57
(2) 福祉サービスの利用意向	58
(3) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無	59
(4) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス	60
8 今後の暮らし方について	62
(1) 希望する今後の暮らし方	62
(2) 自宅やグループホームで生活するために必要な条件	64
9 情報収集や相談について	67
(1) 福岡市からの情報で知りたいこと	67
(2) 福岡市の福祉施策情報の入手先	69
(3) 困っていることや心配なこと	71
(4) 相談窓口の認知度	72
(5) 相談窓口の利用状況	74
(6) 相談窓口の満足度	75
10 地域とのかかわりについて	76
(1) 近所の方との関係	76
(2) 地域行事への参加状況	77
11 防災について	78
(1) 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと	78
(2) 災害への備え	79
(3) 災害時に頼れる人	81
(4) 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度	82
12 差別や人権について	83
(1) 差別を受けたり、いやな思いをした経験	83
(2) 差別を受けたり、いやな思いをした内容	85
(3) 障がい者の人権に関して問題があると思うこと	87
13 福祉施策全般について	83
(1) 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと	90
(2) 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと	92
(3) 福岡市の暮らしやすさ	93

第5章 知的障がい者調査	95
---------------------	-----------

1 基本属性	95
2 障がいの状況について	96
(1) 療育手帳の判定	96
(2) 身体障がい、精神障がいとの重複状況	97
(3) 障がい支援区分の認定状況、判定	98
(4) 要介護認定の認定状況、判定（40歳以上）	98
(5) 身体障がい者手帳所持者の主な身体障がいの部位	99
3 生活状況について	100
(1) 住まいの形態	100
(2) 同居家族の状況	101
(3) 主な介助者の状況	102
4 外出の状況について	106
(1) 外出の頻度	107
(2) 主な外出先	108

(3) 外出時の移手段	109
(4) 外出時に不便や困難を感じる事	110
5 コミュニケーションについて	112
(1) 利用しているコミュニケーション支援	112
(2) コミュニケーションで困っている事の有無	114
(3) コミュニケーションで困っている事	115
6 就労の状況について	116
(1) 就労の有無、就労形態	116
(2) 仕事を探した方法	117
(3) 月収	119
(4) 仕事をやめた原因	121
(5) 就労意向	121
(6) 障がい者の就労に対する社会の理解度	122
(7) 障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由	123
(8) 障がい者の就労支援として必要な事	124
7 福祉サービスの利用について	125
(1) 福祉サービスの利用状況	125
(2) 福祉サービスの利用意向	126
(3) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無	127
(4) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス	128
8 今後の暮らし方について	129
(1) 希望する今後の暮らし方	129
(2) 自宅や地域で生活するために必要な条件	130
9 情報収集や相談について	132
(1) 福岡市からの情報で知りたい事	132
(2) 福岡市の福祉施策情報の入手先	133
(3) 困っていることや心配な事	135
(4) 相談窓口の認知度	136
(5) 相談窓口の利用状況	138
(6) 相談窓口の満足度	139
10 地域とのかかわりについて	140
(1) 近所の方との関係	140
(2) 地域行事への参加状況	141
11 防災について	142
(1) 地震などの災害発生時に困る事や不安な事	142
(2) 災害への備え	143
(3) 災害時に頼れる人	145
(4) 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度	146
12 差別や人権について	147
(1) 差別を受けたり、いやな思いをした経験	147
(2) 差別を受けたり、いやな思いをした内容	148
(3) 障がい者の人権に関して問題があると思う事	150
13 福祉施設全般について	147
(1) 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしい事	152
(2) 障がい者支援として地域社会や企業等に望む事	155
(3) 福岡市の暮らしやすさ	156

第6章 障がい児調査	157
-------------------	------------

1 基本属性	157
2 障がいの状況について	158
(1) 身体障がいの状況（身体障がい者手帳の有無・等級、身体障がいの部位）	158

(2) 知的障がいの状況（療育手帳の有無・判定、障がいの診断名）	161
(3) 精神障がいの状況（精神障がい者保健福祉手帳の有無・等級）	162
(4) 障がいの状況（身体・知的障がい等の重複状況）	163
3 世帯の状況について	164
(1) 住まいの形態	164
(2) 同居家族の状況	165
(3) 主な介助者の状況	167
4 障がいについて	170
(1) 障がいに気づいたきっかけ	170
(2) 相談、診察、検査を求めた機関	171
(3) 障がいがわかった年齢	172
(4) 障がいの診断・判定を受けた頃の苦労、悩み、不安	173
5 療育や保育・教育について	174
(1) 療育や訓練を受けた経験	174
(2) 療育や訓練で利用した（利用している）施設	175
(3) 療育や訓練に対する希望	176
(4) 通園・通学先	177
(5) 通園・通学で困っていること	179
(6) 通園・通学先に望むこと	180
6 外出の状況について	182
(1) 外出の頻度	182
(2) 主な外出先	183
(3) 外出時の移動手段	184
(4) 外出時に不便や困難を感じる事	185
7 コミュニケーションについて	187
(1) 利用しているコミュニケーション支援	187
(2) コミュニケーションで困っていることの有無	189
(3) コミュニケーションで困っていること	190
8 福祉サービスの利用について	191
(1) 福祉サービスの利用状況	192
(2) 福祉サービスの利用意向	193
(3) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無	194
(4) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス	195
9 今後の暮らし方について	197
(1) 将来、家族と同居できない場合に希望する暮らし方	198
(2) 自宅や地域で生活するために必要な条件	199
10 情報収集や相談について	201
(1) 福岡市からの情報で知りたいこと	201
(2) 福岡市の福祉施策情報の入手先	203
(3) 困っていることや心配なこと	205
(4) 相談窓口の認知度	206
(5) 相談窓口の利用状況	208
(6) 相談窓口の満足度	209
11 地域とのかかわりについて	211
(1) 地域の方とのつきあいの状況	211
(2) 地域ボランティアに望む支援	212
12 防災について	214
(1) 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと	214
(2) 災害への備え	215
(3) 災害時に頼れる人	216
(4) 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度	218
13 福祉施策全般について	219

(1) 差別を受けたり、いやな思いをした経験	220
(2) 差別を受けたり、いやな思いをした内容	221
(3) 障がい者の人権に関して問題があると思うこと	223
(4) 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと	225
(5) 障がい者支援として地域社会や企業に望むこと	227
(6) 福岡市の暮らしやすさ	228

第7章 精神障がい者調査（入院患者調査：二次調査結果） 229

1 入院患者の基本属性	230
(1) 性別・年齢・居住地区・障がい支援区分の認定状況	231
(2) 保険の種類	232
(3) 要介護認定の認定状況（40歳以上）	233
(4) 住まいの形態	235
(5) 同居家族の状況	236
(6) 家族の支援体制	237
(7) 成年後見制度の利用状況	238
(8) 利用している成年後見制度の詳細	239
(9) 手帳の状況	240
2 患者の疾患や入院状況	242
(1) 主な診断名	243
(2) 初めて精神科・神経科を受診した年齢	244
(3) 以前の入院経験の有無と入院回数	245
(4) 前回の入院期間	246
(5) 今回の入院期間	247
(6) 再入院までの期間	248
(7) 入院時の入院形態	249
3 患者の病状等	250
(1) 現在の病状の程度	250
4 退院するために必要な条件等	251
(1) 退院に向けて、必要な支援	251
(2) 退院後、地域で生活するために必要な支援	252

第8章 精神障がい者調査（通院患者調査：二次調査結果） 255

1 通院患者の基本属性	256
(1) 性別・年齢・居住地区・障がい支援区分の認定状況	257
(2) 保険の種類	258
(3) 自立支援医療の利用	259
(4) 要介護認定の認定状況（40歳以上）	260
(5) 同居家族の状況	261
(6) 主な介助者の状況	262
(7) 成年後見制度の利用状況	266
(8) 利用している成年後見制度の詳細	267
(9) 手帳の状況	268
2 患者の疾患や入通院状況	270
(1) 主な診断名	271
(2) 初めて精神科・神経科を受診した年齢	272
(3) 入院経験の有無・回数	273
(4) 前回の入院期間	274
(5) 退院からの経過期間	275
(6) 通院の状況	276
(7) 通院の頻度	277

3	患者の病状等	278
	(1) 現在の病状の程度	279
	(2) 患者本人が抱えている問題	280
4	日常生活や今後の暮らし方等について	282
	(1) 地域で生活するために必要な支援	282
5	通院患者の状況	284
	(1) 調査票(本人票)の記入者	286
	(2) 精神保健福祉手帳の有無・持っていない理由	286
	(3) 住まいの形態	289
	(4) 外出の頻度	291
	(5) 主な外出	291
	(6) 外出時の移動手段	292
	(7) 外出時に不便や困難を感じる事	293
	(8) 就労状況、就労形態	295
	(9) 仕事を探した方法	297
	(10) 月収	299
	(11) 仕事を辞めた原因	303
	(12) 今後の就労意向	305
	(13) 精神障がい者の就労に対する社会の理解度	306
	(14) 精神障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由	307
	(15) 精神障がい者の就労支援として必要なこと	309
6	福祉サービス等の利用について	310
	(1) 福祉サービス等の利用状況・利用意向	310
	(2) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス等の有無	313
	(3) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス等	313
7	今後の暮らし方について	314
	(1) 希望する今後の暮らし方	315
	(2) 自宅やグループホームなどで生活するために必要な医療支援	316
	(3) 自宅やグループホームなどで生活するために必要な条件	317
8	情報収集や相談について	319
	(1) 福岡市からの情報で知りたいこと	320
	(2) 福岡市の福祉施策情報の入手先	321
	(3) 困っていることや心配なこと	323
	(4) 相談機関の認知度・利用状況	324
	(5) 相談機関の満足度	326
9	地域との関わりについて	328
	(1) 近所の方との関係	329
	(2) 地域行事への参加状況	330
	(3) 地域住民のボランティア参加の際に望みたい支援交流	330
10	防災について	331
	(1) 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと	332
	(2) 災害への備え	333
	(3) 災害時に頼れる人	334
	(4) 福岡市の安全・安心の為の社会環境整備の実感度	335
11	障がい者に対する差別について	336
	(1) 差別を受けたり、いやな思いをした経験	336
	(2) 差別を受けたり、いやな思いをした内容	337
12	福祉施策全般について	339
	(1) 障がい者の人権に関して問題があると思うこと	340
	(2) 障がい者福祉施策として、国や県、市に力を入れてほしいこと	342
	(3) 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと	344
	(4) 福岡市の暮らしやすさ	345

第9章 発達障がい児・者調査 347

- 1 基本属性 347
- 2 障がいの状況について 348
 - (1) 療育手帳の有無・判定 348
 - (2) 精神障がい者保健福祉手帳の有無・等級 349
 - (3) 発達障がいの診断の有無 350
 - (4) 発達障がいの診断を受けた機関 351
 - (5) 発達障がいの診断を受けた年齢 351
 - (6) 発達障がいの診断名 352
 - (7) 二次的な情緒や行動などの問題の有無 354
 - (8) 二次的な問題に関する相談機関や医療機関の利用状況 355
- 3 生活状況について 356
 - (1) 通園・通学・就労等の状況 357
 - (2) 住まいの形態 358
 - (3) 同居家族の状況 359
 - (4) 主な介助者の状況 360
- 4 日中の過ごし方や外出の状況などについて 363
 - (1) 外出の頻度 365
 - (2) 主な外出先 366
 - (3) 外出時の移動手段 367
 - (4) 外出時に不便や困難を感じること 368
 - (5) 利用しているコミュニケーション支援 370
 - (6) コミュニケーションで困っていることの有無 371
 - (7) コミュニケーションで困っていること 372
- 5 就労の状況について 373
 - (1) 就労の有無、就労形態 374
 - (2) 仕事を探した方法 376
 - (3) 月収 376
 - (4) 仕事をやめた原因 378
 - (5) 発達障がい者の就労に対する社会の理解度 378
 - (6) 発達障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由 380
 - (7) 発達障がい者の就労支援として必要なこと 380
 - (8) 就労意向、希望する就労形態 382
- 6 利用したいサービス等について 383
 - (1) 必要なサービスや充実すべき施策 384
- 7 今後の暮らし方について 385
 - (1) 希望する今後の暮らし方 385
 - (2) 自宅や地域で生活するために必要な条件 387
- 8 情報収集や相談について 390
 - (1) 福岡市からの情報で知りたいこと 390
 - (2) 福岡市の福祉施策情報の入手先 392
 - (3) 困っていることや心配なこと 394
 - (4) 相談窓口の認知度 396
 - (5) 相談窓口の利用状況 398
 - (6) 相談窓口の満足度 399
- 9 地域とのかかわり・福祉施策全般について 400
 - (1) 近所の方との関係 400
 - (2) 地域行事への参加状況 401
 - (3) 地域住人のボランティア活動に対するニーズ 401
- 10 防災について 402
 - (1) 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと 402
 - (2) 災害への備え 403

(3) 災害時に頼れる人	404
(4) 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度	405
11 福祉施策全般について	406
(1) 差別を受けたり、いやな思いをした経験	407
(2) 差別を受けたり、いやな思いをした内容	408
(3) 障がい者の人権に関して問題があると思うこと	409
(4) 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと	411
(5) 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと	414
(6) 福岡市の暮らしやすさ	415

第10章 難病患者調査	417
--------------------	------------

1 基本属性	417
2 難病の状況について	418
(1) 疾患名	419
(2) 疾患が発症した年齢	420
(3) 疾患の診断がついた年齢	420
(4) 最近6ヶ月の医療機関の受療状況と入院期間等	421
(5) 通院する上での課題や不安に感じる事	422
(6) 人工呼吸器使用の有無	422
(7) 主な症状	423
(8) 身体障がいの状況（身体障がい者手帳の有無・等級、身体障がいの部位）	425
(9) 身体障害者手帳を持っていない理由	428
(10) 知的障がいの状況（療育手帳の有無・判定）	428
(11) 精神障がいの状況（精神障がい者保健福祉手帳の有無・等級）	428
(12) 障がい支援区分の認定状況、判定	428
(13) 要介護認定の認定状況、判定（40歳以上）	429
3 生活状況について	430
(1) 住まいの形態	430
(2) 同居家族の状況	431
(3) 主な介助者の状況	432
4 日中の過ごし方や外出の状況などについて	436
(1) 外出の頻度	437
(2) 主な外出先	438
(3) 外出時の移動手段	439
(4) 外出時に不便や困難を感じる事	440
(5) 利用しているコミュニケーション支援	442
(6) コミュニケーションで困っていることの有無	442
(7) コミュニケーションで困っていること	443
5 就労の状況について	444
(1) 就労の有無、就労形態	444
(2) 仕事を探した方法	446
(3) 月収	447
(4) 仕事をやめた原因	448
(5) 就労意向	448
(6) 難病患者の就労に対する社会の理解度	449
(7) 難病患者の就労に対して社会の理解があると思わない理由	450
(8) 難病患者の就労支援として必要なこと	451
6 福祉サービスの利用について	452
(1) 難病患者が障がい福祉サービスの対象者となったことの認知度	452
(2) 福祉サービスの利用状況	453
(3) 福祉サービスの利用意向	454
(4) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無	454

(5) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス	455
7 今後の暮らし方について	457
(1) 希望する今後の暮らし方	457
(2) 自宅や地域で生活するために必要な条件	458
8 情報収集や相談について	460
(1) 福岡市からの情報で知りたいこと	460
(2) 福岡市の福祉施策情報の入手先	461
(3) 困っていることや心配なこと	463
(4) 相談窓口の認知度	464
(5) 相談窓口の利用状況	465
(6) 相談窓口の満足度	466
9 地域とのかかわりについて	467
(1) 近所の方との関係	467
(2) 地域行事への参加状況	468
(3) ボランティア活動希望者のための支援・交流	468
10 防災について	469
(1) 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと	469
(2) 災害への備え	470
(3) 災害時に頼れる人	471
(4) 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度	472
11 福祉施策全般について	473
(1) 差別を受けたり、いやな思いをした経験	473
(2) 差別を受けたり、いやな思いをした内容	475
(3) 障がい者の人権に関して問題があると思うこと	476
(4) 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと	478
(5) 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと	480
(6) 福岡市の暮らしやすさ	481

第 11 章 事業者等状況調査 483

1 事業所の概要について	483
(1) 提供サービスの種類・数	483
(2) 職員数	484
2 障がい者福祉施策全般について	484
(1) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無	485
(2) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス	485
(3) 地域の人からあったらいい支援・交流の内容	486
(4) 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと	487
(5) 障がい者支援として地域社会や企業に望むこと	488
3 相談支援事業について	489
(1) 専門としている障がい種別	489
(2) 相談支援専門員の職員数	490
(3) 相談支援の観点から不足している社会資源	490
(4) 相談支援を実施するうえでの課題	491
(5) 相談支援に関する利用者ニーズへの対応方法	491
(6) 相談支援の発展のために必要なこと	492
4 居宅介護等サービス全般について	493
(1) 居宅介護等サービス事業所で取り組むべきこと	493
5 行動援護、同行援護、移動支援について	494
(1) 行動援護・同行援護・移動支援で利用が多い外出内容	494
(2) 行動援護・同行援護・移動支援で認めるべきサービス	495
(3) 行動援護・同行援護・移動支援について不満に思うこと	495

(4) 行動援護の実施にあたり困難を感じる事	495
6 短期入所・日中一時支援について	496
(1) 短期入所・日中一時支援で空きがない場合の対応	496
(2) 短期入所・日中一時支援の課題	497
(3) 医療ケアのうち対応可能なもの	498
7 施設について	499
(1) 施設事業所の観点から不足している社会資源	499
(2) 施設サービスを提供するうえでの課題	500
(3) 施設入所者等が地域（在宅）で暮らすために必要なこと	501

第12章 自由意見	503
------------------	------------

1 障がい者福祉全般に対する意見・要望	503
(1) 提出意見の概要	503

第13章 参考資料	507
------------------	------------

1 身体障がい者調査	507
2 知的障がい者調査	519
3 障がい児調査	531
4 入院患者調査（精神障がい者調査）	543
5 外来患者調査（精神障がい者調査）	547
6 発達障がい児・者調査	561
7 難病患者調査	575
8 事業者等状況調査	589

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、福岡市に居住する障がい児・者等の生活実態や意識、福祉施策に対する要望等を把握することを目的としている。

調査結果は、以降の福岡市における障がい福祉計画及び障がい者計画の策定に活用していく。

2. 調査の設計と回収（実施）状況

本調査で実施した各調査の設計と回収（実施）状況は下表のとおりである。

【調査設計と回収（実施）状況】

調査種別		調査対象	調査方法	標本数	有効回収数（回収率）	調査実施期間
身体・知的障がい児・者実態調査	身体障がい者調査	市内在住の身体障がい者（18歳以上） 【層化無作為抽出】	郵送調査・訪問調査（視覚障がい、肢体不自由）	1,300人	760人（58.5%）	令和元年9月20日～10月15日
	知的障がい者調査	市内在住の知的障がい者（18歳以上） 【層化無作為抽出】	郵送調査	850人	563人（66.2%）	
	障がい児調査	市内在住の身体・知的障がい児（17歳以下） 【層化無作為抽出】	郵送調査	850人	543人（63.9%）	
	計			3,000人	1,866人（62.2%）	
発達障がい児・者実態調査		発達障がい者関係団体等に所属（利用）、もしくは特別支援学級や通級指導教室に通っている発達障がい児・者とその家族	団体や学校を通じて配布・回収	配布数（※） 900人	258人（28.7%）	令和元年9月20日～10月15日
難病患者実態調査		福岡市内に居住する特定医療費（指定難病）受給者証所持者 【層化無作為抽出】	郵送調査・訪問調査（一部希望者）	1,000人	661人（66.1%）	令和元年9月20日～10月15日
事業者等状況調査		市内の相談支援事業所、居宅介護等事業所、施設事業所、グループホーム事業所、及び市の相談機関【全数】	郵送調査	842事業所	628事業所（74.6%）	令和元年9月20日～10月15日
精神障がい者実態調査	病院	計	福岡都市圏に開設し、精神科を標榜している病院を利用する患者（福岡都市圏：福岡市、筑紫野市、大野城市、太宰府市、宗像市、糸島市、古賀市、福津市、糟屋郡） 病院を通じて依頼・回収	①48カ所	40カ所（83.3%）	①一次調査 令和元年6月～7月 ②二次調査 令和元年10月～11月
		入院		②1,663人	1,221人（73.4%）	
		通院		1,000人	795人（79.5%）	
	診療所等	通院		①109カ所	65カ所（59.6%）	
				②1,337人	275人（20.6%）	

（※）調査を依頼した各団体に所属する方（保護者も含む）を対象として配付した数。同一人物が複数の団体に重複している場合もあり、配付数＝配付した実人数ではない。

第1章 調査の概要

「精神障がい者の実態や保健医療福祉サービスに関する調査」については、一次調査（基礎調査）として医療機関を対象に患者数調べを実施している。

一次調査の回収（実施）状況については、下表のとおりである。（二次調査結果は前頁の表を参照）

区分		一次調査			調査実施期間
		対象医療機関数 [か所]	回収数 [か所]	回収率	
合 計		157か所	105か所	66.9%	令和元年6月10日～ 7月31日
福岡都市圏に開設し、精神科を標榜している病院	計	48か所	40か所	83.3%	
	市内	30か所	24か所	80.0%	
	市外	18か所	16か所	88.9%	
福岡市内に開設し、精神科を標榜している診療所・クリニック等	市内	109か所	65か所	59.6%	

3. 調査結果利用上の注意①（全調査共通）

- 第3章以降の各種アンケート調査結果については、原則として、各質問の調査数を基数（N）とした百分率（%）で表している。なお、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の選択肢を選択できる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- 集計表中の「-」は調査したが該当する数値がないもの（回答者が0人のもの）、実数の「0」と割合の「0.0」は回答者はいたが少数のため四捨五入した結果が単位未満のものを表す。
- 本文または図表中に引用した質問文や選択肢は省略して表記している場合があるため、詳細は巻末「参考資料」中の「調査票」参照。
- クロス集計結果等において、基数（N）となる調査数が概ね30人未満と少数のものについては、参考までに数値を見るにとどめ、結果の利用には注意を要する。
- 精神障がい者の一次調査については、全ての対象医療機関の回答が得られたものではないため、患者数についてはこの点に留意が必要である。

4. 調査結果利用上の注意②（身体障がい者調査、知的障がい者調査のみ）

- 身体障がい者調査と知的障がい者調査については、母集団の人数の少ない年代についても、一定数の調査票を回収するため、抽出時に年代別に補正を行った。ただし、調査結果の集計にあたっては、人数の少ない年代の意見が過度に影響をおよぼさないよう、ウエイトバック（母集団の年代別数と回収数により出現数を割り戻す方法）を行っている。

<ウエイト値>

【身体障がい者調査】

回収数			母集団			ウエイト値
対象者属性	N	%	対象者属性	N	%	
20歳代以下	54	7.2	20歳代以下	1,311	2.6	0.36
30歳代	71	9.4	30歳代	1,865	3.7	0.39
40歳代	75	9.9	40歳代	3,273	6.4	0.65
50歳代	78	10.3	50歳代	5,028	9.9	0.95
60～64歳	78	10.3	60～64歳	3,722	7.3	0.71
65～74歳	160	21.2	65～74歳	12,040	23.6	1.11
75歳以上	239	31.7	75歳以上	23,750	46.6	1.47
無回答	5	-	無回答	-	-	1.00

【知的障がい者調査】

回収数			母集団			ウエイト値
対象者属性	N	%	対象者属性	N	%	
20歳代以下	189	34.2	20歳代以下	3,145	36.3	1.06
30歳代	126	22.8	30歳代	1,753	20.2	0.89
40歳代	85	15.4	40歳代	1,624	18.8	1.22
50歳代	56	10.1	50歳代	989	11.4	1.13
60～64歳	46	8.3	60～64歳	379	4.4	0.53
65～74歳	44	8.0	65～74歳	560	6.5	0.81
75歳以上	6	1.1	75歳以上	207	2.4	2.20
無回答	11	-	無回答	-	-	1.00

第2章 福岡市の障がい児・者等の概況

1. 身体・知的障がいの概況

福岡市の身体・知的障がい児・者数（身体障害者手帳または療育手帳の所持者、重複含む）は、令和元年6月30日現在で64,278人、人口1,000人あたりの出現率は41.5‰（パーミル）であり、市民の約24人に1人が身体または知的の障がいがあるという状況である。

身体障がい児・者（身体障害者手帳所持者）は52,114人で、18歳未満1,125人（身体障がい児・者全体の2.2％）に対して、18歳以上は50,989人（同 97.8％）となっており、18歳以上が大半を占めている。

一方、知的障がい児・者（療育手帳所持者）は12,164人で、このうち、18歳未満が3,508人（知的障がい児・者全体の28.8％）、18歳以上が8,656人（同 71.2％）であり、身体障がいに比べて18歳未満の児童の占める割合が高く、全体の3割弱が児童である。

平成12～28年度までの推移をみると、身体障がい児は1,000～1,100人前後で大きな変動はないものの、その他はいずれも大きく増加しており、身体障がい者は平成12年度の1.6倍、知的障がい者は2.2倍、知的障がい児は2.3倍となっている。また、人口1,000人あたりの出現率は、身体障がい児・者では平成25年度まで増加傾向にあったが、平成28年度に微減。令和元年度はほぼ横ばいとなった。知的障がい児・者では一貫して増加している。この中で、身体障がい者は高齢化の進行等の影響もあり、平成12年度：29.3‰から令和元年度：39.3‰に増加している。

【図表2-1 身体・知的障がい児・者数（手帳所持者数）の状況〔令和元年6月30日現在〕】

（ ）は出現率（‰=人口千対）

	身体・知的障がい児・者数			総人口
	合計	身体障がい	知的障がい	
総数	64,278 (41.5)	52,114 (33.7)	12,164 (7.9)	1,548,090
0～17歳	4,633 (18.6)	1,125 (4.5)	3,508 (14.1)	249,367
18歳以上	59,645 (45.9)	50,989 (39.3)	8,656 (6.7)	1,298,723

(注1) 障がい児・者数は、身体障害者手帳、療育手帳の所持者数（令和元年6月30日現在）

(注2) 総人口は、住民基本台帳登録人口（令和元年6月30日現在）

【図表2-2 身体・知的障がい児・者数（手帳所持者数）の推移】

（ ）は出現率（‰=人口千対）

	合計	身体障がい			知的障がい		
		総数	（18歳以上） （身体障がい）	（0～17歳） （身体障がい）	総数	（18歳以上） （知的障がい）	（0～17歳） （知的障がい）
令和元年度	64,278 (41.5)	52,114 (34.3)	50,989 (39.3)	1,125 (4.5)	12,164 (7.9)	8,656 (6.7)	3,508 (14.1)
平成28年度	62,595 (41.5)	51,831 (34.3)	50,713 (40.2)	1,118 (4.5)	10,764 (7.1)	7,668 (6.1)	3,096 (12.5)
平成25年度	60,863 (41.5)	51,557 (35.2)	50,449 (41.2)	1,108 (4.6)	9,306 (6.3)	6,686 (5.5)	2,620 (10.8)
平成22年度	56,627 (39.7)	48,526 (34.0)	47,416 (39.9)	1,110 (4.7)	8,101 (5.7)	5,761 (4.8)	2,340 (9.9)
平成17年度	45,294 (33.1)	39,413 (28.8)	38,325 (33.8)	1,088 (4.7)	5,881 (4.3)	4,108 (3.6)	1,773 (7.7)
平成12年度	37,294 (28.6)	32,296 (24.7)	31,282 (29.3)	1,014 (4.3)	4,998 (3.8)	3,669 (3.5)	1,329 (5.6)
増減(R1-H12)	25,301 (12.9)	19,535 (9.6)	19,431 (10.9)	104 (0.2)	5,766 (3.3)	3,999 (2.6)	1,767 (6.9)
増減率(R1/H12)	1.7倍	1.6倍	1.6倍	1.1倍	2.2倍	2.1倍	2.3倍

(注) 平成17年度調査までの統計は手帳未所持者を含んでいたため、本報告書では未所持者を除外して再集計を行っている（以下同）。

2. 身体障がいの状況

(1) 身体障がいの種別（主な障がいの部位）

令和元年6月30日現在の身体障害者手帳所持者の身体障がいの種別（主な障がいの部位）をみると、肢体不自由が27,222人（52.2%）と全体の過半数を占めて最も多く、次いで、内部障がいが16,455人（31.6%）となっている。

年次推移をみると、平成12年度から令和元年度までの間に、内部障がいが2.1倍、肢体不自由が1.6倍に増加しており、他の障がい種別に比べて増加率が高い。

障がい種別の構成比に着目すると、肢体不自由は各年度とも50%台前半で推移している。内部障がいは平成12年度の24.5%から令和元年度には31.6%と、7.1ポイント増加している。

【図表2-3 障がい種別・年齢区分別 身体障害者手帳所持者数[令和元年6月30日現在]】

()は構成比(%)

	合計	視覚障がい	聴覚・平衡	音声・言語障がい等	肢体不自由	内部障がい
総数	52,114 (100.0)	3,484 (6.7)	4,351 (8.3)	602 (1.2)	27,222 (52.2)	16,455 (31.6)
身体障がい児 (0～17歳)	1,125 (100.0)	30 (2.7)	205 (18.2)	5 (0.4)	629 (55.9)	256 (22.8)
身体障がい者 (18歳以上)	50,989 (100.0)	3,454 (6.8)	4,146 (8.1)	597 (1.2)	26,593 (52.2)	16,199 (31.8)

* 手帳所持者数(R1.6.30現在) 市統計データ

【図表2-4 障がい種別 身体障害者手帳所持者数の推移】

()は構成比(%)

	計	視覚障がい	聴覚・平衡	音声言語障がい等	肢体不自由	内部障がい
令和元年度	52,114 (100.0)	3,484 (6.7)	4,351 (8.3)	602 (1.2)	27,222 (52.2)	16,455 (31.6)
平成28年度	51,831 (100.0)	3,540 (6.8)	4,159 (8.0)	555 (1.1)	27,619 (53.3)	15,694 (30.3)
平成25年度	51,557 (100.0)	3,694 (7.2)	4,022 (7.8)	563 (1.1)	27,925 (54.2)	15,102 (29.3)
平成22年度	48,526 (100.0)	3,749 (7.7)	3,774 (7.8)	513 (1.1)	26,398 (54.4)	13,867 (28.6)
平成17年度	39,413 (100.0)	3,497 (8.9)	3,269 (8.3)	389 (1.0)	21,494 (54.5)	10,573 (26.8)
平成12年度	32,296 (100.0)	3,320 (10.3)	2,994 (9.3)	419 (1.3)	17,481 (54.1)	7,925 (24.5)
増減(R1-H12)	19,818 (0.0)	164 (▲3.5)	1,357 (▲1.3)	183 (▲0.2)	9,741 (▲0.8)	8,530 (5.7)
増減率(R1/H12)	1.6倍	1.0倍	1.5倍	1.4倍	1.6倍	2.1倍

(2) 身体障がいの程度（身体障害者手帳の等級）

令和元年6月30日現在の身体障害者手帳所持者の手帳等級内訳は、1級が17,999人（34.5%）で最も多く、次いで4級11,751人（22.5%）、2級7,923人（15.2%）の順であり、1・2級を合計すると、重度者が25,922人と全体の約半数（49.7%）を占めている。

年次推移をみると、平成12年度から令和元年年度までの間で、全体では1.6倍、重度者が1.6倍、中度者が1.7倍、軽度者が1.6倍となっている。

【図表2-5 手帳等級別・年齢区分別 身体障害者手帳所持者数[令和元年6月30日現在]】

()は構成比(%)

	合計	1級	2級	3級	4級	5級	6級	重度 (1・2級)	中度 (3・4級)	軽度 (5・6級)
総数	52,114 (100.0)	17,999 (34.5)	7,923 (15.2)	7,039 (13.5)	11,751 (22.5)	3,846 (7.4)	3,556 (6.8)	25,922 (49.7)	18,790 (36.1)	7,402 (14.2)
身体障がい児 (0~17歳)	1,125 (100.0)	580 (51.6)	215 (19.1)	137 (12.2)	78 (6.9)	34 (3.0)	81 (7.2)	795 (70.7)	215 (19.1)	115 (10.2)
身体障がい者 (18歳以上)	50,989 (100.0)	17,419 (34.2)	7,708 (15.1)	6,902 (13.5)	11,673 (22.9)	3,812 (7.5)	3,475 (6.8)	25,127 (49.3)	18,575 (36.4)	7,287 (14.3)

* 手帳所持者数(R1.06.30現在) 市統計データ

【図表2-6 手帳等級別 身体障害者手帳所持者数の推移】

()は構成比(%)

	計	重度(1・2級)	中度(3・4級)	軽度(5・6級)
令和元年度	52,114 (100.0)	25,922 (49.7)	18,790 (36.1)	7,402 (14.2)
平成28年度	51,831 (100.0)	25,976 (50.1)	18,952 (36.6)	6,903 (13.3)
平成25年度	51,557 (100.0)	26,062 (50.5)	18,938 (36.7)	6,557 (12.7)
平成22年度	48,526 (100.0)	24,979 (51.5)	17,258 (35.6)	6,289 (13.0)
平成17年度	39,413 (100.0)	20,673 (52.5)	13,403 (34.0)	5,337 (13.5)
平成12年度	32,296 (100.0)	16,684 (51.7)	10,920 (33.8)	4,692 (14.5)
増減(R1-H12)	19,818 (0.0)	9,238 (▲ 2.0)	7,870 (2.3)	2,710 (▲ 0.3)
増減率(R1/H12)	1.6倍	1.6倍	1.7倍	1.6倍

第2章 福岡市の障がい児・者等の概況

(3) 身体障がい児・者の性・年齢構成

令和元年6月30日現在の身体障害者手帳所持者の性別構成は、全体で男性25,099人(48.2%)に対して女性27,015人(51.8%)と女性がやや多くなっている。ただし、児・者別にみると、18歳未満の児童では男性が56.2%を占めて女性より多く、18歳以上では女性が52.0%と男性より多くなっている。

年齢構成は、児・者全体でみると、概ね年齢が高いほど人数が多く、60歳代以上が39,512人(75.8%)と全体の7割強を占めており、このうち65歳以上の高齢者だけでも35,790人(68.7%)と3万人を超えている。

年次推移をみると、性別については、平成12年度から令和元年度まで男女とも人数が増加しているが、構成比をみると、平成17年以降女性の占める割合が高くなっている。

年齢構成では60歳代以上の増加が顕著であり、平成12年度と比較して人数は2.0倍、構成比も13.5ポイント増加している。

【図表2-7 性別・年齢別 身体障害者手帳所持者数[令和元年6月30日現在]】

()は構成比(%)

	合計	性別		年齢別						
		男性	女性	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	(再掲)65歳以上
総数	52,114 (100.0)	25,099 (48.2)	27,015 (51.8)	1,297 (2.5)	1,139 (2.2)	1,865 (3.6)	3,273 (6.3)	5,028 (9.6)	39,512 (75.8)	35,790 (68.7)

	合計	性別		年齢別					
		男性	女性	0-2歳	3-5歳	6-8歳	9-11歳	12-14歳	15-17歳
身体障がい児(0~17歳)	1,125 (100.0)	632 (56.2)	493 (43.8)	85 (7.6)	210 (18.7)	196 (17.4)	215 (19.1)	196 (17.4)	223 (19.8)

	合計	性別		年齢別							
		男性	女性	18-19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60-64歳	65-74歳	75歳以上
身体障がい者(18歳以上)	50,989 (100.0)	24,467 (48.0)	26,522 (52.0)	172 (0.3)	1,139 (2.2)	1,865 (3.7)	3,273 (6.4)	5,028 (9.9)	3,722 (7.3)	12,040 (23.6)	23,750 (46.6)

(注) 性別・年齢別構成比は、身体障害者手帳交付台帳と住民基本台帳を照合して得られた数における性・年齢構成比をもとに算出。

【図表2-8 性別・年齢別 身体障害者手帳所持者数の推移】

()は構成比(%)

	合計	男性	女性
令和元年度	52,114 (100.0)	25,099 (48.2)	27,015 (51.8)
平成28年度	51,831 (100.0)	24,634 (47.5)	27,197 (52.5)
平成25年度	51,557 (100.0)	24,402 (47.3)	27,155 (52.7)
平成22年度	48,526 (100.0)	23,469 (48.4)	25,057 (51.6)
平成17年度	39,537 (100.0)	19,557 (49.5)	19,980 (50.5)
平成12年度	32,366 (100.0)	17,443 (53.9)	14,923 (46.1)
増減(R1-H12)	19,748 (0.0)	7,656 (▲6.4)	12,092 (6.4)
増減率(R1/H12)	1.6倍	1.4倍	1.8倍

()は構成比(%)

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	(再掲)65歳以上
令和元年度	52,114 (100.0)	2,436 (4.7)	1,865 (3.6)	3,273 (6.3)	5,028 (9.6)	39,512 (75.8)	35,790 (68.7)
平成28年度	51,831 (100.0)	2,462 (4.8)	1,800 (3.5)	3,201 (6.2)	5,014 (9.7)	39,354 (75.9)	35,059 (67.6)
平成25年度	51,557 (100.0)	2,438 (4.7)	1,716 (3.3)	2,890 (5.6)	5,228 (10.1)	39,285 (76.2)	33,923 (65.8)
平成22年度	48,526 (100.0)	2,382 (4.9)	1,876 (3.9)	2,874 (5.9)	5,793 (11.9)	35,601 (73.4)	30,451 (62.8)
平成17年度	39,537 (100.0)	2,394 (6.1)	1,658 (4.2)	2,520 (6.4)	5,984 (15.1)	26,980 (68.2)	23,044 (58.3)
平成12年度	32,366 (100.0)	2,083 (6.4)	1,351 (4.2)	2,683 (8.3)	6,070 (18.8)	20,179 (62.3)	15,659 (48.4)
増減(R1-H12)	19,748 (0.0)	353 (▲1.6)	514 (▲0.7)	590 (▲2.1)	▲1,042 (▲9.1)	19,333 (13.6)	
増減率(R1/H12)	1.6倍	1.2倍	1.4倍	1.2倍	0.8倍	2.0倍	

(注) 性・年齢別人数については、平成17年度調査までの統計は手帳未所持者を含む。

3. 知的障がいの状況

(1) 知的障がいの程度（療育手帳の判定）

令和元年6月30日現在の療育手帳所持者の手帳判定内訳では、B2が4,198人（34.5%）で最も多く、次いで、B1：2,977人（24.5%）、A2：2,393人（19.7%）、A1：2,334人（19.2%）がそれぞれ2,000人台で続いている。これらを集約すると、A1-A3のA判定の重度者が4,989人（41.0%）で全体の4割強を占めている。

年次推移をみると、平成12年度から令和元年度までに、全体では2.4倍の増加であるが、A判定の重度者が1.8倍、B判定の中度・軽度者が3.1倍と、中度・軽度者の増加が顕著である。

【図表2-9 手帳判定別・年齢区分別 療育手帳所持者数[令和元年6月30日現在]】

()は構成比(%)

	合計	A1	A2	A3	B1	B2	重度 (A1-A3)	中度 (B1)	軽度 (B2)
総数	12,164 (100.0)	2,334 (19.2)	2,393 (19.7)	262 (2.2)	2,977 (24.5)	4,198 (34.5)	4,989 (41.0)	2,977 (24.5)	4,198 (34.5)
知的障がい児 (0~17歳)	3,508 (100.0)	501 (14.3)	517 (14.7)	55 (1.6)	707 (20.2)	1,728 (49.3)	1,073 (30.6)	707 (20.2)	1,728 (49.3)
知的障がい者 (18歳以上)	8,656 (100.0)	1,833 (21.2)	1,876 (21.7)	207 (2.4)	2,270 (26.2)	2,470 (28.5)	3,916 (45.2)	2,270 (26.2)	2,470 (28.5)

* 手帳所持者数 (R1. 6. 30現在) 市統計データ

【図表2-10 手帳判定別 療育手帳所持者数の推移】

()は構成比(%)

	計	重度 [A]	中度・軽度 [B]
令和元年度	12,164 (100.0)	4,989 (41.0)	7,175 (59.0)
平成28年度	10,764 (100.0)	4,583 (42.6)	6,181 (57.4)
平成25年度	9,306 (100.0)	4,222 (45.4)	5,084 (54.6)
平成22年度	8,101 (100.0)	3,892 (48.0)	4,209 (52.0)
平成17年度	5,881 (100.0)	3,000 (51.0)	2,881 (49.0)
平成12年度	4,998 (100.0)	2,698 (54.0)	2,300 (46.0)
増減(R1-H12)	7,166 (0.0)	2,291 (▲ 13.0)	4,875 (13.0)
増減率(R1/H12)	2.4倍	1.8倍	3.1倍

第2章 福岡市の障がい児・者等の概況

(2) 知的障がい児・者の性・年齢構成

令和元年6月30日現在の療育手帳所持者の性別構成は、全体で男性7,616人(62.6%)に対して、女性4,548人(37.4%)と男性の方が多い。

年齢構成は、児・者全体でみると、身体障がいとは異なり、年齢が低いほど人数が多く、10歳代以下4,065人(33.4%)、20歳代2,588人(21.3%)の順となっており、これらを合わせると、20歳代以下の若年層が6,653人(54.7%)と、全体の半数以上を占めている。

年次推移をみると、男女比は概ね6対4の割合であり、大きな変化はみられない。

年齢構成の年次推移については、60歳代以上の増加が顕著であり、平成12年度から令和元年度までの間で3.0倍に増加している。

【図表2-11 性別・年齢別 療育手帳所持者数[令和元年6月30日現在]】

()は構成比(%)

	合計	性別		年齢別						
		男性	女性	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	(再掲)65歳以上
総数	12,164 (100.0)	7,616 (62.6)	4,548 (37.4)	4,065 (33.4)	2,588 (21.3)	1,753 (14.4)	1,624 (13.4)	989 (8.1)	1,146 (9.4)	767 (6.3)

	合計	性別		年齢別					
		男性	女性	0-2歳	3-5歳	6-8歳	9-11歳	12-14歳	15-17歳
知的障がい児(0~17歳)	3,508 (100.0)	2,372 (67.6)	1,136 (32.4)	93 (2.7)	711 (20.3)	749 (21.4)	615 (17.5)	610 (17.4)	730 (20.8)

	合計	性別		年齢別							
		男性	女性	18・19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60-64歳	65-74歳	75歳以上
知的障がい者(18歳以上)	8,656 (100.0)	5,244 (60.6)	3,412 (39.4)	557 (6.4)	2,588 (29.9)	1,753 (20.3)	1,624 (18.8)	989 (11.4)	379 (4.4)	560 (6.5)	207 (2.4)

(注) 性別・年齢別構成比は、療育手帳交付台帳と住民基本台帳を照合して得られた数における性・年齢構成比をもとに算出。

【図表2-12 性別・年齢別 療育手帳所持者数の推移】

()は構成比(%)

	合計	男性	女性
令和元年度	12,164 (100.0)	7,616 (62.6)	4,548 (37.4)
平成28年度	10,764 (100.0)	6,693 (62.2)	4,071 (37.8)
平成25年度	9,306 (100.0)	5,736 (61.6)	3,570 (38.4)
平成22年度	8,101 (100.0)	4,976 (61.4)	3,125 (38.6)
平成17年度	6,516 (100.0)	4,041 (62.0)	2,475 (38.0)
平成12年度	6,005 (100.0)	3,671 (61.1)	2,334 (38.9)
増減(H28-H12)	4,759 (0.0)	3,022 (1.1)	1,737 (▲1.1)
増減率(H28/H12)	1.8倍	1.8倍	1.7倍

()は構成比(%)

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	(再掲)65歳以上
令和元年度	12,164 (100.0)	6,653 (54.7)	1,753 (14.4)	1,624 (13.4)	989 (8.1)	1,146 (9.4)	767 (6.3)
平成28年度	10,764 (100.0)	5,817 (54.0)	1,596 (14.8)	1,517 (14.1)	825 (7.7)	1,009 (9.4)	633 (5.9)
平成25年度	9,306 (100.0)	5,258 (56.5)	1,590 (17.1)	1,057 (11.4)	623 (6.7)	778 (8.4)	441 (4.7)
平成22年度	8,101 (100.0)	4,458 (55.0)	1,456 (18.0)	935 (11.5)	621 (7.7)	631 (7.8)	349 (4.3)
平成17年度	6,516 (100.0)	3,908 (60.0)	1,126 (17.3)	552 (8.5)	558 (8.6)	372 (5.7)	233 (3.6)
平成12年度	6,005 (100.0)	3,494 (58.2)	1,054 (17.6)	613 (10.2)	508 (8.5)	336 (5.6)	158 (2.6)
増減(H28-H12)	4,759 (0.0)	2,323 (▲4.2)	542 (▲2.8)	904 (3.9)	317 (▲0.8)	673 (3.8)	
増減率(H28/H12)	1.8倍	1.7倍	1.5倍	2.5倍	1.6倍	3.0倍	

(注) 性・年齢別人数については、平成17年度調査までの統計は手帳未所持者を含む。

4. 精神障がいの状況

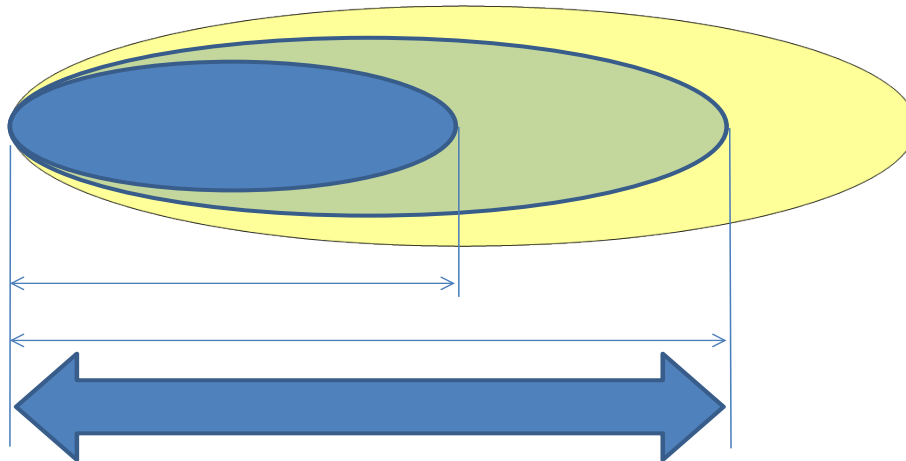
(1) 精神障がい者の定義

今回の調査での精神障がい者の定義は、以下のとおりである。

【図表2-13 精神障がい者の定義】

精神障がい者とは？

- ① 広い意味 : 医学的にみて精神疾患を有する者（医療の対象）
- ② 狭い意味 : 精神疾患があるために日常生活や社会生活に支障のある者（福祉の対象）



(2) 現住所が福岡市にある精神障がい者数（精神障がい者調査（一次調査結果）より）

今回の調査（一次調査）での現住所が福岡市にある精神障がい者数は下表のとおりである。

総数は38,039人で、内訳は入院者3,238人、通院者34,801人であった。診断名別の精神障がい者数をみると、「気分（感情）障害」が12,448人と全体の32.7%を占めて最も多く、次いで「神経症」が7,791人（20.5%）、「統合失調症」が7,711人（20.3%）と続いている。

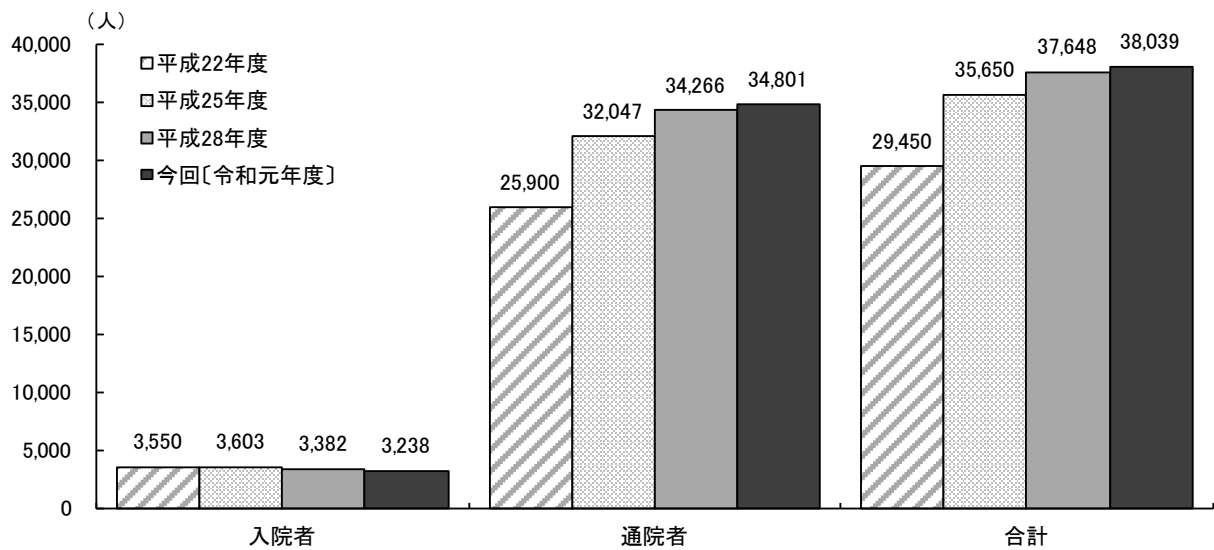
過去の調査における精神障がい者数からの推移をみると、平成22年度から令和元年度までの間、入院者数は微減、通院者数は約1.3倍に増加している。

【図表2-14 現住所が福岡市にある精神障がい者数 診断名別】

		上段：実人数(人)、下段：構成比(%)											
		計	認知症(F0)	依存症(F1)			統合失調症(F2)	気分(感情)障害(F3)			神経症(F4)	発達障害(F8)	その他
				計	アルコール依存症	その他の依存症		計	うつ病等	双極性感情障害			
合計	計	38,039	3,169	1,063	875	188	7,711	12,448	9,571	2,877	7,791	2,203	3,654
		100.0%	8.3%	2.8%	2.3%	0.5%	20.3%	32.7%	25.2%	7.6%	20.5%	5.8%	9.6%
	入院	3,238	773	144	123	21	1,647	409	274	135	99	21	145
		100.0%	23.9%	4.4%	3.8%	0.6%	50.9%	12.6%	8.5%	4.2%	3.1%	0.6%	4.5%
	通院	34,801	2,396	919	752	167	6,064	12,039	9,297	2,742	7,692	2,182	3,509
		100.0%	6.9%	2.6%	2.2%	0.5%	17.4%	34.6%	26.7%	7.9%	22.1%	6.3%	10.1%
病院	計	13,671	1,615	751	649	102	4,640	3,223	2,355	868	1,652	437	1,353
		100.0%	11.8%	5.5%	4.7%	0.7%	33.9%	23.6%	17.2%	6.3%	12.1%	3.2%	9.9%
	入院	3,238	773	144	123	21	1,647	409	274	135	99	21	145
		100.0%	23.9%	4.4%	3.8%	0.6%	50.9%	12.6%	8.5%	4.2%	3.1%	0.6%	4.5%
	通院	10,433	842	607	526	81	2,993	2,814	2,081	733	1,553	416	1,208
		100.0%	8.1%	5.8%	5.0%	0.8%	28.7%	27.0%	19.9%	7.0%	14.9%	4.0%	11.6%
診療所等	24,368	1,554	312	226	86	3,071	9,225	7,216	2,009	6,139	1,766	2,301	
	100.0%	6.4%	1.3%	0.9%	0.4%	12.6%	37.9%	29.6%	8.2%	25.2%	7.2%	9.4%	

(注) 病院 : 福岡都市圏に開設し、精神科を標榜している病院
 (福岡市、筑紫野市、大野城市、太宰府市、宗像市、糸島市、古賀市、福津市、糟屋郡)
 診療所等 : 福岡市内に開設し、精神科を標榜している診療所等

【図表2-15 現住所が福岡市にある精神障がい者数の推移と令和元年度の詳細】



上段:実数 下段:構成比

〔令和元年度〕	合計	性別		年齢別			
		男性	女性	19歳以下	20-64歳	65-74歳	75歳以上
合計	38,039	16,717	21,322	2,722	25,792	4,480	5,045
	100.0%	43.9%	56.1%	7.2%	67.8%	11.8%	13.3%
入院	3,238	1,421	1,817	22	1,191	839	1,186
	100.0%	43.9%	56.1%	0.7%	36.8%	25.9%	36.6%
通院	34,801	15,296	19,505	2,700	24,601	3,641	3,859
	100.0%	44.0%	56.0%	7.8%	70.7%	10.5%	11.1%

5. 発達障がいの状況

発達障がいについては、全国的にみても、正確な人数が把握できない状況であるが、心身障がい福祉センター（あいあいセンター）、西部療育センター及び東部療育センターの新規受診児数の推移をみると、全体の数は平成29年度から30年度にかけて約1,000人増加している。また、新規受診児の約65%が発達障がいと診断された児童であり、このうち約65%が知的な遅れのない児童となっている。

ゆうゆうセンターの平成30年度の相談状況をみると、成人（19歳以上）の相談が約45%を占めており、平成29年度からの平成30年度にかけた推移をみると、1,000件程度の減少となっている。

【図表2-16 心身障がい福祉センター・西部療育センター・東部療育センターにおける新規受診児数の推移】

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
新規受診児総数	1,129	1,089	1,200	1,301	1,294	1,423	1,417	1,518
発達障がい児	676	708	729	802	794	938	908	1000
新規受診児総数に占める割合（%）	(59.9)	(65.0)	(60.8)	(61.6)	(61.4)	(65.9)	(64.1)	(65.9)
知的障がいのない発達障がい児	450	441	496	499	527	582	611	648
発達障がい児に占める割合（%）	(66.6)	(62.3)	(68.0)	(62.2)	(66.4)	(62.0)	(67.3)	(64.8)

【図表2-17 福岡市発達障がい者支援センター（ゆうゆうセンター）の相談状況】

<年齢別相談者数の推移>

（ ）は構成比（%）

	合計	0~6歳 [乳幼児]	7~12歳 [小学生]	13~18歳 [中高生]	19歳以上	不明
平成30年度	1,404 (100.0)	115 (8.2)	321 (22.9)	242 (17.2)	642 (45.7)	84 (6.0)
平成29年度	1,514 (100.0)	121 (8.0)	345 (22.8)	227 (15.0)	714 (47.2)	107 (7.1)
平成28年度	1,453 (100.0)	110 (7.6)	327 (22.5)	242 (16.7)	639 (44.0)	135 (9.3)
平成27年度	1,393 (100.0)	107 (7.7)	250 (17.9)	258 (18.5)	607 (43.6)	171 (12.3)
平成26年度	1,326 (100.0)	89 (6.7)	265 (20.0)	254 (19.2)	623 (47.0)	95 (7.2)
平成25年度	1,443 (100.0)	123 (8.5)	293 (20.3)	266 (18.4)	707 (49.0)	54 (3.7)
平成24年度	1,456 (100.0)	108 (7.4)	248 (17.0)	239 (16.4)	834 (57.3)	27 (1.9)
平成23年度	1,232 (100.0)	101 (8.2)	227 (18.4)	200 (16.2)	680 (55.2)	24 (1.9)

<障がい別相談者数（平成30年度）>

（ ）は構成比（%）

合計	知的な遅れあり			知的な遅れなし				注意欠陥多動性障がい	学習障がい	その他	不明
	自閉症	広汎性発達障がい		自閉症	アスペルガー症候群	広汎性発達障がい					
1,404 (100.0)	90 (6.4)	63 (4.5)	27 (1.9)	326 (23.2)	154 (11.0)	81 (5.8)	91 (6.5)	156 (11.1)	15 (1.1)	66 (8.1)	751 (53.5)

（注）不明には未診断、未受診等を含む。

【図表2-18 通常の学級に在籍する特別支援を要する児童生徒数（小・中学校）の推移】

（ ）は構成比（％）

	合計	発達障がい	その他
平成30年度	2,912 (100.0)	2,661 (91.4)	251 (8.6)
平成29年度	2,778 (100.0)	2,461 (88.6)	317 (11.4)
平成28年度	2,734 (100.0)	2,387 (87.3)	347 (12.7)
平成27年度	2,692 (100.0)	2,317 (86.1)	375 (13.9)
平成26年度	2,264 (100.0)	1,919 (84.8)	345 (15.2)
平成25年度	2,058 (100.0)	1,656 (80.5)	402 (19.5)
平成24年度	1,806 (100.0)	1,374 (76.1)	432 (23.9)

(注1) 発達教育センターによる調査結果。

(注2) 平成21年度からは、チェックリストに基づく疑いのあるケースを含む。

6. 難病の状況

難病については、平成27年1月1日に「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行され、新たな難病医療費助成制度が運用されている。指定難病受給者数の年次推移をみると、平成29年度から平成30年度にかけてはほぼ横ばいの状況である。また、平成26年時点と比較すると、微減傾向となっている。平成30年度までのいずれの年においても、男性が約4割、女性が約6割を占める。

【図表2-19 指定難病受給者数の推移 性別】

※年度末時点 （ ）は構成比（％）

	計	男性	女性	医療費助成対象疾病数
平成30年度	9,601 (100.0)	3,906 (40.7)	5,695 (59.3)	331
平成29年度	9,578 (100.0)	3,821 (39.9)	5,757 (60.1)	330
平成28年度	11,291 (100.0)	4,621 (40.9)	6,670 (59.1)	306
平成27年度	10,377 (100.0)	4,264 (41.1)	6,113 (58.9)	306
平成26年度	9,958 (100.0)	4,127 (41.4)	5,831 (58.6)	110
増減（H30-H26）	-357 (0.0)	-221 (▲0.8)	-136 (0.8)	—
増減率（H30/H26）	1.0倍	1.0倍	1.0倍	—

（参考値：旧制度）

	計	男性	女性	医療費助成対象疾病数
平成25年度	9,687 (100.0)	4,025 (41.6)	5,662 (58.4)	56
平成24年度	9,116 (100.0)	3,721 (40.8)	5,395 (59.2)	56
平成23年度	9,305 (100.0)	3,856 (41.4)	5,449 (58.6)	56
増減（H25-H23）	382 (0.0)	169 (0.2)	213 (▲0.2)	—
増減率（H25/H23）	1.1倍	1.1倍	1.1倍	—

第3章 調査結果の概要

1. 調査の特徴

この調査は、福岡市の障がい福祉計画策定にあたり障がい児・者の実態を把握するとともに、障がい保健福祉施策を推進する上での利用者のニーズを把握するため、令和元年9月に実施したものである。前回の調査は現計画の策定にあたり平成28年度に実施しているが、調査対象は身体障がい者、知的障がい者、障がい児、精神障がい者（通院・入院を含む）、発達障がい児・者、難病者とそれらの対象に関連する事業所等と、前回の調査と同等のものとした。また、調査対象は、障害者総合支援法の対象を網羅しており、全障がい児・者を一体的に調査していることがひとつの特徴となっている。

調査項目も前回実施した項目を踏まえつつ、障がい者団体や関係者から意見を聞きながら設定したものであり、全障がい児・者に共通する項目と障がい種別に応じた項目とで構成している。

平成28年6月に策定した福岡市保健福祉総合計画（障がい者計画含む）に引き続き、次期計画における成果指標の評価等について、本調査の結果を踏まえた進捗管理を行うとともに、今後の障がい福祉施策の方向性を検討するための基礎資料として位置づけるものとなっている。

2. 生活状況

(1) 住居形態

【身体】

最も回答割合が高いのは、「自分や家族の持ち家」（53.4%）となっている。

【知的】

最も回答割合が高いのは、「自分や家族の持ち家」（50.6%）となっている。

【児】

最も回答割合が高いのは、「家族の持ち家」（51.9%）となっている。

【精神（通院）】

回答割合が高い順に、「民間の借家や賃貸アパート・マンションなど」（40.4%）、
「自分や家族の持ち家」（30.4%）となっている。

【精神（入院）】

回答割合が高い順に、「自分や家族の持ち家」（34.1%）、「民間の借家や賃貸アパート・マンションなど」（25.8%）となっている。

また、「住居なし」も27.3%となっている。

【発達】

最も回答割合が高いのは、「自分や家族の持ち家」（59.3%）となっている。

【難病】

最も回答割合が高いのは、「自分や家族の持ち家」（55.1%）となっている。

(2) 同居家族の状況

【身体】

回答割合が高い順に、「夫婦のみ」（28.9%）、「一人暮らし」（25.3%）、「二世帯同居（子と本人）」（22.5%）となっている。

【知的】

回答割合が高い順に、「二世帯同居（親と本人）」（40.5%）、「二世帯（本人、親、兄弟）」（22.9%）となっている。

【児】

回答割合が高い順に、「親と子のみ（両親あり）」（74.2%）、「三世帯同居（親と子と祖父母）」（9.0%）となっている。

【精神（通院）】

回答割合が高い順に、「一人暮らし」（32.7%）、「二世帯同居（親と同居）」（22.0%）となっている。

【精神（入院）】

回答割合が高い順に、「一人暮らし」（38.5%）、「二世帯同居（親と同居）」（18.9%）となっている。

【発達】

最も回答割合が高いのは、「二世帯同居（親と本人）」（84.5%）となっている。

【難病】

回答割合が高い順に、「夫婦のみ」（31.3%）、「二世帯同居（子と本人）」（30.3%）となっている。

(3) 主な介助者

【身体】

最も回答割合が高いのは、「配偶者（夫、妻）」（24.0%）となっている。

一方、「世話をしてもらわない」との回答も34.6%を占めている。

また、介助者の年齢としては、「75歳以上」（30.2%）、「65～74歳」（24.0%）の回答割合が高い。

【知的】

回答割合が高い順に、「母親」（51.8%）、「サービス事業者」（14.2%）となっている。

介助者の年齢としては、「50歳代」（28.4%）、「65～74歳」（25.9%）の回答割合が高い。

【児】

最も回答割合が高いのは、「母親」（84.0%）となっている。

介助者の年齢としては、「50歳代」（32.0%）、「40歳代」（24.3%）の回答割合が高い。

【精神（通院）】

全体の70.2%が「介助の必要なし」と回答している。

【精神（入院）】

家族の支援体制については、53.3%が「定期的な支援（3ヶ月に1回以上）」と回答している。

【発達】

最も回答割合が高いのは、「母親」（76.0%）となっている。

介助者の年齢としては、「40歳代」（46.1%）の回答割合が高い。

【難病】

最も回答割合が高いのは、「配偶者（夫、妻）」（24.2%）となっている。

一方、「世話をしてもらわない」との回答も49.6%を占めている。

また、介助者の年齢としては、「75歳以上」（24.1%）、「65～74歳」（22.4%）の回答割合が高い。

3. 日中の活動状況と就労の課題

(1) 障がい児の日中活動

①通園・通学先

【児】

回答割合が高い順に、「放課後等デイサービス」（23.8%）、「特別支援学校 小学部」（17.5%）、「小学校（特別支援学級）」（16.2%）となっている。

②通園・通学で困っていること

【児】

回答割合が高い順に、「ひとりでは通えない」（33.2%）、「園や学校までの距離が遠い」（19.1%）となっている。

③通園・通学先に望むこと

【児】

回答割合が高い順に、「能力や障がいの状況にあった支援をしてほしい」（43.1%）、「個別的な支援を充実してほしい」（36.5%）、「就学相談や進路相談などの相談体制を充実してほしい」（32.6%）となっている。

(2) 療育・教育について

【児】

全体の86.2%が「療育や教育を受けた（受けている）」と回答している。

利用した施設としては、「あいあいセンター」（40.2%）、「放課後等デイサービス」（32.7%）、
「子ども病院以外の病院・医院」（28.2%）の順となっている。

また、療育・教育に対する希望としては、「家庭から施設に通って療育・教育を受けたい」（34.3%）
の回答割合が高い。

(3) 育児に関する相談相手

①障がい児の診断・相談機関

【児】

回答割合が高い順に、「あいあいセンター」（39.4%）、「子ども病院以外の病院・医院」（26.2%）
となっている。

障がいの診断・判定を受けた頃の苦勞・悩み・不安については、「障がいのことや福祉の制度に
ついての情報が少なかった」（55.6%）が最上位に挙げられている。

②相談窓口の利用状況

【児】

利用したことがある割合が高い順に、「福祉事務所」（73.5%）、「あいあいセンター」（57.1%）、
「子ども総合相談センター」（40.7%）となっている。

(4) 障がい者の就労の状況

①就労状況

【身体】

全体の22.5%が「就労している」、63.5%が「就労していない」と回答している。

また、就労形態の回答割合が高い順としては、「正規の社員・従業員」（39.4%）、
「臨時・日雇い、アルバイト、パート」（31.7%）となっている。

【知的】

全体の45.2%が「就労している」、37.3%が「就労していない」と回答している。

また、就労形態の回答割合が高い順としては、「施設で働いている」（44.6%）、
「臨時・日雇い、アルバイト、パート」（33.0%）となっている。

【精神（通院）】

全体の27.4%が「就労している」、49.8%が「以前は就労していたが辞めた」、
6.6%が「就労したことはない」と回答している。

また、就労形態の回答割合が高い順としては、「臨時・日雇い、アルバイト、パート」（39.1%）、
「正規の社員・従業員」（24.5%）となっている。

仕事を辞めた理由については、「障がいや病気で身体的に働くことが困難になったため」（64.5%）
の回答割合が最も高い。

【発達】

全体の49.4%が「就労している」、49.4%が「就労していない」と回答している。

また、就労形態の回答割合が高い順としては、「臨時・日雇い、アルバイト、パート」（41.3%）、
「施設で働いている」（28.3%）となっている。

【難病】

全体の40.5%が「就労している」、52.3%が「就労していない」と回答している。

また、就労形態の回答割合が高い順としては、「正規の社員・従業員」（44.8%）、「臨時・日雇い、
アルバイト、パート」（30.2%）となっている。

②月収入

【身体】

回答割合が高い順に、「5万円～10万円未満」(22.3%)、「10万円～15万円未満」(19.3%)となっている。

【知的】

回答割合が高い順に、「5万円～10万円未満」(29.7%)、「5千円～1万円未満」(21.2%)となっている。

【精神(通院)】

回答割合が高い順に、「5万円～10万円未満」(18.8%)、「20万円～30万円未満」(15.6%)となっている。

【発達】

回答割合が高い順に、「5万円～10万円未満」(32.6%)、「10万円～15万円未満」(23.9%)となっている。

【難病】

回答割合が高い順に、「20万円～30万円未満」(23.5%)、「15万円～20万円未満」(18.7%)となっている。

③仕事を探した方法(就労中の人)

【身体】

回答割合が高い順に、「求人誌など自分で探した」(22.5%)、「ハローワークからのあっせん(紹介)」(20.9%)となっている。

【知的】

回答割合が高い順に、「学校、各種学校の紹介」(29.7%)、「ハローワークからのあっせん(紹介)」(19.3%)、「障がい者就労支援センターの支援」(18.6%)となっている。

【精神(通院)】

回答割合が高い順に、「自分で探した」(27.6%)、「病気になる前から働いていた」(27.1%)となっている。

【発達】

回答割合が高い順に、「障がい者就労支援センターの支援」(32.6%)、「ハローワークからのあっせん(紹介)」(28.3%)、「施設(就労移行支援事業所)の支援」(23.9%)となっている。

【難病】

回答割合が高い順に、「求人誌など自分で探した」(27.6%)、「知り合いの紹介」(20.1%)となっている。

④就労意向

【身体】

全体の33.8%が「働きたい(働き続けたい)」、49.2%が「働きたくない」と回答している。

【知的】

全体の62.8%が「働きたい(働き続けたい)」、22.2%が「働きたくない」と回答している。

【精神(通院)】

全体の60.1%が「働きたい(働き続けたい)」、25.2%が「働きたくない」と回答している。

【発達】

全体の80.0%が「働きたい(働き続けたい)」、14.1%が「働きたくない」と回答している。

【難病】

全体の51.7%が「働きたい(働き続けたい)」、38.3%が「働きたくない」と回答している。

⑤就労支援として必要なこと

【身体】

回答割合が高い順に、「調子の悪い時に休みを取りやすくする」(35.3%)、「在宅勤務」(29.9%)となっている。

【知的】

回答割合が高い順に、「仕事上の援助や本人・周囲への助言を行う者による支援」(41.7%)、「工賃の増加」(37.2%)、「調子の悪い時に休みを取りやすくする」(36.6%)となっている。

【精神（通院）】

回答割合が高い順に、「調子の悪い時に休みを取りやすくする」(54.8%)、「短時間勤務などの労働時間の配慮」(44.7%)、「工賃（収入）の増加」(35.4%)となっている。

【発達】

回答割合が高い順に、「仕事上の援助や本人・周囲への助言を行う者による支援」(61.2%)、「調子の悪い時に休みを取りやすくする」(57.6%)、「発達障がいの特徴を踏まえた作業手順の視覚化などの配慮」(56.5%)となっている。

【難病】

回答割合が高い順に、「調子の悪い時に休みを取りやすくする」(54.0%)、「短時間勤務などの労働時間の配慮」(41.3%)、「在宅勤務」(39.8%)となっている。

4. 地域生活について

(1) 外出の状況

【身体】

全体の45.1%が「週に4回以上」外出すると回答しており、主な外出先としては「買い物」(67.0%)、「病院・医院など」(64.9%)が上位となっている。

【知的】

全体の71.0%が「週に4回以上」外出すると回答しており、主な外出先としては「買い物」(62.4%)、「通所施設など」(47.0%)、「病院・医院など」(45.2%)が上位となっている。

【児】

全体の87.7%が「週に4回以上」外出すると回答しており、主な外出先としては「幼稚園・保育園・学校」(74.7%)、「買い物」(70.4%)、「児童発達支援事業や放課後等デイサービス」(59.3%)が上位となっている。

【精神（通院）】

全体の54.6%が「週に4回以上」外出すると回答しており、主な外出先としては「買い物」(72.5%)、「病院・医院など」(58.9%)が上位となっている。

【発達】

全体の86.0%が「週に4回以上」外出すると回答しており、主な外出先としては「学校」(60.9%)、「買い物」(59.3%)が上位となっている。

【難病】

全体の53.7%が「週に4回以上」外出すると回答しており、主な外出先としては「買い物」(72.1%)、「病院・医院など」(64.0%)が上位となっている。

(2) 外出時に困っていること

【身体】

回答割合が高い順に、「歩道に段差が多い」(35.3%)、「歩行者や走行自転車のマナーの悪さ」(34.6%)、「歩道がない道路に危険を感じる」(29.3%)となっている。

【知的】

回答割合が高い順に、「歩行者や走行自転車のマナーの悪さ」(28.1%)、「歩道がない道路に危険を感じる」(27.9%)となっている。

【児】

回答割合が高い順に、「歩道がない道路に危険を感じる」(34.4%)、「歩行者や走行自転車のマナーの悪さ」(24.1%)、「まわりの人の目が気になる」(21.7%)となっている。

【精神(通院)】

回答割合が高い順に、「歩行者や走行自転車のマナーの悪さ」(26.0%)、「歩道がない道路に危険を感じる」(21.4%)となっている。

【発達】

回答割合が高い順に、「まわりの人の目が気になる」(21.7%)、「歩道がない道路に危険を感じる」(18.6%)、「歩行者や走行自転車のマナーの悪さ」(18.2%)となっている。

【難病】

回答割合が高い順に、「歩道に段差が多い」(29.7%)、「歩行者や走行自転車のマナーの悪さ」(25.4%)、「歩道がない道路に危険を感じる」(21.8%)となっている。

(3) コミュニケーションの支援

【身体】

全体の27.5%がコミュニケーションで困ったことが「ある」と回答している。
その内容としては、「相手の話が聞き取りづらい」(53.3%)の回答割合が最も高くなっている。

【知的】

全体の66.1%がコミュニケーションで困ったことが「ある」と回答している。
その内容としては、回答割合が高い順に「難しい内容やあいまいな表現を理解することが難しい」(67.5%)、「話をうまく組み立てられない」(53.5%)となっている。

【児】

全体の75.9%がコミュニケーションで困ったことが「ある」と回答している。
その内容としては、回答割合が高い順に「難しい内容やあいまいな表現を理解することが難しい」(57.8%)、「声や言葉がでにくいため、自分の思いが伝わりづらい」(50.5%)となっている。

【発達】

全体の74.0%がコミュニケーションで困ったことが「ある」と回答している。
その内容としては、回答割合が高い順に「難しい内容やあいまいな表現を理解することが難しい」(61.8%)、「話をうまく組み立てられない」(52.9%)となっている。

【難病】

全体の17.7%がコミュニケーションで困ったことが「ある」と回答している。
その内容としては、回答割合が高い順に「声や言葉がでにくいため、自分の思いが伝わりづらい」(46.2%)、「相手の話が聞き取りづらい」(37.6%)となっている。

(4) 地域との関わり

【身体】

全体の26.1%が「あいさつをする程度の人ならいる」、21.4%が「立ち話をする程度の人ならいる」と回答している。

また、地域行事への参加状況については、50.1%が「参加していない」と回答している。

【知的】

全体の38.1%が「ほとんど付き合いはない」、35.3%が「あいさつをする程度の人ならいる」と回答している。

また、地域行事への参加状況については、50.2%が「参加していない」と回答している。

【児】

地域の方との付き合いの状況については、全体の78.1%が「会った時はあいさつしあう」と回答している。

【精神（通院）】

全体の26.5%が「あいさつをする程度の人ならいる」、24.7%が「ほとんど付き合いはない」と回答している。

また、地域行事への参加状況については、46.8%が「参加していない」と回答している。

【発達】

全体の38.8%が「あいさつをする程度の人ならいる」、31.8%が「ほとんど付き合いはない」と回答している。

また、地域行事への参加状況については、36.0%が「参加していない」と回答している。

【難病】

全体の27.7%が「あいさつをする程度の人ならいる」、25.3%が「ほとんど付き合いはない」と回答している。

また、地域行事への参加状況については、52.6%が「参加していない」と回答している。

(5) 福祉サービスの利用意向

【身体】

今後の利用意向が高い順に、「福祉乗車券の交付」(36.3%)、「福祉タクシー料金の助成」(33.2%)、「福岡市重度心身障がい者福祉手当」(25.7%)となっている。

【知的】

今後の利用意向が高い順に、「福岡市重度心身障がい者福祉手当」(31.8%)、「福祉タクシー料金の助成」(30.3%)、「福祉乗車券の交付」(29.7%)となっている。

【児】

今後の利用意向が高い順に、「放課後等デイサービス」(61.3%)、「児童発達支援」(42.2%)、「福岡市重度心身障がい者福祉手当」(39.0%)となっている。

【精神（通院）】

今後の利用意向が高い順に、「計画相談支援」(17.8%)、「就労移行支援」(13.8%)、「福祉乗車券の助成」(12.4%)となっている。

【難病】

今後の利用意向が高い順に、「補装具」(9.4%)、「日常生活用具」(8.5%)、「自立訓練」(7.3%)となっている。

(6) 相談窓口の利用状況

【身体】

利用割合が高い相談窓口としては、「福祉事務所」(51.3%)、「民生委員、児童委員」(7.4%)、「障がい者基幹相談支援センター」(5.7%)の順となっている。

【知的】

利用割合が高い相談窓口としては、「福祉事務所」(48.0%)、「あいあいセンター」(43.6%)、「障がい者基幹相談支援センター」(21.7%)の順となっている。

【児】

利用割合が高い相談窓口としては、「福祉事務所」(73.5%)、「あいあいセンター」(57.1%)、「障がい者基幹相談支援センター」(40.7%)の順となっている。

【精神(通院)】

利用割合が高い相談窓口としては、「区保健福祉センター」(27.4%)、「福岡市精神保健福祉センター」(12.7%)、「障がい者就労支援センター」(8.6%)の順となっている。

【発達】

利用割合が高い相談窓口としては、「あいあいセンター、西部療育センター、東部療育センター」(58.5%)、「福祉事務所、保健所」(49.6%)、「ゆうゆうセンター」(40.3%)の順となっている。

【難病】

利用割合が高い相談窓口としては、「保健福祉センター」(23.8%)、「福祉事務所」(20.3%)、「福岡市難病相談支援センター」(10.1%)の順となっている。

5. 今後の障がい者の生活や必要な支援について

(1) 今後(親なき後を含む)の暮らし

【身体】

回答割合が高い順に、「家族と一緒に暮らしたい」(38.8%)、「一人で暮らしたい」(19.3%)となっている。

【知的】

回答割合が高い順に、「グループホームなどの共同生活できるところで暮らしたい」(24.9%)、「家族と一緒に暮らしたい」(22.1%)となっている。

【児】

回答割合が高い順に、「グループホームなどの共同生活できるところで暮らす」(32.6%)、「一人で暮らす」(20.1%)、「障がい者施設に入所する」(16.4%)となっている。

【精神(通院)】

回答割合が高い順に、「家族と一緒に暮らしたい」(34.2%)、「一人で暮らしたい」(31.7%)となっている。

【発達】

回答割合が高い順に、「家族と一緒に暮らしたい」(28.7%)、「一人で暮らしたい」(27.9%)となっている。

【難病】

回答割合が高い順に、「家族と一緒に暮らしたい」(47.2%)、「一人で暮らしたい」(15.9%)となっている。

(2) 自宅やグループホームなどでの生活の必要条件

【身体】

回答割合が高い順に、「主治医や医療機関が近くにあること」(29.6%)、「調理や掃除、洗濯などの家事の手伝いを頼める人がいること」(29.2%)、「スーパーや銀行などの生活に必要な機関が近くにあること」(27.0%)となっている。

【知的】

回答割合が高い順に、「調理や掃除、洗濯などの家事の手伝いを頼める人がいること」(37.3%)、「仕事があること」(27.2%)、「家族と同居できること」(23.0%)となっている。

【児】

回答割合が高い順に、「仕事があること」(37.6%)、「お子さんの見守りを頼める人がいること」(34.4%)、「就労や生活の自立、機能の回復へ向けて訓練を受けられる施設に通えること」(26.3%)となっている。

【精神（通院）】

回答割合が高い順に、「仕事があること」(26.2%)、「主治医や医療機関が近くにあること」(25.8%)、「調理や掃除、洗濯などの家事の手伝いを頼める人がいること」(22.5%)となっている。

【精神（入院）】

退院後、地域で生活するために必要な支援としては、「訪問看護」(62.3%)、「家族や親戚などの身内」(49.2%)、「安心して暮らせる住まいの確保」(47.9%)の順で回答割合が高い。

【発達】

回答割合が高い順に、「仕事があること」(56.2%)、「地域や職場の人たちが障がいについて理解があること」(46.9%)、「地域で何でも相談できる相談員や相談窓口があること」(28.7%)となっている。

【難病】

回答割合が高い順に、「主治医や医療機関が近くにあること」(35.2%)、「スーパーや銀行などの生活に必要な機関が近くにあること」(25.6%)、「調理や掃除、洗濯などの家事の手伝いを頼める人がいること」(25.4%)となっている。

6. 災害対策について

【身体】

災害発生時に不安なこととしては、「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」(34.7%)、「一人では避難できない」(29.6%)、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」(27.5%)などの内容が上位に挙がっている。

また、災害発生時に頼れる人としては、「同居の家族」(51.7%)の回答割合が高い。

【知的】

災害発生時に不安なこととしては、「一人では避難できない」(48.6%)、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」(38.3%)、「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」(37.6%)などの内容が上位に挙がっている。

また、災害発生時に頼れる人としては、「同居の家族」(71.7%)の回答割合が高い。

【児】

災害発生時に不安なこととしては、「一人では避難できない」(69.8%)、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」(48.4%)、「避難所の設備が障がいに対応しているか不安」(46.6%)などの内容が上位に挙がっている。

また、災害発生時に頼れる人としては、「同居の家族」(84.2%)の回答割合が高い。

【精神（通院）】

災害発生時に不安なこととしては、「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」(38.8%)、「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」(23.1%)、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」(21.4%)などの内容が上位に挙がっている。

また、災害発生時に頼れる人としては、「同居の家族」(36.5%)の回答割合が高い。

【発達】

災害発生時に不安なこととしては、「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」(43.0%)、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」(32.6%)、「一人では避難できない」(31.0%)などの内容が上位に挙がっている。

また、災害発生時に頼れる人としては、「同居の家族」(87.6%)の回答割合が高い。

【難病】

災害発生時に不安なこととしては、「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」(44.8%)、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」(23.1%)、「一人では避難できない」(20.4%)などの内容が上位に挙がっている。

また、災害発生時に頼れる人としては、「同居の家族」(59.5%)の回答割合が高い。

7. 障がい者に対する差別について

【身体】

全体の13.6%が直近2～3年の間に差別を受けたり、いやな経験をしたことが「ある」と回答している。その内容としては、「バス、電車、タクシーの乗員の対応」(27.1%)が最も回答割合が高い。

【知的】

全体の37.8%が直近2～3年の間に差別を受けたり、いやな経験をしたことが「ある」と回答している。その内容としては、「バス、電車、タクシーの乗員の対応」(28.1%)が最も回答割合が高い。

【児】

全体の44.4%が直近2～3年の間に差別を受けたり、いやな経験をしたことが「ある」と回答している。その内容としては、「入所・通所している施設、学校等の職員及び児童生徒の対応」(39.0%)が最も回答割合が高い。

【精神（通院）】

全体の24.4%が直近2～3年の間に差別を受けたり、いやな経験をしたことが「ある」と回答している。その内容としては、「近所の人達の対応で不愉快な思いをした」(22.2%)が最も回答割合が高い。

【発達】

全体の46.1%が直近2～3年の間に差別を受けたり、いやな経験をしたことが「ある」と回答している。その内容としては、「学校、職場、施設などで不当な扱いを受けた」(41.2%)が最も回答割合が高い。

【難病】

全体の12.4%が直近2～3年の間に差別を受けたり、いやな経験をしたことが「ある」と回答している。その内容としては、「疾患を理由とした不採用や解雇」「学校、職場、施設などで不当な扱いを受けた」(ともに22.0%)が最も回答割合が高い。

8. 障がい者支援として望むこと

(1) 障がい者施策として行政に力を入れてほしいこと

【身体】

回答割合が高い順に、「年金など所得保障の充実」(40.9%)、「障がい者に配慮した保健、医療体制及び医療費公費負担制度の充実」(36.7%)となっている。

【知的】

回答割合が高い順に、「年金など所得保障の充実」(38.9%)、「障がい者に配慮した保健、医療体制及び医療費公費負担制度の充実」(30.1%)となっている。

【児】

回答割合が高い順に、「特別支援教育の充実」(37.8%)、「乳幼児期から成人期までの支援を一貫して実施できる仕組みづくり」(34.1%)となっている。

【精神（通院）】

回答割合が高い順に、「年金など所得保障の充実」(33.7%)、「障がい者に配慮した保健、医療体制及び医療費公費負担制度の充実」(31.0%)となっている。

【発達】

回答割合が高い順に、「就労支援の充実」(40.3%)、「乳幼児期から成人期までの支援を一貫して実施できる仕組みづくり」(35.7%)となっている。

【難病】

回答割合が高い順に、「障がい者に配慮した保健、医療体制及び医療費公費負担制度の充実」(48.6%)、「年金など所得保障の充実」(43.4%)となっている。

9. 障がい者への福祉サービスを提供する事業所等の状況

(1) 事業所の概要

提供サービス別の事業所数は、「居宅介護」(32.8%)、「移動支援」(21.7%)、「重度訪問介護」(21.2%)の順が多い。

また、職員数の平均は12.7人となっている。

(2) 不足している社会資源や課題等

【相談支援事業】

不足している社会資源については、「医療ケアが可能な短期入所施設」(40.8%)、「グループホーム」(36.7%)、「障がい者が入居できる住まい」(30.8%)の順で回答割合が高くなっている。

また、事業実施上の課題としては、「障がい者のニーズに十分対応できない」(50.0%)、「相談支援専門員の人数が不足している」(35.0%)、「困難事例の処遇をどのようにしたらよいかわからない」(32.5%)が上位に挙がっている。

相談支援の発展のために必要なこととして多く挙げられたのは、「専門機関やサービス事業所等とのネットワークの形成」(55.8%)、「相談支援専門員のスキルを研修により向上させること」(50.0%)、「不足している支援や社会資源を開発・改善していく仕組みを整えること」(49.2%)となっている。

【居宅介護等事業】

居宅介護等事業所で取り組むべきこととしては、「職場内での人材育成・教育の充実」(35.6%)、「他の居宅介護事業者や相談支援事業所との連携」(20.2%)、「従業員の労働条件」(18.1%)の順となっている。

【行動援護・同行援護・移動支援事業】

行動援護・同行援護・移動支援で認めるべきサービスとしては、「通年かつ長期にわたる外出(通園、通学、施設・作業所への通所等)」(51.7%)が最も高い回答割合となっている。

また、行動援護の実施にあたる困難としては、「要件を満たすヘルパーが集まらない」(66.7%)と回答した事業所が多い。

【施設事業】

不足している社会資源については、「グループホーム」(48.9%)、「障がい者が入居できる住まい」(35.4%)、「連携できる医師・医療機関」(27.8%)の順で回答割合が高くなっている。

また、サービス提供上の課題としては、「職員の確保、人材育成」(67.1%)、「利用者の高齢化」(35.0%)、「工賃水準の向上」(29.5%)が上位に挙がっている。

施設入所者が地域(在宅)で暮らしていくために必要な条件として多く挙げられたのは、「保健・医療・福祉が連携した支援体制があること」(45.6%)、「身近なところで様々な相談ができること」(43.0%)、「障がい者が入居できる民間住宅(アパート等)があること」(38.8%)となっている。

(3) 障がい者福祉施策として行政に力を入れてほしいこと

回答割合の高い順に、「グループホームなどの地域で共同生活できる住まいの整備」(44.7%)、

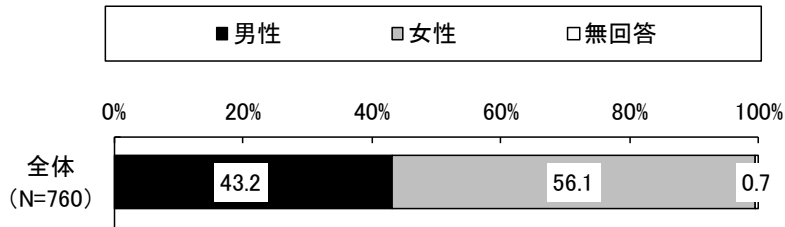
「障がい者に対する社会全体の理解を深めるための啓発や教育の充実」(30.6%)、

「困ったときにいつでも専門職員が相談に応じてくれる体制の充実」(28.5%)となっている。

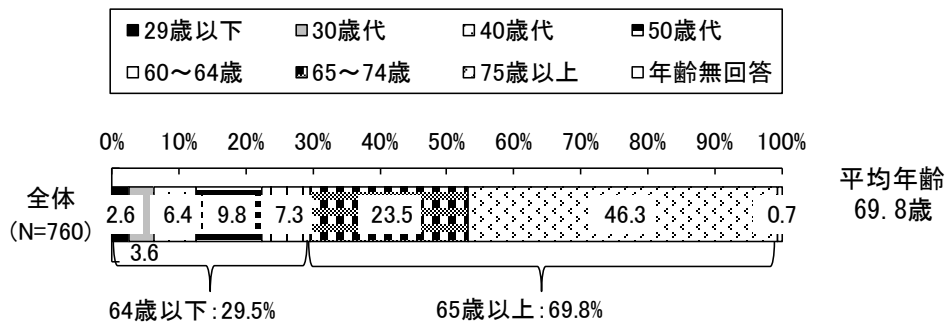
第4章 身体障がい者調査

1. 基本属性

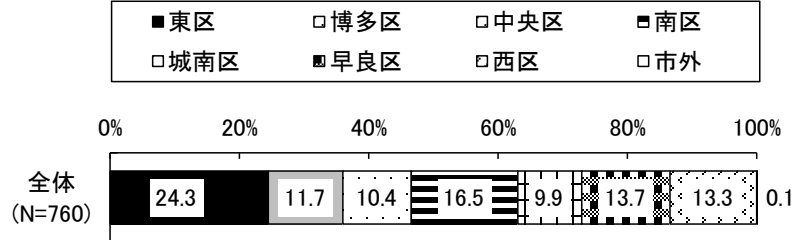
【図表4-1 性別】



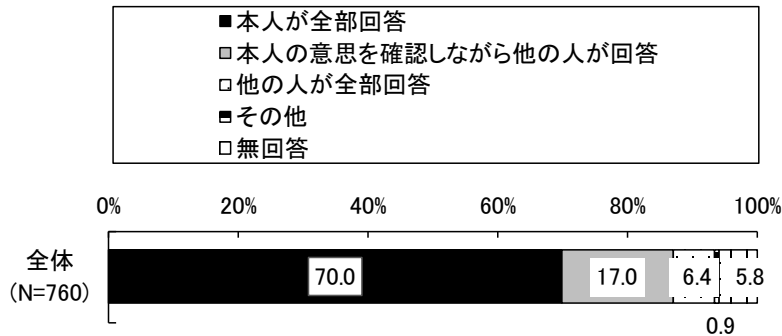
【図表4-2 年齢】



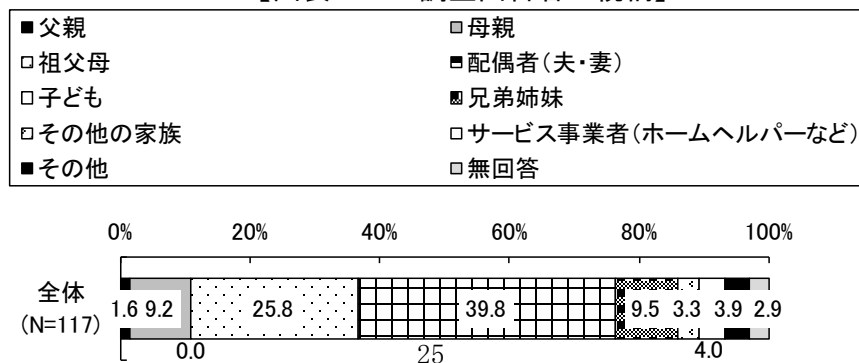
【図表4-3 居住地区】



【図表4-4 調査の回答者】



【図表4-5 調査回答者の続柄】

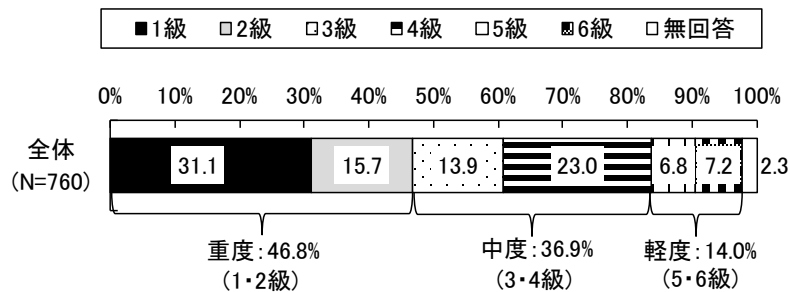


2. 障がいの状況について

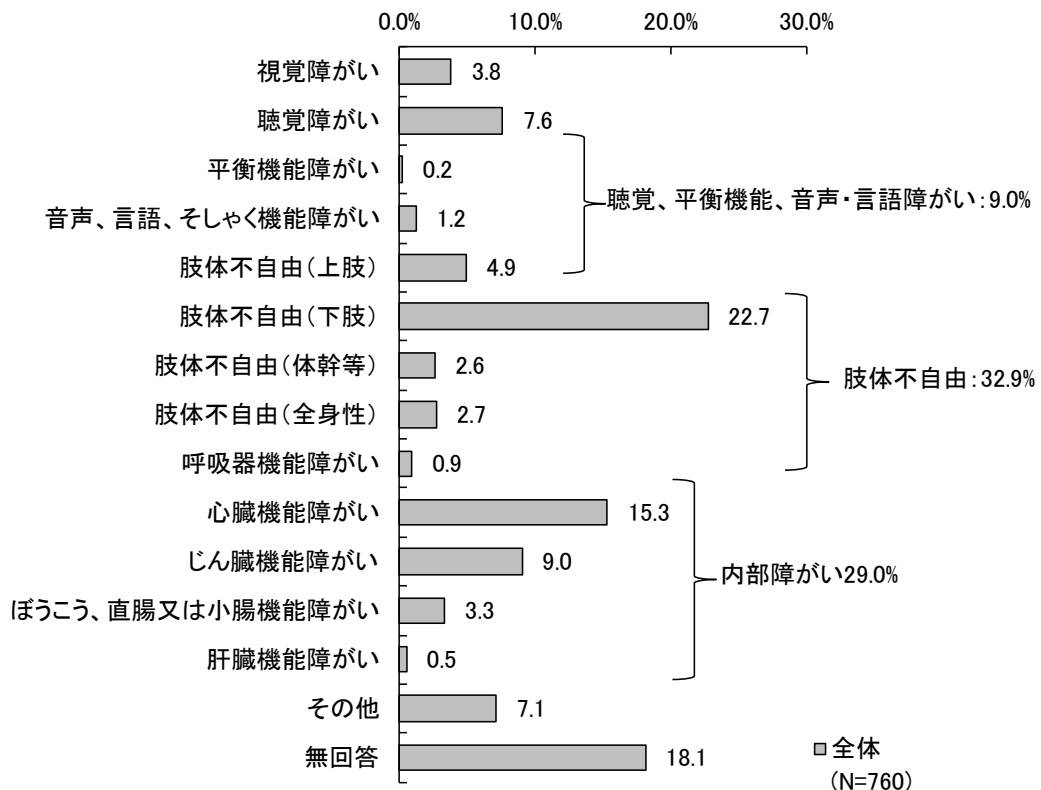
- ・年齢詳細別に手帳等級をみると、各年代とも「重度（1・2級）」が4～6割台を占め最も多く、特に29歳以下では66.7%と高くなっている。【図表4-8】
- ・年齢詳細別に主な身体障がいの部位（大分類）をみると、全体では「肢体不自由」と「内部障がい」が3割前後で拮抗しているが、50歳代は「肢体不自由」が39.8%と高い。【図表4-9】
- ・重複する障がいの有無をみると、回答者の5割程度（53.8%）は主な障がい以外に重複する障がいはないと回答している。重複の状況をみると、肢体不自由において「上肢」「下肢」「体幹等」の部位別の肢体不自由を重複している人の割合が高くなっている。【図表4-10】
- ・療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所有の有無をみると、身体障がい者の3.1%が療育手帳、3.1%が精神障害者保健福祉手帳を持っている。【図表4-11、図表4-12】

(1) 身体障害者手帳の等級、身体障がいの部位

【図表4-6 身体障害者手帳の等級】



【図表4-7 主な身体障がいの部位】



【図表4-8 年齢詳細別 身体障害者手帳の等級】(%)

	調査数(人)	障がい者手帳の等級							調査数(人)	身体障がい者手帳の等級(集約)				
		1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答		(1・2級)	(3・4級)	(5・6級)	無回答	
全体	760	31.1	15.7	13.9	23.0	6.8	7.2	2.3	760	46.8	36.9	14.0	2.3	
区分2	64歳以下	225	33.8	19.7	14.8	15.0	8.0	8.8	-	225	53.5	29.8	16.8	-
	65歳以上	530	30.3	14.0	13.4	26.5	6.1	6.6	3.1	530	44.3	39.9	12.7	3.1
	無回答	5	-	20.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0	5	20.0	40.0	20.0	20.0
全体	760	31.1	15.7	13.9	23.0	6.8	7.2	2.3	760	46.8	36.9	14.0	2.3	
年齢詳細	29歳以下	19	38.9	27.8	9.3	9.3	11.1	3.7	-	19	66.7	18.6	14.8	-
	30歳代	28	33.8	22.5	12.7	15.5	8.5	7.0	-	28	56.3	28.2	15.5	-
	40歳代	48	38.7	20.0	12.0	9.3	10.7	9.3	-	48	58.7	21.3	20.0	-
	50歳代	74	33.3	16.7	19.2	14.1	6.4	10.3	-	74	50.0	33.3	16.7	-
	60~64歳	55	28.2	19.2	14.1	23.1	6.4	9.0	-	55	47.4	37.2	15.4	-
	65~74歳	178	30.6	14.4	11.9	27.5	5.0	8.1	2.5	178	45.0	39.4	13.1	2.5
	75歳以上	352	30.1	13.8	14.2	25.9	6.7	5.9	3.3	352	43.9	40.1	12.6	3.3
	無回答	5	-	20.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0	5	20.0	40.0	20.0	20.0

【図表4-9 年齢(2区分、詳細)別 主な身体障がいの部位】(%)

	調査数(人)	主な身体障がいの部位														無回答	
		視覚障がい	聴覚障がい	平衡機能障がい	いしややく機能障がい	音声、言語、そ	肢(上)	肢(下)	肢(体)	幹(体)	身(性)	呼吸器機能障がい	心臓機能障がい	じん臓機能障がい	がいはう小腸、直腸		ぼうこう、直腸
全体	760	3.8	7.6	0.2	1.2	4.9	22.7	2.6	2.7	0.9	15.3	9.0	3.3	0.5	7.1	18.1	
区分2	64歳以下	225	4.7	8.5	0.2	0.6	4.5	23.0	2.7	1.5	0.3	11.9	12.0	1.8	0.9	6.2	21.1
	65歳以上	530	3.4	7.3	0.3	1.3	5.2	22.6	2.6	3.2	1.1	16.9	7.9	4.0	0.3	7.6	16.4
	無回答	5	-	-	-	20.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	60.0
全体	760	3.8	7.6	0.2	1.2	4.9	22.7	2.6	2.7	0.9	15.3	9.0	3.3	0.5	7.1	18.1	
年齢詳細	29歳以下	19	1.9	11.1	-	-	7.4	16.7	7.4	3.7	-	5.6	11.1	-	1.9	5.6	27.8
	30歳代	28	2.8	11.3	1.4	-	5.6	14.1	2.8	2.8	-	14.1	9.9	1.4	1.4	5.6	26.8
	40歳代	48	1.3	8.0	-	1.3	4.0	24.0	1.3	4.0	1.3	8.0	10.7	4.0	1.3	5.3	25.3
	50歳代	74	5.1	7.7	-	-	5.1	32.1	2.6	-	-	12.8	14.1	1.3	-	5.1	14.1
	60~64歳	55	9.0	7.7	-	1.3	2.6	16.7	2.6	-	-	15.4	11.5	1.3	1.3	9.0	21.8
	65~74歳	178	4.4	6.9	-	0.6	6.3	22.5	1.9	3.8	-	13.1	11.9	4.4	-	9.4	15.0
	75歳以上	352	2.9	7.5	0.4	1.7	4.6	22.6	2.9	2.9	1.7	18.8	5.9	3.8	0.4	6.7	17.2
	無回答	5	-	-	-	20.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	60.0

	調査数(人)	主な身体障がいの部位(集約)					無回答	
		視覚障がい	聴覚、平衡機能障がい	肢(体)不自由	内部障がい	その他		
全体	760	3.8	9.0	32.9	29.0	7.1	18.1	
区分2	64歳以下	225	4.9	9.3	31.7	26.9	6.2	21.1
	65歳以上	530	3.4	8.9	33.6	30.2	7.6	16.4
	無回答	5	-	20.0	20.0	-	-	60.0
全体	760	3.8	9.0	32.9	29.0	7.1	18.1	
年齢詳細	29歳以下	19	-	11.1	35.2	18.6	5.3	31.6
	30歳代	28	3.6	12.7	25.3	26.8	5.6	26.8
	40歳代	48	2.1	9.3	33.3	25.3	5.3	25.3
	50歳代	74	5.4	7.7	39.8	28.2	5.1	14.1
	60~64歳	55	9.1	9.0	21.9	29.5	9.0	21.8
	65~74歳	178	4.5	7.5	34.5	29.4	9.4	15.0
	75歳以上	352	2.8	9.6	33.0	30.6	6.7	17.2
	無回答	5	-	20.0	20.0	-	-	60.0

第4章 身体障がい者調査

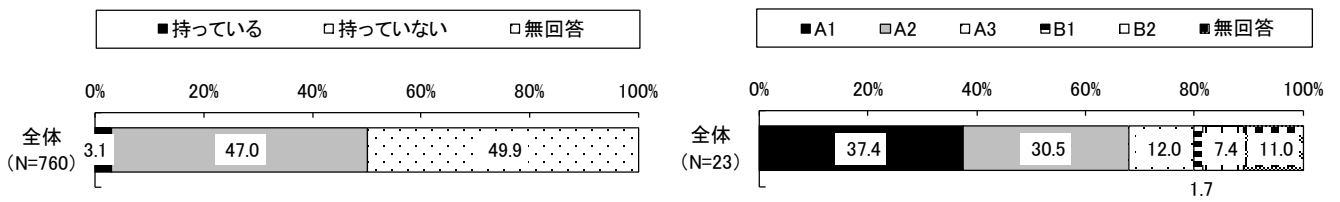
【図表4-10 主な身体障がいと重複する障がいの関係】(%)

	調査数(人)	重複する障がい													
		視覚障がい	聴覚障がい	平衡機能障がい	音声、言語、 しゃく機能障がい	肢体不自由(上)	肢体不自由(下)	等肢体不自由(体幹)	性肢体不自由(全身)	呼吸器機能障がい	心臓機能障がい	じん臓機能障がい	ぼうこう、直腸又は小腸機能障がい	肝臓機能障がい	
全体	760	1.2	2.5	0.7	2.9	4.3	6.6	3.0	1.4	0.8	1.8	1.3	1.8	0.8	
主な身体障がいの部位	視覚障がい	29	-	3.9	-	3.3	5.1	7.6	2.5	2.5	-	-	6.7	-	-
	聴覚障がい	58	2.5	2.5	1.2	8.7	2.5	7.6	-	-	-	3.8	-	1.2	2.5
	平衡機能障がい	2	-	-	-	-	79.1	79.1	-	79.1	-	-	-	-	-
	音声、言語、 そしゃく機能障がい	9	-	-	-	-	-	15.7	-	-	-	-	27.6	-	-
	肢体不自由(上肢)	37	1.9	-	-	6.9	-	40.1	6.9	3.9	-	10.8	-	-	-
	肢体不自由(下肢)	172	2.0	6.3	0.2	0.8	11.4	-	6.0	1.2	0.6	1.6	-	4.4	1.1
	肢体不自由(体幹等)	20	-	-	16.6	7.4	5.4	27.6	-	7.4	7.4	7.4	-	9.2	-
	肢体不自由(全身性)	20	1.8	-	-	21.6	7.2	10.4	14.4	-	7.2	-	3.2	-	-
	呼吸器機能障がい	7	-	-	-	22.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	心臓機能障がい	116	0.9	3.5	-	1.6	2.5	8.3	0.3	-	1.8	-	4.0	0.8	1.3
	じん臓機能障がい	69	2.6	2.1	1.6	1.6	2.1	9.0	0.5	-	-	1.6	-	1.0	-
	ぼうこう、直腸又は小腸機能障がい	25	-	-	-	2.6	5.9	8.5	-	-	-	-	-	-	-
	肝臓機能障がい	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	54	-	-	-	2.5	-	-	9.4	5.9	-	4.0	-	3.4	2.7	
無回答	138	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

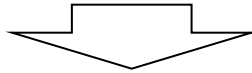
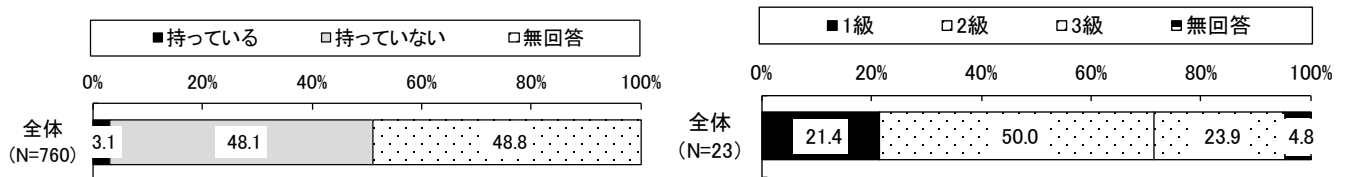
	調査数(人)	重複する障がい								
		知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次脳機能障がい	難病	その他	主な障がい以外は	無回答	
全体	760	2.1	1.8	0.5	1.1	3.3	3.3	53.8	19.3	
主な身体障がいの部位	視覚障がい	29	-	3.4	-	-	3.4	-	79.3	-
	聴覚障がい	58	1.7	1.7	-	-	-	1.7	67.2	3.4
	平衡機能障がい	2	-	-	-	-	-	50.0	-	-
	音声、言語、 そしゃく機能障がい	9	11.1	-	-	-	-	11.1	44.4	-
	肢体不自由(上肢)	37	-	2.7	-	5.4	13.5	2.7	40.5	-
	肢体不自由(下肢)	172	2.3	2.9	1.2	-	3.5	2.3	66.3	0.6
	肢体不自由(体幹等)	20	5.0	5.0	5.0	-	20.0	5.0	45.0	-
	肢体不自由(全身性)	20	10.0	-	-	10.0	20.0	10.0	35.0	5.0
	呼吸器機能障がい	7	-	-	-	-	-	-	71.4	-
	心臓機能障がい	116	1.4	-	-	-	2.9	1.4	76.8	-
	じん臓機能障がい	69	2.9	1.4	1.4	1.4	1.4	8.7	-	-
	ぼうこう、直腸又は小腸機能障がい	25	4.0	-	-	-	-	12.0	76.0	-
	肝臓機能障がい	4	-	-	-	-	-	-	100.0	-
その他	54	7.4	5.6	-	3.7	1.9	7.4	53.7	11.1	
無回答	138	-	0.7	-	-	-	-	-	99.3	

(2) 知的障がい、精神障がいとの重複状況

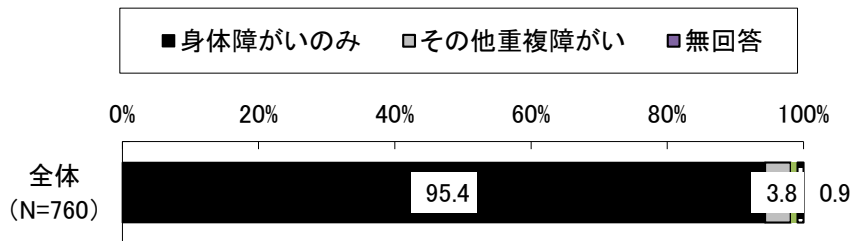
【図表4-11 療育手帳の有無・判定】



【図表4-12 精神障害者保健福祉手帳の有無・等級】

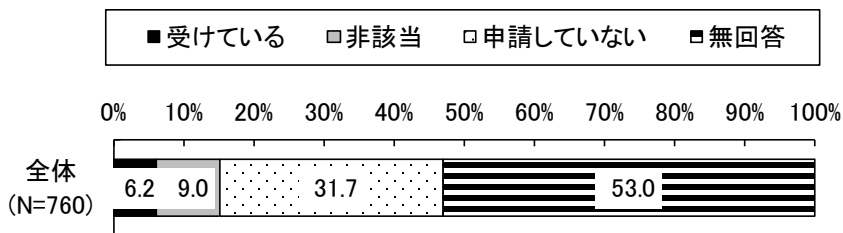


【図表4-13 障がいの状況】

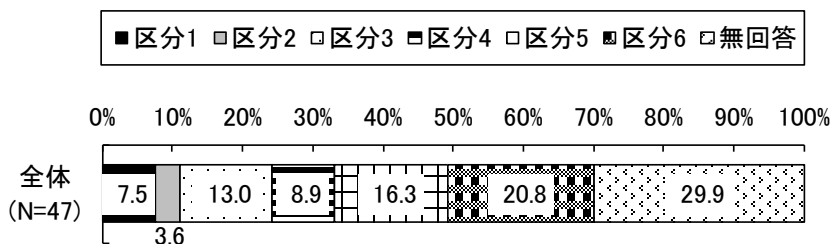


(3) 障がい支援区分の認定状況、判定

【図表4-14 障がい支援区分の認定状況】

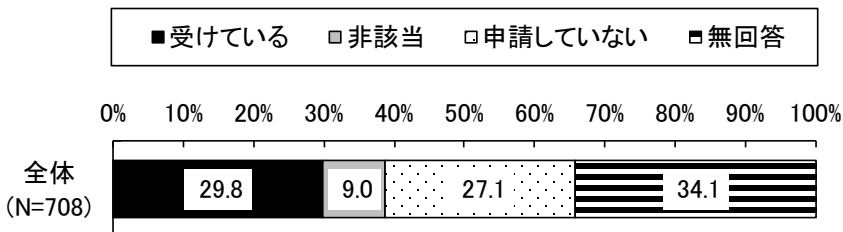


【図表4-15 障がい支援区分の判定】

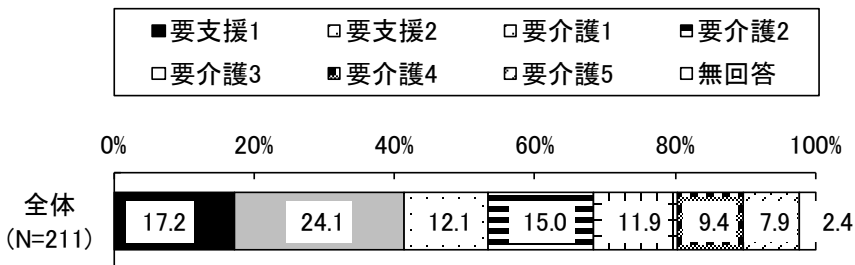


(4) 要介護認定の認定状況、判定 (40歳以上)

【図表4-16 要介護認定の認定状況】



【図表4-17 要介護認定の判定】

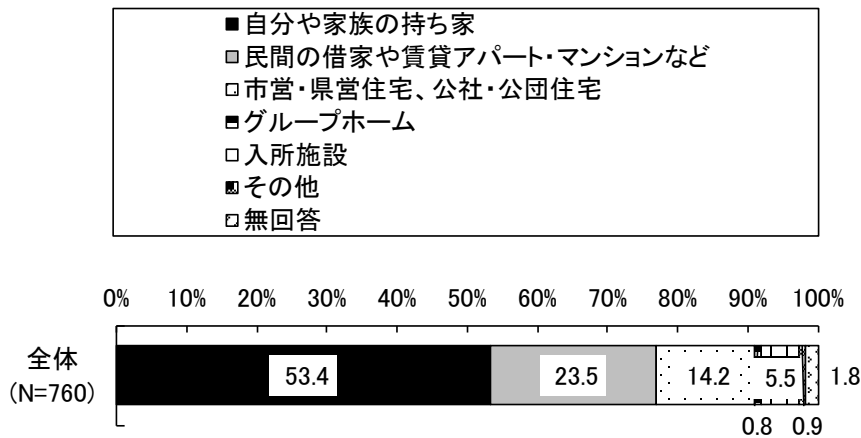


3. 生活状況について

- ・同居家族の状況を年齢詳細別にみると、30歳代までは「二世帯同居（親と本人）」、40歳代では「二世帯同居（子と本人）」の割合が高く、50歳代では「一人暮らし」と「二世帯同居（子と本人）」が同率、60歳代以上では「夫婦のみ」の割合が高くなっている。【図表4-21】
- ・介助が必要な人について、主な介助者を年齢詳細別にみると、29歳以下では「母親」（48.1％）の割合が高く、およそ半数を占めている。一方、65歳以上では「配偶者」の割合が他に比べてやや高くなっている。【図表4-24】
- ・主な介助者の年齢を障がい者本人の年齢2区分別にみると、64歳以下の障がい者の介助者は「50歳代」（31.3％）の割合が高くなっている。一方、65歳以上の障がい者の介助者は、「75歳以上」（36.8％）の割合が高くなっている。【図表4-25】

(1) 住まいの形態

【図表4-18 住まいの形態】

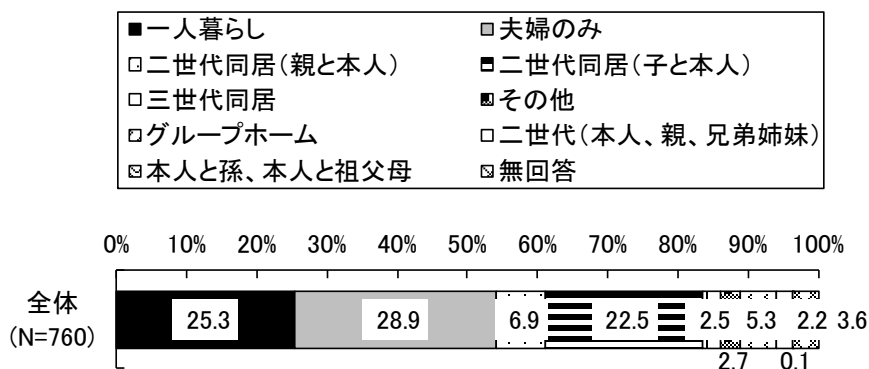


【図表4-19 年齢詳細別 住まいの形態】 (%)

	調査数 (人)	住まいの形態							
		自分や家族の持ち家	民間の借家や賃貸アパート・マンションなど	市営・県営住宅、公社・公団住宅	グループホーム	入所施設	その他	無回答	
全体	760	53.4	23.5	14.2	0.8	5.5	0.9	1.8	
年齢詳細	29歳以下	19	63.0	27.8	3.7	-	-	1.9	3.7
	30歳代	28	46.5	36.6	12.7	4.2	-	-	-
	40歳代	48	42.7	44.0	9.3	-	1.3	1.3	1.3
	50歳代	74	41.0	42.3	16.7	-	-	-	-
	60～64歳	55	53.8	23.1	16.7	-	2.6	2.6	1.3
	65～74歳	178	51.3	23.8	18.8	1.3	1.3	0.6	3.1
	75歳以上	352	59.0	15.1	12.6	0.8	10.0	0.8	1.7
	無回答	5	20.0	40.0	-	-	40.0	-	-

(2) 同居家族の状況

【図表4-20 世帯状況】

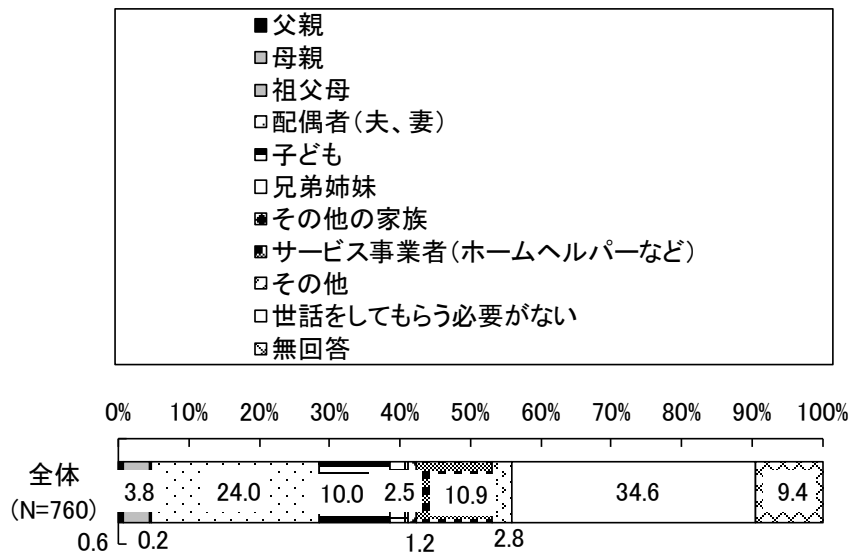


【図表4-21 年齢詳細別 世帯状況】 (%)

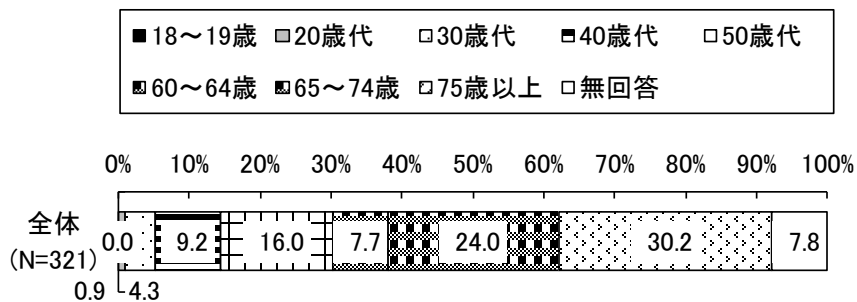
	調査数 (人)	世帯状況										
		一人暮らし	夫婦のみ	二世帯同居 (親と本人)	二世帯同居 (子と本人)	三世帯同居	その他	グループホーム	姉妹 (二世代 (本人、親、兄弟))	本人と孫、本人と祖父母	無回答	
全体	760	25.3	28.9	6.9	22.5	2.5	2.7	5.3	2.2	0.1	3.6	
年齢詳細	29歳以下	19	9.3	1.9	46.3	1.9	7.4	-	-	27.8	1.9	3.7
	30歳代	28	19.7	12.7	29.6	21.1	-	-	4.2	11.3	-	1.4
	40歳代	48	24.0	4.0	22.7	30.7	2.7	4.0	1.3	8.0	1.3	1.3
	50歳代	74	28.2	21.8	12.8	28.2	5.1	1.3	-	2.6	-	-
	60~64歳	55	28.2	37.2	7.7	14.1	3.8	5.1	1.3	-	-	2.6
	65~74歳	178	24.4	36.3	4.4	19.4	3.1	5.0	1.9	1.3	-	4.4
	75歳以上	352	26.4	31.8	0.8	24.3	1.3	1.7	9.2	-	-	4.6
	無回答	5	20.0	20.0	-	20.0	-	-	40.0	-	-	-

(3) 主な介助者の状況

【図表4-22 主な介助者】



【図表4-23 主な介助者（サービス事業者、その他以外）の年齢】



【図表4-24 年齢詳細別、手帳等級別 主な介助者】(%)

	調査数(人)	主な介助者											
		父親	母親	祖父母	配偶者(夫、妻)	子ども	兄弟姉妹	その他の家族	施設などの支援員など	サービス事業者(ホームヘルパー、グループホーム、入所)	その他	世話をしてもらう必要がない	無回答
全体	760	0.6	3.8	0.2	24.0	10.0	2.5	1.2	10.9	2.8	34.6	9.4	
年齢詳細	29歳以下	19	1.9	48.1	1.9	1.9	-	-	1.9	-	38.9	5.6	
	30歳代	28	4.2	16.9	-	8.5	-	-	7.0	-	60.6	2.8	
	40歳代	48	2.7	18.7	-	13.3	1.3	2.7	1.3	4.0	2.7	49.3	4.0
	50歳代	74	-	5.1	1.3	21.8	3.8	6.4	-	5.1	5.1	42.3	9.0
	60~64歳	55	-	1.3	-	20.5	2.6	3.8	-	5.1	6.4	53.8	6.4
	65~74歳	178	-	0.6	-	30.0	10.6	1.9	0.6	3.8	3.8	38.8	10.0
	75歳以上	352	0.4	-	-	25.9	14.6	2.1	2.1	18.0	1.7	23.8	11.3
	無回答	5	-	-	-	20.0	20.0	-	-	40.0	-	20.0	-
全体	760	0.6	3.8	0.2	24.0	10.0	2.5	1.2	10.9	2.8	34.6	9.4	
手帳等級	重度(1・2級)	356	0.7	5.8	-	24.0	9.1	3.4	1.1	12.7	2.0	30.6	10.6
	中度(3・4級)	280	0.1	1.7	0.5	26.8	10.7	1.2	1.3	8.7	3.4	35.9	9.8
	軽度(5・6級)	106	1.4	3.2	-	17.9	9.9	3.2	1.4	4.8	4.4	49.1	4.9
	無回答	17	-	-	-	17.1	21.5	-	-	46.4	-	8.5	6.5

【図表4-25 年齢(2区分、詳細)別、手帳等級別 主な介助者の年齢】(%)

	調査数(人)	主な介助者の年齢								無回答
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	65歳代	70歳代	75歳以上	
全体	321	0.9	4.3	9.2	16.0	7.7	24.0	30.2	7.8	
年齢区分2	64歳以下	82	3.5	5.5	16.4	31.3	13.5	15.3	10.6	3.9
	65歳以上	237	-	3.9	6.7	10.4	5.8	27.2	36.8	9.2
	無回答	2	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-
全体	321	0.9	4.3	9.2	16.0	7.7	24.0	30.2	7.8	
年齢詳細	29歳以下	10	3.4	-	17.2	62.1	13.8	-	-	3.4
	30歳代	8	-	14.3	9.5	19.0	14.3	28.6	-	14.3
	40歳代	19	3.3	-	26.7	16.7	3.3	33.3	16.7	-
	50歳代	29	6.7	6.7	20.0	33.3	10.0	3.3	16.7	3.3
	60~64歳	16	-	9.1	-	31.8	31.8	18.2	4.5	4.5
	65~74歳	78	-	10.0	12.9	1.4	10.0	48.6	10.0	7.1
	75歳以上	159	-	0.9	3.7	14.8	3.7	16.7	50.0	10.2
	無回答	2	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-
全体	321	0.9	4.3	9.2	16.0	7.7	24.0	30.2	7.8	
手帳等級	重度(1・2級)	157	0.8	3.7	9.8	17.7	7.3	22.9	28.8	8.9
	中度(3・4級)	118	0.5	3.0	9.1	13.1	6.7	25.7	33.9	8.0
	軽度(5・6級)	39	2.4	5.6	8.4	17.0	13.7	27.1	22.1	3.8
	無回答	7	-	33.5	-	22.2	-	-	44.3	-

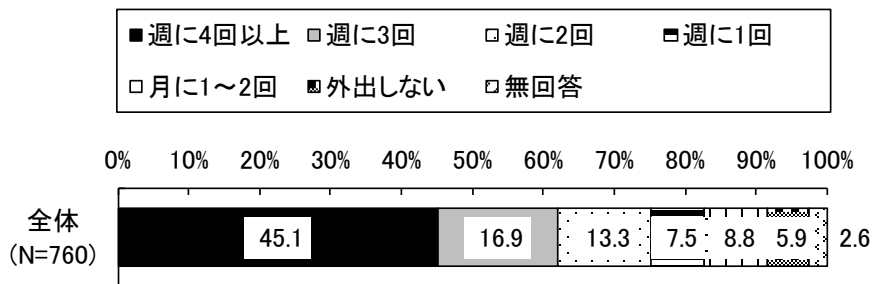
4. 外出の状況について

- ・外出の頻度を年齢詳細別にみると、「週に4回以上」の多頻度外出者の割合は、30歳代以下で8割台、40～50歳代で7割台みられるが、60～64歳で60.3%、65～74歳で45.6%に減少し、75歳以上では27.6%に留まっている。【図表4-27】
- ・外出に不便や困難を感じることは「歩道に段差が多い」(35.3%)が最も高く、次いで「歩行者や走行自転車のマナーの悪さ」(34.6%)、「歩道がない道路に危険を感じる」(29.3%)の順となっている。障がい部位別にみると、視覚障がい者は「障がい者が安心して利用できる交通機関が少ない」(24.2%)、「信号の変化がわかりにくく、危険を感じる」(20.3%)が他の障がい部位に比べて高くなっている。【図表4-33】

(1) 外出の頻度

問9 あなたは、通勤や通学、通所、買い物、通院、レジャーなどの外出を1ヶ月にどのくらいしていますか。付き添い者と一緒に外出する場合も含めてお答えください。
(○は1つだけ)

【図表4-26 外出の頻度】



【図表4-27 年齢詳細別、障がい部位別 外出の頻度】 (%)

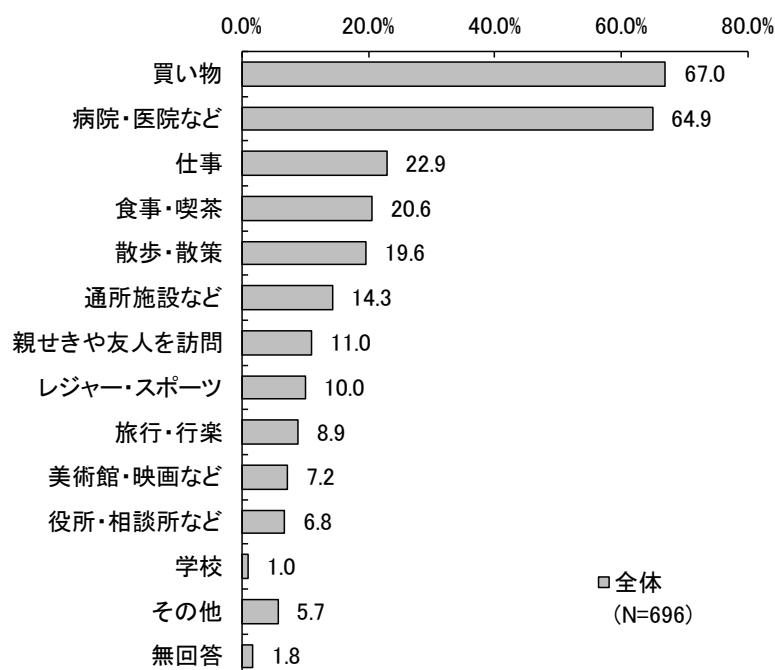
	調査数 (人)	外出の頻度							
		週に4回以上	週に3回	週に2回	週に1回	月に1～2回	外出しない	無回答	
全体	760	45.1	16.9	13.3	7.5	8.8	5.9	2.6	
年齢詳細	29歳以下	19	81.5	5.6	-	5.6	5.6	-	1.9
	30歳代	28	84.5	4.2	5.6	1.4	4.2	-	-
	40歳代	48	74.7	8.0	4.0	4.0	5.3	2.7	1.3
	50歳代	74	71.8	11.5	3.8	3.8	7.7	1.3	-
	60～64歳	55	60.3	15.4	12.8	5.1	2.6	2.6	1.3
	65～74歳	178	45.6	21.3	10.0	6.9	8.1	3.1	5.0
	75歳以上	352	27.6	18.8	19.7	10.0	11.3	10.0	2.5
	無回答	5	40.0	20.0	20.0	-	20.0	-	-
全体	760	45.1	16.9	13.3	7.5	8.8	5.9	2.6	
障がい部位	視覚障害	29	49.8	20.0	12.7	3.3	5.1	5.1	3.9
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	69	43.7	10.9	21.8	3.5	12.5	5.4	2.1
	肢体不自由	250	45.4	16.7	12.8	9.9	6.5	5.9	2.8
	内部障がい	220	46.8	20.4	12.2	5.6	7.5	5.0	2.5
	その他	54	37.6	14.0	24.8	2.0	12.9	6.7	2.1
	無回答	138	44.3	15.0	7.5	11.0	12.7	7.2	2.3

(2) 主な外出先

[問9で「1」～「5」を選ばれた方におたずねします]

問9-1 どのようなところに外出することが多いですか。(○はあてはまるものすべて)

【図表4-28 主な外出先】



【図表4-29 年齢2区分別、手帳等級別 主な外出先】 (%)

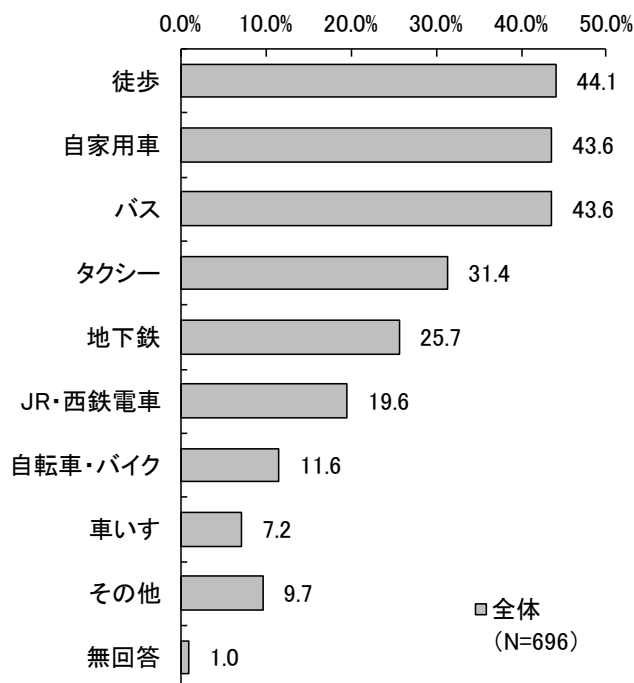
	調査数 (人)	主な外出先														
		買い物	病院・医院など	仕事	食事・喫茶	散歩・散策	通所施設など	親せきや友人を訪問	レジャー・スポーツ	旅行・行楽	美術館・映画など	役所・相談所など	学校	その他	無回答	
全体	696	67.0	64.9	22.9	20.6	19.6	14.3	11.0	10.0	8.9	7.2	6.8	1.0	5.7	1.8	
年齢区分	64歳以下	220	71.4	52.3	54.7	31.3	17.9	11.0	15.2	10.6	14.9	12.9	7.9	3.0	3.8	1.1
	65歳以上	471	65.1	70.8	8.3	15.8	20.4	15.7	9.1	9.9	6.1	4.6	6.3	-	6.4	2.2
	無回答	5	60.0	60.0	-	-	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-	20.0	-
全体	696	67.0	64.9	22.9	20.6	19.6	14.3	11.0	10.0	8.9	7.2	6.8	1.0	5.7	1.8	
手帳等級	重度(1・2級)	323	61.5	63.6	21.8	20.3	18.1	16.6	9.5	7.3	7.2	7.3	5.5	1.1	4.7	1.7
	中度(3・4級)	260	72.2	68.6	21.5	20.5	22.3	11.7	11.9	13.9	10.5	7.0	8.6	0.3	5.5	0.9
	軽度(5・6級)	101	72.6	56.9	32.4	21.7	18.5	12.6	13.4	9.8	10.9	8.4	6.2	2.3	7.4	5.1
	無回答	12	56.8	87.4	-	22.1	12.6	22.1	9.5	-	-	-	9.5	-	21.1	-

(3) 外出時の移動手段

[問9で「1」～「5」を選ばれた方におたずねします]

問9-2 どのような移動手段を使って外出しますか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表4-30 外出時の移動手段】



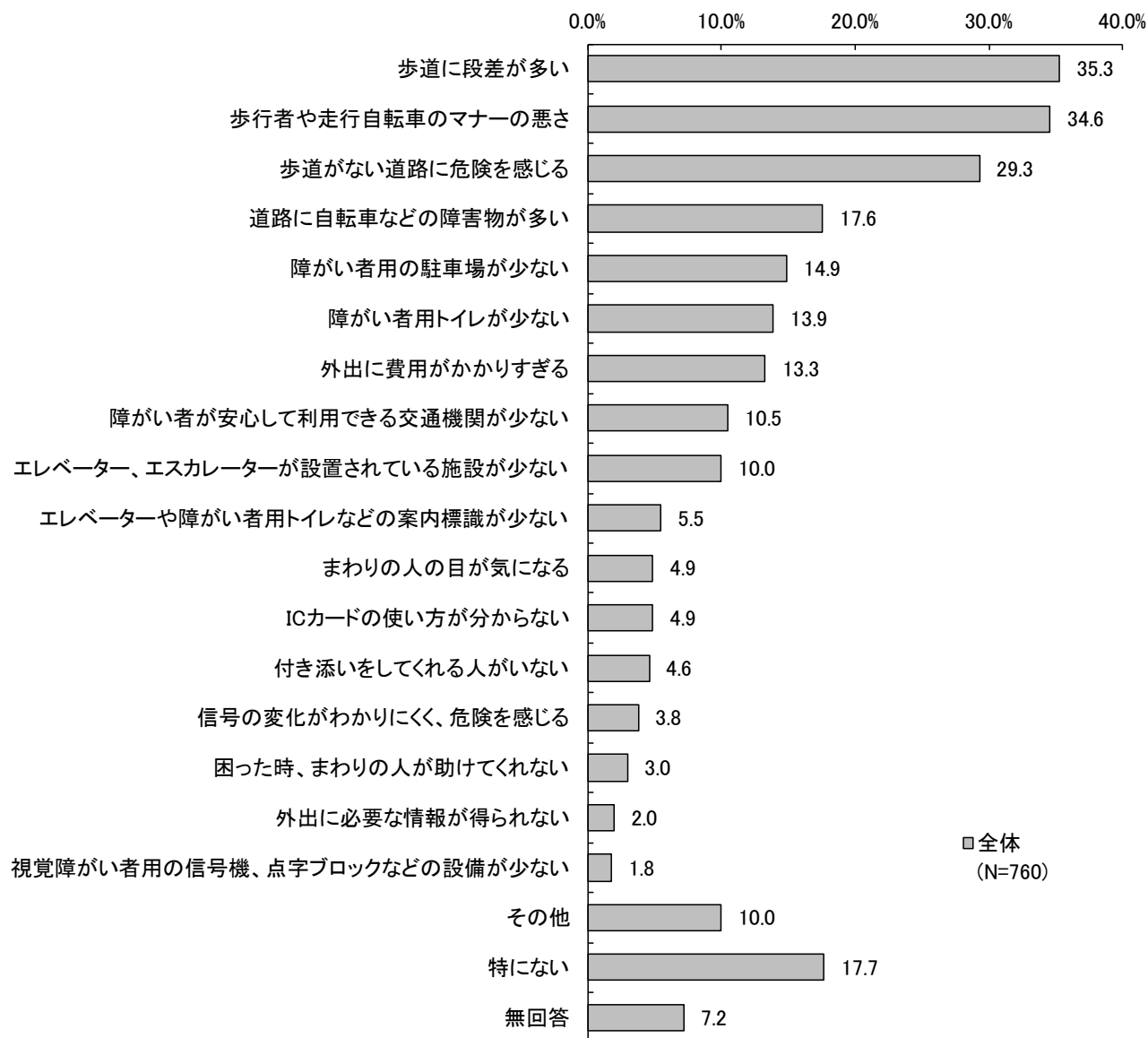
【図表4-31 年齢2区分別、手帳等級別、障がい部位別 外出時の移動手段】 (%)

	調査数 (人)	外出時の移動手段										
		徒歩	自家用車	バス	タクシー	地下鉄	JR・西鉄電車	自転車・バイク	車いす	その他	無回答	
全体	696	44.1	43.6	43.6	31.4	25.7	19.6	11.6	7.2	9.7	1.0	
年齢区分	64歳以下	220	52.8	54.4	49.9	21.0	38.0	32.2	17.4	5.4	4.4	0.6
	65歳以上	471	40.1	38.6	41.0	36.3	20.2	14.0	8.9	8.1	12.1	1.2
	無回答	5	40.0	40.0	20.0	20.0	-	-	20.0	-	20.0	-
全体	696	44.1	43.6	43.6	31.4	25.7	19.6	11.6	7.2	9.7	1.0	
手帳等級	重度(1・2級)	323	39.3	42.9	36.9	33.1	25.8	17.3	9.7	10.8	12.9	1.2
	中度(3・4級)	260	45.9	44.2	49.8	29.4	24.1	20.8	11.1	5.4	6.0	1.0
	軽度(5・6級)	101	56.2	47.0	50.3	27.8	31.3	26.4	19.2	1.1	6.8	0.4
	無回答	12	34.7	22.1	34.7	56.8	9.5	-	9.5	-	30.6	-
全体	696	44.1	43.6	43.6	31.4	25.7	19.6	11.6	7.2	9.7	1.0	
障がい部位	視覚障がい	26	53.9	53.0	38.7	24.7	17.8	16.2	10.6	-	8.4	-
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	64	53.9	44.6	47.2	33.3	30.5	26.0	12.7	8.5	7.3	-
	肢体不自由	228	44.8	41.5	43.9	27.2	26.2	19.5	12.4	7.8	11.5	1.1
	内部障がい	204	42.0	45.2	47.4	36.0	26.8	20.8	13.2	4.5	9.1	0.9
	その他	49	37.4	41.3	33.9	42.2	19.6	22.0	10.7	10.4	5.2	-
	無回答	124	42.0	43.4	40.0	27.4	24.6	14.3	7.6	10.3	10.9	2.1

(4) 外出時に不便や困難を感じること

問10 あなたは、外出する時、どのようなことに不便や困難を感じますか。(○は5つまで)

【図表4-32 外出時に不便や困難を感じること】



【図表4-33 年齢詳細別、障がい部位別 外出時に不便や困難を感じること】(%)

	調査数(人)	外出時に不便や困難を感じること										
		歩道に段差が多い	歩行者や自転車のマナーの悪さ	歩道がない道路に危険を感じる	道路に自転車などの障害が多い	障がい者用の駐車場が少ない	障がい者用トイレが少ない	外出に費用がかかりすぎ	障がい者が安心して利用できる交通機関が少ない	施設が少ない	エレベーター、エスカレーターが設置されていない	エレベーターや案内標識が少ない
全体	760	35.3	34.6	29.3	17.6	14.9	13.9	13.3	10.5	10.0	5.5	
年齢詳細	29歳以下	19	25.9	31.5	22.2	18.5	22.2	16.7	13.0	20.4	3.7	
	30歳代	28	25.4	26.8	25.4	7.0	16.9	7.0	15.5	16.9	4.2	
	40歳代	48	33.3	34.7	28.0	9.3	17.3	10.7	12.0	8.0	6.7	
	50歳代	74	35.9	39.7	26.9	20.5	15.4	19.2	11.5	14.1	9.0	
	60～64歳	55	29.5	37.2	29.5	19.2	16.7	7.7	7.7	9.0	5.1	
	65～74歳	178	32.5	40.6	21.9	21.3	17.5	15.0	13.1	9.4	3.8	
	75歳以上	352	38.9	31.0	34.3	16.7	12.1	14.2	14.6	10.0	5.9	
	無回答	5	40.0	20.0	40.0	20.0	20.0	-	20.0	-	-	
全体	760	35.3	34.6	29.3	17.6	14.9	13.9	13.3	10.5	10.0	5.5	
障がい部位	視覚障がい	29	31.5	33.1	33.9	14.8	9.0	3.3	12.9	24.2	2.5	
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	69	40.7	28.8	29.4	14.5	15.3	27.5	7.9	14.4	4.8	
	肢体不自由	250	42.8	39.7	31.5	21.3	14.5	10.4	14.3	9.5	4.5	
	内部障がい	220	26.5	37.0	32.0	17.1	13.4	15.3	13.8	8.6	5.8	
	その他	54	32.5	19.4	31.3	7.1	15.5	9.6	13.3	7.3	9.5	
	無回答	138	34.8	30.6	19.3	18.0	18.6	15.1	13.5	11.9	6.3	

	調査数(人)	外出時に不便や困難を感じること										
		まわりの人の目が気になる	ICカードの使い方が分からない	付かない	いき添いをしてくれる人がいない	信号の危険を感じる	困った時、まわりの人が助けてくれない	外出に必要な情報が得られない	設備が点字ブロッケンなどの	視覚障がい者用の信号	その他	特にな
全体	760	4.9	4.9	4.6	3.8	3.0	2.0	1.8	10.0	17.7	7.2	
年齢詳細	29歳以下	19	22.2	-	9.3	3.7	11.1	9.3	1.9	22.2	20.4	3.7
	30歳代	28	21.1	2.8	4.2	1.4	4.2	1.4	-	12.7	26.8	1.4
	40歳代	48	5.3	5.3	-	2.7	4.0	-	1.3	12.0	28.0	1.3
	50歳代	74	9.0	2.6	2.6	2.6	5.1	1.3	-	11.5	17.9	1.3
	60～64歳	55	3.8	5.1	1.3	6.4	3.8	1.3	3.8	12.8	23.1	3.8
	65～74歳	178	6.3	5.6	3.8	4.4	2.5	3.1	2.5	8.1	18.1	7.5
	75歳以上	352	1.3	5.4	6.3	3.8	1.7	1.7	1.7	8.8	14.6	10.0
	無回答	5	-	-	20.0	-	20.0	-	-	20.0	-	20.0
全体	760	4.9	4.9	4.6	3.8	3.0	2.0	1.8	10.0	17.7	7.2	
障がい部位	視覚障がい	29	8.1	-	18.1	20.3	9.7	3.9	12.9	14.3	10.2	14.2
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	69	7.6	5.3	3.7	1.6	5.6	1.1	-	16.6	20.4	5.2
	肢体不自由	250	5.9	2.6	4.1	3.0	2.4	1.5	1.4	10.6	14.4	6.8
	内部障がい	220	3.6	7.8	3.7	4.3	1.8	3.4	1.0	7.8	19.8	6.5
	その他	54	3.5	4.8	0.7	2.1	-	0.7	1.3	14.2	21.0	8.8
	無回答	138	3.7	5.3	6.5	2.7	4.3	1.3	2.4	6.3	19.4	7.7

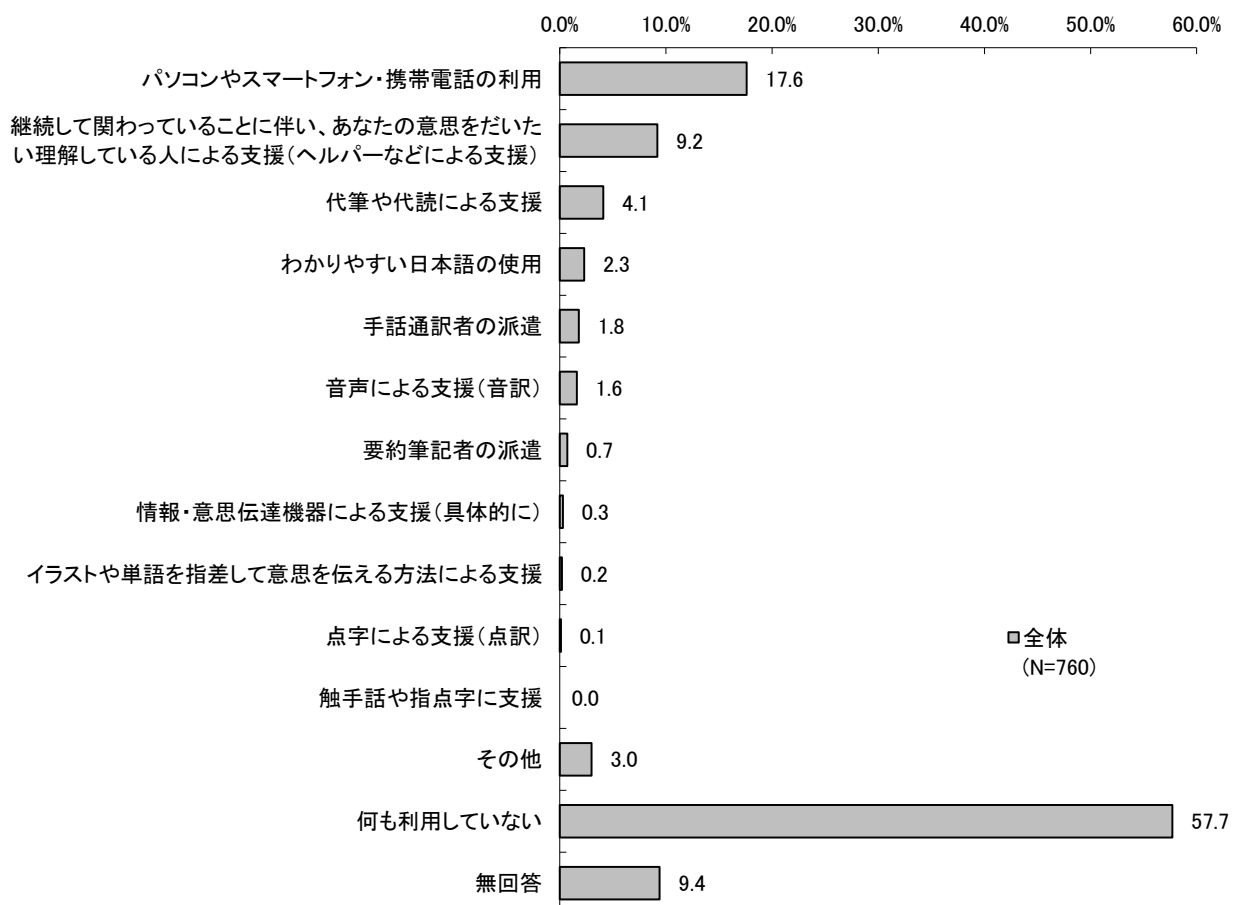
5. コミュニケーションについて

- ・利用しているコミュニケーション支援について、回答者全体では「何も利用していない」(57.7%)が6割弱となっている。利用している内容を障がい部位別にみると、全ての障がい部位で「パソコンやスマートフォン・携帯電話の利用」が最も高いが、視覚障がい者(32.3%)の割合が他の障がい部位に比べて特になくなっている。【図表4-35】
- ・コミュニケーションで困っていることについて、回答者全体では「ない」(61.7%)が過半数を占めているが、年齢詳細別にみると、29歳以下では「ある」の割合が過半数(59.3%)を占めている。障がい部位別にみると、視覚障がいと聴覚、平衡機能、音声・言語障がいでは、コミュニケーションで困っていることが「ある」人が4割前後とその他の障がい部位に比べて高くなっている。【図表4-37】

(1) 利用しているコミュニケーション支援

問11 あなたは、普段、どのようなコミュニケーション(意思疎通)の支援を利用していますか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表4-34 利用しているコミュニケーション支援】



【図表4-35 年齢詳細別、手帳等級別、障がい部位別

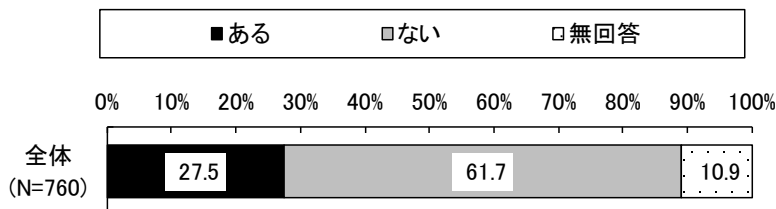
利用しているコミュニケーション支援】(%)

	調査数(人)	利用しているコミュニケーション支援														
		利用 パソコン やスマー トフォン ・携帯電 話の	たの 支 援 (ヘル パー など に よ る 支 援)	継 続 し て 関 わ っ て い る こ と に 伴 い 、 あ な の 意 思 を だ い た い 理 解 し て い る 人 に よ る 支 援	代 筆 や 代 読 に よ る 支 援	わ か り や す い 日 本 語 の 使 用	手 話 通 訳 者 の 派 遣	音 声 に よ る 支 援 (音 訳)	要 約 筆 記 者 の 派 遣	に 情 報 ・ 意 思 伝 達 機 器 に よ る 支 援 (具 体 的)	方 法 に よ る 支 援 (指 差 し て 意 思 を 伝 え る)	点 字 に よ る 支 援 (点 訳)	触 手 話 や 指 点 字 に 支 援	そ の 他	何 も 利 用 し て い な い	無 回 答
全体	760	17.6	9.2	4.1	2.3	1.8	1.6	0.7	0.3	0.2	0.1	-	3.0	57.7	9.4	
年齢 詳細	29歳以下	19	24.1	18.5	3.7	7.4	1.9	-	-	3.7	-	-	5.6	50.0	5.6	
	30歳代	28	19.7	5.6	1.4	2.8	2.8	-	-	1.4	1.4	1.4	-	2.8	69.0	1.4
	40歳代	48	14.7	6.7	2.7	1.3	1.3	-	2.7	1.3	1.3	-	-	4.0	68.0	9.3
	50歳代	74	21.8	6.4	5.1	2.6	3.8	2.6	-	1.3	-	-	-	2.6	65.4	3.8
	60～64歳	55	19.2	3.8	3.8	-	1.3	1.3	-	-	-	-	-	3.8	62.8	3.8
	65～74歳	178	16.9	7.5	3.8	1.3	1.3	3.8	1.3	-	-	-	-	1.9	59.4	10.6
	75歳以上	352	16.7	11.7	4.6	2.9	1.7	0.8	0.4	-	-	-	-	3.3	52.7	11.3
無回答	5	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0	40.0	
全体	760	17.6	9.2	4.1	2.3	1.8	1.6	0.7	0.3	0.2	0.1	-	3.0	57.7	9.4	
手 帳 等 級	重度(1・2級)	356	15.9	12.6	4.6	1.5	3.8	1.8	1.4	0.3	0.3	0.1	-	3.4	55.4	9.1
	中度(3・4級)	280	19.8	7.0	4.5	3.1	-	1.6	-	0.3	0.2	-	-	3.6	58.4	8.9
	軽度(5・6級)	106	19.1	1.3	0.7	3.1	-	-	-	-	-	-	-	0.7	65.5	12.5
	無回答	17	8.5	23.5	8.5	-	-	8.5	-	-	-	-	-	-	44.4	6.5
全体	760	17.6	9.2	4.1	2.3	1.8	1.6	0.7	0.3	0.2	0.1	-	3.0	57.7	9.4	
障 が い 部 位	視覚障がい	29	32.3	5.8	7.2	3.3	3.3	3.3	-	3.3	-	1.4	-	10.6	42.2	12.5
	聴覚、平衡機能、 音声・言語障がい	69	21.3	7.9	5.2	2.7	10.0	6.4	4.2	0.6	1.5	-	-	2.5	50.2	2.1
	肢体不自由	250	16.4	6.9	4.5	3.1	1.2	1.9	0.3	0.3	0.1	-	-	2.5	58.4	11.9
	内部障がい	220	15.9	10.8	4.1	1.1	1.2	0.5	0.7	-	-	-	-	3.5	58.6	8.3
	その他	54	16.0	9.7	-	1.4	-	-	-	-	-	-	-	3.4	63.8	8.9
無回答	138	18.4	12.0	3.7	2.6	-	0.8	-	-	0.3	-	-	1.9	59.4	9.9	

(2) コミュニケーションで困っていることの有無

問12 あなたは、コミュニケーション（意思疎通）する上で、困っていることがありますか。(○は1つだけ)

【図表4-36 コミュニケーションで困っていることの有無】



【図表4-37 年齢詳細別、障がい部位別 コミュニケーションで困っていることの有無】(%)

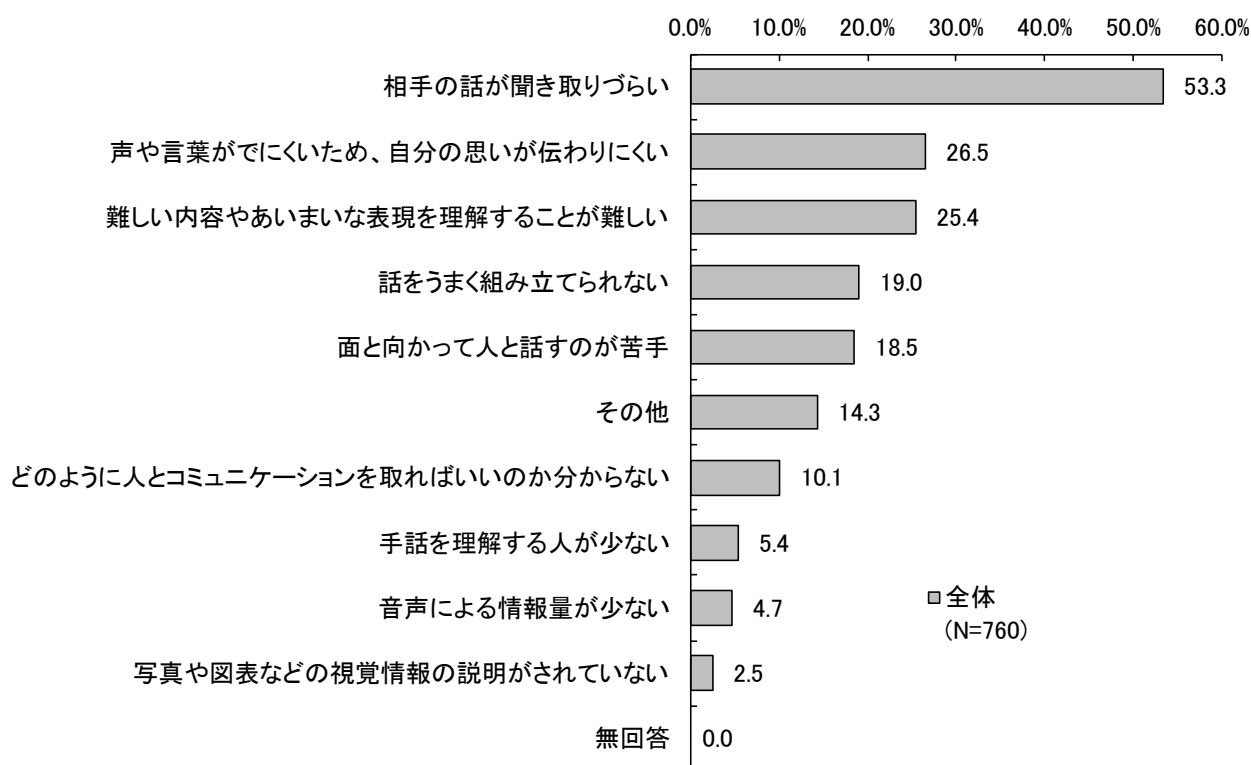
		調査数 (人)	コミュニケーションで困っていることの有無		
			ある	ない	無回答
全体		760	27.5	61.7	10.9
年齢 詳細	29歳以下	19	59.3	33.3	7.4
	30歳代	28	28.2	67.6	4.2
	40歳代	48	18.7	77.3	4.0
	50歳代	74	26.9	65.4	7.7
	60～64歳	55	25.6	69.2	5.1
	65～74歳	178	18.8	70.6	10.6
	75歳以上	352	31.8	54.4	13.8
	無回答	5	20.0	40.0	40.0
全体		760	27.5	61.7	10.9
障がい 部位	視覚障がい	29	39.4	50.4	10.3
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	69	42.3	51.9	5.9
	肢体不自由	250	27.5	60.8	11.7
	内部障がい	220	23.6	65.6	10.8
	その他	54	28.1	60.3	11.6
	無回答	138	23.3	64.8	11.8

(3) コミュニケーションで困っていること

[問12で「1」を選ばれた方におたずねします]

問12-1 どのようなことで困っていますか。(○はあてはまるものすべて)

【図表4-38 コミュニケーションで困っていること】

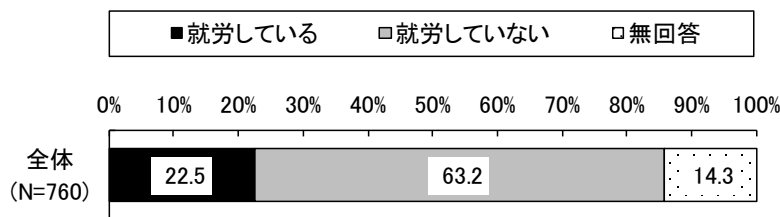


6. 就労の状況について

- ・回答者の2割程度 (22.5%) が就労している。年齢2区分別にみると、64歳以下では過半数 (57.1%) が就労しており、特に30～40歳代の就労率が高い。手帳等級別にみると、5・6級の軽度者の就労率は29.0%と、重度者 (21.7%) や中度者 (22.4%) に比べてやや高くなっている。【図表4-41】
- ・今後、働きたい(働き続けたい)と考えている人の割合は、回答者全体では3割強 (33.8%) であるが年齢による差が大きく、特に50歳代以下では8割を超えている。現在の就労の有無・形態別にみると、現在就労している人の88.1%が今後も働きたい(働き続けたい)と考え、就労していない人も21.1% (5人に1人) が働きたいと考えている。【図表4-49】
- ・障がい者の就労に対する社会の理解度について、「あると思う」と「ある程度あると思う」をあわせた『理解があると思う』人 (34.6%) よりも「あまりあると思わない」と「あると思わない」をあわせた『理解があると思わない』人 (26.5%) の方が少なくなっている。【図表4-50】
- ・障がい者の就労支援として必要な事について、回答者全体では「調子の悪いときに休みを取りやすくする」(35.3%) が最も多く、特に50歳代 (59.0%) で目立つ。また、30歳代では「工賃 (収入) の増加」(46.5%)、60～64歳では「短時間勤務などの労働 (作業) 時間の配慮」(51.3%) の割合も高くなっている。【図表4-55】

(1) 就労の有無、就労形態

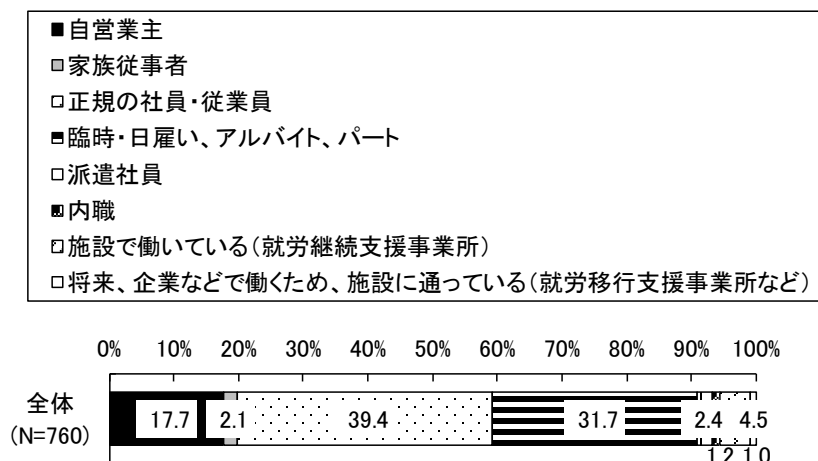
【図表4-39 就労の有無】



[現在働いている方のみお答えください]

問 13 あなたの就労形態は何ですか。(○は1つだけ)

【図表4-40 就労形態】



【図表4-41 年齢（2区分、詳細）別、手帳等級別 就労の有無、就労形態】（％）

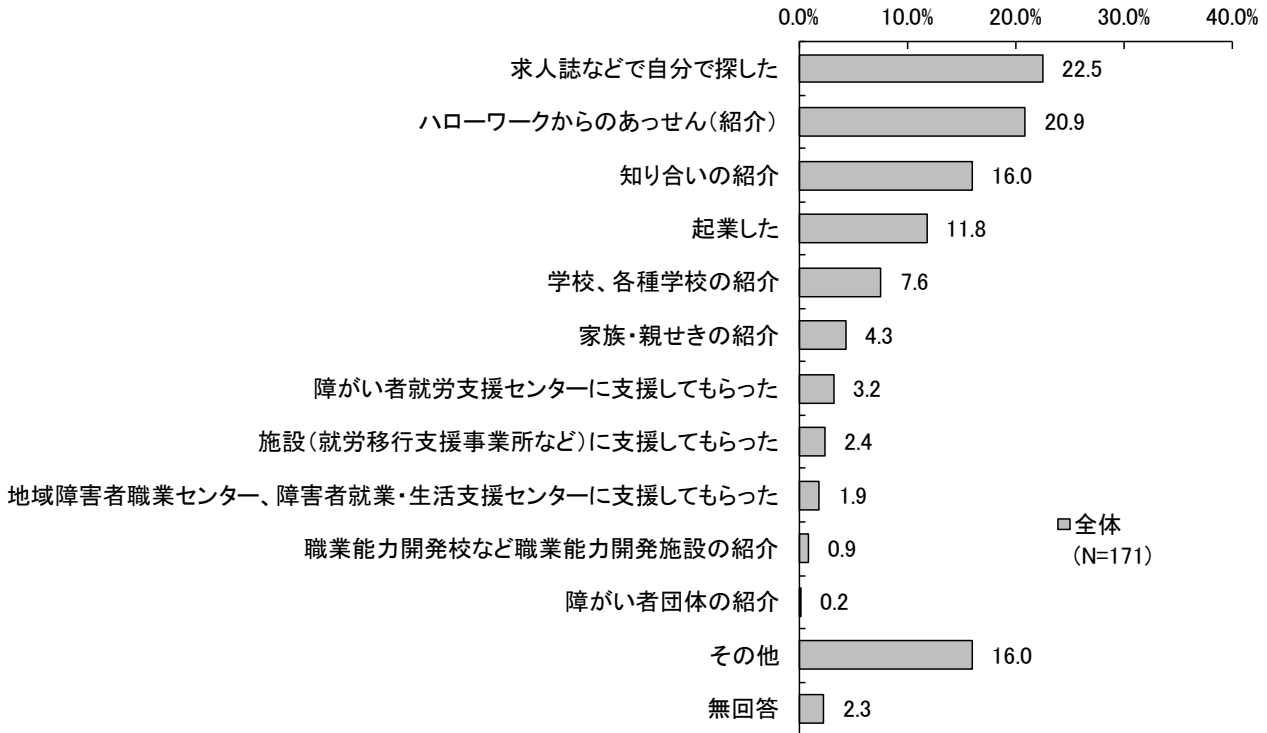
	調査数（人）	就労の有無			調査数（人）	就労形態									
		就労している	就労していない	無回答		自営業主	家族従事者	正規の社員・従業員	バイト・日雇い・パート	派遣社員	内職	施設で働いている	将来的に、企業などで働いてほしい	無回答	
全体	760	22.5	63.2	14.3	171	17.7	2.1	39.4	31.7	2.4	1.2	4.5	1.0	-	
年齢区分2	64歳以下	225	57.1	37.7	5.3	128	11.2	1.9	47.8	27.8	3.2	0.7	6.0	1.3	-
	65歳以上	530	8.0	73.8	18.2	43	37.3	2.6	13.9	43.5	-	2.6	-	-	-
	無回答	5	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	760	22.5	63.2	14.3	171	17.7	2.1	39.4	31.7	2.4	1.2	4.5	1.0	-	
年齢詳細	29歳以下	19	53.7	31.5	14.8	10	3.4	3.4	62.1	6.9	6.9	-	10.3	6.9	-
	30歳代	28	77.5	19.7	2.8	21	5.5	3.6	49.1	27.3	3.6	-	10.9	-	-
	40歳代	48	64.0	32.0	4.0	31	8.3	2.1	58.3	22.9	2.1	-	6.3	-	-
	50歳代	74	57.7	38.5	3.8	43	22.2	-	40.0	26.7	4.4	2.2	2.2	2.2	-
	60～64歳	55	41.0	52.5	6.4	23	3.1	3.1	40.6	46.9	-	-	6.2	-	-
	65～74歳	178	18.1	70.7	11.3	32	31.0	3.4	13.8	48.3	-	3.4	-	-	-
	75歳以上	352	2.9	75.3	21.8	10	57.1	-	14.3	28.6	-	-	-	-	-
無回答	5	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	760	22.5	63.2	14.3	171	17.7	2.1	39.4	31.7	2.4	1.2	4.5	1.0	-	
手帳等級	重度(1・2級)	356	21.7	62.6	15.7	77	20.0	2.8	45.7	24.3	1.7	-	5.1	0.5	-
	中度(3・4級)	280	22.4	64.8	12.8	63	16.2	1.2	35.6	39.5	3.8	1.5	1.6	0.6	-
	軽度(5・6級)	106	29.0	57.6	13.4	31	14.9	2.3	31.3	34.6	1.2	3.6	9.0	3.1	-
	無回答	17	-	85.0	15.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(2) 仕事を探した方法

[現在働いている方のみお答えください]

問14 どのような方法で仕事を探しましたか。(○はあてはまるものすべて)

【図表4-42 仕事を探した方法】



【図表4-43 年齢2区分別、手帳等級別、障がい部位別 仕事を探した方法】 (%)

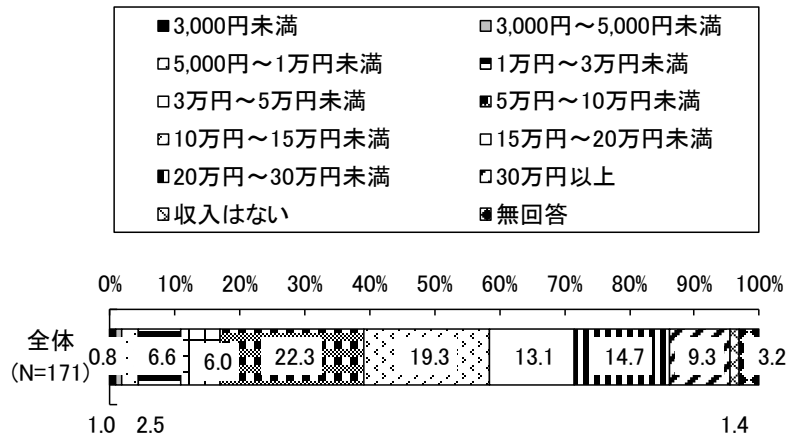
	調査数(人)	仕事を探した方法													
		求人誌などで自分で探した	ハローワークからのあっせん(紹介)	知り合いの紹介	起業した	学校、各種学校の紹介	家族・親せきの紹介	障がい者就労支援センターに支援してもらった	施設(就労移行支援事業所など)に支援してもらった	地域障害者職業センター、障害者就業・生活支援センターに支援してもらった	職業能力開発校など職業能力開発施設の紹介	障がい者団体の紹介	その他	無回答	
全体	171	22.5	20.9	16.0	11.8	7.6	4.3	3.2	2.4	1.9	0.9	0.2	16.0	2.3	
年齢区分2	64歳以下	128	19.8	25.2	16.1	6.9	10.1	5.7	4.3	3.2	2.5	1.1	0.3	16.7	1.3
	65歳以上	43	30.4	7.8	15.7	26.9	-	-	-	-	-	-	13.9	5.2	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	171	22.5	20.9	16.0	11.8	7.6	4.3	3.2	2.4	1.9	0.9	0.2	16.0	2.3	
手帳等級	重度(1・2級)	77	15.6	21.9	14.6	19.2	6.9	5.9	2.3	2.7	2.1	1.4	0.5	15.3	3.6
	中度(3・4級)	63	26.9	20.6	20.8	6.1	10.9	1.6	3.8	1.6	2.5	-	-	17.4	-
	軽度(5・6級)	31	30.7	19.0	9.6	5.2	2.5	5.6	4.6	3.1	-	1.3	-	14.7	3.6
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	171	22.5	20.9	16.0	11.8	7.6	4.3	3.2	2.4	1.9	0.9	0.2	16.0	2.3	
障がい部位	視覚障がい	6	6.0	35.5	10.0	14.8	14.8	-	-	-	-	-	-	33.7	-
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	13	15.8	48.0	14.6	-	11.4	5.3	7.1	2.9	-	-	2.9	7.9	-
	肢体不自由	54	25.2	21.9	13.7	11.9	10.2	3.0	1.4	1.9	1.2	-	-	12.6	2.4
	内部障がい	50	19.2	14.3	21.2	14.3	2.1	7.4	2.8	2.7	3.8	2.1	-	21.3	4.5
	その他	7	34.3	16.0	13.9	-	-	9.4	5.7	-	-	-	-	26.3	-
無回答	40	25.7	17.0	14.5	14.1	9.8	1.9	5.1	3.3	1.6	1.0	-	12.0	1.0	

(3) 月収

[現在働いている方のみお答えください]

問15 あなたの、ふだんの月収（手取り額）はどのくらいですか。賞与などの臨時的に支給されるものは除きます。（○は1つだけ）

【図表4-44 月収】



【図表4-45 年齢詳細別、就労形態別 月収】 (%)

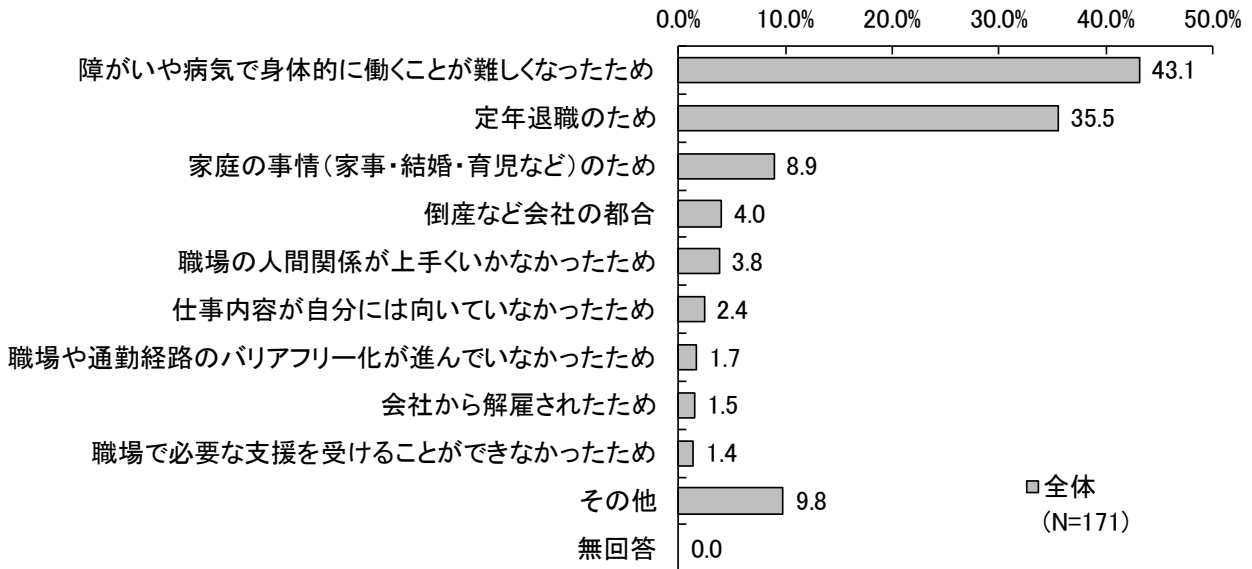
	調査数 (人)	月収											収入はない	無回答
		3千円未満	3千円～5千円未満	5千円～1万円未満	1万円～3万円未満	3万円～5万円未満	5万円～10万円未満	10万円～15万円未満	15万円～20万円未満	20万円～30万円未満	30万円以上			
全体	171	0.8	1.0	2.5	6.6	6.0	22.3	19.3	13.1	14.7	9.3	1.4	3.2	
年齢詳細	29歳以下	10	3.4	-	3.4	-	3.4	10.3	24.1	44.8	-	-	6.9	3.4
	30歳代	21	1.8	1.8	7.3	5.5	1.8	12.7	27.3	16.4	18.2	3.6	1.8	1.8
	40歳代	31	2.1	4.2	2.1	-	-	14.6	22.9	10.4	31.2	8.3	4.2	-
	50歳代	43	-	-	2.2	4.4	6.7	24.4	11.1	13.3	13.3	22.2	-	2.2
	60～64歳	23	-	-	3.1	-	3.1	34.4	21.9	18.8	15.6	3.1	-	-
	65～74歳	32	-	-	-	20.7	13.8	31.0	10.3	3.4	6.9	6.9	-	6.9
	75歳以上	10	-	-	-	14.3	14.3	14.3	42.9	-	-	-	-	14.3
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	171	0.8	1.0	2.5	6.6	6.0	22.3	19.3	13.1	14.7	9.3	1.4	3.2	
就労形態	自営業主	30	1.3	-	-	13.7	12.2	15.8	22.2	3.2	6.4	16.3	2.1	6.8
	家族従事者	4	17.9	-	-	-	-	19.6	-	-	10.8	-	20.8	30.9
	正規の社員・従業員	67	-	-	2.0	-	1.7	2.5	21.0	26.3	29.8	16.2	-	0.6
	臨時・日雇い、アルバイト、パート	54	-	-	-	11.0	6.9	49.5	20.9	4.1	4.3	-	0.7	2.7
	派遣社員	4	-	-	-	-	-	32.4	18.5	39.5	9.6	-	-	-
	内職	2	-	-	-	53.9	46.1	-	-	-	-	-	-	-
	施設で働いている	8	4.7	21.8	20.2	-	9.7	35.3	-	-	-	-	8.4	-
	将来、企業などで働くため、施設に通っている	2	-	-	78.5	-	-	-	-	-	-	-	-	21.5
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(4) 仕事をやめた原因

[以前働いていたが仕事をやめた方のみお答えください]

問16 仕事をやめた原因は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表4-46 仕事をやめた原因】



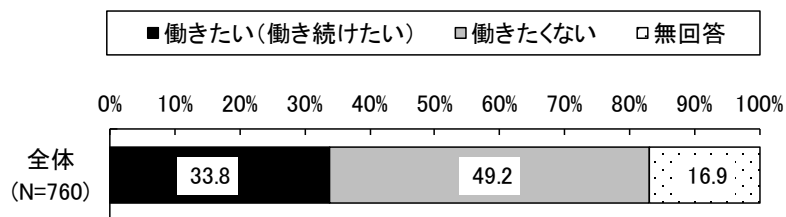
【図表4-47 年齢詳細別 仕事をやめた原因】 (%)

	調査数 (人)	仕事をやめた原因											
		障がいや病気で身体的に働くことが難しくなったため	定年退職のため	家庭の事情(家事・育児など)のため	倒産など会社の都合	職場の人間関係が上手くいかなかったため	仕事内容が自分には向いていなかったため	職場や通勤経路のバリアフリー化が進んでいなかったため	会社から解雇されたため	職場で必要な支援を受けることができなかったため	その他	無回答	
全体	399	43.1	35.5	8.9	4.0	3.8	2.4	1.7	1.5	1.4	9.8	-	
年齢詳細	29歳以下	1	50.0	-	-	-	50.0	25.0	-	25.0	25.0	50.0	-
	30歳代	4	33.3	-	33.3	11.1	-	-	-	11.1	-	11.1	-
	40歳代	13	85.0	-	5.0	-	25.0	10.0	10.0	5.0	15.0	-	-
	50歳代	28	75.9	-	6.9	10.3	3.4	10.3	3.4	-	3.4	10.3	-
	60~64歳	26	54.1	10.8	13.5	2.7	5.4	8.1	-	5.4	-	5.4	-
	65~74歳	110	51.5	33.3	6.1	3.0	4.0	-	4.0	3.0	2.0	9.1	-
	75歳以上	213	31.0	46.9	9.7	4.1	2.1	1.4	-	-	-	11.0	-
無回答	4	25.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	

(5) 就労意向

問17 あなたは、今後、働きたい（働き続けたい）ですか。（○は1つだけ）

【図表4-48 就労意向】



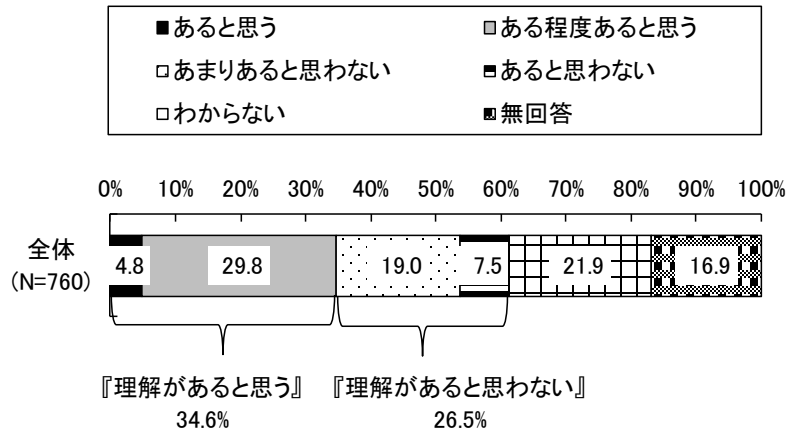
【図表4-49 年齢（2区分、詳細）別、就労の有無・形態別 就労意向】 (%)

	調査数 (人)	就労意向			
		働きたい (働き続 けたい)	働きた くない	無回 答	
全体	760	33.8	49.2	16.9	
年齢 区分	64歳以下	225	77.9	16.9	5.2
	65歳以上	530	15.5	62.6	21.9
	無回答	5	-	80.0	20.0
全体	760	33.8	49.2	16.9	
年齢 詳細	29歳以下	19	81.5	3.7	14.8
	30歳代	28	84.5	12.7	2.8
	40歳代	48	84.0	10.7	5.3
	50歳代	74	80.8	16.7	2.6
	60～64歳	55	64.1	29.5	6.4
	65～74歳	178	34.4	52.5	13.1
	75歳以上	352	5.9	67.8	26.4
	無回答	5	-	80.0	20.0
全体	760	33.8	49.2	16.9	
就労 形態	就労している	171	88.1	9.7	2.1
	自営業主	30	86.1	10.3	3.7
	家族従事者	4	69.6	30.4	-
	正規の社員・従業員	67	87.2	11.8	1.1
	臨時・日雇い、アルバイト、パート	54	90.8	6.5	2.7
	派遣社員	4	100.0	-	-
	内職	2	100.0	-	-
	施設で働いている	8	83.0	12.4	4.7
	将来、企業などで働くため、施設に通っている	2	100.0	-	-
	就労していない	480	21.1	67.5	11.4
	無回答	109	4.9	30.3	64.8

(6) 障がい者の就労に対する社会の理解度

問18 障がいのある人が働くことについて社会の理解があると思いますか。(○は1つだけ)

【図表4-50 障がい者の就労に対する社会の理解度】



【図表4-51 年齢詳細別、手帳等級別 障がい者の就労に対する社会の理解度】(%)

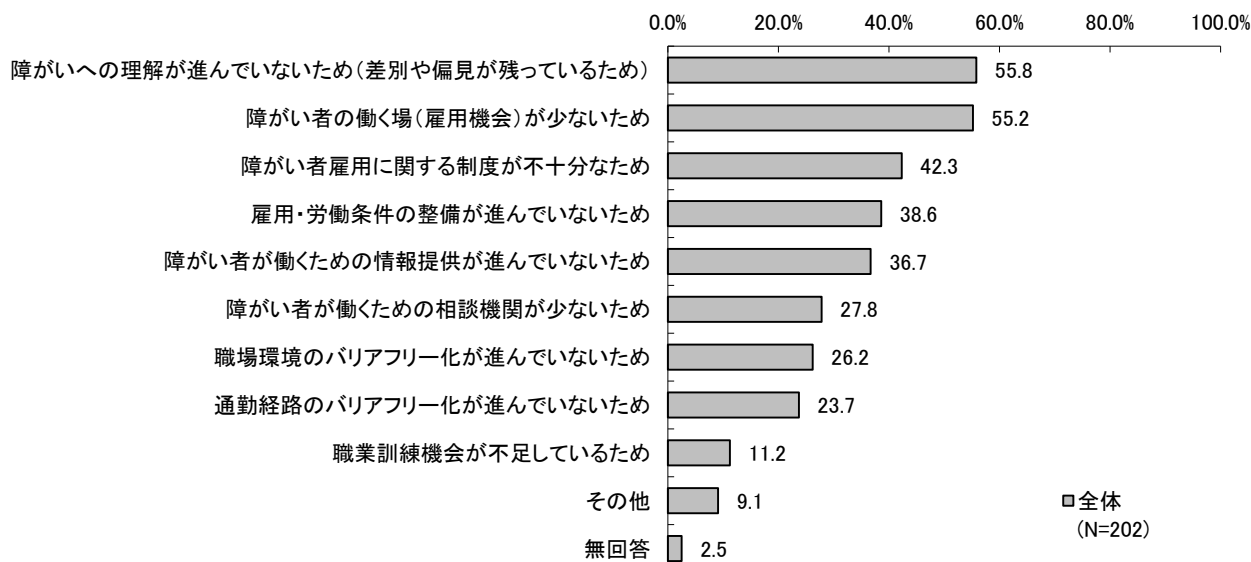
	調査数(人)	障がい者の就労に対する社会の理解度							『理解があると思う』	『理解があると思わない』
		あると思う	ある程度あると思う	あまりあると思わない	あると思わない	わからない	無回答			
全体	760	4.8	29.8	19.0	7.5	21.9	16.9	34.6	26.5	
年齢詳細	29歳以下	19	3.7	29.6	31.5	13.0	13.0	9.3	33.3	44.5
	30歳代	28	7.0	40.8	29.6	7.0	12.7	2.8	47.8	36.6
	40歳代	48	5.3	29.3	41.3	8.0	13.3	2.7	34.6	49.3
	50歳代	74	7.7	33.3	34.6	10.3	11.5	2.6	41.0	44.9
	60～64歳	55	12.8	32.1	28.2	9.0	12.8	5.1	44.9	37.2
	65～74歳	178	3.1	31.3	21.3	8.8	25.0	10.6	34.4	30.1
	75歳以上	352	3.8	27.6	7.9	5.9	26.4	28.5	31.4	13.8
	無回答	5	-	-	60.0	-	20.0	20.0	-	60.0
全体	760	4.8	29.8	19.0	7.5	21.9	16.9	34.6	26.5	
手帳等級	重度(1・2級)	356	4.1	28.7	19.3	6.9	23.3	17.8	32.8	26.2
	中度(3・4級)	280	6.8	28.7	17.0	9.0	22.5	16.0	35.5	26.0
	軽度(5・6級)	106	3.1	40.0	23.0	6.9	15.4	11.5	43.1	29.9
	無回答	17	-	8.5	21.5	-	22.9	47.1	8.5	21.5

(7) 障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由

[問18で「3」「4」を選ばれた方におたずねします]

問18-1 障がいのある人が働くことについて社会の理解があると思わない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表4-52 障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由】



【図表4-53 年齢2区分別、障がい部位別

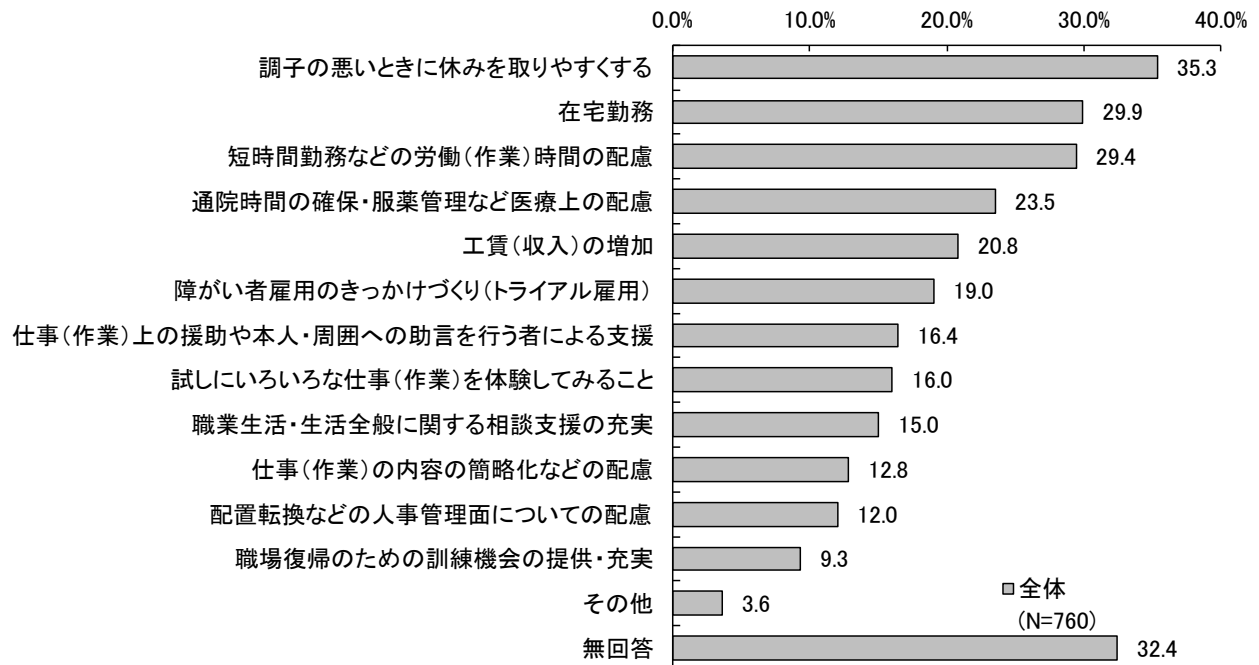
障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由】(%)

	調査数(人)	障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由											
		障がい者への理解が進んでいないため(差別や偏見)	障がい者の働く場(雇用機会)が少ないため	障がい者雇用に関する制度が不十分なため	雇用・労働条件の整備が進んでいないため	障がい者が働くための情報提供が進んでいないため	障がい者が働くための相談機関が少ないため	職場環境のバリアフリー化が進んでいないため	通勤経路のバリアフリー化が進んでいないため	職業訓練機会が不足しているため	その他	無回答	
全体	202	55.8	55.2	42.3	38.6	36.7	27.8	26.2	23.7	11.2	9.1	2.5	
年齢区分2	64歳以下	97	62.0	58.0	40.6	48.5	35.0	28.2	31.1	23.4	7.3	12.2	1.0
	65歳以上	102	49.7	52.2	43.1	29.4	39.5	25.4	21.4	24.6	15.2	6.5	4.0
	無回答	3	66.7	66.7	66.7	33.3	-	100.0	33.3	-	-	-	-
全体	202	55.8	55.2	42.3	38.6	36.7	27.8	26.2	23.7	11.2	9.1	2.5	
障がい部位	視覚障がい	6	59.8	66.1	43.2	54.2	66.1	43.2	55.1	37.8	32.2	22.9	-
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	22	68.7	59.5	42.9	25.9	23.8	44.6	30.1	21.3	13.6	16.1	-
	肢体不自由	63	53.3	57.4	39.6	43.3	41.6	23.0	37.9	27.5	12.2	9.4	-
	内部障がい	54	54.0	52.3	40.1	46.5	40.3	25.5	17.8	25.4	11.6	11.6	2.1
	その他	13	74.4	49.3	36.4	48.1	26.0	31.6	24.8	24.8	-	-	-
無回答	44	49.4	53.6	49.9	23.3	30.6	26.0	14.1	14.9	8.1	2.9	8.9	

(8) 障がい者の就労支援として必要なこと

問19 どのような働き方や制度があれば障がいのある人が働きやすいと思いますか。
(〇はあてはまるものすべて)

【図表4-54 障がい者の就労支援として必要なこと】



第4章 身体障がい者調査

【図表4-55 年齢（2区分、詳細）別、手帳等級別、障がい部位別
障がい者の就労支援として必要なこと】（％）

	調査数（人）	障がい者の就労支援として必要なこと																
		調子の悪いときに休みを取りやすくする	在宅勤務	配慮 短時間勤務などの労働（作業）時間の	通院時間の確保・服薬管理など医療上の配慮	工賃（収入）の増加	障がい者雇用のきっかけづくり（トラ	イアル雇用）	の助言を行う者（ジョブコーチなど）による支援	仕事（作業）上の援助や本人・周囲への	試みる（職場実習など）	職業生活・生活全般に関する相談支援	の充実（障がい者就労支援センターなど）	職業生活・生活全般に関する相談支援	慮 仕事（作業）の内容の簡略化などの配	配置転換などの人事管理面についての	職場復帰のための訓練機会の提供・充	実
全体	760	35.3	29.9	29.4	23.5	20.8	19.0	16.4	16.0	15.0	12.8	12.0	9.3	3.6	32.4			
年齢 2区分	64歳以下	225	52.8	41.1	35.0	33.1	35.7	25.5	20.5	21.9	16.4	18.9	18.6	12.1	5.8	8.9		
	65歳以上	530	27.9	25.0	27.1	19.5	14.5	16.2	14.6	13.6	14.4	10.2	9.0	8.1	2.6	42.5		
	無回答	5	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0	20.0	40.0	20.0	-	20.0		
全体	760	35.3	29.9	29.4	23.5	20.8	19.0	16.4	16.0	15.0	12.8	12.0	9.3	3.6	32.4			
年齢 詳細	29歳以下	19	40.7	24.1	33.3	29.6	38.9	20.4	33.3	25.9	18.5	13.0	29.6	9.3	7.4	9.3		
	30歳代	28	49.3	39.4	40.8	28.2	46.5	22.5	19.7	21.1	9.9	16.9	19.7	12.7	5.6	8.5		
	40歳代	48	52.0	44.0	28.0	38.7	36.0	29.3	26.7	24.0	18.7	20.0	21.3	17.3	4.0	9.3		
	50歳代	74	59.0	42.3	25.6	35.9	33.3	28.2	15.4	21.8	16.7	23.1	17.9	11.5	9.0	7.7		
	60～64歳	55	51.3	43.6	51.3	28.2	32.1	21.8	17.9	19.2	16.7	15.4	12.8	9.0	2.6	10.3		
	65～74歳	178	32.5	28.1	34.4	25.0	17.5	17.5	16.3	15.6	15.6	13.8	9.4	5.0	1.3	28.1		
	75歳以上	352	25.5	23.4	23.4	16.7	13.0	15.5	13.8	12.6	13.8	8.4	8.8	9.6	3.3	49.8		
	無回答	5	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0	20.0	40.0	20.0	-	20.0		
全体	760	35.3	29.9	29.4	23.5	20.8	19.0	16.4	16.0	15.0	12.8	12.0	9.3	3.6	32.4			
手帳 等級	重度（1・2級）	356	36.3	31.4	30.0	25.0	21.8	19.7	17.2	16.3	16.6	14.0	12.8	12.1	3.5	32.2		
	中度（3・4級）	280	34.4	28.8	28.2	23.5	20.6	16.1	15.4	15.7	12.5	11.8	12.2	5.8	2.3	34.7		
	軽度（5・6級）	106	37.9	29.8	32.6	20.3	21.3	25.8	18.1	15.6	17.5	12.6	10.2	10.7	7.4	22.7		
	無回答	17	15.0	15.0	15.0	15.0	-	6.5	6.5	15.0	8.5	6.5	6.5	-	-	59.4		
全体	760	35.3	29.9	29.4	23.5	20.8	19.0	16.4	16.0	15.0	12.8	12.0	9.3	3.6	32.4			
障がい 部位	視覚障がい	29	33.8	25.2	31.9	17.1	30.0	14.8	14.9	16.2	8.3	11.1	5.2	8.5	6.7	32.0		
	聴覚、平衡機能、 音声・言語障がい	69	31.3	27.7	22.1	23.6	23.2	19.8	16.1	17.1	16.5	12.0	12.8	5.5	4.3	35.6		
	肢体不自由	250	33.5	31.0	30.1	25.8	16.2	21.1	17.8	20.3	18.5	15.8	13.5	9.7	3.2	31.1		
	内部障がい	220	39.4	32.0	32.2	24.1	24.0	16.1	14.8	11.6	12.1	12.8	12.0	7.1	3.6	33.1		
	その他	54	30.1	24.9	21.9	19.6	13.1	18.7	16.5	8.6	13.3	11.7	12.9	8.7	1.8	43.9		
	無回答	138	36.5	28.3	29.7	21.4	23.9	20.3	16.8	17.4	14.9	8.8	10.2	14.7	3.9	27.5		

7. 福祉サービスの利用について

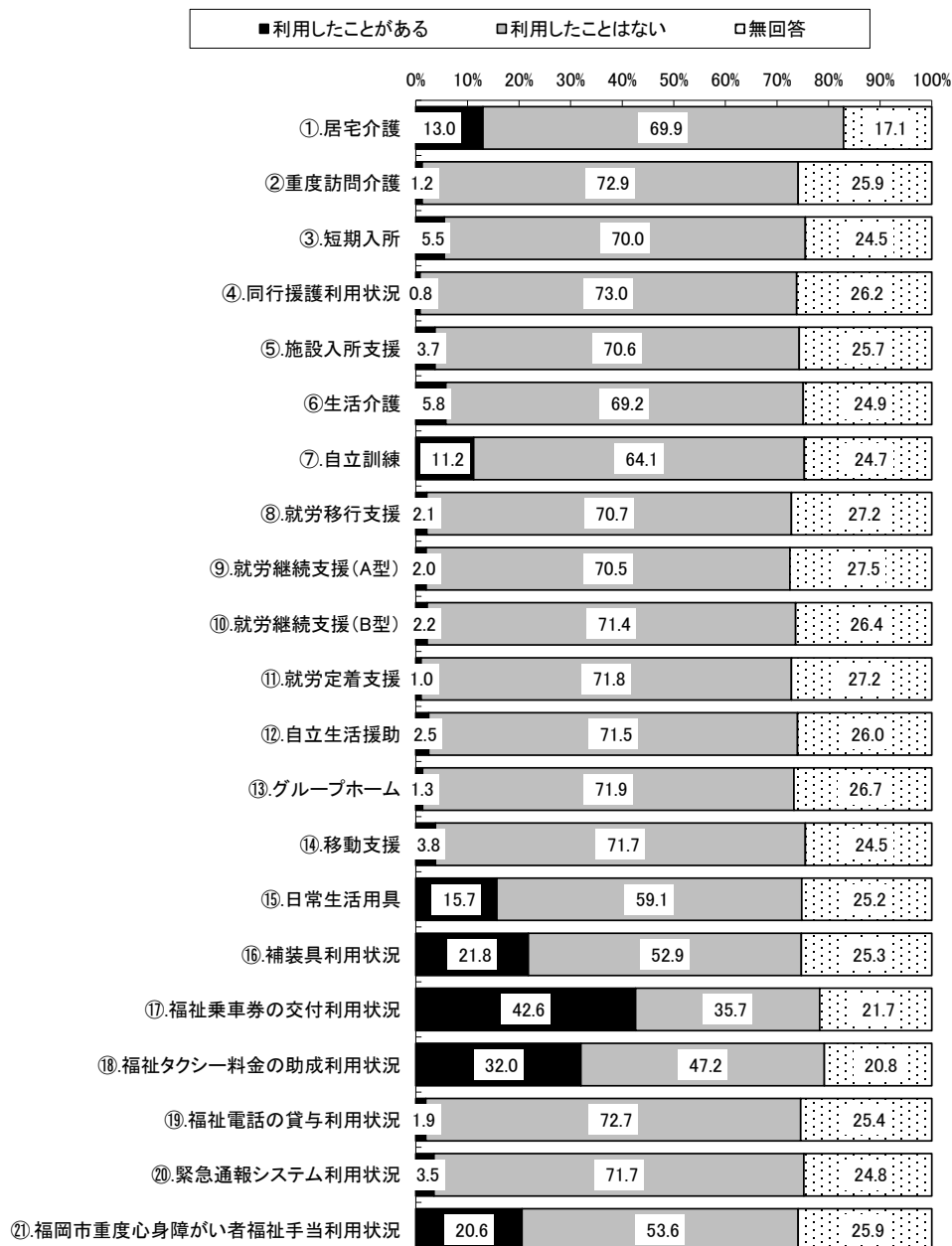
- ・福祉サービスの＜利用状況＞＜利用意向＞＜対象・範囲の拡大を希望するサービス＞については、いずれも、「⑰福祉乗車券の交付」「⑱福祉タクシー料金の助成」が上位となっている。【図表4-56、図表4-57、図表4-60】
- ・＜対象・範囲の拡大を希望するサービス＞について手帳等級別にみると、1・2級の重度者では「福祉タクシー料金の助成」(42.6%)、「福岡市重度心身障がい者福祉手当」(37.4%)の割合が軽・中度者に比べて目立つ。【図表4-61】

(1) 福祉サービスの利用状況

問20 あなたは、次のようなサービスを利用したことがありますか。また、今後(2~3年以内に)利用したいと思いますか。

①~⑳の項目ごとに、利用状況と利用意向のそれぞれについて○をつけてください。

【図表4-56 福祉サービスの利用状況】

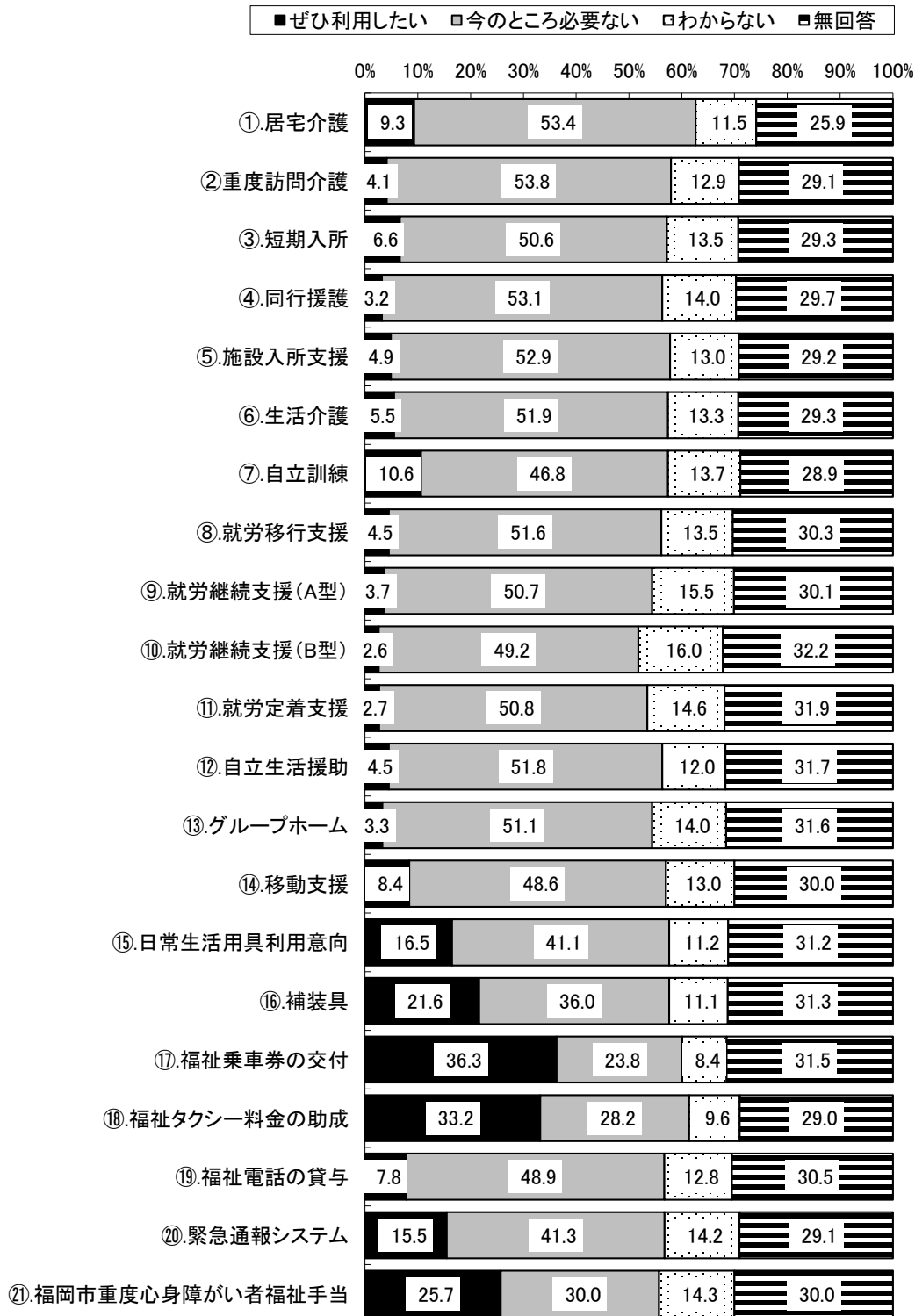


(2) 福祉サービスの利用意向

問20 あなたは、次のようなサービスを利用したことがありますか。また、今後（2～3年以内に）利用したいと思いますか。

①～⑳の項目ごとに、利用状況と利用意向のそれぞれについて○をつけてください。

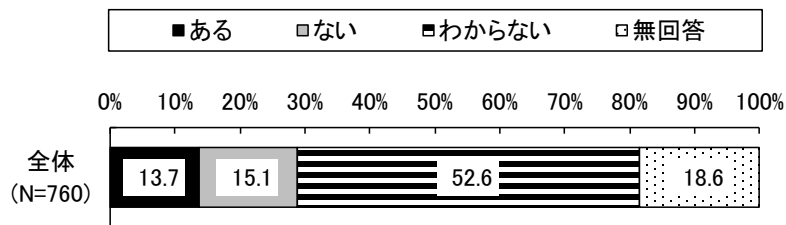
【図表4-57 福祉サービスの利用意向】



(3) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無

問21 問20の①～⑪の福祉サービス・事業の中で、サービスの量が不足していたり、利用対象・範囲の拡大などを図るべきだと思うものがありますか。(○は1つだけ)

【図表4-58 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無】



【図表4-59 年齢詳細別 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無】(%)

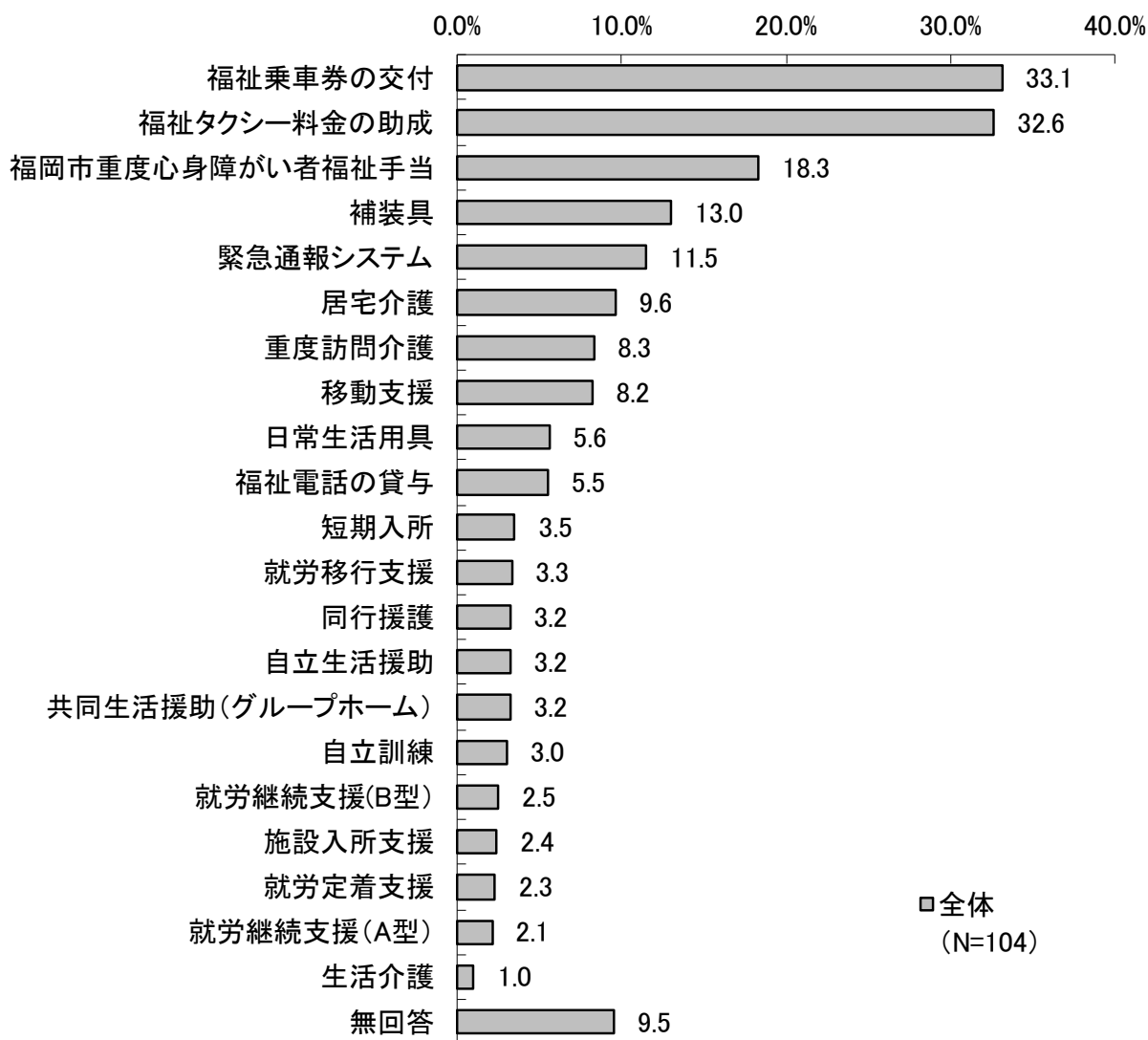
	調査数 (人)	対象・範囲の拡大をしてほしい 福祉サービスの有無				
		ある	ない	わからない	無回答	
全体	760	13.7	15.1	52.6	18.6	
年齢 詳細	29歳以下	19	35.2	14.8	48.1	1.9
	30歳代	28	9.9	19.7	62.0	8.5
	40歳代	48	17.3	20.0	57.3	5.3
	50歳代	74	14.1	17.9	60.3	7.7
	60～64歳	55	15.4	21.8	56.4	6.4
	65～74歳	178	13.8	15.6	58.8	11.9
	75歳以上	352	12.1	12.1	46.0	29.7
	無回答	5	-	20.0	60.0	20.0

(4) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス

[問21で「1」を選ばれた方におたずねします]

問21-1 それほどのサービス・事業ですか。優先度が高いと思うものを3つまで選んでください。(事業番号は①～㉑の数字を記入してください)

【図表4-60 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス】



【図表4-61 年齢詳細別、手帳等級別 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス】(%)

	調査数(人)	対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス										
		福祉乗車券の交付	の福祉成タクシール料金	障がい者福祉手当	福岡市重度心身障害者福祉手当	補装具	緊急通報システム	移動支援	重度訪問介護	居宅介護	福祉電話の貸与	日常生活用具
全体	104	36.5	36.0	26.7	15.8	15.3	10.3	10.0	9.6	7.5	6.5	4.1
年齢詳細	29歳以下	7	35.3	17.6	5.3	11.2	-	8.3	8.3	5.3	-	14.2
	30歳代	3	53.6	14.3	64.3	-	14.3	14.3	-	-	28.6	14.3
	40歳代	8	66.4	35.6	27.9	7.7	-	20.2	7.7	-	15.4	-
	50歳代	10	18.2	25.8	9.1	25.8	9.1	9.1	16.7	18.2	9.1	25.8
	60~64歳	8	83.9	31.1	56.7	36.7	22.2	-	-	-	20.0	-
	65~74歳	25	33.8	40.3	32.6	10.4	28.1	11.1	10.4	13.6	5.9	4.5
	75歳以上	43	27.8	42.0	24.6	16.2	16.4	10.5	10.7	10.3	9.3	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	104	36.5	36.0	26.7	15.8	15.3	10.3	10.0	9.6	7.5	6.5	4.1
手帳等級	重度(1・2級)	57	38.4	42.6	37.4	18.1	16.6	7.6	10.7	10.3	2.2	6.3
	中度(3・4級)	36	37.3	28.1	13.7	15.9	15.9	14.8	10.9	8.9	13.1	5.6
	軽度(5・6級)	9	22.5	27.1	-	-	-	8.5	-	10.1	15.6	10.1
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	調査数(人)	対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス										無回答
		施設入所支援	短期入所	就労移行支援	自立生活援助	(グループホーム) 共同生活援助	同行援護	自立訓練	(A型) 就労継続支援	就労定着支援	生活介護	
全体	104	4.0	3.6	3.5	3.5	3.5	3.3	3.0	2.5	2.4	1.3	9.5
年齢詳細	29歳以下	7	19.5	27.6	5.9	-	13.6	10.5	-	13.6	-	19.5
	30歳代	3	-	14.3	-	-	14.3	-	-	-	-	-
	40歳代	8	-	-	7.7	-	15.4	-	7.7	-	-	-
	50歳代	10	-	-	9.1	18.2	9.1	-	9.1	-	9.1	-
	60~64歳	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0
	65~74歳	25	-	-	-	-	-	5.9	-	-	-	22.7
	75歳以上	43	5.9	3.4	3.4	3.6	-	3.4	3.4	3.6	3.4	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	104	4.0	3.6	3.5	3.5	3.5	3.3	3.0	2.5	2.4	1.3	9.5
手帳等級	重度(1・2級)	57	0.7	3.3	4.5	3.5	4.0	0.6	2.8	4.5	-	1.7
	中度(3・4級)	36	9.4	5.2	2.9	4.5	3.7	8.5	-	-	7.0	1.1
	軽度(5・6級)	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19.3
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-

8. 今後の暮らし方について

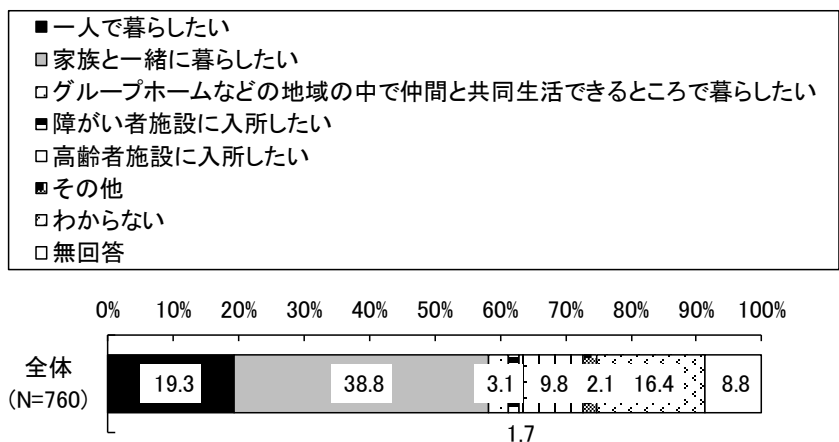
- ・希望する今後の暮らし方について、年齢詳細別にみると、30歳代と60～64歳では「一人で暮らしたい」がともに3割台で他の年代に比べて高くなっている。世帯状況別にみると、二世帯（子と本人）・三世帯同居している人は今後も「家族と一緒に過ごしたい」と考えている人がそれぞれ6割台を占めているが、二世帯同居（親と本人）の場合は35.6%に留まっている。また、現在一人暮らしの人では、今後も「一人で暮らしたい」が43.1%と高くなっている。【図表4-63】
- ・自宅や地域で生活するために必要な条件として、年齢詳細別にみると、40歳代以下では「仕事があること」が5割前後と高く、60～64歳では「主治医や医療機関が近くにあること」が4割に達し高くなっている。手帳等級別にみると、「昼間の介護を頼める人がいること」と「夜間の介護を頼める人がいること」は重度になるほど高くなる傾向がみられる。【図表4-65】
- ・グループホームなどの共同生活を希望する人や高齢者施設に入所したい人は「主治医や医療機関が近くにあること」、「調理や掃除、洗濯などの家事の手伝いを頼める人がいること」、「夜間の介護を頼める人がいること」の割合が他の希望に比べて高くなっている。【図表4-66】

(1) 希望する今後の暮らし方

問22 あなたは、今後（親なき後を含む）、どのように暮らしたいと思いますか。

（○は1つだけ）

【図表4-62 希望する今後の暮らし方】



【図表4-63 年齢（2区分、詳細）別、障がい部位別、世帯状況別

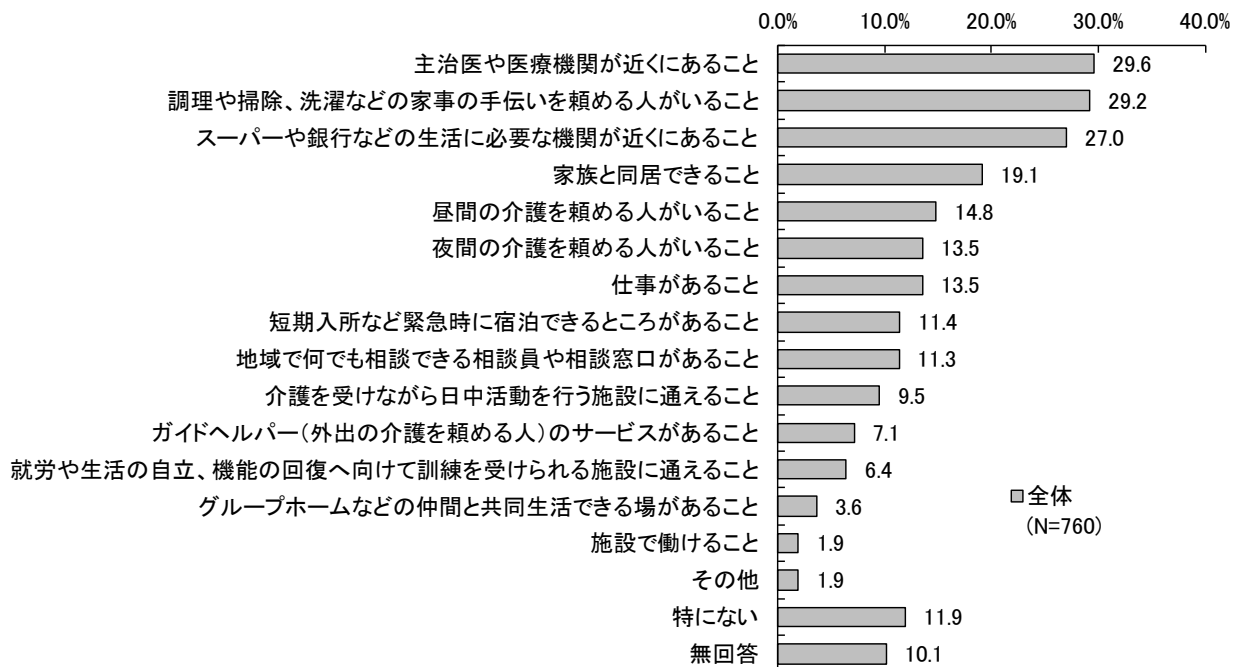
希望する今後の暮らし方】（％）

		調査数（人）	希望する今後の暮らし方							無回答
			一人で暮らしたい	家族と一緒に暮らしたい	グループホームなどの共同生活のできる場所で暮らしたい	障がい者施設に入所したい	高齢者施設に入所したい	その他	わからない	
全体		760	19.3	38.8	3.1	1.7	9.8	2.1	16.4	8.8
年齢区分2	64歳以下	225	25.0	43.3	3.8	2.6	2.3	1.7	17.4	3.9
	65歳以上	530	17.0	36.9	2.9	1.2	12.9	2.3	16.0	10.9
	無回答	5	-	40.0	-	20.0	20.0	-	20.0	-
全体		760	19.3	38.8	3.1	1.7	9.8	2.1	16.4	8.8
年齢詳細	29歳以下	19	25.9	33.3	7.4	11.1	-	1.9	16.7	3.7
	30歳代	28	31.0	49.3	2.8	4.2	1.4	-	9.9	1.4
	40歳代	48	20.0	42.7	2.7	5.3	-	-	24.0	5.3
	50歳代	74	20.5	44.9	3.8	-	6.4	3.8	16.7	3.8
	60～64歳	55	32.1	42.3	3.8	-	-	1.3	16.7	3.8
	65～74歳	178	20.0	41.9	1.9	1.9	6.3	4.4	16.9	6.9
	75歳以上	352	15.5	34.3	3.3	0.8	16.3	1.3	15.5	13.0
	無回答	5	-	40.0	-	20.0	20.0	-	20.0	-
全体		760	19.3	38.8	3.1	1.7	9.8	2.1	16.4	8.8
手帳等級	重度（1・2級）	356	18.4	40.9	3.4	2.4	5.6	2.3	17.3	9.6
	中度（3・4級）	280	21.3	34.0	2.7	1.2	15.0	1.9	16.2	7.6
	軽度（5・6級）	106	16.9	46.5	2.8	1.3	9.0	2.3	12.9	8.2
	無回答	17	17.1	23.5	6.5	-	17.1	-	22.9	12.9
全体		760	19.3	38.8	3.1	1.7	9.8	2.1	16.4	8.8
障がい部位	視覚障がい	29	9.0	58.3	-	-	14.2	-	8.3	10.3
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	69	17.7	39.2	2.1	1.1	13.6	1.4	15.7	9.1
	肢体不自由	250	19.1	37.0	4.8	1.6	9.6	0.4	17.8	9.7
	内部障がい	220	20.1	39.6	2.5	0.9	11.7	3.9	14.7	6.6
	その他	54	14.7	40.1	-	5.3	8.1	7.5	15.5	8.9
	無回答	138	22.9	36.0	3.4	2.6	5.1	1.1	19.0	10.0
全体		760	19.3	38.8	3.1	1.7	9.8	2.1	16.4	8.8
世帯状況	一人暮らし	193	43.1	6.7	3.9	0.8	13.2	4.3	21.5	6.5
	夫婦のみ	220	10.4	48.8	1.4	1.0	10.8	0.4	17.4	9.7
	二世帯同居（親と本人）	69	30.9	35.6	4.4	6.5	1.6	3.5	13.5	3.9
	二世帯同居（子と本人）	171	3.3	69.7	1.7	0.2	7.3	0.7	11.2	5.9
	三世帯同居	19	-	64.1	9.8	1.9	11.1	-	7.0	6.0
	その他	22	25.1	16.6	3.3	5.2	11.3	5.2	23.2	10.1
	グループホーム	40	1.9	18.3	11.1	4.1	14.6	5.4	17.1	27.5
	無回答	27	27.1	29.5	-	5.4	5.4	-	12.3	20.4

(2) 自宅やグループホームで生活するために必要な条件

問23 自宅やグループホームなどで生活するためには、どのような条件が必要だと思いますか。(○は3つまで)

【図表4-64 自宅やグループホームで生活するために必要な条件】



【図表4-65 年齢詳細別、手帳等級別

自宅やグループホームなどで生活するために必要な条件】(%)

	調査数(人)	自宅やグループホームなどで生活するために必要な条件									
		あること 主治医や医療機関が近くに	ること 手伝いを頼める人がい	調りや掃除、洗濯などの家	必要機関が近くに	スパーや銀行などの生活	家族と同居できること	る屋間の介護を頼める人がい	夜間の介護を頼める人がい	仕事があること	短期入所など緊急時に宿泊
全体	760	29.6	29.2	27.0	19.1	14.8	13.5	13.5	11.4	11.3	
年齢詳細	29歳以下	19	27.8	27.8	33.3	22.2	14.8	18.5	53.7	16.7	22.2
	30歳代	28	28.2	16.9	25.4	21.1	12.7	9.9	46.5	7.0	8.5
	40歳代	48	29.3	18.7	37.3	26.7	5.3	9.3	54.7	10.7	6.7
	50歳代	74	24.4	24.4	29.5	24.4	11.5	7.7	34.6	6.4	10.3
	60~64歳	55	41.0	26.9	35.9	14.1	12.8	10.3	21.8	7.7	16.7
	65~74歳	178	28.8	31.9	26.9	15.0	14.4	10.0	7.5	14.4	10.0
	75歳以上	352	29.7	31.0	23.8	19.7	17.2	17.6	0.4	11.3	11.7
無回答	5	20.0	80.0	-	-	40.0	20.0	-	40.0	-	
全体	760	29.6	29.2	27.0	19.1	14.8	13.5	13.5	11.4	11.3	
手帳等級	重度(1・2級)	356	26.4	29.5	23.2	21.1	15.9	15.0	13.3	11.7	11.6
	中度(3・4級)	280	34.5	28.7	32.2	17.2	15.3	13.4	12.0	10.0	10.5
	軽度(5・6級)	106	28.2	29.2	26.7	18.9	10.0	8.6	20.1	13.2	12.6
	無回答	17	23.5	30.0	21.5	8.5	15.0	15.0	-	17.1	8.5

	調査数(人)	自宅やグループホームなどで生活するために必要な条件								
		を介する施設に通えらる日中活動	が護を頼める人のサビ	ガイルドパー(外出の介	れる復へ向けて訓練を受けら	就労や生活の自立、機能の	こと共同生活できる場がある	グループホームなどの仲間	施設で働けること	その他
全体	760	9.5	7.1	6.4	3.6	1.9	1.9	11.9	10.1	
年齢詳細	29歳以下	19	20.4	14.8	9.3	3.7	7.4	-	7.4	-
	30歳代	28	5.6	7.0	7.0	2.8	5.6	1.4	16.9	5.6
	40歳代	48	8.0	8.0	5.3	4.0	2.7	2.7	8.0	4.0
	50歳代	74	3.8	3.8	7.7	3.8	7.7	1.3	15.4	7.7
	60~64歳	55	7.7	6.4	10.3	1.3	3.8	1.3	9.0	2.6
	65~74歳	178	9.4	8.1	5.6	0.6	0.6	3.1	18.8	5.0
	75歳以上	352	10.9	6.7	5.9	5.4	0.4	1.7	8.8	15.9
無回答	5	20.0	20.0	-	-	-	-	-	20.0	
全体	760	9.5	7.1	6.4	3.6	1.9	1.9	11.9	10.1	
手帳等級	重度(1・2級)	356	9.8	7.9	7.7	4.6	1.8	2.9	12.7	10.2
	中度(3・4級)	280	8.3	6.2	4.1	2.6	1.5	1.0	11.2	9.6
	軽度(5・6級)	106	13.2	6.8	7.4	3.4	3.7	1.4	12.1	9.2
	無回答	17	-	8.5	8.5	-	-	-	8.5	20.8

【図表4-66 障がい部位別、希望する今後の暮らし方別
自宅やグループホームなどで生活するために必要な条件】(%)

	調査数(人)	自宅やグループホームなどで生活するために必要な条件									
		主治医や医療機関が近くに	あること	調理や掃除、洗濯などの家事を手伝い頼める人がいる	必要機器が近くにある	スーパや銀行などの生活	家族と同居できること	昼間の介護を頼める人がいる	夜間の介護を頼める人がいる	仕事があること	できる場所など緊急時に宿泊
全体	760	29.6	29.2	27.0	19.1	14.8	13.5	13.5	11.4	11.3	
障がい部位	視覚障がい	29	32.6	21.7	43.2	26.2	11.5	12.9	11.6	16.2	13.4
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	69	31.0	30.4	29.6	21.0	21.1	13.9	14.3	6.4	12.2
	肢体不自由	250	32.0	24.5	25.4	19.1	14.2	9.2	13.9	11.3	8.5
	内部障がい	220	30.6	35.4	28.3	19.7	13.1	18.5	12.3	11.4	14.2
	その他	54	19.0	29.8	18.5	21.0	12.2	9.4	9.2	11.5	7.9
	無回答	138	26.3	28.4	26.3	14.8	17.2	15.0	16.1	13.0	12.1
全体	760	29.6	29.2	27.0	19.1	14.8	13.5	13.5	11.4	11.3	
今後の暮らし方	一人で暮らしたい	146	35.2	25.6	38.8	0.7	20.1	15.0	20.3	10.0	14.0
	家族と一緒に暮らしたい	295	28.5	29.8	24.0	43.6	15.1	9.3	17.5	10.4	11.1
	グループホームなどの共同生活できるところで暮らしたい	24	43.0	41.7	45.0	6.2	10.6	34.9	13.8	21.4	9.0
	障がい者施設に入所したい	13	29.3	56.8	11.2	8.2	2.7	5.4	4.9	31.8	2.7
	高齢者施設に入所したい	75	40.7	40.7	31.4	9.7	10.7	24.7	1.3	18.4	21.2
	その他	16	33.5	47.0	13.8	-	22.9	21.9	8.1	12.8	28.8
	わからない	125	26.1	28.7	26.7	2.7	16.5	14.5	11.7	9.0	6.0
	無回答	67	10.4	8.1	9.9	3.2	5.5	6.5	0.5	7.9	3.3

	調査数(人)	自宅やグループホームなどで生活するために必要な条件							
		介護を受ける施設に通うことができる	介護を受ける施設に通うことができる	介護を受ける施設に通うことができる	介護を受ける施設に通うことができる	介護を受ける施設に通うことができる	介護を受ける施設に通うことができる	介護を受ける施設に通うことができる	介護を受ける施設に通うことができる
全体	760	9.5	7.1	6.4	3.6	1.9	1.9	11.9	10.1
障がい部位	視覚障がい	29	17.5	6.4	7.4	-	-	2.5	14.2
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	69	9.0	10.7	3.7	4.3	1.9	2.2	9.9
	肢体不自由	250	10.7	3.0	7.9	3.9	1.9	1.3	14.6
	内部障がい	220	6.2	6.3	6.6	2.8	1.1	2.2	11.5
	その他	54	14.1	6.1	5.7	-	0.7	-	18.2
	無回答	138	9.6	14.8	4.5	6.1	4.2	3.7	8.3
全体	760	9.5	7.1	6.4	3.6	1.9	1.9	11.9	10.1
今後の暮らし方	一人で暮らしたい	146	8.3	7.9	10.4	3.4	1.4	2.8	14.0
	家族と一緒に暮らしたい	295	9.1	3.4	5.5	0.7	1.5	1.0	10.1
	グループホームなどの共同生活できるところで暮らしたい	24	11.9	10.6	-	54.4	3.0	-	-
	障がい者施設に入所したい	13	21.5	14.1	-	11.2	16.2	-	7.8
	高齢者施設に入所したい	75	14.2	12.8	5.9	4.5	-	1.5	6.0
	その他	16	15.0	11.3	11.3	-	5.9	21.9	9.1
	わからない	125	8.4	9.5	5.6	0.5	3.3	2.6	24.9
	無回答	67	6.5	7.4	5.5	2.8	0.5	-	5.0

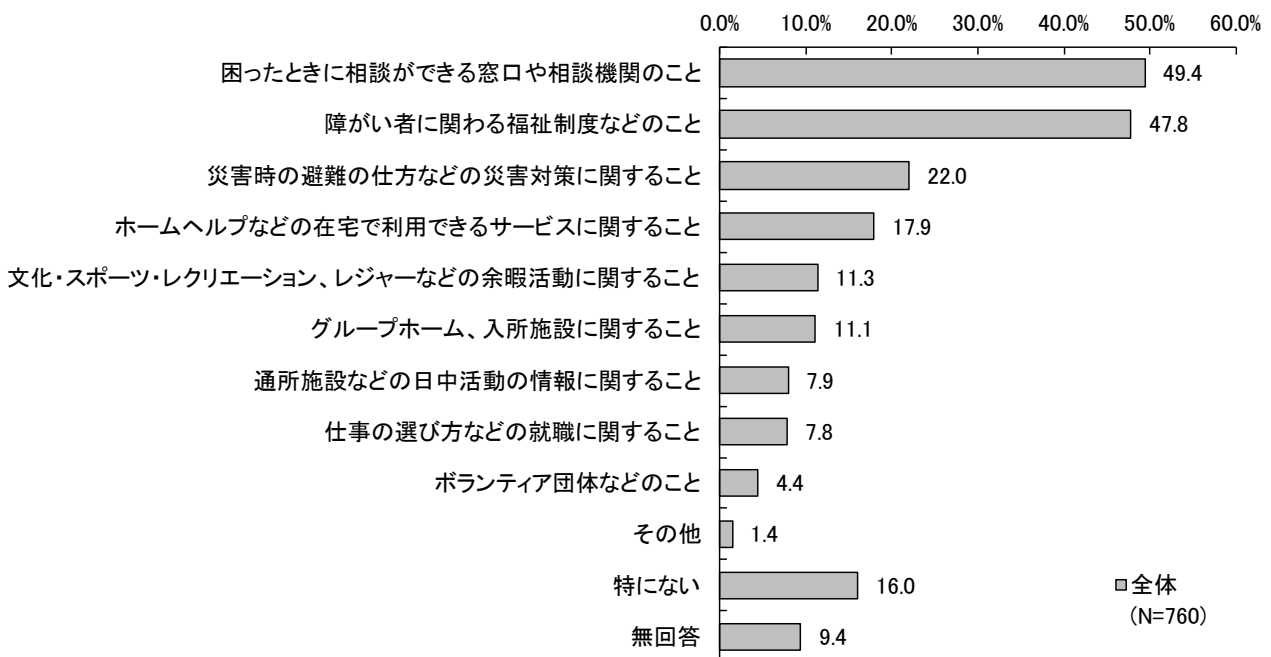
9. 情報収集や相談について

- ・福岡市からの情報で知りたいことについて、年齢詳細別にみると、64歳以下では「障がい者に関わる福祉制度などのこと」、「仕事の選び方などの就職に関すること」の割合が高く、特に30代以下において顕著である。障がい部位別にみると、視覚障がいでは他の部位に比べて、「障がい者に関わる福祉制度などのこと」(63.8%)の割合が高く、6割強を占めている。【図表4-68】
- ・困っていることや心配なこととして、回答者全体では「体、心の健康や障がいのこと」(42.1%)が最も高いが、年齢詳細別にみると、30～50歳代では他に比べて「生活費などの経済的なこと」の割合が高く、50歳代以下では「仕事のこと」が60歳以上に比べて高い。世帯状況別にみると、親との二世帯同居者では「生活費などの経済的なこと」(48.0%)、「老後や将来のこと」(46.4%)、「仕事のこと」(19.2%)の割合が他の世帯状況に比べて高くなっている。【図表4-72】
- ・相談窓口について、年齢2区分別にみると、すべての相談機関について65歳以上よりも64歳以下で認知度が高い。年齢詳細別にみると、50歳代以下では「⑦障がい者就労支援センター」の認知率が60歳以上に比べて高く、40歳代ではそれに加えて「②障がい者基幹相談支援センター」(29.3%)、「⑤身体障がい者相談員、知的障がい者相談員」(22.7%)、「④福岡市障がい110番」(18.7%)が高くなっている。また29歳以下では、「③あいあいセンター(心身障がい福祉センター)」(61.1%)、「②障がい者基幹相談支援センター」(31.5%)の認知度が30歳以上に比べて目立っている。【図表4-74】

(1) 福岡市からの情報で知りたいこと

問24 あなたは、生活に関することで、福岡市からどのような情報が知りたいですか。
(○はあてはまるものすべて)

【図表4-67 福岡市からの情報で知りたいこと】



第4章 身体障がい者調査

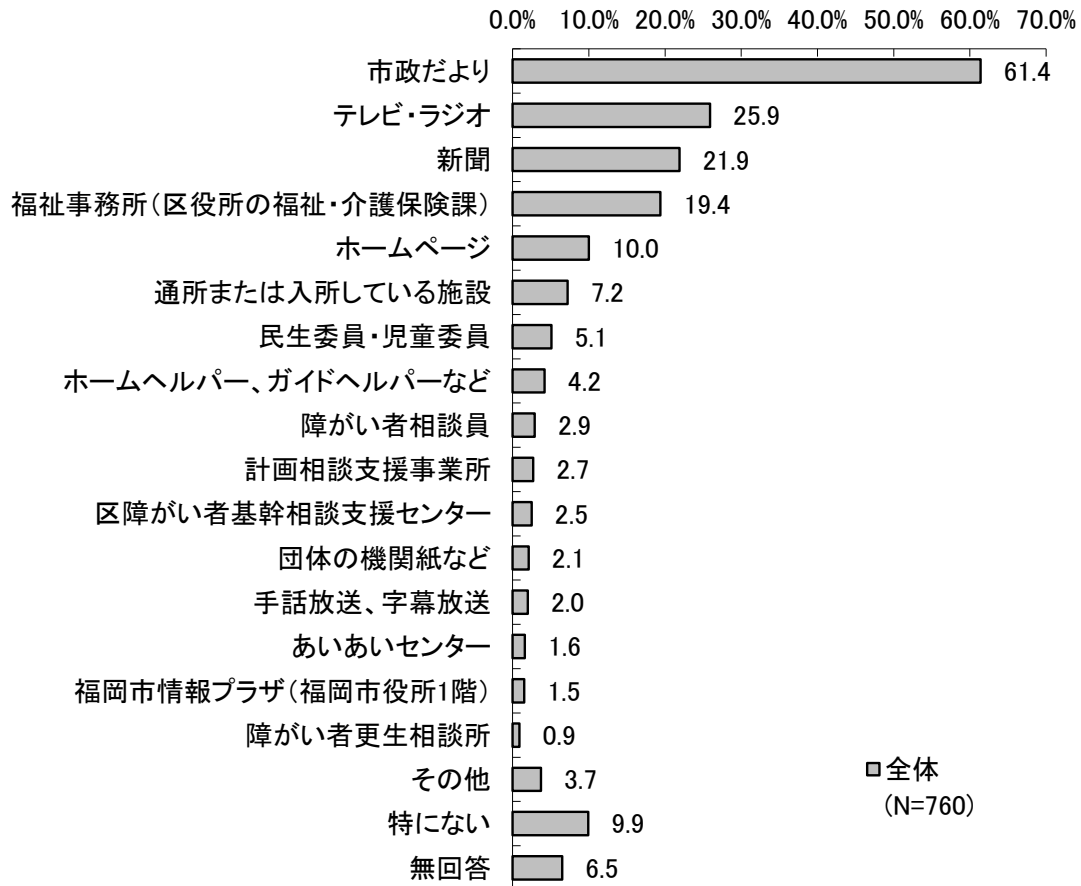
【図表4-68 年齢（2区分、詳細）別、手帳等級別、障がい部位別
福岡市からの情報で知りたいこと】（％）

	調査数（人）	福岡市からの情報で知りたいこと															
		困ったときや相談機 関の相談ができる	障がいの者に 関わる福祉制度	災害時の避難 に関する仕 方などの	災害時の避難 に関する仕 方などの	利用できるサ ービスに 関する	ホームヘル プなどの 在宅事 務	余暇活動に 関する	レジャー などの	文化・スポ ーツ・レ クリ ア	に関するこ と	グ ル ー プ ホ ム 、 入 所 施 設	通 所 施 設 な ど の 日 中 活 動 の	仕 事 の 選 び 方 な ど の 就 職 に	と ボ ラ ン テ ィ ア 団 体 な ど の こ	そ の 他	特 に な い
全体	760	49.4	47.8	22.0	17.9	11.3	11.1	7.9	7.8	4.4	1.4	16.0	9.4				
年 区 分 2	64歳以下	225	54.0	67.1	24.4	13.8	12.8	6.7	4.3	21.8	7.3	1.4	8.8	3.6			
	65歳以上	530	47.4	39.7	21.2	19.6	10.8	12.9	9.5	2.0	3.2	1.3	19.2	11.8			
	無回答	5	60.0	40.0	-	20.0	-	20.0	-	-	-	-	-	20.0			
全体	760	49.4	47.8	22.0	17.9	11.3	11.1	7.9	7.8	4.4	1.4	16.0	9.4				
年 齢 詳 細	29歳以下	19	51.9	75.9	31.5	13.0	27.8	25.9	14.8	27.8	11.1	-	5.6	-			
	30歳代	28	53.5	73.2	29.6	8.5	9.9	4.2	5.6	29.6	4.2	-	14.1	4.2			
	40歳代	48	46.7	68.0	28.0	10.7	12.0	8.0	4.0	25.3	6.7	1.3	8.0	4.0			
	50歳代	74	65.4	67.9	26.9	17.9	11.5	3.8	2.6	17.9	7.7	2.6	5.1	3.8			
	60～64歳	55	46.2	59.0	12.8	14.1	11.5	3.8	2.6	17.9	7.7	1.3	12.8	3.8			
	65～74歳	178	55.0	46.3	22.5	21.3	10.6	8.8	7.5	5.0	1.3	0.6	20.0	8.8			
	75歳以上	352	43.5	36.4	20.5	18.8	10.9	15.1	10.5	0.4	4.2	1.7	18.8	13.4			
無回答	5	60.0	40.0	-	20.0	-	20.0	-	-	-	-	-	20.0				
全体	760	49.4	47.8	22.0	17.9	11.3	11.1	7.9	7.8	4.4	1.4	16.0	9.4				
手 帳 等 級	重度（1・2級）	356	49.2	50.2	27.0	17.4	10.6	8.0	7.0	9.5	6.6	1.6	15.1	10.2			
	中度（3・4級）	280	49.1	45.6	17.3	16.9	11.4	14.4	10.1	4.8	1.5	0.5	19.6	7.6			
	軽度（5・6級）	106	52.6	52.1	17.2	20.0	14.0	12.5	4.8	11.5	4.0	1.6	10.7	8.9			
	無回答	17	40.6	8.5	25.6	32.1	8.5	15.0	8.5	-	8.5	8.5	8.5	27.3			
全体	760	49.4	47.8	22.0	17.9	11.3	11.1	7.9	7.8	4.4	1.4	16.0	9.4				
障 が い 部 位	視覚障がい	29	48.7	63.8	26.9	15.4	20.0	19.3	3.9	4.7	2.5	5.8	3.9	5.1			
	聴覚、平衡機能、 音声・言語障がい	69	52.9	49.9	22.3	15.0	12.2	11.2	4.8	5.2	6.4	-	15.9	10.0			
	肢体不自由	250	47.2	42.2	21.6	17.8	12.7	11.5	8.7	7.7	4.1	0.6	20.9	11.0			
	内部障がい	220	53.6	46.4	27.7	19.8	12.1	11.4	6.7	8.1	5.1	1.6	13.2	6.4			
	その他	54	37.3	39.8	7.8	9.2	3.1	2.0	9.4	5.6	0.7	-	26.4	19.8			
	無回答	138	49.9	59.0	17.9	20.7	8.8	11.9	9.9	10.6	4.7	2.6	10.0	8.1			

(2) 福岡市の福祉施策情報の入手先

問25 福岡市が実施している福祉施策について、あなたが知る手掛りとなっているのは、次のどれですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表4-69 福岡市の福祉施策情報の入手先】



【図表4-70 年齢詳細別、手帳等級別 福岡市の福祉施策情報の入手先】(%)

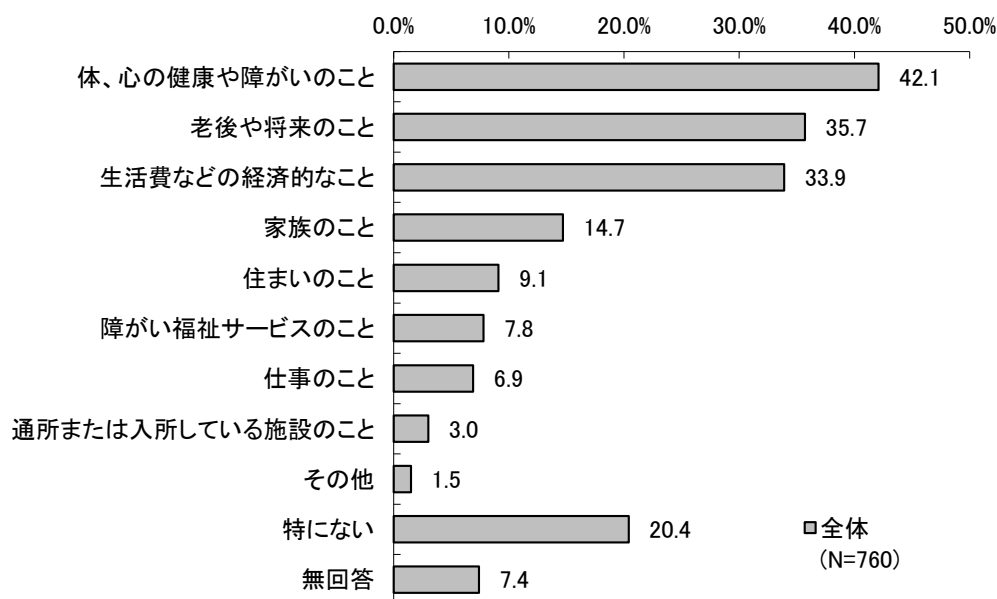
	調査数(人)	福岡市の福祉施策情報の入手先										
		市政だより	テレビ・ラジオ	新聞	課の福祉・介護保険	福祉事務所(区役所)	ホームページ	通所または入所して	民生委員・児童委員	ホームヘルパー、ガイドヘルパーなど	障がい者相談員	計画相談支援事業所
全体	760	61.4	25.9	21.9	19.4	10.0	7.2	5.1	4.2	2.9	2.7	
年齢詳細	29歳以下	19	46.3	22.2	11.1	27.8	27.8	18.5	-	5.6	5.6	16.7
	30歳代	28	47.9	21.1	9.9	15.5	33.8	7.0	-	2.8	7.0	2.8
	40歳代	48	49.3	9.3	5.3	22.7	24.0	12.0	2.7	2.7	1.3	4.0
	50歳代	74	59.0	26.9	11.5	21.8	25.6	1.3	1.3	1.3	3.8	6.4
	60～64歳	55	61.5	29.5	14.1	20.5	19.2	2.6	1.3	1.3	3.8	1.3
	65～74歳	178	65.0	27.5	19.4	18.8	8.1	1.9	3.1	3.1	1.9	2.5
	75歳以上	352	64.0	27.6	30.5	18.4	1.3	10.5	7.9	5.9	2.9	1.3
無回答	5	40.0	-	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	-	-	
全体	760	61.4	25.9	21.9	19.4	10.0	7.2	5.1	4.2	2.9	2.7	
手帳等級	重度(1・2級)	356	60.6	26.4	20.8	23.8	10.7	8.0	3.7	4.5	2.6	3.5
	中度(3・4級)	280	62.4	26.0	22.7	17.3	8.1	7.7	6.0	3.6	4.1	2.2
	軽度(5・6級)	106	62.5	23.2	22.0	12.3	14.3	3.0	8.0	1.7	1.4	1.8
	無回答	17	55.6	32.1	34.2	6.5	-	8.5	-	23.5	-	-

	調査数(人)	福岡市の福祉施策情報の入手先									
		区障がい者センター	団体の機関紙など	手話放送、字幕放送	あいあいセンター	(福岡市情報プラザ)	障がい者更生相談所	その他	特にない	無回答	
全体	760	2.5	2.1	2.0	1.6	1.5	0.9	3.7	9.9	6.5	
年齢詳細	29歳以下	19	7.4	-	3.7	5.6	1.9	-	7.4	9.3	-
	30歳代	28	-	2.8	4.2	2.8	-	1.4	2.8	11.3	1.4
	40歳代	48	5.3	6.7	2.7	4.0	-	1.3	1.3	18.7	4.0
	50歳代	74	2.6	1.3	2.6	2.6	1.3	1.3	2.6	10.3	3.8
	60～64歳	55	3.8	1.3	3.8	1.3	2.6	-	2.6	14.1	1.3
	65～74歳	178	1.3	2.5	1.3	-	2.5	1.9	3.1	11.3	5.6
	75歳以上	352	2.5	1.7	1.7	1.7	1.3	0.4	4.6	7.1	9.2
無回答	5	-	-	-	-	-	-	-	20.0	20.0	
全体	760	2.5	2.1	2.0	1.6	1.5	0.9	3.7	9.9	6.5	
手帳等級	重度(1・2級)	356	2.4	2.3	4.1	1.1	1.7	1.2	4.5	8.0	7.8
	中度(3・4級)	280	2.9	1.1	0.3	2.3	2.0	0.5	2.5	11.2	5.5
	軽度(5・6級)	106	1.0	4.7	-	0.6	-	-	3.3	12.4	4.7
	無回答	17	8.5	-	-	8.5	-	6.5	8.5	14.3	6.5

(3) 困っていることや心配なこと

問26 あなたは、今の生活の中で困っていることや心配なこと、悩んでいることがありますか。(〇は3つまで)

【図表4-71 困っていることや心配なこと】



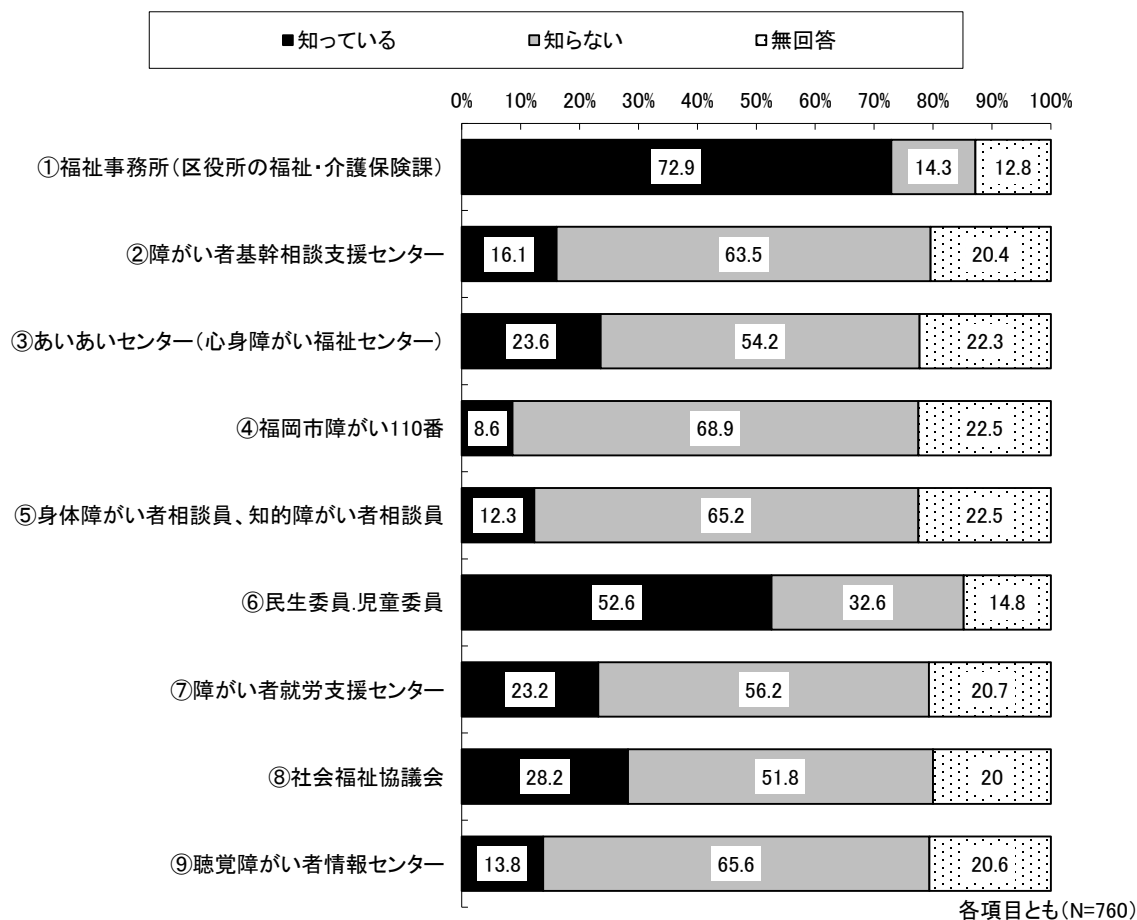
【図表4-72 年齢詳細別、世帯状況別 困っていることや心配なこと】 (%)

	調査数 (人)	困っていることや心配なこと											
		が体、心の健康や障	老後や将来のこと	的、生活費などの経済	家族のこと	住まいのこと	ス障がいのこと福祉サービス	仕事のこと	て通所または入所し	その他	特にない	無回答	
全体	760	42.1	35.7	33.9	14.7	9.1	7.8	6.9	3.0	1.5	20.4	7.4	
年齢詳細	29歳以下	19	42.6	46.3	31.5	14.8	14.8	13.0	25.9	11.1	1.9	20.4	-
	30歳代	28	42.3	40.8	49.3	11.3	8.5	5.6	29.6	4.2	-	15.5	2.8
	40歳代	48	50.7	38.7	48.0	12.0	13.3	-	25.3	2.7	5.3	13.3	4.0
	50歳代	74	39.7	44.9	44.9	26.9	11.5	5.1	21.8	1.3	1.3	19.2	3.8
	60~64歳	55	42.3	35.9	32.1	9.0	12.8	6.4	7.7	2.6	2.6	24.4	1.3
	65~74歳	178	41.3	36.9	38.8	12.5	8.8	10.6	3.8	-	1.9	23.1	5.6
	75歳以上	352	41.8	31.4	26.4	15.1	7.5	7.9	-	4.6	0.8	20.1	11.3
	無回答	5	40.0	60.0	40.0	-	-	20.0	-	-	-	20.0	-
全体	760	42.1	35.7	33.9	14.7	9.1	7.8	6.9	3.0	1.5	20.4	7.4	
世帯状況	一人暮らし	193	43.2	45.1	40.6	5.1	14.1	7.6	7.8	2.3	0.9	13.5	6.7
	夫婦のみ	220	37.3	35.9	27.1	19.2	8.6	9.1	3.3	2.0	0.8	24.6	8.2
	二世帯同居(親と本人)	69	49.2	46.4	48.0	18.4	8.2	8.4	19.2	5.1	-	14.0	3.0
	二世帯同居(子と本人)	171	44.1	30.2	32.2	20.7	6.4	7.5	7.3	2.3	2.3	20.7	8.1
	三世帯同居	19	43.7	19.7	39.9	16.8	5.1	10.8	7.3	1.9	15.8	17.9	7.9
	その他	22	41.6	50.0	35.2	6.8	20.2	3.3	3.0	5.0	3.0	27.3	3.3
	グループホーム	40	45.3	10.8	20.9	7.3	-	8.3	1.0	10.0	1.8	34.6	3.7
	無回答	27	37.7	11.0	30.9	16.3	5.4	-	7.8	5.4	-	25.8	20.4

(4) 相談窓口の認知度

問27 福岡市には、障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる窓口として、次のような窓口があります。
 あなたは、これらの相談窓口があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。
 さらに、「利用したことがある」を選ばれた方は、その時の満足度はどうでしたか。
 ①～⑨の項目ごとに、認知度、利用状況、満足度のそれぞれについて○をつけてください。

【図表4-73 相談窓口の認知度】



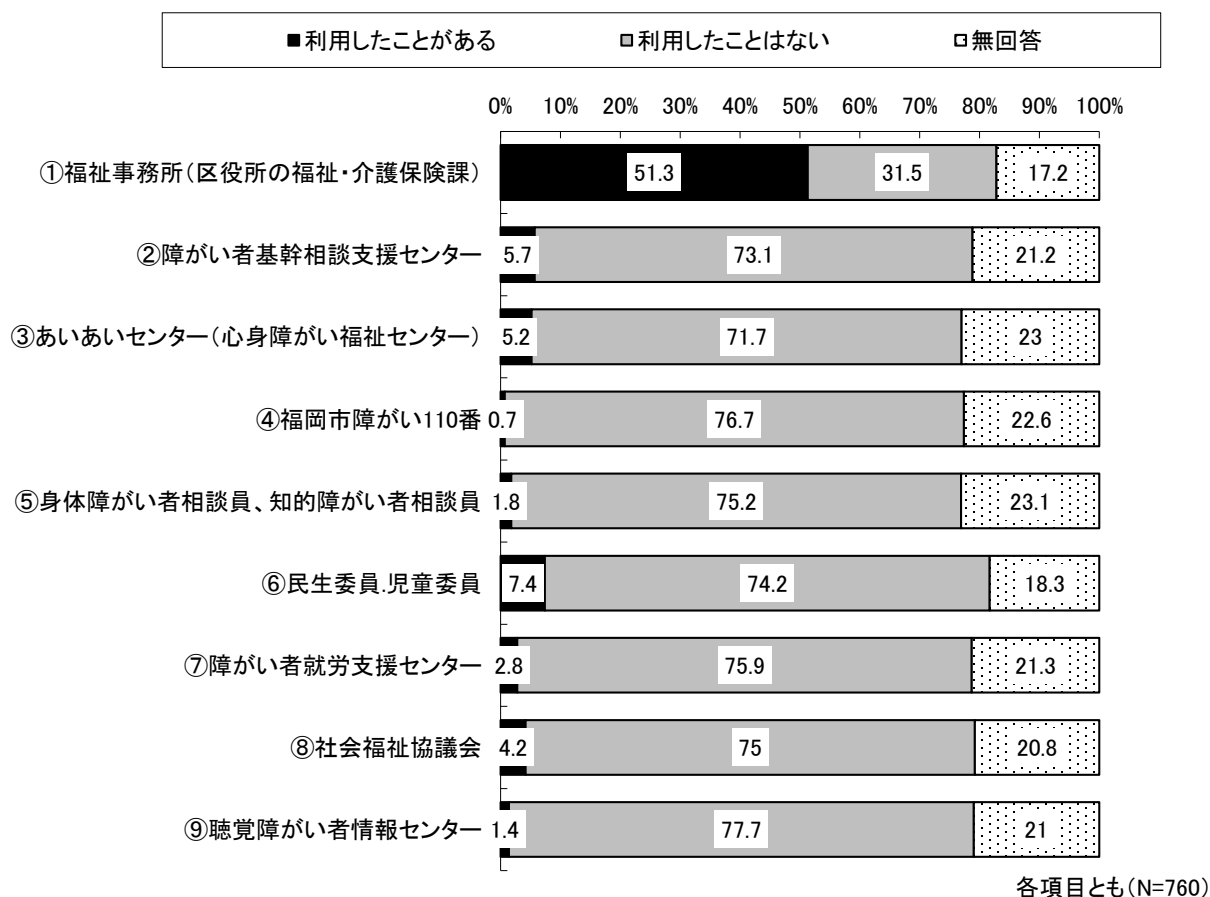
【図表4-74 年齢（2区分、詳細）別 相談窓口の認知度（「知っている」の割合）】（%）

	調査数（人）	相談窓口の認知度（「知っている」の割合）									
		① 役所の福祉課	② 福祉センター	③ 福祉センター	④ 110番	⑤ 相談員	⑥ 民生委員・児童委員	⑦ 障害者就労支援センター	⑧ 社会福祉協議会	⑨ 報せセンター	
全体	760	72.9	16.1	23.6	8.6	12.3	52.6	23.2	28.2	13.8	
年齢区分2	64歳以下	225	78.9	23.0	39.9	13.7	18.5	55.1	41.7	35.3	19.8
	65歳以上	530	70.5	13.2	16.9	6.3	9.6	51.7	15.3	25.1	11.4
	無回答	5	60.0	20.0	-	20.0	20.0	40.0	20.0	40.0	-
全体	760	72.9	16.1	23.6	8.6	12.3	52.6	23.2	28.2	13.8	
年齢詳細	29歳以下	19	81.5	31.5	61.1	14.8	20.4	53.7	55.6	37.0	20.4
	30歳代	28	77.5	23.9	47.9	9.9	18.3	31.0	47.6	32.4	12.7
	40歳代	48	80.0	29.3	45.3	18.7	22.7	58.7	48.0	34.7	22.7
	50歳代	74	79.5	19.2	38.5	17.9	16.7	60.3	39.7	35.9	17.9
	60～64歳	55	76.9	19.2	25.6	5.1	16.7	57.7	30.8	35.9	23.1
	65～74歳	178	75.0	14.4	21.3	8.8	11.3	51.3	22.5	32.5	12.5
	75歳以上	352	68.2	12.6	14.6	5.0	8.8	51.9	11.7	21.3	10.9
無回答	5	60.0	20.0	-	20.0	20.0	40.0	20.0	40.0	-	

(5) 相談窓口の利用状況

問27 福岡市には、障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる窓口として、次のような窓口があります。
 あなたは、これらの相談窓口があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。
 さらに、「利用したことがある」を選ばれた方は、その時の満足度はどうでしたか。
 ①～⑨の項目ごとに、認知度、利用状況、満足度のそれぞれについて○をつけてください。

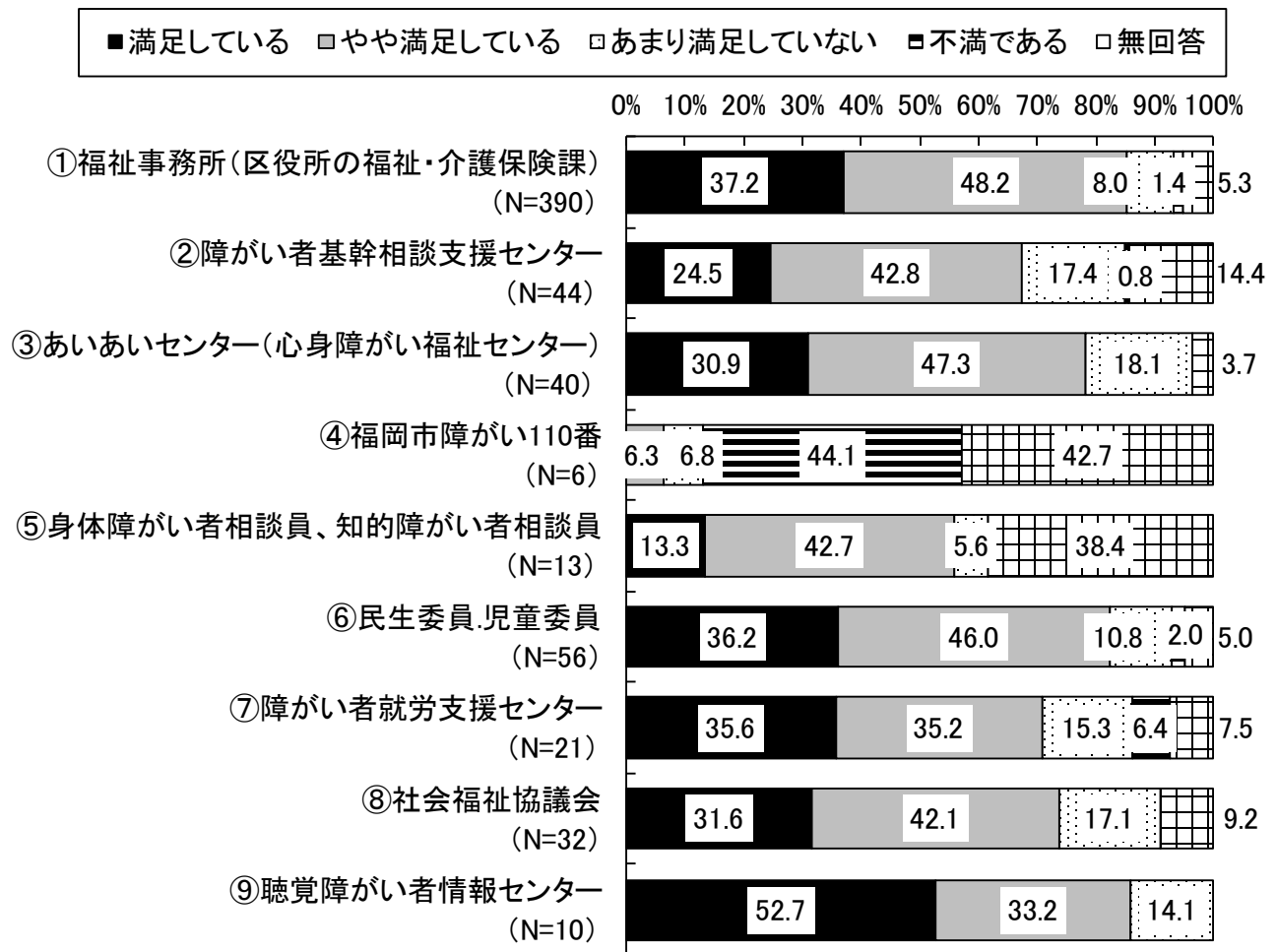
【図表4-75 相談窓口の利用状況】



(6) 相談窓口の満足度

問27 福岡市には、障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる窓口として、次のような窓口があります。
 あなたは、これらの相談窓口があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。
 さらに、「利用したことがある」を選ばれた方は、その時の満足度はどうでしたか。
 ①～⑨の項目ごとに、認知度、利用状況、満足度のそれぞれについて○をつけてください。

【図表4-76 相談窓口の満足度】



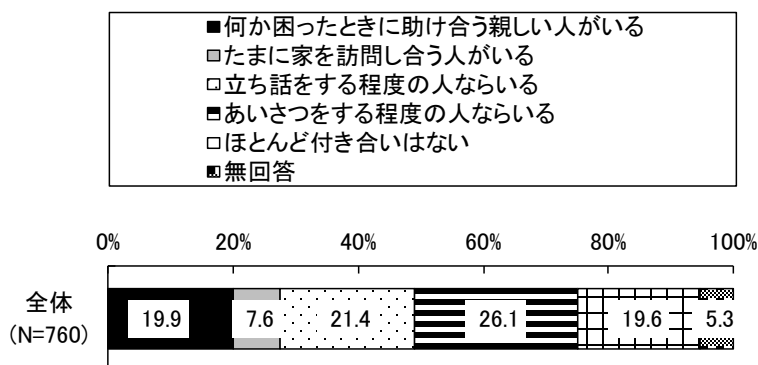
10. 地域とのかかわりについて

- ・ご近所の方との関係を、世帯状況別にみると、一人暮らし、グループホームでは「ほとんど付き合いはない」が最も高く35.8%に達している。また二世帯同居（親と本人）、二世帯同居（子と本人）、三世帯同居では「あいさつをする程度の人ならいる」が最も高くなっている。【図表4-78】
- ・地域行事への参加状況は、「参加していない」（50.1%）が半数を占めており、「参加している」は11.5%、「たまに参加している」は14.2%となっている。【図表4-79】

(1) 近所の方との関係

問28 あなたのご近所の方との関係は、次のどれに近いですか。（○は1つだけ）

【図表4-77 近所の方との関係】



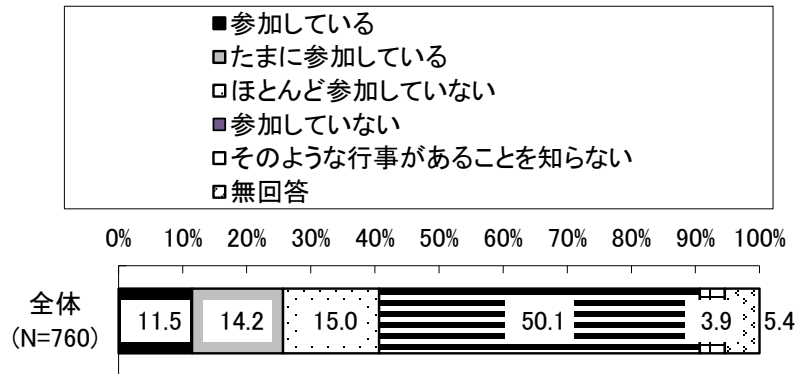
【図表4-78 世帯状況別 近所の方との関係】 (%)

	調査数 (人)	近所の方との関係						
		何か困ったときに助け合う親しい人がいる	たまに家を訪問し合う人がいる	立ち話をする程度の人ならいる	あいさつをする程度の人ならいる	ほとんど付き合いはない	無回答	
全体	760	19.9	7.6	21.4	26.1	19.6	5.3	
世帯状況	一人暮らし	193	24.5	6.4	17.1	21.3	26.7	3.9
	夫婦のみ	220	18.2	11.5	22.5	23.7	17.9	6.2
	二世帯同居(親と子)	69	17.4	7.7	16.1	36.1	21.0	1.6
	二世帯同居(子と本人)	171	22.7	4.7	29.3	29.4	12.2	1.7
	三世帯同居	19	19.0	19.3	21.2	37.1	3.5	-
	その他	22	15.0	4.4	21.9	34.1	21.3	3.3
	グループホーム	40	7.3	5.3	11.9	17.1	35.8	22.5
	無回答	27	13.6	2.6	19.0	33.5	10.8	20.4

(2) 地域行事への参加状況

問29 ここ2～3年の間、地域での行事（町内会などが実施する防災訓練、夏まつりなど）に参加したことがありますか。（○は1つだけ）

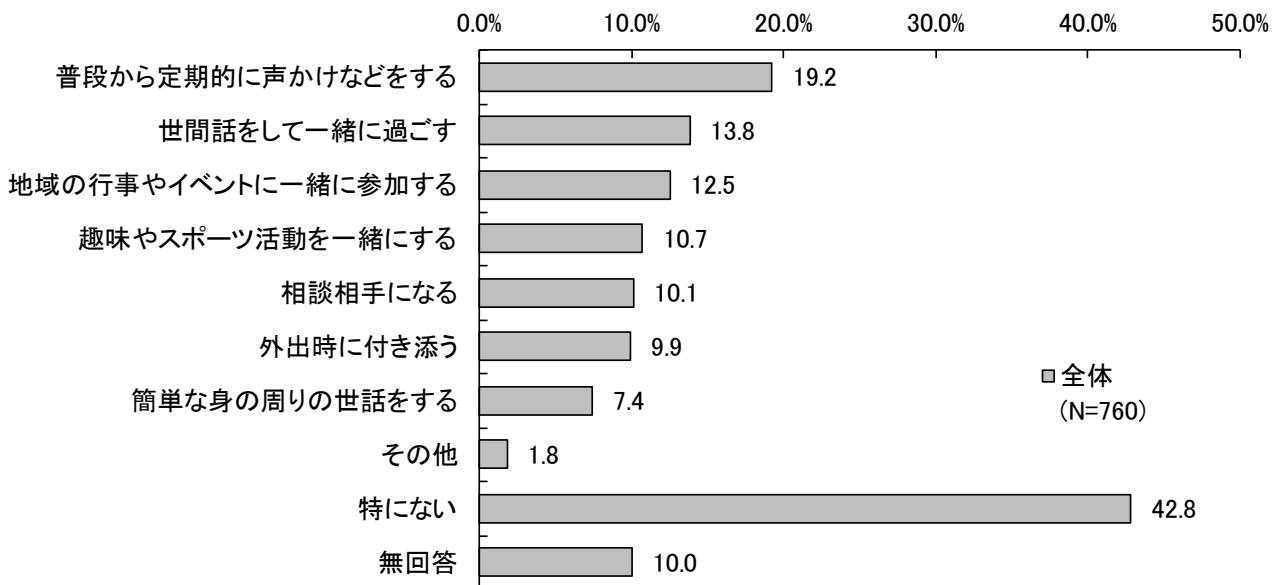
【図表4-79 地域行事への参加状況】



(3) ボランティア活動希望者のための支援・交流

問30 あなたは、地域の方が何かボランティア活動をしたいと思っている場合、どのような支援・交流があったらいいと思いますか。（○はあてはまるものすべて）

【図表4-80 ボランティア活動希望者のための支援・交流】



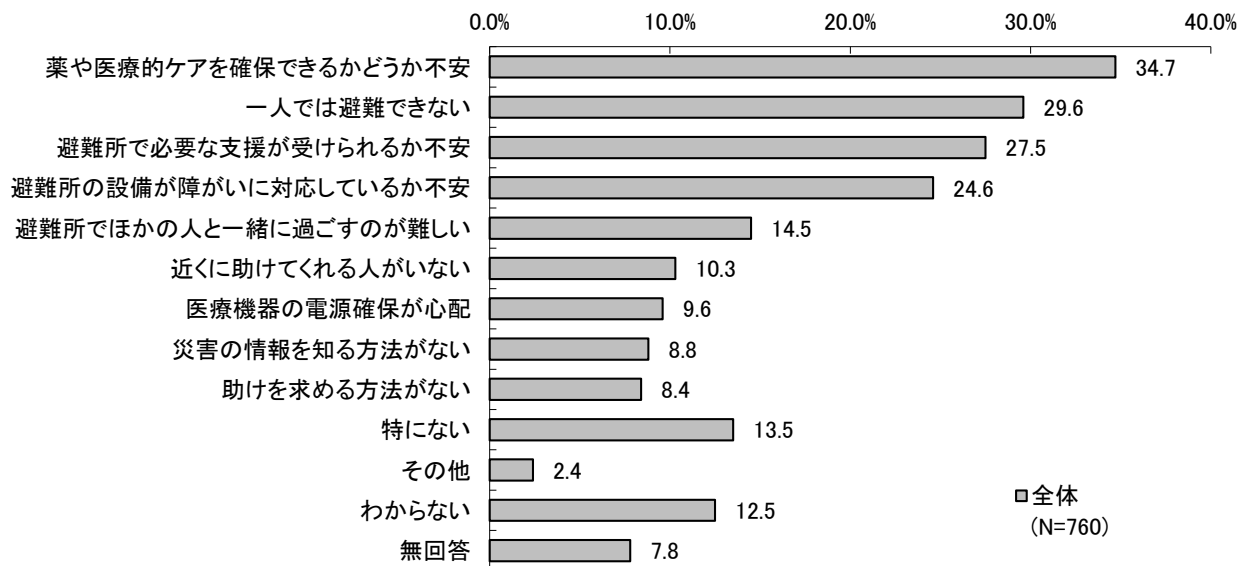
1.1. 防災について

- ・地震などの災害発生時に困ることや不安なことについて、手帳等級別にみると、「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」、「一人では避難できない」、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」、「避難所の設備が障がいに対応しているか不安」は等級が重くなるほど高くなる傾向となっている。【図表4-82】
- ・災害への備えについて、全体でみると「特にない」が44.3%を占めており、半数近くに人は備えをしていない。年齢詳細別にみると、30歳代では「日頃から家族で災害時の対応を話し合っている」(26.8%)の割合が、他の年代に比べ高くなっている。【図表4-84】
- ・災害時に頼れる人について、年齢詳細別にみると、29歳以下では「同居の家族」が75.9%と高くなっている。また、40歳代と50歳代では「友人・知人」がいずれも2割に達し他に比べて高くなっている。世帯状況別にみると、一人暮らしでは他に比べて「頼れる人がいない」(25.5%)の割合が高くなっている。【図表4-86】
- ・福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度について、年齢詳細別にみると、『感じている』(「感じている」+「どちらかといえば感じている」の合計)の割合は、各年代で3割台となっており大きな差はみられないが、唯一50歳代のみ『感じていない』(「どちらかといえば感じていない」+「感じていない」の合計)の割合が39.8%と『感じている』(33.3%)を上回っている。手帳等級別にみると、軽度(5・6級)では『感じている』が41.4%とやや高くなっている。また世帯状況別にみると、その他の世帯と三世帯同居では『感じている』が4割台に達し他に比べて高くなっている。【図表4-88】

(1) 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと

問3 1 あなたが、地震などの災害が発生したときに、困ることや不安なことは何ですか。
(○はあてはまるものすべて)

【図表4-81 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと】



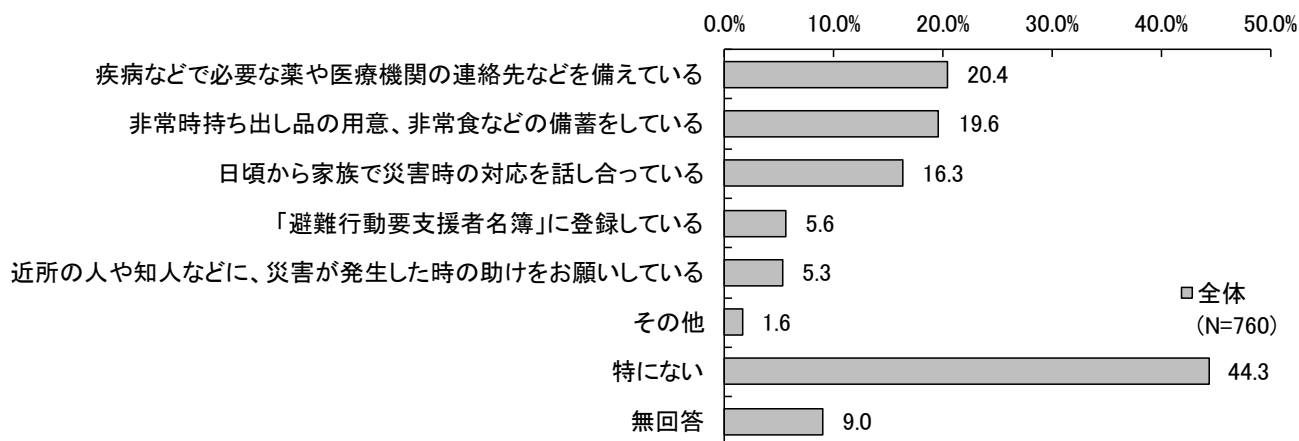
【図表4-82 手帳等級別 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと】(%)

	調査数(人)	地震などの災害が発生したときに困ること、不安なこと													
		ない	助けを求める方法がない	近くに助けをくれる人がいない	一人では避難できない	避難所の設備が不安	避難所での必要な支援が受けられない	避難所でのほかの人の一緒に避難するかどうか不安	薬や医療的ケアを確保できず、不安	配医療機器の電源確保が心配	特になし	その他	わからない	無回答	
全体	760	8.8	8.4	10.3	29.6	24.6	27.5	14.5	34.7	9.6	13.5	2.4	12.5	7.8	
手帳等級	重度(1・2級)	356	8.5	5.8	8.7	33.8	30.1	31.3	14.8	39.1	12.6	11.9	2.7	9.9	7.3
	中度(3・4級)	280	8.7	10.2	11.7	25.3	22.0	25.2	15.2	33.4	7.0	13.1	2.2	14.3	8.8
	軽度(5・6級)	106	8.4	12.2	10.7	23.9	13.5	21.2	12.8	23.1	4.3	20.5	2.4	16.2	7.3
	無回答	17	17.1	8.5	17.1	47.1	23.5	25.6	6.5	38.6	23.5	8.5	-	14.3	6.5

(2) 災害への備え

問32 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表4-83 災害への備え】



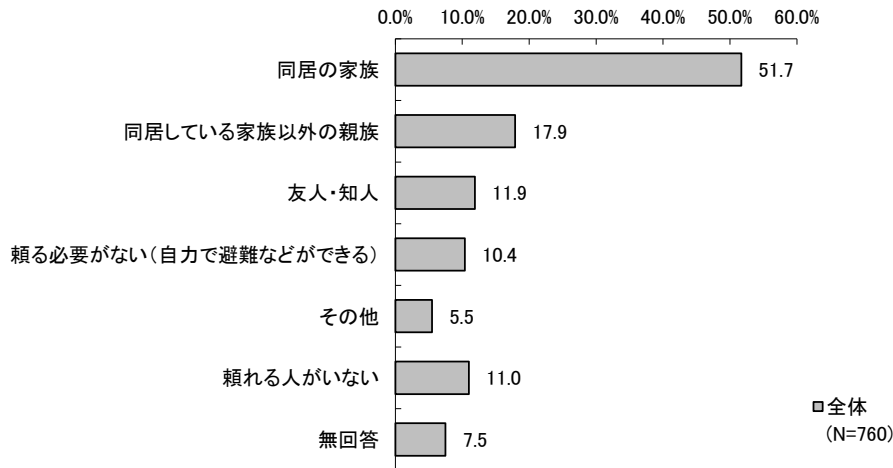
【図表4-84 年齢詳細別、手帳等級別、障がい部位別 災害への備え】(%)

	調査数(人)	災害への備え								
		え療疾 て機病 いる関 るの 連 絡 先 な ど を 備	意、非 常 時 持 ち 出 し の 備 蓄 を	非 常 時 話 し 合 っ て い る の 時 の	日 頃 か ら 家 族 で 災 害 時 の	簿 一 に 登 録 し て い る 者 名	を お 願 い し て い る の 助 け	近 所 の 人 や 知 人 な ど に	特 に な い	無 回 答
全体	760	20.4	19.6	16.3	5.6	5.3	1.6	44.3	9.0	
年齢 詳細	29歳以下	19	13.0	16.7	18.5	14.8	1.9	1.9	50.0	1.9
	30歳代	28	16.9	23.9	26.8	1.4	4.2	-	43.7	5.6
	40歳代	48	29.3	22.7	20.0	10.7	1.3	1.3	48.0	1.3
	50歳代	74	17.9	17.9	17.9	10.3	3.8	2.6	52.6	1.3
	60～64歳	55	21.8	19.2	17.9	2.6	1.3	3.8	43.6	6.4
	65～74歳	178	24.4	20.6	14.4	6.9	1.3	0.6	41.3	8.1
	75歳以上	352	18.4	18.8	15.1	3.3	9.2	1.7	43.5	13.0
	無回答	5	-	20.0	20.0	20.0	-	-	40.0	20.0
全体	760	20.4	19.6	16.3	5.6	5.3	1.6	44.3	9.0	
手 帳 等 級	重度(1・2級)	356	24.1	16.8	14.1	8.9	5.5	0.8	43.0	8.6
	中度(3・4級)	280	20.0	20.7	16.4	2.9	6.0	1.5	46.8	9.6
	軽度(5・6級)	106	11.1	23.9	24.5	2.6	2.3	4.7	41.9	7.8
	無回答	17	8.5	32.1	8.5	-	8.5	-	46.4	12.9
全体	760	20.4	19.6	16.3	5.6	5.3	1.6	44.3	9.0	
障 が い 部 位	視覚障がい	29	14.1	19.4	26.6	7.2	9.8	1.3	24.5	26.9
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	69	20.3	14.4	15.6	4.6	13.3	1.0	45.3	4.3
	肢体不自由	250	17.4	18.6	15.9	7.1	2.2	1.2	47.1	8.0
	内部障がい	220	30.9	26.4	16.5	4.5	6.1	1.9	37.9	6.2
	その他	54	14.4	14.4	14.5	10.7	-	5.1	54.2	5.5
	無回答	138	12.8	15.2	15.2	2.8	6.9	0.7	49.2	15.1

(3) 災害時に頼れる人

問33 あなたは、水害や地震などが発生したときに、安全の確保などで頼れる人はどなたですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表4-85 災害時に頼れる人】



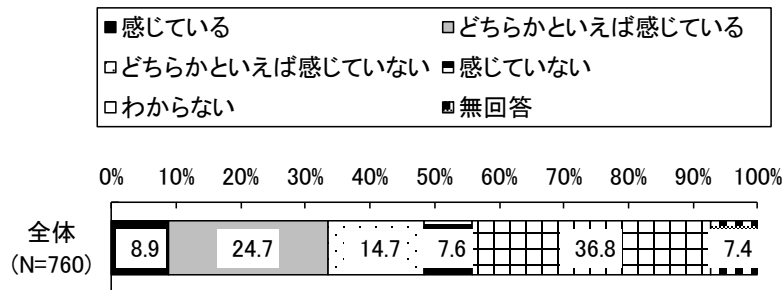
【図表4-86 年齢(2区分、詳細)別、世帯状況別 災害時に頼れる人】(%)

	調査数(人)	災害時に頼れる人							
		同居の家族	同居している家族以外の親族	友人・知人	その他	頼る必要がない(自力で避難などができる)	頼れる人がいない	無回答	
全体	760	51.7	17.9	11.9	5.5	10.4	11.0	7.5	
年齢区分2	64歳以下	225	56.9	16.6	15.7	2.4	13.5	12.0	4.8
	65歳以上	530	49.6	18.5	9.9	6.7	9.1	10.7	8.8
	無回答	5	40.0	20.0	60.0	20.0	-	-	-
全体	760	51.7	17.9	11.9	5.5	10.4	11.0	7.5	
年齢詳細	29歳以下	19	75.9	11.1	11.1	-	9.3	3.7	5.6
	30歳代	28	62.0	11.3	9.9	2.8	16.9	8.5	4.2
	40歳代	48	58.7	21.3	22.7	2.7	12.0	9.3	2.7
	50歳代	74	51.3	17.9	20.5	2.6	16.7	12.8	5.1
	60~64歳	55	53.8	15.4	7.7	2.6	10.3	17.9	6.4
	65~74歳	178	52.5	19.4	8.8	4.4	10.6	11.9	6.3
	75歳以上	352	48.1	18.0	10.5	7.9	8.4	10.0	10.0
	無回答	5	40.0	20.0	60.0	20.0	-	-	-
全体	760	51.7	17.9	11.9	5.5	10.4	11.0	7.5	
世帯状況	一人暮らし	193	1.3	25.0	14.5	8.4	18.9	25.5	8.6
	夫婦のみ	220	75.6	19.3	13.5	0.5	6.3	4.1	5.9
	二世帯同居(親と本人)	69	69.7	18.6	12.4	1.4	7.5	8.2	4.3
	二世帯同居(子と本人)	171	77.7	14.4	10.2	1.4	8.8	4.6	6.9
	三世帯同居	19	88.9	8.6	17.3	-	5.1	-	-
	その他	22	44.9	10.4	6.0	3.0	25.1	10.4	3.3
	グループホーム	40	13.5	3.7	2.5	48.2	-	11.1	24.7
	無回答	27	42.9	10.8	5.5	5.4	6.7	19.0	9.5

(4) 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度

問3 4 あなたは、福岡市は安全・安心のための社会環境整備ができていると感じていますか。(○は1つだけ)

【図表4-87 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度】



【図表4-88 年齢詳細別、手帳等級別、世帯状況別
福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度】(%)

	調査数(人)	福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度						
		感じている	どちらかといえば感じている	どちらかといえば感じていない	感じていない	わからない	無回答	
全体	760	8.9	24.7	14.7	7.6	36.8	7.4	
年齢詳細	29歳以下	19	9.3	27.8	14.8	13.0	31.5	3.7
	30歳代	28	5.6	31.0	21.1	8.5	29.6	4.2
	40歳代	48	6.7	25.3	18.7	6.7	40.0	2.7
	50歳代	74	6.4	26.9	29.5	10.3	23.1	3.8
	60～64歳	55	9.0	26.9	12.8	14.1	29.5	7.7
	65～74歳	178	8.1	23.1	16.3	9.4	38.1	5.0
	75歳以上	352	10.5	24.3	9.6	5.0	40.2	10.5
	無回答	5	-	-	40.0	-	60.0	-
全体	760	8.9	24.7	14.7	7.6	36.8	7.4	
手帳等級	重度(1・2級)	356	9.4	24.4	13.7	7.9	36.9	7.7
	中度(3・4級)	280	9.1	22.3	15.7	7.1	38.3	7.5
	軽度(5・6級)	106	8.2	33.2	17.8	9.0	25.9	5.9
	無回答	17	-	17.1	-	-	76.5	6.5
全体	760	8.9	24.7	14.7	7.6	36.8	7.4	
世帯状況	一人暮らし	193	12.4	22.5	11.1	6.3	38.8	8.9
	夫婦のみ	220	7.9	28.5	16.3	7.3	33.3	6.7
	二世帯同居(親と本人)	69	6.2	23.3	19.3	15.3	31.1	4.8
	二世帯同居(子と本人)	171	7.8	24.9	13.5	7.9	40.4	5.3
	三世帯同居	19	14.9	27.1	19.6	6.0	24.5	7.9
	その他	22	8.5	40.7	8.5	13.6	20.3	8.5
	グループホーム	40	5.3	8.3	18.1	3.7	53.7	11.0
	無回答	27	6.7	21.2	19.0	-	38.1	14.9

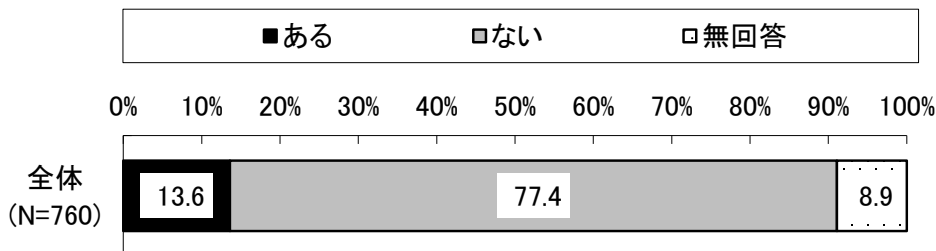
12. 差別や人権について

- ・ここ2～3年に差別を受けたり、いやな思いをした経験について、年齢詳細別にみると、29歳以下では「ある」が51.9%を占めている。障がい部位別にみると、視覚障がいは「ある」が26.8%と他に比べて高くなっている。【図表4-90】
- ・障がい者の人権に関して問題があると思うことは、「道路の段差や建物の階段など外出先での不便が多いこと」(29.8%)が最も高い。年齢詳細別にみると、29歳以下では「人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないこと」が37.0%と30歳以上に比べて高い。また、年代が若いほど「差別的な言動を受ける事」、「障がい者の意見や行動が尊重されないこと（結婚、就職に際しての周囲の反対など）」が高くなる傾向がみられる。【図表4-94】

(1) 差別を受けたり、いやな思いをした経験

問35 あなたは、ここ2～3年の間に、障がいがあるため、差別を受けたりいやな思いをしたことがありますか。(○は1つだけ)

【図表4-89 差別を受けたり、いやな思いをした経験】



【図表4-90 年齢詳細別、障がい部位別 差別を受けたり、いやな思いをした経験】(%)

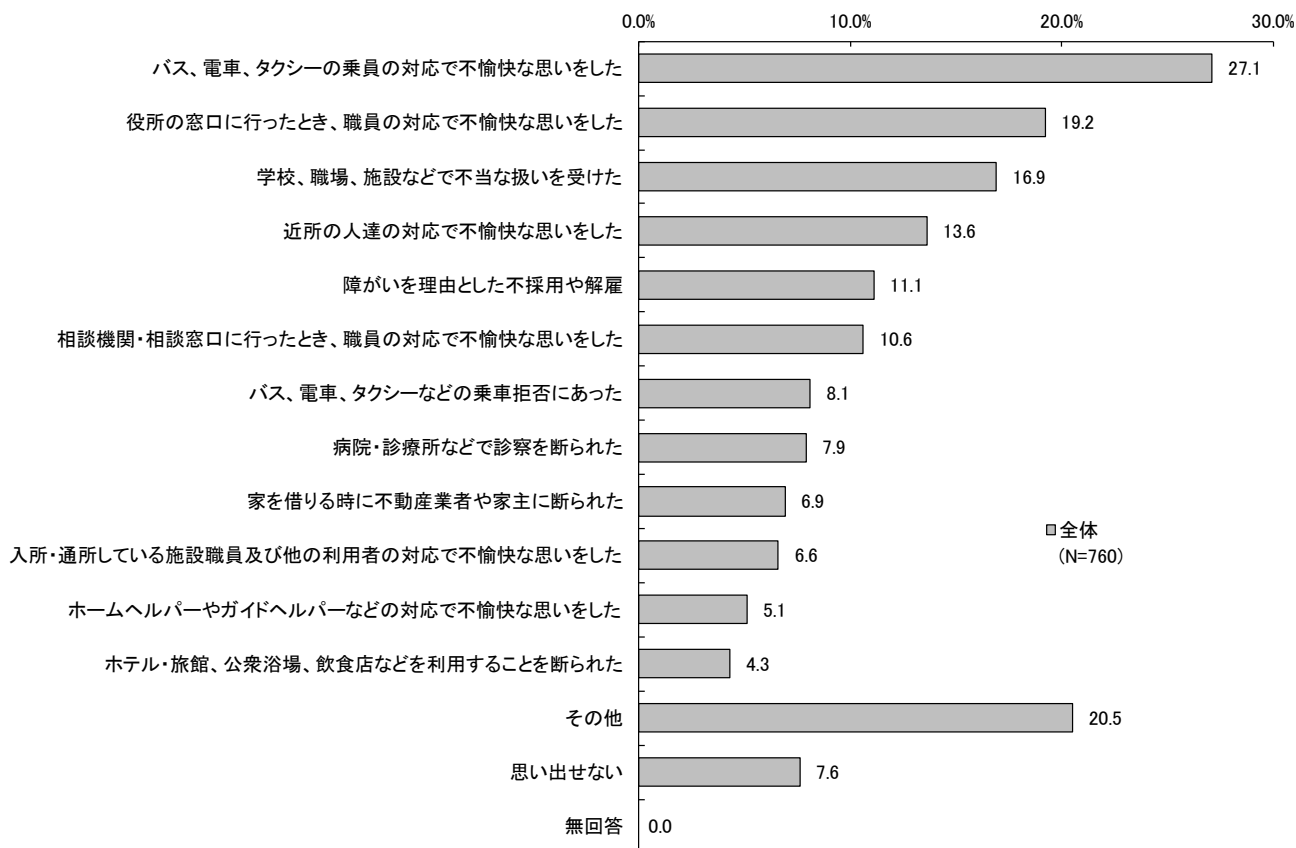
	調査数 (人)	差別を受けたり、いやな思いをした経験			
		ある	ない	無回答	
全体	760	13.6	77.4	8.9	
年齢詳細	29歳以下	19	51.9	42.6	5.6
	30歳代	28	26.8	67.6	5.6
	40歳代	48	32.0	65.3	2.7
	50歳代	74	23.1	74.4	2.6
	60～64歳	55	16.7	75.6	7.7
	65～74歳	178	15.0	78.8	6.3
	75歳以上	352	5.0	82.0	13.0
	無回答	5	-	80.0	20.0
全体	760	13.6	77.4	8.9	
障がい部位	視覚障がい	29	26.8	65.6	7.6
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	69	11.9	77.3	10.9
	肢体不自由	250	12.9	77.4	9.7
	内部障がい	220	11.8	81.3	7.0
	その他	54	10.2	87.1	2.7
	無回答	138	17.5	70.0	12.5

(2) 差別を受けたり、いやな思いをした内容

[問35で「1」を選ばれた方におたずねします]

問35-1 どのようなことで、いやな思いをしましたか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表4-91 差別を受けたり、いやな思いをした内容】



【図表4-92 年齢2区分別、障がい部位別 差別を受けたり、いやな思いをした内容】(%)

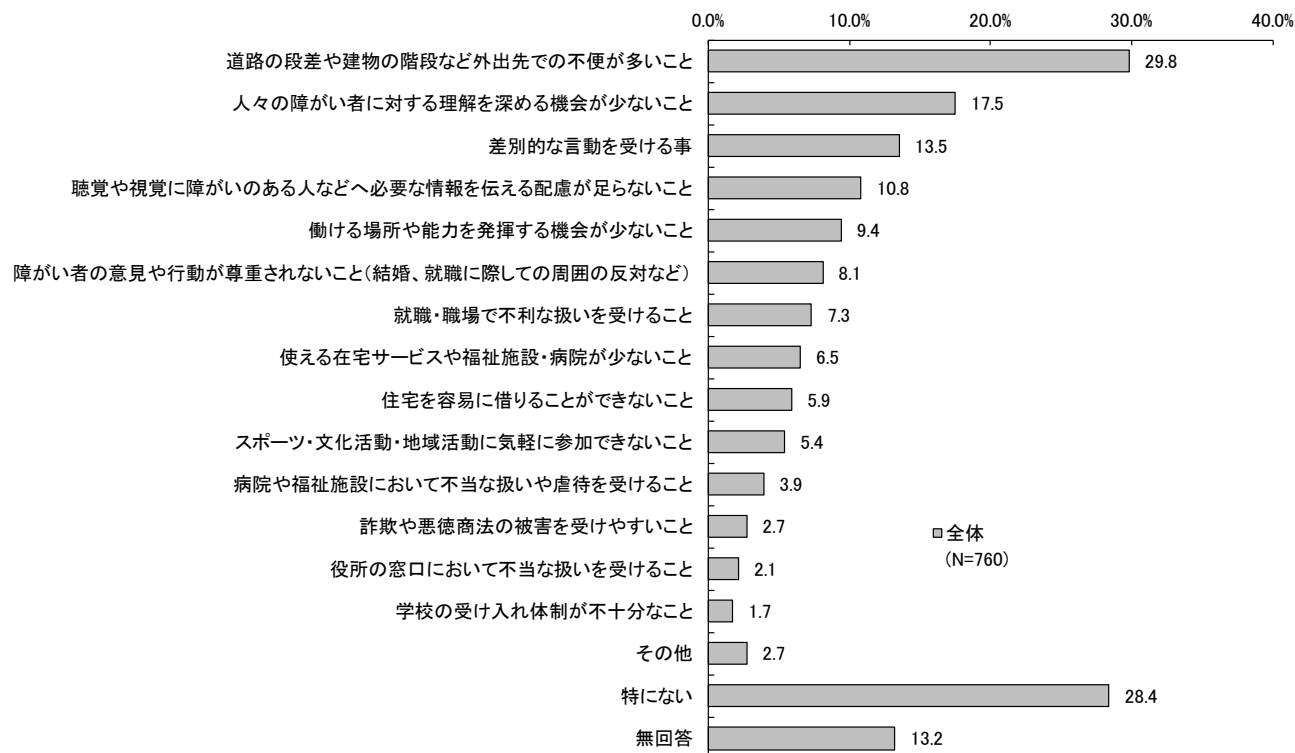
	調査数(人)	差別を受けたり、いやな思いをした内容													
		乗員への対応で不快な思いをした	バス、電車で不快な思いをした	き、職員の対応で不快	役所の窓口に行つた	学校、職場、施設などで	不快な思いをした	近所の人達の対応で不快	用や解雇を理由とした不採用	障がいを理由とした不採用	で行ったとき、職員への対応	相談機関・相談窓口	どの乗車拒否にあつた	バス、電車、タクシーなど	を断られた
全体	104	27.1	19.2	16.9	13.6	11.1	10.6	8.1	7.9						
年齢区分2	64歳以下	59	33.7	16.7	25.8	15.1	17.5	8.5	12.3	8.2					
	65歳以上	44	18.4	22.6	5.0	11.6	2.5	13.4	2.5	7.5					
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
全体	104	27.1	19.2	16.9	13.6	11.1	10.6	8.1	7.9						
障がい部位	視覚障がい	8	36.2	36.2	12.4	19.2	20.9	12.4	-	-					
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	8	22.0	7.9	17.8	-	9.5	7.9	4.7	23.9					
	肢体不自由	32	27.5	9.1	16.6	27.6	7.6	7.5	11.3	3.5					
	内部障がい	26	42.3	23.9	20.5	7.5	2.7	16.9	6.2	10.0					
	その他	6	-	39.3	13.5	20.1	7.0	-	20.1	7.0					
	無回答	24	15.4	21.5	15.4	3.0	22.9	10.8	6.9	8.8					

	調査数(人)	差別を受けたり、いやな思いをした内容											
		者や家主に断られた	家を借りる時に不動産業者	応用した	職員への対応	入所し利用した	愉快地	ホームパルなどの施設	ホームヘルパーなど	場所、飲食店、旅館、公共浴	その他	思い出せない	無回答
全体	104	6.9	6.6	5.1	4.3	20.5	7.6	-					
年齢区分2	64歳以下	59	5.2	7.1	4.5	3.8	15.9	3.9	-				
	65歳以上	44	9.1	5.8	5.8	5.0	26.7	12.5	-				
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-				
全体	104	6.9	6.6	5.1	4.3	20.5	7.6	-					
障がい部位	視覚障がい	8	-	-	-	-	27.0	-	-				
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	8	4.7	-	-	-	18.3	18.0	-				
	肢体不自由	32	8.6	5.6	6.4	5.9	21.2	14.3	-				
	内部障がい	26	12.9	5.1	1.5	4.3	10.2	6.8	-				
	その他	6	-	6.5	-	20.1	12.7	-	-				
	無回答	24	2.7	13.8	11.5	1.5	31.1	-	-				

(3) 障がい者の人権に関して問題があると思うこと

問36 障がい者に関する事柄で、特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(○は3つまで)

【図表4-93 障がい者の人権に関して問題があると思うこと】



【図表4-94 年齢（2区分、詳細）別 障がい者の人権に関して問題があると思うこと】（%）

	調査数（人）	障がい者の人権に関して問題があると思うこと										
		外道 出路 先の 段差 の差 や建 物の 階段 など	を人 々の 障が い者 に対 する 理解	差 別的 な言 動を 受け る事	慮が 足ら ない こと	聴覚 や視 覚に 障が いあ る人	機会 が少 ない こと	働け る場 所や 能力 を発 揮す る	際さ され ない こと （結 婚、 就職 など）	障が い者 の意 見や 行動 が尊 重に	け就 職・ 職場 で不 利な 扱い を受	設・ える 在宅 サー ビス や福 祉施
全体	760	29.8	17.5	13.5	10.8	9.4	8.1	7.3	6.5	5.9		
年齢 区分 2	64歳以下	225	28.4	23.0	22.5	13.8	21.4	14.4	16.1	6.4	9.8	
	65歳以上	530	30.1	15.1	9.5	9.6	4.5	5.2	3.6	6.5	4.2	
	無回答	5	60.0	20.0	40.0	-	-	40.0	-	20.0	-	
全体	760	29.8	17.5	13.5	10.8	9.4	8.1	7.3	6.5	5.9		
年齢 詳細	29歳以下	19	27.8	37.0	38.9	16.7	24.1	25.9	11.1	11.1	3.7	
	30歳代	28	16.9	21.1	31.0	12.7	19.7	25.4	18.3	1.4	7.0	
	40歳代	48	33.3	21.3	25.3	12.0	20.0	16.0	20.0	5.3	14.7	
	50歳代	74	34.6	23.1	20.5	15.4	25.6	10.3	19.2	7.7	9.0	
	60～64歳	55	21.8	20.5	12.8	12.8	16.7	9.0	9.0	6.4	10.3	
	65～74歳	178	30.0	20.0	10.0	8.8	7.5	8.8	10.0	4.4	4.4	
	75歳以上	352	30.1	12.6	9.2	10.0	2.9	3.3	0.4	7.5	4.2	
	無回答	5	60.0	20.0	40.0	-	-	40.0	-	20.0	-	

	調査数（人）	障がい者の人権に関して問題があると思うこと								
		動ス にポ ー ツ ・ 参 加 で き な い 地 域 活	な病 院や 福祉 施設 にお いて 不 当	や詐 欺や 悪徳 商法 の被 害を 受け	い役 所 の窓 口に お いて 不 当な 扱	な学 校の 受け 入れ 体制 が不 十分	そ の 他	特 に な い	無 回 答	
全体	760	5.4	3.9	2.7	2.1	1.7	2.7	28.4	13.2	
年齢 区分 2	64歳以下	225	5.2	5.5	3.1	2.3	3.8	3.3	21.5	5.5
	65歳以上	530	5.6	3.2	2.5	2.0	0.8	2.5	31.5	16.6
	無回答	5	-	-	-	-	-	20.0	-	-
全体	760	5.4	3.9	2.7	2.1	1.7	2.7	28.4	13.2	
年齢 詳細	29歳以下	19	13.0	1.9	-	-	16.7	-	13.0	1.9
	30歳代	28	8.5	1.4	5.6	-	2.8	-	18.3	7.0
	40歳代	48	9.3	6.7	5.3	4.0	5.3	4.0	20.0	1.3
	50歳代	74	1.3	6.4	3.8	2.6	2.6	6.4	17.9	5.1
	60～64歳	55	2.6	6.4	-	2.6	-	1.3	32.1	10.3
	65～74歳	178	5.0	6.3	2.5	1.9	0.6	2.5	35.0	8.1
	75歳以上	352	5.9	1.7	2.5	2.1	0.8	2.5	29.7	20.9
	無回答	5	-	-	-	-	-	-	20.0	-

【図表4-95 手帳等級別、障がい部位別 障がい者の人権に関して問題があると思うこと】
(%)

	調査数(人)	障がい者の人権に関して問題があると思うこと												
		外道 出路 先の 段差 や建 物の 階段 など	を人 々 の障 が い 者 に 対 す る 理 解	差 別 的 な 言 動 を 受 け る 事	慮 が 足 ら な い こ と	な ど へ 必 要 な 情 報 を 伝 え る 配	聴 覚 や 視 覚 に 障 が い の あ る 人	機 働 会 が 少 な い こ と	働 け る 場 所 や 能 力 を 発 揮 す る	際 し て の 周 囲 の 反 対 な ど	障 が い 者 の 意 見 や 行 動 が 尊 重 に	け る こ と 職 場 で 不 利 な 扱 い を 受	設 ・ 病 院 が 少 な い こ と	使 え る 在 宅 サ ー ビ ス や 福 祉 施
全体	760	29.8	17.5	13.5	10.8	9.4	8.1	7.3	6.5	5.9				
手 帳 等 級	重度(1・2級)	356	25.6	18.7	14.4	10.8	11.1	8.6	6.3	6.0	5.6			
	中度(3・4級)	280	33.8	17.5	10.9	10.3	7.5	6.5	8.4	6.8	5.8			
	軽度(5・6級)	106	32.9	15.1	18.6	12.3	10.5	11.1	8.9	5.9	8.0			
	無回答	17	32.1	6.5	8.5	8.5	-	6.5	-	17.1	-			
全体	760	29.8	17.5	13.5	10.8	9.4	8.1	7.3	6.5	5.9				
障 が い 部 位	視覚障がい	29	32.3	20.8	9.0	28.4	9.5	3.9	6.1	9.0	5.8			
	聴覚、平衡機能、 音声・言語障がい	69	30.7	27.6	24.2	17.6	9.3	5.4	8.9	5.3	5.1			
	肢体不自由	250	31.3	20.3	15.0	8.1	8.6	8.3	5.8	3.8	5.6			
	内部障がい	220	29.8	13.5	8.9	9.3	8.3	8.5	7.7	8.8	8.3			
	その他	54	26.4	8.1	8.4	4.8	5.7	5.9	2.0	5.9	2.6			
	無回答	138	27.3	16.4	16.0	13.4	14.4	10.3	11.0	8.2	4.3			

	調査数(人)	障がい者の人権に関して問題があると思うこと								
		動ス にポ ー ツ に 参 加 で き な い 地 域 と 活	な病 院 や 福 祉 施 設 を 受 け る こ と 不 当	や詐 欺 や 悪 徳 商 法 の 被 害 を 受 け	い役 所 の 窓 口 に お い て 不 当 な 扱	な学 校 の 受 け 入 れ 体 制 が 不 十 分	そ の 他	特 に な い	無 回 答	
全体	760	5.4	3.9	2.7	2.1	1.7	2.7	28.4	13.2	
手 帳 等 級	重度(1・2級)	356	4.4	5.8	2.6	3.4	1.4	3.5	27.4	15.8
	中度(3・4級)	280	6.6	2.0	2.5	0.6	1.7	2.0	30.6	11.1
	軽度(5・6級)	106	6.8	3.1	3.7	2.0	2.5	2.6	23.8	10.0
	無回答	17	-	-	-	-	-	-	44.4	15.0
全体	760	5.4	3.9	2.7	2.1	1.7	2.7	28.4	13.2	
障 が い 部 位	視覚障がい	29	5.1	-	-	-	-	13.0	11.6	29.4
	聴覚、平衡機能、 音声・言語障がい	69	3.8	5.2	3.3	0.9	1.5	1.6	24.8	10.2
	肢体不自由	250	6.7	3.2	4.2	2.5	1.6	2.6	29.8	9.0
	内部障がい	220	3.8	5.0	2.3	2.7	1.6	3.4	31.1	13.3
	その他	54	3.9	2.7	-	1.3	0.7	2.1	44.0	15.3
	無回答	138	7.1	3.9	1.8	1.9	2.7	0.5	20.8	18.1

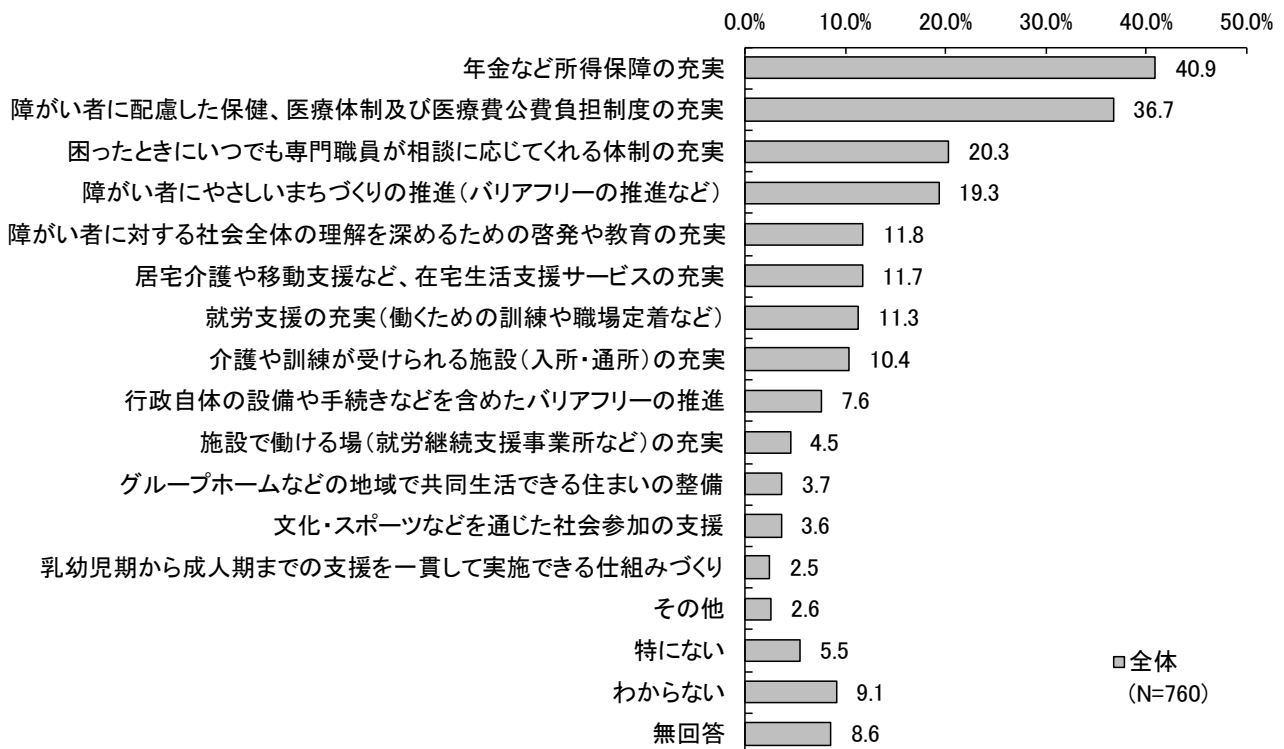
13. 福祉施策全般について

- ・障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいことは、「年金など、所得保障の充実」(40.9%)が最も高い。年齢詳細別にみると、50歳代以下で「就労支援の充実(働くための訓練や職場定着など)」の割合が高くなっている。【図表4-97】
- ・障がい者支援として地域社会や企業等に望むことについて、年齢詳細別にみると、40歳代以下では「企業で障がい者を積極的に雇用する」の割合が50歳以上に比べて高くなっている。また29歳以下では「障がいに対する理解を深める」(79.6%)を望む割合がおよそ8割と高い。【図表4-99】
- ・福岡市の暮らしやすさは、「感じている」(13.2%)と「どちらかといえば感じている」(33.8%)を合わせた47.0%が暮らしやすいまちだと感じている。年齢詳細別にみると、「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計の割合は、29歳以下で57.4%と30歳代よりも高くなっている。障がい部位別にみると、視覚障がいではその割合が62.5%と暮らしやすさを感じている割合が高くなっている。【図表4-101】

(1) 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと

問37 障がいのある人が暮らしやすい社会をつくるために、国や県、市に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。(○は3つまで)

【図表4-96 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと】



【図表4-97 年齢（2区分、詳細）別

障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと】（%）

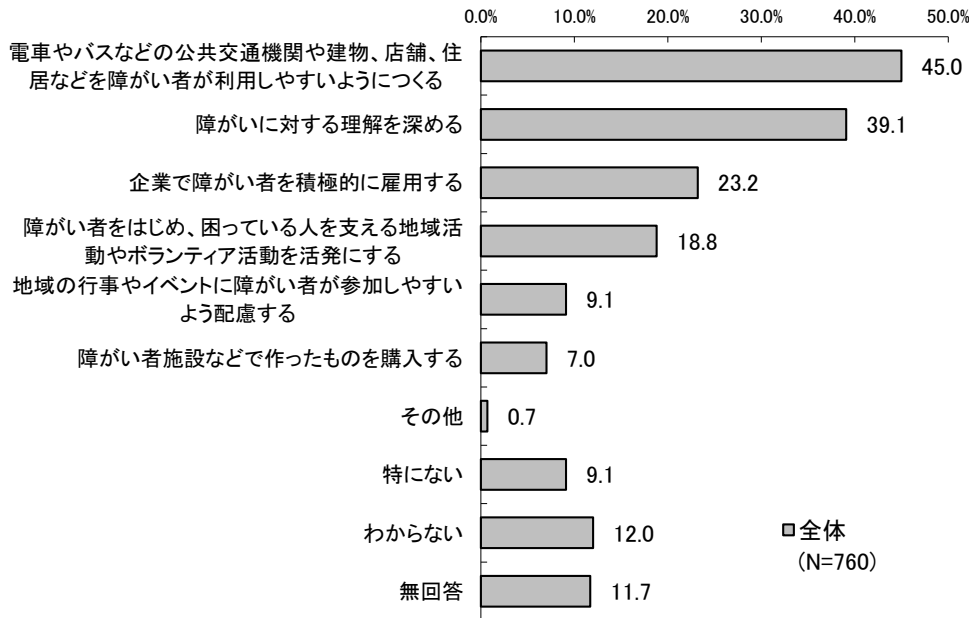
	調査数（人）	障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと																
		年金など所得保障の充実	公費負担制の充実	健康医療者の体制の充実に及ぶ医療費	障がい者の生活支援の充実	門前職員の相談にこたえて専門職の充実	困ったときに頼める専門職の充実	リハビリの推進（バリアフリー）	福祉サービスの充実	啓発や教育の充実	障がい者の生活支援の充実	障がい者の生活支援の充実	居宅介護や移動支援など	就業訓練の充実	施設（入所・通所）の充実	介護や訓練の充実	行政の推進	行政の推進
全体	760	40.9	36.7	20.3	19.3	11.8	11.7	11.3	10.4	7.6								
年齢区分2	64歳以下	225	49.5	41.5	12.8	23.4	15.4	7.7	22.2	6.5	10.2							
	65歳以上	530	37.6	34.9	23.7	17.6	10.2	13.4	6.8	12.0	6.3							
	無回答	5	-	20.0	-	20.0	20.0	20.0	-	20.0	20.0							
全体	760	40.9	36.7	20.3	19.3	11.8	11.7	11.3	10.4	7.6								
年齢詳細	29歳以下	19	44.4	42.6	11.1	22.2	24.1	7.4	25.9	18.5	11.1							
	30歳代	28	57.7	39.4	14.1	22.5	25.4	8.5	31.0	2.8	7.0							
	40歳代	48	48.0	49.3	12.0	18.7	20.0	2.7	25.3	10.7	10.7							
	50歳代	74	51.3	41.0	7.7	24.4	14.1	9.0	21.8	3.8	12.8							
	60～64歳	55	46.2	35.9	20.5	26.9	5.1	10.3	14.1	3.8	7.7							
	65～74歳	178	47.5	34.4	25.0	16.9	10.6	7.5	11.9	7.5	8.1							
	75歳以上	352	32.6	35.1	23.0	18.0	10.0	16.3	4.2	14.2	5.4							
	無回答	5	-	20.0	-	20.0	20.0	20.0	-	20.0	20.0							

	調査数（人）	障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと								無回答
		実続支援事業所など（就労の充実に及ぶ）	施設整備（生活できる住宅）	地域共同生活（グループホーム）	文化・スポーツ参加の支援	文芸・社会参加の支援	きりぎりす（グループ）	の乳幼児から成人まで	その他	
全体	760	4.5	3.7	3.6	2.5	2.6	5.5	9.1	8.6	
年齢区分2	64歳以下	225	8.0	6.3	3.0	4.8	2.6	3.7	6.6	5.2
	65歳以上	530	2.8	2.6	3.9	1.6	2.4	6.3	10.1	10.2
	無回答	5	20.0	-	-	-	20.0	-	20.0	-
全体	760	4.5	3.7	3.6	2.5	2.6	5.5	9.1	8.6	
年齢詳細	29歳以下	19	5.6	14.8	7.4	18.5	3.7	1.9	1.9	1.9
	30歳代	28	9.9	1.4	4.2	11.3	1.4	1.4	5.6	4.2
	40歳代	48	9.3	5.3	2.7	2.7	4.0	8.0	6.7	4.0
	50歳代	74	10.3	6.4	3.8	-	3.8	1.3	10.3	2.6
	60～64歳	55	3.8	6.4	-	5.1	-	5.1	3.8	11.5
	65～74歳	178	2.5	1.9	5.0	3.1	3.8	8.1	6.9	6.3
	75歳以上	352	2.9	2.9	3.3	0.8	1.7	5.4	11.7	12.1
	無回答	5	20.0	-	-	-	20.0	-	20.0	-

(2) 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと

問38 障がいがある人が暮らしやすい社会をつくるために、地域社会や企業に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

【図表4-98 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと】



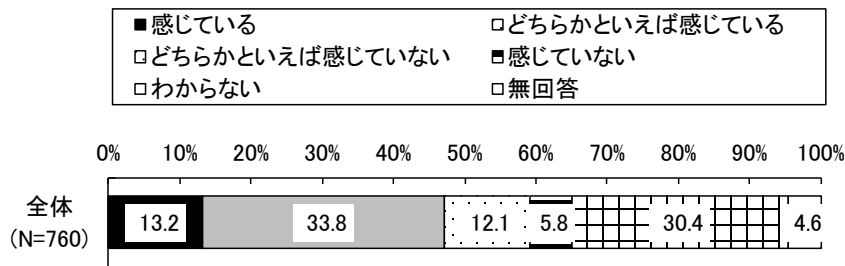
【図表4-99 年齢(2区分、詳細)別、手帳等級別 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと】 (%)

	調査数(人)	障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと										
		が建電車障 利物車が 用、やし店 や舗、な す、住の すいよな うな公 にど共 つを交 く障 るが機 い者や	障 が い に 対 す る 理 解 を 深 め る	る 企 業 で 障 が い 者 を 積 極 的 に 雇 用 す	活 動 を 活 発 に す る	障 が い 者 を 支 え る 地 域 活 動 や ボ ラ ン テ ィ ア 人	が 地 域 の 行 事 や イ ベ ン ト に 配 慮 す る	購 入 が い 者 施 設 な ど で 作 っ た も の を	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体	760	45.0	39.1	23.2	18.8	9.1	7.0	0.7	9.1	12.0	11.7	
年齢区分2	64歳以下	225	49.5	49.3	40.3	17.9	9.2	6.9	1.8	6.0	5.8	
	65歳以上	530	42.9	34.8	16.2	19.3	8.8	6.7	0.3	10.4	14.3	
	無回答	5	60.0	40.0	-	-	40.0	40.0	-	-	20.0	
全体	760	45.0	39.1	23.2	18.8	9.1	7.0	0.7	9.1	12.0	11.7	
年齢詳細	29歳以下	19	48.1	79.6	48.1	20.4	18.5	11.1	1.9	-	5.6	1.9
	30歳代	28	39.4	47.9	46.5	19.7	5.6	8.5	1.4	2.8	9.9	4.2
	40歳代	48	50.7	44.0	49.3	16.0	9.3	12.0	1.3	6.7	8.0	2.7
	50歳代	74	52.6	52.6	37.2	20.5	9.0	5.1	2.6	5.1	6.4	5.1
	60~64歳	55	50.0	39.7	30.8	14.1	7.7	2.6	1.3	10.3	6.4	11.5
	65~74歳	178	47.5	40.6	22.5	16.3	11.3	7.5	-	11.3	11.3	8.8
	75歳以上	352	40.6	31.8	13.0	20.9	7.5	6.3	0.4	10.0	15.5	17.2
	無回答	5	60.0	40.0	-	-	40.0	40.0	-	-	20.0	-
全体	760	45.0	39.1	23.2	18.8	9.1	7.0	0.7	9.1	12.0	11.7	
手帳等級	重度(1・2級)	356	43.1	39.3	25.0	20.2	10.1	6.8	0.2	11.5	11.5	11.6
	中度(3・4級)	280	46.5	40.3	22.1	18.5	9.3	7.2	1.4	5.8	12.0	13.3
	軽度(5・6級)	106	47.2	39.0	23.0	15.6	6.7	8.1	0.7	6.9	13.4	8.7
	無回答	17	47.1	17.1	6.5	15.0	-	-	-	23.5	14.3	6.5

(3) 福岡市の暮らしやすさ

問39 あなたは、福岡市は障がいのある人が暮らしやすいまちだと感じていますか。
(○は1つだけ)

【図表4-100 福岡市の暮らしやすさ】



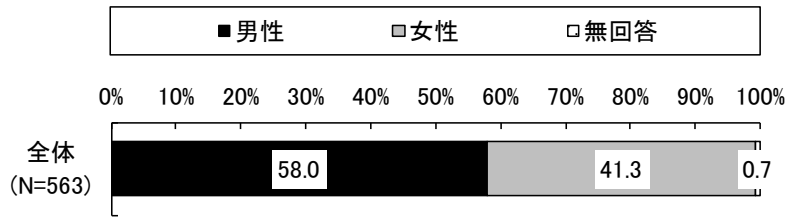
【図表4-101 年齢詳細別、手帳等級別、障がい部位別 福岡市の暮らしやすさ】 (%)

	調査数 (人)	福岡市の暮らしやすさ						
		感じている	どちらかといえば感じている	どちらかといえば感じていない	感じていない	わからない	無回答	
全体	760	13.2	33.8	12.1	5.8	30.4	4.6	
年齢詳細	29歳以下	19	9.3	48.1	16.7	9.3	16.7	-
	30歳代	28	14.1	36.6	12.7	7.0	23.9	5.6
	40歳代	48	8.0	42.7	13.3	6.7	26.7	2.7
	50歳代	74	11.5	33.3	16.7	9.0	28.2	1.3
	60~64歳	55	17.9	37.2	14.1	3.8	25.6	1.3
	65~74歳	178	12.5	33.8	11.9	6.3	30.0	5.6
	75歳以上	352	14.2	31.4	10.5	4.6	33.5	5.9
	無回答	5	-	20.0	20.0	20.0	40.0	-
全体	760	13.2	33.8	12.1	5.8	30.4	4.6	
手帳等級	重度(1・2級)	356	15.6	36.0	11.1	5.1	28.9	3.4
	中度(3・4級)	280	12.0	31.6	13.4	6.4	31.2	5.4
	軽度(5・6級)	106	8.2	36.6	14.3	7.6	28.1	5.3
	無回答	17	15.0	8.5	-	-	63.5	12.9
全体	760	13.2	33.8	12.1	5.8	30.4	4.6	
障がい部位	視覚障がい	29	27.8	34.7	11.8	9.0	6.4	10.3
	聴覚、平衡機能、音声・言語障がい	69	12.8	33.0	16.6	6.7	27.7	3.1
	肢体不自由	250	11.0	34.4	11.1	5.8	31.9	5.9
	内部障がい	220	14.6	32.0	12.8	3.1	35.6	1.8
	その他	54	18.8	28.6	13.5	6.6	31.8	0.7
	無回答	138	9.8	37.9	10.4	8.7	25.2	8.0

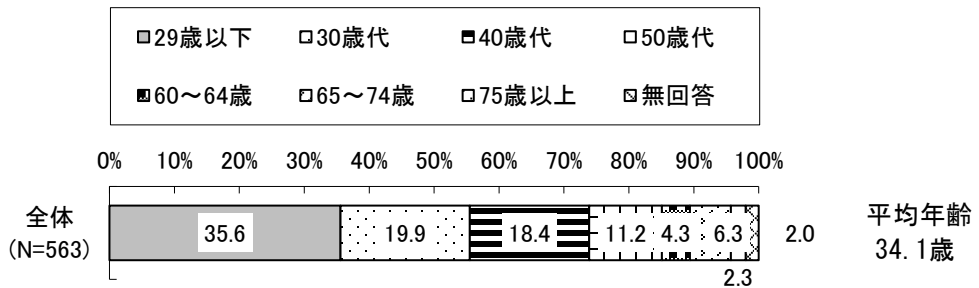
第5章 知的障がい者調査

1. 基本属性

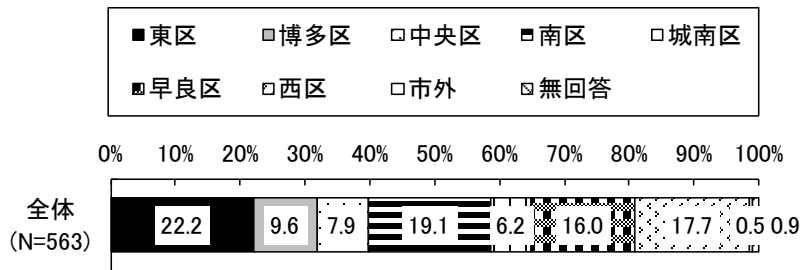
【図表5-1 性別】



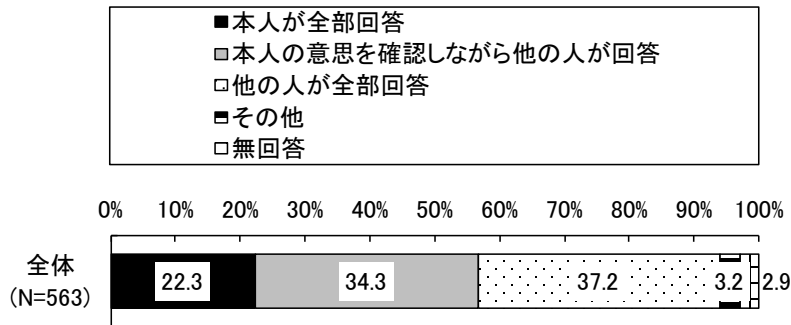
【図表5-2 年齢】



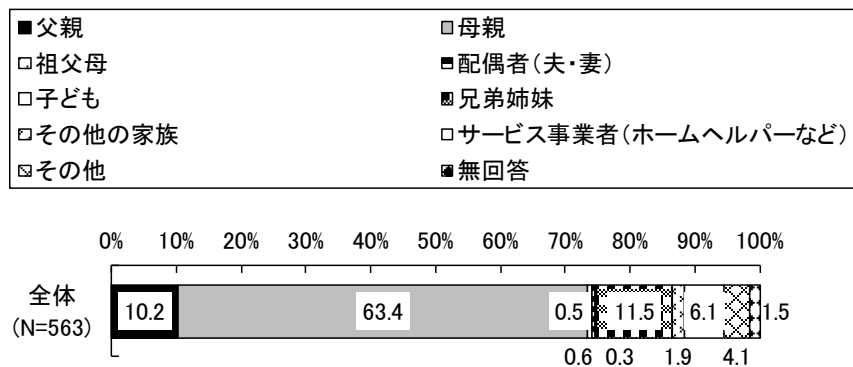
【図表5-3 居住地区】



【図表5-4 調査の回答者】



【図表5-5 調査回答者の続柄】

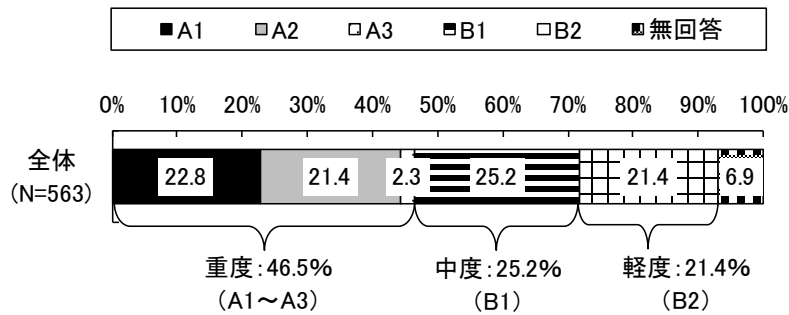


2. 障がいの状況について

- ・身体障がいや精神障がいとの重複状況をみると、身体障がい者手帳の所持率は20.7%、精神障がい者保健福祉手帳の所持率は1割未満（7.7%）となっている。【図表5-8、図表5-9】
- ・これらを集約すると、知的障がい者調査の回答者の3割弱（27.3%）は身体障がいや精神障がいとの重複障がい者である。【図表5-10】
- ・手帳判定別にみると、重複障がい者の割合は、A判定の重度者で比較的高く、36.4%となっている。【図表5-11】

(1) 療育手帳の判定

【図表5-6 療育手帳の判定】

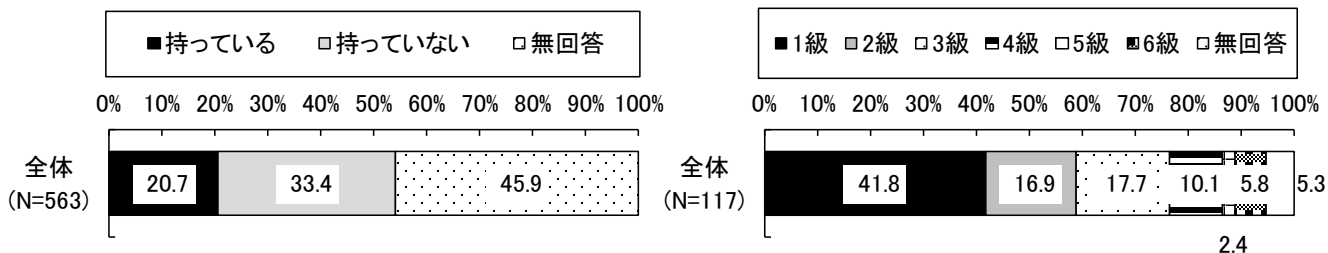


【図表5-7 年齢2区分別 療育手帳の判定】 (%)

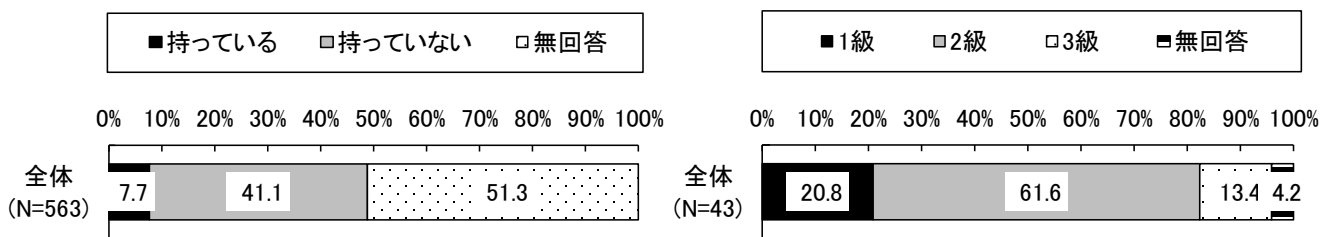
	調査数 (人)	療育手帳の判定						調査数 (人)	療育手帳の判定(集約)				
		A 1	A 2	A 3	B 1	B 2	無回答		重度 (A 1 } A 3)	中度 (B 1)	軽度 (B 2)	無回答	
全体	563	22.8	21.4	2.3	25.2	21.4	6.9	563	46.5	25.2	21.4	6.9	
年齢区分	64歳以下	503	23.4	21.3	2.5	25.7	22.4	4.7	503	47.2	25.7	22.4	4.7
	65歳以上	49	17.8	25.1	1.7	23.2	16.1	16.1	49	44.6	23.2	16.1	16.1
	無回答	11	18.2	9.1	-	9.1	-	63.6	11	27.3	9.1	-	63.6

(2) 身体障がい、精神障がいとの重複状況

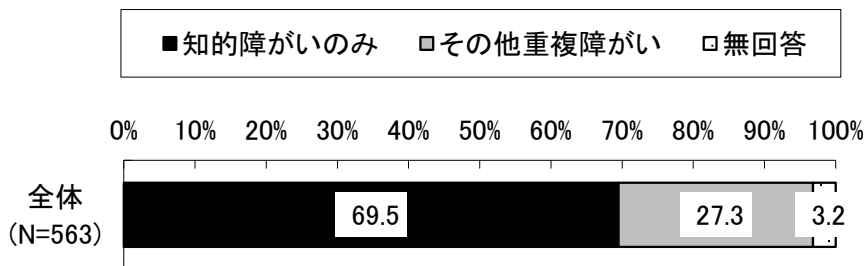
【図表5-8 身体障がい者手帳の有無・等級】



【図表5-9 精神障がい者保健福祉手帳の有無・等級】



【図表5-10 障がいの状況】

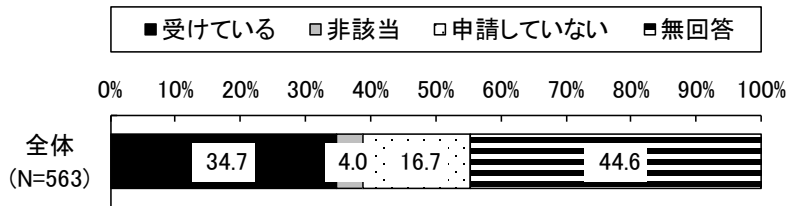


【図表5-11 手帳判定別 障がいの状況】 (%)

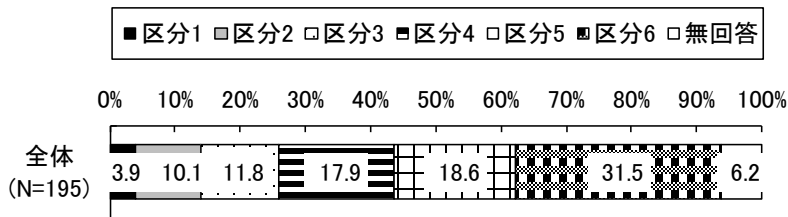
	調査数 (人)	障がいの状況			
		知的障がいのみ	その他重複障がい	無回答	
全体	563	69.5	27.3	3.2	
手帳判定	重度(A1~A3)	262	63.6	36.4	-
	中度(B1)	142	84.4	15.6	-
	軽度(B2)	121	77.0	23.0	-
	無回答	39	30.7	22.5	46.8

(3) 障がい支援区分の認定状況、判定

【図表5-12 障がい支援区分の認定状況】

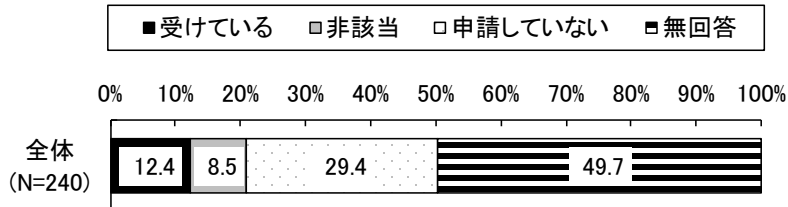


【図表5-13 障がい支援区分の判定】

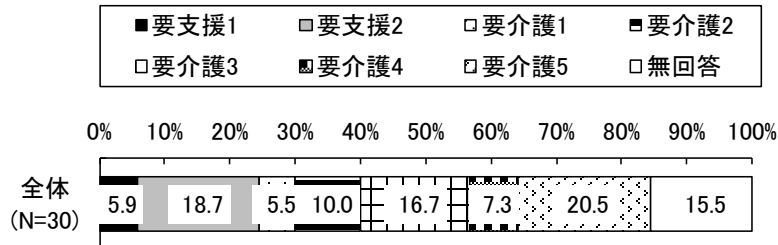


(4) 要介護認定の認定状況、判定 (40歳以上)

【図表5-14 要介護認定の認定状況】

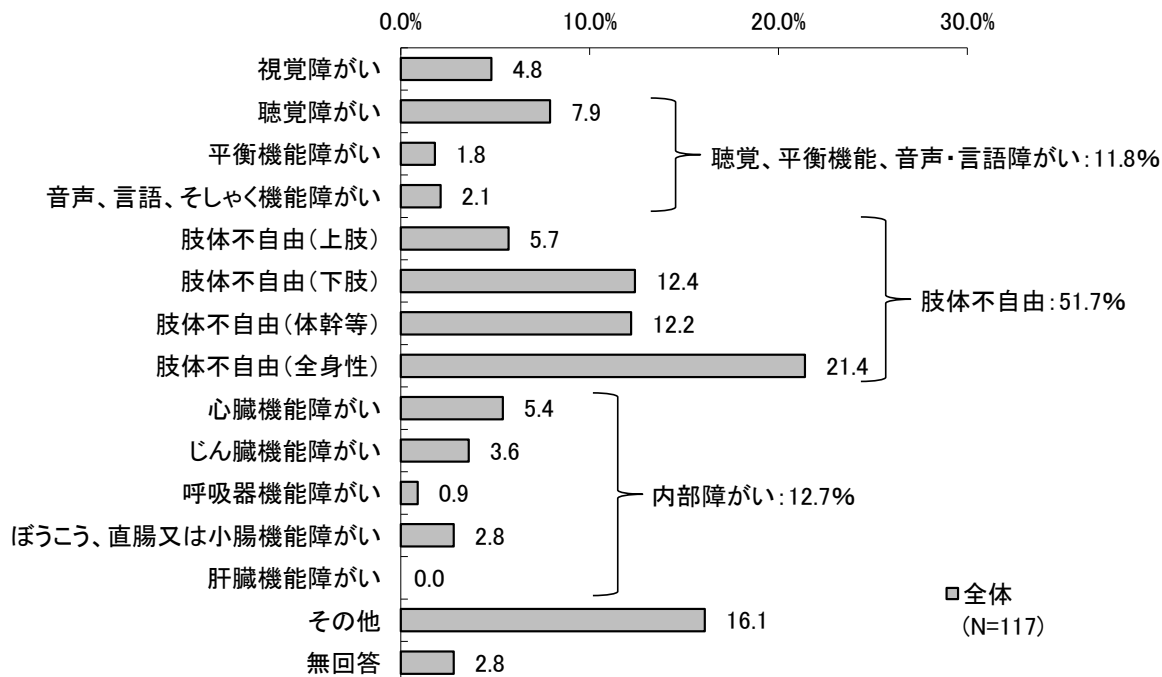


【図表5-15 要介護認定の判定】



(5) 身体障害者手帳所持者の主な身体障がいの部位

【図表5-16 身体障害者手帳所持者の主な身体障がいの部位】



【図表5-17 手帳判定別 主な身体障がいの部位】 (%)

	調査数(人)	主な障がいの部位															
		視覚障がい	聴覚障がい	平衡機能障がい	しやく機能障がい	音声、言語、そしゃく機能障がい	肢体不自由(上)	肢体不自由(下)	等	性	心臓機能障がい	じん臓機能障がい	呼吸器機能障がい	ぼうこう、直腸又は小腸機能障がい	肝臓機能障がい	その他	無回答
全体	117	4.8	7.9	1.8	2.1	5.7	12.4	12.2	21.4	5.4	3.6	0.9	2.8	-	16.1	2.8	
手帳判定	重度(A1~A3)	87	5.0	6.8	1.4	2.8	6.1	12.3	11.3	24.9	4.0	3.8	1.2	3.8	-	16.5	-
	中度(B1)	8	-	12.6	-	-	6.3	12.6	-	-	27.1	-	-	-	-	41.3	-
	軽度(B2)	7	-	29.4	11.8	-	-	28.3	14.2	16.3	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	14	9.0	-	-	-	6.0	3.9	24.4	14.9	3.9	6.5	-	-	-	7.4	24.1

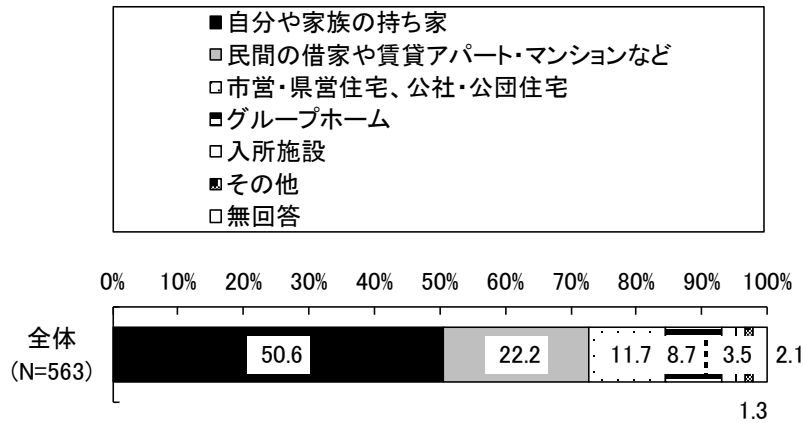
	調査数(人)	主な障がいの部位(集約)					無回答	
		視覚障がい	音声、言語、平衡機能障がい	肢体不自由	内部障がい	その他		
全体	117	4.8	11.8	51.7	12.7	16.1	2.8	
手帳判定	重度(A1~A3)	87	5.0	11.0	54.6	12.8	16.5	-
	中度(B1)	8	-	12.6	18.9	27.1	41.3	-
	軽度(B2)	7	-	41.2	58.8	-	-	-
	無回答	14	9.0	-	49.2	10.4	7.4	24.1

3. 生活状況について

- ・同居家族の状況については、「二世帯同居（親と本人）」が40.5%で最も高くなっている。年齢2区分別にみると、65歳以上の高齢者では「グループホーム」（28.4%）、「一人暮らし」（16.6%）の割合が64歳以下に比べて高くなっている。【図表5-21】
- ・主な介助者は「母親」（51.8%）が5割強を占めて最も高く、「サービス事業者（ホームヘルパーなど）」が14.2%で続いている。「世話をしてもらわない必要がない」人は13.0%となっている。年齢詳細別にみると、年齢が低い層ほど「母親」の割合が高くなる傾向がみられ、29歳以下では72.5%に達している。手帳判定別にみると、A判定の重度者で他に比べて「母親」（65.8%）の割合が高く、重度者ほど割合が高くなる傾向がみられる。【図表5-24】

(1) 住まいの形態

【図表5-18 住まいの形態】

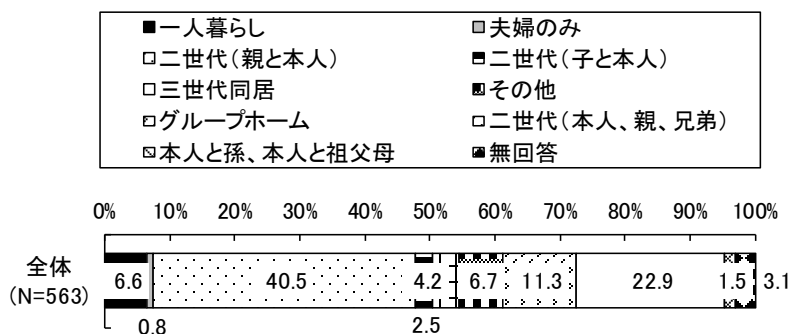


【図表5-19 年齢2区分別、手帳判定別 住まいの形態】 (%)

	調査数 (人)	住まいの形態							
		自分や家族の持ち家	民間の借家や賃貸アパート・マンションなど	市営・県営住宅、公社・公団住宅	グループホーム	入所施設	その他	無回答	
全体	563	50.6	22.2	11.7	8.7	3.5	1.3	2.1	
年齢2区分	64歳以下	503	52.1	23.7	11.7	8.5	2.1	0.7	1.2
	65歳以上	49	42.2	11.6	8.3	10.0	16.8	7.8	3.3
	無回答	11	18.2	-	27.3	9.1	9.1	-	36.4
全体	563	50.6	22.2	11.7	8.7	3.5	1.3	2.1	
手帳判定	重度(A1~A3)	262	56.8	18.9	9.1	9.8	3.3	1.5	0.6
	中度(B1)	142	47.3	21.1	13.4	11.3	3.5	1.3	2.1
	軽度(B2)	121	46.1	33.5	14.1	2.6	2.1	0.7	0.9
	無回答	39	34.9	13.7	15.4	9.7	9.6	1.4	15.3

(2) 同居家族の状況

【図表5-20 世帯状況】

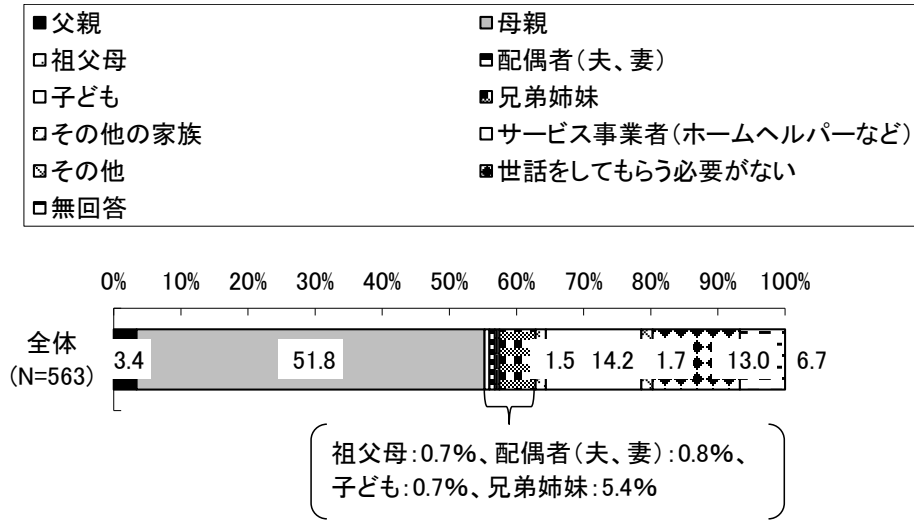


【図表5-21 年齢(2区分、詳細)別、手帳判定別 世帯状況】(%)

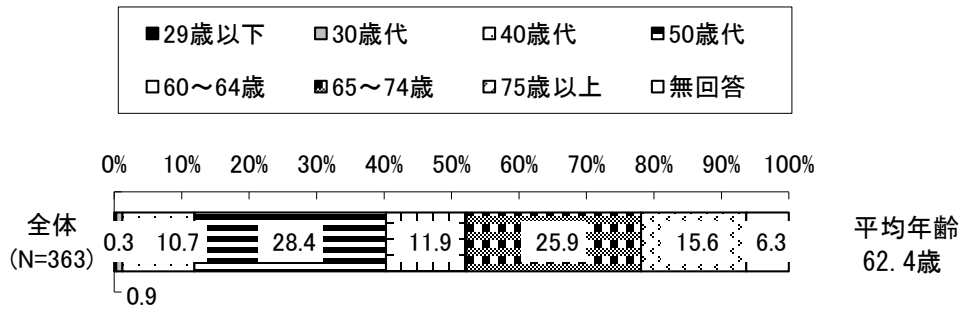
	調査数(人)	世帯状況										
		一人暮らし	夫婦のみ	二世帯同居(親と本人)	二世帯同居(子と本人)	二世帯(本人、親、兄弟)	本人と孫、本人と祖父母	三世帯同居	グループホーム	その他	無回答	
全体	563	6.6	0.8	40.5	2.5	22.9	1.5	4.2	11.3	6.7	3.1	
年齢区分2	64歳以下	503	5.8	0.5	44.1	2.4	25.3	1.5	4.5	9.5	3.4	3.2
	65歳以上	49	16.6	1.7	5.0	3.3	1.7	-	-	28.4	40.0	3.3
	無回答	11	-	9.1	36.4	-	9.1	9.1	9.1	18.2	9.1	-
全体	563	6.6	0.8	40.5	2.5	22.9	1.5	4.2	11.3	6.7	3.1	
年齢詳細	29歳以下	201	0.5	0.5	38.6	1.6	39.2	2.1	9.0	5.8	-	2.6
	30歳代	112	3.2	-	57.1	4.0	16.7	0.8	4.0	8.7	1.6	4.0
	40歳代	104	7.1	-	52.9	2.4	17.6	1.2	-	12.9	3.5	2.4
	50歳代	63	17.9	1.8	32.1	1.8	16.1	1.8	-	16.1	10.7	1.8
	60~64歳	24	23.9	2.2	21.7	4.3	6.5	-	-	10.9	19.6	10.9
	65~74歳	36	22.7	2.3	6.8	4.5	2.3	-	-	20.5	36.4	4.5
	75歳以上	13	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-
年齢無回答	11	-	9.1	36.4	-	9.1	9.1	9.1	18.2	9.1	-	
全体	563	6.6	0.8	40.5	2.5	22.9	1.5	4.2	11.3	6.7	3.1	
手帳判定	重度(A1~A3)	262	2.1	0.4	49.5	-	22.8	0.7	2.6	12.7	6.5	2.6
	中度(B1)	142	7.3	0.4	34.6	5.5	20.5	1.6	5.2	13.0	8.5	3.4
	軽度(B2)	121	12.6	1.6	30.2	5.0	28.9	3.6	6.8	3.3	4.9	3.1
	無回答	39	15.7	2.6	33.1	-	13.5	-	2.6	20.6	6.5	5.5

(3) 主な介助者の状況

【図表5-22 主な介助者】



【図表5-23 主な介助者(サービス事業者、その他以外)の年齢】



【図表5-24 年齢詳細別、手帳判定別 主な介助者】(%)

	調査数(人)	主な介助者											
		父親	母親	祖父母	配偶者	子ども	兄弟姉妹	その他の家族	(サービスマヘルパーなど)	その他	ない	世話をしてもらわなければならない	無回答
全体	563	3.4	51.8	0.7	0.8	0.7	5.4	1.5	14.2	1.7	13.0	6.7	
年齢詳細	29歳以下	201	2.6	72.5	1.1	-	-	-	6.9	-	13.8	3.2	
	30歳代	112	2.4	61.1	1.6	0.8	-	0.8	7.9	2.4	13.5	8.7	
	40歳代	104	5.9	52.9	-	1.2	-	1.2	2.4	17.6	1.2	12.9	4.7
	50歳代	63	3.6	23.2	-	1.8	1.8	14.3	-	23.2	3.6	12.5	16.1
	60~64歳	24	4.3	19.6	-	2.2	2.2	19.6	-	23.9	4.3	17.4	6.5
	65~74歳	36	2.3	-	-	-	6.8	34.1	2.3	27.3	6.8	11.4	9.1
	75歳以上	13	-	-	-	-	-	16.7	33.3	50.0	-	-	0
無回答	11	9.1	36.4	-	9.1	-	-	-	18.2	-	9.1	18.2	
全体	563	3.4	51.8	0.7	0.8	0.7	5.4	1.5	14.2	1.7	13.0	6.7	
手帳判定	重度(A1~A3)	262	2.8	65.8	0.7	0.4	-	7.3	2.0	15.3	0.3	1.8	3.6
	中度(B1)	142	3.4	43.9	-	1.9	1.1	3.6	0.9	17.1	1.9	16.1	10.1
	軽度(B2)	121	4.4	35.5	1.8	-	1.4	3.2	-	7.2	4.1	35.0	7.4
	無回答	39	4.7	37.2	-	2.6	2.1	5.5	5.4	17.6	2.7	8.9	13.2

【図表5-25 年齢2区分別、手帳判定別 主な介助者の年齢】(%)

	調査数(人)	主な介助者の年齢								
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	65歳代	75歳以上	無回答	
全体	363	0.3	0.9	10.7	28.4	11.9	25.9	15.6	6.3	
年齢区分2	64歳以下	334	0.3	0.8	10.9	30.8	12.0	25.0	14.7	5.5
	65歳以上	23	-	3.6	7.1	-	13.2	41.6	23.9	10.7
	無回答	6	-	-	16.7	-	-	16.7	33.3	33.3
全体	363	0.3	0.9	10.7	28.4	11.9	25.9	15.6	6.3	
手帳判定	重度(A1~A3)	207	-	0.5	7.3	30.6	12.6	29.6	15.5	3.9
	中度(B1)	78	-	-	14.4	29.2	12.9	23.0	10.0	10.5
	軽度(B2)	56	2.0	0.9	15.2	28.2	8.8	19.0	18.8	7.0
	無回答	22	-	7.6	18.8	4.8	9.1	19.9	27.7	12.1

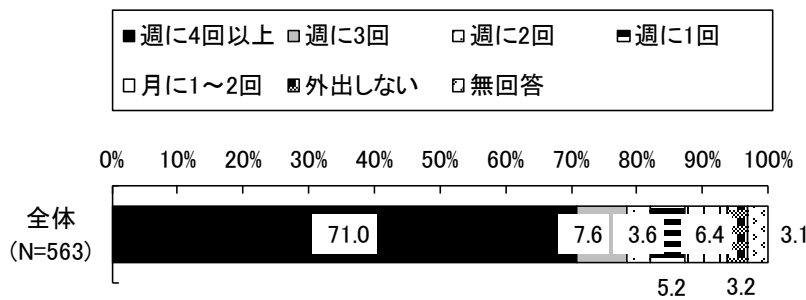
4. 外出の状況について

- ・外出の頻度は、「週4回以上」が71.0%で最も高く、特に29歳以下（82.5%）、30歳代（77.0%）では8割前後を占めている。【図表5-27】
- ・外出時に不便や困難を感じることは「歩行者や走行自転車のマナーの悪さ」が28.1%で最も高く、「歩道がない道路に危険を感じる」が27.9%の僅差で続いている。【図表5-32】
- ・年齢詳細別にみると、29歳以下では「まわりの人の目が気になる」（30.7%）、60～64歳では「歩道に段差が多い」（32.6%）の割合がそれぞれ他の年代に比べて高くなっている。手帳判定別に見ると、A判定の重度者では「障がい者用トイレが少ない」（25.3%）や「障がい者用の駐車場が少ない」（19.0%）が他に比べて高い。【図表5-33】

(1) 外出の頻度

問9 あなたは、通勤や通学、通所、買い物、通院、レジャーなどの外出を1ヶ月にどのくらいしていますか。付き添い者と一緒に外出する場合も含めてお答えください。
 (○は1つだけ)

【図表5-26 外出の頻度】



【図表5-27 年齢詳細別 外出の頻度】 (%)

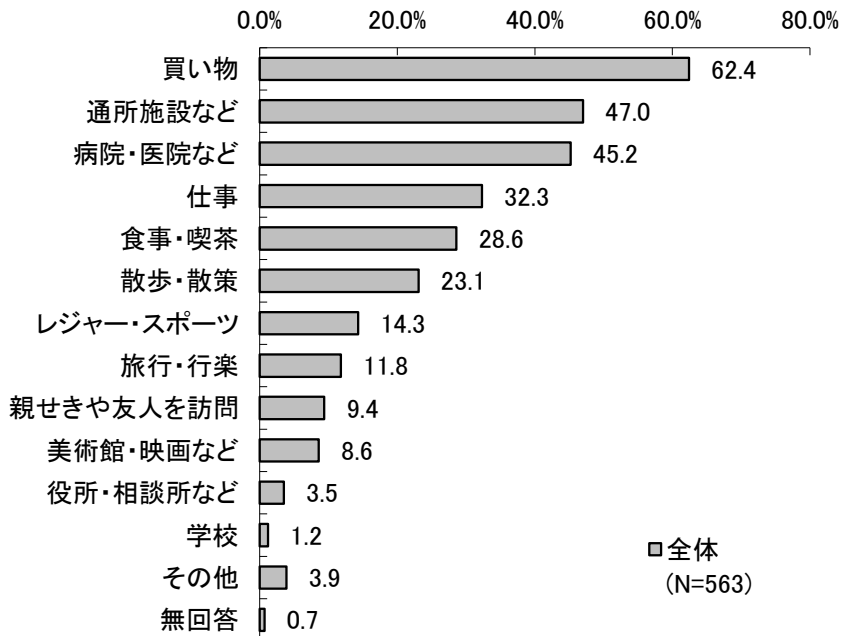
	調査数 (人)	外出の頻度							
		週に4回以上	週に3回	週に2回	週に1回	月に1~2回	外出しない	無回答	
全体	563	71.0	7.6	3.6	5.2	6.4	3.2	3.1	
年齢詳細	29歳以下	201	82.5	6.3	2.1	3.2	3.2	0.5	2.1
	30歳代	112	77.0	3.2	3.2	7.1	4.8	2.4	2.4
	40歳代	104	71.8	3.5	2.4	5.9	9.4	2.4	4.7
	50歳代	63	53.6	19.6	8.9	3.6	7.1	3.6	3.6
	60～64歳	24	50.0	13.0	8.7	8.7	10.9	4.3	4.3
	65～74歳	36	52.3	11.4	6.8	-	11.4	11.4	6.8
	75歳以上	13	16.7	16.7	-	16.7	16.7	33.3	-
	無回答	11	63.6	9.1	-	18.2	9.1	-	-

(2) 主な外出先

[問9で「1」～「5」を選ばれた方におたずねします]

問9-1 どのようなところに外出することが多いですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表5-28 主な外出先】



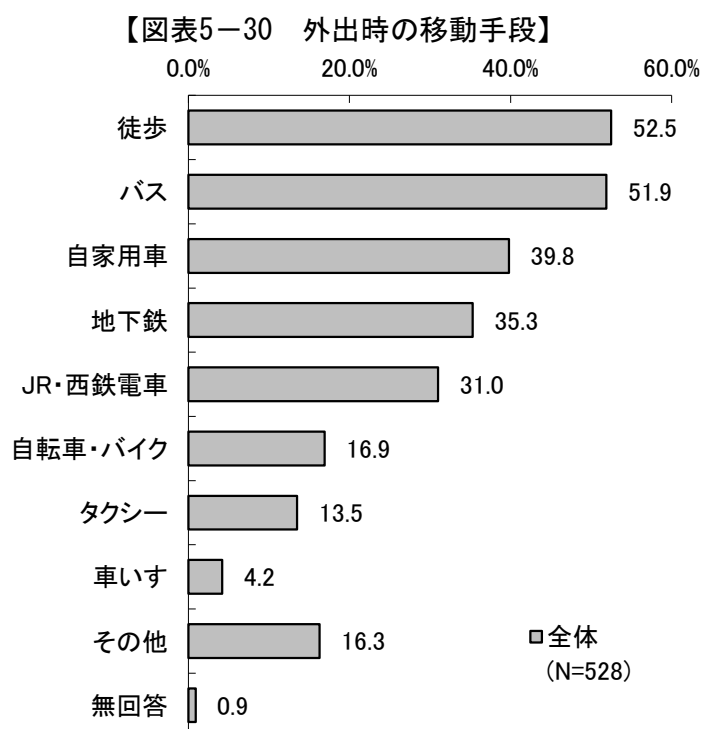
【図表5-29 年齢詳細別、手帳判定別 主な外出先】 (%)

	調査数 (人)	主な外出先														
		買い物	通所施設など	病院・医院など	仕事	食事・喫茶	散歩・散策	ツレジャー・スポーツ	旅行・行楽	親せきや友人を訪問	美術館・映画など	役所・相談所など	学校	その他	無回答	
全体	563	62.4	47.0	45.2	32.3	28.6	23.1	14.3	11.8	9.4	8.6	3.5	1.2	3.9	0.7	
年齢詳細	29歳以下	201	59.8	47.8	38.6	40.2	36.4	21.2	22.3	14.7	10.9	14.1	3.3	2.2	3.8	1.1
	30歳代	112	65.0	50.0	38.3	35.8	34.2	27.5	14.2	15.0	13.3	10.8	2.5	1.7	2.5	0
	40歳代	104	59.5	46.8	49.4	27.8	26.6	22.8	11.4	10.1	8.9	2.5	2.5	-	6.3	0
	50歳代	63	76.9	46.2	65.4	28.8	15.4	23.1	7.7	7.7	5.8	1.9	5.8	-	1.9	0
	60～64歳	24	69.0	40.5	52.4	21.4	14.3	23.8	-	11.9	4.8	4.8	4.8	2.4	4.8	2.4
	65～74歳	36	52.8	41.7	63.9	11.1	8.3	25	5.6	2.8	-	5.6	8.3	-	8.3	0
	75歳以上	13	50.0	25.0	25.0	-	25	25	-	-	-	-	-	-	0	0
	無回答	11	54.5	54.5	36.4	18.2	9.1	9.1	-	-	9.1	-	-	-	0	9.1
全体	563	62.4	47.0	45.2	32.3	28.6	23.1	14.3	11.8	9.4	8.6	3.5	1.2	3.9	0.7	
手帳判定	重度(A1～A3)	262	56.4	69.3	49.7	13.1	28.8	24.8	17.5	12.4	8.7	5.8	1.0	0.4	4.5	0.9
	中度(B1)	142	68.5	33.0	36.6	51.5	29.6	24.2	11.0	10.7	11.5	10.7	4.2	1.1	6.2	0
	軽度(B2)	121	69.8	18.9	42.4	52.6	29.2	19.6	14.8	15.3	10.2	14.6	8.1	3.5	0.5	0.5
	無回答	39	56.4	35.7	56.3	26.8	20.7	18.5	3.2	-	3.0	-	2.7	-	2.5	3

(3) 外出時の移動手段

[問9で「1」～「5」を選ばれた方におたずねします]

問9-2 どのような移動手段を使って外出しますか。(〇はあてはまるものすべて)



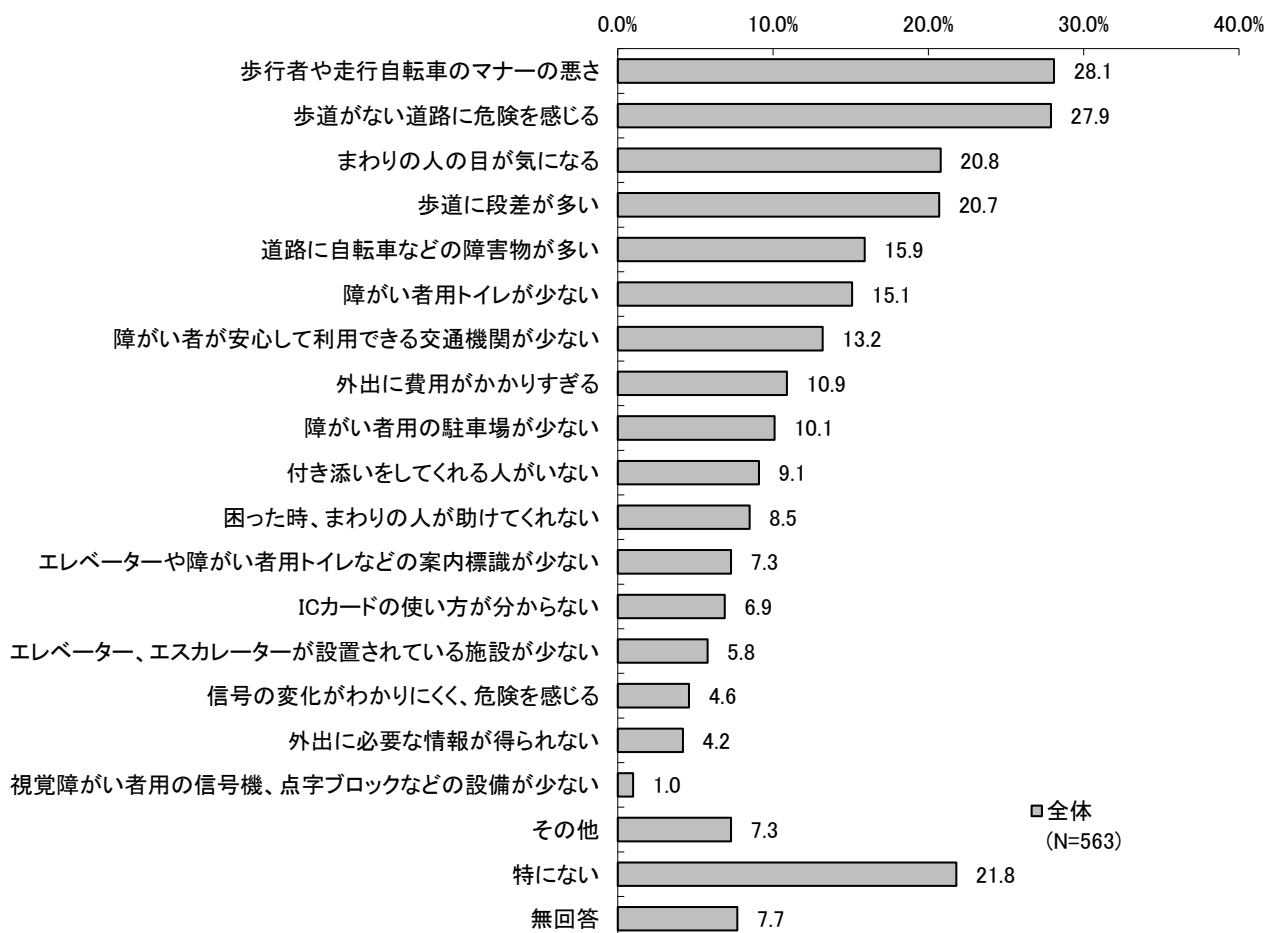
【図表5-31 年齢詳細別、手帳判定別 外出時の移動手段】(%)

	調査数 (人)	外出時の移動手段										
		徒歩	自転車・ バイク	自家用 車	タク シー	地下 鉄	J R・ 西 鉄 電 車	バ ス	車 い す	そ の 他	無 回 答	
全体	528	52.5	16.9	39.8	13.5	35.3	31	51.9	4.2	16.3	0.9	
年齢 詳細	29歳以下	195	60.9	18.5	50.0	12.0	44.6	34.2	52.2	3.3	17.4	-
	30歳代	106	51.7	16.7	45.0	15.8	42.5	37.5	60.0	3.3	15.0	-
	40歳代	96	44.3	21.5	32.9	15.2	27.8	34.2	44.3	7.6	15.2	2.5
	50歳代	59	51.9	9.6	25.0	11.5	30.8	28.8	69.2	5.8	7.7	1.9
	60～64歳	22	61.9	9.5	23.8	14.3	19	16.7	50.0	-	19.0	-
	65～74歳	29	38.9	19.4	25.0	22.2	16.7	11.1	30.6	5.6	22.2	-
	75歳以上	9	25.0	-	50.0	-	-	-	-	-	25.0	-
	無回答	11	27.3	9.1	9.1	-	-	-	45.5	-	36.4	9.1
全体	528	52.5	16.9	39.8	13.5	35.3	31	51.9	4.2	16.3	0.9	
手帳 判定	重度(A1～A3)	246	44.6	3.2	56.8	20.0	33.2	24.3	45.9	7.9	25.3	0.4
	中度(B1)	133	60.7	26.2	28.5	9.6	36.2	35.6	59.8	0.8	8.3	-
	軽度(B2)	116	63.1	35.6	21.9	6.3	44	43	58.2	-	5.5	2.0
	無回答	33	41.3	15.3	21.2	5.6	16.8	19.7	42.8	5.1	19.2	3.7

(4) 外出時に不便や困難を感じること

問10 あなたは、外出する時、どのようなことに不便や困難を感じますか。(○は5つまで)

【図表5-32 外出時に不便や困難を感じること】



【図表5-33 年齢（2区分、詳細）別、手帳判定別 外出時に不便や困難を感じること】（%）

	調査数（人）	外出時に不便や困難を感じること										
		歩行者や自転車の悪さ	歩道がない道路に危険を感じる	まわりの人の目が気になる	歩道に段差が多い	道路に自転車などの障害物が多い	障がい者用トイレが少ない	用事ができる交通機関が少ない	障がい者が安心して利用できる	外出に費用がかかりすぎる	障がい者用の駐車場が少ない	付き添いをしてくれない
全体	563	28.1	27.9	20.8	20.7	15.9	15.1	13.2	10.9	10.1	9.1	
年齢区分2	64歳以下	503	29.7	29.3	22.3	20.5	16.8	15.6	14.2	11.6	10.9	9.8
	65歳以上	49	16.1	17.8	6.6	22.8	10.0	11.6	1.7	5.0	5.0	1.7
	無回答	11	9.1	9.1	18.2	18.2	-	9.1	18.2	9.1	-	9.1
全体	563	28.1	27.9	20.8	20.7	15.9	15.1	13.2	10.9	10.1	9.1	
年齢詳細	29歳以下	201	34.4	34.4	30.7	16.9	19.0	19.0	18.5	11.1	13.8	14.3
	30歳代	112	27.0	24.6	15.9	22.2	13.5	11.9	13.5	12.7	11.1	7.9
	40歳代	104	24.7	27.1	17.6	21.2	15.3	9.4	9.4	11.8	7.1	4.7
	50歳代	63	32.1	25.0	19.6	23.2	19.6	21.4	10.7	14.3	10.7	7.1
	60～64歳	24	17.4	30.4	8.7	32.6	13.0	15.2	10.9	2.2	2.2	10.9
	65～74歳	36	15.9	18.2	9.1	25.0	13.6	15.9	2.3	6.8	6.8	2.3
	75歳以上	13	16.7	16.7	-	16.7	-	-	-	-	-	-
無回答	11	9.1	9.1	18.2	18.2	-	9.1	18.2	9.1	-	9.1	
全体	563	28.1	27.9	20.8	20.7	15.9	15.1	13.2	10.9	10.1	9.1	
手帳判定	重度(A1～A3)	262	24.9	30.3	17.3	26.1	18.2	25.3	17.7	10.2	19.0	13.1
	中度(B1)	142	30.6	28.2	20.4	13.2	12.0	4.6	9.9	11.9	2.2	7.4
	軽度(B2)	121	34.4	22.9	29.6	16.5	16.6	5.9	5.6	11.2	2.6	3.8
	無回答	39	20.4	27.0	18.9	24.1	12.4	13.5	18.4	11.6	2.3	5.3

	調査数（人）	外出時に不便や困難を感じること										
		が困った時、まわりの人が助けてくれない	標識が少ない	エレベーターなどの障害がない	ICカードの使い方がわからない	エレベーター設置されていない	エレベーターの危険を感じない	信号の変化がわかりにくい	外出に必要な情報が得られない	視覚障害者が少ない	その他	特になし
全体	563	8.5	7.3	6.9	5.8	4.6	4.2	1.0	7.3	21.8	7.7	
年齢区分2	64歳以下	503	9.1	7.6	7.6	6.2	4.7	4.3	0.9	7.5	20.4	5.8
	65歳以上	49	3.3	6.6	1.7	3.3	3.3	5.0	1.7	6.6	33.4	27.2
	無回答	11	-	-	-	-	9.1	-	-	-	36.4	9.1
全体	563	8.5	7.3	6.9	5.8	4.6	4.2	1.0	7.3	21.8	7.7	
年齢詳細	29歳以下	201	11.6	9.0	6.3	4.8	5.8	3.2	1.1	9.5	17.5	1.1
	30歳代	112	7.1	7.1	6.3	7.1	1.6	4.8	0.8	6.3	25.4	7.1
	40歳代	104	9.4	3.5	7.1	3.5	5.9	3.5	-	10.6	23.5	10.6
	50歳代	63	5.4	10.7	14.3	12.5	5.4	7.1	1.8	-	14.3	7.1
	60～64歳	24	6.5	6.5	8.7	8.7	2.2	6.5	2.2	2.2	23.9	15.2
	65～74歳	36	4.5	9.1	2.3	4.5	4.5	6.8	2.3	9.1	27.3	25.0
	75歳以上	13	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	33.3
年齢無回答	11	-	-	-	-	9.1	-	-	-	36.4	9.1	
全体	563	8.5	7.3	6.9	5.8	4.6	4.2	1.0	7.3	21.8	7.7	
手帳判定	重度(A1～A3)	262	7.9	11.0	12.7	6.9	4.4	4.6	0.8	9.8	12.5	9.2
	中度(B1)	142	10.9	4.2	2.8	5.5	4.1	4.6	1.2	5.9	32.5	6.2
	軽度(B2)	121	8.5	4.3	0.7	5.4	5.3	4.4	0.9	2.9	28.7	5.0
	無回答	39	3.1	3.5	2.1	1.4	5.7	-	1.4	9.0	24.4	11.9

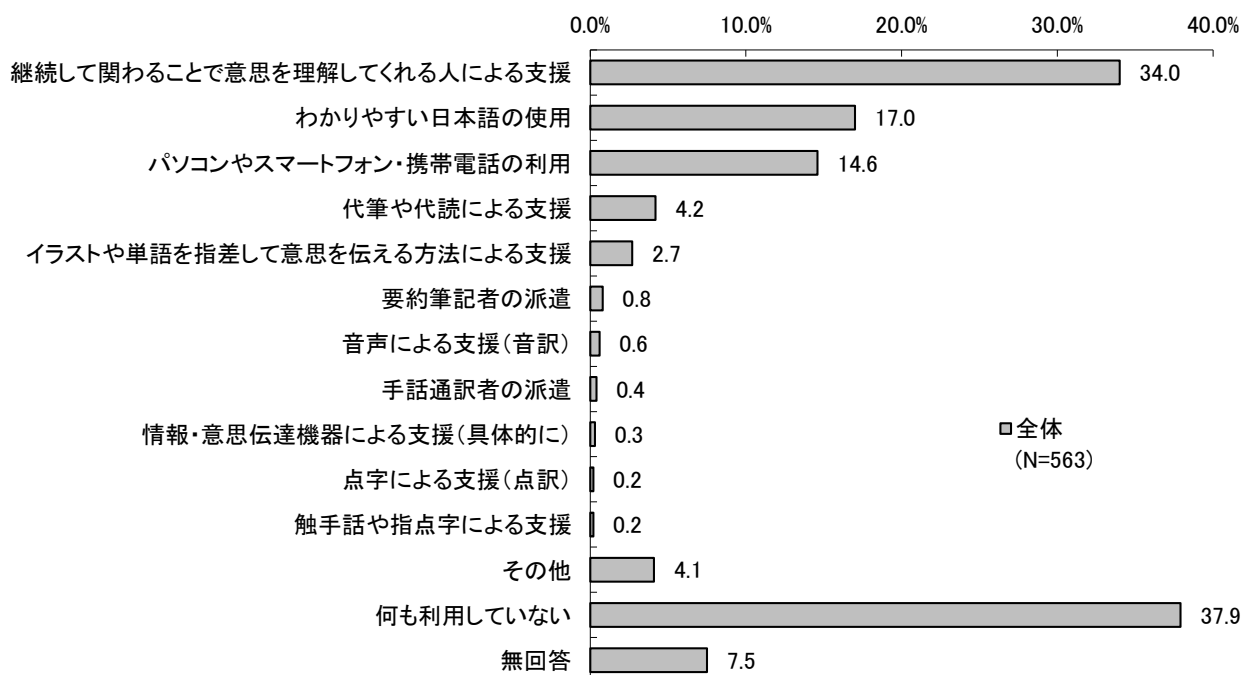
5. コミュニケーションについて

- ・コミュニケーション支援は「何も利用していない」(37.9%)が4割弱を占めている。利用しているものは、「継続して関わることで意思を理解してくれる人による支援」(34.0%)、「わかりやすい日本語の使用」(17.0%)、「パソコンやスマートフォン・携帯電話の利用」(14.6%)等が上位となっている。【図表5-34】
- ・手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「継続して関わることで意思を理解してくれる人による支援」(52.4%)の割合が高く、5割強を占めている。【図表5-35】
- ・コミュニケーションで困っていることの有無については「ある」が66.1%を占めている。年齢詳細別にみると、29歳以下では「ある」が85.2%に達しており、30歳以上に比べてかなり高い。【図表5-37】

(1) 利用しているコミュニケーション支援

問11 あなたは、普段、どのようなコミュニケーション（意思疎通）の支援を利用していますか。（○はあてはまるものすべて）

【図表5-34 利用しているコミュニケーション支援】



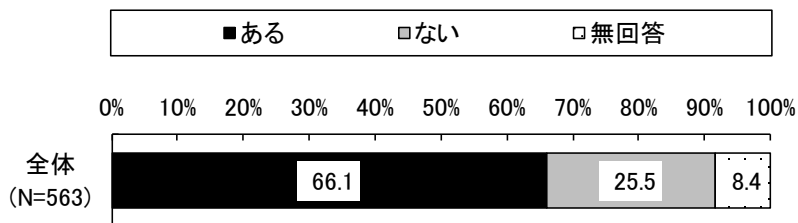
【図表5-35 年齢詳細別、手帳判定別 利用しているコミュニケーション支援】(%)

	調査数(人)	利用しているコミュニケーション支援														
		継続して関わる人による支援	わかりやすい日本語の使用	携帯電話の利用	パソコンやスマートフォン・携帯	代筆や代読による支援	イラストや単語を指差して意思を伝える方法による支援	要約筆記者の派遣	音声による支援(音訳)	手話通訳者の派遣	情報・意思伝達機器による支援	点字による支援(点訳)	触手話や指点字による支援	その他	何も利用していない	無回答
全体	563	34.0	17.0	14.6	4.2	2.7	0.8	0.6	0.4	0.3	0.2	0.2	4.1	37.9	7.5	
年齢詳細	29歳以下	201	36.0	22.8	18.5	2.6	3.2	-	-	-	0.5	-	0	2.6	40.7	2.1
	30歳代	112	33.3	11.9	15.9	4	4.8	-	-	0.8	0.8	-	0.8	5.6	39.7	3.2
	40歳代	104	35.3	15.3	14.1	3.5	1.2	-	-	-	-	-	0	3.5	32.9	14.1
	50歳代	63	28.6	7.1	10.7	8.9	3.6	3.6	3.6	1.8	-	1.8	0	3.6	44.6	10.7
	60~64歳	24	32.6	17.4	15.2	4.3	-	2.2	2.2	-	-	-	0	2.2	37.0	10.9
	65~74歳	36	31.8	20.5	6.8	6.8	-	4.5	2.3	-	-	-	0	2.3	27.3	20.5
	75歳以上	13	33.3	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	16.7	16.7
	無回答	11	36.4	27.3	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	36.4	9.1
全体	563	34.0	17.0	14.6	4.2	2.7	0.8	0.6	0.4	0.3	0.2	0.2	4.1	37.9	7.5	
手帳判定	重度(A1~A3)	262	52.4	20.4	7.4	5.7	5.8	0.7	0.7	0.3	0.7	-	0.3	5.9	25.6	7.8
	中度(B1)	142	21.0	13.2	17.8	3.7	-	1.7	0.8	0.8	-	0.8	0	2.7	52.0	5.0
	軽度(B2)	121	12.1	15.1	28.4	1.4	-	-	-	-	-	-	0	1.4	48.4	6.1
	無回答	39	25.7	14.4	9.3	4.5	-	-	1.4	-	-	-	0	5.4	36.4	19.3

(2) コミュニケーションで困っていることの有無

問12 あなたは、コミュニケーション(意思疎通)する上で、困っていることがありますか。(○は1つだけ)

【図表5-36 コミュニケーションで困っていることの有無】



【図表5-37 年齢詳細別、手帳判定別 コミュニケーションで困っていることの有無】(%)

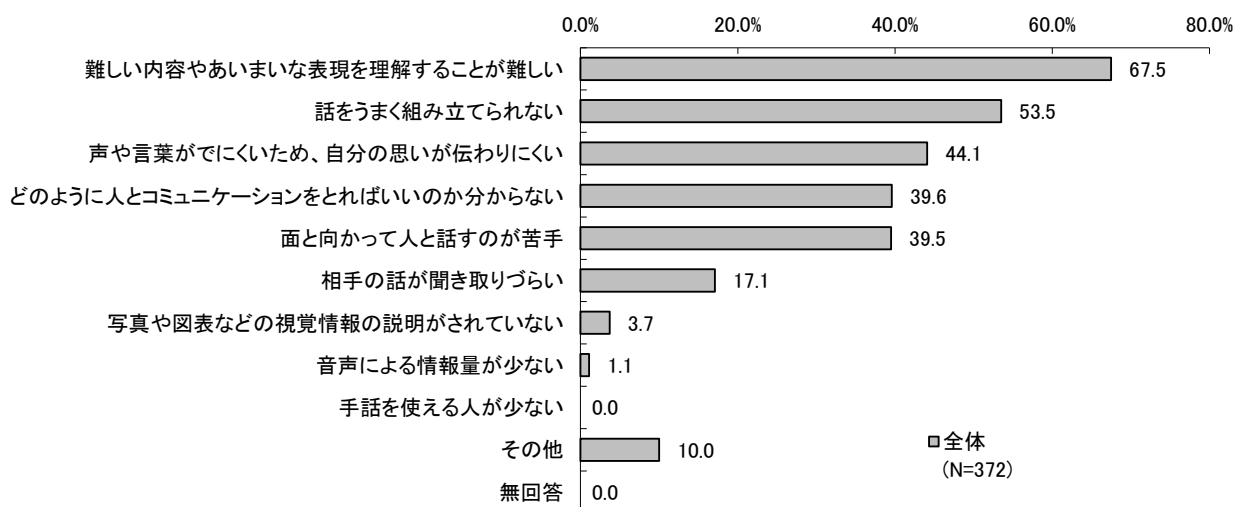
		調査数 (人)	コミュニケーションで困っていることの有無		
			ある	ない	無回答
全体		563	66.1	25.5	8.4
年齢詳細	29歳以下	201	85.2	12.2	2.6
	30歳代	112	66.7	26.2	7.1
	40歳代	104	58.8	28.2	12.9
	50歳代	63	50.0	41.1	8.9
	60～64歳	24	63.0	23.9	13.0
	65～74歳	36	36.4	45.5	18.2
	75歳以上	13	16.7	66.7	16.7
	無回答	11	36.4	36.4	27.3
全体		563	66.1	25.5	8.4
手帳判定	重度(A1～A3)	262	72.5	18.1	9.4
	中度(B1)	142	63.3	30.7	6.0
	軽度(B2)	121	61.6	33.3	5.0
	無回答	39	47.2	32.5	20.2

(3) コミュニケーションで困っていること

[問12で「1」を選ばれた方におたずねします]

問12-1 どのようなことで困っていますか。(○はあてはまるものすべて)

【図表5-38 コミュニケーションで困っていること】

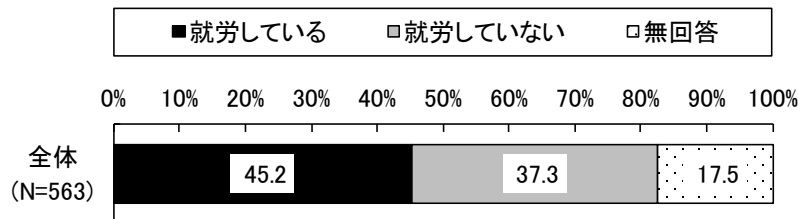


6. 就労の状況について

- ・回答者の4割強(45.2%)は就労している。就労している人の就労形態では「施設で働いている」(44.6%)が4割強で最も高い。【図表5-39、図表5-40】
- ・年齢詳細別にみると、50歳代までは5割程度が就労している(※40歳代は無回答が多いため4割の就労)が、60歳代以上では年齢とともに、就労している割合が低くなっている。【図表5-41】
- ・就労している人の仕事を探した方法について、年齢詳細別にみると、29歳以下では30歳以上に比べて「学校、各種学校の紹介」(51.0%)の割合が高く、過半数を占めている。手帳判定別にみると、大きな差はみられないが、中度者と軽度者では「ハローワークからのあっせん(紹介)」が25%程度みられるのに対して、重度者は5.8%しかみられない。【図表5-43】
- ・就労による月収は、「5万円～10万円未満」が29.7%で最も高く、次いで「5,000円～1万円未満」(21.2%)、「10万円～15万円未満」(16.2%)となっている。就労形態別にみると、正規の社員・従業員、臨時・日雇、アルバイト、パートでは「5万円～10万円未満」が高い割合を占めている。また、施設で働いている人の8割(79.7%)は月収3万円未満である。【図表5-45】
- ・今後、働きたい(働き続けたい)と考えている人の割合は、回答者全体では6割強(62.8%)であるが年齢による差が大きく、29歳以下では77.8%を占めている。【図表5-48】
- ・障がい者の就労に対する社会の理解度を、就労の有無別にみると、就労している人では『理解があると思う計』(45.0%)の割合が高く、就労していない人では『理解があると思わない計』(45.6%)の割合が高い。理解があると思わない理由は「障がいへの理解が進んでいないため」(73.8%)、「障がい者の働く場(雇用機会)が少ないため」(64.6%)、「障がい者雇用に関する制度が不十分なため」(53.8%)が上位となっている。【図表5-50、図表5-52】
- ・障がい者の就労支援として必要なことを、就労の有無別にみると、就労している人では「工賃(収入)の増加」(46.7%)が就労していない人よりも高く、就労していない人では「短時間勤務などの労働(作業)時間の配慮」(38.3%)が就労している人よりも高い。【図表5-54】

(1) 就労の有無、就労形態

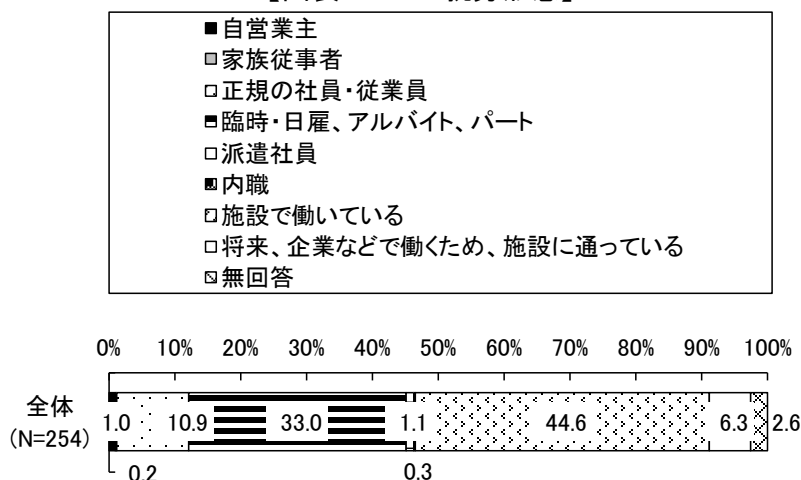
【図表5-39 就労の有無】



[現在働いている方のみお答えください]

問13 あなたの就労形態は何ですか。(○は1つだけ)

【図表5-40 就労形態】



【図表5-41 年齢（2区分、詳細）別、手帳判定別 就労の有無、就労形態】（％）

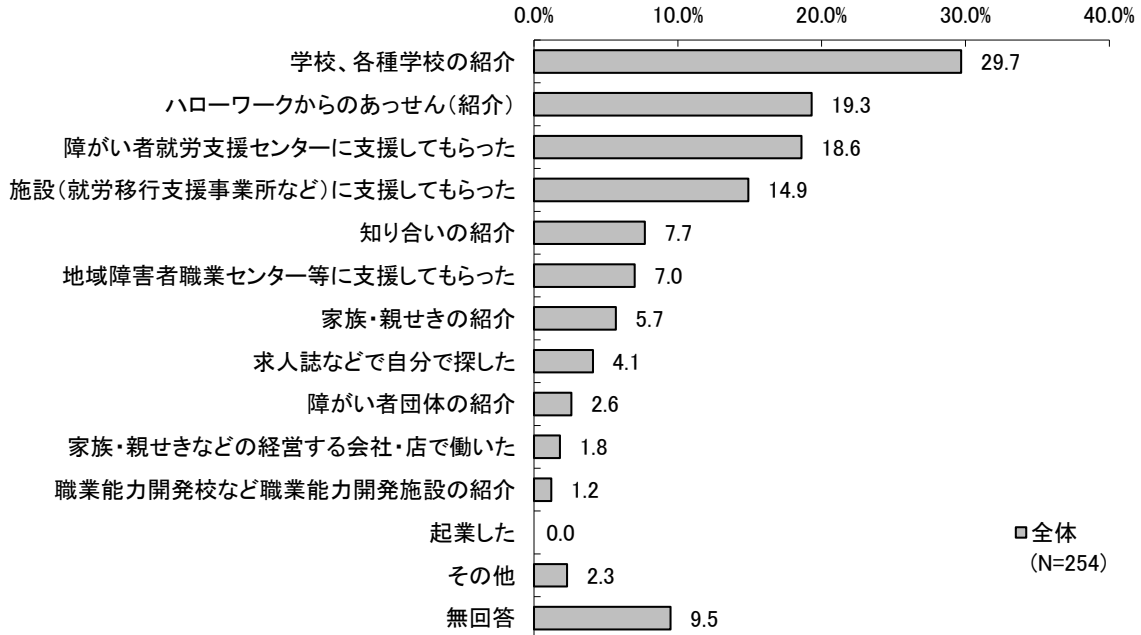
	調査数（人）	就労の有無			調査数（人）	就労形態									
		就労している	就労していない	無回答		自営業主	家族従事者	正規の社員・従業員	ト、臨時・パート	派遣社員	内職	施設で働いている	め、将来、企業などで働いた	無回答	
全体	563	45.2	37.3	17.5	254	1.0	0.2	10.9	33.0	1.1	0.3	44.6	6.3	2.6	
年齢2区分	64歳以下	503	48.5	34.6	16.9	244	0.7	0.2	11.4	34.1	0.8	-	43.6	6.5	2.7
	65歳以上	49	16.6	63.9	19.4	8	10.0	-	-	10.0	10.0	10.0	60	0	0
	無回答	11	18.2	45.5	36.4	2	-	-	-	-	-	-	100	0	0
全体	563	45.2	37.3	17.5	254	1.0	0.2	10.9	33.0	1.1	0.3	44.6	6.3	2.6	
年齢詳細	29歳以下	201	51.9	33.3	14.8	104	-	-	6.1	49.0	-	-	36.7	7.1	1
	30歳代	112	50.8	31.7	17.5	57	-	-	17.2	34.4	1.6	-	39.1	4.7	3.1
	40歳代	104	40.0	37.6	22.4	41	2.9	-	17.6	14.7	-	-	47.1	8.8	8.8
	50歳代	63	50.0	39.3	10.7	32	-	-	7.1	17.9	3.6	-	64.3	7.1	0
	60～64歳	24	43.5	32.6	23.9	11	5.0	5.0	20.0	10.0	-	-	60	0	0
	65～74歳	36	22.7	56.8	20.5	8	10.0	-	-	10.0	10.0	10.0	60	0	0
	75歳以上	13	-	83.3	16.7	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0
無回答	11	18.2	45.5	36.4	2	-	-	-	-	-	-	100	0	0	
全体	563	45.2	37.3	17.5	254	1.0	0.2	10.9	33.0	1.1	0.3	44.6	6.3	2.6	
手帳判定	重度(A1～A3)	262	28.8	42.6	28.6	75	2.3	0.7	3.5	12.8	-	1.1	68.8	7.1	3.8
	中度(B1)	142	64.1	29.8	6.0	91	0.9	-	9.1	41.2	2.1	-	39.1	4.8	2.7
	軽度(B2)	121	64.1	33.6	2.3	77	-	-	19.2	45.4	1.1	-	25.7	6.9	1.6
	無回答	39	28.1	40.5	31.4	11	-	-	18.5	17.2	-	-	56.1	8.2	0

(2) 仕事を探した方法

[現在働いている方のみお答えください]

問14 どのような方法で仕事を探しましたか。(○はあてはまるものすべて)

【図表5-42 仕事を探した方法】



【図表5-43 年齢詳細別、手帳判定別、就労形態別 仕事を探した方法】 (%)

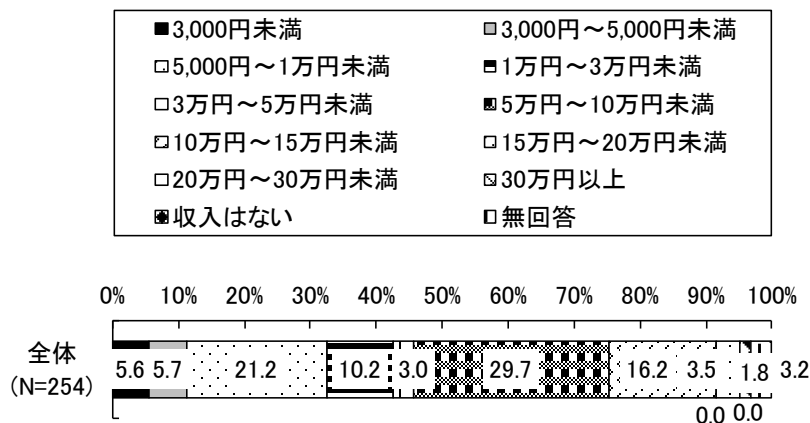
	調査数(人)	仕事を探した方法																	
		学校、各種学校の紹介	せんに(紹介)ワークからのあっ	タに者就労支援してもらった	障がいに者就労支援してもらった	らった(就労移行支援事業)	施設(就労移行支援事業)	知り合いの紹介	等に支援してもらった	地域障害者職業センター	家族・親せきの紹介	求人誌などで自分で探した	障がい者団体の紹介	家族・親せきなどの経営する会社・店で働いた	職業能力開発校など職業能力開発施設の紹介	起業した	その他	無回答	
全体	254	29.7	19.3	18.6	14.9	7.7	7.0	5.7	4.1	2.6	1.8	1.2	-	2.3	9.5				
年齢詳細	29歳以下	104	51.0	23.5	15.3	10.2	3.1	4.1	7.1	5.1	-	1.0	1.0	-	1.0	5.1			
	30歳代	57	25.0	15.6	25.0	15.6	9.4	7.8	6.2	4.7	-	3.1	1.6	-	1.6	7.8			
	40歳代	41	8.8	17.6	23.5	23.5	14.7	2.9	2.9	5.9	5.9	2.9	2.9	-	5.9	14.7			
	50歳代	32	10.7	21.4	14.3	7.1	7.1	17.9	7.1	-	10.7	-	-	-	-	14.3			
	60~64歳	11	5.0	10.0	20.0	10.0	10.0	15.0	-	-	-	5.0	-	-	-	15.0	20.0		
	65~74歳	8	10.0	10.0	10.0	40.0	20.0	10.0	-	-	10.0	-	-	-	-	-	20.0		
	75歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無回答	2	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
全体	254	29.7	19.3	18.6	14.9	7.7	7.0	5.7	4.1	2.6	1.8	1.2	-	2.3	9.5				
手帳判定	重度(A1~A3)	75	34.9	5.8	15.8	17.2	10.4	5.6	8.3	1.2	4.6	3.5	1.2	-	1.2	21.5			
	中度(B1)	91	29.2	24.4	17.9	16.2	3.4	7.4	6.6	3.3	2.6	1.2	1.3	-	3.1	6.1			
	軽度(B2)	77	24.3	25.2	24.7	10.9	10.0	9.1	2.8	7.1	-	1.1	1.4	-	2.9	3.0			
	無回答	11	37.4	29.0	-	15.6	8.2	-	-	9.8	7.5	-	-	-	-	-			
全体	254	29.7	19.3	18.6	14.9	7.7	7.0	5.7	4.1	2.6	1.8	1.2	-	2.3	9.5				
就労形態	自営業主	3	-	-	-	-	20.6	-	-	-	-	-	-	47.7	-	-	-	31.8	
	家族従事者	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	
	正規の社員・従業員	28	19.1	17.3	18.7	14.5	6.3	9.5	7.0	3.2	-	-	4.4	-	-	8.2			
	臨時・日雇、アルバイト、パート	84	29.3	32.1	27.4	14.5	4.9	1.1	4.6	8.8	3.8	2.1	2.3	-	-	6.6			
	派遣社員	3	-	31.4	31.4	39.9	28.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	内職	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0		
	施設で働いている	113	33.5	10.5	12.9	15.1	8.2	11.8	5.5	1.9	3.1	0.9	-	-	4.3	9.4			
	将来企業などで働くため施設に通っている	16	34.1	21.3	14.2	15.2	18.7	6.6	7.0	-	-	-	-	-	6.6	19.2			
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

(3) 月収

[現在働いている方のみお答えください]

問15 あなたの、ふだんの月収（手取り額）はどのくらいですか。賞与などの臨時的に支給されるものは除きます。（○は1つだけ）

【図表5-44 月収】



【図表5-45 年齢詳細別、就労形態別 月収】 (%)

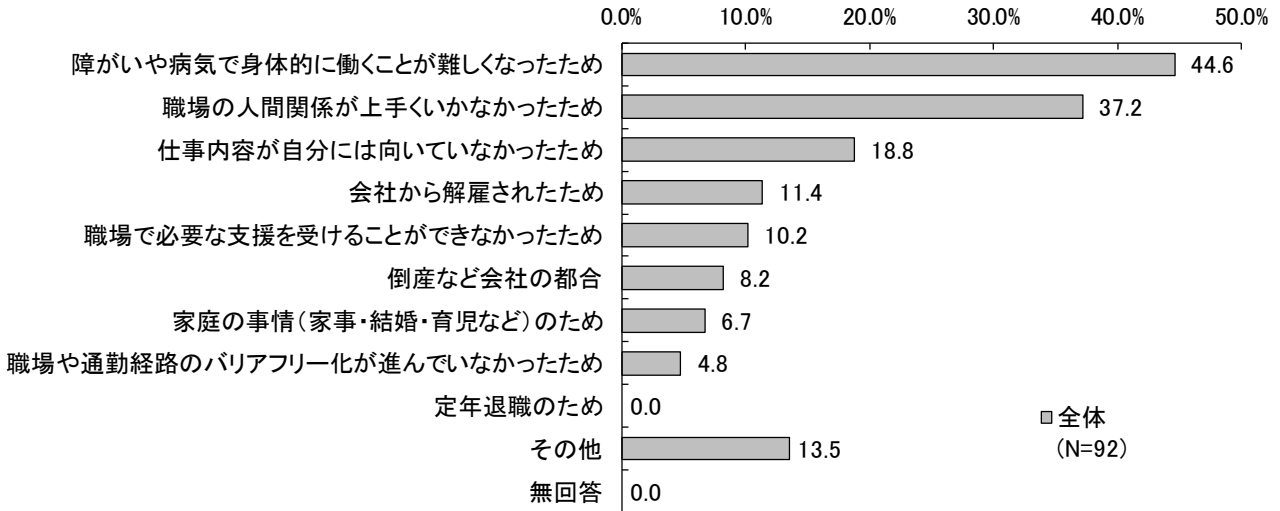
	調査数 (人)	月収											収入はない	無回答
		3千円未満	3千円～5千円未満	5千円～1万円未満	1万円～3万円未満	3万円～5万円未満	5万円～10万円未満	10万円～15万円未満	15万円～20万円未満	20万円～30万円未満	30万円以上			
全体	254	5.6	5.7	21.2	10.2	3.0	29.7	16.2	3.5	-	-	1.8	3.2	
年齢詳細	29歳以下	104	6.1	4.1	14.3	11.2	2.0	38.8	18.4	3.1	-	-	1.0	1.0
	30歳代	57	7.8	4.7	15.6	9.4	4.7	25.0	20.3	7.8	-	-	-	4.7
	40歳代	41	-	2.9	32.4	11.8	-	26.5	14.7	2.9	-	-	5.9	2.9
	50歳代	32	3.6	10.7	35.7	3.6	3.6	25.0	10.7	-	-	-	3.6	3.6
	60～64歳	11	5.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0	10.0	-	-	-	-	5.0
	65～74歳	8	10.0	10.0	30.0	10.0	20.0	-	-	-	-	-	-	20.0
	75歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	254	-	-	-	-	31.8	-	-	-	-	-	47.7	20.6	
就労形態	自営業主	3	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	
	家族従事者	1	-	-	-	3.2	-	26.6	49.3	21.0	-	-	-	
	正規の社員・従業員	28	1.7	-	1.3	-	4.4	55.5	31.2	3.6	-	-	2.3	
	臨時・日雇、アルバイト、パート	84	-	-	-	-	-	71.3	-	-	-	-	28.7	
	派遣社員	3	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	内職	1	9.8	11.0	39.9	16.0	1.7	15.2	-	-	-	-	1.9	4.4
	施設で働いている	113	-	6.6	41.1	32.0	6.6	13.7	-	-	-	-	-	
	将来企業などで働くため施設に通っている	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(4) 仕事をやめた原因

[以前働いていたが仕事をやめた方のみお答えください]

問16 仕事をやめた原因は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

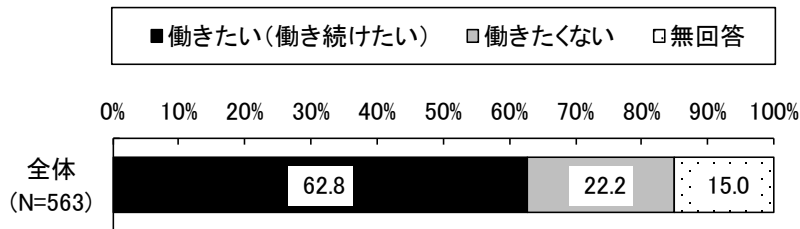
【図表5-46 仕事をやめた原因】



(5) 就労意向

問17 あなたは、今後、働きたい(働き続けたい)ですか。(○は1つだけ)

【図表5-47 就労意向】



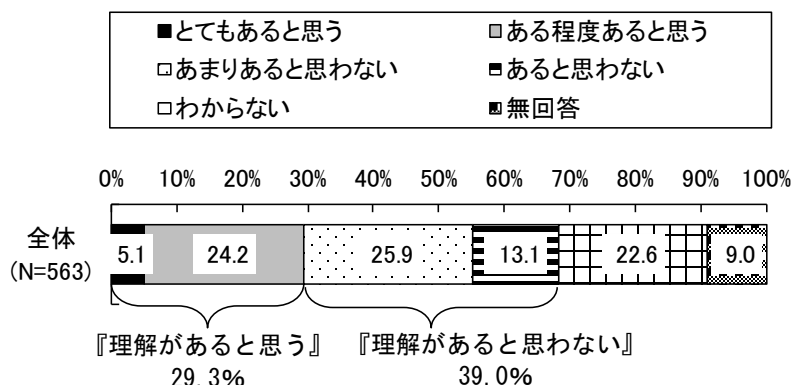
【図表5-48 年齢(2区分、詳細)別 就労意向】(%)

	調査数 (人)	就労意向			
		働きたい (働)	働きた くない	無 回答	
全体	563	62.8	22.2	15.0	
年齢 区分 2	64歳以下	503	67.5	18.2	14.3
	65歳以上	49	18.3	64.0	17.8
	無回答	11	45.5	18.2	36.4
	全体	563	62.8	22.2	15.0
年齢 詳細	29歳以下	201	77.8	10.6	11.6
	30歳代	112	73.0	10.3	16.7
	40歳代	104	55.3	25.9	18.8
	50歳代	63	57.1	35.7	7.1
	60~64歳	24	37.0	39.1	23.9
	65~74歳	36	25.0	56.8	18.2
	75歳以上	13	-	83.3	16.7
	無回答	11	45.5	18.2	36.4

(6) 障がい者の就労に対する社会の理解度

問18 障がいのある人が働くことについて社会の理解があると思いますか。(○は1つだけ)

【図表5-49 障がい者の就労に対する社会の理解度】



【図表5-50 年齢詳細別、手帳判定別、就労の有無別 障がい者の就労に対する社会の理解度】 (%)

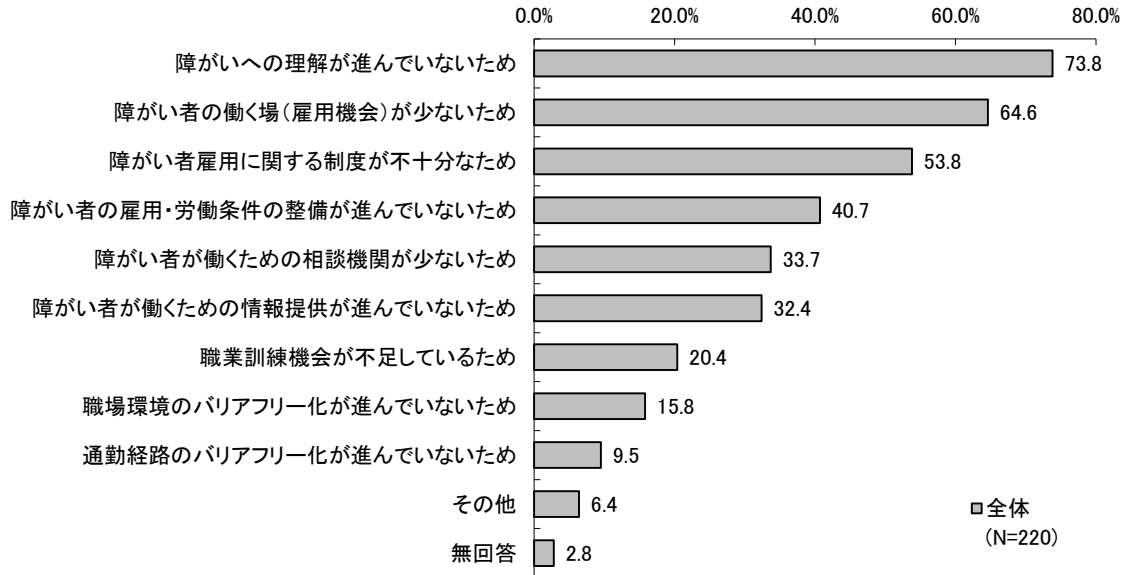
	調査数 (人)	障がい者の就労に対する社会の理解度								
		とてもあると思う	ある程度あると思う	あまりあると思わない	あると思わない	わからない	無回答	『理解があると思う』	『理解があると思わない』	
全体	563	5.1	24.2	25.9	13.1	22.6	9.0	29.3	39.0	
年齢詳細	29歳以下	201	3.2	24.9	32.8	14.3	20.1	4.8	28.1	47.1
	30歳代	112	6.3	25.4	27.8	15.1	15.9	9.5	31.7	42.9
	40歳代	104	5.9	18.8	21.2	14.1	24.7	15.3	24.7	35.3
	50歳代	63	7.1	39.3	16.1	10.7	19.6	7.1	46.4	26.8
	60～64歳	24	6.5	23.9	19.6	10.9	26.1	13.0	30.4	30.5
	65～74歳	36	9.1	13.6	22.7	6.8	34.1	13.6	22.7	29.5
	75歳以上	13	-	16.7	16.7	-	66.7	-	16.7	16.7
	無回答	11	-	9.1	18.2	18.2	36.4	18.2	9.1	36.4
全体	563	5.1	24.2	25.9	13.1	22.6	9.0	29.3	39.0	
手帳判定	重度(A1～A3)	262	3.0	14.5	31.4	16.4	23.1	11.7	17.5	47.8
	中度(B1)	142	7.9	30.0	20.0	10.0	25.4	6.8	37.9	30.0
	軽度(B2)	121	5.9	42.8	24.1	10.3	14.6	2.4	48.7	34.4
	判定無回答	39	7.1	11.4	16.4	11.6	34.5	19.0	18.5	28.0
全体	563	5.1	24.2	25.9	13.1	22.6	9.0	29.3	39.0	
就労の有無	就労している	254	10.0	35.0	27.4	9.3	13.7	4.7	45.0	36.7
	就労していない	210	0.2	19.9	28.3	17.3	30.2	4.0	20.1	45.6
	無回答	98	3.0	5.6	17.0	14.1	29.6	30.8	8.6	31.1

(7) 障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由

[問18で「3」「4」を選ばれた方におたずねします]

問18-1 障がいのある人が働くことについて社会の理解があると思わない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表5-51 障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由】



【図表5-52 年齢詳細別、手帳判定別、就労の有無別

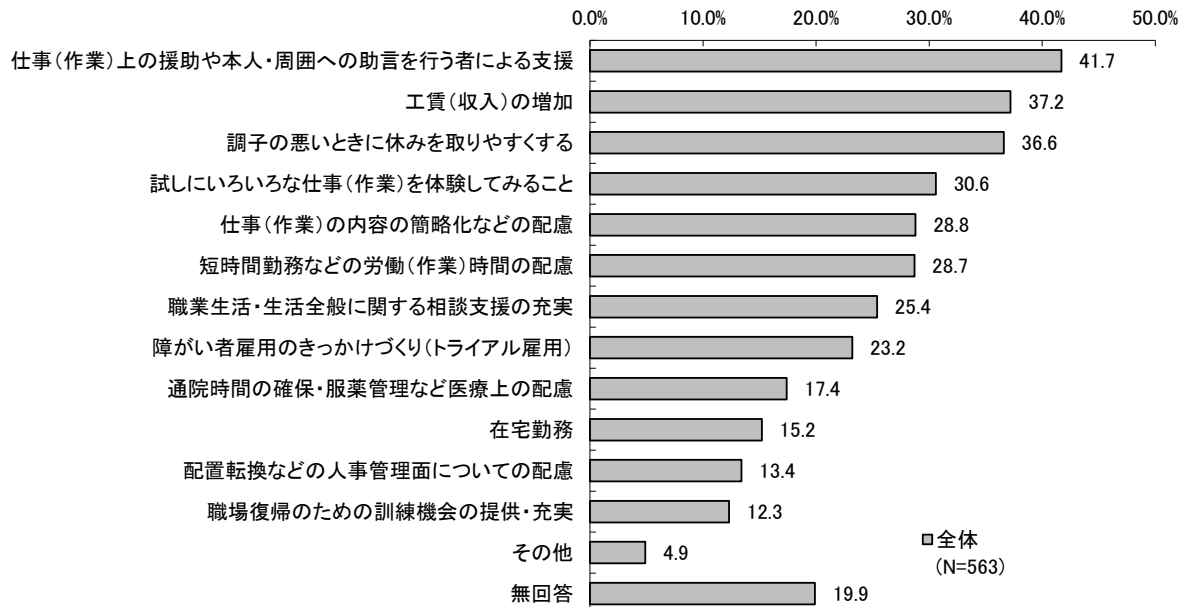
障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由】(%)

	調査数(人)	障がい者の就労に対する社会の理解があると思わない理由											
		進障 んが でい への 理解 た めが	な(障 い雇 がた るが ない ため が少 な い た め	な(障 い雇 がた るが ない た め が少 な い た め	進障 んが でい への 理解 た めが	な(障 い雇 がた るが ない た め が少 な い た め	進障 んが でい への 理解 た めが	な(障 い雇 がた るが ない た め が少 な い た め	進障 んが でい への 理解 た めが	な(障 い雇 がた るが ない た め が少 な い た め	進障 んが でい への 理解 た めが	な(障 い雇 がた るが ない た め が少 な い た め	その他
全体	563	73.8	64.6	53.8	40.7	33.7	32.4	20.4	15.8	9.5	6.4	2.8	
年齢 詳細	29歳以下	201	79.8	69.7	64.0	50.6	40.4	40.4	20.2	16.9	7.9	9.0	-
	30歳代	112	74.1	61.1	53.7	35.2	29.6	27.8	18.5	20.4	13.0	7.4	-
	40歳代	104	73.3	60.0	43.3	33.3	36.7	26.7	23.3	16.7	13.3	3.3	3.3
	50歳代	63	53.3	73.3	53.3	40.0	13.3	20.0	26.7	6.7	6.7	-	6.7
	60~64歳	24	64.3	57.1	28.6	35.7	21.4	42.9	7.1	14.3	7.1	-	7.1
	65~74歳	36	84.6	61.5	38.5	30.8	23.1	23.1	23.1	7.7	7.7	7.7	-
	75歳以上	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	無回答	11	50.0	50.0	25.0	-	50.0	25.0	25.0	-	-	-	25.0
全体	563	73.8	64.6	53.8	40.7	33.7	32.4	20.4	15.8	9.5	6.4	2.8	
手帳 判定	重度(A1~A3)	262	69.7	65.9	55.1	39.5	29.4	26.9	19.1	18.2	10.2	7.2	3.6
	中度(B1)	142	71.0	70.1	44.9	31.5	32.6	37.9	29.0	7.1	2.1	9.4	-
	軽度(B2)	121	87.1	61.2	62.9	50.4	43.8	39.0	18.6	16.1	13.7	2.6	-
	無回答	39	81.1	41.3	37.8	52.8	49.0	49.7	9.2	20.5	15.7	-	14.1
全体	563	73.8	64.6	53.8	40.7	33.7	32.4	20.4	15.8	9.5	6.4	2.8	
就労 の有 無	就労している	254	73.6	61.9	47.5	38.5	34.2	34.5	14.5	14.8	5.9	3.4	1.2
	就労していない	210	75.4	69.5	58.0	42.6	37.5	33.2	24.4	15.9	10.8	8.5	3.9
	無回答	98	69.4	57.6	59.6	41.1	20.2	23.2	25.9	18.5	16.8	9.0	4.0

(8) 障がい者の就労支援として必要なこと

問19 どのような働き方や制度があれば障がいのある人が働きやすいと思いますか。
(○はあてはまるものすべて)

【図表5-53 障がい者の就労支援として必要なこと】



【図表5-54 年齢詳細別、手帳判定別、就労の有無別、就労形態別 障がい者の就労支援として必要なこと】 (%)

	調査数(人)	障がい者の就労支援として必要なこと															
		支援を行う者による援助や	工賃(収入)の増加	取りやすくなる	調子の悪いときに休みを	こと(作業)を体験してみる	略化などの配慮	仕事(作業)の内容の簡	短時間勤務などの配慮	職業生活・生活全般に	用(生活)の充実	障がい者雇用	通院時間の確保・服薬管	在宅勤務	配置転換などの人事管理	職場復帰のための訓練機	その他
全体	563	41.7	37.2	36.6	30.6	28.8	28.7	25.4	23.2	17.4	15.2	13.4	12.3	4.9	19.9		
年齢詳細	29歳以下	201	59.3	49.2	46.0	46.6	39.7	36.5	32.8	36.0	24.9	20.6	23.3	15.3	2.6	9.0	
	30歳代	112	42.1	39.7	35.7	25.4	27.0	31.7	24.6	20.6	15.9	15.1	11.9	8.7	3.2	15.1	
	40歳代	104	36.5	30.6	31.8	24.7	18.8	24.7	21.2	17.6	11.8	11.8	4.7	14.1	5.9	32.9	
	50歳代	63	30.4	26.8	42.9	23.2	30.4	28.6	30.4	19.6	14.3	12.5	7.1	10.7	7.1	12.5	
	60~64歳	24	21.7	26.1	23.9	10.9	6.5	17.4	10.9	6.5	8.7	4.3	6.5	2.2	2.2	37.0	
	65~74歳	36	15.9	18.2	15.9	18.2	22.7	13.6	13.6	6.8	13.6	11.4	9.1	13.6	9.1	47.7	
	75歳以上	13	-	16.7	16.7	-	16.7	-	-	-	16.7	16.7	-	-	-	33.3	33.3
	無回答	11	9.1	27.3	-	9.1	18.2	-	9.1	9.1	-	-	9.1	18.2	-	45.5	
全体	563	41.7	37.2	36.6	30.6	28.8	28.7	25.4	23.2	17.4	15.2	13.4	12.3	4.9	19.9		
手帳判定	重度(A1~A3)	262	42.4	30.8	32.1	29.4	31.8	29.0	22.3	21.6	19.5	17.6	11.4	7.9	4.6	26.7	
	中度(B1)	142	44.7	43.5	38.6	30.3	24.0	23.2	27.1	25.0	15.5	8.7	13.5	11.6	6.5	12.6	
	軽度(B2)	121	45.2	47.9	46.8	38.7	33.7	36.5	34.5	27.2	19.4	20.0	19.3	21.5	2.4	7.0	
	無回答	39	14.9	24.2	27.3	14.4	11.2	21.6	11.6	15.1	4.5	8.2	7.4	16.3	8.8	41.5	
全体	563	41.7	37.2	36.6	30.6	28.8	28.7	25.4	23.2	17.4	15.2	13.4	12.3	4.9	19.9		
就労の有無	就労している	254	45.9	46.7	37.3	33.6	26.3	24.6	28.7	24.5	16.7	10.9	12.8	11.5	3.2	9.0	
	就労していない	210	43.8	34.4	41.6	30.8	35.7	38.3	26.6	25.6	19.5	22.1	16.4	15.6	6.9	18.5	
	無回答	98	26.2	19.0	23.9	22.4	20.6	18.7	14.2	14.9	14.6	11.7	8.3	7.3	5.3	51.4	
全体	563	41.7	37.2	36.6	30.6	28.8	28.7	25.4	23.2	17.4	15.2	13.4	12.3	4.9	19.9		
就労形態	自営業主	3	31.8	31.8	-	31.8	31.8	31.8	-	-	31.8	79.4	-	-	31.8	20.6	
	家族従事者	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	正規の社員・従業員	28	51.6	45.7	37.6	26.6	33.0	20.2	33.6	17.8	13.3	12.0	13.3	15.8	4.4	7.0	
	臨時・日雇、アルバイト、パート	84	46.4	36.6	35.7	38.4	24.7	24.5	32.2	26.9	12.4	9.7	16.8	14.8	1.1	6.3	
	派遣社員	3	-	39.9	71.3	39.9	31.4	71.3	39.9	39.9	-	-	-	-	-	28.7	
	内職	1	-	100.0	100.0	-	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	100.0	-	-	
	施設で働いている	113	46.1	53.5	38.0	30.8	26.6	23.3	25.8	25.0	18.2	10.7	10.0	10.4	4.5	8.1	
	将来企業などで働くため施設に通っている	16	48.8	59.9	53.3	42.2	27.5	38.6	28.9	27.9	26.4	12.2	20.9	-	-	19.2	

7. 福祉サービスの利用について

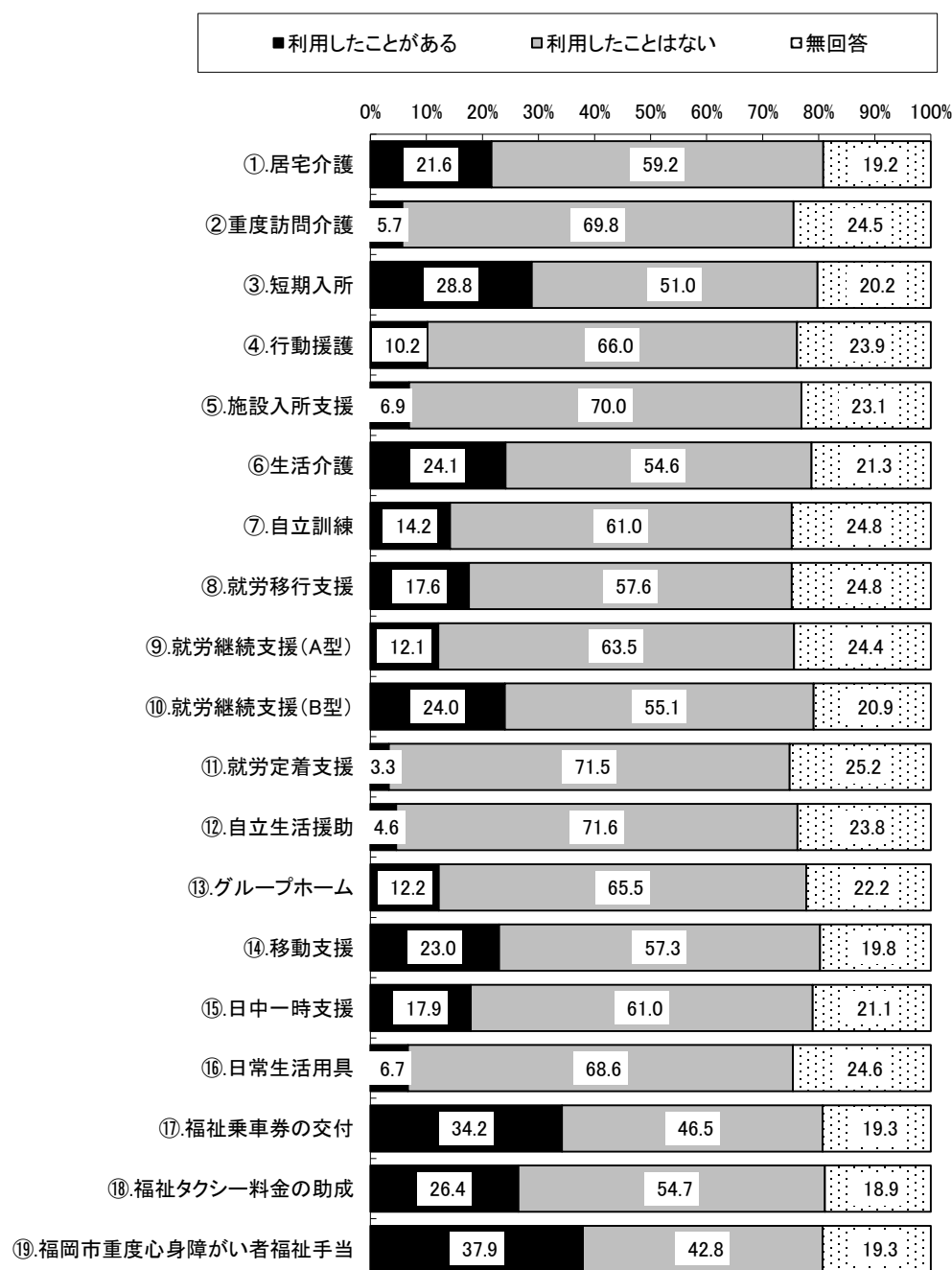
- ・福祉サービスの＜利用状況＞＜利用意向＞については、いずれも、「⑨福岡市重度心身障がい者福祉手当」「⑰福祉乗車券の交付」「③短期入所」「⑱福祉タクシー料金の助成」が上位となっている。
【図表5-55、図表5-56】
- ・＜対象・範囲の拡大を希望するサービス＞が「ある」人の割合は2割となっており、その希望サービス内容は「短期入所」「グループホーム」「移動支援」が上位となっている。【図表5-57、図表5-59】

(1) 福祉サービスの利用状況

問20 あなたは、次のようなサービスを利用したことがありますか。また、今後（2～3年以内に）利用したいと思いますか。

①～⑱の項目ごとに、利用状況と利用意向のそれぞれについて○をつけてください。

【図表5-55 福祉サービスの利用状況】

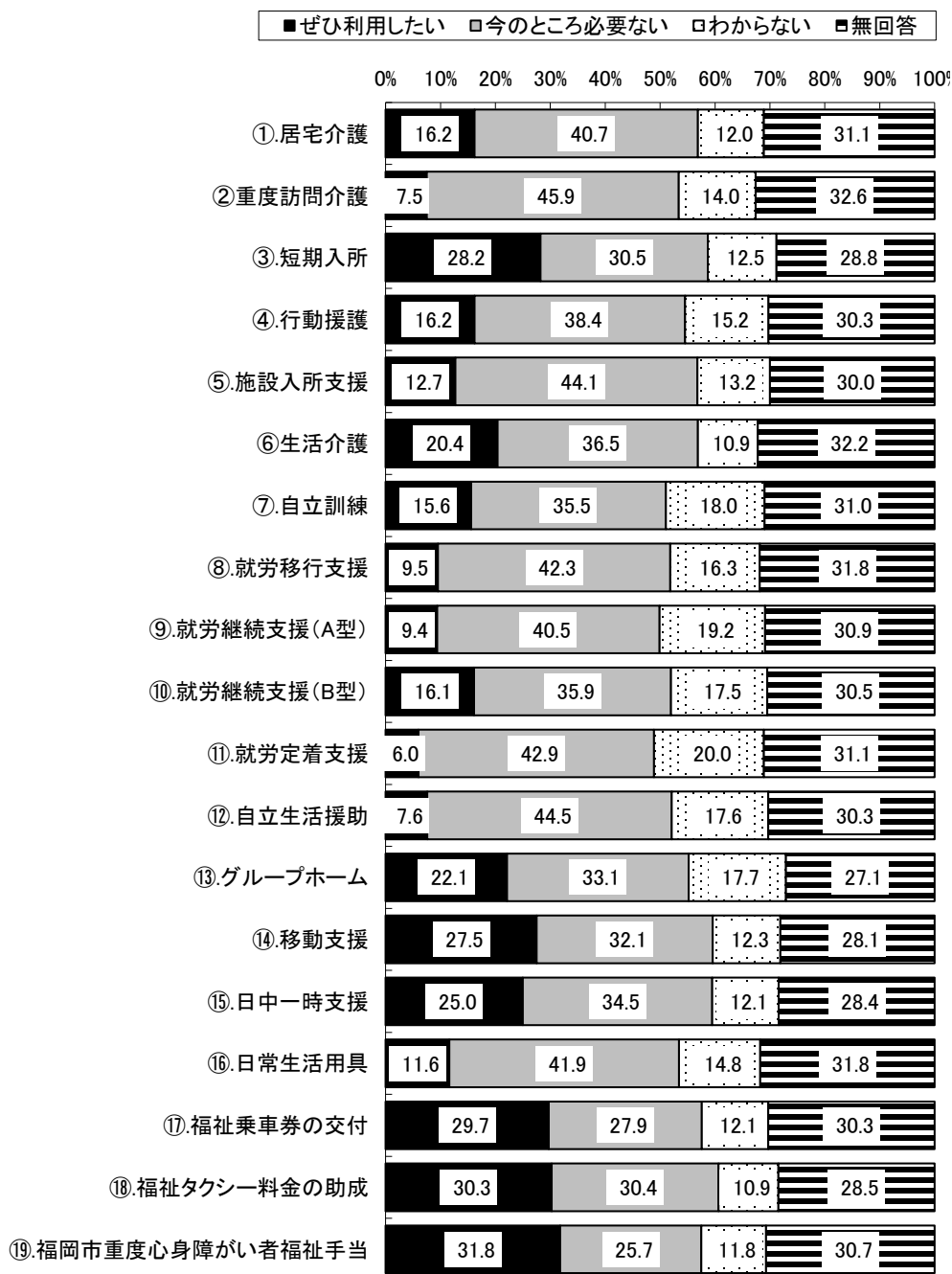


(2) 福祉サービスの利用意向

問20 あなたは、次のようなサービスを利用したことがありますか。また、今後（2～3年以内に）利用したいと思いますか。

①～⑱の項目ごとに、利用状況と利用意向のそれぞれについて○をつけてください。

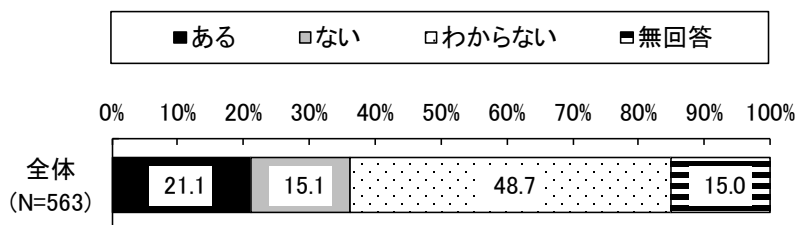
【図表5-56 福祉サービスの利用意向】



(3) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無

問21 問20の①～⑱のサービス・事業の中で、サービスの量が不足していたり、利用対象・範囲の拡大などを図るべきだと思いませんか。(○は1つだけ)

【図表5-57 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無】



【図表5-58 年齢詳細別、手帳判定別

対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無】(%)

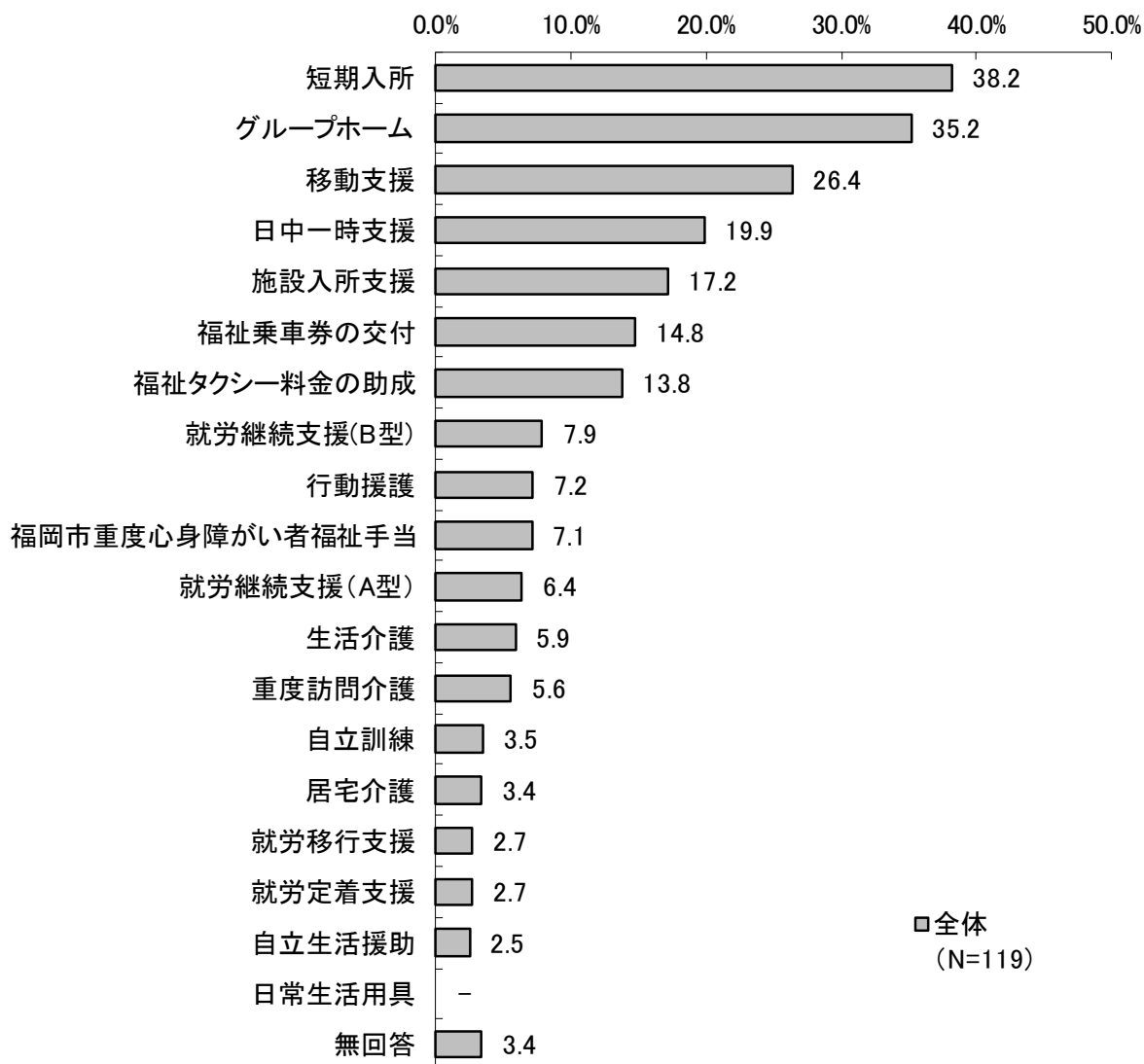
	調査数 (人)	対象・範囲の拡大をしてほしい 福祉サービスの有無				
		ある	ない	わからない	無回答	
全体	563	21.1	15.1	48.7	15.0	
年齢 詳細	29歳以下	201	30.7	11.1	54.0	4.2
	30歳代	112	24.6	20.6	44.4	10.3
	40歳代	104	16.5	11.8	45.9	25.9
	50歳代	63	7.1	28.6	46.4	17.9
	60～64歳	24	8.7	23.9	45.7	21.7
	65～74歳	36	11.4	4.5	47.7	36.4
	75歳以上	13	16.7	-	50.0	33.3
	無回答	11	-	18.2	45.5	36.4
全体	563	21.1	15.1	48.7	15.0	
手帳 判定	重度(A1～A3)	262	35.8	9.9	37.2	17.1
	中度(B1)	142	10.4	25.3	50.9	13.4
	軽度(B2)	121	6.7	15.2	70.2	7.9
	無回答	39	5.9	12.7	51.7	29.7

(4) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス

[問21で「1」を選ばれた方におたずねします]

問21-1 それほどのサービス・事業ですか。優先度が高いと思うものを3つまで選んでください。(事業番号は①～⑱の数字を記入してください)

【図表5-59 利用対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス】



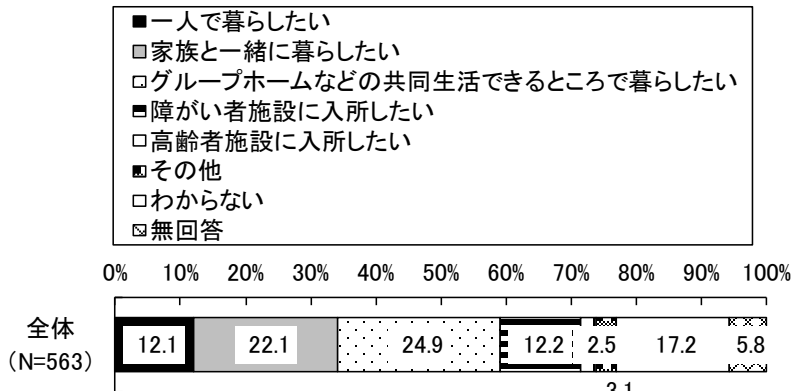
8. 今後の暮らし方について

- 希望する今後の暮らし方について世帯状況別にみると、現在、夫婦のみや二世帯（子と本人）同居している人は、今後も「家族と一緒に暮らしたい」と考えている人が多く、現在一人暮らしの人は、今後も「一人で暮らしたい」（52.7%）、グループホーム利用者でも、今後も「グループホームなどの共同生活できるところで暮らしたい」（58.4%）が最も高くなっている。【図表5-61】
- 自宅や地域で生活するために必要な条件として、年齢詳細別にみると、29歳以下では他に比べて「仕事があること」（40.2%）の割合が高く4割に達している。手帳判定別にみると、A判定の重度者では「介護を受けながら日中活動を行う施設に通えること」（34.7%）、「夜間の介護を頼める人がいること」（30.8%）、「短期入所など緊急時に宿泊できるところがあること」（30.4%）の割合がB判定の中度・軽度者に比べて高くなっている。一方、軽度者ほど「仕事があること」「地域で何でも相談できる相談員や相談窓口があること」「スーパーや銀行などの生活に必要な機関が近くにあること」の割合が高くなる傾向がみられる。【図表5-63】

(1) 希望する今後の暮らし方

問22 あなたは、今後（親なき後を含む）、どのように暮らしたいと思いますか。（○は1つだけ）

【図表5-60 希望する今後の暮らし方】



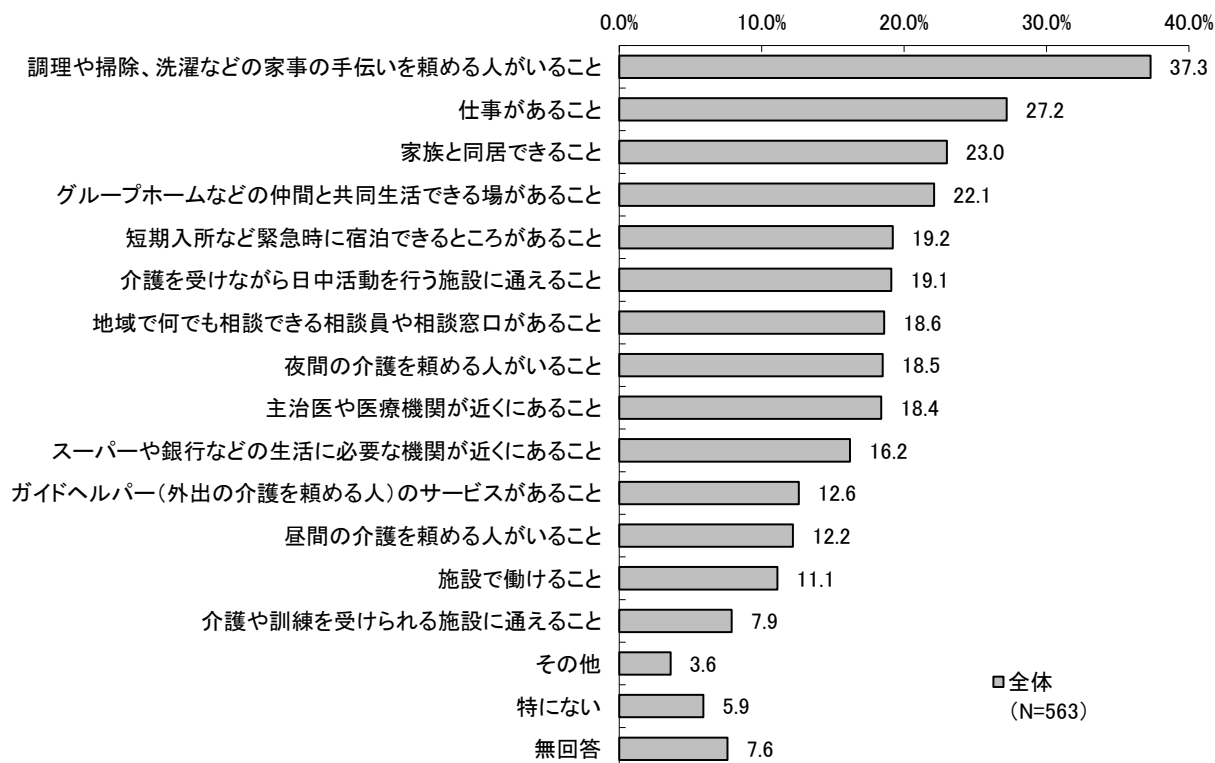
【図表5-61 年齢2区分別、手帳判定別、世帯状況別 希望する今後の暮らし方】 (%)

	調査数 (人)	希望する今後の暮らし方								
		一人で暮らしたい	家族と一緒に暮らしたい	このグループホームなどで暮らしたい	障がい者施設に入所したい	高齢者施設に入所したい	その他	わからない	無回答	
全体	563	12.1	22.1	24.9	12.2	2.5	3.1	17.2	5.8	
年齢区分2	64歳以下	503	12.4	22.5	25.7	12.7	1.6	2.7	16.9	5.4
	65歳以上	49	10.0	21.1	20.6	1.7	12.8	7.8	17.8	8.3
	無回答	11	9.1	9.1	9.1	36.4	-	-	27.3	9.1
全体	563	12.1	22.1	24.9	12.2	2.5	3.1	17.2	5.8	
手帳判定	重度(A1~A3)	262	3.1	19.2	31.1	22.4	3.0	2.4	13.0	5.7
	中度(B1)	142	18.9	24.4	23.8	2.0	2.6	3.0	20.6	4.7
	軽度(B2)	121	26.1	28.0	16.3	1.7	0.7	3.0	21.3	2.9
	無回答	39	5.0	14.7	14.1	13.2	4.8	8.4	20.9	18.8
全体	563	12.1	22.1	24.9	12.2	2.5	3.1	17.2	5.8	
年齢詳細	一人暮らし	201	52.7	3.3	5.2	-	6.4	5.2	10.2	17.0
	夫婦のみ	112	-	88.4	-	11.6	-	-	-	-
	二世帯(親と本人)	104	9.5	23.7	24.6	16.3	0.9	3.1	17.4	4.4
	二世帯(子と本人)	63	7.7	51.4	-	-	-	-	41.0	-
	三世帯同居	24	9.0	21.9	18.1	8.3	-	-	42.7	-
	その他	36	7.3	41.1	8.6	6.7	5.8	1.8	20.8	8.0
	グループホーム	13	4.7	4.0	58.4	6.4	9.2	4.9	4.1	8.3
	無回答	11	31.3	5.1	30.8	5.1	-	3.0	17.1	7.6

(2) 自宅やグループホームなどで生活するために必要な条件

問23 自宅やグループホームなどで生活するためには、どのような条件が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【図表5-62 自宅やグループホームなどで生活するために必要な条件】



【図表5-63 年齢（2区分、詳細）別、手帳判定別
自宅やグループホームなどで生活するために必要な条件】（％）

	調査数（人）	自宅やグループホームなどで生活するために必要な条件									
		このこと	調理や掃除、洗濯などの家事が頼める人がいること	仕事があること	家族と同居できること	こと	グループホームなどの仲間	できる場所など緊急時に宿泊	を介護施設に通えること	談話を相談窓口があること	夜間の介護を頼める人がいること
全体	563	37.3	27.2	23.0	22.1	19.2	19.1	18.6	18.5	18.4	
年齢区分2	64歳以下	503	39.2	29.9	23.0	23.4	19.4	19.9	19.7	19.5	17.3
	65歳以上	49	22.3	3.3	24.4	11.6	14.5	11.1	11.6	10.7	29.4
	無回答	11	18.2	9.1	18.2	9.1	27.3	18.2	-	9.1	18.2
全体	563	37.3	27.2	23.0	22.1	19.2	19.1	18.6	18.5	18.4	
年齢詳細	29歳以下	201	41.8	40.2	26.5	27.5	19.6	20.6	24.3	24.3	17.5
	30歳代	112	38.1	27.8	22.2	19.0	22.2	25.4	16.7	17.5	10.3
	40歳代	104	37.6	23.5	20.0	25.9	17.6	11.8	17.6	14.1	18.8
	50歳代	63	41.1	19.6	17.9	17.9	17.9	23.2	14.3	17.9	28.6
	60～64歳	24	23.9	8.7	23.9	13.0	17.4	15.2	17.4	15.2	13.0
	65～74歳	36	18.2	4.5	27.3	15.9	13.6	9.1	15.9	2.3	34.1
	75歳以上	13	33.3	-	16.7	-	16.7	16.7	-	33.3	16.7
	無回答	11	18.2	9.1	18.2	9.1	27.3	18.2	-	9.1	18.2
全体	563	37.3	27.2	23.0	22.1	19.2	19.1	18.6	18.5	18.4	
手帳判定	重度(A1～A3)	262	37.5	10.9	24.3	27.2	30.4	34.7	13.7	30.8	19.2
	中度(B1)	142	46.1	37.2	16.4	20.1	10.6	5.8	19.9	7.2	15.3
	軽度(B2)	121	28.9	54.5	30.6	14.1	5.8	2.9	30.2	5.6	20.5
	無回答	39	30.1	16.0	14.5	19.7	16.3	13.2	10.6	16.4	18.1

	調査数（人）	自宅やグループホームなどで生活するために必要な条件								
		このこと	必要となる機関が近くにあること	が利用できる人がいること	ガイドヘルパー（外出の介）	る間の介護を頼める人がいること	施設で働けること	回復や生活の訓練を受けられること	無回答	特にな
全体	563	16.2	12.6	12.2	11.1	7.9	7.6	5.9	3.6	
年齢区分2	64歳以下	503	16.8	13.4	12.2	11.4	8.5	6.0	5.7	3.7
	65歳以上	49	13.3	7.8	12.3	6.6	3.3	22.3	6.6	3.3
	無回答	11	-	-	9.1	18.2	-	18.2	9.1	-
全体	563	16.2	12.6	12.2	11.1	7.9	7.6	5.9	3.6	
年齢詳細	29歳以下	201	19.6	12.7	14.8	12.7	11.6	2.6	5.8	4.2
	30歳代	112	19.0	19.0	11.1	10.3	6.3	3.2	4.8	1.6
	40歳代	104	9.4	10.6	8.2	10.6	7.1	9.4	7.1	7.1
	50歳代	63	17.9	14.3	8.9	10.7	5.4	12.5	5.4	1.8
	60～64歳	24	13.0	2.2	21.7	10.9	6.5	15.2	4.3	-
	65～74歳	36	18.2	4.5	4.5	9.1	4.5	18.2	9.1	4.5
	75歳以上	13	-	16.7	33.3	-	-	33.3	-	-
	無回答	11	-	-	9.1	18.2	-	18.2	9.1	-
全体	563	16.2	12.6	12.2	11.1	7.9	7.6	5.9	3.6	
手帳判定	重度(A1～A3)	262	10.7	19.1	20.3	13.5	7.9	8.1	2.2	4.9
	中度(B1)	142	17.8	10.5	4.5	10.6	9.6	6.0	10.3	3.3
	軽度(B2)	121	27.9	4.5	3.2	6.6	7.6	5.4	6.8	2.4
	無回答	39	11.3	2.1	13.3	11.0	2.1	17.5	11.2	-

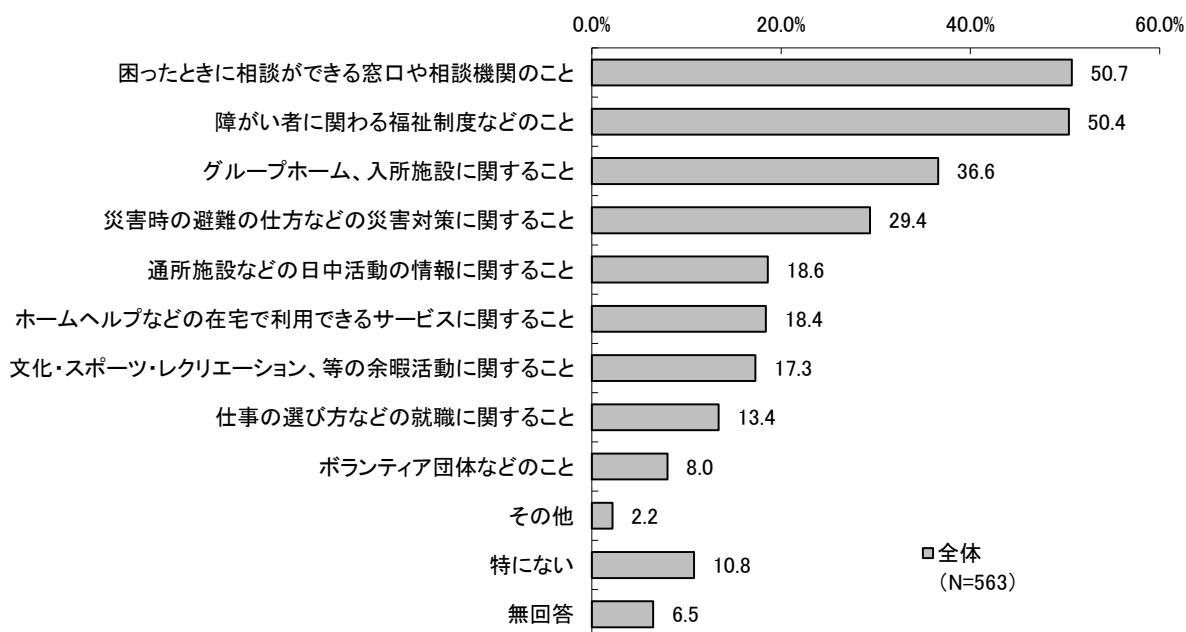
9. 情報収集や相談について

- ・福岡市からの情報で知りたいことについて、年齢詳細別にみると、29歳以下は30歳代以上に比べてほとんどの項目で高くなっており、知りたい情報が多岐にわたっている。特に「障がい者に関わる福祉制度などのこと」(61.9%)、「困ったときに相談ができる窓口や相談機関のこと」(61.4%)、の割合が6割に達している。手帳判定別にみると、重度者ほど「グループホーム、入所施設に関すること」が高くなる傾向がみられ、軽度者ほど「仕事の選び方などの就職に関すること」の割合が高くなる傾向がみられる。【図表5-65】
- ・困っていることや心配なことについて、年齢詳細別にみると、大きな差はみられないが40歳代と50歳代では「生活費などの経済的なこと」や「家族のこと」が他の年代に比べてやや高い。世帯状況別にみると、三世帯同居者では他に比べて「老後や将来のこと」(60.1%)、「仕事のこと」(26.1%)の割合が高くなっている。また、一人暮らしでは「体、心の健康や障がいのこと」(48.4%)の割合が高い。【図表5-69】
- ・相談窓口の認知度(「知っている」の割合)は、年齢2区分別にみると、すべての相談機関について65歳以上よりも64歳以下で認知度が高く、特に「③あいあいセンター」と「⑧障がい者就労支援センター」では40ポイント以上の差がある。【図表5-71】

(1) 福岡市からの情報で知りたいこと

問24 あなたは、生活に関することで、福岡市からどのような情報が知りたいですか。
(○はあてはまるものすべて)

【図表5-64 福岡市からの情報で知りたいこと】



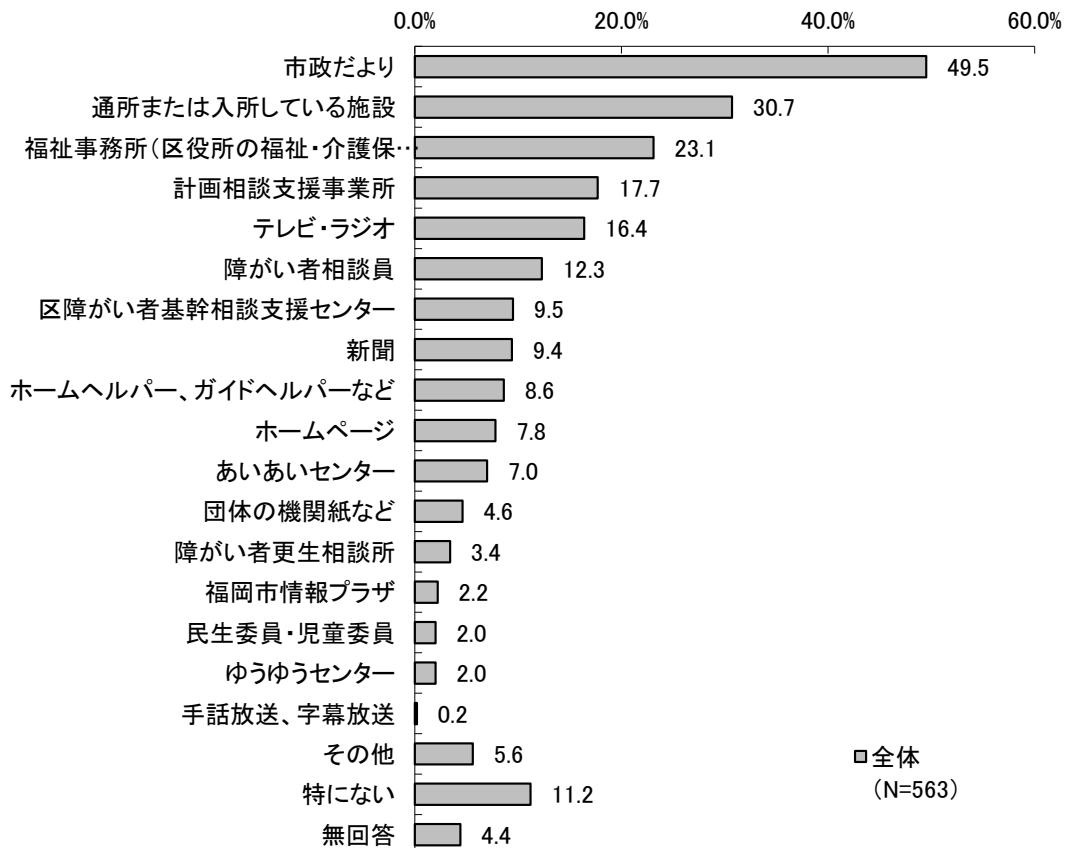
【図表5-65 年齢詳細別、手帳判別別 福岡市からの情報で知りたいこと】(%)

	調査数(人)	福岡市からの情報で知りたいこと												
		困ったことや相談の機会がとき	障がい者に関する福祉制	グループホーム、入所施設	災害時の避難の仕方など	通所施設に関する日中活動	関連する利用できるサービス在宅	ホームヘルプなどの在宅	文化・スポーツ・余暇活動	仕事を選ぶ方などの就職	ボランティア団体などの	その他	特にない	無回答
全体	563	50.7	50.4	36.6	29.4	18.6	18.4	17.3	13.4	8.0	2.2	10.8	6.5	
年齢詳細	29歳以下	201	61.4	61.9	47.6	32.8	24.9	27.5	25.4	21.7	11.1	1.6	7.4	0.5
	30歳代	112	48.4	50.0	42.1	37.3	12.7	15.1	17.5	10.3	10.3	0.8	8.7	3.2
	40歳代	104	44.7	47.1	34.1	22.4	16.5	15.3	12.9	11.8	7.1	2.4	11.8	11.8
	50歳代	63	53.6	42.9	25.0	32.1	21.4	8.9	16.1	8.9	3.6	5.4	8.9	8.9
	60～64歳	24	56.5	30.4	19.6	17.4	13.0	17.4	4.3	4.3	-	-	15.2	6.5
	65～74歳	36	27.3	34.1	15.9	20.5	15.9	11.4	4.5	2.3	4.5	6.8	20.5	22.7
	75歳以上	13	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	16.7
無回答	11	45.5	36.4	18.2	27.3	9.1	18.2	9.1	9.1	-	-	9.1	18.2	
全体	563	50.7	50.4	36.6	29.4	18.6	18.4	17.3	13.4	8.0	2.2	10.8	6.5	
手帳判別	重度(A1～A3)	262	48.4	59.5	52.2	33.9	23.8	22.9	15.6	3.7	9.4	3.1	5.4	8.1
	中度(B1)	142	50.2	38.1	28.7	24.5	11.1	14.2	18.1	17.8	6.3	2.1	17.7	3.8
	軽度(B2)	121	57.0	50.0	17.8	28.8	14.1	14.2	17.7	28.8	6.9	1.0	13.8	3.2
	無回答	39	48.7	34.5	18.7	18.3	24.1	16.8	25.2	15.4	8.2	-	13.1	15.5

(2) 福岡市の福祉施策情報の入手先

問25 福岡市が実施している福祉施策について、あなたが知る手掛りとなっているのは、次のどれですか。(○はあてはまるものすべて)

【図表5-66 福岡市の福祉施策情報の入手先】



【図表5-67 年齢詳細別、手帳判定別 福岡市の福祉施策情報の入手先】(%)

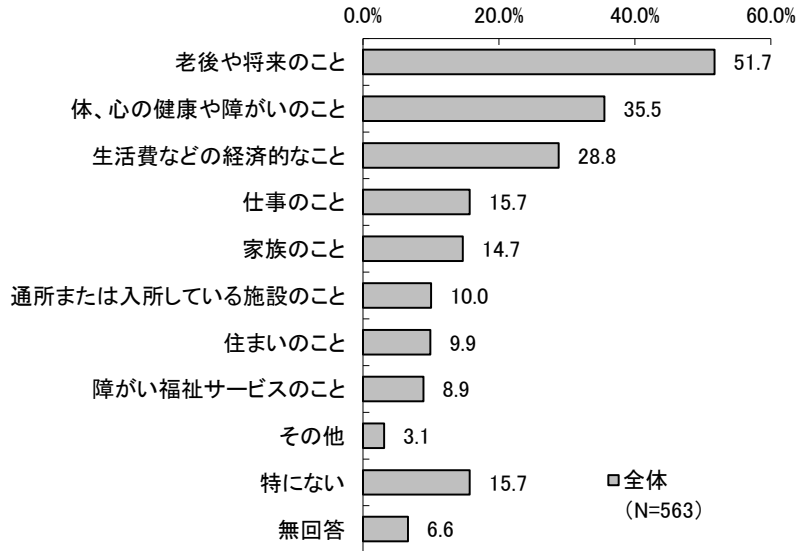
	調査数(人)	福岡市の福祉施策情報の入手先										
		市政だより	通所または入所している施設	福祉事務所(区役所の福祉・介護保険課)	計画相談支援事業所	テレビ・ラジオ	障がい者相談員	援センター	区障がい者基幹相談支援センター	新聞	ドームヘルパーなど	ホームページ
全体	563	49.5	30.7	23.1	17.7	16.4	12.3	9.5	9.4	8.6	7.8	
年齢詳細	29歳以下	201	56.6	32.3	28.0	21.7	16.9	15.9	10.1	9.0	10.1	13.8
	30歳代	112	41.3	31.0	23.8	19.0	15.9	7.9	12.7	7.9	11.1	9.5
	40歳代	104	52.9	35.3	15.3	21.2	14.1	11.8	8.2	9.4	3.5	3.5
	50歳代	63	48.2	30.4	25.0	14.3	17.9	12.5	10.7	8.9	10.7	3.6
	60～64歳	24	41.3	30.4	13.0	6.5	34.8	8.7	13.0	10.9	6.5	-
	65～74歳	36	50.0	18.2	18.2	4.5	18.2	6.8	2.3	15.9	11.4	-
	75歳以上	13	16.7	16.7	16.7	-	-	16.7	-	16.7	-	-
	無回答	11	36.4	18.2	36.4	9.1	-	18.2	-	-	-	-
全体	563	49.5	30.7	23.1	17.7	16.4	12.3	9.5	9.4	8.6	7.8	
手帳判定	重度(A1～A3)	262	56.5	44.9	33.2	23.0	12.1	15.7	11.0	9.2	14.2	8.8
	中度(B1)	142	40.4	17.3	11.4	15.4	18.7	9.8	10.3	8.9	3.2	5.1
	軽度(B2)	121	48.7	17.1	19.1	11.5	23.5	8.0	7.5	11.9	4.2	11.4
	無回答	39	38.4	26.4	10.9	9.8	15.5	12.8	2.7	4.5	5.0	-

	調査数(人)	福岡市の福祉施策情報の入手先										
		あいあいセンター	団体の機関紙など	障がい者更生相談所	福岡市役所1階(福岡市情報プラザ)	民生委員・児童委員	ゆうゆうセンター	手話放送、字幕放送	その他	特にない	無回答	
全体	563	7.0	4.6	3.4	2.2	2.0	2.0	0.2	5.6	11.2	4.4	
年齢詳細	29歳以下	201	8.5	5.3	1.6	1.6	1.6	3.7	-	10.6	10.1	1.1
	30歳代	112	9.5	6.3	2.4	4.0	0.8	2.4	0.8	4.8	11.9	3.2
	40歳代	104	8.2	4.7	5.9	-	1.2	1.2	-	-	8.2	7.1
	50歳代	63	1.8	5.4	8.9	5.4	5.4	-	-	1.8	8.9	7.1
	60～64歳	24	2.2	-	2.2	-	4.3	-	-	4.3	10.9	6.5
	65～74歳	36	4.5	-	2.3	4.5	4.5	-	-	2.3	18.2	6.8
	75歳以上	13	-	-	-	-	-	-	-	16.7	33.3	16.7
	無回答	11	-	-	-	-	-	-	-	-	18.2	9.1
全体	563	7.0	4.6	3.4	2.2	2.0	2.0	0.2	5.6	11.2	4.4	
手帳判定	重度(A1～A3)	262	3.4	7.7	3.2	1.9	2.8	1.1	-	6.2	4.6	4.0
	中度(B1)	142	11.2	2.8	2.5	2.6	1.7	2.1	0.6	8.3	17.3	3.8
	軽度(B2)	121	10.7	1.6	5.7	3.4	0.9	3.7	-	3.2	17.7	3.8
	無回答	39	4.6	-	-	-	1.4	2.3	-	-	13.7	10.9

(3) 困っていることや心配なこと

問26 あなたは、今の生活の中で困っていることや心配なこと、悩んでいることがありますか。(○は3つまで)

【図表5-68 困っていることや心配なこと】



【図表5-69 年齢（2区分、詳細）別、手帳判定別、世帯状況別 困っていることや心配なこと】 (%)

	調査数 (人)	困っていることや心配なこと											
		老後や将来のこと	体、心の健康や障がいのこと	生活費などの経済的なこと	仕事のこと	家族のこと	通所または入所している施設のこと	住まいのこと	障がい福祉サービスのこと	その他	特にない	無回答	
全体	563	51.7	35.5	28.8	15.7	14.7	10.0	9.9	8.9	3.1	15.7	6.6	
年齢区分2	64歳以下	503	54.8	36.4	30.3	17.1	16.3	10.8	10.6	9.1	3.2	13.9	4.9
	65歳以上	49	21.6	27.7	13.3	3.3	1.7	1.7	5.0	8.3	3.3	35.1	20.6
	無回答	11	45.5	27.3	27.3	9.1	-	9.1	-	-	-	9.1	18.2
全体	563	51.7	35.5	28.8	15.7	14.7	10.0	9.9	8.9	3.1	15.7	6.6	
年齢詳細	29歳以下	201	57.7	36.5	30.7	23.8	13.8	10.1	11.1	12.2	2.6	13.2	2.6
	30歳代	112	50.0	37.3	24.6	11.9	14.3	15.1	9.5	7.1	6.3	18.3	4.0
	40歳代	104	58.8	32.9	36.5	16.5	21.2	7.1	9.4	7.1	3.5	12.9	8.2
	50歳代	63	48.2	41.1	33.9	10.7	23.2	12.5	14.3	7.1	-	8.9	7.1
	60～64歳	24	52.2	34.8	17.4	4.3	8.7	8.7	6.5	6.5	-	17.4	8.7
	65～74歳	36	29.5	31.8	18.2	4.5	2.3	2.3	6.8	11.4	4.5	29.5	15.9
	75歳以上	13	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	50.0	33.3
	無回答	11	45.5	27.3	27.3	9.1	-	9.1	-	-	-	9.1	18.2
全体	563	51.7	35.5	28.8	15.7	14.7	10.0	9.9	8.9	3.1	15.7	6.6	
手帳判定	重度(A1～A3)	262	56.3	36.3	27.4	4.5	14.5	16.2	9.5	12.1	5.0	10.9	9.6
	中度(B1)	142	43.1	34.1	31.8	23.0	15.0	5.5	11.1	5.7	1.3	23.4	2.3
	軽度(B2)	121	52.5	37.4	29.2	32.7	17.6	2.8	9.0	4.1	1.4	17.7	1.8
	無回答	39	49.4	29.1	25.4	12.6	6.6	6.2	10.9	13.6	2.3	13.3	16.2
全体	563	51.7	35.5	28.8	15.7	14.7	10.0	9.9	8.9	3.1	15.7	6.6	
世帯状況	一人暮らし	37	40.4	48.4	35.1	10.9	17.1	3.0	19.1	10.7	2.4	17.7	10.5
	夫婦のみ	5	29.6	54.4	23.5	23.5	23.5	-	23.5	-	-	-	22.1
	二世帯(親と本人)	357	57.8	36.4	31.0	16.5	15.1	11.6	10.1	11.0	4.0	11.0	5.1
	二世帯(子と本人)	14	41.9	20.4	26.1	15.8	11.4	-	-	-	-	51.7	-
	三世帯同居	23	60.1	26.1	26.1	26.1	21.1	3.8	4.5	4.5	-	26.4	-
	その他	46	36.3	27.5	16.3	7.7	9.2	3.6	7.7	2.9	3.5	32.6	12.3
	グループホーム	63	36.9	32.9	25.2	15.4	13.3	12.6	6.1	4.7	1.7	17.7	10.8
	無回答	18	46.2	40.2	21.8	16.0	14.1	17.1	16.7	6.0	-	17.0	7.6

(4) 相談窓口の認知度

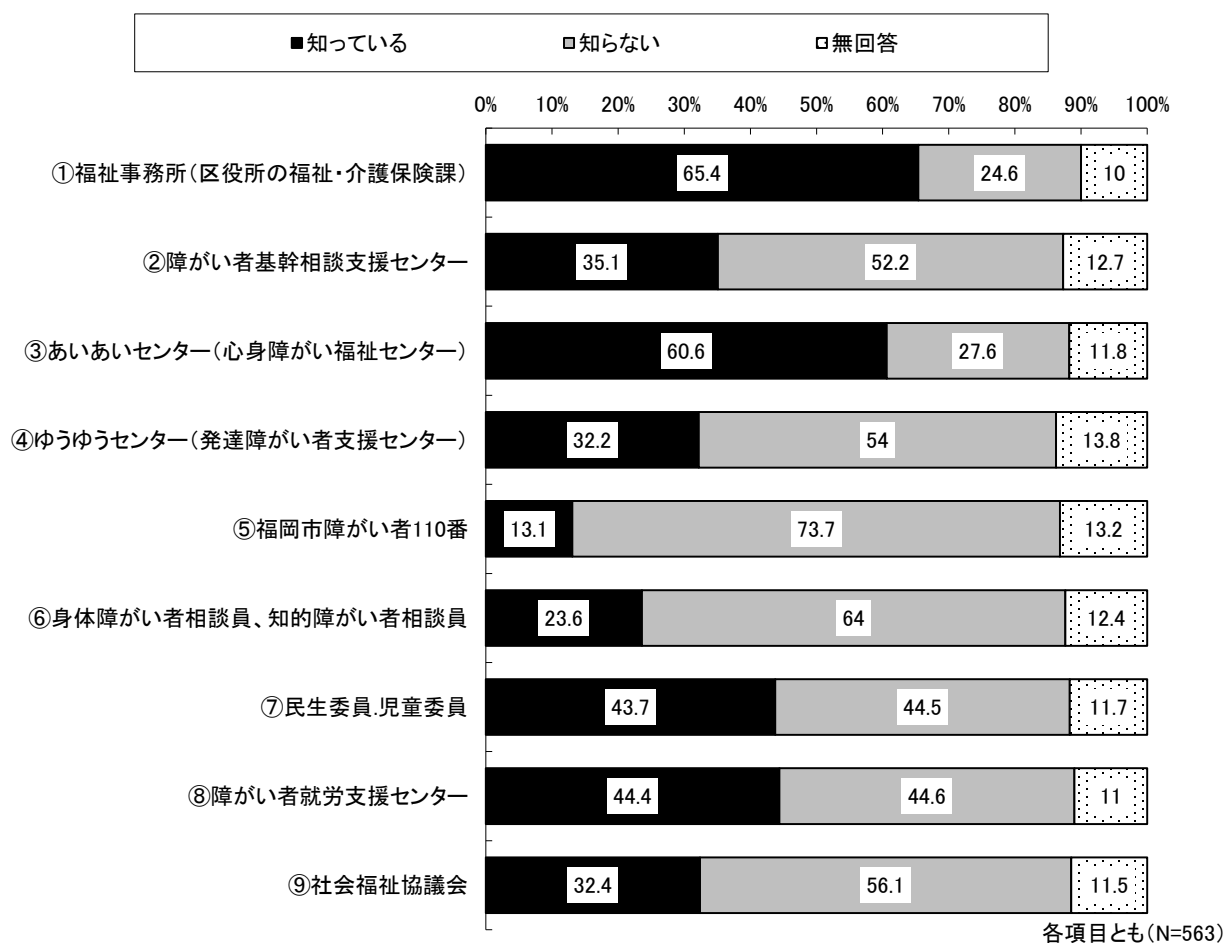
問27 福岡市には、障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる窓口として、次のような窓口があります。

あなたは、これらの相談窓口があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。

さらに、「利用したことがある」を選ばれた方は、その時の満足度はどうでしたか。

①～⑨の項目ごとに、認知度、利用状況、満足度のそれぞれについて○をつけてください。

【図表5-70 相談窓口の認知度】



【図表5-71 年齢（2区分、詳細）別、手帳判定別
相談窓口の認知度（「知っている」の割合）】（％）

	調査数（人）	相談窓口の認知度（「知っている」の割合）									
		① 福祉・介護保険課（区役所の福祉事務所）	② センター（障がい者基幹相談支援センター）	③ 身障がい者福祉センター（心身障害者福祉センター）	④ 達（障がい者支援センター）	⑤ 番（福岡市障がい者110番）	⑥ 知的障がい者相談員、身体障がい者相談員	⑦ 民生委員・児童委員	⑧ タ（障がい者就労支援センター）	⑨ 社会福祉協議会	
全体	563	65.4	35.1	60.6	32.2	13.1	23.6	43.7	44.4	32.4	
年齢区分	64歳以下	503	67.7	36.6	65.5	34.8	14.5	24.7	44.4	48.5	34.4
	65歳以上	49	46.0	21.1	19.9	8.3	1.7	13.3	40.5	8.3	14.9
	無回答	11	45.5	27.3	18.2	18.2	-	18.2	27.3	18.2	18.2
全体	563	65.4	35.1	60.6	32.2	13.1	23.6	43.7	44.4	32.4	
年齢詳細	29歳以下	201	69.3	36.5	84.7	50.3	14.8	25.4	50.3	56.6	40.2
	30歳代	112	75.4	40.5	74.6	36.5	15.9	25.4	46.8	59.5	38.1
	40歳代	104	56.5	28.2	41.2	18.8	12.9	20.0	31.8	36.5	30.6
	50歳代	63	67.9	44.6	37.5	19.6	14.3	26.8	37.5	32.1	21.4
	60～64歳	24	67.4	34.8	41.3	6.5	13.0	30.4	56.5	23.9	19.6
	65～74歳	36	56.8	22.7	27.3	11.4	2.3	18.2	43.2	11.4	20.5
	75歳以上	13	16.7	16.7	-	-	-	-	33.3	-	-
無回答	11	45.5	27.3	18.2	18.2	-	18.2	27.3	18.2	18.2	
全体	563	65.4	35.1	60.6	32.2	13.1	23.6	43.7	44.4	32.4	
手帳判定	重度（A1～A3）	262	80.0	46.3	63.0	39.7	15.4	30.6	60.9	40.4	44.9
	中度（B1）	142	50.1	24.9	63.5	25.2	9.8	15.8	29.3	49.3	22.8
	軽度（B2）	121	60.3	28.0	63.3	30.2	15.3	19.5	30.7	54.7	25.0
	無回答	39	38.5	18.6	25.0	12.9	2.7	17.6	21.0	21.8	6.3

(5) 相談窓口の利用状況

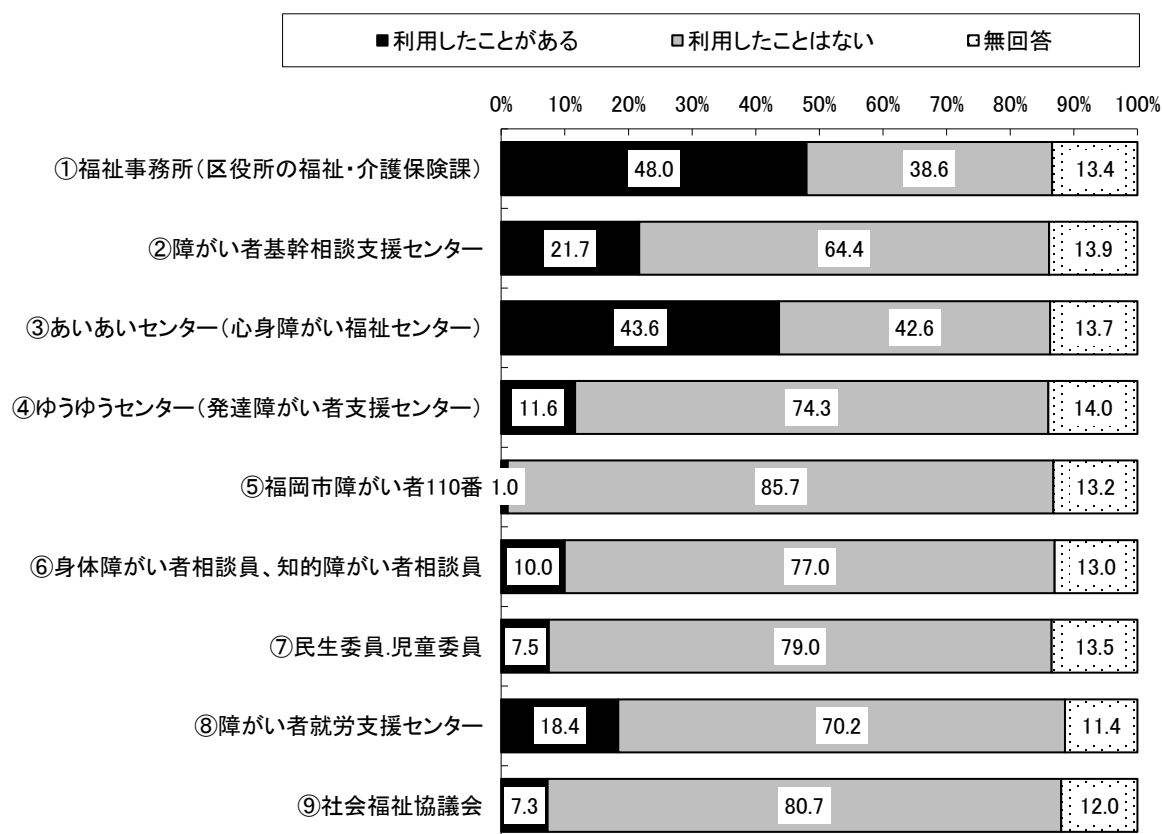
問27 福岡市には、障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる窓口として、次のような窓口があります。

あなたは、これらの相談窓口があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。

さらに、「利用したことがある」を選ばれた方は、その時の満足度はどうでしたか。

①～⑨の項目ごとに、認知度、利用状況、満足度のそれぞれについて○をつけてください。

【図表5-72 相談窓口の利用状況】



各項目とも(N=563)

(6) 相談窓口の満足度

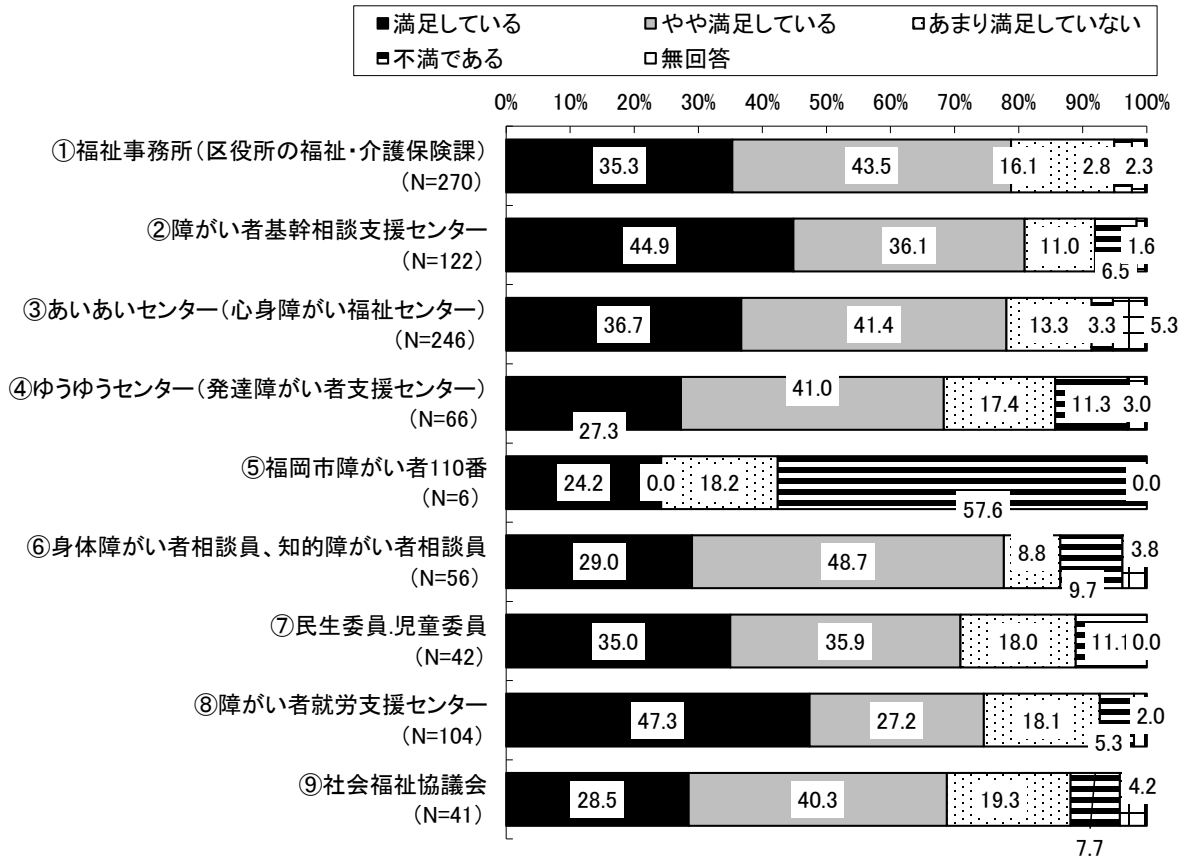
問27 福岡市には、障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる窓口として、次のような窓口があります。

あなたは、これらの相談窓口があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。

さらに、「利用したことがある」を選ばれた方は、その時の満足度はどうでしたか。

①～⑨の項目ごとに、認知度、利用状況、満足度のそれぞれについて○をつけてください。

【図表5-73 相談窓口の満足度】



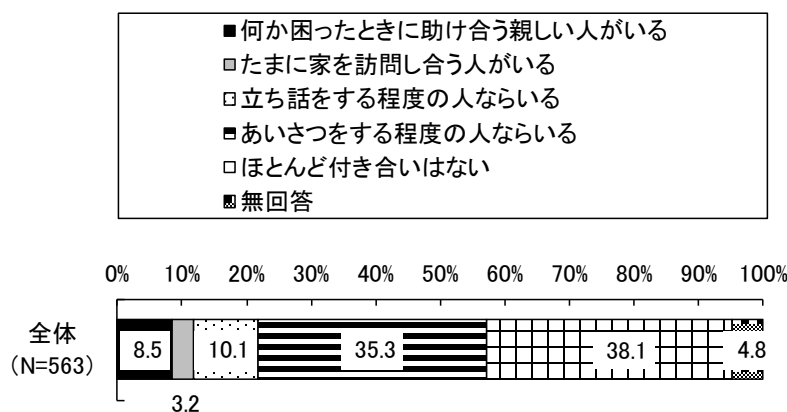
10. 地域とのかかわりについて

- ・近所の方との関係は、「ほとんど付き合いはない」が38.1%で最も高く、「あいさつをする程度の人ならいる」が35.3%で続いており、7割強の人は近所との関係が希薄である。【図表5-74】
- ・世帯状況別にみると、一人暮らしでは「何か困ったときに助け合う親しい人がいる」(19.2%)の割合が、他に比べ高くなっている。また夫婦のみでは「ほとんど付き合いはない」が57.2%を占めている。【図表5-75】
- ・地域への参加状況は、「参加していない」(50.2%)が半数を占めており、「参加している」は8.6%、「たまに参加している」は18.0%となっている。【図表5-76】

(1) 近所の方との関係

問28 あなたのご近所の方との関係は、次のどれに近いですか。(○は1つだけ)

【図表5-74 近所の方との関係】



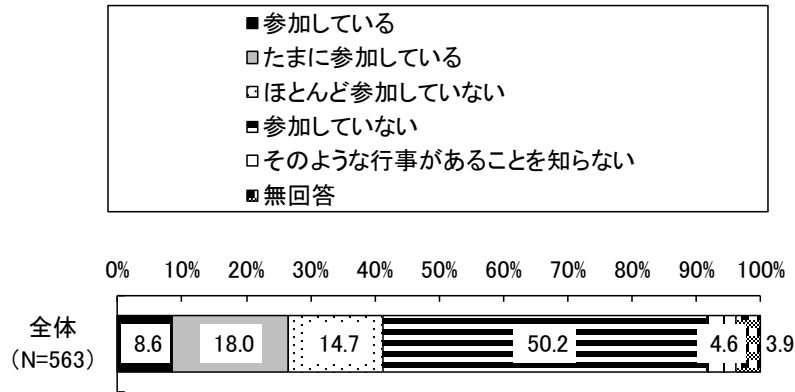
【図表5-75 世帯状況別 近所の方との関係】 (%)

	調査数 (人)	近所の方との関係						無回答
		何か困ったときに助け	人がたまに家を訪問し	立ち話を	あいさつをする	ほとんど	無回答	
全体	563	8.5	3.2	10.1	35.3	38.1	4.8	
世帯状況	一人暮らし	37	19.2	2.2	9.6	35.0	24.5	9.6
	夫婦のみ	5	-	-	-	17.9	57.2	24.9
	二世帯(親と本人)	357	6.8	3.5	11.0	38.5	37.3	2.9
	二世帯(子と本人)	14	7.7	3.8	14.1	30.1	44.4	-
	三世帯同居	23	9.0	-	4.5	47.2	39.2	-
	その他	46	10.6	4.1	9.5	23.9	40.0	11.8
	グループホーム	63	8.8	3.3	10.3	20.8	48.6	8.1
	無回答	18	15.1	-	-	47.2	30.1	7.6

(2) 地域行事への参加状況

問29 ここ2～3年の間、地域での行事（町内会などが実施する防災訓練、夏まつりなど）に参加したことがありますか。（○は1つだけ）

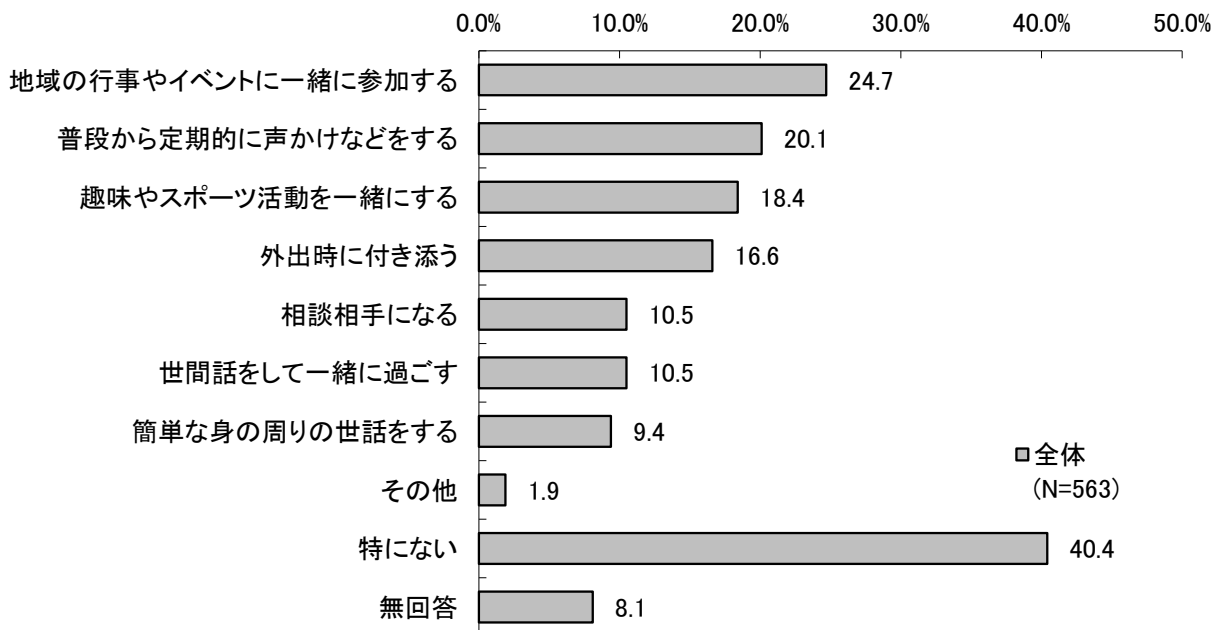
【図表5-76 地域行事への参加状況】



(3) ボランティア活動希望者のための支援・交流

問30 あなたは、地域の方が何かボランティア活動をしたいと思っている場合、どのような支援・交流があったらいいと思いますか。（○はあてはまるものすべて）

【図表5-77 ボランティア活動希望者のための支援・交流】



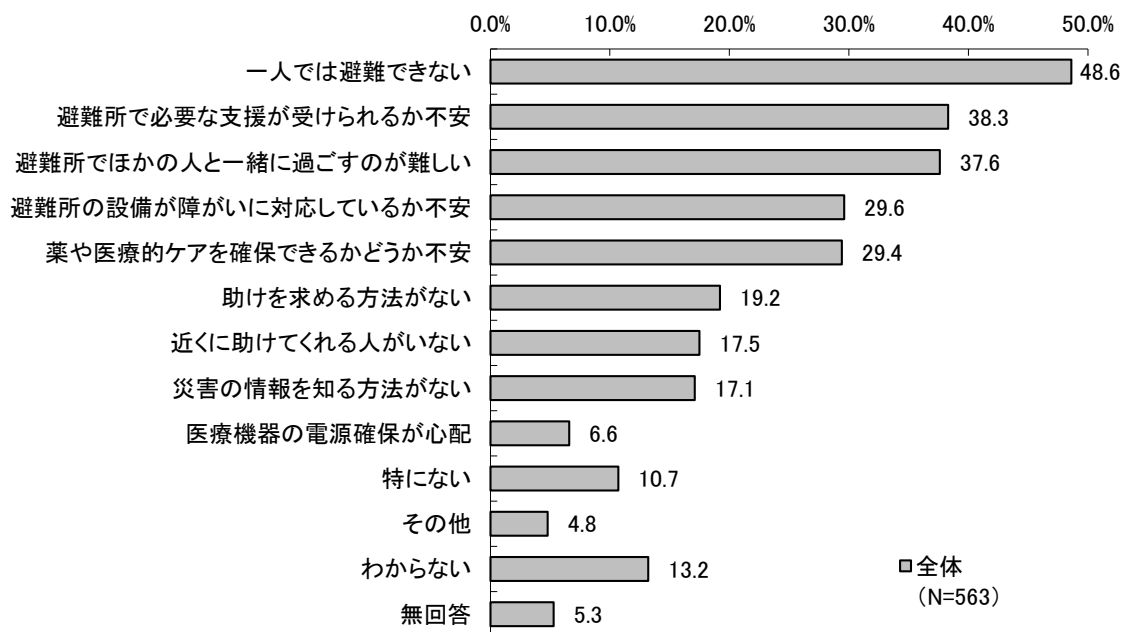
1.1. 防災について

- ・地震などの災害発生時に困ることや不安なことについて、手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「一人では避難できない」(69.2%)、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」(50.6%)、「避難所でほかの人と一緒に過ごすのが難しい」(49.8%)が特に高くなっている。【図表5-79】
- ・地震などの災害発生時に頼れる人を世帯状況別にみると、一人暮らしで「頼れる人がいない」と回答した割合は31.0%となっている。グループホームでは「その他」が67.3%を占めている。【図表5-83】
- ・福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度を年齢詳細別にみると、『感じている計』(「感じている」+「どちらかといえば感じている」の合計)の割合は、60歳代以上で『感じていない計』(「感じていない」+「どちらかといえば感じていない」の合計)を上回り、30歳代以下では『感じていない計』が『感じている計』を上回っている。手帳判定別にみると、重度では『感じていない計』、軽度では『感じている計』の割合が高くなっている。世帯状況別にみると、一人暮らし、グループホームでは『感じている計』の割合が『感じていない計』の割合を上回っている。【図表5-85】

(1) 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと

問3 1 あなたが、地震などの災害が発生したときに、困ることや不安なことは何ですか。
(○はあてはまるものすべて)

【図表5-78 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと】



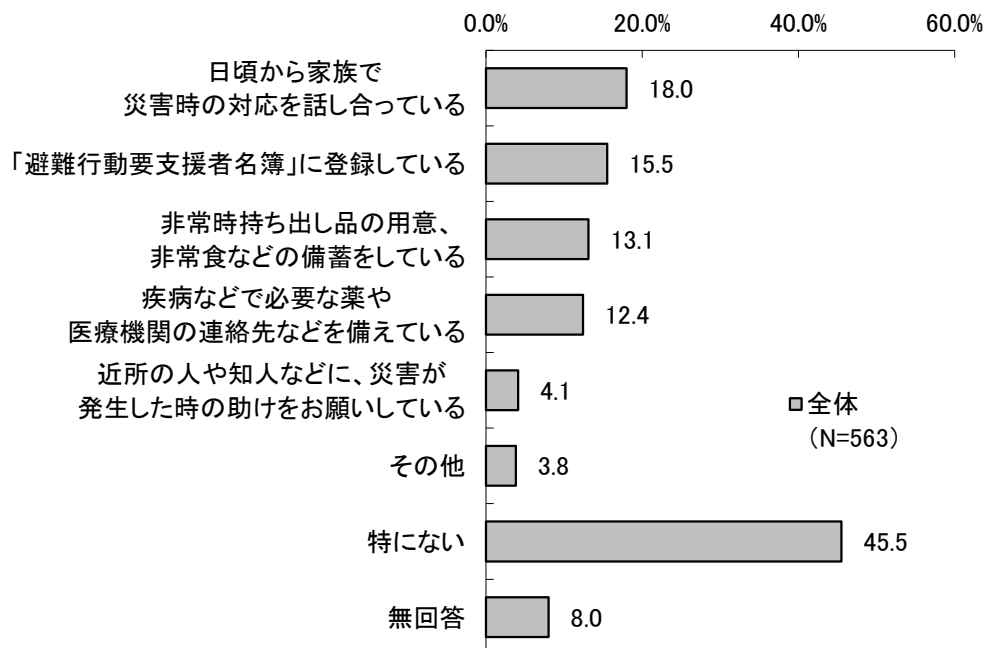
【図表5-79 年齢詳細別、手帳判定別 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと】(%)

	調査数(人)	地震などの災害発生時に困っていることや不安なこと													
		一人では避難できない	受け入れられなければならない不安	避難所に過ごすほどの不安	避難所での設備が不安	避難所の設備が不安	避難所の設備が不安	避難所の設備が不安	避難所の設備が不安	避難所の設備が不安	避難所の設備が不安	避難所の設備が不安	避難所の設備が不安	避難所の設備が不安	
全体	563	48.6	38.3	37.6	29.6	29.4	19.2	17.5	17.1	6.6	4.8	10.7	13.2	5.3	
年齢詳細	29歳以下	201	58.2	46.0	45.0	35.4	31.2	23.3	18.0	21.7	5.8	5.8	7.4	13.8	1.1
	30歳代	112	50.8	41.3	44.4	31.7	27.8	21.4	21.4	16.7	6.3	3.2	17.5	9.5	0.8
	40歳代	104	42.4	36.5	36.5	29.4	35.3	16.5	15.3	17.6	11.8	7.1	12.9	12.9	4.7
	50歳代	63	41.1	33.9	26.8	28.6	32.1	14.3	21.4	12.5	8.9	3.6	14.3	12.5	5.4
	60~64歳	24	34.8	30.4	30.4	23.9	41.3	23.9	13.0	15.2	2.2	2.2	8.7	17.4	8.7
	65~74歳	36	38.6	27.3	13.6	15.9	13.6	13.6	11.4	9.1	-	4.5	4.5	20.5	22.7
	75歳以上	13	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	50.0
	無回答	11	36.4	9.1	45.5	-	-	9.1	18.2	9.1	-	-	-	9.1	18.2
全体	563	48.6	38.3	37.6	29.6	29.4	19.2	17.5	17.1	6.6	4.8	10.7	13.2	5.3	
手帳判定	重度(A1~A3)	262	69.2	50.6	49.8	37.5	37.6	27.2	19.8	20.7	7.1	5.7	3.5	9.3	5.4
	中度(B1)	142	32.8	25.6	25.9	22.0	21.1	10.7	13.5	14.2	5.4	4.0	22.6	12.2	3.8
	軽度(B2)	121	24.6	30.4	28.3	25.5	23.2	11.2	16.3	11.5	8.2	4.4	14.7	20.2	3.4
	無回答	39	42.7	26.2	27.2	16.2	23.1	21.8	20.4	20.4	2.3	2.7	4.1	21.4	16.9

(2) 災害への備え

問3 2 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表5-80 災害への備え】



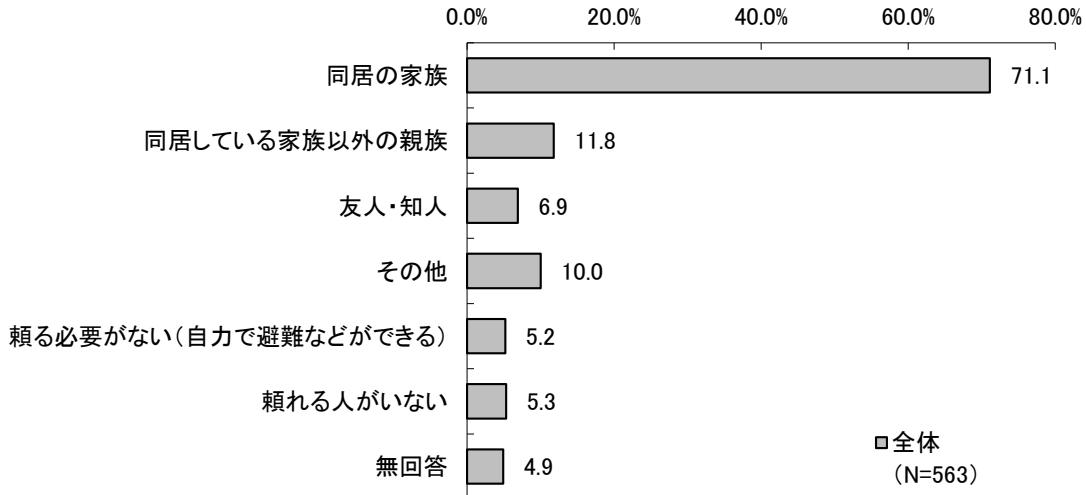
【図表5-81 年齢詳細別、手帳判定別 災害への備え】(%)

	調査数(人)	災害への備え								
		日頃から家族で災害時の対応を話し合っている	「避難行動要支援者名簿」に登録している	非常時の持ち出し品の用意、非常食などの備蓄をしている	連絡先などを備えている	疾病などで必要な薬や医療機関の	近所の人や知人などに、災害が発生した時の助けを願っている	その他	特にない	無回答
全体	563	18.0	15.5	13.1	12.4	4.1	3.8	45.5	8.0	
年齢詳細	29歳以下	201	22.8	21.2	16.4	10.1	2.1	3.7	43.4	1.6
	30歳代	112	16.7	17.5	11.1	10.3	3.2	3.2	52.4	4.8
	40歳代	104	16.5	12.9	12.9	16.5	2.4	4.7	45.9	10.6
	50歳代	63	16.1	10.7	10.7	16.1	14.3	5.4	37.5	12.5
	60～64歳	24	17.4	10.9	19.6	23.9	4.3	2.2	34.8	19.6
	65～74歳	36	13.6	6.8	6.8	11.4	2.3	2.3	47.7	25.0
	75歳以上	13	-	-	-	-	16.7	-	66.7	16.7
	無回答	11	9.1	-	9.1	9.1	-	9.1	45.5	18.2
全体	563	18.0	15.5	13.1	12.4	4.1	3.8	45.5	8.0	
手帳判定	重度(A1～A3)	262	13.8	27.8	14.7	14.2	5.1	5.8	37.3	9.2
	中度(B1)	142	22.0	6.7	10.5	10.0	2.8	3.0	51.6	5.7
	軽度(B2)	121	25.4	2.7	13.1	11.9	5.1	-	54.1	4.2
	無回答	39	9.3	4.5	11.3	10.4	-	5.7	51.3	21.0

(3) 災害時に頼れる人

問33 あなたは、水害や地震などが発生したときに、安全の確保などで頼れる人はどなたですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表5-82 災害時に頼れる人】



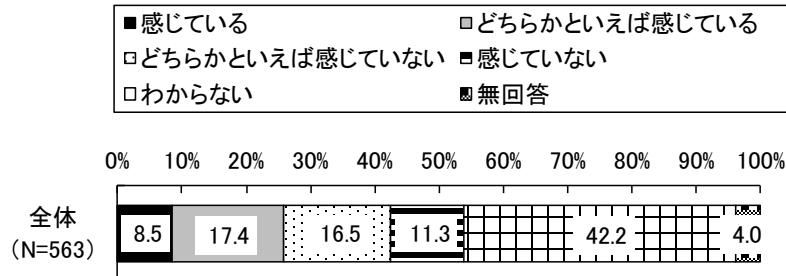
【図表5-83 年齢(2区分、詳細)別、世帯状況別 災害時に頼れる人】(%)

	調査数(人)	災害時に頼れる人							
		同居の家族	同居している家族以外の親族	友人・知人	その他	頼る必要がない(自力で避難などができる)	頼れる人がいない	無回答	
全体	563	71.1	11.8	6.9	10.0	5.2	5.3	4.9	
年齢区分2	64歳以下	503	73.9	12.1	7.4	8.1	5.5	5.5	3.9
	65歳以上	49	40.0	11.6	3.3	25.6	3.3	5.0	16.1
	無回答	11	81.8	-	-	27.3	-	-	-
年齢詳細	29歳以下	201	88.9	12.7	9.0	4.8	3.2	2.1	0.5
	30歳代	112	77.0	14.3	6.3	4.8	7.9	5.6	1.6
	40歳代	104	61.2	11.8	4.7	12.9	7.1	7.1	8.2
	50歳代	63	51.8	8.9	5.4	16.1	7.1	10.7	7.1
	60~64歳	24	47.8	6.5	15.2	8.7	2.2	13.0	15.2
	65~74歳	36	36.4	15.9	4.5	22.7	4.5	6.8	15.9
	75歳以上	13	50.0	-	-	33.3	-	-	16.7
	無回答	11	81.8	-	-	27.3	-	-	-
世帯状況	一人暮らし	37	4.5	9.1	12.0	7.6	25.6	31.0	10.2
	夫婦のみ	5	75.1	-	-	-	-	-	24.9
	二世帯(親と本人)	357	87.2	14.3	6.7	2.1	3.8	2.4	2.3
	二世帯(子と本人)	14	64.3	6.4	19.9	-	6.4	16.5	6.4
	三世帯同居	23	95.5	21.9	9.0	-	-	-	-
	その他	46	76.3	8.4	6.2	3.9	2.4	4.4	6.4
	グループホーム	63	15.3	2.2	2.1	67.3	2.8	7.0	11.8
	無回答	18	44.4	4.6	6.9	6.0	12.5	8.0	17.5

(4) 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度

問3 4 あなたは、福岡市は安全・安心のための社会環境整備ができていると感じていますか。
(○は1つだけ)

【図表5-84 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度】



【図表5-85 年齢詳細別、手帳判定別、世帯状況別
福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度】 (%)

	調査数 (人)	福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度						
		感じている	どちらかといえば感じている	どちらかといえば感じていない	感じていない	わからない	無回答	
全体	563	8.5	17.4	16.5	11.3	42.2	4.0	
年齢詳細	29歳以下	201	5.3	19.0	17.5	13.8	43.4	1.1
	30歳代	112	8.7	15.1	19.8	14.3	40.5	1.6
	40歳代	104	8.2	14.1	14.1	10.6	47.1	5.9
	50歳代	63	16.1	19.6	26.8	5.4	26.8	5.4
	60～64歳	24	8.7	21.7	6.5	6.5	43.5	13.0
	65～74歳	36	9.1	18.2	2.3	9.1	50.0	11.4
	75歳以上	13	16.7	16.7	-	-	50.0	16.7
	無回答	11	9.1	18.2	18.2	9.1	45.5	-
全体	563	8.5	17.4	16.5	11.3	42.2	4.0	
手帳判定	重度(A1～A3)	262	4.5	20.2	22.9	12.5	35.9	4.1
	中度(B1)	142	11.4	11.6	12.5	9.6	51.6	3.3
	軽度(B2)	121	14.0	18.8	10.3	11.3	44.0	1.6
	無回答	39	7.4	15.7	7.5	9.7	45.7	14.0
全体	563	8.5	17.4	16.5	11.3	42.2	4.0	
世帯状況	一人暮らし	37	18.9	15.0	1.4	20.4	39.8	4.5
	夫婦のみ	5	-	29.6	22.1	23.5	-	24.9
	二世帯(親と本人)	357	6.0	17.5	21.3	11.2	41.5	2.6
	二世帯(子と本人)	14	3.8	31.1	8.8	6.4	43.5	6.4
	三世帯同居	23	9.0	13.6	17.3	8.0	52.0	-
	その他	46	19.5	15.8	8.4	8.1	41.6	6.4
	グループホーム	63	6.0	18.9	8.4	9.9	48.6	8.1
	無回答	18	20.5	11.1	6.0	13.1	38.6	10.6

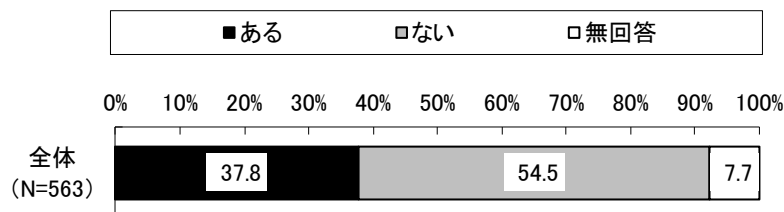
12. 差別や人権について

- ・ここ2～3年に差別を受けたり、いやな思いをした経験が「ある」と回答した人は、37.8%となっており、年齢詳細別にみると、特に若い年齢層で高く、29歳以下では45.5%を占めている。【図表5-87】
- ・障がい者の人権に関して問題があると思うことについて、年齢詳細別にみると、29歳以下では30歳代以上に比べて「差別的な言動を受けること」(39.2%)、「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」(32.8%)の割合が高い。【図表5-91】

(1) 差別を受けたり、いやな思いをした経験

問35 あなたは、ここ2～3年の間に、障がいがあるため、差別を受けたりいやな思いをしたことがありますか。(○は1つだけ)

【図表5-86 差別を受けたり、いやな思いをした経験】



【図表5-87 年齢詳細別 差別を受けたり、いやな思いをした経験】 (%)

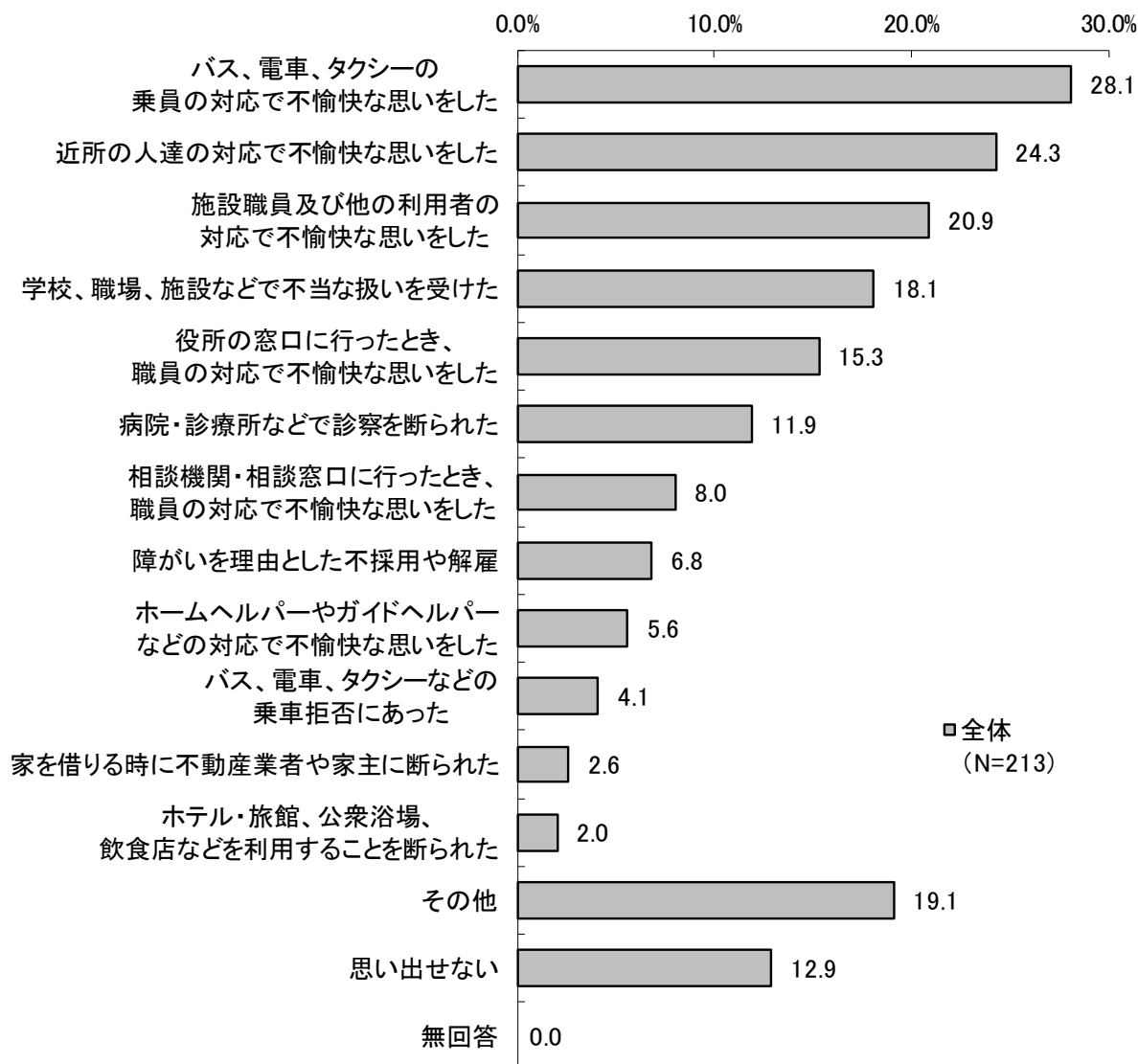
	調査数 (人)	差別を受けたり、いやな 思いをした経験			
		ある	ない	無 回 答	
全体	563	37.8	54.5	7.7	
年齢 詳細	29歳以下	201	45.5	53.4	1.1
	30歳代	112	42.1	51.6	6.3
	40歳代	104	37.6	47.1	15.3
	50歳代	63	23.2	66.1	10.7
	60～64歳	24	26.1	58.7	15.2
	65～74歳	36	20.5	65.9	13.6
	75歳以上	13	16.7	66.7	16.7
	無回答	11	45.5	45.5	9.1

(2) 差別を受けたり、いやな思いをした内容

[問35で「1」を選ばれた方におたずねします]

問35-1 どのようなことで、いやな思いをしましたか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表5-88 差別を受けたり、いやな思いをした内容】



【図表5-89 手帳判定別 差別を受けたり、いやな思いをした内容】(%)

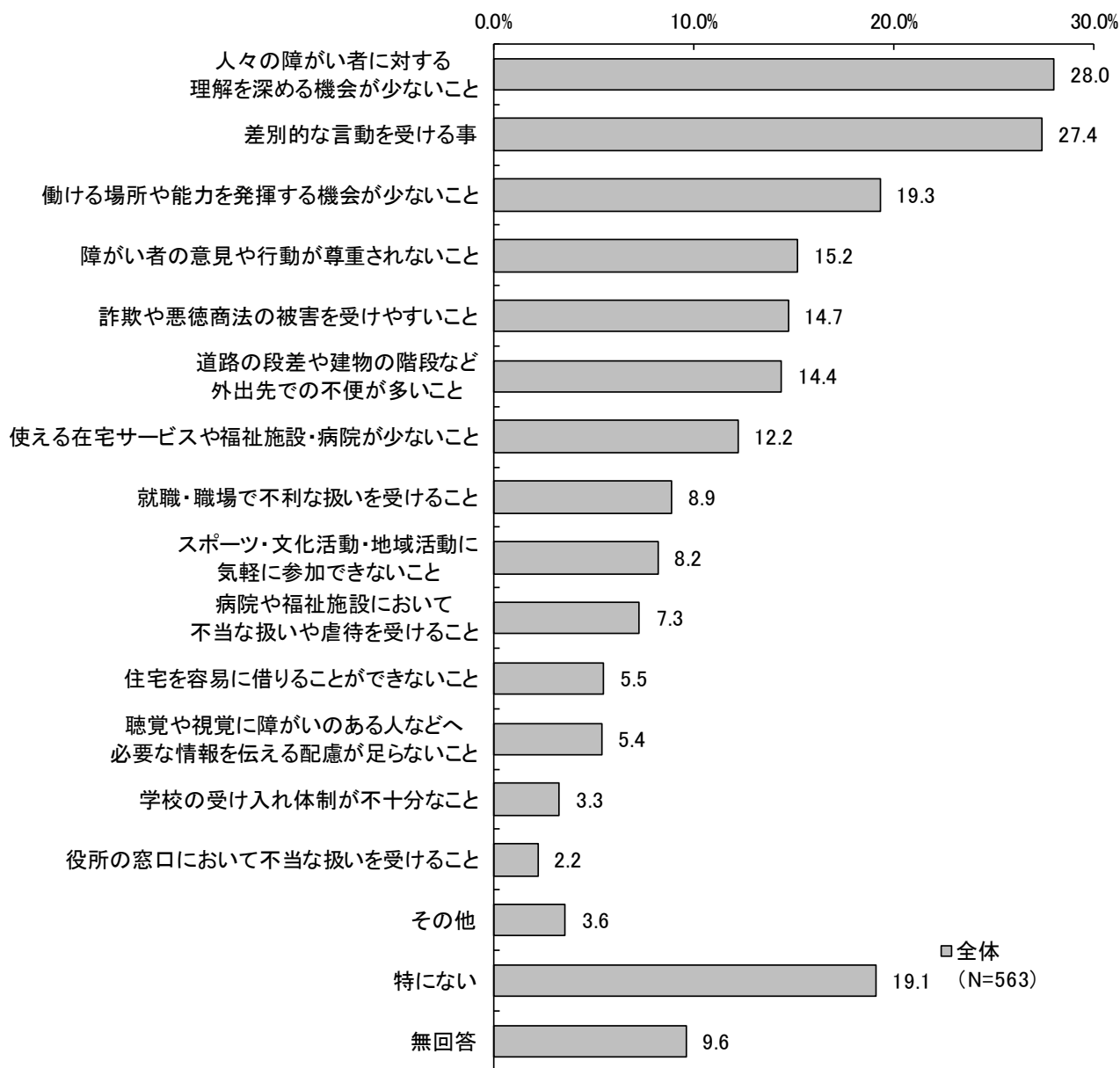
	調査数(人)	差別を受けたり、いやな思いをした内容									
		した 員の バス の 対応 で 不 愉快 な 思い を 乗	近 所 の 人 達 の 対応 で 不 愉快	不 愉快 な 思い を し た	入 所 ・ 通 所 し て い る 施 設 で	及 び 他 の 利 用 者 の 対応 で	学 校 ・ 職 場 ・ 施 設 な ど で	職 員 の 対応 で 不 愉快 な 思い	役 所の 窓 口 に 行 つ た と き	断 ら れ た 診 療 所 な ど で 診 察 を	相 談 機 関 ・ 相 談 窓 口 に 行 つ た と き 職 員 の 対応 で 不 愉快 な 思い を し た
全体	213	28.1	24.3	20.9	18.1	15.3	11.9	8.0	6.8		
手帳判定	重度(A1~A3)	116	24.4	24.9	24.9	13.8	12.7	12.5	7.0	4.9	
	中度(B1)	54	35.9	18.1	12.1	19.6	21.9	9.2	9.1	4.8	
	軽度(B2)	34	30.4	32.2	17.3	29.5	11.6	12.9	5.9	13.0	
	無回答	9	21.2	23.6	34.9	21.2	23.6	15.9	23.6	21.2	

	調査数(人)	差別を受けたり、いやな思いをした内容							無回答
		な ら ず の 対応 で 不 愉快 な 思い を し た	ホ ム ヘル パー や ガイ ド ヘ ル プ な ど の 対応 で 不 愉快	の バス ・ 電車 ・ タクシー な ど に あ つ た	家 を 借 り る 時 に 不 動 産 業 者 に 断 ら れ た	飲 食 店 な ど を 利 用 す る こ と を 断 ら れ た	ホ テ ル ・ 旅 館 ・ 公 衆 浴 場 と	そ の 他	
全体	213	5.6	4.1	2.6	2.0	19.1	12.9	-	
手帳判定	重度(A1~A3)	116	6.7	4.4	0.9	3.0	18.8	10.4	-
	中度(B1)	54	1.6	1.5	2.0	-	23.4	18.9	-
	軽度(B2)	34	6.9	5.9	10.2	2.6	15.0	8.8	-
	無回答	9	10.0	10.0	-	-	11.9	24.9	-

(3) 障がい者の人権に関して問題があると思うこと

問36 障がい者に関する事柄で、特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

【図表5-90 障がい者の人権に関して問題があると思うこと】



【図表5-91 年齢詳細別、手帳判別 障がい者の人権に関して問題があると思うこと】(%)

	調査数(人)	障がい者の人権に関して問題があると思うこと									
		と解人々を深める機会が少ないこと	差別的な言動を受ける事	働ける場所や能力を發揮する機会が少ないこと	重さがい者の意見や行動が尊重されないこと	詐欺や悪徳商法の被害を受けやすいこと	とど外路の段差や建物の階段など	施設・病院が少ないこと	受けること	就業・職場で不利な扱いを受けること	活動に気軽に参加できない地域
全体	563	28.0	27.4	19.3	15.2	14.7	14.4	12.2	8.9	8.2	
年齢詳細	29歳以下	201	36.5	39.2	32.8	15.3	22.8	14.8	14.8	11.1	9.0
	30歳代	112	30.2	31.0	13.5	18.3	15.1	15.9	15.1	11.1	9.5
	40歳代	104	21.2	18.8	11.8	14.1	10.6	14.1	9.4	5.9	7.1
	50歳代	63	26.8	16.1	12.5	19.6	8.9	16.1	12.5	10.7	8.9
	60～64歳	24	21.7	15.2	10.9	13.0	8.7	15.2	4.3	2.2	8.7
	65～74歳	36	15.9	13.6	9.1	6.8	4.5	11.4	6.8	2.3	4.5
	75歳以上	13	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	11	9.1	9.1	18.2	18.2	-	9.1	9.1	9.1	9.1
全体	563	28.0	27.4	19.3	15.2	14.7	14.4	12.2	8.9	8.2	
手帳判別	重度(A1～A3)	262	36.7	29.1	13.9	11.5	8.6	19.8	18.9	3.0	8.4
	中度(B1)	142	15.6	28.1	19.6	17.7	17.3	9.1	5.6	12.5	5.8
	軽度(B2)	121	27.0	26.3	32.1	20.7	27.7	8.2	6.2	15.8	10.2
	無回答	39	17.9	17.6	15.3	14.6	5.9	16.2	9.9	13.1	9.9

	調査数(人)	障がい者の人権に関して問題があると思うこと								
		と当病院で住宅を容易に借りることができないこと	住宅を容易に借りることができないこと	人配慮が足らないこと	聴覚や視覚に障がいのある必要情報を伝える	分な学校の受け入れ体制が不十分	役所の窓口において不当な扱いを受けること	その他	特にない	無回答
全体	563	7.3	5.5	5.4	3.3	2.2	3.6	19.1	9.6	
年齢詳細	29歳以下	201	11.1	8.5	5.3	6.3	2.1	3.7	9.0	1.6
	30歳代	112	6.3	4.0	3.2	2.4	3.2	1.6	23.0	4.8
	40歳代	104	4.7	2.4	4.7	1.2	2.4	3.5	27.1	16.5
	50歳代	63	5.4	7.1	8.9	1.8	1.8	1.8	23.2	14.3
	60～64歳	24	4.3	2.2	6.5	-	4.3	4.3	21.7	17.4
	65～74歳	36	6.8	2.3	9.1	2.3	-	-	27.3	27.3
	75歳以上	13	-	-	-	-	-	33.3	16.7	33.3
	無回答	11	-	9.1	9.1	-	-	9.1	36.4	9.1
全体	563	7.3	5.5	5.4	3.3	2.2	3.6	19.1	9.6	
手帳判別	重度(A1～A3)	262	10.1	4.5	7.1	3.1	1.5	2.5	16.3	10.5
	中度(B1)	142	4.9	4.8	4.2	4.2	3.0	6.0	24.7	6.3
	軽度(B2)	121	4.7	8.5	2.8	3.7	2.8	1.8	17.3	7.7
	無回答	39	5.0	4.9	6.7	-	2.3	8.4	23.1	21.1

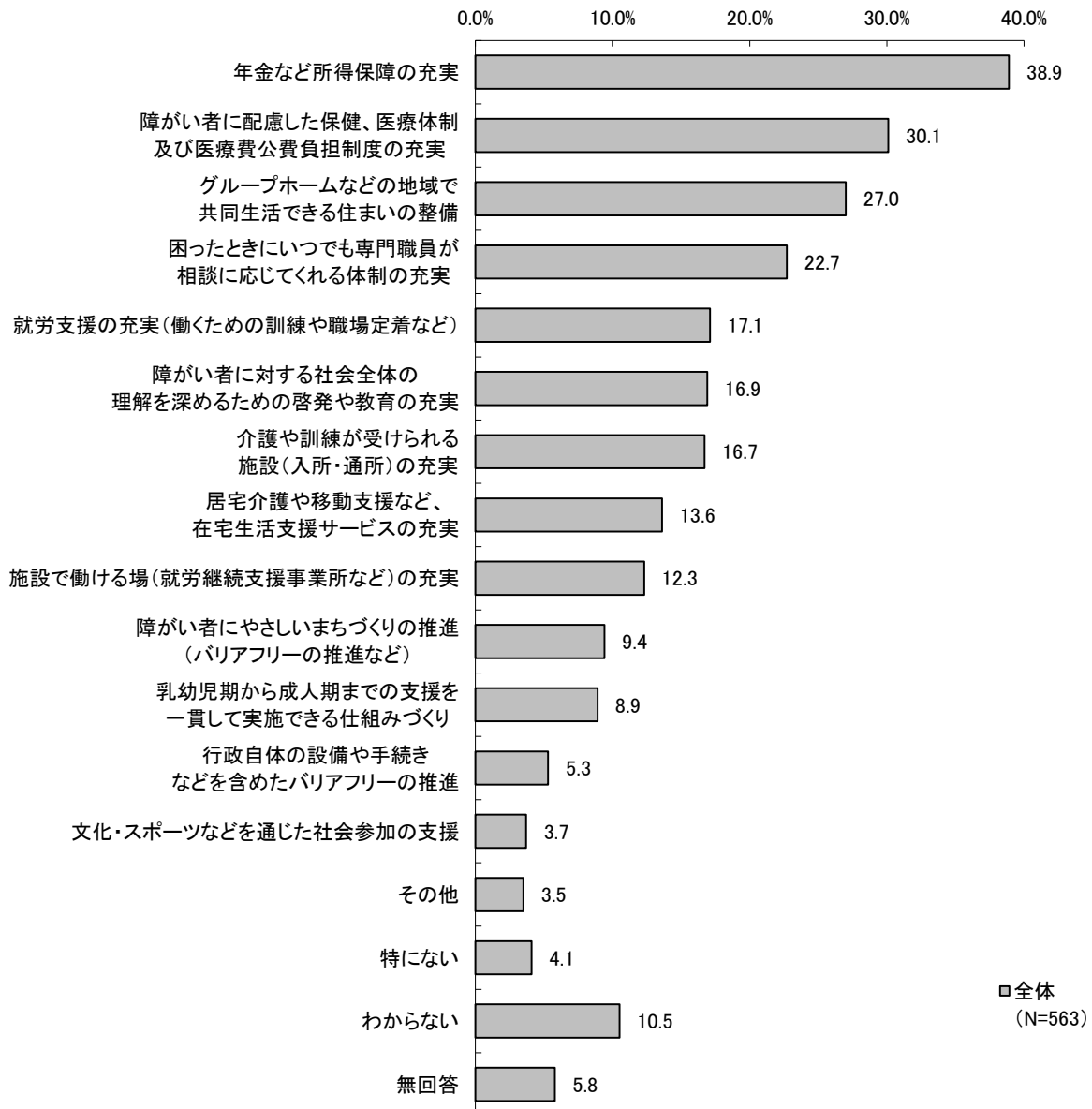
13. 福祉施策全般について

- ・障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいことは、「年金など、所得保障の充実」が38.9%で最も高い。年齢詳細別にみると、29歳以下では「年金など所得保障の充実」(46.0%)、「グループホームなどの地域で共同生活できる住まいの整備」(41.8%)の割合が30歳代以上に比べて高くなっている。【図表5-93】
- ・手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「介護や訓練が受けられる施設(入所・通所)の充実」(29.7%)、「居宅介護や移動支援など、在宅生活支援サービスの充実」(24.3%)の割合が高くなっている。【図表5-94】
- ・障がい者支援として地域社会や企業等に望むことについて、年齢詳細別にみると「障がいに対する理解を深める」の割合は、若い年齢層で割合が高い傾向にあり、29歳以下では69.3%を占める。【図表5-96】
- ・福岡市の暮らしやすさは、「感じている」(13.3%)と「どちらかといえば感じている」(32.6%)を合わせた45.9%が暮らしやすいと感じている。手帳判定別にみると、大きな差はみられないが、『感じている計』の割合は軽度ほど高くなっている。【図表5-98】

(1) 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと

問37 障がいのある人が暮らしやすい社会をつくるために、国や県、市に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

【図表5-92 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと】



【図表5-93 年齢（2区分、詳細）別

障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと】（％）

	調査数（人）	障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと																			
		年金など所得保障の充	費、負担制の充	健、療者に配慮した医療	障がい者の整備	住まわりの共同生活	地域での活動	グループホームなどの	専門職員の相応じ	困ったときにいつでも	なめ（訓練や職場定着	就業の支援（充実）	め、啓発や教育の充	障がいの解消を深める	の充（入所・通所）	介護施設（訓練）	ビス、在宅生活支援	居宅介護や移動支援	の充（実）	継続支援事業所（就労	施設で働ける場所（就
全体	563	38.9	30.1	27.0	22.7	17.1	16.9	16.7	13.6	12.3											
年齢区分	64歳以下	503	40.5	29.9	29.0	23.7	18.0	18.3	17.3	14.4	13.5										
	65歳以上	49	32.2	35.1	8.3	12.8	10.0	5.0	10.7	8.3	3.3										
	無回答	11	-	18.2	18.2	18.2	9.1	9.1	18.2	-	-										
全体	563	38.9	30.1	27.0	22.7	17.1	16.9	16.7	13.6	12.3											
年齢詳細	29歳以下	201	46.0	31.2	41.8	28.0	24.9	22.2	19.0	15.3	13.8										
	30歳代	112	38.1	27.0	31.0	22.2	16.7	19.0	20.6	15.1	15.1										
	40歳代	104	36.5	31.8	15.3	20.0	9.4	17.6	15.3	12.9	10.6										
	50歳代	63	33.9	28.6	14.3	19.6	14.3	10.7	12.5	12.5	17.9										
	60～64歳	24	39.1	28.3	10.9	21.7	13.0	4.3	8.7	15.2	4.3										
	65～74歳	36	31.8	29.5	11.4	11.4	13.6	6.8	2.3	11.4	4.5										
	75歳以上	13	33.3	50.0	-	16.7	-	-	33.3	-	-										
	無回答	11	-	18.2	18.2	18.2	9.1	9.1	18.2	-	-										

	調査数（人）	障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと										
		アチ障がりの推進など	障がいの支援（推進）	施での支援（推進）	乳幼児からの成人まで	フキ行政の推進	行政サービスの充実	文化・スポーツ参加の支援	その他	特にな	わからない	無回答
全体	563	9.4	8.9	5.3	3.7	3.5	4.1	10.5	5.8			
年齢区分	64歳以下	503	9.8	9.4	5.8	4.1	3.4	4.1	8.6	4.7		
	65歳以上	49	8.3	5.0	1.7	-	5.0	5.0	23.9	16.1		
	無回答	11	-	-	-	-	-	-	36.4	9.1		
全体	563	9.4	8.9	5.3	3.7	3.5	4.1	10.5	5.8			
年齢詳細	29歳以下	201	9.0	16.4	10.1	4.2	4.8	2.1	5.8	0.5		
	30歳代	112	10.3	8.7	2.4	3.2	1.6	5.6	4.8	4.8		
	40歳代	104	7.1	3.5	2.4	3.5	2.4	7.1	10.6	9.4		
	50歳代	63	16.1	1.8	5.4	7.1	3.6	3.6	17.9	7.1		
	60～64歳	24	8.7	-	2.2	2.2	4.3	2.2	17.4	13.0		
	65～74歳	36	11.4	6.8	2.3	-	6.8	6.8	20.5	15.9		
	75歳以上	13	-	-	-	-	-	-	33.3	16.7		
	無回答	11	-	-	-	-	-	-	36.4	9.1		

【図表5-94 手帳判定別 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと】(%)

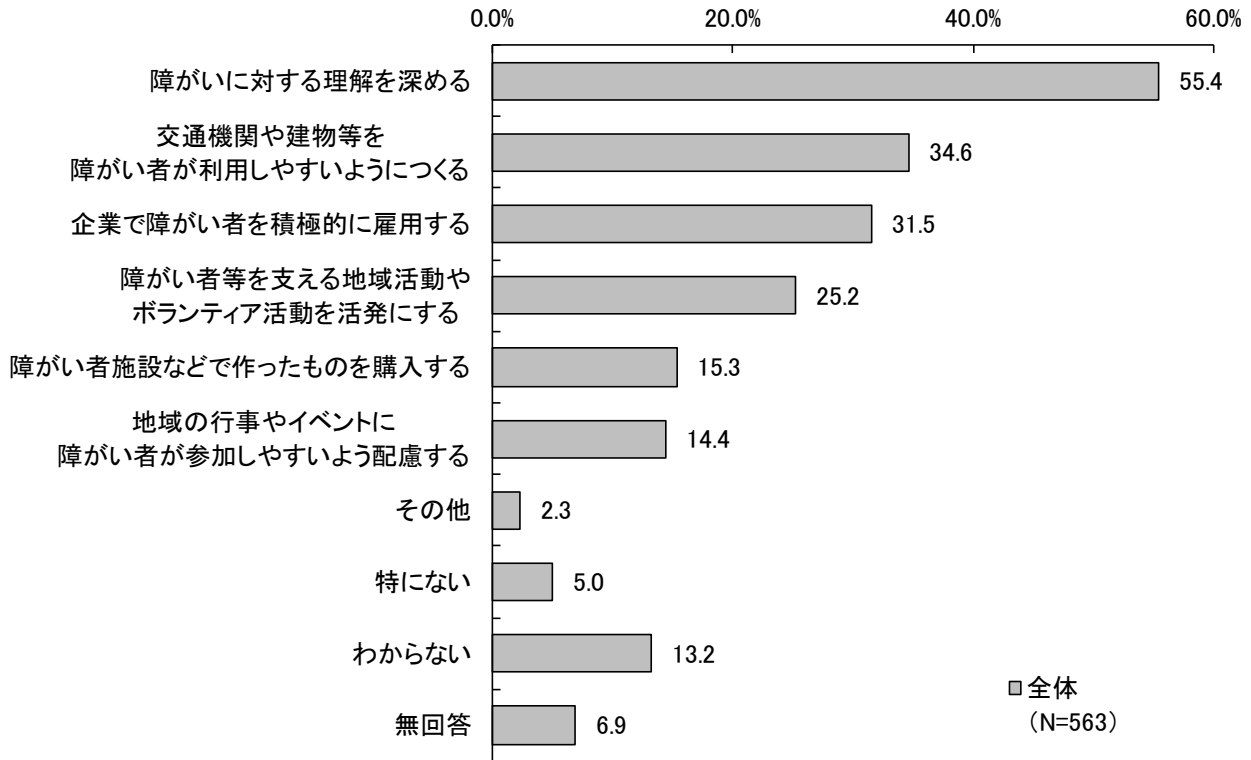
	調査数(人)	障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと																		
		年金など所得保障の充実	公費負担療養制度の充実	健診や医療に配慮した医療費	障がいの整備	地域の共同生活できる住まい	グループホームなどの地域	れる職員が相談に応じて専門的	困ったときにいつでも専門的	どめの訓練や職場定着な	就業支援の充実(働きた	啓発や教育の充実	体の理解を深めるための全	障がいの者に対する社会の全	実施(入所・通所)の充	介護や訓練が受けられる	施設の充実	在宅生活支援サービス	居宅介護や移動支援な	実続支援事業所など(就労充
全体	563	38.9	30.1	27.0	22.7	17.1	16.9	16.7	13.6	12.3										
手帳判定	重度(A1~A3)	262	37.0	28.3	36.2	20.0	8.0	17.1	29.7	24.3	11.3									
	中度(B1)	142	41.3	32.3	21.7	24.6	18.9	12.5	3.5	4.0	14.9									
	中度(B2)	121	45.0	31.6	16.3	26.6	35.5	23.1	5.6	3.4	11.8									
	無回答	39	25.0	30.0	17.1	21.7	14.7	13.2	12.5	8.0	11.3									

	調査数(人)	障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと								
		りづ障がいの推進など(バリアフリー)	きの支援組みづくり	乳幼児から成人まで	行政の推進	行政の推進	文化・社会参加の支援	その他	特にな	わからない
全体	563	9.4	8.9	5.3	3.7	3.5	4.1	10.5	5.8	
手帳判定	重度(A1~A3)	262	8.3	12.2	5.0	3.1	5.8	1.7	6.9	5.9
	中度(B1)	142	10.3	6.3	3.0	3.9	2.7	6.8	14.3	4.3
	中度(B2)	121	10.1	6.8	7.7	5.4	-	7.3	9.9	4.2
	無回答	39	11.8	2.3	8.2	1.4	1.4	-	22.9	15.4

(2) 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと

問38 障がいのある人が暮らしやすい社会をつくるために、地域社会や企業に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

【図表5-95 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと】



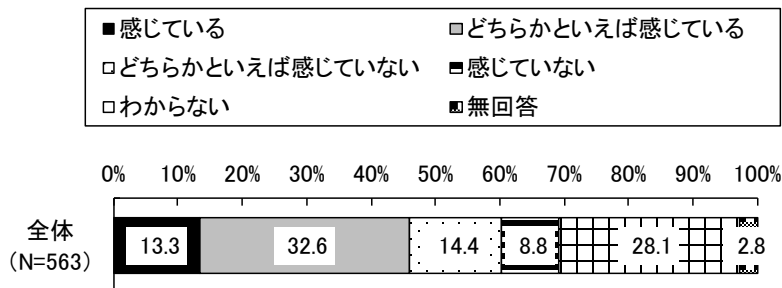
【図表5-96 年齢詳細別、手帳判定別 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと】 (%)

	調査数 (人)	障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと											
		め障がいに對する理解を深	を活動やボランティア活動	障がい者等を支える地域	よがの配慮する参加イベント	障がいの行うやイベント	ようが交通機関や建物等	公共交通機関や建物等	に企業で障がい者を積極	た障がい者施設などで作	その他	特にな	わから
全体	563	55.4	25.2	14.4	34.6	31.5	15.3	2.3	5.0	13.2	6.9		
年齢詳細	29歳以下	201	69.3	29.1	14.8	46.6	43.4	18.5	2.1	1.6	6.9	1.1	
	30歳代	112	57.1	30.2	7.9	35.7	35.7	19.8	-	7.1	8.7	6.3	
	40歳代	104	52.9	22.4	17.6	20.0	28.2	11.8	4.7	2.4	17.6	10.6	
	50歳代	63	41.1	19.6	28.6	42.9	17.9	8.9	3.6	7.1	17.9	12.5	
	60~64歳	24	32.6	15.2	13.0	30.4	19.6	19.6	2.2	6.5	21.7	8.7	
	65~74歳	36	43.2	20.5	9.1	15.9	9.1	11.4	2.3	9.1	20.5	15.9	
	75歳以上	13	-	16.7	-	-	-	-	-	33.3	33.3	16.7	
	無回答	11	45.5	9.1	-	9.1	18.2	-	-	9.1	36.4	9.1	
全体	563	55.4	25.2	14.4	34.6	31.5	15.3	2.3	5.0	13.2	6.9		
手帳判定	重度(A1~A3)	262	57.8	31.8	16.2	36.9	18.4	18.7	3.5	5.1	11.2	7.7	
	中度(B1)	142	46.1	17.4	15.3	28.8	41.0	16.2	2.1	8.6	17.5	5.3	
	中度(B2)	121	63.2	20.5	13.9	36.7	53.8	10.3	-	2.3	8.8	4.2	
	無回答	39	49.0	23.4	1.4	34.4	16.1	4.1	1.4	-	24.0	16.1	

(3) 福岡市の暮らしやすさ

問39 あなたは、福岡市は障がいのある人が暮らしやすいまちだと感じていますか。
(○は1つだけ)

【図表5-97 福岡市の暮らしやすさ】



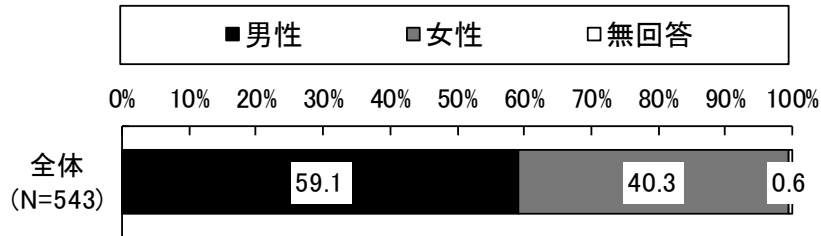
【図表5-98 年齢詳細別、手帳判定別 福岡市の暮らしやすさ】 (%)

	調査数 (人)	福岡市の暮らしやすさ						
		感じている	どちらかといえば感じている	どちらかといえば感じていない	感じていない	わからない	無回答	
全体	563	13.3	32.6	14.4	8.8	28.1	2.8	
年齢詳細	29歳以下	201	10.1	40.7	13.8	10.6	24.3	0.5
	30歳代	112	13.5	34.9	15.1	10.3	25.4	0.8
	40歳代	104	12.9	29.4	14.1	5.9	32.9	4.7
	50歳代	63	21.4	25.0	23.2	8.9	17.9	3.6
	60～64歳	24	10.9	28.3	10.9	4.3	37.0	8.7
	65～74歳	36	25.0	25.0	4.5	2.3	36.4	6.8
	75歳以上	13	-	-	-	16.7	66.7	16.7
無回答	11	9.1	9.1	27.3	9.1	45.5	-	
全体	563	13.3	32.6	14.4	8.8	28.1	2.8	
手帳判定	重度(A1～A3)	262	6.2	40.3	19.1	8.0	24.0	2.4
	中度(B1)	142	22.3	25.1	8.1	12.2	30.7	1.7
	軽度(B2)	121	17.2	32.0	10.9	7.8	30.5	1.6
	無回答	39	15.5	10.3	16.8	4.9	39.2	13.3

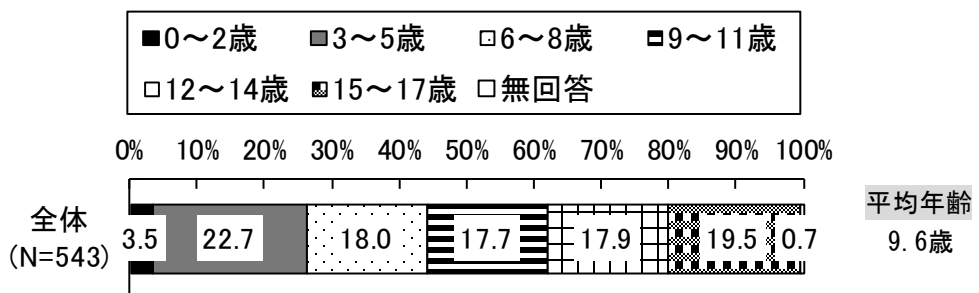
第6章 障がい児調査

1. 基本属性

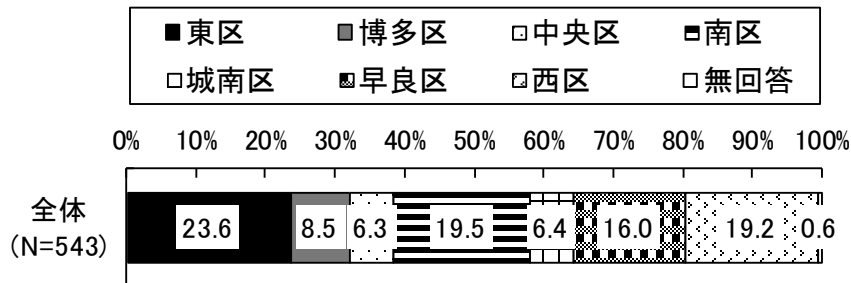
【図表6-1 性別】



【図表6-2 年齢】



【図表6-3 居住地区】

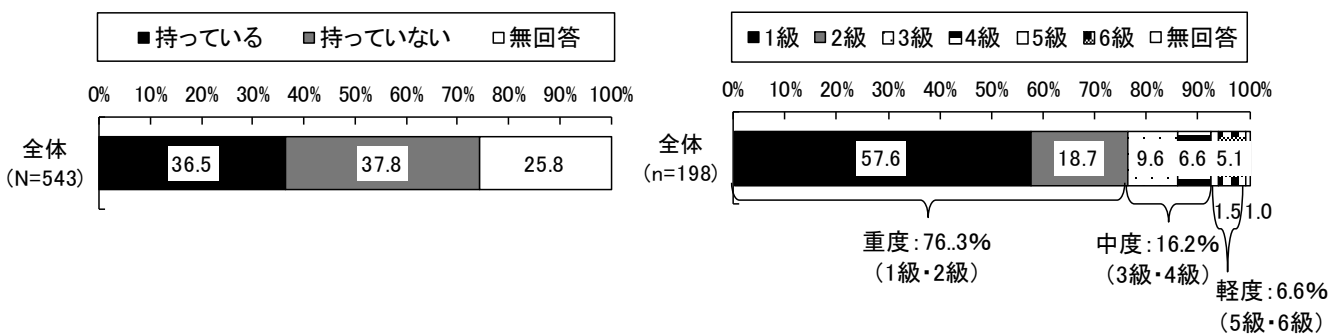


2. 障がいの状況について

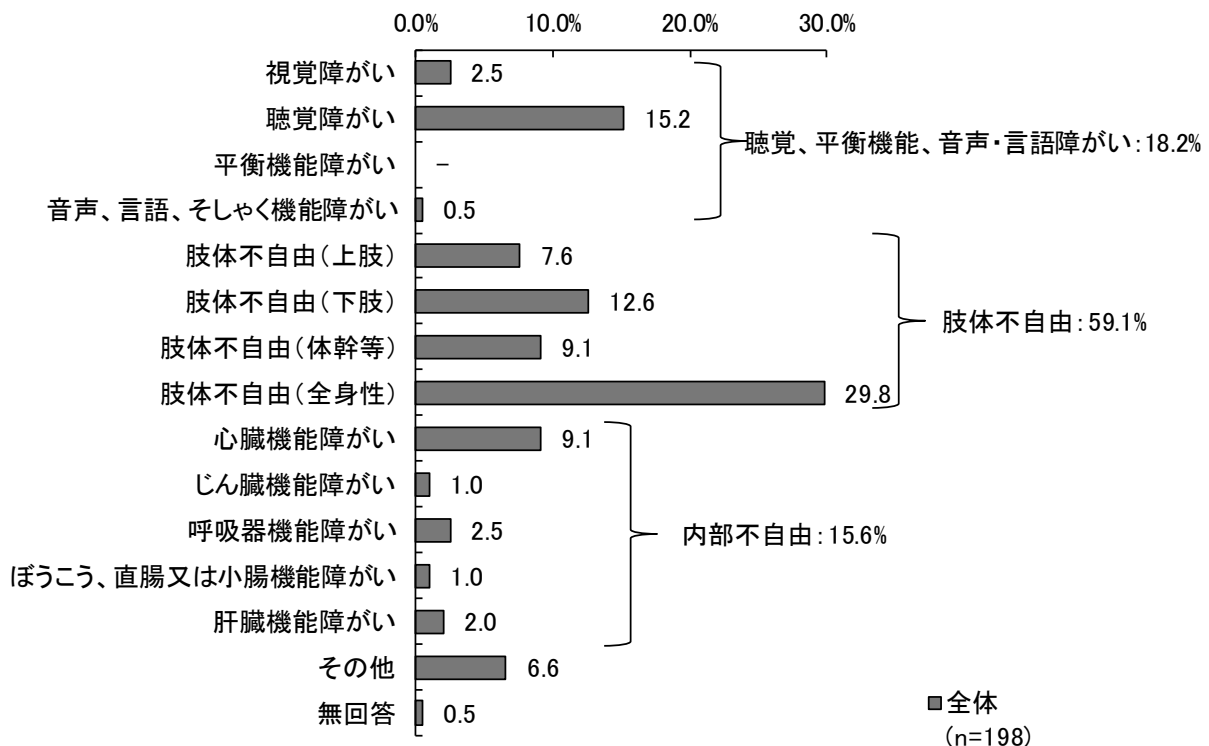
- ・回答者（543人）のうち4割弱（36.5%）は身体障がい者手帳を持っており、1・2級の重度者が8割弱（76.3%）を占めている。【図表6-4】
- ・主な身体障がいの部位については、「肢体不自由」が6割弱（59.1%）、「聴覚、平衡機能、音声・言語障がい」が2割弱（18.2%）となっている。【図表6-5】
- ・回答者（543人）のうち8割強（83.1%）が療育手帳を持っており、A1～A3の重度者が4割弱（39.7%）を占めている。【図表6-9】
- ・回答者（543人）のうち1割未満（3.7%）が精神障がい者保健福祉手帳を持っており、1級の重度者が1割（10.0%）を占めている。【図表6-13】
- ・各種手帳の所持状況から障がいの重複状況を集約すると、「知的障がいのみ」が6割弱（57.8%）と最も高く、「身体障がいのみ」が1割強（13.8%）、「重複障がい」が25.6%となっている。【図表6-14】

(1) 身体障がいの状況（身体障がい者手帳の有無・等級、身体障がいの部位）

【図表6-4 身体障がい者手帳の有無・等級】



【図表6-5 主な身体障がいの部位】



【図表6-6 年齢別 身体障がい者手帳の有無】(%)

	調査数 (人)	身体障害者手帳の有無			
		持っている	持っていない	無回答	
全体	543	36.5	37.8	25.8	
年齢	0~2歳	19	52.6	26.3	21.1
	3~5歳	123	42.3	33.3	24.4
	6~8歳	98	28.6	42.9	28.6
	9~11歳	96	43.8	32.3	24.0
	12~14歳	97	29.9	43.3	26.8
	15~17歳	106	34.0	39.6	26.4
	無回答	4	25.0	50.0	25.0

【図表6-7 年齢別 身体障がい者手帳の等級】(%)

	調査数 (人)	身体障がい者手帳の等級							調査数 (人)	身体障がい者手帳の等級 (集約)				
		1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答		重度 (1・2級)	中度 (3・4級)	軽度 (5・6級)	無回答	
全体	198	57.6	18.7	9.6	6.6	1.5	5.1	1.0	198	76.3	16.2	6.6	1.0	
年齢	0~2歳	10	90.0	-	-	10.0	-	-	-	10	90.0	10.0	-	-
	3~5歳	52	55.8	17.3	13.5	7.7	-	5.8	-	52	73.1	21.2	5.8	-
	6~8歳	28	50.0	21.4	14.3	7.1	-	3.6	3.6	28	71.4	21.4	3.6	3.6
	9~11歳	42	50.0	23.8	9.5	7.1	2.4	4.8	2.4	42	73.8	16.6	7.2	2.4
	12~14歳	29	48.3	24.1	10.3	10.3	3.4	3.4	-	29	72.4	20.6	6.8	-
	15~17歳	36	72.2	13.9	2.8	-	2.8	8.3	-	36	86.1	2.8	11.1	-
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-	1	100.0	-	-	-

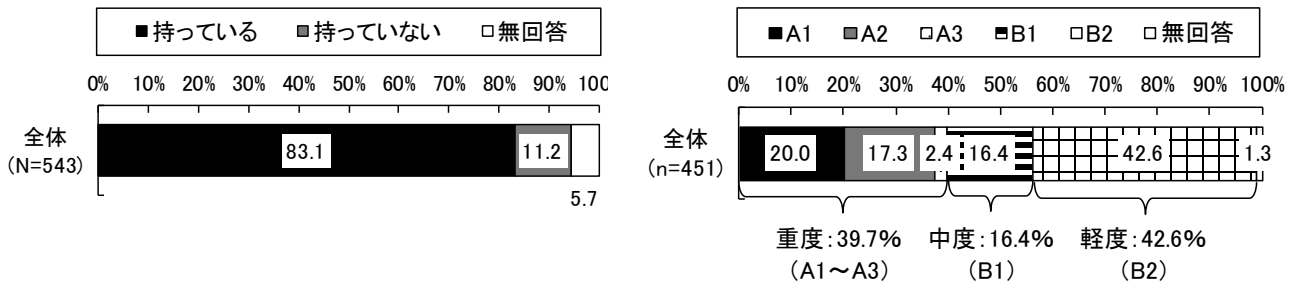
【図表6-8 主な身体障がいと重複する障がいの関係】(%)

	調査数(人)	重複する障がい												
		視覚障がい	聴覚障がい	平衡機能障がい	音声、言語、そしゃく機能障がい	肢体不自由(上肢)	肢体不自由(下肢)	肢体不自由(体幹等)	心臓機能障がい	じん臓機能障がい	呼吸器機能障がい	ぼうこう、直腸又は小腸機能障がい	肝臓機能障がい	
全体	198	10.1	3.0	1.0	14.6	28.8	27.3	21.7	3.0	1.5	4.0	2.5	-	
主な障がいの部位	視覚障がい	5	-	20.0	-	-	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-
	聴覚障がい	30	-	-	-	3.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	平衡機能障がい	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	音声、言語、そしゃく機能障がい	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	肢体不自由(上肢)	15	6.7	-	-	6.7	-	53.3	13.3	-	-	-	-	-
	肢体不自由(下肢)	25	4.0	4.0	-	12.0	60.0	4.0	52.0	-	4.0	-	16.0	-
	肢体不自由(体幹等)	18	16.7	5.6	-	27.8	61.1	66.7	-	11.1	-	-	-	-
	肢体不自由(全身性)	59	20.3	5.1	3.4	27.1	42.4	42.4	40.7	-	-	8.5	-	-
	心臓機能障がい	18	-	-	-	-	11.1	5.6	11.1	-	-	11.1	-	-
	じん臓機能障がい	2	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-
	呼吸器機能障がい	5	-	-	-	20.0	-	20.0	-	40.0	-	-	-	-
	ぼうこう、直腸又は小腸機能障がい	2	-	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-
	肝臓機能障がい	4	-	-	-	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-
	その他	13	15.4	-	-	15.4	15.4	23.1	15.4	7.7	7.7	7.7	7.7	-
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

	調査数(人)	重複する障がい								
		知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次脳機能障がい	難病	その他	主な障がい以外はない	無回答	
全体	198	46.0	3.0	29.3	1.0	19.2	3.5	18.2	4.0	
主な障がいの部位	視覚障がい	5	20.0	-	20.0	-	60.0	-	20.0	-
	聴覚障がい	30	33.3	-	20.0	-	6.7	-	53.3	6.7
	平衡機能障がい	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	音声、言語、そしゃく機能障がい	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	肢体不自由(上肢)	15	26.7	13.3	20.0	6.7	6.7	-	20.0	6.7
	肢体不自由(下肢)	25	44.0	-	36.0	-	12.0	4.0	4.0	-
	肢体不自由(体幹等)	18	72.2	5.6	33.3	-	27.8	5.6	-	-
	肢体不自由(全身性)	59	61.0	5.1	33.9	1.7	28.8	-	5.1	1.7
	心臓機能障がい	18	38.9	-	22.2	-	16.7	-	44.4	5.6
	じん臓機能障がい	2	50.0	-	50.0	-	-	50.0	-	-
	呼吸器機能障がい	5	-	-	-	-	60.0	-	-	20.0
	ぼうこう、直腸又は小腸機能障がい	2	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-
	肝臓機能障がい	4	-	-	25.0	-	-	-	75.0	-
	その他	13	53.8	-	53.8	-	7.7	23.1	7.7	-
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	

(2) 知的障がいの状況（療育手帳の有無・判定、障がいの診断名）

【図表6-9 療育手帳の有無・判定】



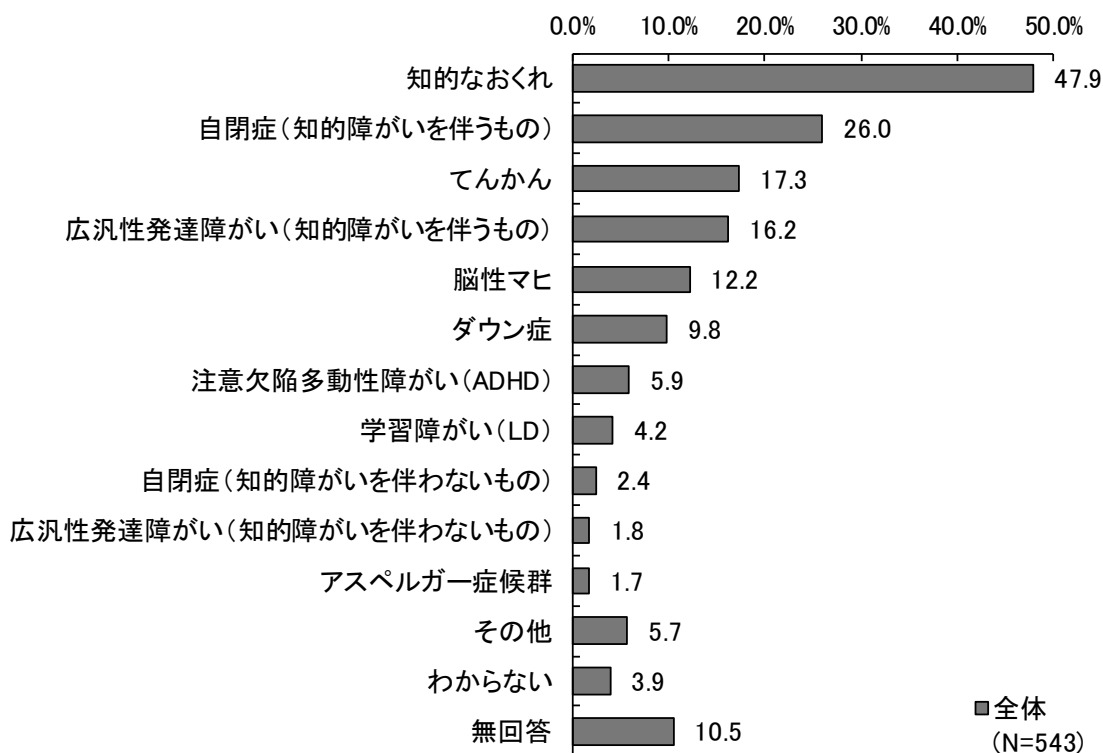
【図表6-10 年齢別 療育手帳の有無】

	調査数 (人)	療育手帳の有無			
		持っている	持っていない	無回答	
全体	543	83.1	11.2	5.7	
年齢	0~2歳	19	57.9	26.3	15.8
	3~5歳	123	82.1	10.6	7.3
	6~8歳	98	85.7	12.2	2.0
	9~11歳	96	82.3	11.5	6.3
	12~14歳	97	84.5	11.3	4.1
	15~17歳	106	85.8	8.5	5.7
	無回答	4	75.0	-	25.0

【図表6-11 年齢別 療育手帳の等級】(%)

	調査数 (人)	療育手帳の等級						調査数 (人)	療育手帳の等級 (集約)				
		A 1	A 2	A 3	B 1	B 2	無 回答		(重 度 A 1 ~ A 3)	中 度 (B 1)	軽 度 (B 2)	無 回 答	
全体	451	20.0	17.3	2.4	16.4	42.6	1.3	451	39.7	16.4	42.6	1.3	
年齢	0~2歳	11	27.3	18.2	-	18.2	36.4	-	11	45.5	18.2	36.4	-
	3~5歳	101	18.8	14.9	2.0	15.8	46.5	2.0	101	35.7	15.8	46.5	2.0
	6~8歳	84	9.5	19.0	3.6	19.0	47.6	1.2	84	32.1	19.0	47.6	1.2
	9~11歳	79	26.6	17.7	5.1	17.7	32.9	-	79	49.4	17.7	32.9	-
	12~14歳	82	18.3	20.7	-	15.9	43.9	1.2	82	39.0	15.9	43.9	1.2
	15~17歳	91	25.3	15.4	2.2	14.3	41.8	1.1	91	42.9	14.3	41.8	1.1
	無回答	3	33.3	-	-	-	33.3	33.3	3	33.3	-	33.3	33.3

【図表6-12 障がいの診断名】(%)



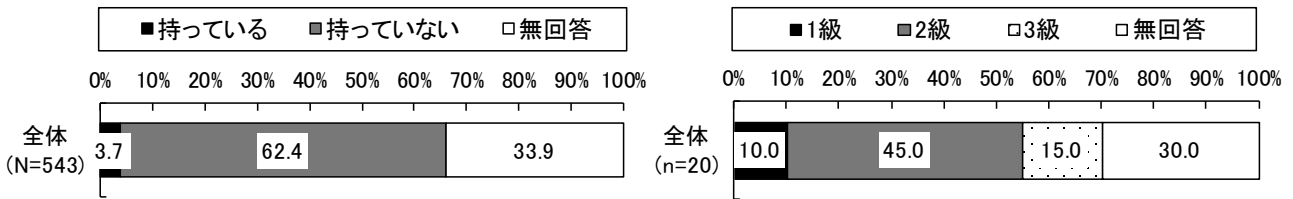
【図表6-13 年齢別 障がいの診断名】(%)

	調査数 (人)	障がいの診断名													(再掲) 発達障がいがある		
		知的なおくれ	自閉症 (知的障がいを伴うもの)	てんかん	広汎性発達障がい (知的障がいを伴うもの)	脳性マヒ	ダウン症	注意欠陥多動性障がい (ADHD)	学習障がい(LD)	自閉症 (知的障がいを伴わないもの)	広汎性発達障がい (知的障がいを伴わないもの)	アスペルガー症候群	その他	わからない		無回答	
全体	543	47.9	26.0	17.3	16.2	12.2	9.8	5.9	4.2	2.4	1.8	1.7	5.7	3.9	10.5	43.5	
年齢	0~2歳	19	47.4	5.3	5.3	5.3	10.5	10.5	-	-	5.3	-	-	15.8	15.8	21.1	10.5
	3~5歳	123	43.9	30.1	14.6	5.7	11.4	8.1	1.6	-	3.3	1.6	2.4	11.4	4.9	13.0	39.8
	6~8歳	98	49.0	33.7	6.1	26.5	11.2	14.3	7.1	1.0	2.0	3.1	3.1	5.1	1.0	7.1	51.0
	9~11歳	96	49.0	28.1	20.8	25.0	17.7	9.4	9.4	5.2	3.1	2.1	1.0	3.1	3.1	9.4	53.1
	12~14歳	97	46.4	25.8	23.7	17.5	11.3	10.3	7.2	7.2	1.0	2.1	2.1	2.1	4.1	9.3	46.4
	15~17歳	106	51.9	17.0	23.6	12.3	10.4	6.6	6.6	9.4	1.9	0.9	-	3.8	3.8	10.4	36.8
	無回答	4	50.0	-	25.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-

(注) 再掲の『発達障がいあり』は、「自閉症」「広汎性発達障がい」「アスペルガー症候群」「注意欠陥多動性障がい」「学習障がい」のいずれか1つまたは複数に該当する人。

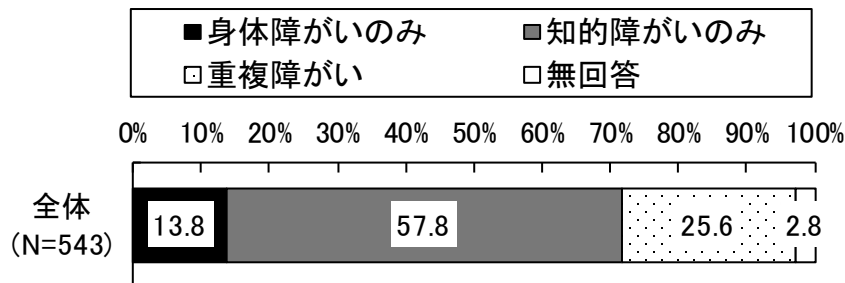
(3) 精神障がいの状況（精神障がい者保健福祉手帳の有無・等級）

【図表6-13 精神障がい者保健福祉手帳の有無・等級】



(4) 障がいの状況（身体・知的障がい等の重複状況）

【図表6-14 障がいの状況】



【図表6-15 年齢別 障がいの状況】 (%)

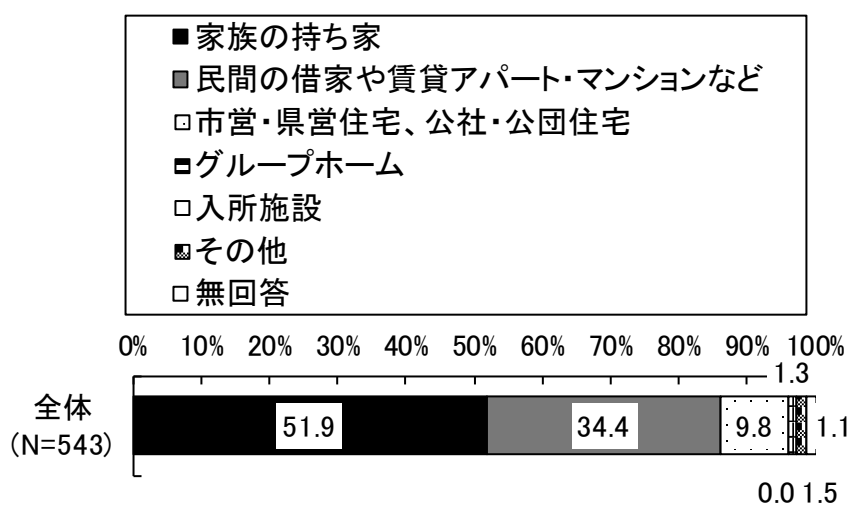
	調査数 (人)	障がいの状況							無回答	
		身体障がいのみ	知的障がいのみ	精神障がいのみ	(重複障がい・知的障がい)	(重複障がい・精神障がい)	(重複障がい・精神障がい)	(重複障がい・知的障がい・精神障がい)		
全体	543	13.8	57.8	0.2	21.9	0.2	2.8	0.6	2.8	
年齢	0~2歳	19	26.3	31.6	-	26.3	-	-	-	15.8
	3~5歳	123	14.6	53.7	-	26.8	-	0.8	0.8	3.3
	6~8歳	98	12.2	69.4	1.0	16.3	-	-	-	1.0
	9~11歳	96	13.5	51.0	-	27.1	1.0	2.1	2.1	3.1
	12~14歳	97	14.4	62.9	-	15.5	-	6.2	-	1.0
	15~17歳	106	12.3	59.4	-	21.7	-	4.7	-	1.9
	無回答	4	-	25.0	-	25.0	-	25.0	-	25.0

3. 世帯の状況について

- ・世帯状況について、同居家族の続柄から集約したところ、「親と子のみ（両親あり）」が7割強（74.2%）を占めて最も多い。また、「親と子のみ（母子家庭）」（8.5%）と「親と子のみ（父子家庭）」（0.7%）をあわせると、ひとり親家庭が1割弱（9.2%）となっている。【図表6-18】
- ・主な介助者は、「母親」が8割強（84.0%）と大半を占めている。【図表6-20】
- ・主な介助者の年齢については、「40～44歳」が3割強（32.0%）で最も多く、「35～39歳」（24.3%）と「45～49歳」（19.0%）がそれぞれ2割前後で続いている。【図表6-21】

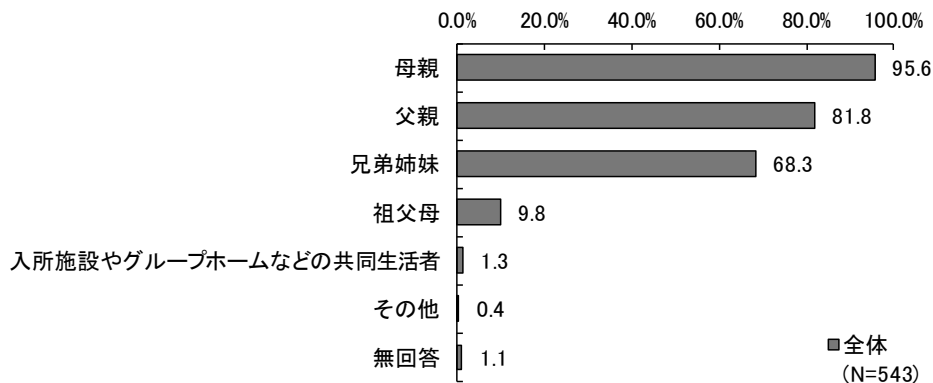
(1) 住まいの形態

【図表6-16 住まいの形態】

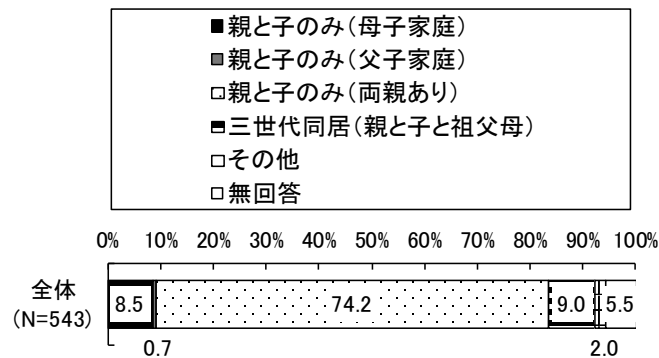


(2) 同居家族の状況

【図表6-17 同居者の続柄】(複数回答)



【図表6-18 世帯状況】

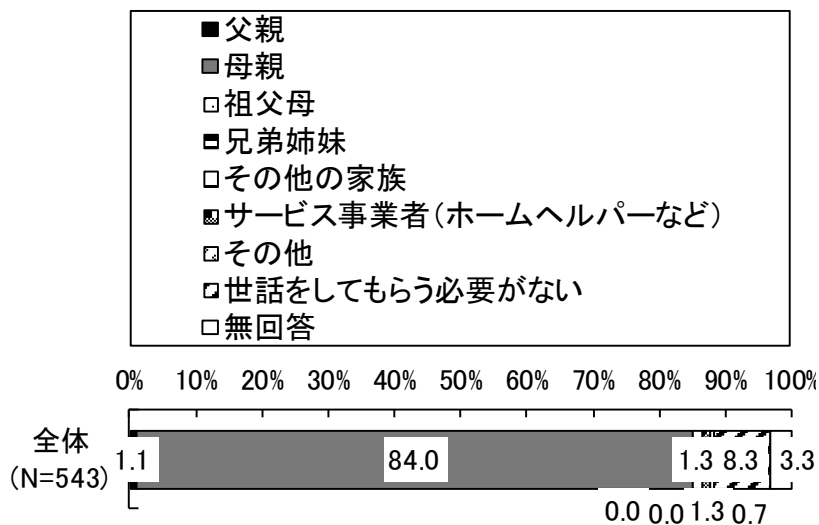


【図表6-19 障がいの状況別、年齢別 世帯状況】(%)

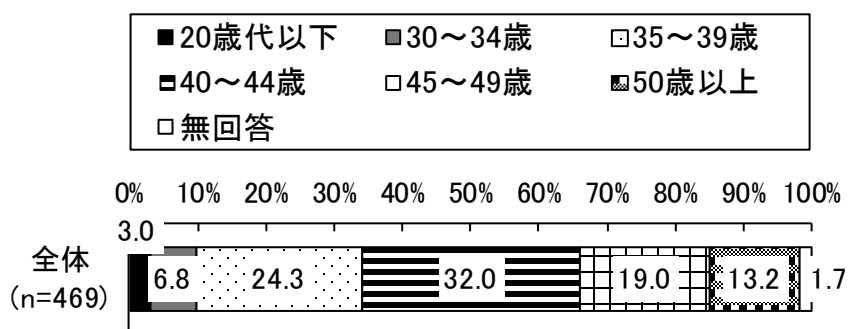
		調査数(人)	世帯状況					
			(親と子のみ(母子家庭))	(親と子のみ(父子家庭))	(親と子のみ(両親あり))	(三世同居(親と子と祖父母))	その他	無回答
全体		543	8.5	0.7	74.2	9.0	2.0	5.5
障がいの状況	身体障がいのみ	75	14.7	1.3	74.7	9.3	-	-
	知的障がいのみ	314	5.7	0.6	75.5	9.6	1.9	6.7
	精神障がいのみ	1	-	-	100.0	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	12.6	-	76.5	7.6	3.4	-
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	-	100.0	-	-	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	-	-	60.0	13.3	6.7	20.0
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	33.3	-	66.7	-	-	-
	無回答	15	6.7	6.7	40.0	6.7	-	40.0
全体		543	8.5	0.7	74.2	9.0	2.0	5.5
年齢	0~2歳	19	-	-	84.2	5.3	-	10.5
	3~5歳	123	3.3	0.8	78.0	9.8	3.3	4.9
	6~8歳	98	5.1	-	82.7	10.2	-	2.0
	9~11歳	96	8.3	-	78.1	8.3	3.1	2.1
	12~14歳	97	12.4	-	70.1	11.3	-	6.2
	15~17歳	106	16.0	2.8	60.4	6.6	3.8	10.4
	無回答	4	-	-	75.0	-	-	25.0

(3) 主な介助者の状況

【図表6-20 主な介助者】



【図表6-21 主な介助者(サービス事業者、その他以外)の年齢】



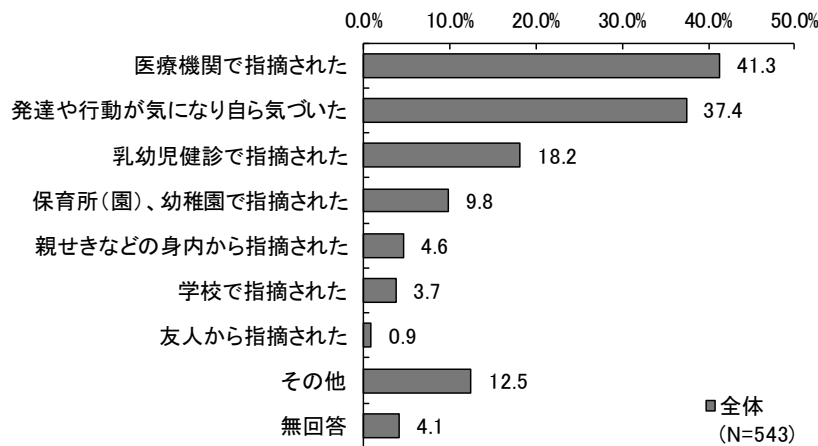
4. 障がいについて

- ・障がいに気付いたきっかけを障がいの状況別にみると、重複障がい児（身体障がい・知的障がい）では「医療機関で指摘された」が6割弱（59.7%）と高いが、身体障がい児（身体障がいのみ）（40.0%）と知的障がい児（知的障がいのみ）（34.7%）では比較して低くなっている。また、知的障がい児（知的障がいのみ）では他に比べて「発達や行動が気になり自ら気付いた」（45.5%）や「乳幼児健診で指摘された」（26.4%）の割合が高くなっている。【図表6-23】
- ・障がいがわかった年齢は、0歳時にわかったとするものが、身体障がい児（身体障がいのみ）では5割強（50.7%）、重複障がい児（身体障がい・知的障がい）では7割弱（67.2%）と早期に障がいが判明している。【図表6-27】
- ・障がいの診断・判定を受けた頃の苦勞、悩み、不安としては、「障がいのことや福祉の制度についての情報が少なかった」が5割超（55.6%）で最も高く、次いで「身近に相談できる相手がいなかった」（29.5%）、「保健所や福祉事務所、専門機関でもっと指導してほしい」（23.2%）、「相談機関がわからなかった」（22.8%）となっている。障がいの状況別にみると、重複障がい児（身体障がい・知的障がい）では「子どもの介護・介助の手助けがほしい」が3割強（31.9%）となっており、他に比べ高くなっている【図表6-28、図表6-29】

(1) 障がいに気づいたきっかけ

問10 お子さんの発達の遅れに気づいたのは、どういうきっかけでしたか。
 (○はあてはまるものすべて)

【図表6-22 障がいに気づいたきっかけ】



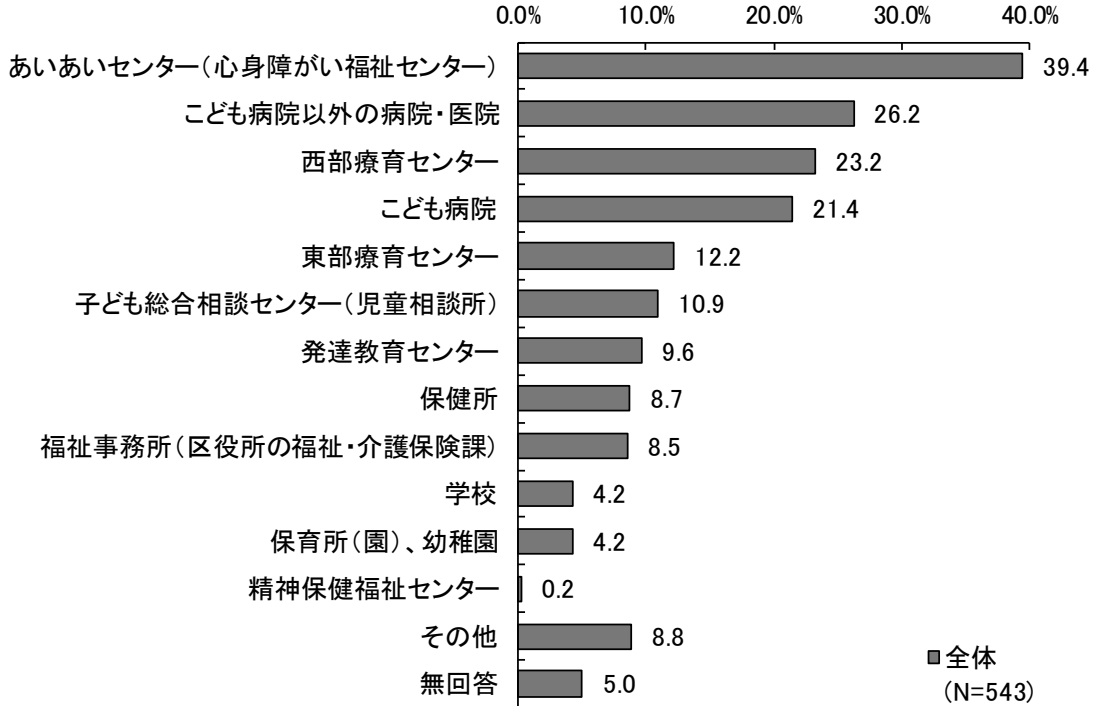
【図表6-23 障がいの状況別 障がいに気づいたきっかけ】 (%)

障がいの状況	調査数(人)	障がいに気付いたきっかけ								
		医療機関で指摘された	自ら発達や行動が気になり気づいた	乳幼児健診で指摘された	指保育所(園)、幼稚園で指摘された	指親せきなどの身内から指摘された	学校で指摘された	友人から指摘された	その他	無回答
全体	543	41.3	37.4	18.2	9.8	4.6	3.7	0.9	12.5	4.1
身体障がいのみ	75	40.0	16.0	2.7	5.3	4.0	1.3	-	22.7	20.0
知的障がいのみ	314	34.7	45.5	26.4	13.7	5.1	5.7	1.0	7.3	0.6
精神障がいのみ	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	59.7	28.6	7.6	-	2.5	-	0.8	18.5	3.4
重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	53.3	33.3	-	20.0	13.3	6.7	-	13.3	6.7
重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	-	66.7	-	-	33.3	-	-	33.3	-
無回答	15	40.0	40.0	33.3	20.0	-	-	6.7	13.3	-

(2) 相談、診察、検査を求めた機関

問11 発達の遅れに気づいてから、どこに相談し、診察・検査を求めに行きましたか。または、行っていますか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表6-24 相談、診察、検査を求めた機関】



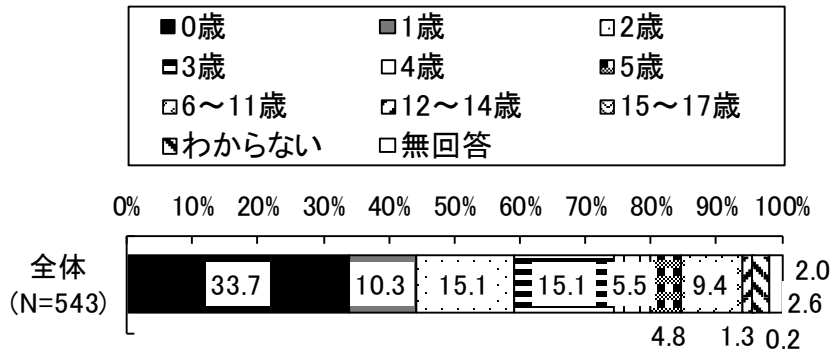
【図表6-25 障がいの状況別 相談、診察、検査を求めた機関】 (%)

障がいの状況	調査数(人)	相談、診察、検査を求めた機関													
		あいあい福祉センター(心身)	病院・医院以外の	西部療育センター	こども病院	東部療育センター	子ども総合相談センター(児童相談所)	発達教育センター	保健所	福祉事務所(区役所の福祉・介護保険課)	学校	保育所(園)、幼稚園	精神保健福祉センター	その他	無回答
全体	543	39.4	26.2	23.2	21.4	12.2	10.9	9.6	8.7	8.5	4.2	4.2	0.2	8.8	5.0
身体障がいのみ	75	38.7	34.7	6.7	25.3	6.7	-	5.3	-	1.3	-	2.7	-	8.0	22.7
知的障がいのみ	314	36.3	19.4	31.2	16.9	14.7	13.7	13.1	12.1	8.6	6.1	5.7	0.3	6.1	1.3
精神障がいのみ	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	47.9	37.0	15.1	32.8	7.6	8.4	1.7	3.4	10.9	2.5	0.8	-	14.3	3.4
重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	26.7	40.0	13.3	20.0	6.7	13.3	20.0	6.7	13.3	6.7	6.7	-	6.7	13.3
重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	66.7	66.7	-	-	66.7	-	-	66.7	33.3	-	-	-	33.3	-
無回答	15	53.3	20.0	20.0	13.3	20.0	20.0	13.3	13.3	13.3	-	6.7	-	20.0	-

(3) 障がいがわかった年齢

問12 医学的診断の結果、障がいはっきりとわかったのは、お子さんが何歳の時でしたか。
(○は1つだけ)

【図表6-26 障がいがわかった年齢】



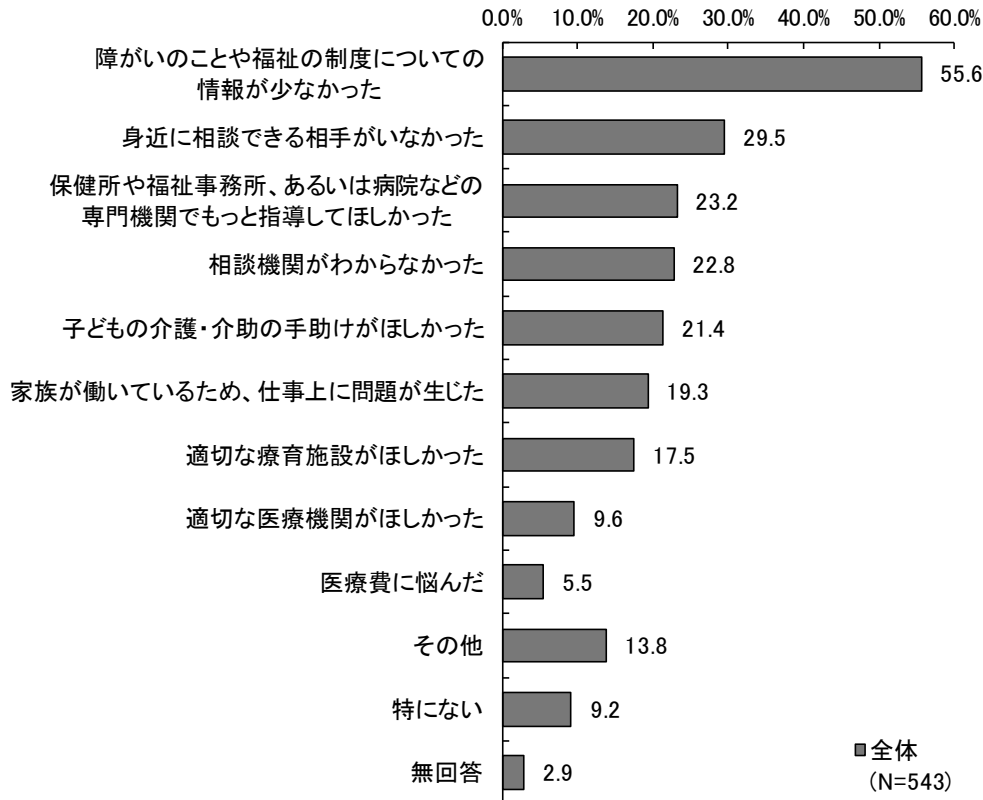
【図表6-27 障がいの状況別 障がいがわかった年齢】 (%)

	調査数 (人)	障がいがわかった年齢												
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	わからない
全体	543	33.7	10.3	15.1	15.1	5.5	4.8	9.4	1.3	0.2	2.6	2.0		
障がいの状況	身体障がいのみ	75	50.7	13.3	10.7	1.3	2.7	2.7	4.0	-	-	5.3	9.3	
	知的障がいのみ	314	18.2	6.7	21.0	22.6	7.3	6.4	13.1	2.2	0.3	1.9	0.3	
	精神障がいのみ	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	67.2	18.5	3.4	5.0	0.8	0.8	0.8	-	-	1.7	1.7	
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	13.3	6.7	-	6.7	13.3	13.3	33.3	-	-	6.7	6.7	
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	15	26.7	6.7	20.0	20.0	6.7	6.7	6.7	-	-	6.7	-	

(4) 障がいの診断・判定を受けた頃の苦労、悩み、不安

問13 お子さんの障がいの状況について、診断・判定を受けた頃、ご家族の皆さんには、どんな苦労、悩み、不安がありましたか。(○は3つまで)

【図表6-28 障がいの診断・判定を受けた頃の苦労、悩み、不安】



【図表6-29 障がいの状況別 障がいの診断・判定を受けた頃の苦労、悩み、不安】 (%)

障がいの状況	調査数(人)	障がいの診断・判定を受けた頃の苦労、悩み、不安												
		障がいのことや福祉の制度についての情報が少なかった	身近に相談できる相手がいなかった	保健所や福祉事務所、あるいは病院などの専門機関でもっと指導してほしい	相談機関がわからなかった	子どもの介護・介助の手助けがほしい	家族が働いているため、仕事上に問題が生じた	適切な療育施設がほしい	適切な医療機関がほしい	医療費に悩んだ	その他	特にない	無回答	
全体	543	55.6	29.5	23.2	22.8	21.4	19.3	17.5	9.6	5.5	13.8	9.2	2.9	
身体障がいのみ	75	56.0	22.7	17.3	20.0	18.7	26.7	10.7	6.7	10.7	10.7	12.0	8.0	
知的障がいのみ	314	53.8	30.9	25.2	24.8	17.8	15.3	22.3	10.8	3.8	14.3	9.9	1.3	
精神障がいのみ	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	63.9	31.1	22.7	18.5	31.9	22.7	8.4	4.2	3.4	13.5	6.7	2.5	
重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-	
重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	46.7	33.3	20.0	13.3	26.7	20.0	13.3	20.0	26.7	20.0	6.7	20.0	
重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	100.0	-	33.3	66.7	33.3	-	66.7	-	-	-	-	-	
無回答	15	33.3	20.0	20.0	26.7	20.0	40.0	20.0	33.3	6.7	20.0	6.7	-	

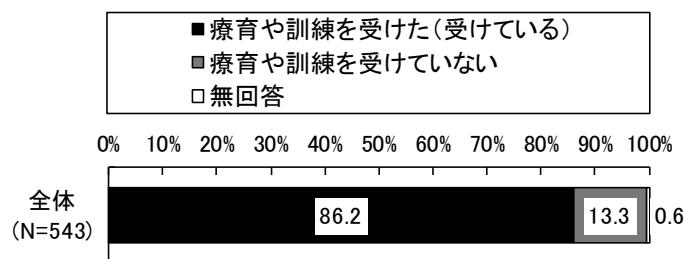
5. 療育や保育・教育について

- ・療育や訓練に対する希望としては、「家庭から施設に通って療育、訓練を受けたい」(34.3%)が最も高く、次いで「学校で指導・訓練を受けたい」(20.3%)、「病院・医院に通院して治療、訓練を受けたい」(11.2%)となっており、家庭からの通所(通院)による希望が上位にあがっている。また、「特にない」との回答も1割弱(9.2%)を占めている。【図表6-34】
- ・通園・通学先について集約すると、「障がい児通園施設等」が4割弱(39.8%)で最も高く、次いで「特別支援学校 小・中学部」(25.4%)、「小・中学校(特別支援学級)」(22.5%)となっている。【図表6-38】
- ・通園・通学先と障がいの状況の関係をみると、身体障がい児(身体障がいのみ)では「小・中学校(通常学級)」(28.0%)、知的障がい児(知的障がいのみ)では「障がい児通園施設等」(42.4%)、重複障がい児(身体障がい・知的障がい)では「障がい児通園施設等」(47.1%)がそれぞれ高くなっている。また、知的障がい児(知的障がいのみ)と重複障がい児(身体障がい・知的障がい)では、「小・中学校(特別支援学級)」と「特別支援学校 小・中学部」に通っている割合が身体障がい児(身体障がいのみ)と比較して高くなっている。【図表6-38】

(1) 療育や訓練を受けた経験

問14 お子さんは、これまでに療育や身体の機能回復訓練(リハビリテーション)を受けたことがありますか。または、受けていますか。(○は1つだけ)

【図表6-30 療育や訓練を受けた経験】



【図表6-31 障がいの状況別、年齢別 療育や訓練を受けた経験】(%)

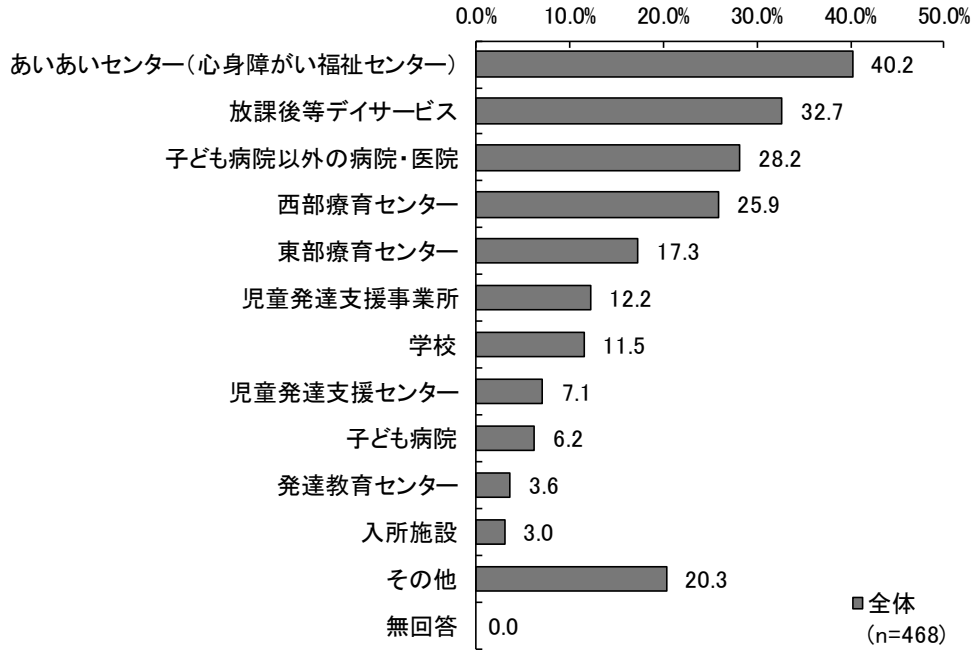
	障がいの状況	調査数(人)	療育や訓練を受けた経験		
			(療育や訓練を受けた)	い療育ないや訓練を受けて	無回答
全体		543	86.2	13.3	0.6
障がいの状況	身体障がいのみ	75	70.7	28.0	1.3
	知的障がいのみ	314	87.3	12.4	0.3
	精神障がいのみ	1	100.0	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	97.5	2.5	-
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	100.0	-	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	46.7	53.3	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	100.0	-	-
	無回答	15	86.7	6.7	6.7
全体		543	86.2	13.3	0.6
年齢	0~2歳	19	78.9	21.1	-
	3~5歳	123	94.3	5.7	-
	6~8歳	98	91.8	8.2	-
	9~11歳	96	91.7	8.3	-
	12~14歳	97	83.5	15.5	1.0
	15~17歳	106	69.8	28.3	1.9
	無回答	4	100.0	-	-

(2) 療育や訓練で利用した（利用している）施設

[問17で「1」を選ばれた方におたずねします]

問14-1 療育や訓練で利用した、または利用している施設はどこですか。
(○はあてはまるものすべて)

【図表6-32 療育や訓練で利用した（利用している）施設】



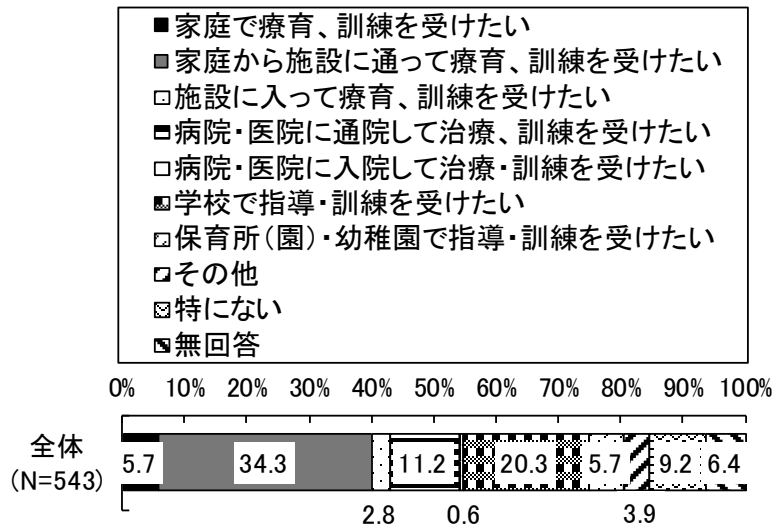
【図表6-33 障がいの状況別、年齢別 療育や訓練で利用した（利用している）施設】 (%)

	調査数(人)	療育や訓練で利用した(利用している)施設													無回答
		あいあい福祉センター(心身)	放課後等デイサービス	子ども病院以外の病院・医院	西部療育センター	東部療育センター	児童発達支援事業所	学校	児童発達支援センター	子ども病院	発達教育センター	入所施設	その他		
全体	468	40.2	32.7	28.2	25.9	17.3	12.2	11.5	7.1	6.2	3.6	3.0	20.3	-	
障がいの状況	身体障がいのみ	53	47.2	17.0	43.4	9.4	17.0	13.2	11.3	3.8	13.2	3.8	1.9	9.4	-
	知的障がいのみ	274	37.6	38.7	26.3	30.3	19.0	12.8	10.6	8.4	3.7	5.1	2.6	16.8	-
	精神障がいのみ	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	116	41.4	25.0	25.0	25.9	13.8	11.2	12.9	5.2	6.9	-	5.2	33.6	-
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	100.0	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	7	42.9	57.1	42.9	14.3	-	-	28.6	14.3	42.9	14.3	-	14.3	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	66.7	33.3	66.7	-	66.7	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-
	無回答	13	46.2	23.1	15.4	15.4	15.4	7.7	7.7	7.7	-	-	-	23.1	-
全体	468	40.2	32.7	28.2	25.9	17.3	12.2	11.5	7.1	6.2	3.6	3.0	20.3	-	
年齢	0~2歳	15	20.0	-	13.3	20.0	33.3	20.0	-	-	6.7	-	6.7	26.7	-
	3~5歳	116	32.8	0.9	25.0	27.6	23.3	22.4	-	12.9	0.9	-	2.6	18.1	-
	6~8歳	90	45.6	51.1	27.8	27.8	23.3	14.4	12.2	6.7	5.6	4.4	2.2	21.1	-
	9~11歳	88	48.9	56.8	39.8	19.3	19.3	12.5	19.3	5.7	13.6	4.5	2.3	19.3	-
	12~14歳	81	39.5	43.2	35.8	32.1	11.1	2.5	13.6	3.7	8.6	4.9	3.7	21.0	-
	15~17歳	74	41.9	27.0	16.2	23.0	2.7	1.4	20.3	5.4	4.1	6.8	4.1	20.3	-
	無回答	4	-	25.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	50.0	-

(3) 療育や訓練に対する希望

問15 お子さんの今後の療育、訓練について、どのような希望をお持ちですか。
あなたの希望に最も近いものを選んでください。(○は1つだけ)

【図表6-34 療育や訓練に対する希望】



【図表6-35 障がいの状況別、年齢別 療育や訓練に対する希望】 (%)

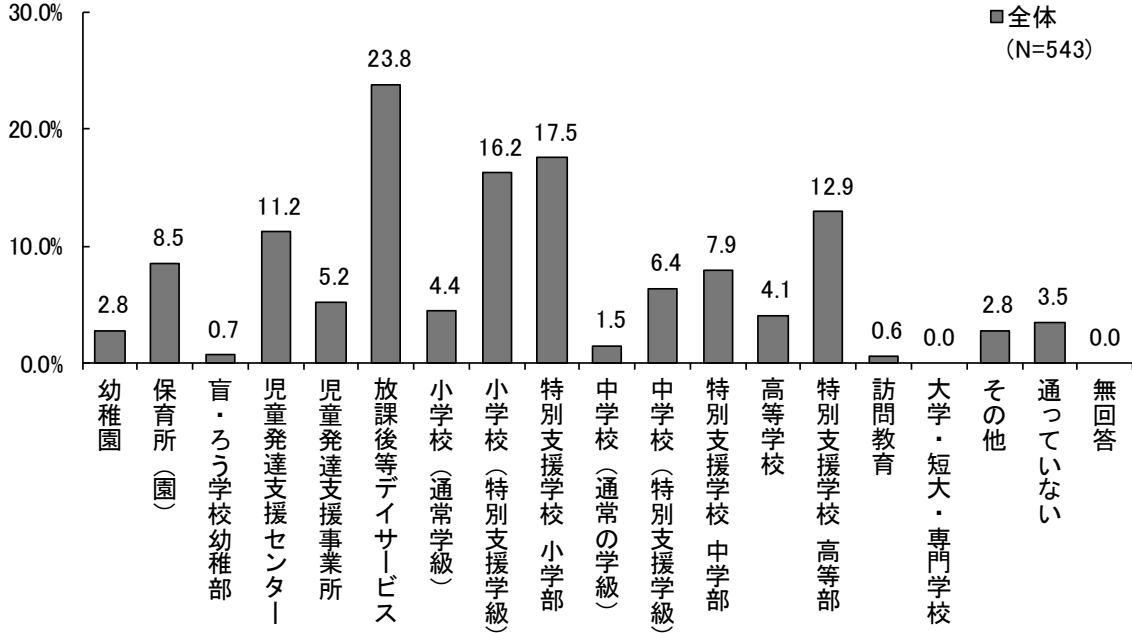
	調査数 (人)	療育や訓練に対する希望										
		家庭から施設に通って療育、訓練を受けたい	学校で指導・訓練を受けたい	病院・医院に通院して治療、訓練を受けたい	家庭で療育、訓練を受けたい	指導・訓練を受けたい (園・幼稚園)	施設に入って療育、訓練を受けたい	病院・医院に入院して治療、訓練を受けたい	その他	特にない	無回答	
全体	543	34.3	20.3	11.2	5.7	5.7	2.8	0.6	3.9	9.2	6.4	
障がいの状況	身体障がいのみ	75	17.3	12.0	28.0	5.3	6.7	-	1.3	2.7	14.7	12.0
	知的障がいのみ	314	39.5	23.9	7.0	3.5	5.1	2.2	-	3.8	8.9	6.1
	精神障がいのみ	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	34.5	20.2	10.9	10.9	5.0	3.4	0.8	5.0	5.0	4.2
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	20.0	6.7	6.7	13.3	-	20.0	6.7	6.7	6.7	13.3
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	33.3	-	66.7	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	15	26.7	-	13.3	6.7	26.7	6.7	-	-	20.0	-
全体	543	34.3	20.3	11.2	5.7	5.7	2.8	0.6	3.9	9.2	6.4	
年齢	0~2歳	19	52.6	-	-	5.3	31.6	-	-	-	5.3	5.3
	3~5歳	123	45.5	9.8	9.8	7.3	17.1	1.6	0.8	3.3	4.1	0.8
	6~8歳	98	43.9	21.4	9.2	5.1	2.0	-	-	2.0	5.1	11.2
	9~11歳	96	34.4	29.2	17.7	2.1	1.0	1.0	1.0	2.1	7.3	4.2
	12~14歳	97	24.7	28.9	10.3	7.2	-	4.1	-	8.2	5.2	11.3
	15~17歳	106	18.9	19.8	11.3	6.6	-	6.6	0.9	3.8	25.5	6.6
	無回答	4	-	-	25.0	-	25.0	25.0	-	25.0	-	-

(4) 通園・通学先

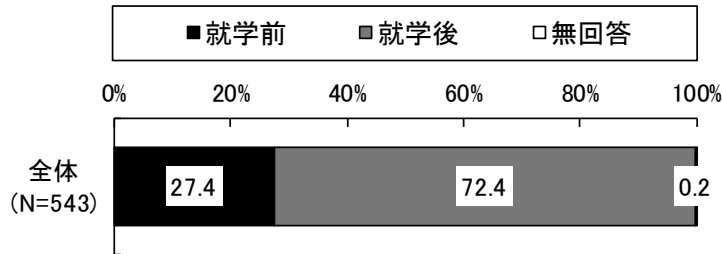
問16 お子さんは、学校や幼稚園・保育所（園）などに通っていますか。

(○はあてはまるものすべて)

【図表6-36 通園・通学先】



【図表6-37 学齢区分】



【図表6-38 通園・通学先別 障がいの状況】 (%)

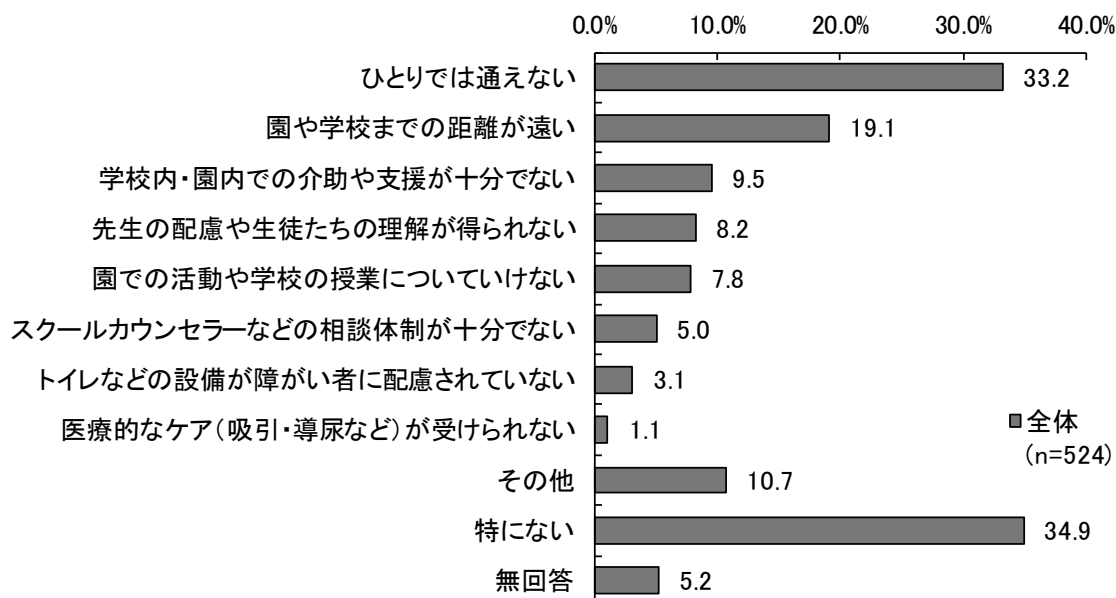
障がいの状況	調査数 (人)	障がいの状況											
		幼稚園・保育所	障がい児通園施設等	小・中学校 (通常学級)	小・中学校 (特別支援学級)	特別支援学校 小・中学部	高校	特別支援学校 高等部	訪問教育	大学・短大・専門学校	その他	通っていない	無回答
全体	543	10.9	39.8	5.9	22.5	25.4	4.1	12.9	0.6	-	2.8	3.5	-
身体障がいのみ	75	17.3	21.3	28.0	10.7	14.7	10.7	4.0	-	-	4.0	6.7	-
知的障がいのみ	314	11.5	42.4	2.9	29.9	23.9	3.2	14.3	-	-	2.2	1.6	-
精神障がいのみ	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
重複障がい (身体障がい・知的障がい)	119	5.9	47.1	-	10.1	37.0	0.8	14.3	2.5	-	3.4	6.7	-
重複障がい (身体障がい・精神障がい)	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
重複障がい (知的障がい・精神障がい)	15	-	26.7	6.7	20.0	33.3	13.3	20.0	-	-	-	6.7	-
重複障がい (身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	-	33.3	-	-	66.7	-	-	-	-	-	-	-
無回答	15	20.0	40.0	-	26.7	6.7	6.7	13.3	-	-	6.7	-	-

(5) 通園・通学で困っていること

[問16で「1」～「17」を選ばれた方におたずねします]

問16-1 通園・通学で困っていることがありますか。(○はあてはまるものすべて)

【図表6-39 通園・通学で困っていること】



【図表6-40 障がいの状況別、通園・通学先別 通園・通学で困っていること】 (%)

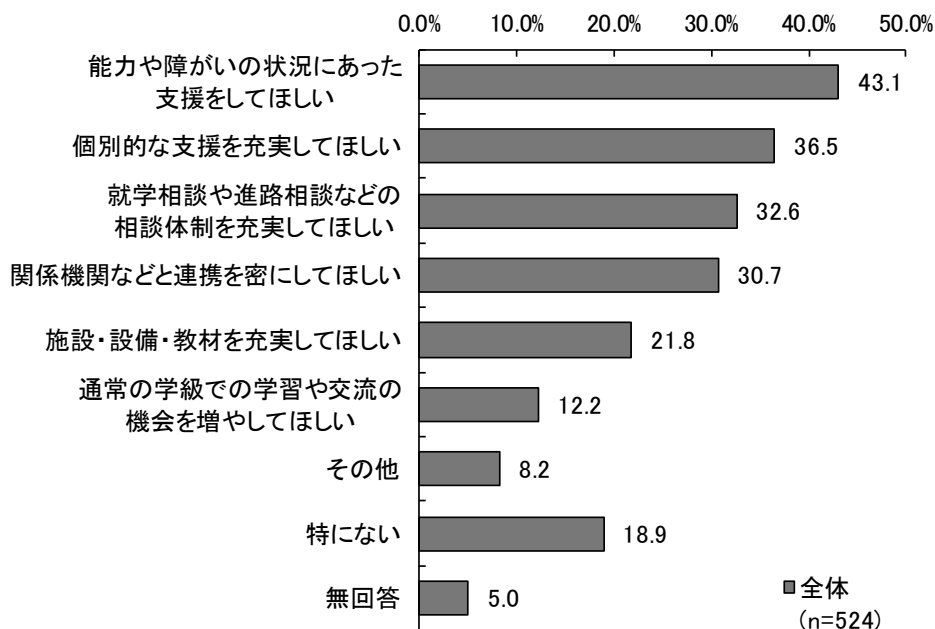
	調査数(人)	通園・通学で困っていること											
		ひとりでは通えない	園や学校までの距離が遠い	援学校内・園内での介助や支援が十分でない	先生の配慮や生徒たちの理解が得られない	園での活動や学校の授業についていけない	スクールの相談体制が十分でない	者に配慮された設備がない	トイレなどの設備が障がい者に受けられない	医療的なケア(吸引・導尿など)が受けられない	その他	特にない	無回答
全体	524	33.2	19.1	9.5	8.2	7.8	5.0	3.1	1.1	10.7	34.9	5.2	
障がいの状況	身体障がいのみ	70	24.3	27.1	12.9	11.4	5.7	2.9	7.1	2.9	12.9	44.3	4.3
	知的障がいのみ	309	31.7	14.2	9.1	7.4	9.7	6.2	2.6	0.3	10.0	35.0	5.5
	精神障がいのみ	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	111	44.1	27.9	5.4	3.6	4.5	2.7	2.7	2.7	12.6	32.4	3.6
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	14	28.6	14.3	28.6	14.3	7.1	7.1	-	-	7.1	21.4	14.3
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	66.7	33.3	33.3	66.7	33.3	-	-	-	-	33.3	-
	無回答	15	26.7	20.0	13.3	20.0	-	6.7	-	-	6.7	26.7	-
全体	524	33.2	19.1	9.5	8.2	7.8	5.0	3.1	1.1	10.7	34.9	5.2	
通園・通学先	幼稚園・保育所	61	16.4	16.4	26.2	3.3	16.4	3.3	-	1.6	9.8	41.0	3.3
	障がい児通園施設等	216	38.9	23.1	7.4	5.6	4.2	4.6	3.2	1.4	14.4	30.1	3.7
	小・中学校(通常学級)	32	15.6	21.9	15.6	25.0	18.8	6.3	6.3	3.1	3.1	34.4	9.4
	小・中学校(特別支援学級)	123	33.3	8.9	12.2	16.3	12.2	8.1	6.5	-	11.4	26.8	4.1
	特別支援学校 小・中学部	138	52.2	26.8	5.8	6.5	2.2	5.8	2.2	1.4	11.6	26.1	3.6
	高校	22	9.1	9.1	4.5	9.1	9.1	4.5	-	-	-	63.6	9.1
	特別支援学校 高等部	70	35.7	20.0	7.1	4.3	4.3	4.3	4.3	2.9	11.4	47.1	4.3
	訪問教育	3	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	66.7	-
	大学・短大・専門学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	15	26.7	13.3	-	-	-	-	-	-	13.3	33.3	26.7
	通っていない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(6) 通園・通学先に望むこと

[問16で「1」～「17」を選ばれた方におたずねします]

問16-2 通園・通学先にどのようなことを望みますか。(○はあてはまるものすべて)

【図表6-41 通園・通学先に望むこと】



【図表6-42 通園・通学先別 通園・通学先に望むこと】 (%)

	調査数 (人)	通園・通学先に望むこと									
		能力や障がいの状況にあった支援をしてほしい	個別的な支援を充実してほしい	相談体制を充実してほしい	就学相談や進路相談などの相談体制を充実してほしい	関係機関などと連携を密にほしい	施設・設備・教材を充実してほしい	通常の学級での学習や交流の機会を増やしてほしい	その他	特にない	無回答
全体	524	43.1	36.5	32.6	30.7	21.8	12.2	8.2	18.9	5.0	
通園・通学先	幼稚園・保育所	61	49.2	36.1	27.9	41.0	18.0	14.8	9.8	9.8	3.3
	障がい児通園施設等	216	47.2	38.9	38.9	32.9	25.9	11.6	10.2	16.7	2.8
	小・中学校(通常学級)	32	18.8	18.8	34.4	21.9	15.6	9.4	3.1	31.3	3.1
	小・中学校(特別支援学級)	123	48.8	44.7	37.4	33.3	25.2	20.3	4.1	16.3	4.1
	特別支援学校 小・中学部	138	50.7	40.6	33.3	34.1	23.2	8.7	8.0	15.2	5.1
	高校	22	9.1	13.6	22.7	9.1	4.5	4.5	4.5	45.5	13.6
	特別支援学校 高等部	70	38.6	37.1	30.0	34.3	17.1	10.0	12.9	18.6	4.3
	訪問教育	3	-	-	-	-	-	-	33.3	66.7	-
	大学・短大・専門学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	15	33.3	13.3	20.0	20.0	20.0	20.0	13.3	13.3	26.7
	通っていない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

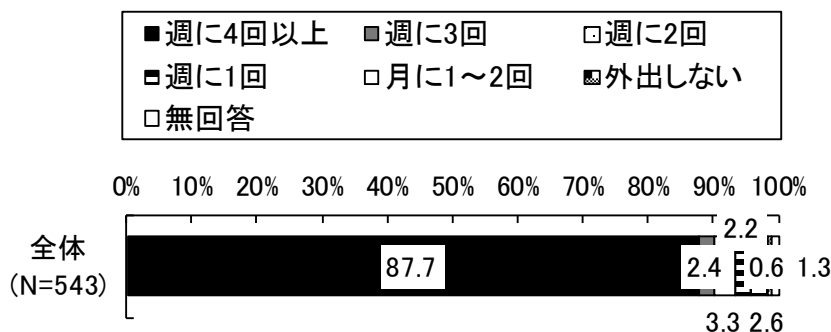
6. 外出の状況について

- ・外出の頻度は、回答者全体で「週に4回以上」が9割弱（87.7%）で最も高く、その他はいずれも5%未満となっている。年齢別にみると、0～2歳と15～17歳では「週に4回以上」の割合が他に比べて低い。【図表6-43、図表6-44】
- ・外出時に不便や困難を感じることにについて、障がいの状況別にみると、重複障がい児（身体障がい・知的障がい）では「歩道に段差が多い」（44.5%）や「障がい者用トイレが少ない」（36.1%）、「障がい者用駐車場が少ない」（31.9%）といった項目の回答割合が高くなっている。また、知的障がい児（知的障がいのみ）では、「まわりの人の目が気になる」が全体と比較してやや高くなっている。【図表6-50】

(1) 外出の頻度

問17 お子さんは、通園・通学や通勤、通院、買い物、レジャーなどの外出を1ヶ月にどのくらいしていますか。付き添い者と一緒に外出する場合も含めてお答えください。
 (○は1つだけ)

【図表6-43 外出の頻度】



【図表6-44 障がいの状況別、年齢別 外出の頻度】 (%)

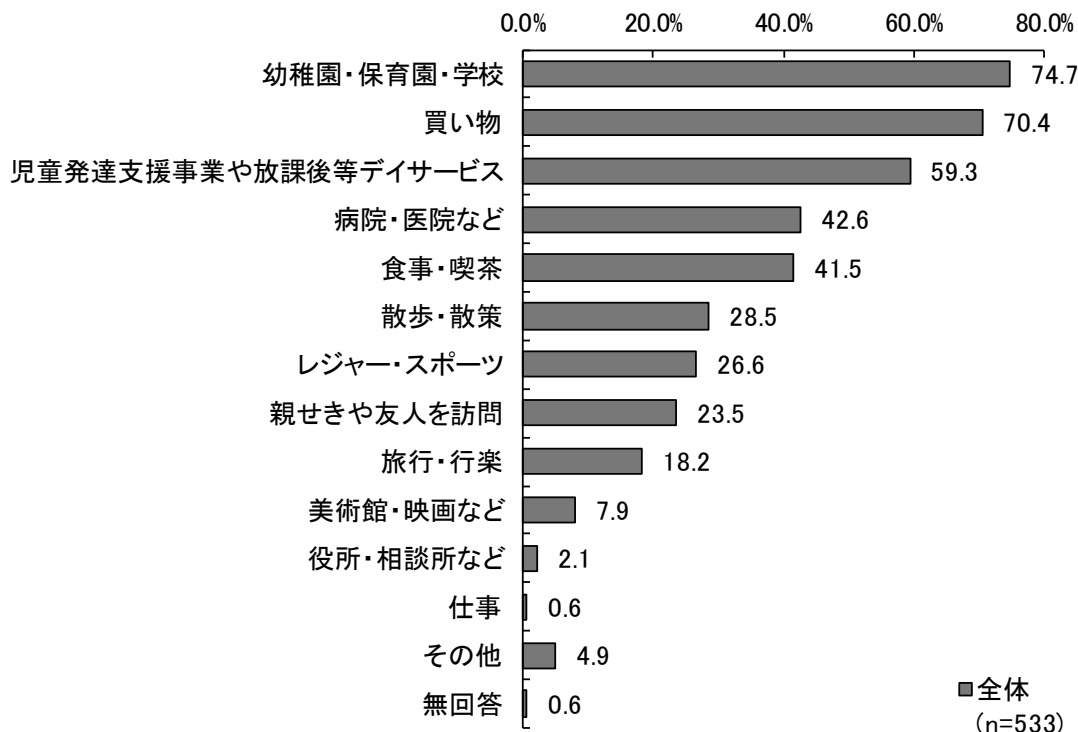
	調査数 (人)	外出の頻度							
		週に4回以上	週に3回	週に2回	週に1回	月に1～2回	外出しない	無回答	
全体	543	87.7	2.4	3.3	2.2	2.6	0.6	1.3	
障がいの状況	身体障がいのみ	75	89.3	2.7	4.0	1.3	2.7	-	-
	知的障がいのみ	314	90.1	2.2	2.2	2.2	1.3	-	1.9
	精神障がいのみ	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	81.5	3.4	5.0	1.7	5.0	2.5	0.8
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	73.3	-	6.7	13.3	6.7	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	100.0	-	-	-	-	-	-
	無回答	15	86.7	-	6.7	-	6.7	-	-
全体	543	87.7	2.4	3.3	2.2	2.6	0.6	1.3	
年齢	0～2歳	19	73.7	15.8	5.3	-	5.3	-	-
	3～5歳	123	89.4	2.4	4.1	0.8	1.6	0.8	0.8
	6～8歳	98	93.9	1.0	2.0	-	1.0	-	2.0
	9～11歳	96	94.8	1.0	1.0	2.1	-	1.0	-
	12～14歳	97	89.7	2.1	3.1	3.1	2.1	-	-
	15～17歳	106	75.5	2.8	4.7	5.7	7.5	0.9	2.8
	無回答	4	50.0	-	25.0	-	-	-	25.0

(2) 主な外出先

[問17で「1」～「5」を選ばれた方におたずねします]

問17-1 どのようなところに外出することが多いですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表6-45 主な外出先】



【図表6-46 障がいの状況別、年齢別 主な外出先】 (%)

	調査数 (人)	主な外出先														
		幼稚園・保育園・学校	買い物	放課後等デイサービス	児童発達支援事業や	病院・医院など	食事・喫茶	散歩・散策	レジャー・スポーツ	親せきや友人を訪問	旅行・行楽	美術館・映画など	役所・相談所など	仕事	その他	無回答
全体	533	74.7	70.4	59.3	42.6	41.5	28.5	26.6	23.5	18.2	7.9	2.1	0.6	4.9	0.6	
障がいの状況	身体障がいのみ	75	78.7	78.7	33.3	53.3	50.7	25.3	38.7	40.0	18.7	17.3	5.3	-	9.3	2.7
	知的障がいのみ	308	79.6	70.5	63.0	31.5	41.6	29.6	29.2	22.4	19.8	8.1	1.0	0.3	3.3	0.3
	精神障がいのみ	1	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	115	64.4	67.0	72.2	63.5	34.8	27.0	13.0	18.3	12.2	2.6	1.7	0.9	4.4	-
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	100.0	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	60.0	73.3	33.3	53.3	40.0	33.3	13.3	13.3	20.0	-	-	-	6.7	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	66.7	100.0	66.7	100.0	66.7	-	33.3	-	66.7	-	-	33.3	33.3	-
	無回答	15	46.7	46.7	40.0	40.0	33.3	33.3	26.7	13.3	13.3	6.7	13.3	-	13.3	-
全体	533	74.7	70.4	59.3	42.6	41.5	28.5	26.6	23.5	18.2	7.9	2.1	0.6	4.9	0.6	
年齢	0～2歳	19	36.8	68.4	52.6	68.4	26.3	63.2	10.5	31.6	10.5	-	10.5	-	10.5	-
	3～5歳	121	57.0	74.4	57.9	51.2	47.1	43.8	33.9	28.1	19.0	5.8	2.5	0.8	5.0	-
	6～8歳	96	85.4	72.9	71.9	39.6	44.8	26.0	28.1	25.0	27.1	8.3	1.0	-	2.1	1.0
	9～11歳	95	86.3	74.7	72.6	44.2	46.3	29.5	28.4	29.5	21.1	8.4	2.1	1.1	3.2	-
	12～14歳	97	81.4	66.0	56.7	34.0	39.2	20.6	30.9	17.5	12.4	9.3	-	-	8.2	2.1
	15～17歳	102	75.5	63.7	40.2	37.3	33.3	13.7	14.7	15.7	13.7	9.8	2.9	1.0	4.9	-
	無回答	3	66.7	66.7	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

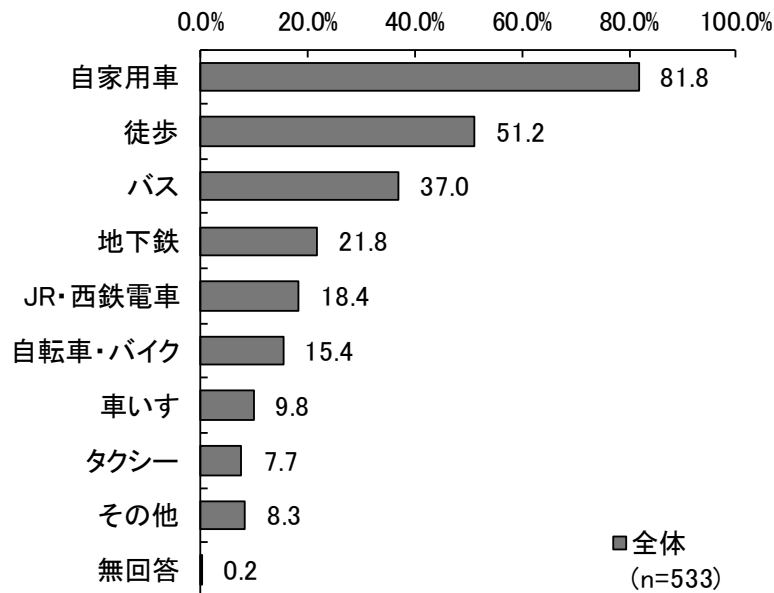
(3) 外出時の移動手段

[問17で「1」～「5」を選ばれた方におたずねします]

問17-2 どのような方法で、あるいはどのような移動手段を使って外出しますか。

(○はあてはまるものすべて)

【図表6-47 外出時の移動手段】



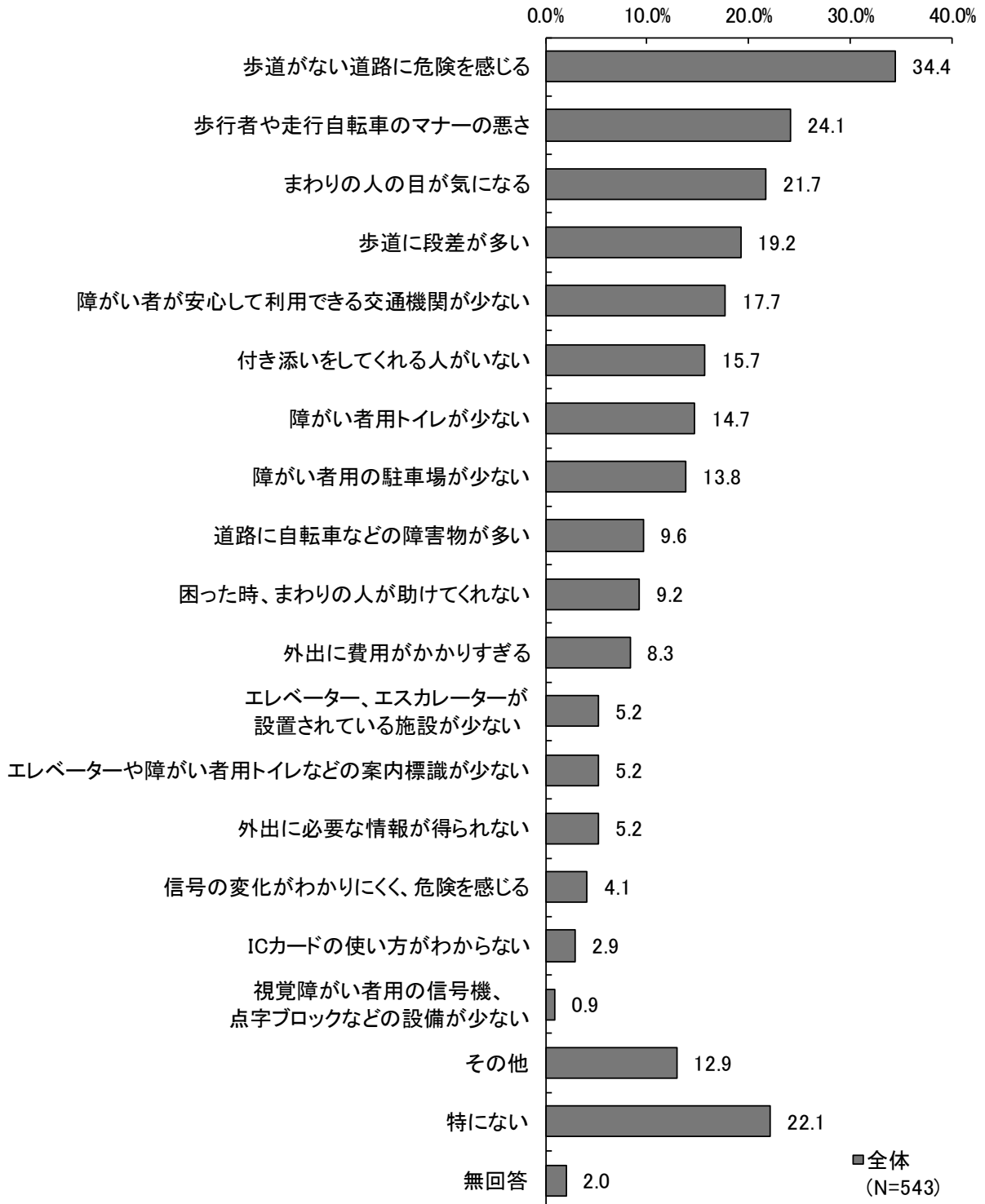
【図表6-48 障がいの状況別、年齢別 外出時の移動手段】 (%)

	調査数 (人)	外出時の移動手段										
		自家用車	徒歩	バス	地下鉄	JR・西鉄電車	自転車・バイク	車いす	タクシー	その他	無回答	
全体	533	81.8	51.2	37.0	21.8	18.4	15.4	9.8	7.7	8.3	0.2	
障がいの状況	身体障がいのみ	75	86.7	49.3	34.7	25.3	25.3	16.0	17.3	9.3	4.0	-
	知的障がいのみ	308	79.2	61.7	40.3	21.1	18.5	17.5	-	6.5	7.8	0.3
	精神障がいのみ	1	100.0	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	115	87.0	24.4	26.1	18.3	11.3	6.1	33.0	8.7	12.2	-
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0	-	100.0	-	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	80.0	60.0	60.0	40.0	6.7	26.7	-	13.3	6.7	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	66.7	33.3	66.7	66.7	66.7	-	33.3	33.3	33.3	-
	無回答	15	73.3	40.0	40.0	20.0	33.3	20.0	-	-	6.7	-
全体	533	81.8	51.2	37.0	21.8	18.4	15.4	9.8	7.7	8.3	0.2	
年齢	0~2歳	19	84.2	42.1	26.3	10.5	15.8	10.5	-	10.5	10.5	-
	3~5歳	121	91.7	47.9	26.4	14.9	13.2	16.5	5.8	10.7	10.7	-
	6~8歳	96	88.5	61.5	31.3	16.7	13.5	15.6	12.5	3.1	4.2	-
	9~11歳	95	77.9	53.7	38.9	26.3	22.1	13.7	12.6	9.5	6.3	-
	12~14歳	97	81.4	57.7	43.3	25.8	18.6	18.6	7.2	6.2	11.3	1.0
	15~17歳	102	66.7	39.2	49.0	28.4	26.5	13.7	13.7	6.9	7.8	-
	無回答	3	100.0	33.3	33.3	33.3	-	-	-	33.3	-	-

(4) 外出時に不便や困難を感じること

問18 お子さんの外出に関して、どのようなことに不便や困難を感じますか。(〇は5つまで)

【図表6-49 外出時に不便や困難を感じること】



【図表6-50 障がいの状況別、年齢別 外出時に不便や困難を感じること】(%)

		調査数(人)	外出時に不便や困難を感じること									
			歩道がない道路に危険を感じる	悪さ歩行者や走行自転車のマナーの	まわりの人の目が気になる	歩道に段差が多い	交通機関が少ない	障がい者が安心して利用できる	付き添いをしてくれる人がいな	障がい者用トイレが少ない	障がい者用の駐車場が少ない	道路に自転車などの障害物が多い
全体		543	34.4	24.1	21.7	19.2	17.7	15.7	14.7	13.8	9.6	9.2
障がいの状況	身体障がいのみ	75	25.3	20.0	6.7	26.7	16.0	4.0	20.0	20.0	9.3	6.7
	知的障がいのみ	314	37.6	26.1	26.1	8.3	15.3	18.5	6.7	5.7	9.6	11.5
	精神障がいのみ	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	32.8	18.5	16.8	44.5	26.9	13.5	36.1	31.9	9.2	4.2
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	40.0	40.0	26.7	6.7	13.3	26.7	-	6.7	20.0	20.0
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	33.3	66.7	-	66.7	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	-
無回答	15	20.0	26.7	46.7	13.3	6.7	20.0	-	6.7	-	6.7	
全体		543	34.4	24.1	21.7	19.2	17.7	15.7	14.7	13.8	9.6	9.2
年齢	0~2歳	19	31.6	21.1	15.8	21.1	5.3	5.3	5.3	10.5	5.3	-
	3~5歳	123	31.7	17.1	26.0	19.5	16.3	11.4	11.4	16.3	6.5	8.9
	6~8歳	98	43.9	24.5	26.5	13.3	24.5	11.2	12.2	11.2	8.2	9.2
	9~11歳	96	45.8	29.2	18.8	27.1	17.7	16.7	17.7	17.7	13.5	6.3
	12~14歳	97	28.9	29.9	22.7	16.5	12.4	23.7	16.5	12.4	12.4	10.3
	15~17歳	106	25.5	22.6	14.2	19.8	19.8	17.0	18.9	11.3	9.4	12.3
	無回答	4	-	25.0	50.0	-	25.0	50.0	-	25.0	-	25.0

		調査数(人)	外出時に不便や困難を感じること									
			外出に費用がかかりすぎる	エレベーター、エスカレーターが設置されていない	エレベーターや障がい者用トイレなどの案内標識が少ない	外出に必要な情報が得られない	信号の変化がわかりにくく、危険を感じる	ICカードの使い方がわからない	視覚障がい者用の設備が少ない	その他	特にな	無回答
全体		543	8.3	5.2	5.2	5.2	4.1	2.9	0.9	12.9	22.1	2.0
障がいの状況	身体障がいのみ	75	2.7	8.0	8.0	4.0	6.7	1.3	2.7	14.7	32.0	2.7
	知的障がいのみ	314	9.2	1.6	1.9	4.1	4.5	3.8	1.0	9.6	25.2	1.9
	精神障がいのみ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	8.4	13.5	13.5	5.9	1.7	0.8	-	19.3	8.4	2.5
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	20.0	-	-	6.7	6.7	-	-	13.3	33.3	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3	-	-
無回答	15	-	-	-	20.0	-	13.3	-	20.0	6.7	-	
全体		543	8.3	5.2	5.2	5.2	4.1	2.9	0.9	12.9	22.1	2.0
年齢	0~2歳	19	-	5.3	10.5	-	-	-	-	31.6	21.1	-
	3~5歳	123	6.5	8.1	6.5	3.3	2.4	-	-	17.9	22.8	3.3
	6~8歳	98	7.1	5.1	3.1	3.1	6.1	4.1	1.0	12.2	13.3	4.1
	9~11歳	96	9.4	5.2	6.3	5.2	3.1	3.1	2.1	6.3	19.8	1.0
	12~14歳	97	11.3	3.1	5.2	7.2	5.2	4.1	-	4.1	27.8	-
	15~17歳	106	8.5	3.8	3.8	6.6	4.7	4.7	0.9	17.0	27.4	1.9
	無回答	4	25.0	-	-	50.0	-	-	25.0	50.0	-	-

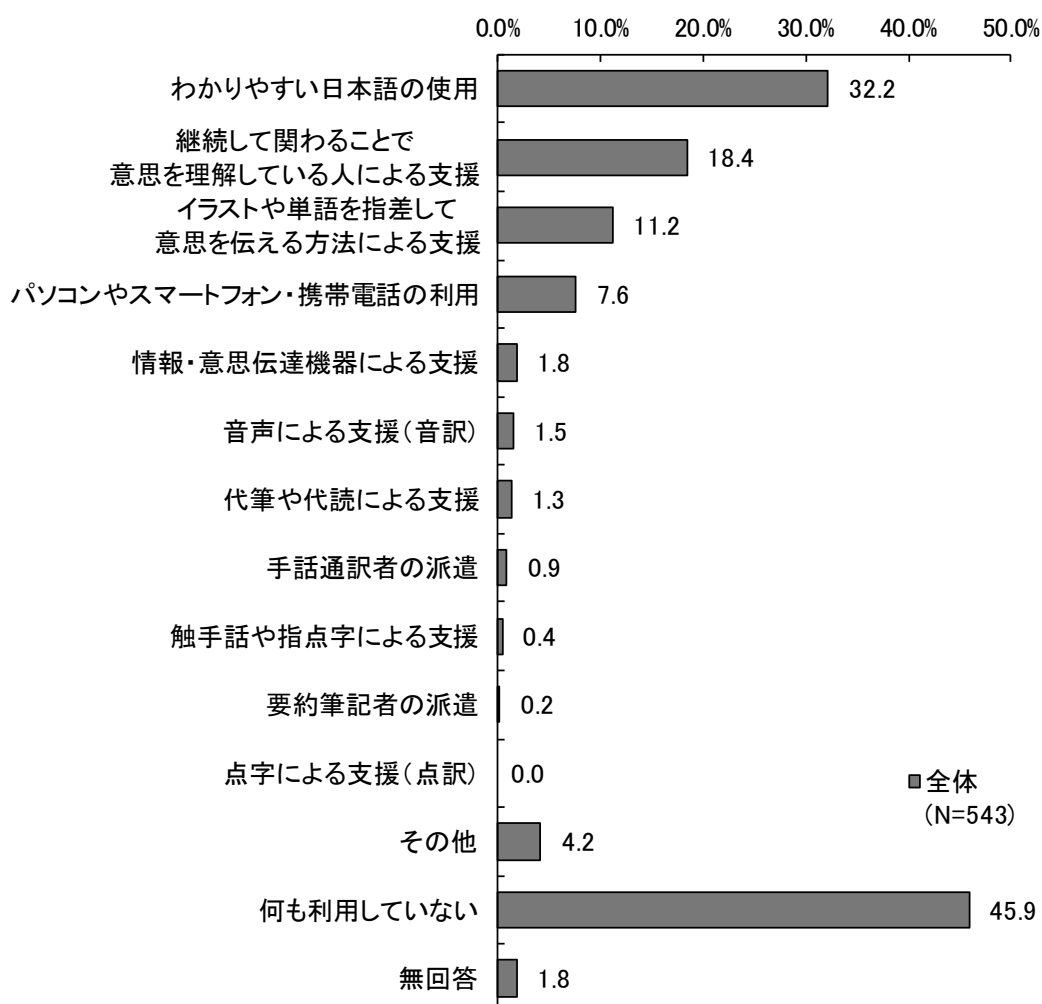
7. コミュニケーションについて

- ・利用しているコミュニケーション支援について、障がいの状況別にみると、身体障がい児（身体障がいのみ）では「何も利用していない」（66.7%）、知的障がい児（知的障がいのみ）では「わかりやすい日本語の使用」（43.0%）、重複障がい児（身体障がい・知的障がい）では「継続して関わることで意思を理解してくれる人による支援」（30.3%）の回答割合が他と比較して高くなっている。年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「パソコンやスマートフォン・携帯電話の利用」の回答割合が高くなる傾向となっている。【図表6-52】
- ・コミュニケーションで困っていることの有無について、「ある」が75.9%となっている。障がいの状況別にみると、知的障がい児（知的障がいのみ）・重複障がい児（身体障がい・知的障がい）では、身体障がい児（身体障がいのみ）に比べてコミュニケーションで困っていることが「ある」の割合が高くなっている。【図表6-53、図表6-54】
- ・コミュニケーション（意思疎通）する上で困っていることの内容について、障がいの状況別にみると、身体障がい児（身体障がいのみ）では「相手の話が聞き取りづらい」（38.9%）、知的障がい児（知的障がいのみ）では「難しい内容やあいまいな表現を理解することが難しい」（68.2%）、「話をうまく組み立てられない」（50.6%）の割合が他と比較して高くなっている。【図表6-56】

(1) 利用しているコミュニケーション支援

問19 お子さんは、普段、どのようなコミュニケーション（意思疎通）の支援を利用していますか。（○はあてはまるものすべて）

【図表6-51 利用しているコミュニケーション支援】



【図表6-52 障がいの状況別、年齢別 利用しているコミュニケーション支援】(%)

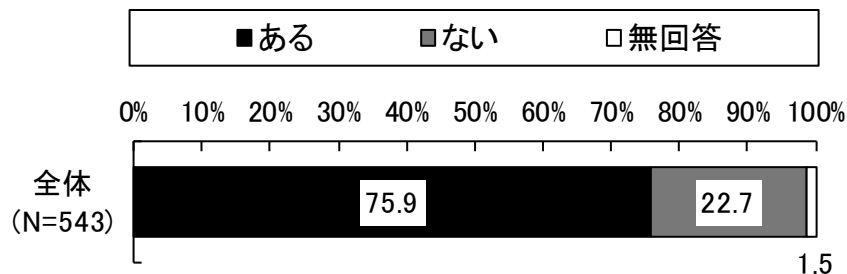
		調査数(人)	利用しているコミュニケーション支援						
			わかりやすい日本語の使用	継続して関わる人による支援	イラストや単語を指差して意思を伝える方法による支援	携帯電話やスマートフォン・パソコンの利用	情報・意思伝達機器による支援	音声による支援(音訳)	代筆や代読による支援
全体		543	32.2	18.4	11.2	7.6	1.8	1.5	1.3
障がいの状況	身体障がいのみ	75	12.0	6.7	5.3	5.3	5.3	2.7	1.3
	知的障がいのみ	314	43.0	15.9	13.1	8.6	0.6	1.0	1.3
	精神障がいのみ	1	-	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	17.7	30.3	10.1	4.2	3.4	2.5	0.8
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	26.7	33.3	6.7	26.7	-	-	6.7
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	33.3	100.0	33.3	33.3	-	-	-
	無回答	15	33.3	6.7	13.3	-	-	-	-
全体		543	32.2	18.4	11.2	7.6	1.8	1.5	1.3
年齢	0~2歳	19	10.5	-	5.3	-	-	-	-
	3~5歳	123	23.6	10.6	13.8	3.3	0.8	0.8	-
	6~8歳	98	45.9	12.2	18.4	3.1	2.0	4.1	1.0
	9~11歳	96	33.3	24.0	10.4	6.3	3.1	-	2.1
	12~14歳	97	41.2	26.8	10.3	12.4	2.1	1.0	1.0
	15~17歳	106	22.6	22.6	4.7	15.1	1.9	1.9	2.8
	無回答	4	75.0	50.0	-	-	-	-	-

		調査数(人)	利用しているコミュニケーション支援						
			手話通訳者の派遣	触手話や指点字による支援	要約筆記者の派遣	点字による支援(点訳)	その他	何も利用していない	無回答
全体		543	0.9	0.4	0.2	-	4.2	45.9	1.8
障がいの状況	身体障がいのみ	75	-	-	1.3	-	5.3	66.7	4.0
	知的障がいのみ	314	0.6	0.3	-	-	2.9	41.1	0.3
	精神障がいのみ	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	1.7	0.8	-	-	7.6	46.2	3.4
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	-	-	-	-	-	26.7	13.3
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	33.3	-	-	-	33.3	-	-
	無回答	15	-	-	-	-	-	60.0	-
全体		543	0.9	0.4	0.2	-	4.2	45.9	1.8
年齢	0~2歳	19	-	-	-	-	10.5	84.2	-
	3~5歳	123	0.8	0.8	-	-	5.7	53.7	2.4
	6~8歳	98	-	-	1.0	-	2.0	41.8	-
	9~11歳	96	3.1	1.0	-	-	5.2	43.8	1.0
	12~14歳	97	-	-	-	-	3.1	38.1	3.1
	15~17歳	106	0.9	-	-	-	2.8	43.4	2.8
	無回答	4	-	-	-	-	25.0	25.0	-

(2) コミュニケーションで困っていることの有無

問20 お子さんは、コミュニケーション（意思疎通）する上で、困っていることがありますか。
（○は1つだけ）

【図表6-53 コミュニケーションで困っていることの有無】



【図表6-54 障がいの状況別、年齢別 コミュニケーションで困っていることの有無】 (%)

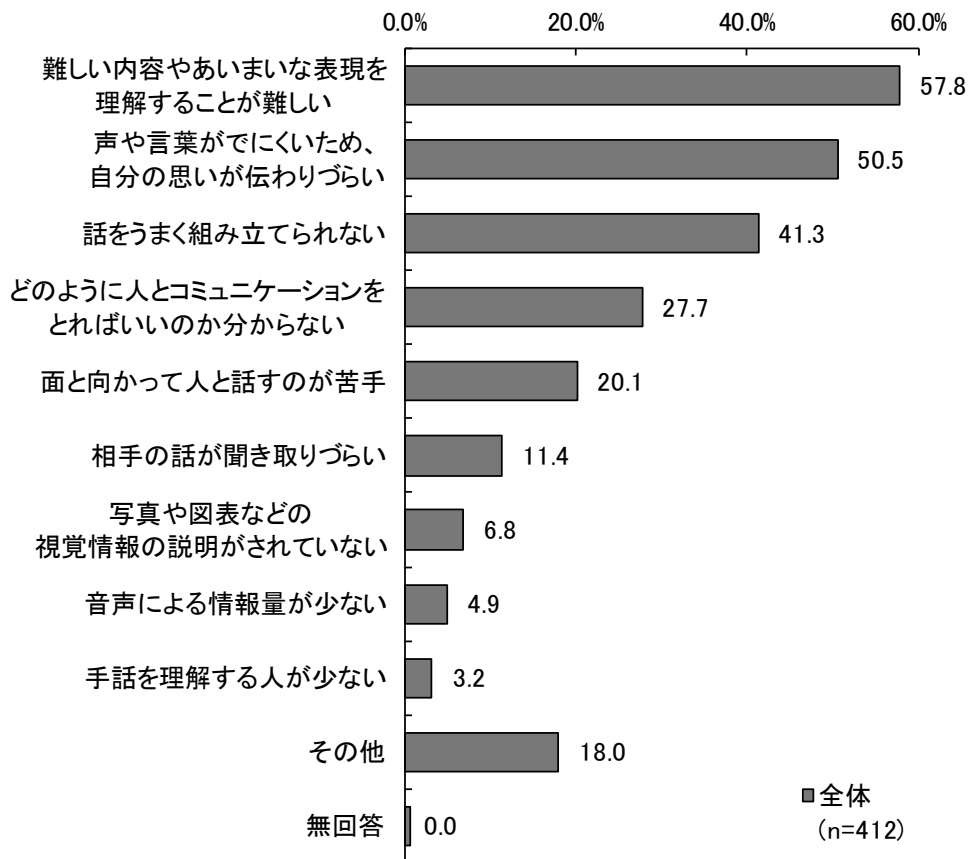
		調査数 (人)	コミュニケーションで 困っていることの有無		
			ある	ない	無回答
全体		543	75.9	22.7	1.5
障がいの 状況	身体障がいのみ	75	48.0	49.3	2.7
	知的障がいのみ	314	81.2	18.2	0.6
	精神障がいのみ	1	100.0	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	75.6	21.0	3.4
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	100.0	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	100.0	-	-
	重複障がい (身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	100.0	-	-
	無回答	15	80.0	20.0	-
全体		543	75.9	22.7	1.5
年齢	0~2歳	19	42.1	57.9	-
	3~5歳	123	78.9	19.5	1.6
	6~8歳	98	76.5	23.5	-
	9~11歳	96	81.3	17.7	1.0
	12~14歳	97	75.3	21.6	3.1
	15~17歳	106	72.6	25.5	1.9
	無回答	4	100.0	-	-

(3) コミュニケーションで困っていること

[問20で「1」を選ばれた方におたずねします]

問20-1 どのようなことで困っていますか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表6-55 コミュニケーションで困っていること】



【図表6-56 障がいの状況別 コミュニケーションで困っていること】 (%)

障がいの状況	調査数 (人)	コミュニケーションで困っていること										
		難しい内容やあいまいな表現を理解することが難しい	声や言葉がでにくいいため、自分の思いが伝わりづらい	話をうまく組み立てられない	どのように人とコミュニケーションをとればいいのか分からない	面と向かって人と話すのが苦手	相手の話が聞き取りづらい	写真や図表などの視覚情報の説明がされていない	音声による情報量が少ない	手話を理解する人が少ない	その他	無回答
全体	412	57.8	50.5	41.3	27.7	20.2	11.4	6.8	4.9	3.2	18.0	0.7
身体障がいのみ	36	44.4	38.9	33.3	13.9	16.7	38.9	11.1	11.1	19.4	22.2	-
知的障がいのみ	255	68.2	52.6	50.6	31.4	24.7	10.2	7.1	5.1	0.4	12.6	0.4
精神障がいのみ	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
重複障がい(身体障がい・知的障がい)	90	34.4	50.0	14.4	16.7	8.9	4.4	4.4	1.1	4.4	31.1	2.2
重複障がい(身体障がい・精神障がい)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	66.7	33.3	46.7	33.3	26.7	6.7	-	-	-	20.0	-
重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	66.7	66.7	66.7	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3	33.3	-
無回答	12	33.3	66.7	58.3	66.7	16.7	8.3	8.3	16.7	-	16.7	-

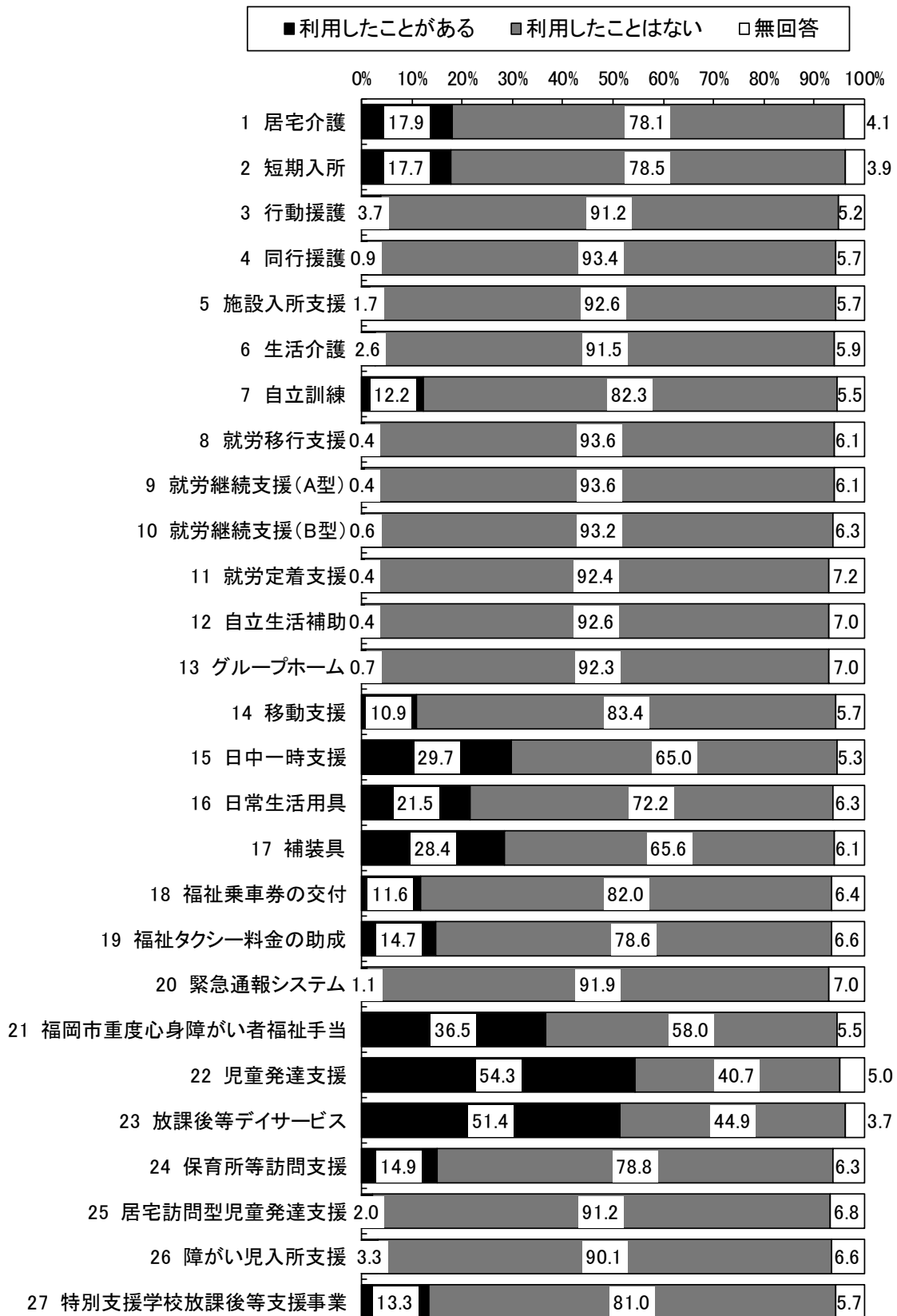
8. 福祉サービスの利用について

- ・福祉サービスの利用状況について、「利用したことがある」の割合が高いものとしては、『22 児童発達支援』（54.3%）、『23 放課後等デイサービス』（51.4%）、『21 福岡市重度心身障がい者福祉手当』（36.5%）の順となっている。【図表6-57】
- ・福祉サービスの利用意向について、「ぜひ利用したい」の割合が高いものとしては、『23 放課後等デイサービス』（61.3%）、『22 児童発達支援』（42.2%）、『21 福岡市重度心身障がい者福祉手当』（39.0%）の順となっている。【図表6-58】
- ・対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無について、障がいの状況別にみると、重複障がい児（身体障がい・知的障がい）では「ある」が50%超（52.1%）を占めている。対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスとしては「放課後等デイサービス」（24.0%）が最も高く、次いで「短期入所」（20.8%）、「児童発達支援」（19.7%）となっている。【図表6-60、図表6-61】
- ・対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスについて、障がいの状況別にみると、身体障がい児（身体障がいのみ）では「補装具」（33.3%）と「日常生活用具」（25.9%）、知的障がい児（知的障がいのみ）では「グループホーム」（25.9%）、重複障がい児（身体障がい・知的障がい）では「短期入所」（41.9%）の割合がそれぞれ他の障がい児に比べて高くなっている。年齢別にみると、12歳以上では「グループホーム」、15歳以上では「就労継続支援（A型）」や「施設入所支援」、「生活介護」といった項目で回答割合が高い。【図表6-62】

(1) 福祉サービスの利用状況

問2 1 お子さんは、次のようなサービスを利用したことがありますか。また、今後（2～3年以内に）利用したいと思いますか。
1～27の項目ごとに、利用状況と利用意向のそれぞれについて○をつけてください。

【図表6-57 福祉サービスの利用状況】

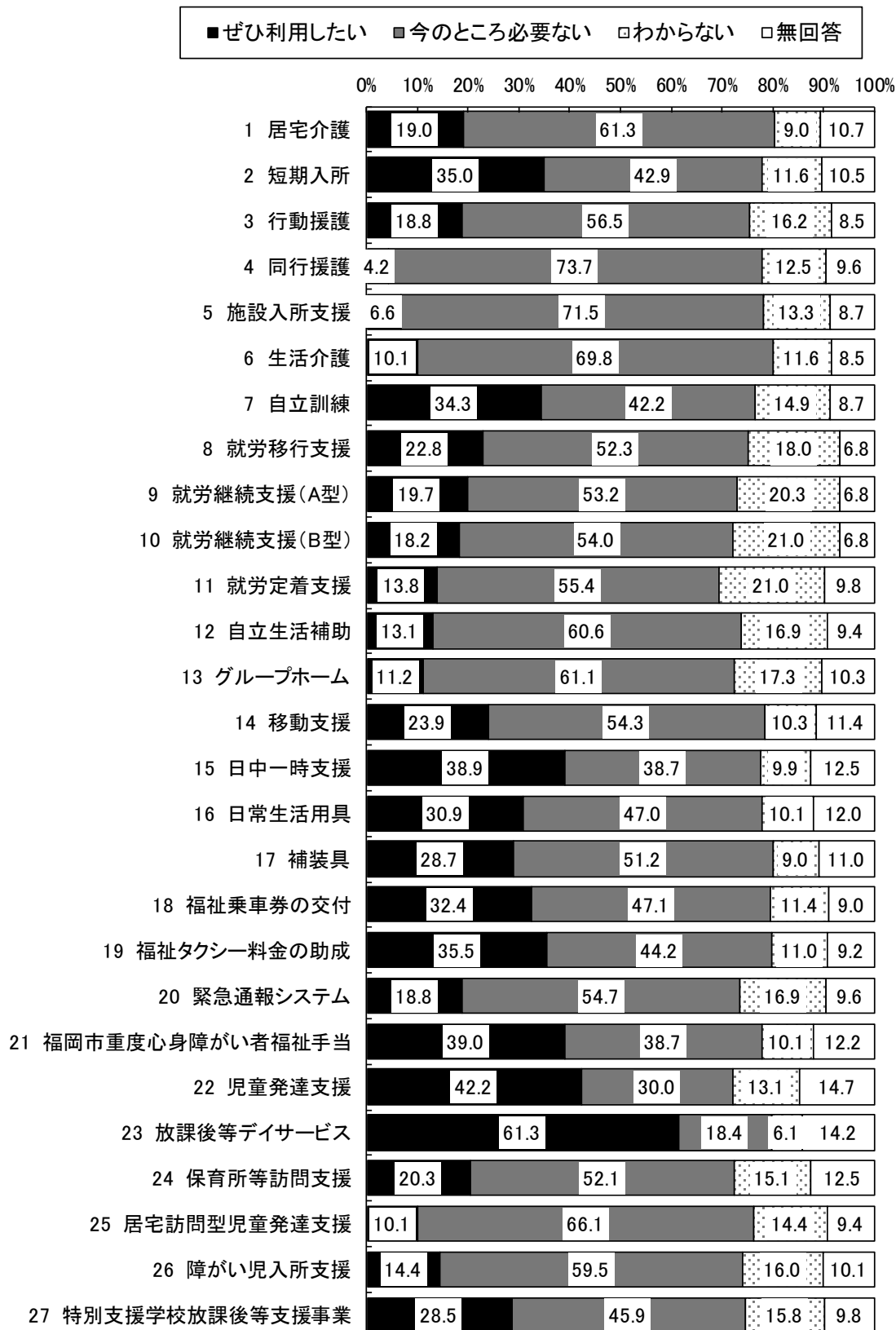


各項目とも(N=543)

(2) 福祉サービスの利用意向

問2 1 お子さんは、次のようなサービスを利用したことがありますか。また、今後（2～3年以内に）利用したいと思いますか。
1～27の項目ごとに、利用状況と利用意向のそれぞれについて○をつけてください。

【図表6-58 福祉サービスの利用意向】

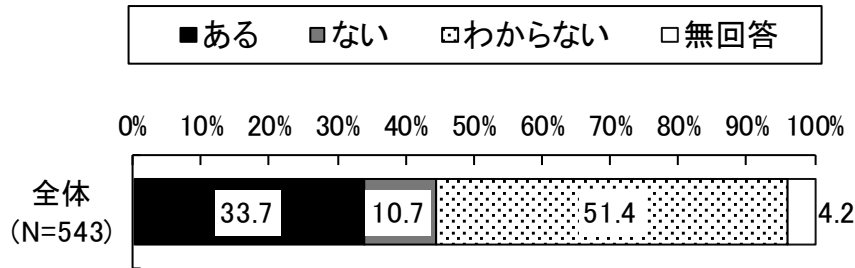


各項目とも(N=543)

(3) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無

問22 問21の1～27のサービス・事業の中で、サービスの量が不足していたり、利用対象・範囲の拡大などを図るべきだと思うものがありますか。(○は1つだけ)

【図表6-59 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無】



【図表6-60 障がいの状況別 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無】 (%)

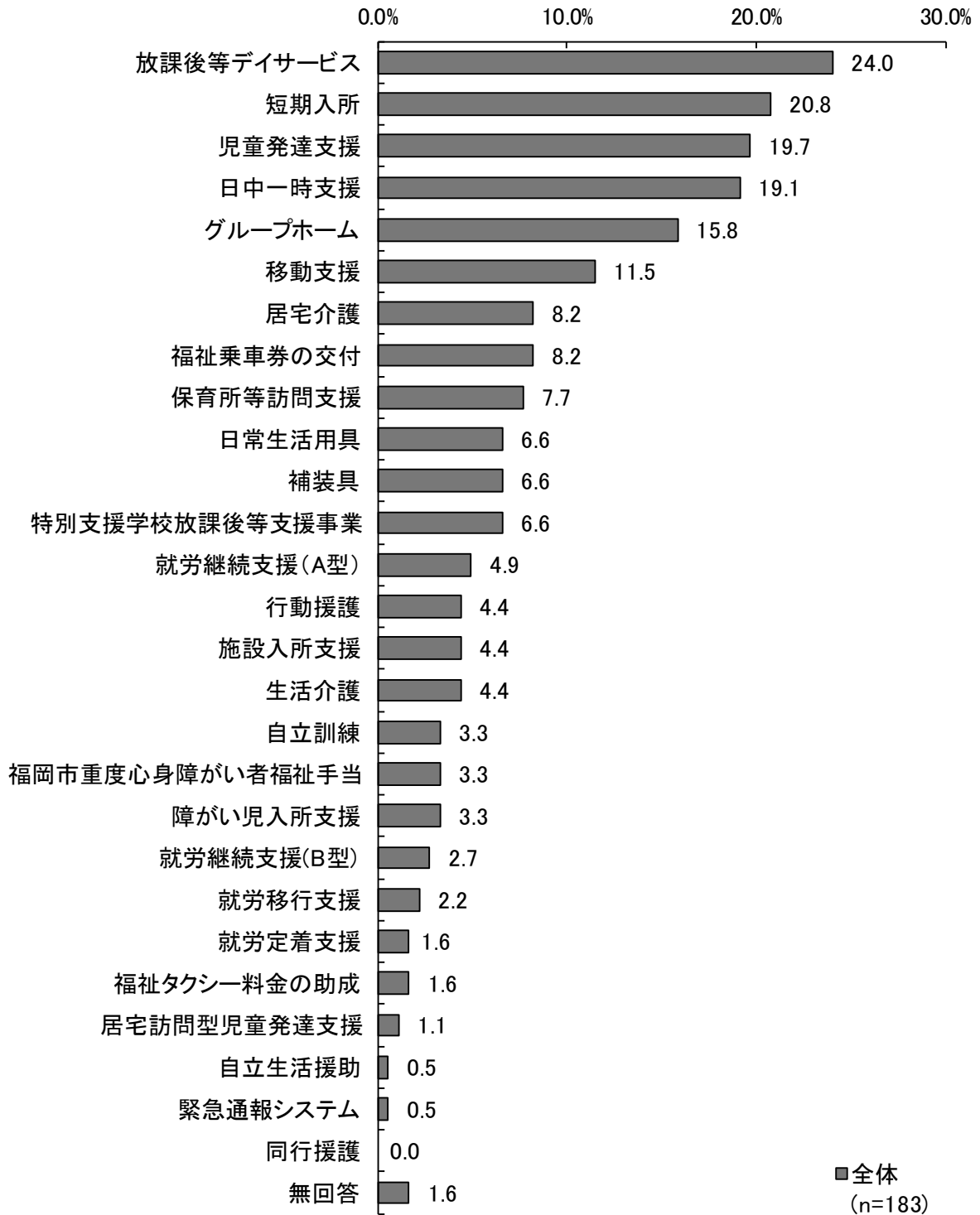
		調査数 (人)	対象・範囲の拡大をしてほしい 福祉サービスの有無			
			ある	ない	わからない	無回答
全体		543	33.7	10.7	51.4	4.2
障がいの 状況	身体障がいのみ	75	36.0	4.0	58.7	1.3
	知的障がいのみ	314	25.8	13.4	56.4	4.5
	精神障がいのみ	1	-	-	-	100.0
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	52.1	6.7	37.8	3.4
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	-	100.0	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	26.7	6.7	46.7	20.0
	重複障がい (身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	100.0	-	-	-
	無回答	15	40.0	26.7	33.3	-

(4) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス

[問22で「1」を選ばれた方におたずねします]

問22-1 それほどのサービス・事業ですか。優先度が高いと思うものを3つまで選んでください。(事業番号は1~27の数字を記入してください)

【図表6-61 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス】



【図表6-62 障がいの状況別、年齢別 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス】(%)

		調査数(人)	対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス													
			放課後等 デイサービス	短期入所	児童発達 支援	日中一時 支援	グルーブ ホーム	移動 支援	居宅 介護	福祉乗車 券の交付	保育所等 訪問支援	日常生活 用具	補装 具	特別支援 学校放課 後等支 援事業	就労継続 支援(A型)	行動 援護
全体		183	24.0	20.8	19.7	19.1	15.8	11.5	8.2	8.2	7.7	6.6	6.6	6.6	4.9	4.4
障がいの 状況	身体障がいのみ	27	11.1	-	18.5	11.1	3.7	11.1	7.4	14.8	14.8	25.9	33.3	14.8	-	-
	知的障がいのみ	81	24.7	11.1	23.5	23.5	25.9	8.6	4.9	6.2	8.6	1.2	1.2	7.4	9.9	3.7
	精神障がいのみ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	62	25.8	41.9	16.1	17.7	9.7	12.9	14.5	6.5	-	6.5	3.2	3.2	1.6	6.5
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	4	75.0	-	25.0	-	-	50.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-
	重複障がい (身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-
	無回答	6	16.7	33.3	-	16.7	16.7	-	-	-	50.0	-	-	-	-	16.7
全体		183	24.0	20.8	19.7	19.1	15.8	11.5	8.2	8.2	7.7	6.6	6.6	6.6	4.9	4.4
年齢	0~2歳	7	14.3	14.3	57.1	28.6	-	14.3	14.3	-	42.9	-	14.3	-	-	-
	3~5歳	56	10.7	14.3	46.4	35.7	-	5.4	1.8	1.8	12.5	12.5	10.7	8.9	-	1.8
	6~8歳	24	37.5	29.2	12.5	16.7	20.8	8.3	4.2	4.2	8.3	4.2	8.3	4.2	-	8.3
	9~11歳	31	51.6	16.1	6.5	-	6.5	16.1	16.1	9.7	3.2	-	6.5	3.2	9.7	9.7
	12~14歳	34	20.6	29.4	2.9	11.8	35.3	23.5	17.6	14.7	2.9	5.9	2.9	11.8	2.9	5.9
	15~17歳	29	17.2	24.1	-	13.8	31.0	6.9	3.4	17.2	-	6.9	-	3.4	17.2	-
	無回答	2	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

		調査数(人)	対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス													
			施設入所 支援	生活 介護	自立 訓練	福岡市 重度心 身障が い者 福祉手 当	障がい 児入所 支援	就労 継続 支援(B 型)	就労 移行 支援	就労 定着 支援	福祉 タクシ ー料 金の 助成	居宅 訪問 型児 童発 達支 援	自立 生活 援助	緊急 通報 シス テム	同行 援護	無 回 答
全体		183	4.4	4.4	3.3	3.3	3.3	2.7	2.2	1.6	1.6	1.1	0.5	0.5	-	1.6
障がいの 状況	身体障がいのみ	27	-	-	3.7	7.4	3.7	-	-	-	-	-	3.7	3.7	-	3.7
	知的障がいのみ	81	7.4	4.9	1.2	1.2	4.9	4.9	2.5	3.7	-	-	-	-	-	2.5
	精神障がいのみ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	62	3.2	6.5	4.8	3.2	1.6	1.6	3.2	-	3.2	1.6	-	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	重複障がい (身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-
	無回答	6	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-	-	-
全体		183	4.4	4.4	3.3	3.3	3.3	2.7	2.2	1.6	1.6	1.1	0.5	0.5	-	1.6
年齢	0~2歳	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3~5歳	56	-	-	1.8	3.6	3.6	-	-	-	-	3.6	-	1.8	-	1.8
	6~8歳	24	-	-	8.3	-	4.2	-	4.2	-	4.2	-	-	-	-	-
	9~11歳	31	6.5	6.5	3.2	3.2	-	9.7	-	3.2	3.2	-	-	-	-	-
	12~14歳	34	2.9	5.9	2.9	5.9	8.8	-	2.9	-	2.9	-	2.9	-	-	5.9
	15~17歳	29	17.2	13.8	3.4	3.4	-	6.9	6.9	6.9	-	-	-	-	-	-
	無回答	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

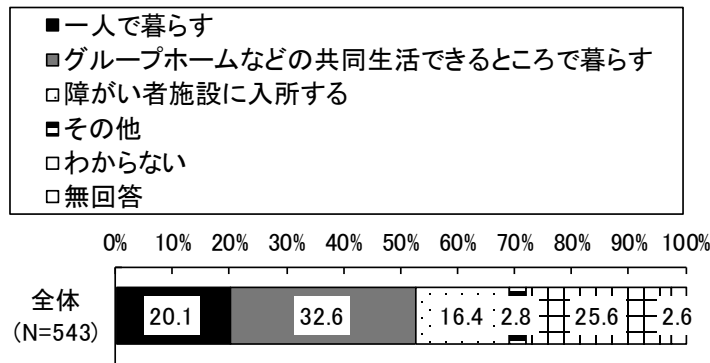
9. 今後の暮らし方について

- ・将来、家族と同居できない場合に希望する暮らし方について、回答者全体では「グループホームなどの共同生活できるところで暮らす」(32.6%)が最も多くなっているが、障がいの状況別にみると、身体障がい児(身体障がいのみ)では「一人で暮らす」(54.7%)、知的障がい児(知的障がいのみ)では「グループホームなどの共同生活できるところで暮らす」(41.4%)、重複障がい児(身体障がい・知的障がい)では「障がい者施設に入所する」(37.0%)の割合が高い。【図表6-64】
- ・自宅や地域で生活するために必要な条件について、「仕事があること」(37.6%)が最も高く、次いで「お子さんの見守りを頼める人がいること」(34.4%)、「就労や生活の自立、機能の回復に向けて訓練を受けられる施設に通えること」(26.3%)となっている。【図表6-65】

(1) 将来、家族と同居できない場合に希望する暮らし方

問23 将来、お子さんが成人した後、さまざまな理由でご家族との同居ができなくなったとき、どのように暮らしてほしいと思いますか。(○は1つだけ)

【図表6-63 将来、家族と同居できない場合に希望する暮らし方】



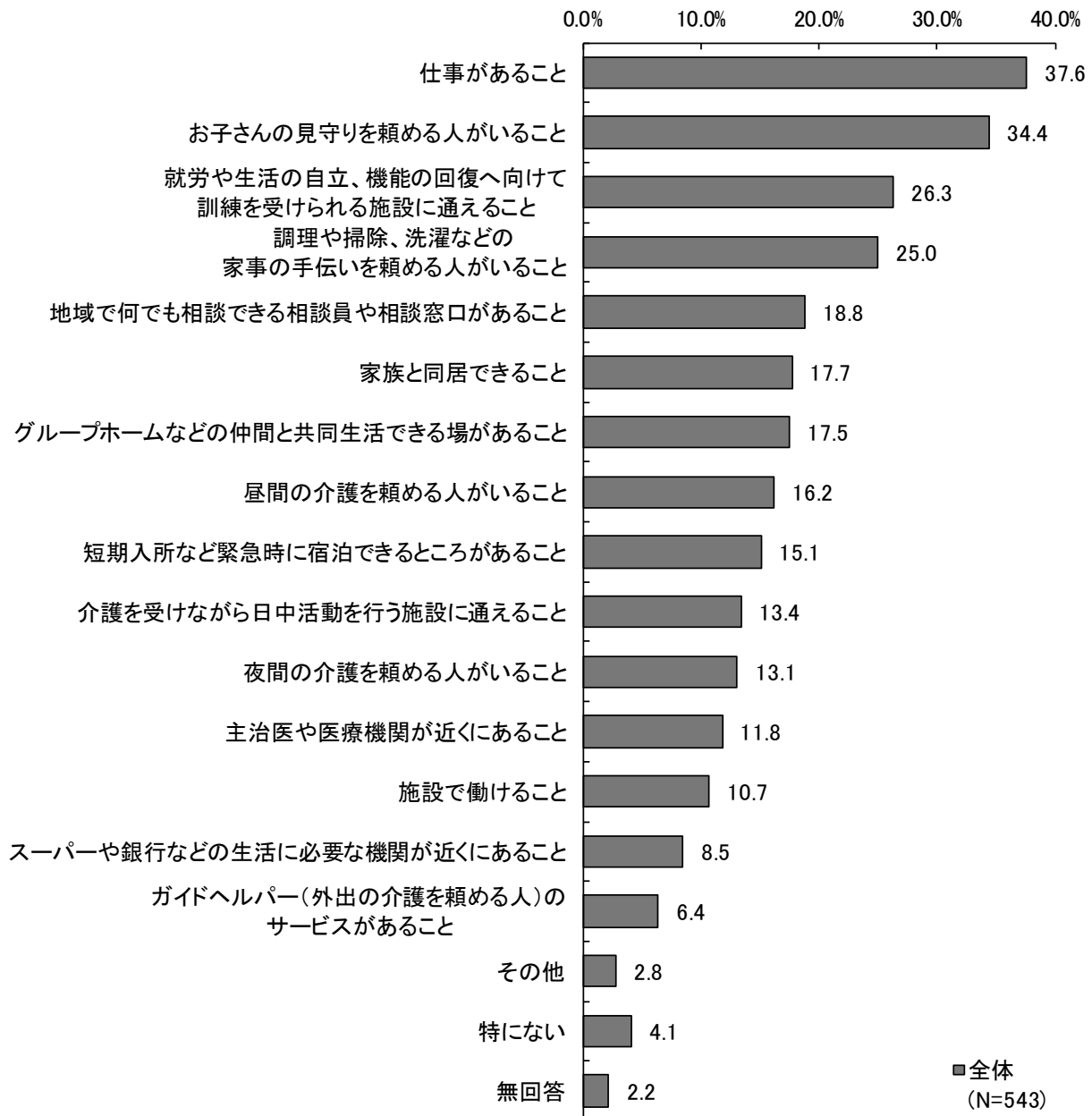
【図表6-64 障がいの状況別、年齢別 将来、家族と同居できない場合に希望する暮らし方】(%)

	調査数(人)	将来の暮らし方						
		一人で暮らす	グループホームなどの共同生活できるところで暮らす	障がい者施設に入所する	その他	わからない	無回答	
全体	543	20.1	32.6	16.4	2.8	25.6	2.6	
障がいの状況	身体障がいのみ	75	54.7	8.0	2.7	4.0	29.3	1.3
	知的障がいのみ	314	17.2	41.4	12.1	2.2	25.2	1.9
	精神障がいのみ	1	-	-	-	-	-	100.0
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	5.9	25.2	37.0	4.2	24.4	3.4
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	100.0	-	-	-	-	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	13.3	33.3	13.3	-	26.7	13.3
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	-	33.3	33.3	-	33.3	-
無回答	15	26.7	33.3	13.3	-	26.7	-	
全体	543	20.1	32.6	16.4	2.8	25.6	2.6	
年齢	0~2歳	19	26.3	26.3	15.8	5.3	26.3	-
	3~5歳	123	18.7	22.8	9.8	4.1	40.7	4.1
	6~8歳	98	25.5	36.7	11.2	-	24.5	2.0
	9~11歳	96	12.5	35.4	22.9	3.1	25.0	1.0
	12~14歳	97	18.6	41.2	14.4	3.1	21.6	1.0
	15~17歳	106	24.5	30.2	25.5	2.8	12.3	4.7
	無回答	4	-	50.0	-	-	50.0	-

(2) 自宅やグループホームなどで生活するために必要な条件

問24 お子さんが、自宅やグループホームなどで生活するためには、どのような条件が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【図表6-65 自宅や地域で生活するために必要な条件】



【図表6-66 障がいの状況別、年齢別 自宅やグループホームなどで生活するために必要な条件】
(%)

		調査数(人)	自宅やグループホームなどで生活するために必要な条件											
			仕事があること	人がいること	お子さんの見守りを頼めること	回復施設に通えること	就労や生活の自立・機能の向上	調理や掃除、洗濯などの家事を手伝いを頼める人がいること	調理事務や相談窓口があること	地域や相談室があること	家族と同居できること	こと共同生活できる場があること	グループホームなどの仲間	居間の介護を頼める人がいること
全体		543	37.6	34.4	26.3	25.0	18.8	17.7	17.5	16.2	15.1			
障がいの状況	身体障がいのみ	75	56.0	20.0	10.7	17.3	24.0	21.3	5.3	13.3	5.3			
	知的障がいのみ	314	43.3	35.4	33.1	29.6	22.9	15.3	20.4	10.5	10.5			
	精神障がいのみ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	11.8	42.0	17.7	20.2	6.7	25.2	16.0	33.6	32.8			
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-			
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	46.7	40.0	13.3	26.7	6.7	6.7	33.3	-	13.3			
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	-	33.3	66.7	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3			
無回答	15	26.7	26.7	40.0	6.7	20.0	-	13.3	26.7	20.0				
全体		543	37.6	34.4	26.3	25.0	18.8	17.7	17.5	16.2	15.1			
年齢	0~2歳	19	21.1	42.1	5.3	10.5	21.1	31.6	-	26.3	26.3			
	3~5歳	123	36.6	36.6	25.2	17.9	20.3	13.0	15.4	13.8	11.4			
	6~8歳	98	38.8	38.8	31.6	27.6	17.3	16.3	15.3	15.3	13.3			
	9~11歳	96	34.4	37.5	31.3	24.0	16.7	22.9	20.8	18.8	14.6			
	12~14歳	97	41.2	34.0	23.7	32.0	16.5	19.6	24.7	16.5	14.4			
	15~17歳	106	41.5	24.5	24.5	28.3	21.7	16.0	15.1	16.0	19.8			
	無回答	4	-	25.0	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-	25.0			

		調査数(人)	自宅やグループホームなどで生活するために必要な条件											
			を介護施設に通えること	夜間の介護を頼める人がいること	主治医や医療機関が近くに	施設で働けること	必要事項や銀行などにあ	スリーパーや近隣の生活	に必要事項や銀行などにあ	があること	ガイドヘルパー(外出の介	その他	特にな	無回答
全体		543	13.4	13.1	11.8	10.7	8.5	6.4	2.8	4.1	2.2			
障がいの状況	身体障がいのみ	75	5.3	12.0	21.3	2.7	16.0	6.7	4.0	10.7	-			
	知的障がいのみ	314	12.1	9.2	7.0	14.7	9.6	4.8	1.3	3.2	1.9			
	精神障がいのみ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0			
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	23.5	26.1	19.3	7.6	2.5	10.1	4.2	1.7	0.8			
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	-	-	13.3	-	6.7	6.7	6.7	6.7	20.0			
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-	-			
無回答	15	13.3	13.3	6.7	6.7	-	6.7	13.3	6.7	6.7				
全体		543	13.4	13.1	11.8	10.7	8.5	6.4	2.8	4.1	2.2			
年齢	0~2歳	19	-	-	31.6	-	10.5	5.3	-	10.5	10.5			
	3~5歳	123	8.9	8.9	14.6	8.1	7.3	4.1	5.7	0.8	4.1			
	6~8歳	98	12.2	14.3	9.2	10.2	5.1	5.1	1.0	5.1	1.0			
	9~11歳	96	20.8	13.5	7.3	13.5	3.1	5.2	2.1	2.1	-			
	12~14歳	97	15.5	16.5	14.4	11.3	10.3	7.2	3.1	4.1	-			
	15~17歳	106	13.2	15.1	8.5	13.2	15.1	10.4	0.9	7.5	2.8			
	無回答	4	25.0	25.0	25.0	-	25.0	25.0	25.0	-	25.0			

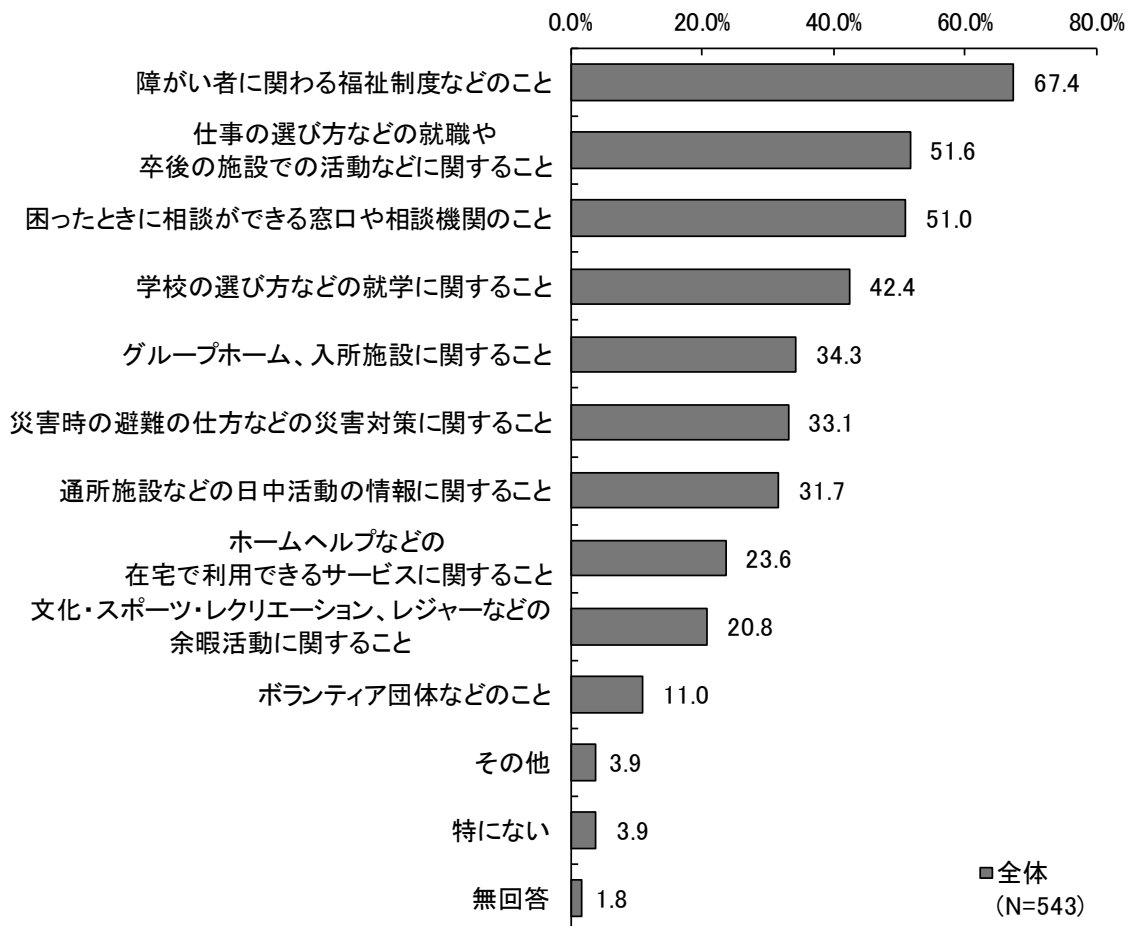
10. 情報収集や相談について

- ・福岡市からの情報で知りたいことについては、全体として「障がい者に関わる福祉制度のこと」が67.4%と最も高く、その他で障がいの状況別にみると、身体障がい児（身体障がいのみ）では「学校の選び方などの就学に関すること」（54.7%）、知的障がい児（知的障がいのみ）では「仕事の選び方などの就職や卒後の施設での活動などに関すること」（59.2%）、重複障がい児（身体障がい・知的障がい）では「ホームヘルプなどの在宅で利用できるサービスに関すること」（41.2%）といった項目の回答割合が他と比較して高くなっている。【図表6-68】
- ・福岡市の福祉施策情報の入手先について、「市政だより」が5割弱（49.5%）と最も高い。障がいの状況別にみると、重複障がい児（身体障がい・知的障がい）では「あいあいセンター・西部療育センター・東部療育センター」（40.3%）や「計画相談支援事業所」（25.2%）等の回答割合が高くなっている。年齢別にみると、「あいあいセンター・西部療育センター・東部療育センター」の割合は5歳以下で高く、7割弱を占めている。【図表6-69、図表6-70】
- ・相談窓口について、「利用したことがある」の回答割合が高いものとしては、『①福祉事務所（区役所の福祉・介護保険課）』（73.5%）、『③あいあいセンター（心身障がい福祉センター）』（57.1%）、『②こども総合相談センター』（40.7%）の順となっている。【図表6-73、図表6-75】

(1) 福岡市からの情報で知りたいこと

問25 お子さんの生活に関することで、福岡市からどのような情報が知りたいですか。
（○はあてはまるものすべて）

【図表6-67 福岡市からの情報で知りたいこと】



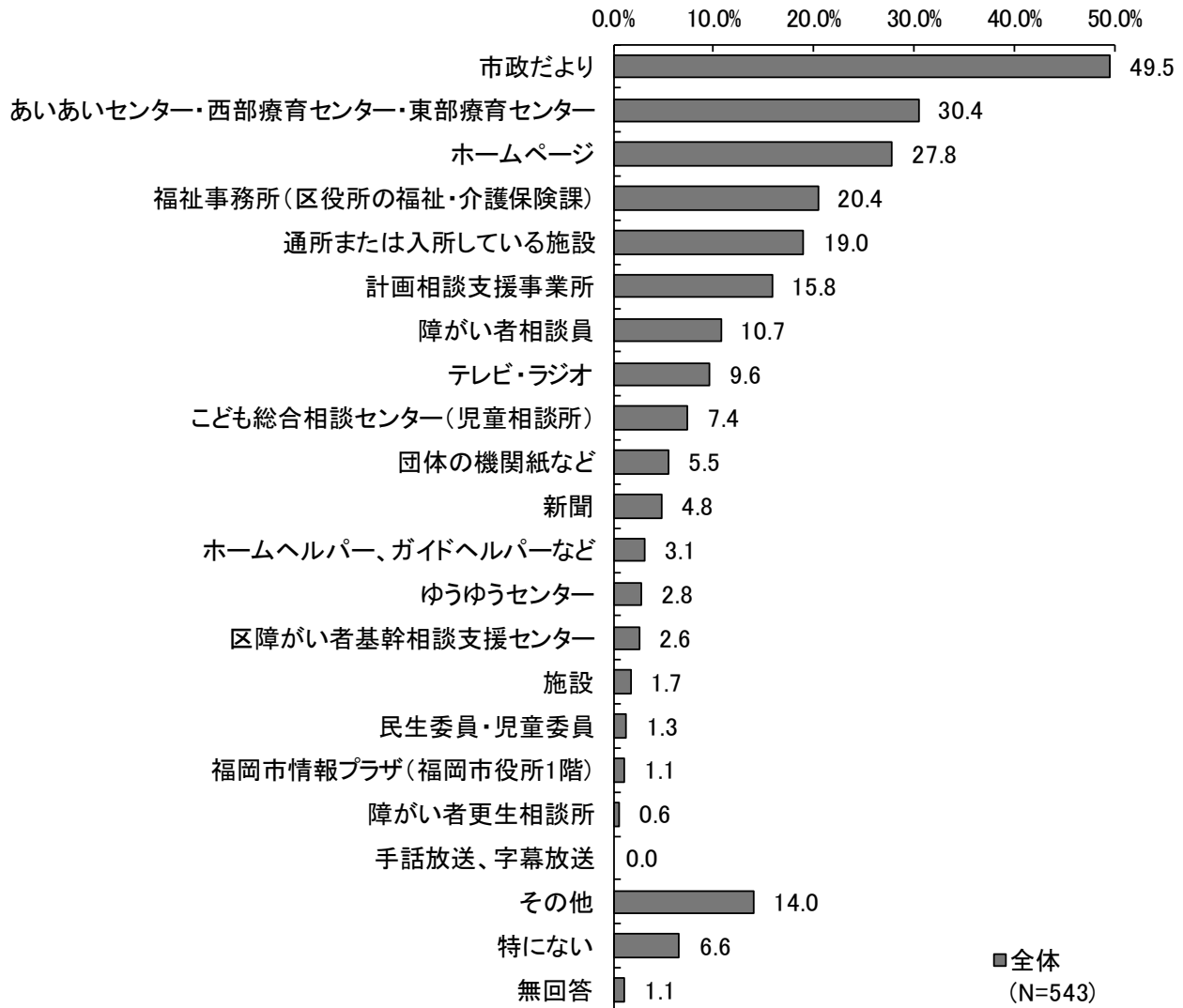
【図表6-68 障がいの状況別、年齢別 福岡市からの情報で知りたいこと】(%)

	調査数(人)	福岡市からの情報で知りたいこと													
		障がい者に関わる福祉制度などのこと	仕事の選び方などの就職や卒後の施設での活動などに関すること	困ったときに相談ができる窓口や相談機関のこと	学校の選び方などの就学に関すること	とグループホーム、入所施設に関すること	災害時の避難の仕方などの災害対策に関すること	通所施設などの日中活動の情報に関すること	ホームヘルプなどの在宅で利用できるサービスに関すること	レジャー・スポーツ・レクリエーション、文化・スポーツなどの余暇活動に関すること	ボランティア団体などのこと	その他	特になし	無回答	
全体	543	67.4	51.6	51.0	42.4	34.3	33.1	31.7	23.6	20.8	11.0	3.9	3.9	1.8	
障がいの状況	身体障がいのみ	75	64.0	48.0	49.3	54.7	8.0	40.0	13.3	16.0	18.7	9.3	5.3	8.0	2.7
	知的障がいのみ	314	66.2	59.2	54.1	44.3	38.9	26.8	34.1	18.8	21.7	10.8	2.9	3.8	1.0
	精神障がいのみ	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	73.1	32.8	46.2	25.2	37.0	42.9	38.7	41.2	20.2	10.9	4.2	1.7	3.4
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	60.0	53.3	46.7	46.7	46.7	33.3	20.0	20.0	20.0	26.7	20.0	-	6.7
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	66.7	33.3	100.0	66.7	33.3	66.7	-	66.7	-	33.3	-	-	-
無回答	15	73.3	53.3	20.0	60.0	40.0	53.3	33.3	20.0	20.0	-	-	6.7	-	
全体	543	67.4	51.6	51.0	42.4	34.3	33.1	31.7	23.6	20.8	11.0	3.9	3.9	1.8	
年齢	0~2歳	19	57.9	15.8	47.4	57.9	15.8	31.6	47.4	31.6	21.1	5.3	10.5	10.5	-
	3~5歳	123	68.3	35.8	41.5	61.0	21.1	32.5	35.0	22.8	19.5	10.6	4.9	3.3	3.3
	6~8歳	98	72.4	55.1	55.1	53.1	37.8	35.7	31.6	25.5	25.5	16.3	2.0	3.1	1.0
	9~11歳	96	67.7	58.3	50.0	38.5	34.4	31.3	33.3	27.1	20.8	11.5	4.2	3.1	1.0
	12~14歳	97	67.0	60.8	55.7	36.1	41.2	32.0	28.9	23.7	21.6	9.3	5.2	2.1	1.0
	15~17歳	106	63.2	58.5	55.7	17.9	43.4	33.0	26.4	18.9	17.0	9.4	0.9	6.6	2.8
	無回答	4	75.0	50.0	50.0	25.0	25.0	75.0	25.0	-	25.0	-	25.0	-	-

(2) 福岡市の福祉施策情報の入手先

問26 福岡市が実施している福祉施策について、あなたが知る手掛かりとなっているのは、次のどれですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表6-69 福岡市の福祉施策情報の入手先】



【図表6-70 障がいの状況別、年齢別 福岡市の福祉施策情報の入手先】(%)

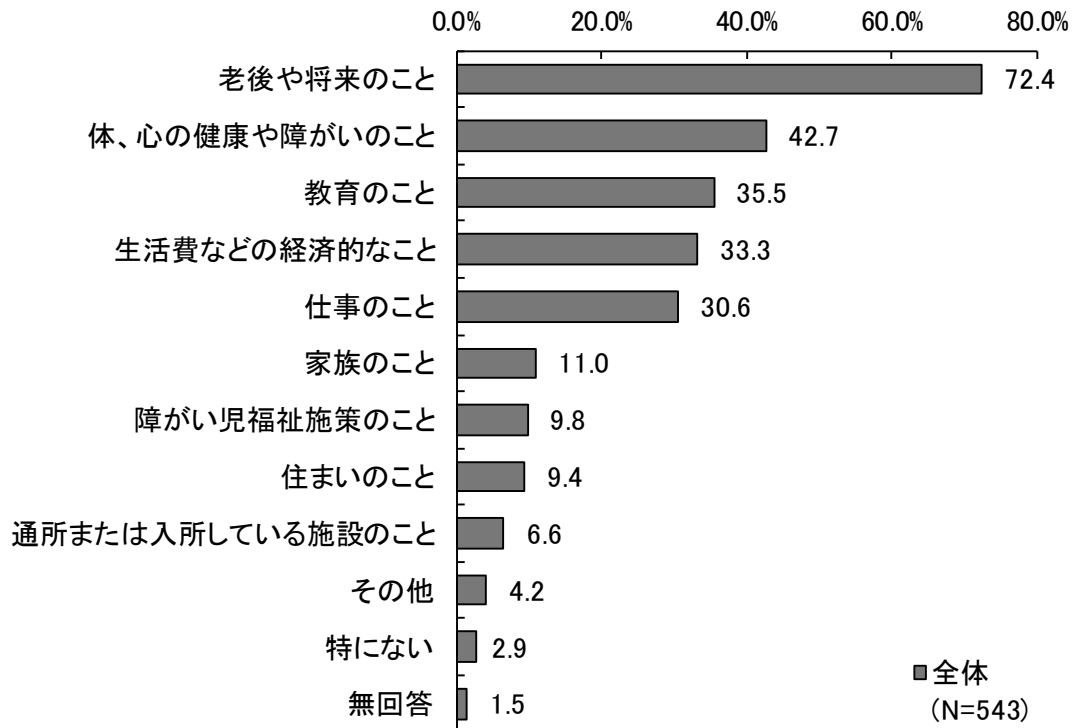
		調査数(人)	福岡市の福祉施策情報の入手先										
			市政だより	あいあいセンター・東部療育センター	ホームページ	介護保険課	福祉事務所(区役所の福祉・)	通所または入所している施設	計画相談支援事業所	障がい者相談員	テレビ・ラジオ	子ども総合相談センター(児童相談所)	団体の機関紙など
全体		543	49.5	30.4	27.8	20.4	19.0	15.8	10.7	9.6	7.4	5.5	4.8
障がいの状況	身体障がいのみ	75	56.0	24.0	32.0	26.7	4.0	4.0	12.0	14.7	2.7	2.7	6.7
	知的障がいのみ	314	47.8	29.0	27.7	17.8	21.0	15.6	8.6	8.6	10.5	6.1	3.8
	精神障がいのみ	1	100.0	-	100.0	-	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	44.5	40.3	22.7	22.7	20.2	25.2	16.0	6.7	1.7	6.7	2.5
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	80.0	13.3	26.7	33.3	33.3	13.3	-	13.3	6.7	6.7	13.3
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	33.3	-	66.7	66.7	33.3	-	33.3	-	-	-	-
無回答	15	66.7	40.0	40.0	6.7	20.0	13.3	6.7	20.0	13.3	-	26.7	
全体		543	49.5	30.4	27.8	20.4	19.0	15.8	10.7	9.6	7.4	5.5	4.8
年齢	0~2歳	19	52.6	68.4	31.6	15.8	15.8	10.5	10.5	10.5	15.8	-	-
	3~5歳	123	43.9	69.1	25.2	16.3	30.1	2.4	8.1	10.6	5.7	4.1	4.1
	6~8歳	98	51.0	24.5	28.6	16.3	21.4	15.3	16.3	6.1	6.1	4.1	4.1
	9~11歳	96	51.0	15.6	30.2	18.8	14.6	24.0	8.3	6.3	8.3	6.3	5.2
	12~14歳	97	55.7	14.4	27.8	24.7	15.5	16.5	12.4	14.4	9.3	7.2	6.2
	15~17歳	106	47.2	13.2	26.4	27.4	12.3	24.5	9.4	10.4	6.6	7.5	4.7
	無回答	4	50.0	-	50.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-

		調査数(人)	福岡市の福祉施策情報の入手先										
			ホームページなど	ゆうゆうセンター	区障がい者基幹相談支援センター	施設	民生委員・児童委員	福岡市情報プラザ(福岡市役所1階)	障がい者更生相談所	手話放送、字幕放送	その他	特にない	無回答
全体		543	3.1	2.8	2.6	1.7	1.3	1.1	0.6	-	14.0	6.6	1.1
障がいの状況	身体障がいのみ	75	2.7	-	1.3	1.3	4.0	1.3	1.3	-	16.0	10.7	2.7
	知的障がいのみ	314	1.3	3.5	2.9	1.6	0.3	1.0	0.6	-	14.3	6.4	1.0
	精神障がいのみ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	9.2	0.8	2.5	1.7	0.8	1.7	-	-	12.6	5.9	0.8
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	-	6.7	6.7	-	6.7	-	-	-	6.7	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-
無回答	15	-	13.3	-	6.7	6.7	-	-	-	13.3	-	-	
全体		543	3.1	2.8	2.6	1.7	1.3	1.1	0.6	-	14.0	6.6	1.1
年齢	0~2歳	19	10.5	-	-	5.3	5.3	-	-	-	21.1	5.3	-
	3~5歳	123	2.4	1.6	1.6	2.4	0.8	2.4	0.8	-	11.4	2.4	2.4
	6~8歳	98	1.0	3.1	1.0	1.0	-	-	-	-	14.3	6.1	1.0
	9~11歳	96	2.1	2.1	3.1	-	3.1	-	1.0	-	15.6	6.3	-
	12~14歳	97	4.1	4.1	2.1	-	-	2.1	-	-	15.5	7.2	1.0
	15~17歳	106	4.7	3.8	5.7	3.8	1.9	0.9	0.9	-	13.2	12.3	0.9
	無回答	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) 困っていることや心配なこと

問27 お子さんを育てていくうえで、困っていることや心配なこと、悩んでいることがありますか。(○は3つまで)

【図表6-71 困っていることや心配なこと】



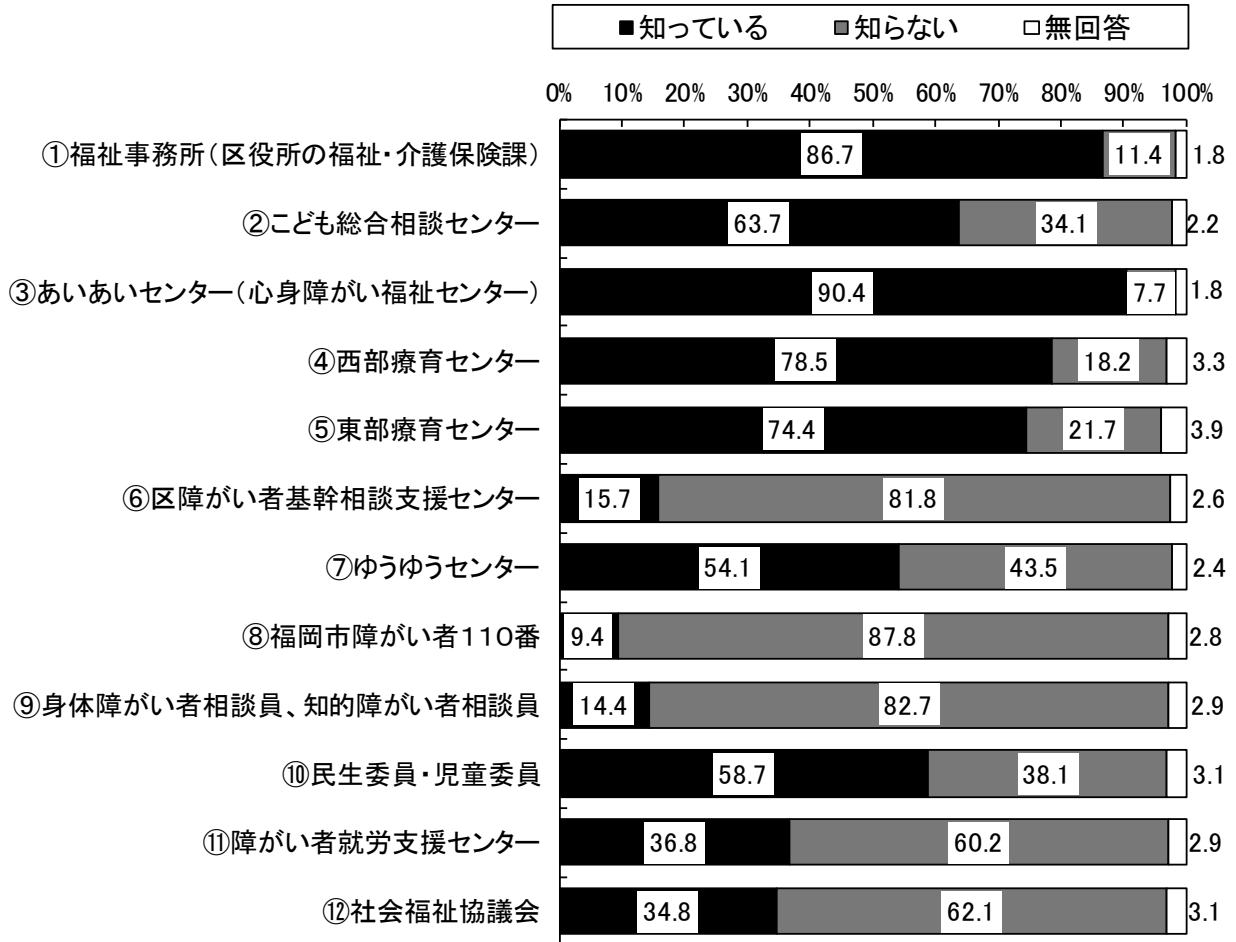
【図表6-72 障がいの状況別、年齢別、世帯状況別 困っていることや心配なこと】 (%)

	調査数(人)	困っていることや心配なこと												
		老後や将来のこと	体、心の健康や障がいのこと	教育のこと	と生活費などの経済的なこと	仕事のこと	家族のこと	障がい児福祉施策のこと	住まいのこと	通所または入所している施設のこと	その他	特にない	無回答	
全体	543	72.4	42.7	35.5	33.3	30.6	11.0	9.8	9.4	6.6	4.2	2.9	1.5	
障がいの状況	身体障がいのみ	75	52.0	44.0	42.7	28.0	32.0	5.3	8.0	9.3	4.0	4.0	10.7	1.3
	知的障がいのみ	314	76.1	38.5	40.5	36.0	31.9	10.2	9.9	8.0	5.4	4.5	1.6	1.0
	精神障がいのみ	1	-	-	100.0	100.0	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	77.3	51.3	15.1	28.6	22.7	16.8	10.9	11.8	10.9	4.2	1.7	2.5
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	80.0	66.7	46.7	20.0	33.3	13.3	6.7	6.7	6.7	-	6.7	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	-	66.7	-	-	-	-	-
	無回答	15	60.0	40.0	46.7	53.3	53.3	13.3	-	26.7	6.7	6.7	-	-
全体	543	72.4	42.7	35.5	33.3	30.6	11.0	9.8	9.4	6.6	4.2	2.9	1.5	
年齢	0~2歳	19	42.1	52.6	26.3	36.8	26.3	15.8	-	15.8	5.3	5.3	10.5	-
	3~5歳	123	65.0	46.3	43.1	26.0	17.9	10.6	9.8	5.7	7.3	3.3	2.4	2.4
	6~8歳	98	75.5	39.8	44.9	29.6	24.5	11.2	12.2	8.2	4.1	3.1	5.1	-
	9~11歳	96	76.0	44.8	39.6	32.3	30.2	7.3	10.4	7.3	5.2	5.2	2.1	2.1
	12~14歳	97	81.4	42.3	35.1	36.1	40.2	9.3	10.3	12.4	8.2	5.2	-	2.1
	15~17歳	106	71.7	37.7	16.0	44.3	42.5	16.0	8.5	13.2	8.5	3.8	3.8	0.9
	無回答	4	75.0	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	25.0	-	-

(4) 相談窓口の認知度

問28 福岡市には、障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる窓口として、次のような窓口があります。
 これらの相談窓口があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。
 さらに、「利用したことがある」を選ばれた方は、その時の満足度はどうでしたか。①～⑫の項目ごとに、認知度、利用状況、満足度のそれぞれについて○をつけてください。

【図表6-73 相談窓口の認知度】



各項目とも(N=543)

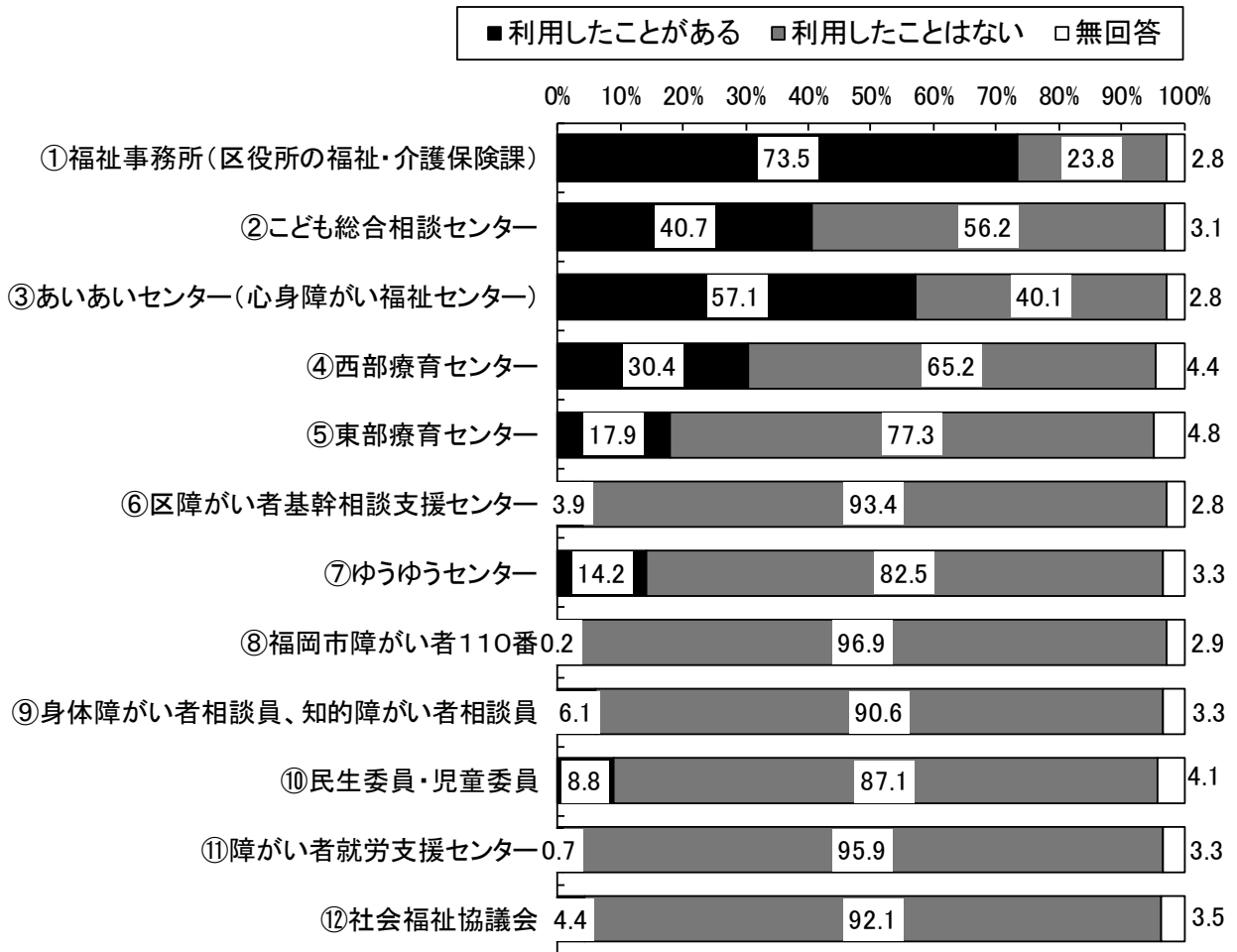
【図表6-74 障がいの状況別、年齢別 相談窓口の認知度（「知っている」の割合）】（%）

	調査数（人）	相談窓口の認知度												
		① 福祉事務所 （区役所の福祉・介護保険課）	② こども総合相談センター	③ あいあいセンター （心身障がい福祉センター）	④ 西部療育センター	⑤ 東部療育センター	⑥ 区障がい者基幹相談支援センター	⑦ ゆうゆうセンター	⑧ 福岡市障がい者110番	⑨ 身体障がい者相談員、 知的障がい者相談員	⑩ 民生委員・児童委員	⑪ 障がい者就労支援センター	⑫ 社会福祉協議会	
全体	543	86.7	63.7	90.4	78.5	74.4	15.7	54.1	9.4	14.4	58.7	36.8	34.8	
障がいの状況	身体障がいのみ	75	89.3	41.3	81.3	70.7	70.7	9.3	30.7	8.0	13.3	54.7	34.7	34.7
	知的障がいのみ	314	84.4	67.8	91.1	80.3	73.3	13.4	61.8	8.6	11.5	55.7	35.7	31.9
	精神障がいのみ	1	100.0	-	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	95.0	64.7	95.0	79.0	79.0	23.5	44.5	10.9	20.2	68.9	39.5	42.0
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	73.3	66.7	80.0	53.3	66.7	33.3	66.7	20.0	26.7	53.3	46.7	33.3
	重複障がい (身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	66.7	66.7	33.3	66.7	66.7	66.7	66.7
	無回答	15	66.7	73.3	93.3	93.3	86.7	6.7	80.0	6.7	13.3	73.3	40.0	40.0
全体	543	86.7	63.7	90.4	78.5	74.4	15.7	54.1	9.4	14.4	58.7	36.8	34.8	
年齢	0～2歳	19	78.9	52.6	68.4	68.4	73.7	5.3	10.5	-	5.3	52.6	10.5	21.1
	3～5歳	123	84.6	50.4	92.7	82.9	81.3	8.1	48.0	4.9	12.2	53.7	30.9	33.3
	6～8歳	98	87.8	61.2	95.9	84.7	81.6	13.3	54.1	6.1	11.2	53.1	27.6	19.4
	9～11歳	96	89.6	69.8	93.8	80.2	76.0	14.6	62.5	13.5	21.9	58.3	36.5	31.3
	12～14歳	97	89.7	72.2	85.6	76.3	70.1	20.6	62.9	14.4	20.6	66.0	43.3	48.5
	15～17歳	106	84.9	69.8	87.7	69.8	62.3	25.5	52.8	10.4	8.5	64.2	50.9	43.4
	無回答	4	75.0	75.0	100.0	75.0	75.0	-	75.0	25.0	25.0	75.0	50.0	50.0

(5) 相談窓口の利用状況

問28 福岡市には、障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる窓口として、次のような窓口があります。
 これらの相談窓口があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。
 さらに、「利用したことがある」を選ばれた方は、その時の満足度はどうでしたか。①～⑫の項目ごとに、認知度、利用状況、満足度のそれぞれについて○をつけてください。

【図表6-75 相談窓口の利用状況】

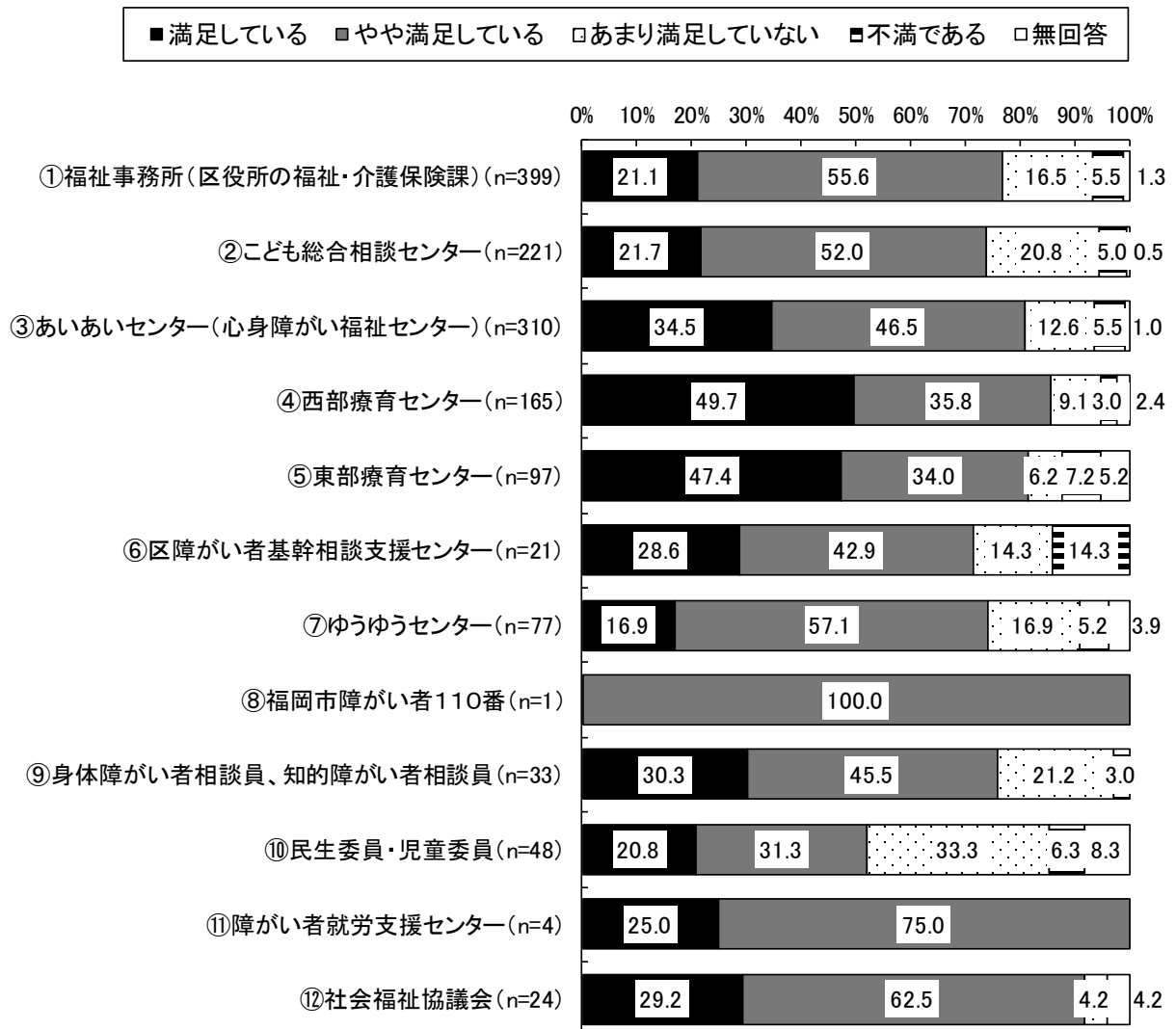


各項目とも(N=543)

(6) 相談窓口の満足度

問28 福岡市には、障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる窓口として、次のような窓口があります。
 これらの相談窓口があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。
 さらに、「利用したことがある」を選ばれた方は、その時の満足度はどうでしたか。①～⑫の項目ごとに、認知度、利用状況、満足度のそれぞれについて○をつけてください。

【図表6-76 相談窓口の満足度】



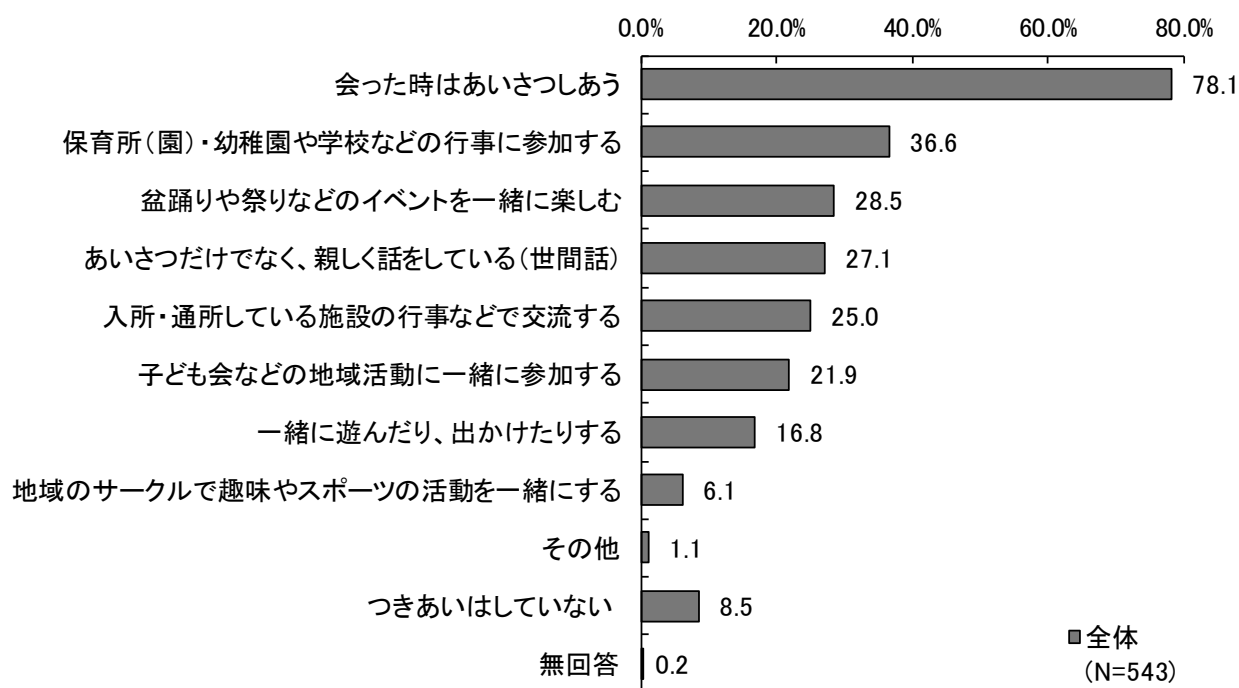
1.1. 地域とのかかわりについて

- ・地域の方とのつきあいの状況については、「会った時はあいさつしあう」が8割弱（78.1%）で最も高い。障がいの状況別にみると、身体障がい児（身体障がいのみ）で他に比べて全般的に回答割合が高くなっている。世帯状況別にみると、三世帯同居（親と子と祖父母）では、「あいさつだけでなく、親しく話をしている（世間話）」（36.7%）で、他に比べ回答割合が高くなっている。また、通園・通学先別にみると、小・中学校（通常学級）は他に比べて全般的に割合が高くなっている。【図表6-77、図表6-78】
- ・地域ボランティアに望む支援・交流については、「普段から定期的に声かけなどをする」（39.8%）と「地域の行事やイベントと一緒に参加する」（38.1%）がそれぞれ4割弱と回答割合が高い。障がいの状況別にみると、重複障がい児では「外出時に付き添う」（23.8%）の回答割合が他と比較して高くなっている。また、通園・通学先別にみると、小・中学校（通常学級）では「地域の行事やイベントと一緒に参加する」（50.0%）の回答割合が他と比較して高くなっている。【図表6-79、図表6-80】

(1) 地域の方とのつきあいの状況

問29 お子さん(家族の方も含む)は、ふだん地域の方とどのようなおつきあいをしていますか。(○はあてはまるものすべて)

【図表6-77 地域の方とのつきあいの状況】



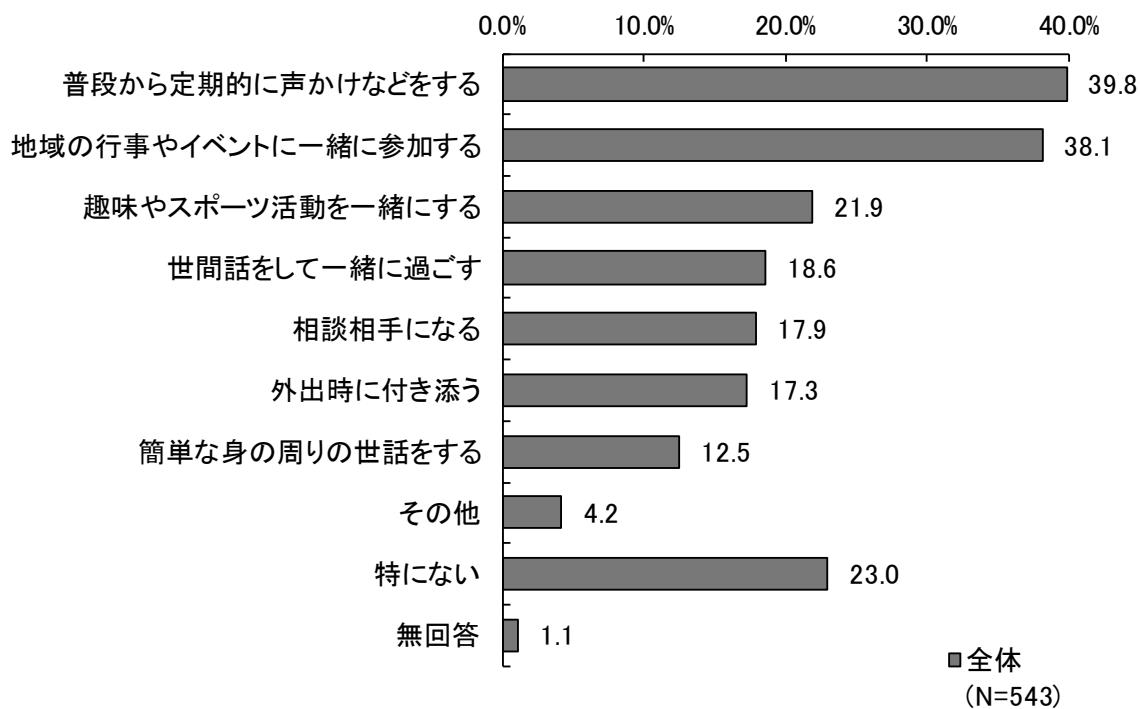
【図表6-78 障がいの状況別、年齢別、世帯状況別、通園・通学先別
地域の方とのつきあいの状況】(%)

		調査数(人)	地域の方とのつきあいの状況											
			会った時はあいさつしあう	校保育所(園)・幼稚園や学	トを一緒に楽しむ	盆踊りや祭りなどのイベン	くあ話をしている(世間話し)	入事などで交流している施設の	一緒に参加する	子ども会などの地域活動に	一緒に遊んだり、出かけた	地域のサークルで趣味やス	その他	つきあいはしていない
全体		543	78.1	36.6	28.5	27.1	25.0	21.9	16.8	6.1	1.1	8.5	0.2	
障がいの状況	身体障がいのみ	75	82.7	45.3	36.0	42.7	14.7	30.7	36.0	9.3	-	5.3	-	
	知的障がいのみ	314	77.7	41.4	27.4	25.5	26.4	23.3	15.6	6.7	1.3	7.6	-	
	精神障がいのみ	1	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	77.3	21.0	26.9	19.3	27.7	16.0	7.6	0.8	1.7	11.8	-	
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	100.0	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	80.0	13.3	33.3	26.7	20.0	20.0	6.7	6.7	-	13.3	6.7	
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	33.3	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-	33.3	-	-
	無回答	15	80.0	40.0	26.7	40.0	26.7	6.7	20.0	20.0	-	6.7	-	-
全体		543	78.1	36.6	28.5	27.1	25.0	21.9	16.8	6.1	1.1	8.5	0.2	
年齢	0~2歳	19	52.6	36.8	10.5	15.8	31.6	-	10.5	-	-	10.5	-	
	3~5歳	123	77.2	39.0	22.0	26.8	38.2	16.3	18.7	3.3	-	7.3	-	
	6~8歳	98	79.6	48.0	33.7	33.7	26.5	21.4	22.4	5.1	-	6.1	-	
	9~11歳	96	82.3	45.8	35.4	32.3	27.1	32.3	21.9	8.3	2.1	6.3	-	
	12~14歳	97	78.4	37.1	35.1	27.8	17.5	30.9	12.4	10.3	3.1	5.2	1.0	
	15~17歳	106	78.3	16.0	22.6	17.9	12.3	16.0	10.4	5.7	0.9	17.0	-	
	無回答	4	75.0	-	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-
全体		543	78.1	36.6	28.5	27.1	25.0	21.9	16.8	6.1	1.1	8.5	0.2	
世帯状況	親と子のみ(母子家庭)	46	76.1	19.6	28.3	15.2	17.4	13.0	8.7	6.5	4.3	15.2	-	
	親と子のみ(父子家庭)	4	75.0	25.0	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	
	親と子のみ(両親あり)	403	77.2	39.7	28.0	27.5	26.1	22.1	17.6	5.7	0.7	7.9	0.2	
	三世帯同居(親と子と祖父母)	49	89.8	34.7	34.7	36.7	22.4	30.6	14.3	8.2	2.0	2.0	-	
	その他	11	81.8	54.5	45.5	18.2	63.6	36.4	9.1	9.1	-	18.2	-	
	無回答	30	73.3	20.0	23.3	30.0	16.7	16.7	23.3	6.7	-	13.3	-	
全体		543	78.1	36.6	28.5	27.1	25.0	21.9	16.8	6.1	1.1	8.5	0.2	
通園・通学先	幼稚園・保育所(園)	61	80.3	80.3	31.1	21.3	27.9	19.7	26.2	3.3	-	3.3	-	
	障がい児通園施設等	216	76.4	31.9	19.0	24.1	34.7	16.2	8.3	2.3	1.4	7.9	-	
	小・中学校(通常学級)	32	78.1	71.9	50.0	53.1	6.3	56.3	50.0	18.8	-	3.1	-	
	小・中学校(特別支援学級)	123	78.9	56.9	34.1	30.9	22.8	30.1	19.5	9.8	1.6	5.7	0.8	
	特別支援学校小・中学部	138	79.7	24.6	30.4	27.5	26.8	20.3	10.9	4.3	2.2	8.0	-	
	高等学校	22	72.7	36.4	22.7	27.3	18.2	22.7	13.6	4.5	-	13.6	-	
	特別支援学校高等部	70	81.4	12.9	21.4	12.9	7.1	12.9	10.0	4.3	1.4	17.1	-	
	訪問教育	3	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	
	大学・短大・専門学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	15	80.0	13.3	20.0	20.0	40.0	13.3	13.3	20.0	-	6.7	-	
	通っていない	19	73.7	-	36.8	36.8	26.3	15.8	15.8	15.8	-	10.5	-	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(2) 地域ボランティアに望む支援

問30 あなたは、地域の方が何かボランティア活動をしたいと思っている場合、どのような支援・交流があったらいいと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表6-79 地域ボランティアに望む支援・交流】



【図表6-80 障がいの状況別、年齢別、世帯状況別、通園・通学先別
地域ボランティアに望む支援・交流】(%)

	調査数(人)	地域ボランティアに望む支援・交流										
		普段から定期的な声かけをする	地域の行事やイベントと一緒に参加する	趣味やスポーツ活動と一緒にする	世間話を一緒に過ごす	相談相手になる	外出時に付き添う	簡単な身の周りの世話を	その他	特にない	無回答	
全体	543	39.8	38.1	21.9	18.6	17.9	17.3	12.5	4.2	23.0	1.1	
障がいの状況	身体障がいのみ	75	28.0	41.3	29.3	17.3	16.0	10.7	5.3	2.7	33.3	1.3
	知的障がいのみ	314	43.0	36.3	21.3	17.8	18.8	15.3	11.5	2.9	24.5	1.0
	精神障がいのみ	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	38.7	38.7	15.1	18.5	12.6	23.5	18.5	6.7	15.1	1.7
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	40.0	40.0	40.0	26.7	46.7	46.7	20.0	6.7	20.0	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	-	33.3	-	-
	無回答	15	46.7	60.0	26.7	40.0	26.7	13.3	13.3	13.3	13.3	-
全体	543	39.8	38.1	21.9	18.6	17.9	17.3	12.5	4.2	23.0	1.1	
年齢	0~2歳	19	21.1	31.6	5.3	15.8	15.8	21.1	15.8	-	42.1	-
	3~5歳	123	38.2	35.0	19.5	23.6	19.5	15.4	12.2	5.7	21.1	1.6
	6~8歳	98	42.9	44.9	25.5	17.3	18.4	14.3	10.2	3.1	19.4	1.0
	9~11歳	96	47.9	44.8	27.1	19.8	15.6	14.6	13.5	3.1	17.7	1.0
	12~14歳	97	40.2	37.1	21.6	16.5	16.5	24.7	14.4	5.2	21.6	1.0
	15~17歳	106	34.9	31.1	18.9	14.2	17.9	15.1	11.3	3.8	32.1	0.9
	無回答	4	25.0	50.0	50.0	50.0	50.0	75.0	25.0	25.0	-	-
全体	543	39.8	38.1	21.9	18.6	17.9	17.3	12.5	4.2	23.0	1.1	
世帯状況	親と子のみ(母子家庭)	46	32.6	28.3	21.7	13.0	8.7	19.6	15.2	6.5	32.6	2.2
	親と子のみ(父子家庭)	4	-	-	-	-	25.0	-	-	-	75.0	-
	親と子のみ(両親あり)	403	42.2	39.2	22.3	17.4	17.6	18.6	13.2	4.0	20.1	1.0
	三世帯同居(親と子と祖父母)	49	42.9	44.9	24.5	32.7	26.5	14.3	8.2	2.0	18.4	2.0
	その他	11	18.2	27.3	18.2	-	9.1	-	-	9.1	54.5	-
	無回答	30	26.7	36.7	16.7	30.0	23.3	10.0	13.3	6.7	36.7	-
全体	543	39.8	38.1	21.9	18.6	17.9	17.3	12.5	4.2	23.0	1.1	
通園・通学先	幼稚園・保育所(園)	61	29.5	36.1	23.0	24.6	14.8	9.8	11.5	1.6	26.2	1.6
	障がい児通園施設等	216	45.8	40.3	20.8	19.0	18.5	19.9	12.0	5.6	19.0	1.4
	小・中学校(通常学級)	32	31.3	50.0	28.1	21.9	12.5	6.3	9.4	-	25.0	3.1
	小・中学校(特別支援学級)	123	45.5	38.2	22.8	19.5	17.9	15.4	11.4	2.4	21.1	0.8
	特別支援学校小・中学部	138	44.9	44.9	24.6	16.7	17.4	21.0	16.7	5.1	16.7	0.7
	高等学校	22	27.3	22.7	13.6	9.1	13.6	13.6	9.1	4.5	45.5	-
	特別支援学校高等部	70	34.3	31.4	24.3	17.1	20.0	18.6	11.4	5.7	28.6	1.4
	訪問教育	3	-	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-
	大学・短大・専門学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	15	46.7	20.0	20.0	20.0	20.0	13.3	-	13.3	33.3	-
	通っていない	19	31.6	31.6	-	31.6	26.3	15.8	15.8	-	36.8	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

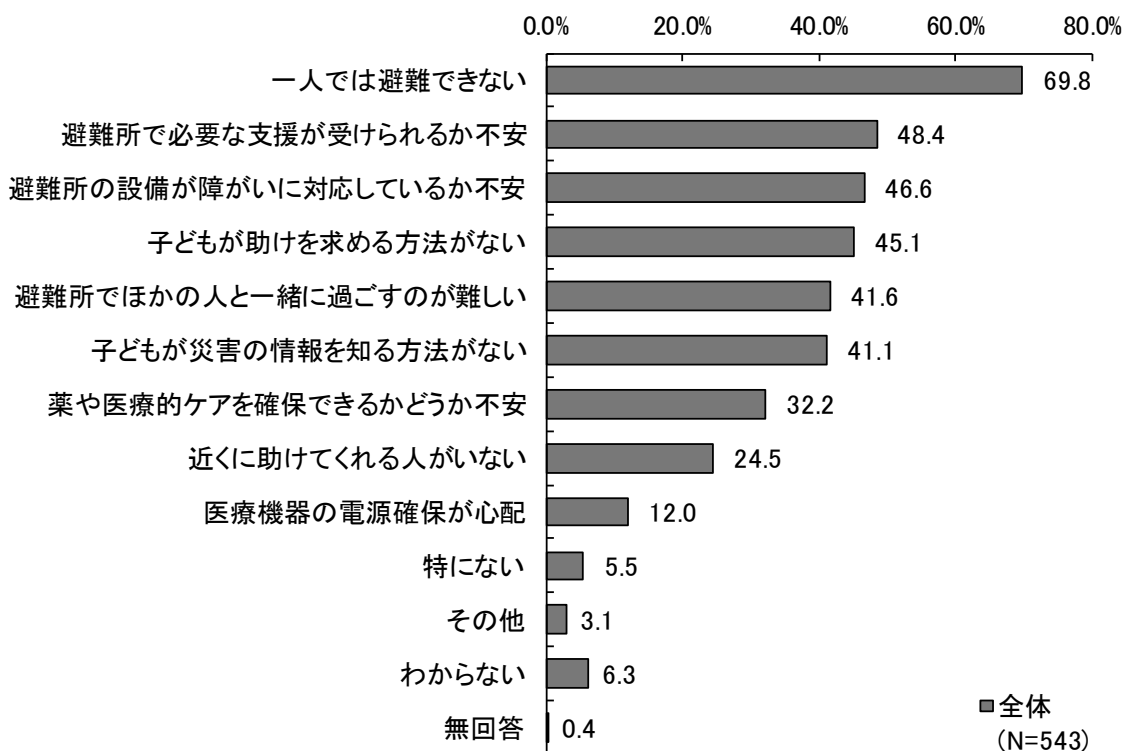
12. 防災について

- ・地震などの災害発生時に困ることや不安なことについて、障がいの状況別にみると、重複障がい児（身体障がい・知的障がい）では他に比べて全般的に回答割合が高くなっている。【図表6-82】
- ・災害への備えについて、障がいの状況別にみると、身体障がい児（身体障がいのみ）では、「日頃から家族で災害時の対応を話し合っている」（42.7%）の割合が高く、重複障がい児（身体障がい・知的障がい）では、「非常時持ち出し品の用意、非常食などの備蓄をしている」（44.5%）、「避難行動要支援者名簿に登録している」（37.0%）の回答割合が他と比較して高くなっている。【図表6-84】
- ・災害時に頼れる人については、「同居の家族」が8割強（84.2%）で最も高い。世帯状況別にみると、親と子のみの家庭では「頼れる人がいない」の回答割合が他と比較して高くなっている。【図表6-86】
- ・福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度については、「わからない」（35.9%）が最も高くなっている。障がいの状況別にみると、重複障がい（身体障がい・知的障がい）の場合、『感じていない』（「感じていない」＋「どちらかといえば感じていない」の合計）の回答割合が4割強（41.2%）となっており、他と比較して高くなっている。年齢別にみると、12～14歳で『感じていない』の回答割合が4割強（42.2%）と高い傾向がみられる。【図表6-87、図表6-88】

(1) 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと

問31 お子さんが、地震などの災害が発生したときに、困ることや不安なことは何ですか。
 (○はあてはまるものすべて)

【図表6-81 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと】



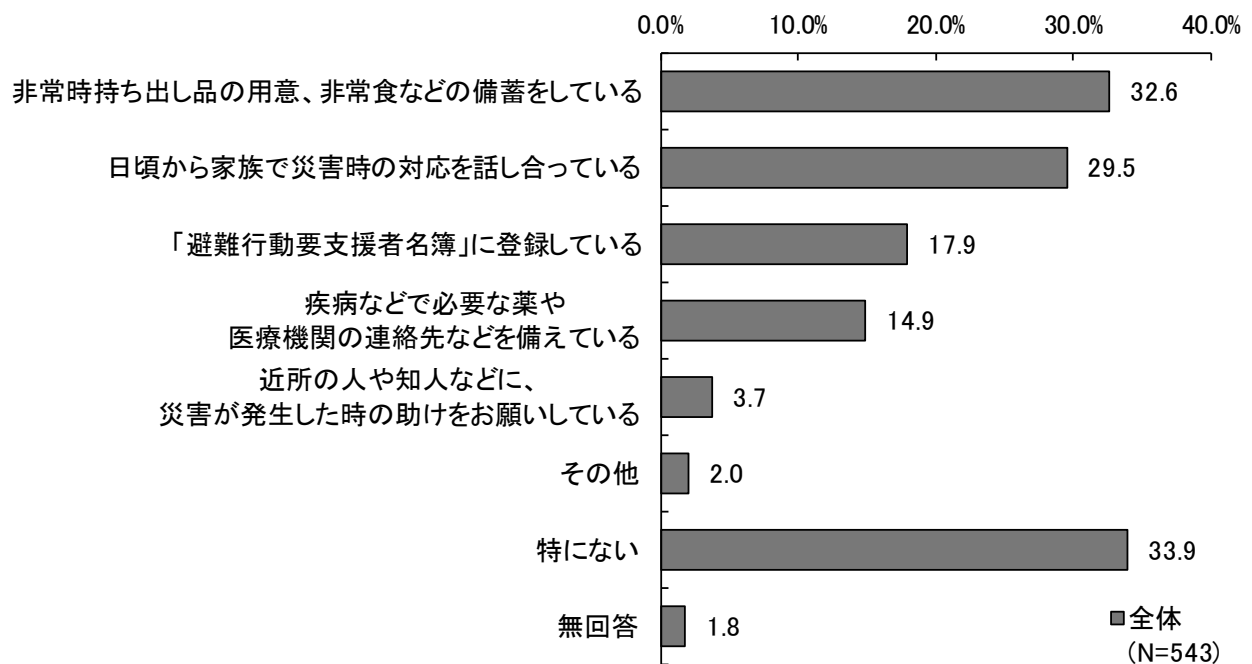
【図表6-82 障がいの状況別 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと】(%)

	調査数(人)	地震などの災害発生時に困ることや不安なこと													
		一人では避難できない	避難所での必要支援が受けられない	避難所の設備が不安	法が不明	子どもが助けを求められない	避難所でのほかのひとと一緒	避難所でのほかのひとと一緒	子どもが災害の情報を知ることができない	薬や医療的ケアを確保できない	近くに助けをくれる人がいない	医療機器の電源確保が心配	その他	特になし	わからない
全体	543	69.8	48.4	46.6	45.1	41.6	41.1	32.2	24.5	12.0	3.1	5.5	6.3	0.4	
障がいの状況	身体障がいのみ	75	58.7	41.3	45.3	26.7	10.7	30.7	37.3	20.0	22.7	2.7	9.3	9.3	-
	知的障がいのみ	314	68.5	44.0	39.8	48.4	44.6	45.2	19.8	24.2	3.5	2.2	5.7	7.6	0.3
	精神障がいのみ	1	100.0	-	-	-	-	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	84.9	65.6	63.9	50.4	54.6	39.5	57.1	26.1	26.9	4.2	1.7	-	0.8
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	60.0	40.0	46.7	40.0	26.7	13.3	40.0	26.7	-	13.3	13.3	6.7	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	66.7	100.0	100.0	100.0	66.7	66.7	100.0	66.7	33.3	-	-	-	-
	無回答	15	46.7	46.7	53.3	26.7	46.7	40.0	46.7	26.7	26.7	6.7	6.7	6.7	-

(2) 災害への備え

問32 お子さんのために、災害に対してどのような備えをしていますか。
(○はあてはまるものすべて)

【図表6-83 災害への備え】



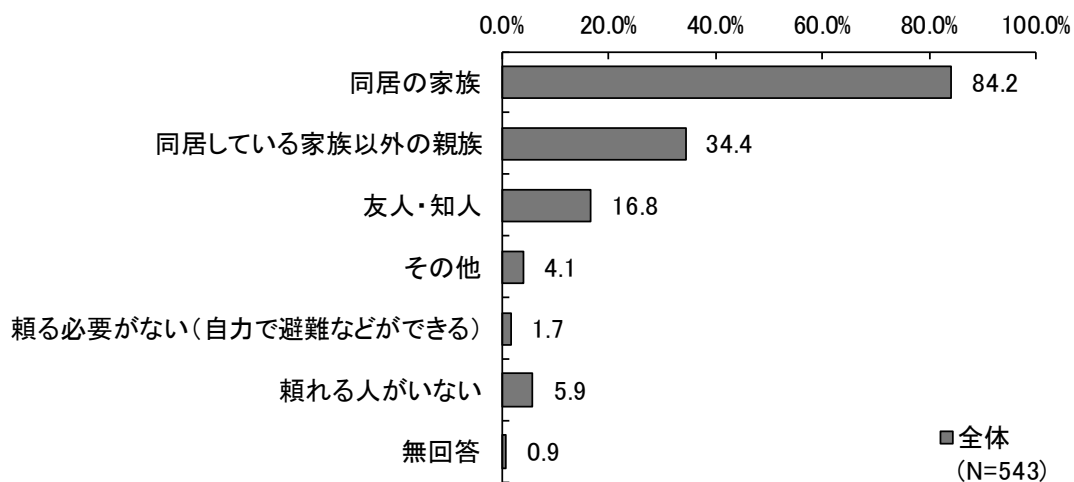
【図表6-84 障がいの状況別 災害への備え】(%)

	調査数(人)	災害への備え								
		非常時の備蓄を出している	日頃から家族で災害時の対応を話し合っている	「避難行動要支援者名簿」に登録している	連絡先などを必要に応じて備えている	疾病などで必要な薬や医療機関の	近所の人や知人などに、災害が発生した時の助けをお願いしている	その他	特にな	無回答
全体	543	32.6	29.5	17.9	14.9	3.7	2.0	33.9	1.8	
障がいの状況	身体障がいのみ	75	28.0	42.7	20.0	22.7	5.3	-	24.0	2.7
	知的障がいのみ	314	27.7	28.3	10.5	6.1	2.6	2.2	42.7	1.3
	精神障がいのみ	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	44.5	21.0	37.0	27.7	5.0	2.5	21.9	1.7
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	46.7	33.3	-	33.3	6.7	6.7	26.7	6.7
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	33.3	33.3	100.0	33.3	-	-	-	-
	無回答	15	46.7	40.0	13.3	40.0	6.7	-	13.3	6.7

(3) 災害時に頼れる人

問33 水害や地震などが発生したときに、お子さんの安全の確保などで頼れる人はどなたですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表6-85 災害時に頼れる人】



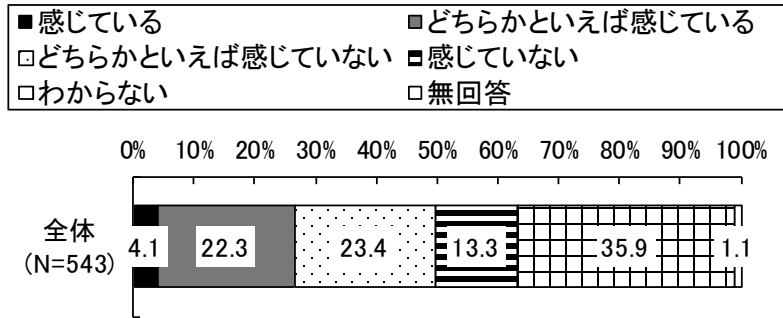
【図表6-86 障がいの状況別、年齢別、世帯状況別 災害時に頼れる人】(%)

		調査数(人)	災害時に頼れる人						無回答
			同居の家族	親同居している家族以外の	友人・知人	その他	避難などができる(自力で)	頼る必要がない(自力で)	
全体		543	84.2	34.4	16.8	4.1	1.7	5.9	0.9
障がいの状況	身体障がいのみ	75	85.3	37.3	28.0	1.3	4.0	4.0	-
	知的障がいのみ	314	85.0	38.9	17.2	4.1	1.6	6.1	1.0
	精神障がいのみ	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	84.9	23.5	8.4	5.9	-	6.7	0.8
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	73.3	40.0	13.3	6.7	6.7	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	66.7	33.3	-	-	-	-	-
	無回答	15	66.7	6.7	20.0	-	-	13.3	6.7
全体		543	84.2	34.4	16.8	4.1	1.7	5.9	0.9
年齢	0~2歳	19	89.5	31.6	15.8	5.3	-	-	-
	3~5歳	123	81.3	39.8	10.6	4.1	0.8	8.1	1.6
	6~8歳	98	91.8	44.9	22.4	5.1	-	4.1	-
	9~11歳	96	80.2	35.4	15.6	2.1	1.0	6.3	2.1
	12~14歳	97	86.6	33.0	20.6	5.2	2.1	6.2	-
	15~17歳	106	81.1	19.8	17.0	3.8	4.7	5.7	0.9
	無回答	4	75.0	25.0	-	-	-	-	-
全体		543	84.2	34.4	16.8	4.1	1.7	5.9	0.9
世帯状況	親と子のみ(母子家庭)	46	54.3	28.3	21.7	2.2	4.3	17.4	2.2
	親と子のみ(父子家庭)	4	50.0	-	-	-	-	50.0	-
	親と子のみ(両親あり)	403	89.8	38.0	16.9	3.7	0.7	4.5	0.7
	三世帯同居(親と子と祖父母)	49	89.8	24.5	14.3	-	4.1	4.1	2.0
	その他	11	36.4	9.1	9.1	45.5	18.2	-	-
	無回答	30	66.7	26.7	16.7	3.3	-	6.7	-

(4) 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度

問3 4 あなたは、福岡市は安全・安心のための社会環境整備ができていると感じていますか。
(○は1つだけ)

【図表6-87 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度】



【図表6-88 障がいの状況別、年齢別、世帯状況別
福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度】 (%)

	調査数 (人)	福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度						集約		
		感じている	どちらかといえば感じている	どちらかといえば感じていない	感じていない	わからない	無回答	感じている	感じていない	
全体	543	4.1	22.3	23.4	13.3	35.9	1.1	26.4	36.7	
障がいの状況	身体障がいのみ	75	5.3	20.0	17.3	13.3	44.0	-	25.3	30.7
	知的障がいのみ	314	4.1	22.6	24.2	11.8	36.3	1.0	26.8	36.0
	精神障がいのみ	1	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	3.4	23.5	26.9	14.3	30.3	1.7	26.9	41.2
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	-	20.0	20.0	20.0	40.0	-	20.0	40.0
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0
	無回答	15	6.7	26.7	6.7	13.3	40.0	6.7	33.3	20.0
全体	543	4.1	22.3	23.4	13.3	35.9	1.1	26.4	36.7	
年齢	0~2歳	19	-	15.8	26.3	10.5	47.4	-	15.8	36.8
	3~5歳	123	4.9	16.3	18.7	15.4	43.1	1.6	21.2	34.1
	6~8歳	98	4.1	27.6	27.6	9.2	31.6	-	31.7	36.8
	9~11歳	96	1.0	30.2	21.9	12.5	31.3	3.1	31.2	34.4
	12~14歳	97	2.1	23.7	27.8	14.4	32.0	-	25.8	42.2
	15~17歳	106	8.5	17.0	21.7	14.2	37.7	0.9	25.5	35.9
	無回答	4	-	25.0	25.0	25.0	25.0	-	25.0	50.0
	全体	543	4.1	22.3	23.4	13.3	35.9	1.1	26.4	36.7
世帯状況	親と子のみ(母子家庭)	46	8.7	15.2	19.6	19.6	34.8	2.2	23.9	39.2
	親と子のみ(父子家庭)	4	25.0	-	25.0	-	50.0	-	25.0	25.0
	親と子のみ(両親あり)	403	3.5	22.8	22.8	13.2	36.7	1.0	26.3	36.0
	三世代同居(親と子と祖父母)	49	2.0	30.6	28.6	10.2	26.5	2.0	32.6	38.8
	その他	11	-	9.1	54.5	-	36.4	-	9.1	54.5
	無回答	30	6.7	20.0	16.7	16.7	40.0	-	26.7	33.4

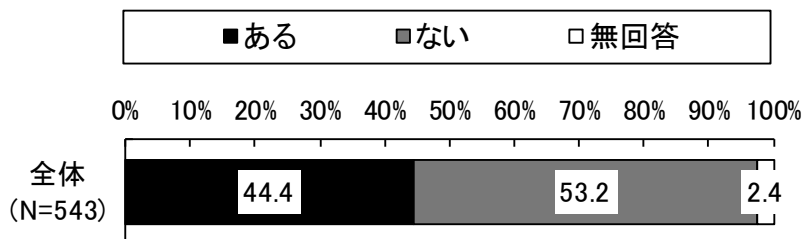
13. 差別や人権について

- ・差別を受けたり、いやな思いをした経験について、44.4%が「ある」と回答している。【図表6-89】
- ・障がい者の人権に関して問題があると思うことについて、障がいの状況別にみると、身体障がい児（身体障がいのみ）では「聴覚・視覚障がい者などへ必要な情報を伝える配慮が足りないこと」（22.7%）、知的障がい児（知的障がいのみ）では「差別的な言動を受けること」（41.4%）、「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」（39.8%）、「詐欺や悪徳商法の被害を受けやすいこと」（18.5%）、重複障がい児（身体障がい・知的障がい）では「道路の段差や建物の階段など外出先での不便が多いこと」（33.6%）、「使える在宅サービスや福祉施設・病院が少ないこと」（18.5%）の回答割合が他と比較して高くなっている。年齢別にみると、3～5歳では「学校の受け入れ体制が不十分なこと」（35.8%）の回答割合が高くなっている。【図表6-94】

(1) 差別を受けたり、いやな思いをした経験

問35 ここ2～3年の間に、障がいがあるため、差別を受けたりいやな思いをしたことがありますか。(○は1つだけ)

【図表6-89 差別を受けたり、いやな思いをした経験】



【図表6-90 障がいの状況別、年齢別、通園・通学先別

差別を受けたり、いやな思いをした経験】(%)

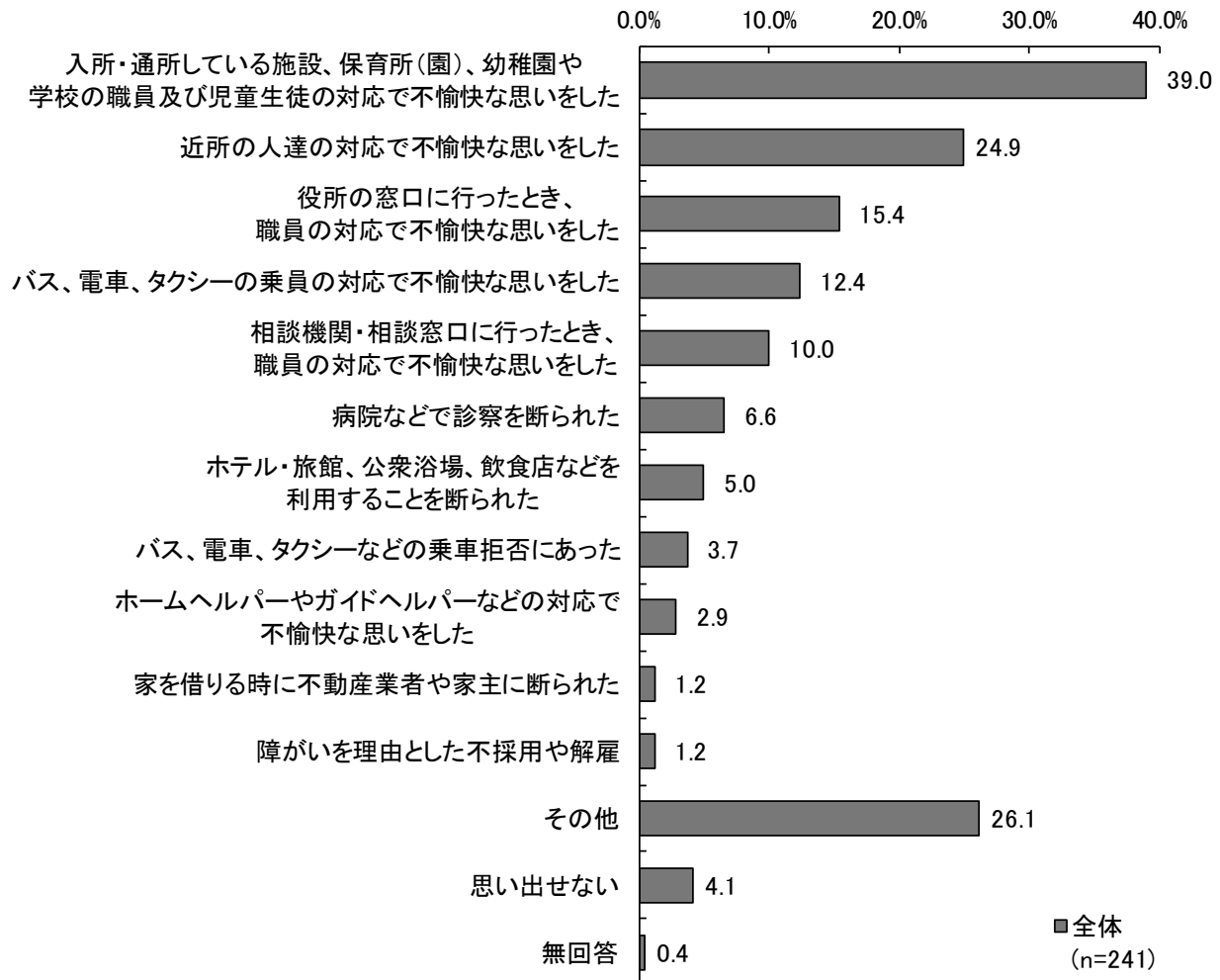
	調査数 (人)	差別を受けたり、いやな思いをした経験			
		ある	ない	無回答	
全体	543	44.4	53.2	2.4	
障がいの状況	身体障がいのみ	75	48.0	48.0	4.0
	知的障がいのみ	314	41.4	56.7	1.9
	精神障がいのみ	1	-	100.0	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	47.1	51.3	1.7
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	100.0	-	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	60.0	33.3	6.7
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	100.0	-	-
	無回答	15	40.0	53.3	6.7
全体	543	44.4	53.2	2.4	
年齢	0～2歳	19	15.8	78.9	5.3
	3～5歳	123	48.0	50.4	1.6
	6～8歳	98	42.9	55.1	2.0
	9～11歳	96	53.1	44.8	2.1
	12～14歳	97	39.2	57.7	3.1
	15～17歳	106	41.5	55.7	2.8
	無回答	4	100.0	-	-
全体	543	44.4	53.2	2.4	
通園・通学先	幼稚園・保育所(園)	61	44.3	52.5	3.3
	障がい児通園施設等	216	49.1	50.0	0.9
	小・中学校(通常学級)	32	46.9	50.0	3.1
	小・中学校(特別支援学級)	123	40.7	56.9	2.4
	特別支援学校小・中学部	138	49.3	49.3	1.4
	高等学校	22	18.2	77.3	4.5
	特別支援学校高等部	70	48.6	48.6	2.9
	訪問教育	3	33.3	66.7	-
	大学・短大・専門学校	-	-	-	-
	その他	15	60.0	33.3	6.7
	通っていない	19	31.6	68.4	-
	無回答	-	-	-	-

(2) 差別を受けたり、いやな思いをした内容

[問35で「1」を選ばれた方におたずねします]

問35-1 どのようなことで、いやな思いをしましたか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表6-91 差別を受けたり、いやな思いをした内容】



第6章 障がい児調査

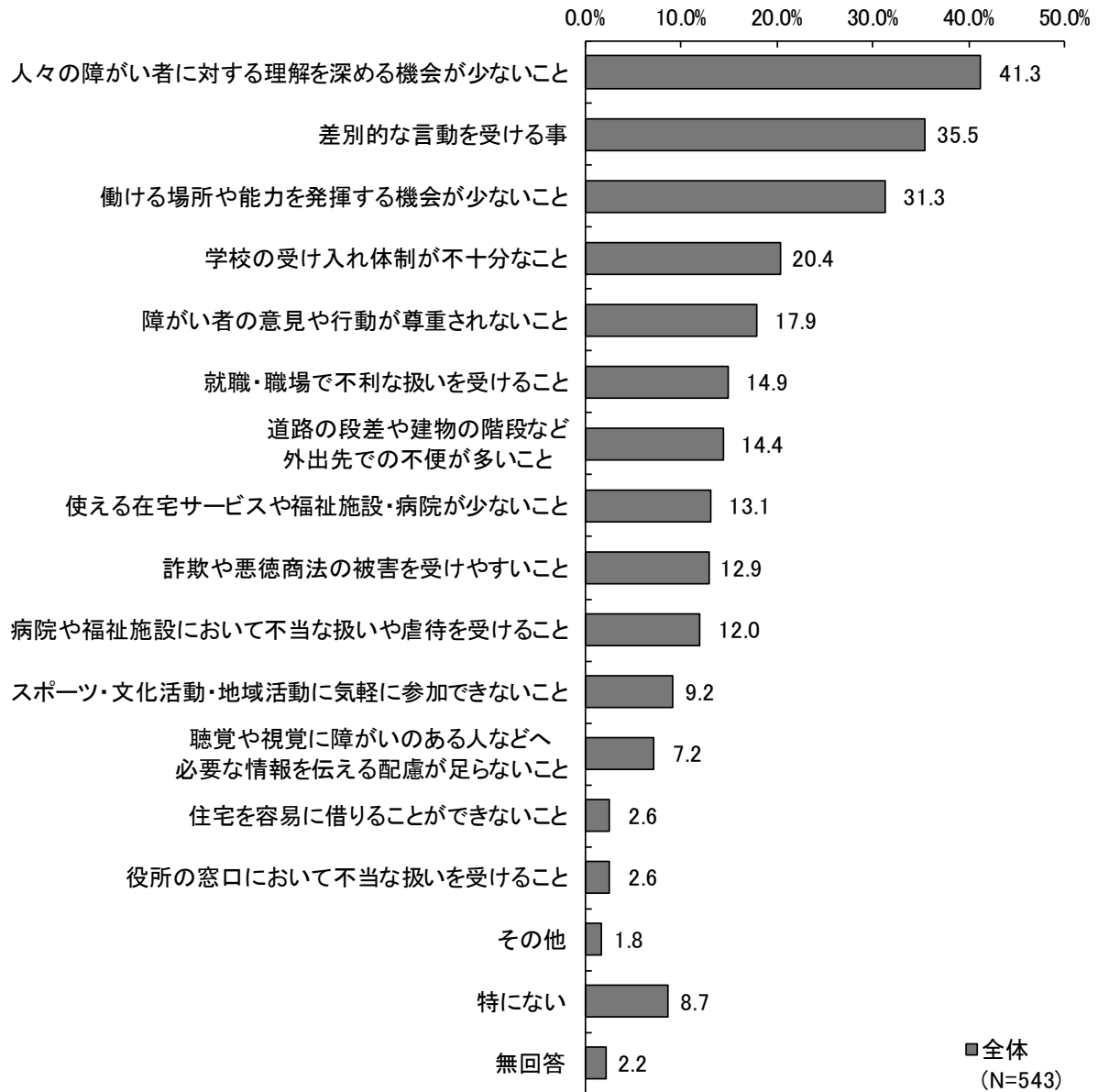
【図表6-92 障がいの状況別、年齢別 差別を受けたり、いやな思いをした内容】(%)

	調査数(人)	差別を受けたり、いやな思いをした内容														
		入所・通所している施設、学校等の職員及び児童生徒の対応で不愉快な思いをした	近所の人達の対応で不愉快な思いをした	役所の窓口に行ったとき、職員の対応で不愉快な思いをした	バス、電車、タクシーの乗員の対応で不愉快な思いをした	相談機関・相談窓口に行ったとき、職員への対応で不愉快な思いをした	病院などで診察を断られた	ホテル・旅館、公衆浴場、飲食店などを利用することを断られた	バス、電車、タクシーなどの乗車拒否にあった	ホームヘルパーやガイドヘルパーなどの対応で不愉快な思いをした	家を借りる時に不動産業者や家主に断られた	障がいを理由とした不採用や解雇	その他	思い出せない	無回答	
全体	241	39.0	24.9	15.4	12.4	10.0	6.6	5.0	3.7	2.9	1.2	1.2	26.1	4.1	0.4	
障がいの状況	身体障がいのみ	36	52.8	11.1	25.0	11.1	13.9	8.3	2.8	2.8	5.6	-	-	16.7	-	
	知的障がいのみ	130	45.4	28.5	11.5	12.3	7.7	6.2	4.6	2.3	2.3	2.3	27.7	2.3	-	
	精神障がいのみ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	56	16.1	25.0	14.3	8.9	7.1	5.4	8.9	7.1	1.8	-	-	32.1	7.1	
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	9	22.2	44.4	33.3	33.3	33.3	11.1	-	11.1	-	-	-	-	22.2	
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	66.7	-	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	-	-	33.3	-	
	無回答	6	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-	33.3	-	
全体	241	39.0	24.9	15.4	12.4	10.0	6.6	5.0	3.7	2.9	1.2	1.2	26.1	4.1	0.4	
年齢	0~2歳	3	-	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	3~5歳	59	42.4	16.9	20.3	6.8	10.2	5.1	-	1.7	1.7	-	-	40.7	-	
	6~8歳	42	42.9	26.2	9.5	11.9	9.5	9.5	7.1	-	4.8	-	-	23.8	2.4	
	9~11歳	51	35.3	23.5	9.8	17.6	11.8	5.9	7.8	7.8	2.0	-	-	21.6	9.8	
	12~14歳	38	42.1	26.3	23.7	7.9	10.5	7.9	5.3	7.9	5.3	2.6	5.3	26.3	-	
	15~17歳	44	36.4	34.1	9.1	15.9	6.8	6.8	6.8	2.3	2.3	4.5	2.3	13.6	9.1	
	無回答	4	25.0	-	50.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-	

(3) 障がい者の人権に関して問題があると思うこと

問36 障がい者に関する事柄で、特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

【図表6-93 障がい者の人権に関して問題があると思うこと】



【図表6-94 障がいの状況別、年齢別 障がい者の人権に関して問題があると思うこと】(%)

		調査数(人)	障がい者の人権に関して問題があると思うこと								
			と解人々 を深め る機 会が少 ないこ 理	差 別的 な言 動を 受け る事	働 ける 場 所や 能力 を 発 揮 す	分 学 校の 受け 入れ 体 制が 不 十	重 障 が い 者 の 意 見 や 行 動 が 尊	受 就 職 の 機 会 で 不 利 な 扱 い を	と ど 外 出 先 で の 不 便 が 多 い こ な	道 路 の 段 差 や 建 物 の 階 段 こ な	施 設 ・ 病 院 が 少 な い こ な
全体		543	41.3	35.5	31.3	20.4	17.9	14.9	14.4	13.1	12.9
障がいの状況	身体障がいのみ	75	36.0	24.0	24.0	24.0	18.7	13.3	22.7	8.0	2.7
	知的障がいのみ	314	41.4	41.4	39.8	20.7	20.4	17.5	5.4	11.8	18.5
	精神障がいのみ	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	42.9	27.7	16.0	17.7	8.4	6.7	33.6	18.5	2.5
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	46.7	40.0	26.7	6.7	20.0	26.7	-	20.0	33.3
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	33.3	-	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	-
	無回答	15	46.7	33.3	13.3	26.7	26.7	20.0	20.0	13.3	13.3
全体		543	41.3	35.5	31.3	20.4	17.9	14.9	14.4	13.1	12.9
年齢	0~2歳	19	26.3	31.6	15.8	15.8	15.8	10.5	15.8	10.5	5.3
	3~5歳	123	48.0	43.9	22.8	35.8	20.3	12.2	13.0	13.0	4.1
	6~8歳	98	43.9	32.7	37.8	18.4	14.3	16.3	15.3	13.3	16.3
	9~11歳	96	36.5	40.6	25.0	16.7	14.6	18.8	13.5	12.5	17.7
	12~14歳	97	42.3	34.0	36.1	15.5	22.7	16.5	9.3	15.5	17.5
	15~17歳	106	37.7	27.4	39.6	13.2	17.9	12.3	20.8	12.3	12.3
	無回答	4	25.0	-	25.0	25.0	-	25.0	-	-	25.0

		調査数(人)	障がい者の人権に関して問題があると思うこと								
			と当病 な院 扱 い や 福 祉 施 設 を お い て こ 不	こ 活 動 に 気 軽 に 参 加 お い て こ 不	ス ポ ー ツ ・ 文 化 活 動 ・ 地 域	配 慮 が 足 ら な い こ と	人 な ど へ 必 要 な 情 報 を 伝 え る	聴 覚 や 視 覚 が 障 害 を も た す こ と	住 宅 を 容 易 に 借 り る こ と が	扱 い を 受 け る こ と が 不 当 な	役 所 の 窓 口 に お い て 不 当 な
全体		543	12.0	9.2	7.2	2.6	2.6	1.8	8.7	2.2	
障がいの状況	身体障がいのみ	75	6.7	10.7	22.7	4.0	2.7	2.7	14.7	4.0	
	知的障がいのみ	314	14.0	9.6	4.5	1.9	1.9	1.0	7.0	1.3	
	精神障がいのみ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	13.5	9.2	4.2	2.5	3.4	3.4	8.4	3.4	
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	-	-	13.3	-	6.7	-	13.3	6.7	
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	
	無回答	15	-	-	-	13.3	6.7	6.7	13.3	-	
全体		543	12.0	9.2	7.2	2.6	2.6	1.8	8.7	2.2	
年齢	0~2歳	19	10.5	5.3	5.3	10.5	10.5	-	15.8	5.3	
	3~5歳	123	10.6	5.7	7.3	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	
	6~8歳	98	14.3	11.2	7.1	-	2.0	1.0	6.1	1.0	
	9~11歳	96	16.7	11.5	6.3	1.0	2.1	2.1	8.3	2.1	
	12~14歳	97	10.3	10.3	7.2	5.2	2.1	1.0	15.5	2.1	
	15~17歳	106	8.5	9.4	8.5	2.8	0.9	1.9	10.4	2.8	
	無回答	4	25.0	-	-	-	50.0	25.0	25.0	-	

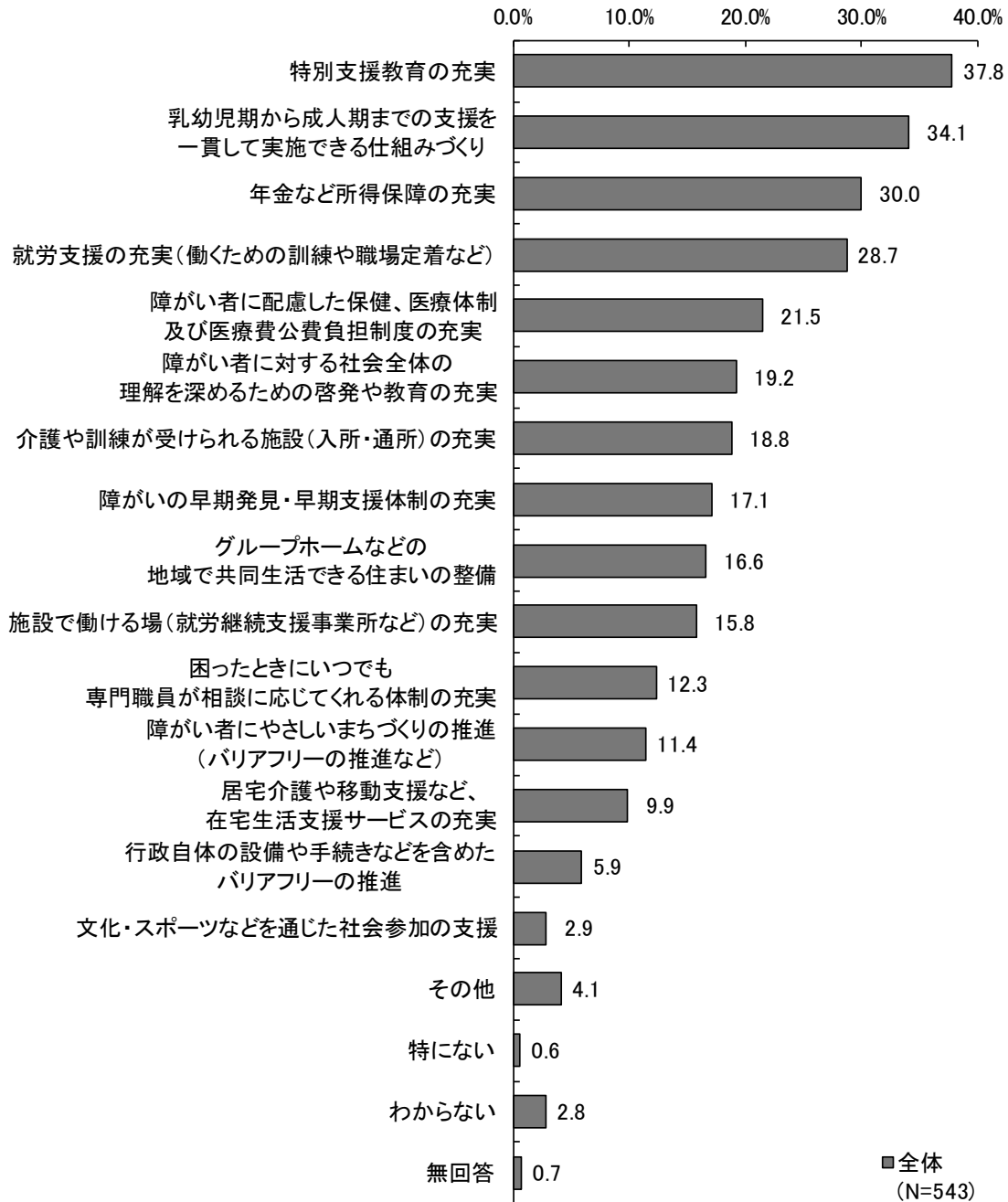
14. 福祉施策全般について

- 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいことについては、「特別支援学校の充実」(32.8%)や「乳幼児期から成人期までの支援を一貫して実施できる仕組みづくり」(34.1%)が高い。障がいの状況別にみると、身体障がい児(身体障がいのみ)では他に比べて「障がい者に対する社会全体の理解を深めるための啓発や教育の充実」(26.7%)、「障がい者にやさしいまちづくりの推進(バリアフリーの推進など)」(26.7%)、知的障がい児(知的障がいのみ)では「特別支援教育の充実」(44.3%)、「就労支援の充実(働くための訓練や職場定着など)」(35.4%)、重複障がい児(身体障がい・知的障がい)では「介護や訓練が受けられる施設(入所・通所)の充実」(31.1%)、「居宅介護や移動支援など、在宅生活支援サービスの充実」(24.4%)等の回答割合が他と比較して高くなっている。【図表6-96】
- 障がい者支援として地域社会や企業に望むことについては、「障がいに対する理解を深める」(71.6%)が7割強と最も多い。障がいの状況別にみると、身体障がい児(身体障がいのみ)と重複障がい児(身体障がい・知的障がい)では、知的障がい児(知的障がいのみ)に比べて「公共交通機関や建物等を障がい者が利用しやすいようにつくる」の割合が高くなっている。一方、知的障がい児(知的障がいのみ)では、「障がいに対する理解を深める」(75.2%)、「企業で障がい者を積極的に雇用する」(56.4%)の回答割合が他と比較して高くなっている。【図表6-97、図表6-98】
- 福岡市の暮らしやすさについては、「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計の割合が44.7%、「感じていない」と「どちらかといえば感じていない」の合計の割合が34.5%となっている。障がいの状況別にみると、重複障がい児(身体障がい・知的障がい)では『感じている(「感じている」+「どちらかといえば感じている」)』が5割超(56.3%)と他と比較して高い一方、身体障がい児(身体障がいのみ)では『感じている』は4割弱(36.0%)に留まっている。年齢別にみると、5歳以下では『感じている』の回答割合が低くなっている。【図表6-99、図表6-100】

(1) 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと

問37 障がいのある人が暮らしやすい社会をつくるために、国や県、市に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

【図表6-95 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと】



【図表6-96 障がいの状況別、年齢別

障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと】(%)

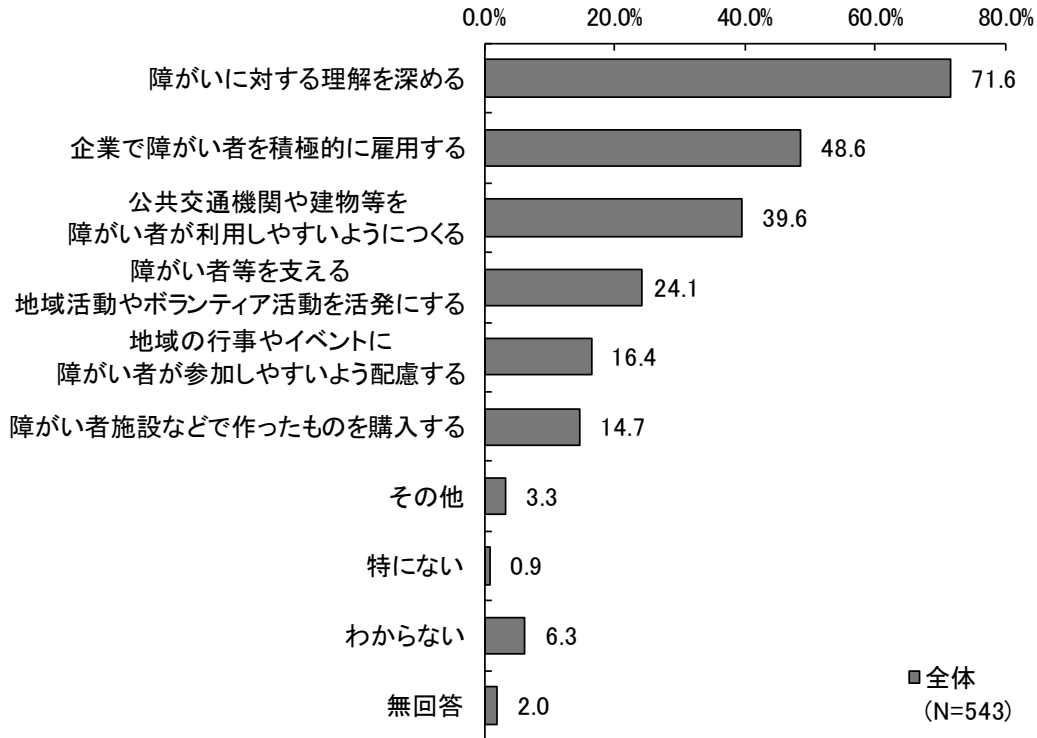
		調査数(人)	障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと											
			特別支援教育の充実	一貫して乳幼児期から成人期までの支援を	年金など所得保障の充実	や職場定着など	就労支援の充実(働くための訓練)	制及び医療費公費負担制度の充実	障がい者に対する啓発や教育の充実	を深めるための啓発や教育の充実	介護や訓練が受けられる施設(入所・通所)の充実	障がいの早期発見・早期支援体制の充実	生活できる住まいの整備	グループホームなどの地域で共同生活
全体		543	37.8	34.1	30.0	28.7	21.5	19.2	18.8	17.1	16.6	15.8		
障がいの状況	身体障がいのみ	75	34.7	32.0	30.7	24.0	22.7	26.7	12.0	21.3	2.7	9.3		
	知的障がいのみ	314	44.3	34.7	33.1	35.4	22.6	16.6	16.2	18.8	19.4	18.8		
	精神障がいのみ	1	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-	100.0		
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	26.1	34.5	16.8	10.1	16.8	20.2	31.1	7.6	18.5	13.5		
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-		
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	13.3	6.7	33.3	53.3	13.3	13.3	13.3	20.0	13.3	6.7		
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	-	-	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	-	-		
無回答	15	40.0	60.0	60.0	33.3	26.7	20.0	13.3	20.0	20.0	13.3			
全体		543	37.8	34.1	30.0	28.7	21.5	19.2	18.8	17.1	16.6	15.8		
年齢	0~2歳	19	21.1	47.4	15.8	-	42.1	10.5	42.1	21.1	-	5.3		
	3~5歳	123	42.3	52.0	20.3	20.3	17.9	23.6	20.3	25.2	8.9	7.3		
	6~8歳	98	48.0	40.8	27.6	29.6	23.5	27.6	10.2	15.3	18.4	16.3		
	9~11歳	96	43.8	28.1	29.2	30.2	17.7	15.6	20.8	15.6	18.8	22.9		
	12~14歳	97	32.0	23.7	37.1	35.1	20.6	15.5	16.5	16.5	22.7	21.6		
	15~17歳	106	26.4	18.9	40.6	36.8	24.5	14.2	20.8	10.4	18.9	16.0		
	無回答	4	25.0	50.0	25.0	-	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-		

		調査数(人)	障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと									
			相談に応じていくつでも体制の充実	推進(パーリアフリーの推進など)	居宅介護や移動支援など、在宅生活	行政サービスの充実	行政サービスの推進	文化・スポーツなどを通じた社会	その他	特にな	わからない	無回答
全体		543	12.3	11.4	9.9	5.9	2.9	4.1	0.6	2.8	0.7	
障がいの状況	身体障がいのみ	75	6.7	26.7	12.0	10.7	6.7	5.3	1.3	5.3	1.3	
	知的障がいのみ	314	14.7	5.1	4.5	4.1	2.2	2.6	0.6	2.6	-	
	精神障がいのみ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	8.4	20.2	24.4	9.2	2.5	7.6	-	0.8	1.7	
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	20.0	-	6.7	-	-	-	-	13.3	6.7	
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	
無回答	15	20.0	13.3	6.7	-	6.7	-	-	-	-		
全体		543	12.3	11.4	9.9	5.9	2.9	4.1	0.6	2.8	0.7	
年齢	0~2歳	19	5.3	10.5	21.1	5.3	5.3	5.3	-	5.3	-	
	3~5歳	123	4.9	15.4	6.5	4.1	4.1	8.1	-	2.4	0.8	
	6~8歳	98	15.3	11.2	8.2	5.1	2.0	2.0	-	1.0	-	
	9~11歳	96	17.7	6.3	8.3	5.2	3.1	3.1	-	3.1	-	
	12~14歳	97	11.3	10.3	10.3	4.1	4.1	2.1	1.0	6.2	1.0	
	15~17歳	106	14.2	13.2	14.2	11.3	0.9	3.8	1.9	0.9	1.9	
	無回答	4	50.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	

(2) 障がい者支援として地域社会や企業に望むこと

問38 障がいのある人が暮らしやすい社会をつくるために、地域社会や企業に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

【図表6-97 障がい者支援として地域社会や企業に望むこと】



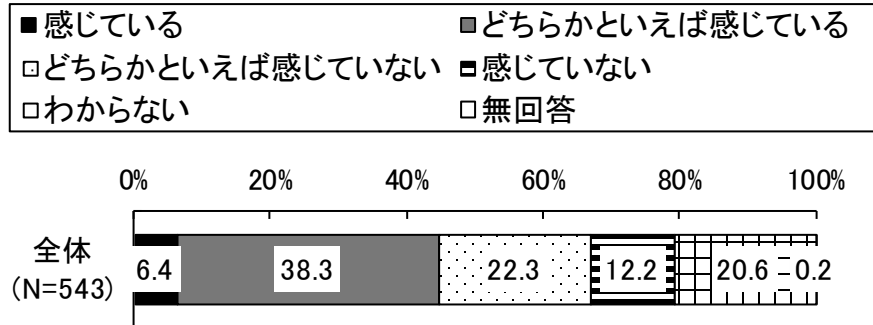
【図表6-98 障がいの状況別、年齢別 障がい者支援として地域社会や企業に望むこと】 (%)

	調査数 (人)	障がい者支援として地域社会や企業に望むこと (%)										
		障がいに対する理解を深める	企業で障がい者を積極的に雇用する	公共交通機関や建物等を障がい者が利用しやすいように作る	ボランティア等を支える地域活動を活発にする	地域の行事やイベントに障がい者が参加しやすいよう配慮する	障がい者施設などで作ったものを購入する	その他	特にない	わからない	無回答	
全体	543	71.6	48.6	39.6	24.1	16.4	14.7	3.3	0.9	6.3	2.0	
障がいの状況	身体障がいのみ	75	62.7	45.3	49.3	21.3	20.0	10.7	5.3	1.3	5.3	1.3
	知的障がいのみ	314	75.2	56.4	31.9	25.5	15.3	16.2	2.2	1.3	7.0	1.6
	精神障がいのみ	1	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	67.2	29.4	54.6	20.2	21.0	14.3	5.0	-	5.0	2.5
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	80.0	46.7	26.7	33.3	6.7	6.7	-	-	13.3	6.7
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	33.3	100.0	66.7	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-
	無回答	15	80.0	46.7	40.0	33.3	-	13.3	-	-	-	-
全体	543	71.6	48.6	39.6	24.1	16.4	14.7	3.3	0.9	6.3	2.0	
年齢	0~2歳	19	84.2	31.6	36.8	15.8	21.1	5.3	5.3	-	5.3	-
	3~5歳	123	75.6	41.5	41.5	23.6	14.6	9.8	4.9	-	7.3	1.6
	6~8歳	98	74.5	52.0	34.7	24.5	14.3	17.3	1.0	1.0	7.1	1.0
	9~11歳	96	66.7	42.7	43.8	25.0	18.8	12.5	2.1	1.0	5.2	4.2
	12~14歳	97	72.2	55.7	43.3	26.8	13.4	21.6	1.0	-	8.2	1.0
	15~17歳	106	67.0	55.7	35.8	22.6	18.9	15.1	6.6	2.8	3.8	2.8
	無回答	4	50.0	50.0	25.0	25.0	50.0	25.0	-	-	-	-

(3) 福岡市の暮らしやすさ

問39 あなたは、福岡市は障がいのある人が暮らしやすいまちだと感じていますか。
(○は1つだけ)

【図表6-99 福岡市の暮らしやすさ】



【図表6-100 障がいの状況別、年齢別 福岡市の暮らしやすさ】 (%)

	調査数 (人)	福岡市の暮らしやすさ						集約		
		感じている	どちらかといえば感じている	どちらかといえば感じていない	感じていない	わからない	無回答	感じている	感じていない	
全体	543	6.4	38.3	22.3	12.2	20.6	0.2	44.7	34.5	
障がいの状況	身体障がいのみ	75	4.0	32.0	24.0	17.3	22.7	-	36.0	41.3
	知的障がいのみ	314	7.0	37.6	22.9	9.9	22.6	-	44.6	32.8
	精神障がいのみ	1	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-
	重複障がい(身体障がい・知的障がい)	119	7.6	48.7	19.3	9.2	14.3	0.8	56.3	28.6
	重複障がい(身体障がい・精神障がい)	1	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-
	重複障がい(知的障がい・精神障がい)	15	-	26.7	20.0	26.7	26.7	-	26.7	46.7
	重複障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい)	3	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0
	無回答	15	6.7	13.3	33.3	26.7	20.0	-	20.0	60.0
全体	543	6.4	38.3	22.3	12.2	20.6	0.2	44.7	34.5	
年齢	0~2歳	19	15.8	10.5	31.6	5.3	31.6	5.3	26.3	36.9
	3~5歳	123	4.1	26.8	25.2	20.3	23.6	-	30.9	45.5
	6~8歳	98	7.1	38.8	21.4	8.2	24.5	-	45.9	29.6
	9~11歳	96	3.1	53.1	20.8	7.3	15.6	-	56.2	28.1
	12~14歳	97	8.2	38.1	23.7	10.3	19.6	-	46.3	34.0
	15~17歳	106	7.5	43.4	18.9	13.2	17.0	-	50.9	32.1
	無回答	4	25.0	25.0	-	25.0	25.0	-	50.0	25.0

第7章 精神障がい者調査（入院患者調査：二次調査結果）

【二次調査の対象者について】

一次調査（基礎調査）の対象者の中から無作為に抽出して、二次調査の対象として調査を実施した。

【図表中の診断名の表記について】

以降の図表中の診断（疾患）名は、文字数等の都合上、以下の2パターン（主な診断名、主な診断名（集約））の略称を用いて表記している。

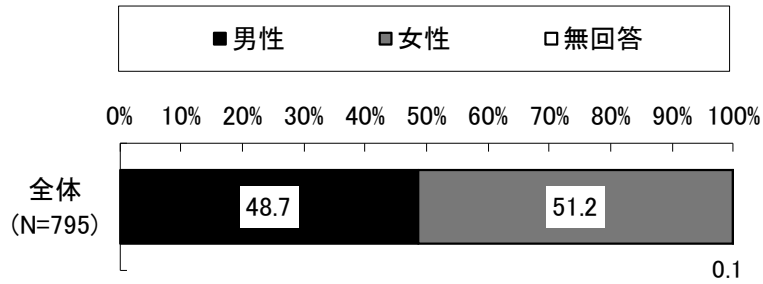
	Fコード		略称	
			主な診断名	主な診断名(集約)
1.	F00	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー型認知症	認知症
2.	F01	血管性認知症	血管性認知症	
3.	F0	上記以外の症状性を含む器質性精神障害《アルツハイマー型認知症、血管性認知症を除く》	器質性精神障害	
4.	F10	アルコール使用による精神及び行動の障害	アルコール依存症	物質依存症
5.	F1	覚せい剤による精神及び行動の障害	覚せい剤依存症	
6.	F1	アルコール、覚せい剤を除く精神作用物質使用による精神及び行動の障害	他の薬物依存症	
7.	F2	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症
8.	F3	気分(感情)障害《双極性感情障害を除く》	うつ病	気分障害
9.	F31	双極性感情障害	双極性感情障害	
10.	F4	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	神経症	その他
11.	F5	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	行動症候群	
12.	F6	成人のパーソナリティ及び行動の障害《病的賭博、性同一性障害を除く》	パーソナリティ障害	
13.	F63.0	病的賭博	病的賭博	
14.	F64	性同一性障害	性同一性障害	
15.	F7	精神遅滞[知的障害]	知的障害	
16.	F8	心理的発達の障害	発達障害	
17.	F9	小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	小児期等の精神障害	
18.		てんかん(F01に属さないものを計上する)	てんかん	
19.		その他	その他	
20.		診断保留	診断保留	
		無回答	無回答	無回答

1. 入院患者の基本属性

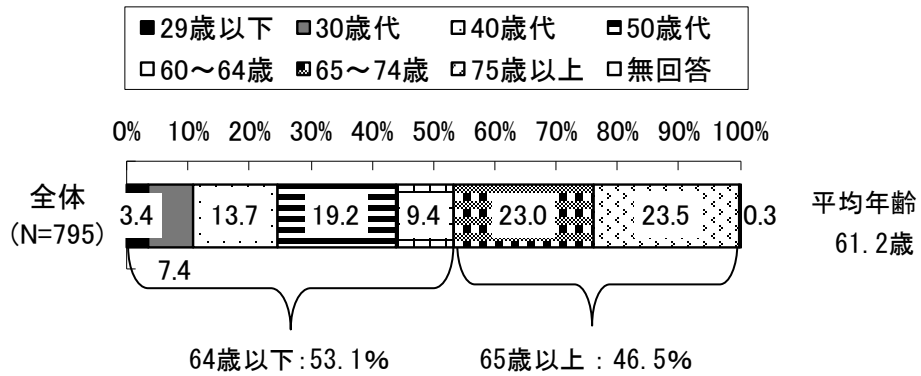
- ・入院患者の保険の種類は、「国保」が38.7%で最も高く、次いで「生活保護」（31.2%）、「後期高齢者医療」（21.3%）の順となっている。年齢別にみると、29歳以下では「健保」（25.9%）、「共済組合」（18.5%）、30歳代では「国保」（57.6%）、「健保」（16.9%）、40歳代では「生活保護」（44.0%）、75歳以上では「後期高齢者医療」（78.6%）が他の年代に比べて高くなっている。また、主な診断名（集約）別にみると、認知症では「後期高齢者医療」（53.2%）、物質依存症では「生活保護」（54.3%）がそれぞれ過半数を占め、他の診断に比べて高くなっている。【図表7-6】
- ・自宅住まいの形態は、「自分や家族の持ち家」（34.1%）が最も高く、「民間の借家や賃貸アパート・マンションなど」（25.8%）がそれに続いている。「住居なし」が27.3%みられる。年齢別にみると、29歳以下では「自分や家族の持ち家」（55.6%）、30歳代では「民間の借家や賃貸アパート・マンションなど」（44.1%）が他の年代に比べて高くなっている。主な診断名（集約）別にみると、認知症では「自分や家族の持ち家」（46.0%）の割合が他の診断に比べて高い。今回の入院期間別にみると、「住居なし」の割合は入院期間の長い人で高くなる傾向にあり、10年以上の入院期間では過半数を占めている。【図表7-12】
- ・世帯状況は、「一人暮らし」が38.5%で最も高く、「二世帯同居（親と同居）」（18.9%）、「その他（兄弟姉妹同居等）」（11.6%）、「二世帯同居（子と同居）」（11.4%）が1割台で続いている。年齢別にみると、若い年代ほど「二世帯同居（親と同居）」が高くなる傾向がみられ29歳以下では70.4%を占めている。60～74歳では「一人暮らし」の割合が5割弱と高く、75歳以上では「二世帯同居（子と同居）」（24.1%）が他の年代に比べて高くなっている。要介護認定の認定状況別にみると、認定を受けている場合「二世帯同居（子と同居）」（21.1%）が他に比べて高い。主な診断名（集約）別にみると、認知症では「二世帯同居（子と同居）」（25.4%）、物質依存症では「一人暮らし」（68.6%）の割合が他の診断に比べて高くなっている。【図表7-14】
- ・家族の支援体制は、「定期的な支援（3ヶ月に1回以上）」が53.3%を占め最も高い。年齢別にみると、30歳代以下では「定期的な支援（3ヶ月に1回以上）」が8割前後と高くなっている。主な診断名（集約）別にみると、気分障害では「定期的な支援（3ヶ月に1回以上）」（67.9%）、物質依存症では「なし」（25.7%）が他の診断に比べて高い。今回の入院期間別にみると、1年未満の入院期間では「定期的な支援（3ヶ月に1回以上）」が6割以上と高く、10年以上では「稀な支援（4ヶ月～3年に1回以上）」が43.8%と10年未満に比べて高くなっている。【図表7-16】
- ・精神障害者保健福祉手帳（以下、精神保健福祉手帳とする。）の所持状況は、「手帳あり」が35.1%となっている。年齢別にみると、40歳代と60～64歳の所持率は5割に達し高くなっている。主な診断名別にみると、統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害での所持率は45.4%で他の診断に比べて高い。【図表7-23】
- ・精神保健福祉手帳の等級は、「2級」が65.6%を占めている。年齢別にみると40歳代では「2級」が78.2%と高くなっている。【図表7-23】

(1) 性別・年齢・居住地区・障がい支援区分の認定状況

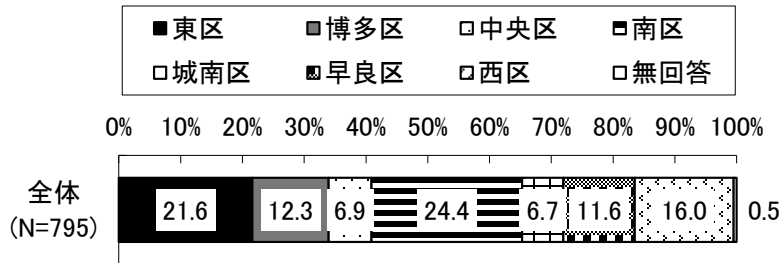
【図表7-1 性別】



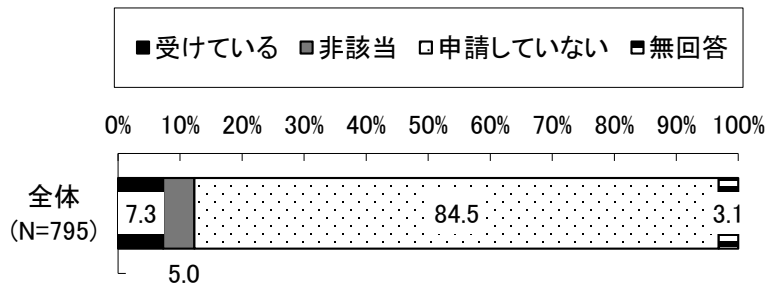
【図表7-2 年齢】



【図表7-3 居住地区】

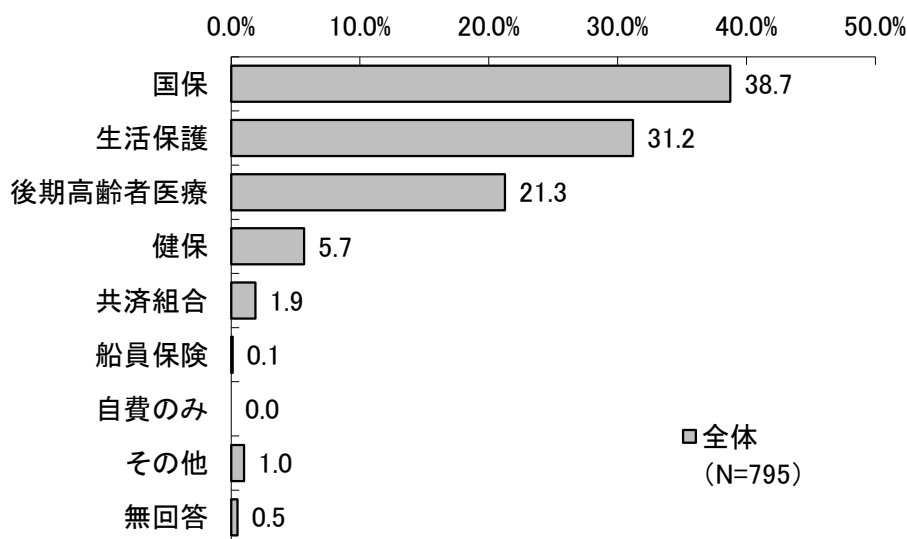


【図表7-4 障がい支援区分の認定状況】



(2) 保険の種類

【図表7-5 保険の種類】（複数回答）

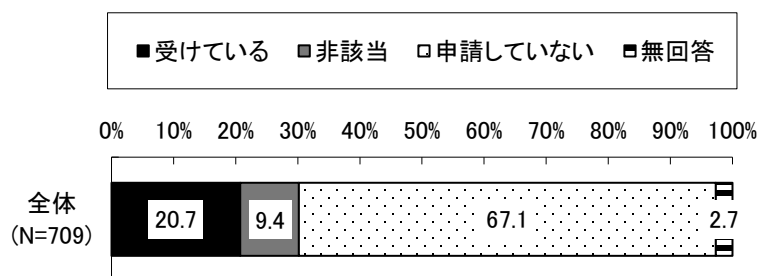


【図表7-6 性別、年齢別、主な診断名（集約）別 保険の種類】 (%)

	調査数 (人)	保険の種類									
		国保	生活保護	後期高齢者医療	健保	共済組合	船員保険	自費のみ	その他	無回答	
全体	795	38.7	31.2	21.3	5.7	1.9	0.1	-	1.0	0.5	
性別	男性	387	40.3	34.1	17.8	4.9	1.3	0.3	-	0.5	0.8
	女性	407	37.3	28.3	24.6	6.4	2.5	-	-	1.5	0.2
	無回答	1	-	100	-	-	-	-	-	-	-
	全体	795	38.7	31.2	21.3	5.7	1.9	0.1	-	1.0	0.5
年齢	29歳以下	27	40.7	7.4	3.7	25.9	18.5	-	-	-	3.7
	30歳代	59	57.6	20.3	-	16.9	3.4	-	-	1.7	-
	40歳代	109	45.9	44.0	-	8.3	0.9	-	-	0.9	0.9
	50歳代	153	54.2	37.3	-	5.9	1.3	0.7	-	1.3	-
	60～64歳	75	50.7	40.0	-	2.7	5.3	-	-	2.7	-
	65～74歳	183	48.6	33.9	11.5	4.4	0.5	-	-	0.5	0.5
	75歳以上	187	1.1	19.3	78.6	-	-	-	-	0.5	0.5
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-
全体	795	38.7	31.2	21.3	5.7	1.9	0.1	-	1.0	0.5	
主な診断名 (集約)	認知症	126	20.6	19.8	53.2	2.4	1.6	-	-	2.4	-
	物質依存症	35	22.9	54.3	8.6	11.4	2.9	-	-	-	-
	統合失調症	476	44.3	36.3	13.2	4.6	0.8	0.2	-	0.6	0.2
	気分障害	84	36.9	15.5	29.8	13.1	3.6	-	-	-	1.2
	その他	69	44.9	24.6	14.5	5.8	7.2	-	-	2.9	1.4
	診断保留	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	5	20.0	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-	20.0

(3) 要介護認定の認定状況（40歳以上）

【図表7-7 要介護認定の認定状況】

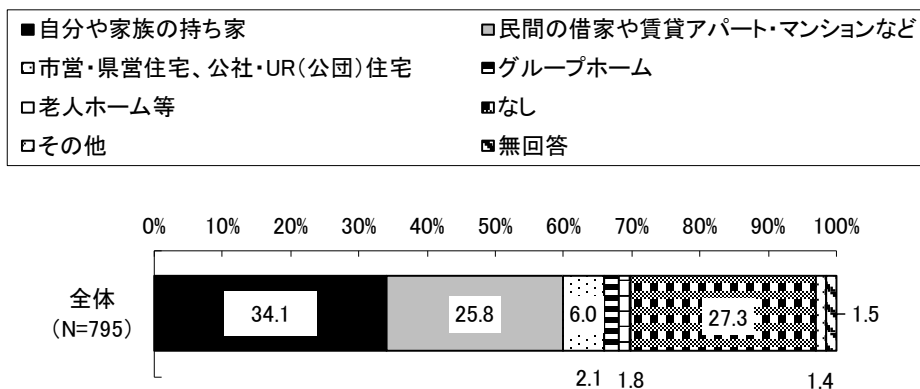


【図表7-8 年齢別、主な診断名（集約）別 要介護認定の認定状況】 (%)

	調査数 (人)	要介護認定の認定状況				
		受けている	非該当	申請していない	無回答	
全体	709	20.7	9.4	67.1	2.7	
年齢	29歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代	109	0.9	23.9	66.1	9.2
	50歳代	153	5.2	9.8	84.3	0.7
	60～64歳	75	10.7	10.7	76.0	2.7
	65～74歳	183	25.1	6.0	67.2	1.6
	75歳以上	187	44.9	3.7	49.7	1.6
	無回答	2	0.0	0.0	100.0	0.0
全体	709	20.7	9.4	67.1	2.7	
主な診断名 (統合)	認知症	124	58.1	4.0	37.9	0.0
	物質依存症	32	21.9	15.6	62.5	0.0
	統合失調症	422	9.0	11.4	76.5	3.1
	気分障害	75	26.7	6.7	64.0	2.7
	その他	51	17.6	5.9	70.6	5.9
	診断保留	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	5	20.0	20.0	40.0	20.0

(4) 住まいの形態

【図表7-11 住まいの形態】

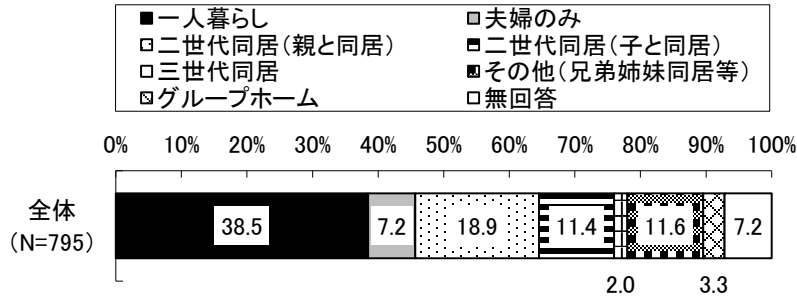


【図表7-12 年齢別、主な診断名（集約）別、今回の入院期間別 住まいの形態】 (%)

	調査数(人)	住まいの形態								
		自分や家族の持ち家	民間の借家や賃貸アパート・マンションなど	市営・県営住宅、公社・UR(公団)住宅	宅、地域のグループホーム(グループホーム)	高齢者の入居施設(特別養護老人ホームや軽費老人ホームなど)	住居なし	その他	無回答	
全体	795	34.1	25.8	6.0	2.1	1.8	27.3	1.4	1.5	
年齢	29歳以下	27	55.6	25.9	3.7	-	-	7.4	-	7.4
	30歳代	59	35.6	44.1	6.8	3.4	-	5.1	1.7	3.4
	40歳代	109	30.3	33.0	7.3	4.6	-	20.2	1.8	2.8
	50歳代	153	29.4	28.1	5.9	3.3	0.7	30.1	1.3	1.3
	60～64歳	75	29.3	25.3	2.7	2.7	1.3	38.7	-	-
	65～74歳	183	32.8	21.9	6.0	1.1	0.5	35.0	2.2	0.5
	75歳以上	187	40.1	18.2	7.0	0.5	5.9	26.2	1.1	1.1
	無回答	2	-	-	-	-	-	100.0	-	-
全体	795	34.1	25.8	6.0	2.1	1.8	27.3	1.4	1.5	
(主な診断名集約)	認知症	126	46.0	27.8	7.9	-	4.8	13.5	-	-
	物質依存症	35	20.0	42.9	2.9	-	2.9	31.4	-	-
	統合失調症	476	30.3	21.8	6.5	2.7	0.6	34.5	1.9	1.7
	気分障害	84	40.5	33.3	4.8	1.2	3.6	14.3	1.2	1.2
	その他	69	37.7	30.4	2.9	4.3	1.4	18.8	1.4	2.9
	診断保留	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	5	40.0	40.0	-	-	-	-	-	20.0
全体	795	34.1	25.8	6.0	2.1	1.8	27.3	1.4	1.5	
今回の入院期間	1ヶ月未満	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	1～3ヶ月未満	95	34.7	45.3	4.2	2.1	2.1	7.4	1.1	3.2
	3～6ヶ月未満	85	38.8	43.5	7.1	3.5	1.2	4.7	-	1.2
	6ヶ月～1年未満	93	35.5	35.5	6.5	1.1	7.5	12.9	1.1	-
	1～3年未満	176	36.4	15.9	6.3	2.3	1.7	32.4	2.8	2.3
	3～5年未満	88	26.1	21.6	6.8	5.7	-	39.8	-	-
	5～10年未満	130	35.4	21.5	6.9	1.5	-	30.8	1.5	2.3
	10年以上	121	29.8	12.4	5.0	-	-	51.2	0.8	0.8
無回答	6	50.0	16.7	-	-	16.7	-	16.7	-	

(5) 同居家族の状況

【図表7-13 世帯状況】

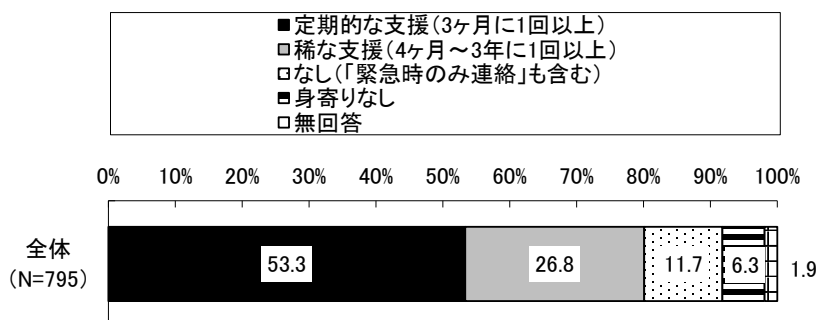


【図表7-14 年齢別、要介護認定の認定状況別、主な診断名（集約）別 世帯状況】 (%)

	調査数(人)	世帯状況								
		一人暮らし	夫婦のみ	二世帯同居(親)	二世帯同居(子)	三世帯同居	その他(兄弟姉妹同居等)	グループホーム	無回答	
全体	795	38.5	7.2	18.9	11.4	2.0	11.6	3.3	7.2	
年齢	29歳以下	27	14.8	-	70.4	3.7	-	7.4	-	3.7
	30歳代	59	15.3	5.1	54.2	11.9	3.4	5.1	3.4	1.7
	40歳代	109	31.2	1.8	44.0	5.5	0.9	5.5	2.8	8.3
	50歳代	153	44.4	5.9	26.1	4.6	1.3	6.5	3.3	7.8
	60~64歳	75	48.0	10.7	5.3	8.0	-	16.0	4.0	8.0
	65~74歳	183	48.6	10.4	3.8	10.4	0.5	19.1	1.1	6.0
	75歳以上	187	34.2	8.6	-	24.1	5.3	12.8	5.9	9.1
	無回答	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-
全体	795	38.5	7.2	18.9	11.4	2.0	11.6	3.3	7.2	
要介護認定	受けている	147	39.5	14.3	2.7	21.1	2.0	8.8	6.8	4.8
	非該当	67	38.8	6.0	29.9	7.5	3.0	6.0	6.0	3.0
	申請していない	476	42.6	5.9	14.9	9.5	1.9	14.7	2.1	8.4
	無回答	19	31.6	5.3	21.1	10.5	-	-	-	31.6
全体	795	38.5	7.2	18.9	11.4	2.0	11.6	3.3	7.2	
主な診断名(集約)	認知症	126	35.7	15.1	3.2	25.4	4.8	8.7	4.8	2.4
	物質依存症	35	68.6	5.7	2.9	20.0	-	-	-	2.9
	統合失調症	476	38.7	3.2	23.7	7.6	0.4	13.9	3.2	9.5
	気分障害	84	36.9	14.3	11.9	15.5	7.1	7.1	3.6	3.6
	その他	69	30.4	11.6	29.0	4.3	2.9	13.0	2.9	5.8
	診断保留	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	5	20.0	20.0	40.0	-	-	-	-	20.0

(6) 家族の支援体制

【図表7-15 家族の支援体制】

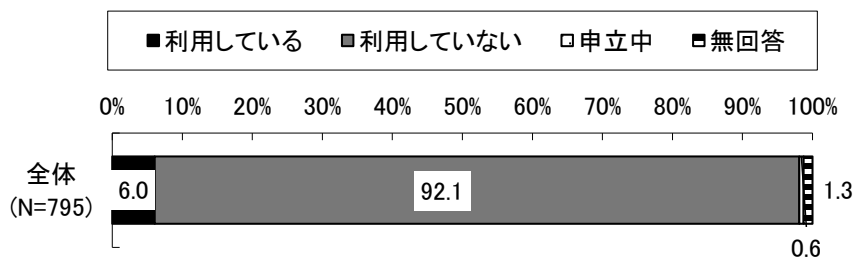


【図表7-16 年齢別、世帯状況別、主な診断名（集約）別、今回の入院期間別 家族の支援体制】 (%)

	調査数（人）	家族の支援体制					
		上 （3 ヶ 月 に 1 回 以 上）	上 （3 年 に 1 回 以 上）	稀 な 支 援 （4 ヶ 月 ～ 3 年 に 1 回 以 上）	み な し （「 緊 急 時 の み 連 絡 」 も 含 む）	身 寄 り な し	無 回 答
全体	795	53.3	26.8	11.7	6.3	1.9	
年 齢	29歳以下	27	85.2	-	7.4	-	7.4
	30歳代	59	78.0	11.9	5.1	1.7	3.4
	40歳代	109	54.1	29.4	7.3	4.6	4.6
	50歳代	153	52.3	30.7	11.8	4.6	0.7
	60～64歳	75	37.3	36.0	17.3	9.3	-
	65～74歳	183	48.6	30.1	13.1	7.1	1.1
	75歳以上	187	52.4	24.1	12.8	9.1	1.6
	無回答	2	50.0	-	50.0	-	-
全体	795	53.3	26.8	11.7	6.3	1.9	
世 帯 状 況	一人暮らし	306	35.0	31.0	19.0	13.4	1.6
	夫婦のみ	57	91.2	8.8	-	-	-
	二世帯同居（親と同居）	150	76.0	22.0	-	-	2.0
	二世帯同居（子と同居）	91	76.9	20.9	2.2	-	-
	三世帯同居	16	75.0	25.0	-	-	-
	その他（兄弟姉妹同居等）	92	47.8	35.9	12.0	4.3	-
	グループホーム	26	46.2	26.9	19.2	7.7	-
	無回答	57	22.8	29.8	29.8	5.3	12.3
全体	795	53.3	26.8	11.7	6.3	1.9	
主 な 診 断 名 （ 集 約）	認知症	126	61.9	23.8	6.3	7.1	0.8
	物質依存症	35	22.9	34.3	25.7	14.3	2.9
	統合失調症	476	49.4	29.6	13.7	5.7	1.7
	気分障害	84	67.9	22.6	4.8	4.8	-
	その他	69	62.3	15.9	8.7	7.2	5.8
	診断保留	0	-	-	-	-	-
	無回答	5	60.0	-	20.0	-	20.0
全体	795	53.3	26.8	11.7	6.3	1.9	
今 回 の 入 院 期 間	1ヶ月未満	1	100.0	-	-	-	-
	1～3ヶ月未満	95	70.5	15.8	6.3	5.3	2.1
	3～6ヶ月未満	85	64.7	17.6	9.4	4.7	3.5
	6ヶ月～1年未満	93	66.7	17.2	9.7	3.2	3.2
	1～3年未満	176	51.1	27.8	11.4	8.0	1.7
	3～5年未満	88	44.3	34.1	15.9	5.7	-
	5～10年未満	130	56.2	25.4	12.3	3.1	3.1
	10年以上	121	28.1	43.8	15.7	12.4	-
	無回答	6	50.0	33.3	16.7	-	-

(7) 成年後見制度の利用状況

【図表7-17 成年後見制度の利用状況】

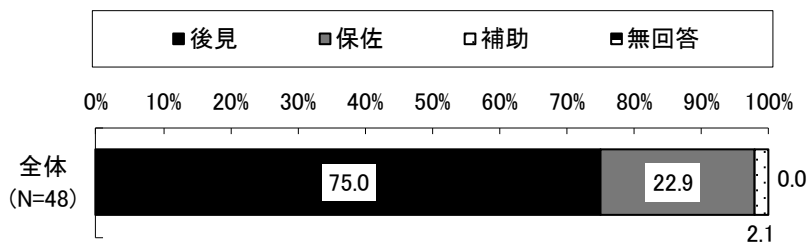


【図表7-18 年齢別、主な診断名（集約）別 成年後見制度の利用状況】 (%)

	調査数（人）	成年後見制度の利用状況				
		利用している	利用していない	申立中	無回答	
全体	795	6.0	92.1	0.6	1.3	
年齢	29歳以下	27	-	100.0	-	-
	30歳代	59	1.7	96.6	-	1.7
	40歳代	109	3.7	92.7	-	3.7
	50歳代	153	7.2	90.2	0.7	2.0
	60～64歳	75	8.0	92.0	-	-
	65～74歳	183	7.1	90.7	1.1	1.1
	75歳以上	187	6.4	92.5	1.1	-
	無回答	2	50.0	50.0	-	-
全体	795	6.0	92.1	0.6	1.3	
主な診断名（集約）	認知症	126	9.5	88.9	1.6	-
	物質依存症	35	5.7	94.3	-	-
	統合失調症	476	4.8	92.9	0.6	1.7
	気分障害	84	3.6	95.2	-	1.2
	その他	69	10.1	88.4	-	1.4
	診断保留	0	-	-	-	-
	無回答	5	20.0	80.0	-	-

(8) 利用している成年後見制度の詳細

【図表7-19 利用している成年後見制度の詳細】



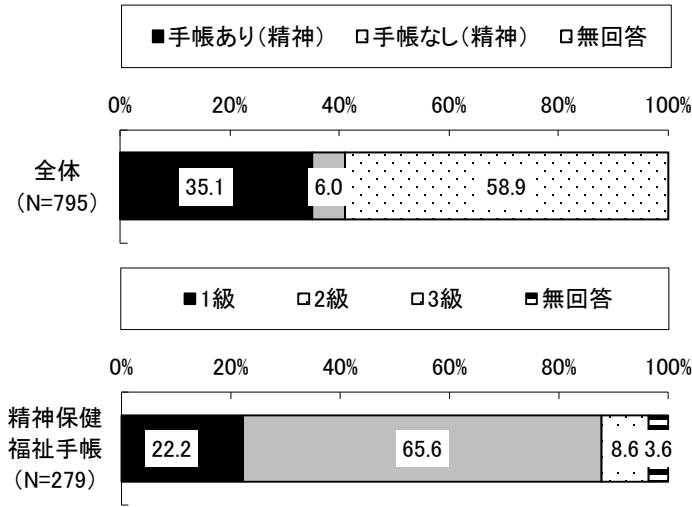
【図表7-20 年齢別、主な診断名（集約）別 利用している成年後見制度の詳細】 (%)

	調査数 (人)	利用している成年後見制度の詳細				
		後見	保佐	補助	無回答	
全体	48	75.0	22.9	2.1	-	
年齢	29歳以下	0	-	-	-	-
	30歳代	1	100.0	-	-	-
	40歳代	4	50.0	50.0	-	-
	50歳代	11	81.8	18.2	-	-
	60～64歳	6	50.0	50.0	-	-
	65～74歳	13	92.3	7.7	-	-
	75歳以上	12	66.7	25.0	8.3	-
	無回答	1	100.0	-	-	-
全体	48	75.0	22.9	2.1	-	
主な 診断名 (集約)	認知症	12	83.3	16.7	-	-
	物質依存症	2	100.0	-	-	-
	統合失調症	23	78.3	21.7	-	-
	気分障害	3	33.3	33.3	33.3	-
	その他	7	57.1	42.9	-	-
	診断保留	0	-	-	-	-
	無回答	1	100.0	-	-	-

(9) 手帳の状況

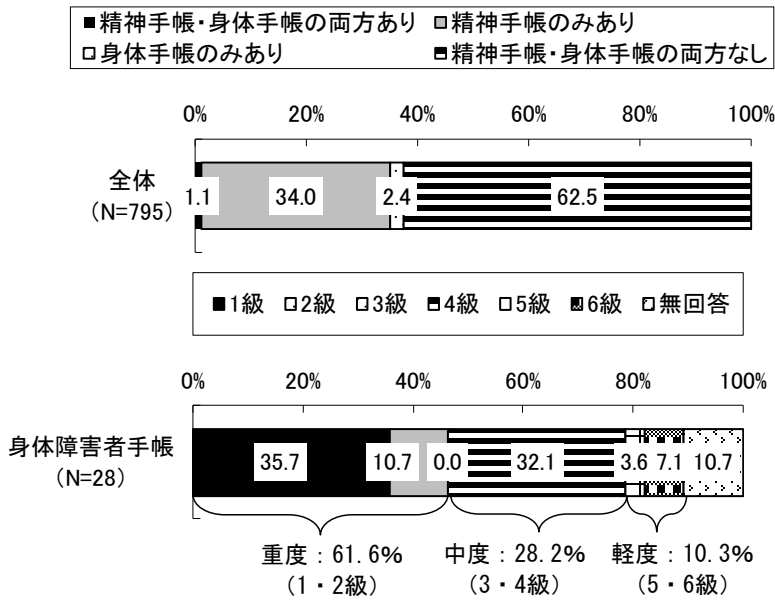
【図表7-21 精神保健福祉手帳の所持状況、等級】

<精神手帳>

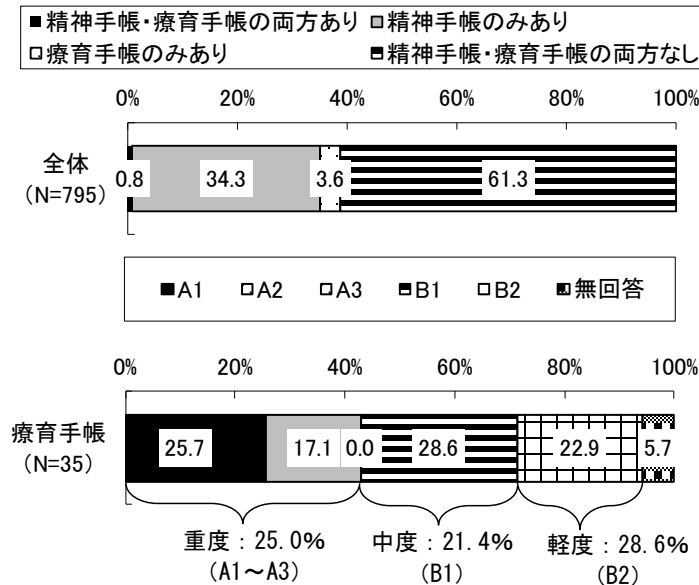


【図表7-22 他の障害者手帳との重複所持状況、等級・判定】

<身体手帳>



<療育手帳>



【図表7-23 年齢別、主な診断名別 手帳の所持状況、精神保健福祉手帳の等級】（%）

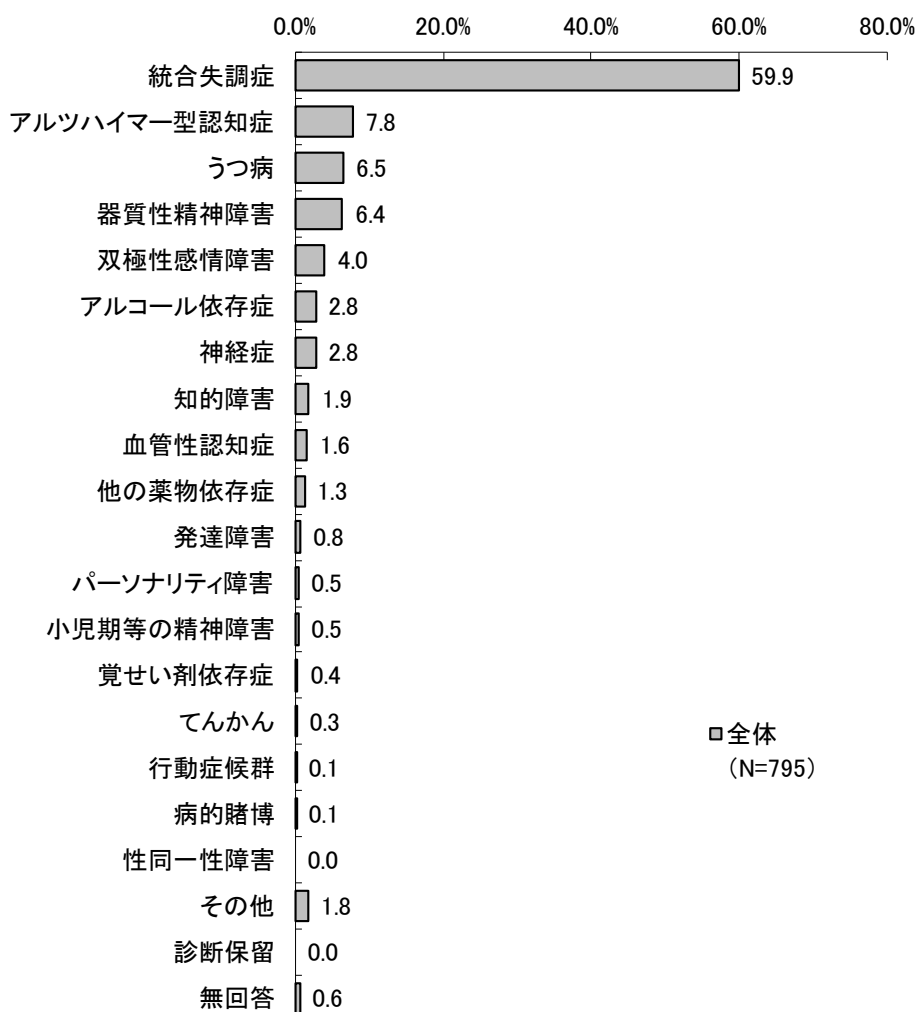
	調査数（人）	手帳の所持状況				調査数（人）	精神障害者保健福祉手帳の等級				
		精神保健福祉手帳	身体障害者手帳	療育手帳	手帳なし		1級	2級	3級	無回答	
全体	795	35.1	3.5	4.4	58.9	279	22.2	65.6	8.6	3.6	
年齢	29歳以下	27	22.2	-	14.8	66.7	6	16.7	50.0	33.3	-
	30歳代	59	37.3	-	6.8	57.6	22	31.8	50.0	18.2	-
	40歳代	109	50.5	0.9	5.5	45.9	55	16.4	78.2	5.5	-
	50歳代	153	45.8	1.3	6.5	48.4	70	17.1	65.7	14.3	2.9
	60～64歳	75	50.7	8.0	1.3	42.7	38	28.9	65.8	2.6	2.6
	65～74歳	183	34.4	4.9	4.4	58.5	63	23.8	66.7	3.2	6.3
	75歳以上	187	13.4	5.3	1.1	80.7	25	28.0	52.0	8.0	12.0
	無回答	2	-	-	-	100.0	0	-	-	-	-
全体	795	35.1	3.5	4.4	58.9	279	22.2	65.6	8.6	3.6	
主な診断名	アルツハイマー型認知症	62	6.5	3.2	-	90.3	4	75.0	25.0	-	-
	血管性認知症	13	23.1	7.7	-	69.2	3	66.7	-	-	33.3
	器質性精神障害	51	11.8	3.9	2.0	82.4	6	-	66.7	16.7	16.7
	アルコール依存症	22	13.6	-	-	86.4	3	-	66.7	33.3	-
	覚せい剤依存症	3	33.3	33.3	-	33.3	1	-	100.0	-	-
	他の薬物依存症	10	40.0	10.0	-	50.0	4	-	75.0	25.0	-
	統合失調症	476	45.4	3.4	4.4	49.4	216	24.1	67.1	5.6	3.2
	うつ病	52	25.0	5.8	0.0	69.2	13	-	84.6	15.4	-
	双極性感情障害	32	28.1	-	3.1	68.8	9	22.2	55.6	11.1	11.1
	神経症	22	27.3	-	-	72.7	6	-	33.3	66.7	-
	行動症候群	1	100.0	-	-	-	1	-	-	100.0	-
	パーソナリティ障害	4	25.0	-	-	75.0	1	-	100.0	-	-
	病的賭博	1	-	-	-	100.0	0	-	-	-	-
	性同一性障害	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-
	知的障害	15	26.7	-	53.3	20.0	4	-	75.0	25.0	-
	発達障害	6	33.3	-	16.7	66.7	2	50.0	50.0	-	-
	小児期等の精神障害	4	25.0	-	50.0	25.0	1	-	100.0	-	-
	てんかん	2	50.0	-	-	50.0	1	-	100.0	-	-
	その他	14	21.4	14.3	7.1	71.4	3	66.7	33.3	-	-
	診断保留	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-
無回答	5	20.0	-	-	80.0	1	-	100.0	-	-	

2. 患者の疾患や入院状況

- 主な診断名（詳細）は、「統合失調症」（59.9%）が6割を占めて最も高く、次いで「アルツハイマー型認知症」（7.8%）、「うつ病」（6.5%）、「器質性精神障害」（6.4%）の順となっている。年齢別にみると、40歳代では「統合失調症」（75.2%）、75歳以上では「アルツハイマー型認知症」（26.2%）の割合が他の年代に比べて高くなっている。【図表7-24、図表7-25】
- 初めて精神科・神経科を受診した年齢は、「20歳代」が26.8%で最も高くなっている。現在の年齢別にみると、29歳以下では「14歳以下」（14.8%）、「15～19歳」（22.2%）、「20歳代」（40.7%）が高く、60～64歳では「50歳代」（17.3%）、65～74歳では「60歳代」（18.6%）、75歳以上では「70歳代」（23.0%）と「80歳以上」（17.1%）がともに2割前後と、それぞれ他の年代に比べて高くなっている。主な診断名別にみると、アルツハイマー型認知症では「70歳代」「80歳以上」で割合がともに25.8%と高く、器質性精神障害では「60歳代」（19.6%）、統合失調症は「20歳代」（37.0%）、うつ病では「50歳代」（23.1%）がそれぞれ他の診断に比べて高くなっている。【図表7-27】
- 以前の入院経験の有無は、「入院あり」が77.7%を占めている。年齢別にみると、29歳以下と75歳以上で「入院なし」の割合が他の年代に比べて高くなっている。主な診断名別にみると、統合失調症では「入院あり」（86.8%）の割合が他に比べてやや高くなっている。一方、「入院なし」はアルツハイマー型認知症（51.6%）、器質性精神障害（37.3%）、うつ病（28.8%）で高い。【図表7-30】
- 前回の入院期間は、「1～3ヶ月未満」と「3～6ヶ月未満」がともに15.8%で最も高い。年齢別にみると、29歳以下では「1～3ヶ月未満」（25.9%）が他の年代に比べて高くなっている。主な診断名別にみると、双極性感情障害では、「1～3ヶ月未満」（34.4%）、「3～6ヶ月未満」（31.3%）がともに3割と高く他に比べて期間が短い。【図表7-32】
- 今回の入院期間は、「1～3年未満」（22.1%）が最も高く、「5～10年未満」（16.4%）、「10年以上」（15.2%）の順となっている。年齢別にみると、29歳以下では「1～3ヶ月未満」（37.0%）、「3～6ヶ月未満」（25.9%）の割合が高い。主な診断名別にみると、器質性精神障害では「1～3年未満」（33.3%）、うつ病では「6ヶ月～1年未満」（25.0%）、双極性感情障害では「1～3ヶ月未満」（34.4%）がそれぞれ他の年代に比べて高くなっている。【図表7-34】
- 入院時の入院形態は、「任意入院」（53.0%）と「医療保護入院」（43.5%）が5割前後で高くなっている。年齢別にみると、29歳以下や30歳代といった若年層では、「医療保護入院」の割合が5割～6割台と高くなっている。主な診断名別にみると、うつ病では「任意入院」（67.3%）が7割弱と高い割合を占める。また、アルツハイマー型認知症、器質性精神障害では「医療保護入院」の割合が6割強と高くなっている。【図表7-38】

(1) 主な診断名

【図表7-24 主な診断名】

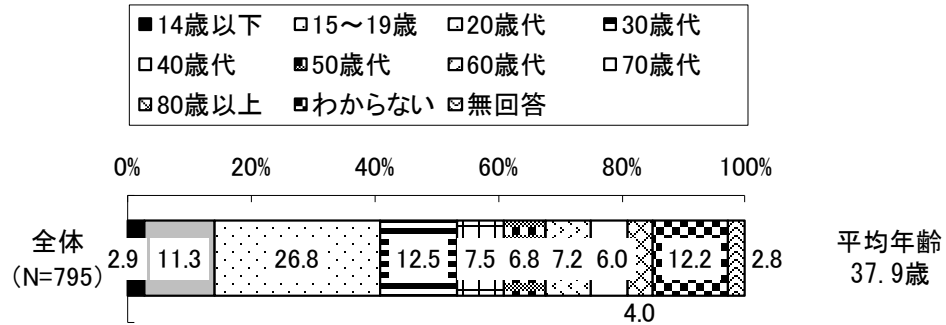


【図表7-25 性別、年齢別 主な診断名】 (%)

	調査数(人)	主な診断名																				
		統合失調症	アルツハイマー型認知症	うつ病	器質性精神障害	双極性感情障害	アルコール依存症	神経症	知的障害	血管性認知症	他の薬物依存症	発達障害	パーソナリティ障害	小児期等の精神障害	覚せい剤依存症	てんかん	行動症候群	病的賭博	性同一性障害	その他	診断保留	無回答
全体	795	59.9	7.8	6.5	6.4	4.0	2.8	2.8	1.9	1.8	1.6	1.3	0.8	0.6	0.5	0.5	0.4	0.3	0.1	0.1	-	-
性別	男性	387	60.7	5.9	5.4	6.7	2.1	4.7	1.8	2.3	1.0	2.3	1.6	1.0	0.8	0.3	0.5	0.3	-	0.3	-	-
	女性	407	59.0	9.6	7.6	6.1	5.9	1.0	3.7	1.5	2.5	1.0	0.2	-	0.2	0.7	0.2	0.2	0.2	-	-	-
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	795	59.9	7.8	6.5	6.4	4.0	2.8	2.8	1.9	1.8	1.6	1.3	0.8	0.6	0.5	0.5	0.4	0.3	0.1	0.1	-	-
年齢	29歳以下	27	51.9	-	11.1	3.7	-	11.1	7.4	-	-	-	3.7	-	3.7	3.7	-	-	3.7	-	-	-
	30歳代	59	67.8	-	3.4	1.7	6.8	5.1	3.4	3.4	-	-	3.4	-	-	1.7	-	1.7	-	1.7	-	-
	40歳代	109	75.2	-	5.5	0.9	3.7	1.8	4.6	2.8	1.8	-	1.8	1.8	-	-	-	-	-	-	-	-
	50歳代	153	69.9	1.3	7.2	5.2	2.6	3.3	2.0	2.0	0.7	0.7	2.6	-	0.7	0.7	-	0.7	-	-	-	-
	60~64歳	75	64.0	4.0	6.7	8.0	4.0	2.7	-	1.3	5.3	-	4.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	65~74歳	183	65.0	4.4	5.5	5.5	4.9	3.8	0.5	1.6	2.7	2.2	1.1	-	-	0.5	0.5	1.6	-	-	-	-
	75歳以上	187	34.8	26.2	8.0	12.8	4.3	1.1	4.3	0.5	1.1	4.3	0.5	0.5	1.1	0.5	-	-	-	-	-	-
無回答	2	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(2) 初めて精神科・神経科を受診した年齢

【図表7-26 初めて精神科・神経科を受診した年齢】

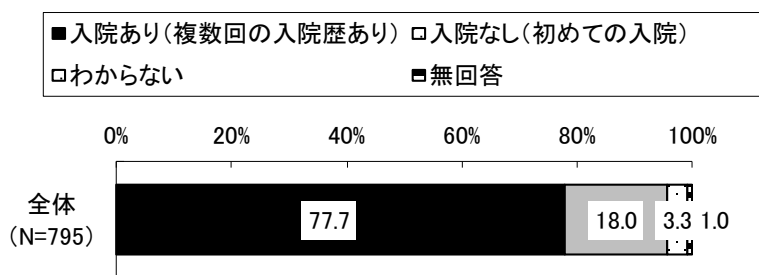


【図表7-27 年齢別、主な診断名別 初めて精神科・神経科を受診した年齢】 (%)

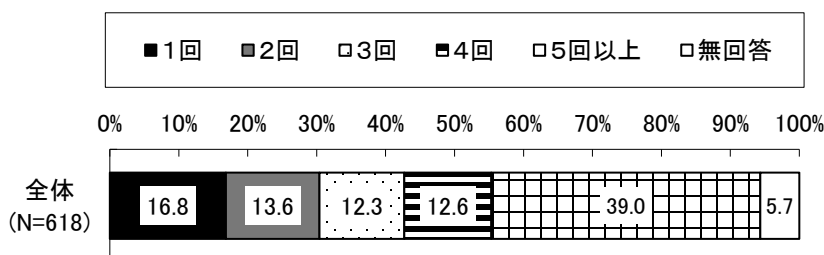
	調査数 (人)	初めて精神科・神経科を受診した時の年齢											
		14歳以下	15~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	わからない	無回答	
全体	795	2.9	11.3	26.8	12.5	7.5	6.8	7.2	6.0	4.0	12.2	2.8	
年齢	29歳以下	27	14.8	22.2	40.7	-	-	-	3.7	-	-	18.5	-
	30歳代	59	6.8	30.5	33.9	13.6	-	-	-	-	-	13.6	1.7
	40歳代	109	3.7	22.0	34.9	18.3	7.3	-	-	-	-	9.2	4.6
	50歳代	153	2.0	12.4	32.7	11.1	12.4	11.1	-	-	-	13.7	4.6
	60~64歳	75	2.7	5.3	28.0	16.0	9.3	17.3	8.0	-	-	10.7	2.7
	65~74歳	183	2.2	8.7	26.2	16.4	7.1	8.2	18.6	2.7	-	8.2	1.6
	75歳以上	187	0.5	1.6	13.4	6.4	7.0	4.8	8.0	23.0	17.1	16.0	2.1
	無回答	2	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-
全体	795	2.9	11.3	26.8	12.5	7.5	6.8	7.2	6.0	4.0	12.2	2.8	
主な診断名	アルツハイマー型認知症	62	-	-	3.2	1.6	3.2	8.1	14.5	25.8	25.8	14.5	3.2
	血管性認知症	13	-	-	7.7	-	-	7.7	15.4	38.5	7.7	23.1	-
	器質性精神障害	51	-	-	3.9	13.7	2.0	9.8	19.6	17.6	15.7	17.6	-
	アルコール依存症	22	4.5	4.5	9.1	18.2	18.2	4.5	13.6	4.5	-	9.1	13.6
	覚せい剤依存症	3	-	-	-	-	33.3	-	33.3	-	-	33.3	-
	他の薬物依存症	10	-	-	10.0	20.0	10.0	30.0	0.0	10.0	-	10.0	10.0
	統合失調症	476	2.9	17.0	37.0	13.4	8.2	3.4	3.8	1.7	0.4	9.9	2.3
	うつ病	52	1.9	1.9	17.3	11.5	7.7	23.1	15.4	3.8	3.8	9.6	3.8
	双極性感情障害	32	6.3	6.3	28.1	15.6	9.4	12.5	3.1	9.4	3.1	6.3	-
	神経症	22	-	4.5	22.7	4.5	13.6	4.5	9.1	-	9.1	22.7	9.1
	行動症候群	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	パーソナリティ障害	4	-	25.0	-	-	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-
	病的賭博	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	性同一性障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	知的障害	15	6.7	6.7	26.7	20.0	6.7	-	-	-	-	33.3	-
	発達障害	6	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-	-	33.3	-
	小児期等の精神障害	4	75.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-
	てんかん	2	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
その他	14	-	-	-	21.4	-	35.7	14.3	7.1	-	21.4	-	
診断保留	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	5	-	-	-	20.0	-	-	-	40.0	-	40.0	-	

(3) 以前の入院経験の有無と入院回数

【図表7-28 以前の入院経験の有無】



【図表7-29 以前の入院回数】

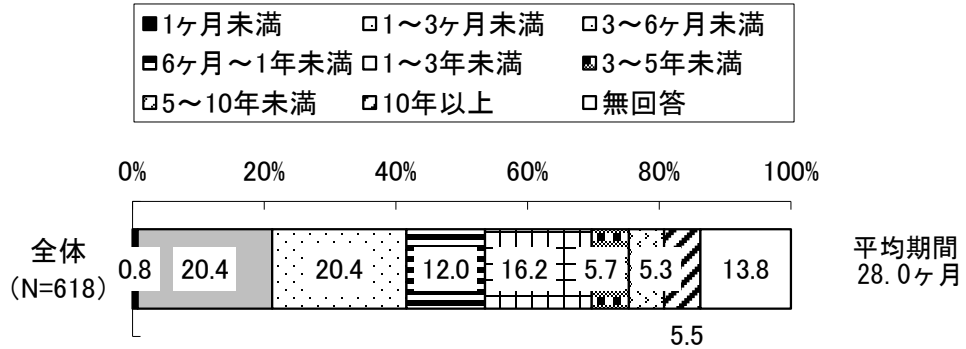


【図表7-30 年齢別、主な診断名別 以前の入院経験の有無・入院回数】 (%)

	調査数 (人)	以前の入院経験の有無				調査数 (人)	以前の入院経験の有無						平均回数 (回)	
		の入院あり(複数回)	て入院なし(はじめ)	わからない	無回答		1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答		
全体	795	77.7	18.0	3.3	1.0	618	16.8	13.6	12.3	12.6	39.0	5.7	5.3	
年齢	29歳以下	27	55.6	40.7	3.7	-	15	26.7	26.7	6.7	13.3	26.7	-	3.1
	30歳代	59	81.4	11.9	3.4	3.4	48	10.4	22.9	12.5	16.7	37.5	-	4.2
	40歳代	109	82.6	13.8	3.7	-	90	20.0	11.1	12.2	11.1	42.2	3.3	5.5
	50歳代	153	84.3	13.1	2.0	0.7	129	18.6	8.5	13.2	10.9	41.9	7.0	5.1
	60~64歳	75	78.7	12.0	8.0	1.3	59	13.6	16.9	6.8	6.8	50.8	5.1	6.8
	65~74歳	183	84.2	13.1	1.1	1.6	154	10.4	15.6	15.6	14.9	36.4	7.1	5.4
	75歳以上	187	64.7	30.5	4.3	0.5	121	24.0	10.7	10.7	14.0	33.1	7.4	4.9
	無回答	2	100.0	-	-	-	2	-	50.0	-	-	50.0	-	10.0
全体	795	77.7	18.0	3.3	1.0	618	16.8	13.6	12.3	12.6	39.0	5.7	5.3	
主な診断名	アルツハイマー型認知症	62	41.9	51.6	3.2	3.2	26	26.9	26.9	11.5	11.5	15.4	7.7	3.0
	血管性認知症	13	61.5	30.8	7.7	-	8	12.5	25.0	12.5	25.0	25.0	-	3.9
	器質性精神障害	51	54.9	37.3	7.8	-	28	32.1	25.0	7.1	7.1	28.6	-	3.8
	アルコール依存症	22	77.3	22.7	-	-	17	29.4	11.8	5.9	-	52.9	-	6.3
	覚せい剤依存症	3	66.7	33.3	-	-	2	-	-	-	-	50.0	50.0	5.0
	他の薬物依存症	10	70.0	30.0	-	-	7	28.6	28.6	14.3	-	14.3	14.3	3.5
	統合失調症	476	86.8	9.0	3.2	1.1	413	11.6	11.4	13.1	13.1	45.3	5.6	5.6
	うつ病	52	67.3	28.8	1.9	1.9	35	28.6	8.6	11.4	17.1	34.3	-	5.7
	双極性感情障害	32	84.4	15.6	-	-	27	11.1	11.1	18.5	-	44.4	14.8	8.7
	神経症	22	68.2	27.3	4.5	-	15	46.7	13.3	6.7	13.3	13.3	6.7	2.6
	行動症候群	1	100.0	-	-	-	1	100.0	-	-	-	-	-	1.0
	パーソナリティ障害	4	75.0	25.0	-	-	3	33.3	33.3	-	-	33.3	-	3.0
	病的賭博	1	100.0	-	-	-	1	100.0	-	-	-	-	-	1.0
	性同一性障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	知的障害	15	86.7	13.3	-	-	13	7.7	23.1	7.7	38.5	7.7	15.4	3.8
	発達障害	6	66.7	-	33.3	-	4	50.0	-	25.0	25.0	-	-	2.3
	小児期等の精神障害	4	75.0	25.0	-	-	3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	3.0
	てんかん	2	100.0	-	-	-	2	50.0	-	-	50.0	-	-	2.5
その他	14	78.6	21.4	-	-	11	36.4	36.4	9.1	9.1	-	9.1	1.9	
診断保留	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	5	40.0	60.0	-	-	2	50.0	-	-	-	50.0	-	3.5	

(4) 前回の入院期間

【図表7-31 前回の入院期間】

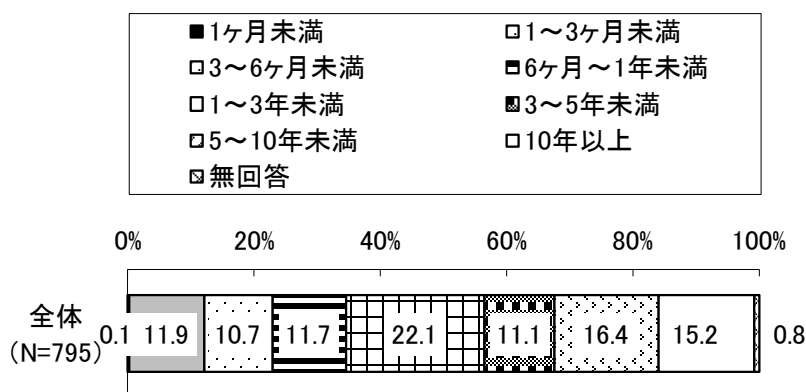


【図表7-32 年齢別、主な診断名別 前回の入院期間】 (%)

	調査数 (人)	前回の入院期間									平均期間 (ヶ月)	
		1ヶ月未満	1~3ヶ月未満	3~6ヶ月未満	6ヶ月~1年未満	1~3年未満	3~5年未満	5~10年未満	10年以上	無回答		
全体	618	0.8	20.4	20.4	12.0	16.2	5.7	5.3	5.5	13.8	28.0	
年齢	29歳以下	15	-	46.7	33.3	6.7	6.7	-	-	-	6.7	4.0
	30歳代	48	2.1	29.2	20.8	12.5	14.6	-	-	8.3	12.5	24.4
	40歳代	90	2.2	22.2	20.0	8.9	17.8	10.0	5.6	6.7	6.7	31.4
	50歳代	129	-	14.7	24.8	10.9	20.2	6.2	7.0	5.4	10.9	29.6
	60~64歳	59	-	18.6	27.1	11.9	8.5	3.4	6.8	3.4	20.3	24.2
	65~74歳	154	0.6	18.2	15.6	13.6	16.9	3.9	7.1	5.2	18.8	29.9
	75歳以上	121	0.8	22.3	17.4	14.0	15.7	7.4	3.3	5.8	13.2	27.7
	無回答	2	-	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0	36.0
全体	618	0.8	20.4	20.4	12.0	16.2	5.7	5.3	5.5	13.8	28.0	
主な診断名	アルツハイマー型認知症	26	-	30.8	23.1	11.5	7.7	3.8	7.7	3.8	11.5	19.4
	血管性認知症	8	-	12.5	37.5	37.5	-	-	-	-	12.5	5.1
	器質性精神障害	28	-	35.7	25.0	14.3	7.1	3.6	-	-	14.3	6.3
	アルコール依存症	17	-	41.2	17.6	-	11.8	5.9	-	-	23.5	7.1
	覚せい剤依存症	2	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	3.5
	他の薬物依存症	7	-	28.6	-	57.1	-	-	-	-	14.3	4.8
	統合失調症	413	1.0	14.5	16.9	12.6	19.4	6.3	6.3	8.0	15.0	37.3
	うつ病	35	2.9	22.9	40.0	11.4	11.4	2.9	-	-	8.6	6.2
	双極性感情障害	27	-	40.7	37.0	3.7	7.4	3.7	-	-	7.4	5.2
	神経症	15	-	20.0	26.7	-	26.7	13.3	6.7	-	6.7	18.0
	行動症候群	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	パーソナリティ障害	3	-	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-	1.7
	病的賭博	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	1.0
	性同一性障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	知的障害	13	-	30.8	7.7	15.4	7.7	7.7	23.1	-	7.7	26.3
	発達障害	4	-	50.0	-	-	25.0	-	-	-	25.0	6.7
	小児期等の精神障害	3	-	66.7	-	-	33.3	-	-	-	-	5.3
	てんかん	2	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	1.5
その他	11	-	18.2	45.5	9.1	9.1	-	9.1	-	9.1	10.6	
診断保留	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	2	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	18.8	

(5) 今回の入院期間

【図表7-33 今回の入院期間】

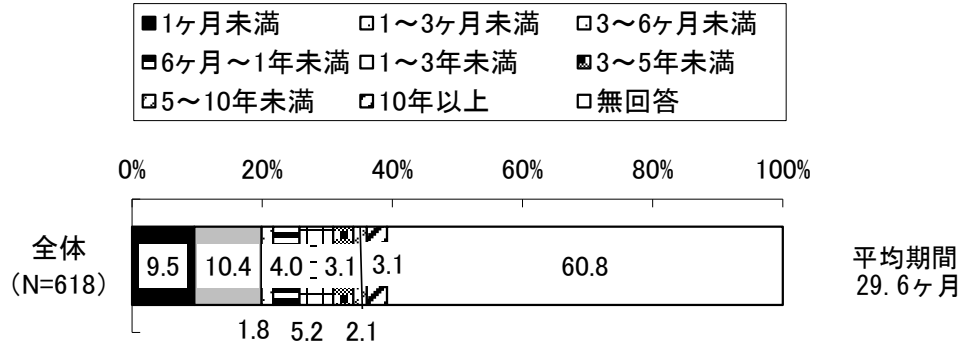


【図表7-34 年齢別、主な診断名別、現在の病状の程度別 今回の入院期間】 (%)

	調査数(人)	今回の入院期間									
		1ヶ月未満	1~3ヶ月未満	3~6ヶ月未満	6ヶ月~1年未満	1~3年未満	3~5年未満	5~10年未満	10年以上	無回答	
全体	795	0.1	11.9	10.7	11.7	22.1	11.1	16.4	15.2	0.8	
年齢	29歳以下	27	-	37.0	25.9	14.8	18.5	-	3.7	-	-
	30歳代	59	-	18.6	15.3	11.9	18.6	10.2	22.0	3.4	-
	40歳代	109	-	18.6	15.3	11.9	18.6	10.2	22.0	3.4	-
	50歳代	153	-	15.6	12.8	4.6	23.9	11.0	18.3	12.8	-
	60~64歳	75	-	12.4	7.2	12.4	19.0	9.8	15.7	23.5	-
	65~74歳	183	-	6.7	16.0	5.3	25.3	13.3	14.7	16.0	2.7
	75歳以上	187	-	9.8	5.5	13.1	21.3	12.0	19.7	18.6	-
	無回答	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
全体	795	0.1	11.9	10.7	11.7	22.1	11.1	16.4	15.2	0.8	
主な診断名	アルツハイマー型認知症	62	-	11.3	12.9	17.7	27.4	9.7	9.7	6.5	4.8
	血管性認知症	13	-	30.8	7.7	15.4	38.5	-	7.7	-	-
	器質性精神障害	51	-	9.8	15.7	19.6	33.3	9.8	7.8	3.9	-
	アルコール依存症	22	-	40.9	22.7	-	18.2	4.5	13.6	-	-
	覚せい剤依存症	3	-	-	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-
	他の薬物依存症	10	-	10.0	10.0	30.0	10.0	10.0	20.0	10.0	-
	統合失調症	476	-	7.4	7.8	9.2	21.0	12.6	19.5	22.1	0.4
	うつ病	52	1.9	19.2	13.5	25.0	13.5	7.7	13.5	3.8	1.9
	双極性感情障害	32	-	34.4	12.5	9.4	21.9	12.5	6.3	3.1	-
	神経症	22	-	31.8	18.2	13.6	22.7	4.5	4.5	4.5	-
	行動症候群	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	パーソナリティ障害	4	-	25.0	-	-	50.0	-	25.0	-	-
	病的賭博	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	性同一性障害	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	知的障害	15	-	-	6.7	6.7	33.3	-	33.3	20.0	-
	発達障害	6	-	-	33.3	-	50.0	-	16.7	-	-
	小児期等の精神障害	4	-	-	25.0	-	-	50.0	25.0	-	-
	てんかん	2	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-
その他	14	-	21.4	21.4	-	21.4	14.3	7.1	14.3	-	
診断保留	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	5	-	20.0	40.0	20.0	-	-	20.0	-	-	
全体	795	0.1	11.9	10.7	11.7	22.1	11.1	16.4	15.2	0.8	
現在の病状の程度	近く退院予定	157	0.6	36.3	19.1	19.7	12.7	3.2	5.1	2.5	0.6
	支援がないので退院できない	216	0.0	6.5	7.4	9.7	27.8	14.4	17.1	16.2	0.9
	医学的に退院困難な状態	405	0.0	5.9	7.7	8.9	23.7	12.8	21.0	19.5	0.5
	無回答	17	0.0	0.0	47.1	29.4	0.0	0.0	0.0	17.6	5.9

(6) 再入院までの期間

【図表7-35 再入院までの期間】

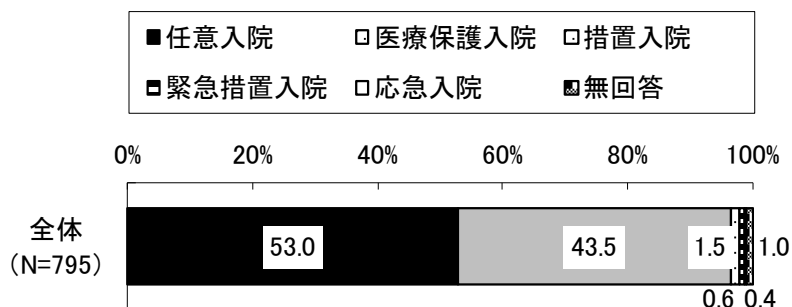


【図表7-36 年齢別、主な診断名別 再入院までの期間】 (%)

	調査数 (人)	再入院までの期間									平均期間 (ヶ月)	
		1ヶ月未満	1~3ヶ月未満	3~6ヶ月未満	6ヶ月~1年未満	1~3年未満	3~5年未満	5~10年未満	10年以上	無回答		
全体	618	9.5	10.4	1.8	4.0	5.2	3.1	2.1	3.1	60.8	29.6	
年齢	29歳以下	15	-	6.7	-	13.3	6.7	6.7	-	-	66.7	14.6
	30歳代	48	6.3	6.3	-	2.1	10.4	-	2.1	-	72.9	15.4
	40歳代	90	3.3	7.8	1.1	3.3	7.8	2.2	2.2	1.1	71.1	25.8
	50歳代	129	10.9	3.1	3.1	4.7	7.0	3.9	1.6	5.4	60.5	35.4
	60~64歳	59	13.6	6.8	6.8	5.1	3.4	3.4	8.5	1.7	50.8	32.3
	65~74歳	154	9.7	14.9	0.6	1.9	2.6	3.2	0.6	5.2	61.0	41.5
	75歳以上	121	13.2	18.2	0.8	5.0	3.3	3.3	1.7	1.7	52.9	17.3
	無回答	2	-	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0	10.0
全体	618	9.5	10.4	1.8	4.0	5.2	3.1	2.1	3.1	60.8	29.6	
主な診断名	アルツハイマー型認知症	26	3.8	15.4	-	3.8	3.8	3.8	-	-	69.2	9.4
	血管性認知症	8	12.5	25.0	-	-	-	-	-	-	62.5	0.7
	器質性精神障害	28	21.4	3.6	-	10.7	7.1	10.7	3.6	3.6	39.3	37.8
	アルコール依存症	17	11.8	-	11.8	5.9	17.6	-	-	-	52.9	11.8
	覚せい剤依存症	2	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	2.0
	他の薬物依存症	7	14.3	-	-	-	-	-	-	-	85.7	0.0
	統合失調症	413	8.7	10.9	1.7	3.1	3.9	2.4	2.4	4.1	62.7	35.7
	うつ病	35	14.3	14.3	-	2.9	2.9	8.6	2.9	-	54.3	15.6
	双極性感情障害	27	7.4	3.7	7.4	11.1	11.1	-	-	3.7	55.6	25.3
	神経症	15	13.3	6.7	-	-	26.7	-	-	-	53.3	8.9
	行動症候群	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	パーソナリティ障害	3	-	-	-	-	-	33.3	-	-	66.7	49.0
	病的賭博	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	性同一性障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	知的障害	13	-	30.8	-	-	15.4	-	-	-	53.8	6.3
	発達障害	4	-	-	-	25.0	-	-	25.0	-	50.0	46.0
	小児期等の精神障害	3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	66.7	0.0
	てんかん	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	0.0
	その他	11	9.1	-	-	18.2	-	-	-	-	72.7	4.7
	診断保留	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	2	-	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0	45.0	

(7) 入院時の入院形態

【図表7-37 入院時の入院形態】



【図表7-38 年齢別、主な診断名別 入院時の入院形態】 (%)

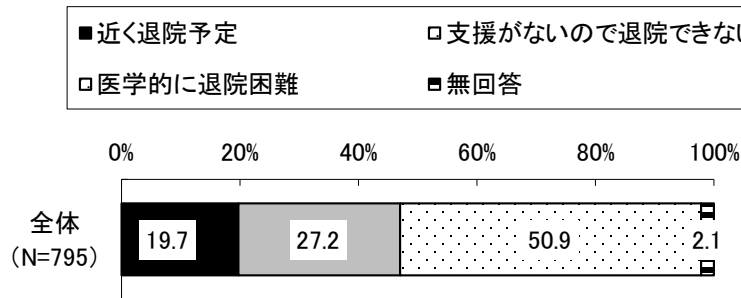
	調査数 (人)	入院時の入院形態						
		任意入院	医療保護入院	措置入院	緊急措置入院	応急入院	無回答	
全体	795	53.0	43.5	1.5	0.6	0.4	1.0	
年齢	29歳以下	27	37.0	63.0	-	-	-	-
	30歳代	59	42.4	54.2	-	3.4	-	-
	40歳代	109	52.3	43.1	4.6	-	-	-
	50歳代	153	58.2	37.9	2.0	1.3	-	0.7
	60～64歳	75	49.3	42.7	1.3	-	2.7	4.0
	65～74歳	183	54.6	42.1	1.6	-	0.5	1.1
	75歳以上	187	54.5	43.9	-	0.5	-	1.1
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	-	-
全体	795	53.0	43.5	1.5	0.6	0.4	1.0	
主な診断名	アルツハイマー型認知症	62	35.5	61.3	1.6	-	-	1.6
	血管性認知症	13	15.4	76.9	-	-	-	7.7
	器質性精神障害	51	35.3	62.7	-	2.0	-	-
	アルコール依存症	22	63.6	31.8	-	-	-	4.5
	覚せい剤依存症	3	33.3	66.7	-	-	-	-
	他の薬物依存症	10	70.0	30.0	-	-	-	-
	統合失調症	476	54.6	41.0	2.3	0.8	0.4	0.8
	うつ病	52	67.3	30.8	-	-	-	1.9
	双極性感情障害	32	53.1	43.8	-	-	3.1	-
	神経症	22	81.8	18.2	-	-	-	-
	行動症候群	1	100.0	-	-	-	-	-
	パーソナリティ障害	4	75.0	25.0	-	-	-	-
	病的賭博	1	100.0	-	-	-	-	-
	性同一性障害	0	-	-	-	-	-	-
	知的障害	15	46.7	53.3	-	-	-	-
	発達障害	6	50.0	50.0	-	-	-	-
	小児期等の精神障害	4	50.0	50.0	-	-	-	-
	てんかん	2	-	100.0	-	-	-	-
	その他	14	57.1	42.9	-	-	-	-
	診断保留	0	-	-	-	-	-	-
無回答	5	40.0	60.0	-	-	-	-	

3. 患者の病状等

・現在の病状の程度は、「医学的に退院困難」（50.9%）がおおよそ半数を占めている。年齢別にみると、29歳以下では「近く退院予定」（48.1%）の割合がおおよそ半数を占めるが、この割合は高齢層の方が比較的低い傾向となっている。主な診断名別にみると、うつ病と双極性感情障害では「近く退院予定」が4割弱となっており、他の診断に比べて高くなっている。【図表7-39、図表7-40】

(1) 現在の病状の程度

【図表7-39 現在の病状の程度】



【図表7-40 年齢別、主な診断名別 現在の病状の程度】 (%)

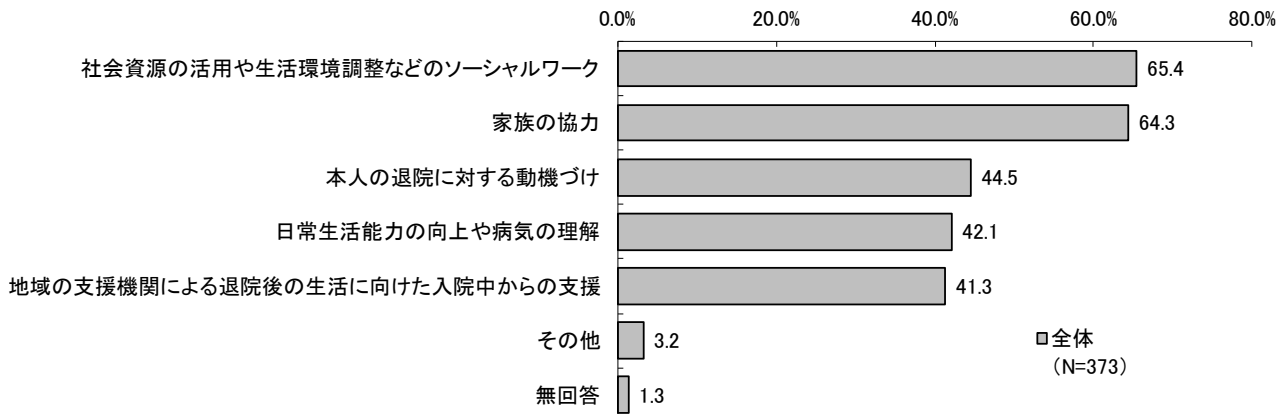
	調査数 (人)	現在の病状の程度				
		近く退院予定	退院支援できないので	医学的に退院困難	無回答	
全体	795	19.7	27.2	50.9	2.1	
年齢	29歳以下	27	48.1	22.2	18.5	11.1
	30歳代	59	37.3	10.2	50.8	1.7
	40歳代	109	22.9	22.0	53.2	1.8
	50歳代	153	24.8	25.5	47.7	2.0
	60～64歳	75	21.3	21.3	53.3	4.0
	65～74歳	183	9.8	33.3	55.7	1.1
	75歳以上	187	13.4	33.7	51.3	1.6
	無回答	2	-	50.0	50.0	-
全体	795	19.7	27.2	50.9	2.1	
主な診断名	アルツハイマー型認知症	62	17.7	27.4	51.6	3.2
	血管性認知症	13	15.4	46.2	38.5	-
	器質性精神障害	51	21.6	23.5	51.0	3.9
	アルコール依存症	22	45.5	31.8	18.2	4.5
	覚せい剤依存症	3	-	-	100.0	-
	他の薬物依存症	10	60.0	10.0	30.0	-
	統合失調症	476	14.1	25.6	58.8	1.5
	うつ病	52	38.5	25.0	34.6	1.9
	双極性感情障害	32	37.5	34.4	25.0	3.1
	神経症	22	36.4	27.3	31.8	4.5
	行動症候群	1	-	100.0	-	-
	パーソナリティ障害	4	25.0	25.0	50.0	-
	病的賭博	1	100.0	-	-	-
	性同一性障害	0	-	-	-	-
	知的障害	15	-	53.3	40.0	6.7
	発達障害	6	16.7	66.7	16.7	-
	小児期等の精神障害	4	25.0	25.0	50.0	-
	てんかん	2	-	-	100.0	-
その他	14	28.6	28.6	42.9	-	
診断保留	0	-	-	-	-	
無回答	5	40.0	40.0	-	20.0	

4. 退院するために必要な条件等

- ・現在の病状の程度で「近く退院予定」「支援がないので退院できない」と回答した人に、退院に向けて、必要な支援をたずねたところ、「社会資源の活用や生活環境調整などのソーシャルワーク」が65.4%で最も高く、次いで「家族の協力」が64.3%と僅差が続いている。年齢別にみると、30歳代では「家族の協力」(75.0%)、40歳代では「日常生活能力の向上や病気の理解」の割合が他の年代に比べて高い。主な診断名（集約）別にみると、大きな差はみられないが、統合失調症では「日常生活能力の向上や病気の理解」(50.8%)、「地域の支援機関による退院後の生活に向けた入院中からの支援」(50.3%)が他の診断に比べてやや高くなっている。【図表7-42】
- ・退院後、地域で生活するために必要な支援は、「訪問看護」が62.3%で最も高い。年齢別にみると、40歳代～64歳までは「障がい福祉サービス事業所の利用」が4割前後と高くなっている。それに加えて、40歳代では「障がい者基幹相談支援センターの利用」(29.4%)、50歳代では「訪問看護」(73.8%)、「病院や診療所での精神科デイケア・ナイトケアなど」(53.8%)、60～64歳では「安心して暮らせる住まいが確保されていること」(60.0%)、「地域移行・地域定着支援」「障がい福祉サービス利用に関する支援」(ともに34.3%)「地域活動支援センターの利用」(31.4%)の割合がそれぞれ他に年代に比べて高くなっている。65歳以上の高齢者では「介護保険サービス」の割合が6～7割台と高くなっている。主な診断名（集約）別にみると、認知症では「介護保険サービス」(63.5%)、物質依存症では「病院や診療所での精神科デイケア・ナイトケアなど」(48.0%)、「自助グループなどに参加する同じ体験をもつ仲間」(28.0%)、統合失調症では「訪問看護」(71.9%)、「安心して暮らせる住まいが確保されていること」(56.6%)、気分障害とその他では「家族や親戚などの身内」の割合がそれぞれ他の診断に比べて高くなっている。【図表7-44】

(1) 退院に向けて、必要な支援

【図表7-41 退院に向けて、必要な支援】（複数回答）

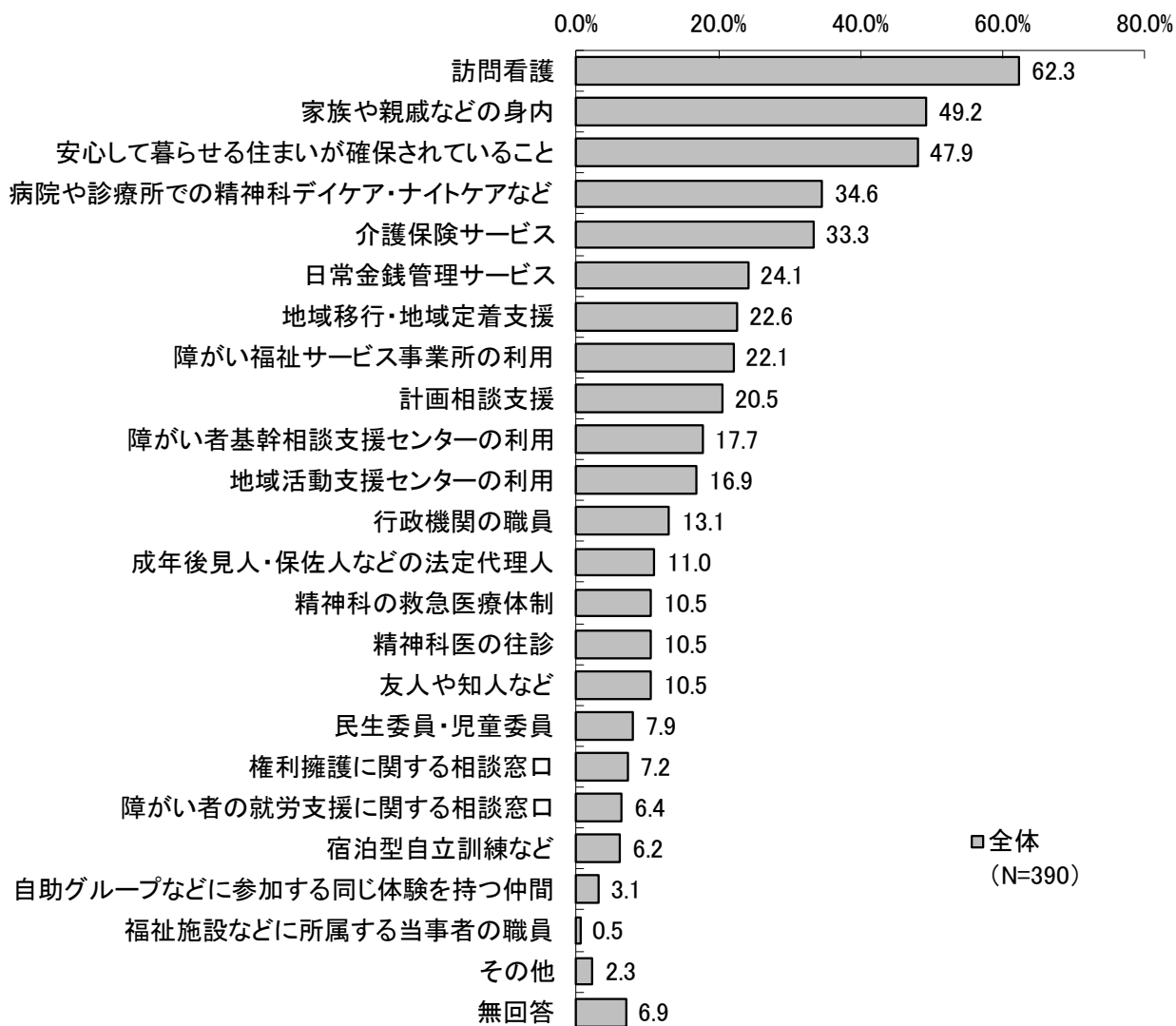


【図表7-42 年齢別、主な診断名（集約）別 退院に向けて必要な支援】 (%)

	調査数 (人)	退院に向けて必要な支援											
		シヤルワーク	環境調整などの活用や生活	社会資源の活用や生活	家族の協力	本人の退院に対する動機づけ	病気の理解	日常生活能力の向上や	入院中からの支援	退院後の生活に向けたる	地域の支援機関に向けたる	その他	無回答
全体	373	65.4	64.3	44.5	42.1	41.3	3.2	1.3					
年齢	29歳以下	19	36.8	78.9	47.4	52.6	31.6	10.5	-				
	30歳代	28	50.0	75.0	42.9	50.0	25.0	7.1	-				
	40歳代	49	65.3	49.0	51.0	55.1	36.7	2.0	-				
	50歳代	77	66.2	61.0	46.8	44.2	39.0	1.3	2.6				
	60～64歳	32	65.6	56.3	46.9	46.9	43.8	-	-				
	65～74歳	79	70.9	65.8	50.6	43.0	50.6	2.5	1.3				
	75歳以上	88	71.6	71.6	33.0	26.1	44.3	4.5	1.1				
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0			
全体	373	65.4	64.3	44.5	42.1	41.3	3.2	1.3					
主な診断名 (集約)	認知症	59	71.2	71.2	22.0	23.7	35.6	5.1	1.7				
	物質依存症	24	54.2	45.8	41.7	33.3	33.3	-	8.3				
	統合失調症	189	69.3	65.1	49.7	50.8	50.3	2.1	1.1				
	気分障害	56	51.8	66.1	50.0	37.5	25.0	1.8	-				
	その他	41	61.0	65.9	48.8	41.5	36.6	9.8	-				
	診断保留	0	-	-	-	-	-	-	-	-			
	無回答	4	100.0	-	25.0	25.0	25.0	-	-				

(2) 退院後、地域で生活するために必要な支援

【図表7-43 退院後、地域で生活するために必要な支援】（複数回答）



【図表7-44 年齢別、主な診断名（集約）別 退院後、地域で生活するために必要な支援】（%）

	調査数（人）	退院後、地域で生活するために必要な支援												
		訪問看護	家族や親戚などの身内	安心して暮らせる住まいが確保されていること	病棟や診療所での精神科ケア・ナイトケアなど	介護保険サービス	日常生活管理サービス	地域移行・地域定着支援	障がい福祉サービス事業所の利用	障がい福祉サービス利用に関する支援	障がい者基幹相談支援センターの利用	地域活動支援センターの利用	行政機関の職員	
全体	390	62.3	49.2	47.9	34.6	33.3	24.1	22.6	22.1	20.5	17.7	16.9	13.1	
年齢	29歳以下	22	36.4	59.1	27.3	31.8	4.5	9.1	4.5	36.4	13.6	18.2	4.5	9.1
	30歳代	29	48.3	55.2	31.0	24.1	-	6.9	3.4	20.7	24.1	17.2	17.2	6.9
	40歳代	51	68.6	45.1	47.1	43.1	2.0	21.6	19.6	43.1	29.4	29.4	13.7	9.8
	50歳代	80	73.8	46.3	41.3	53.8	3.8	21.3	22.5	33.8	25.0	20.0	21.3	16.3
	60～64歳	35	65.7	40.0	60.0	42.9	22.9	28.6	34.3	40.0	34.3	25.7	31.4	17.1
	65～74歳	81	59.3	51.9	56.8	28.4	61.7	30.9	34.6	11.1	16.0	14.8	19.8	11.1
	75歳以上	91	61.5	51.6	52.7	19.8	73.6	29.7	19.8	-	11.0	8.8	9.9	15.4
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	390	62.3	49.2	47.9	34.6	33.3	24.1	22.6	22.1	20.5	17.7	16.9	13.1	
主な診断名（集約）	認知症	63	49.2	38.1	46.0	15.9	63.5	23.8	15.9	6.3	15.9	12.7	7.9	15.9
	物質依存症	25	56.0	20.0	24.0	48.0	20.0	20.0	24.0	12.0	12.0	4.0	16.0	12.0
	統合失調症	196	71.9	51.5	56.6	40.3	31.1	32.1	30.1	28.1	25.0	20.9	21.9	14.3
	気分障害	58	58.6	60.3	37.9	29.3	19.0	6.9	5.2	22.4	10.3	10.3	13.8	6.9
	その他	43	48.8	62.8	39.5	37.2	23.3	14.0	23.3	23.3	25.6	27.9	14.0	11.6
	診断保留	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	5	-	-	-	20.0	60.0	-	-	-	-	-	-	20.0	

	調査数（人）	退院後、地域で生活するために必要な支援												
		法定後見人・保佐人などの代理人	精神科の救急医療体制	精神科医の往診	友人や知人など	民生委員・児童委員	権利擁護に関する相談窓口	障がい者の就労支援に関する相談窓口	宿泊型自立訓練など	自助グループなどに参加する機会	福祉施設などに所属する当事者の職員	その他	無回答	
全体	390	11.0	10.5	10.5	10.5	7.9	7.2	6.4	6.2	3.1	0.5	2.3	6.9	
年齢	29歳以下	22	-	9.1	4.5	13.6	-	-	22.7	4.5	4.5	-	4.5	18.2
	30歳代	29	-	10.3	6.9	24.1	-	6.9	13.8	6.9	6.9	-	3.4	10.3
	40歳代	51	2.0	17.6	5.9	11.8	7.8	2.0	2.0	9.8	5.9	-	-	5.9
	50歳代	80	2.5	11.3	8.8	7.5	5.0	2.5	10.0	6.3	5.0	-	1.3	5.0
	60～64歳	35	11.4	11.4	14.3	14.3	8.6	11.4	11.4	11.4	2.9	-	5.7	8.6
	65～74歳	81	19.8	9.9	16.0	7.4	8.6	9.9	3.7	7.4	1.2	1.2	3.7	4.9
	75歳以上	91	22.0	6.6	11.0	8.8	14.3	12.1	-	1.1	-	1.1	1.1	5.5
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
全体	390	11.0	10.5	10.5	10.5	7.9	7.2	6.4	6.2	3.1	0.5	2.3	6.9	
主な診断名（集約）	認知症	63	19.0	3.2	15.9	9.5	14.3	12.7	1.6	-	1.6	1.6	7.9	
	物質依存症	25	4.0	-	-	8.0	8.0	4.0	8.0	8.0	28.0	-	12.0	
	統合失調症	196	13.8	15.8	12.8	9.2	7.1	8.7	7.7	9.7	1.5	0.5	1.5	5.1
	気分障害	58	-	8.6	6.9	17.2	5.2	-	5.2	-	-	-	5.2	6.9
	その他	43	4.7	7.0	4.7	11.6	4.7	4.7	9.3	4.7	4.7	-	4.7	9.3
	診断保留	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	5	20.0	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	20.0	

第8章 精神障がい者調査（通院患者調査：二次調査結果）

【二次調査の対象者について】

一次調査（基礎調査）の対象者の中から無作為に抽出して、二次調査の対象として調査を実施した。

【図表中の診断名の表記について】

以降の図表中の診断（疾患）名は、文字数等の都合上、以下の2パターン（主な診断名、主な診断名（集約））の略称を用いて表記している。

	Fコード		略称	
			主な診断名	主な診断名(集約)
1.	F00	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー型認知症	認知症
2.	F01	血管性認知症	血管性認知症	
3.	F0	上記以外の症状性を含む器質性精神障害《アルツハイマー型認知症、血管性認知症を除く》	器質性精神障害	
4.	F10	アルコール使用による精神及び行動の障害	アルコール依存症	物質依存症
5.	F1	覚せい剤による精神及び行動の障害	覚せい剤依存症	
6.	F1	アルコール、覚せい剤を除く精神作用物質使用による精神及び行動の障害	他の薬物依存症	
7.	F2	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症
8.	F3	気分(感情)障害《双極性感情障害を除く》	うつ病	気分障害
9.	F31	双極性感情障害	双極性感情障害	
10.	F4	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	神経症	その他
11.	F5	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	行動症候群	
12.	F6	成人のパーソナリティ及び行動の障害《病的賭博、性同一性障害を除く》	パーソナリティ障害	
13.	F63.0	病的賭博	病的賭博	
14.	F64	性同一性障害	性同一性障害	
15.	F7	精神遅滞[知的障害]	知的障害	
16.	F8	心理的発達の障害	発達障害	
17.	F9	小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	小児期等の精神障害	
18.		てんかん(F01に属さないものを計上する)	てんかん	
19.		その他	その他	
20.		診断保留	診断保留	
		無回答	無回答	無回答

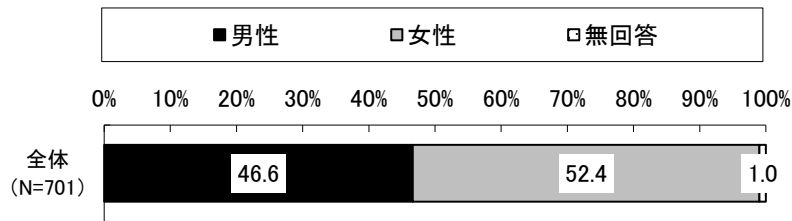
1～4は、医療機関スタッフによる回答結果である（スタッフ票）。

1. 通院患者の基本属性

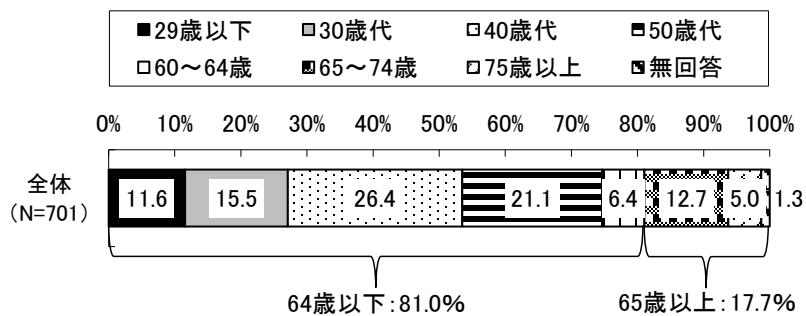
- ・通院患者の保険の種類は、「生活保護」（35.0%）、「国保」（31.5%）、「健保」（24.3%）の順で高くなっている。年齢別にみると、30歳代以下では「健保」が4割強、50歳代では「生活保護」が45.3%、65～74歳では「国保」が49.4%、75歳以上では「後期高齢者医療」が77.1%でそれぞれ他の年代よりも高くなっている。主な診断名（集約）別にみると、認知症では「後期高齢者医療」（53.6%）、物質依存症では「生活保護」（58.0%）の割合が他の診断よりも高くなっている。【図表8-6】
- ・自立支援医療の利用は、「利用あり」が75.9%を占めている。主な診断名（集約）別にみると、認知症では「利用なし」が46.4%と他の診断よりも高く「利用あり」（46.4%）と同じ割合となっている。この他ではいずれも「利用あり」の割合が高く、特に統合失調症は89.2%に達している。【図表8-8】
- ・要介護認定の認定状況は、「受けている」が6.9%、「申請していない」が59.8%の割合となっている。年齢別にみると、「受けている」割合は75歳以上の年代のみ45.7%となっているが、74歳以下ではいずれの年代も1割台以下しかみられない。主な診断名（集約）別にみると、認知症では「受けている」（44.4%）の割合が他の診断に比べて高い。【図表8-10】
- ・世帯状況は、「一人暮らし」が32.7%で最も高く、「二世帯同居（親と同居）」が22.0%で続いている。年齢別にみると、「二世帯同居（親と同居）」の割合は年代が若いほど高い。また60～74歳では「夫婦のみ」が3割弱、75歳以上では「二世帯同居（子と同居）」が28.6%と他の年代に比べて高くなっている。主な診断名（集約）別にみると、気分障害では「二世帯同居（子と同居）」が24.1%と他に年代に比べて割合が高くなっている。【図表8-12】
- ・主な介助者は、「介助の必要なし」が70.2%を占めている。介助必要者の主な介助者は「サービス事業者（ホームヘルパーなど）」が8.6%、「母親」が5.6%などとなっている。年齢別にみると、29歳以下では「母親」が18.5%と高く、75歳以上では「子ども」の割合が28.6%と高くなっている。主な診断名（集約）別にみると、認知症では「子ども」と「サービス事業者（ホームヘルパーなど）」がともに28.6%と他の診断よりも高くなっている。【図表8-14】
- ・成年後見制度の利用状況は、「利用していない」が89.7%を占めている。【図表8-17】
- ・精神保健福祉手帳の所持状況は、48.1%となっている。年齢別にみると、50歳代までは高い年齢層ほど所持率が高く、50歳代で55.4%を占めている。主な診断名別にみると、双極性感情障害（67.3%）、総合失調症（67.2%）では所持率が高く、一方で神経症（24.7%）、アルコール依存症（17.1%）では所持率が低い。【図表8-23】

(1) 性別・年齢・居住地区・障がい支援区分の認定状況

【図表8-1 性別】

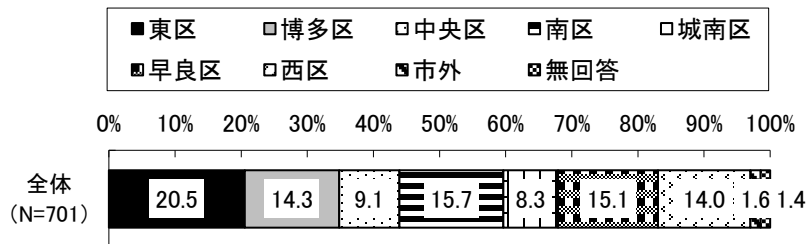


【図表8-2 年齢】

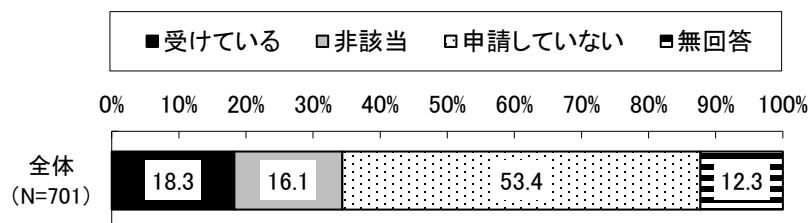


平均年齢
48.9歳

【図表8-3 居住地区】

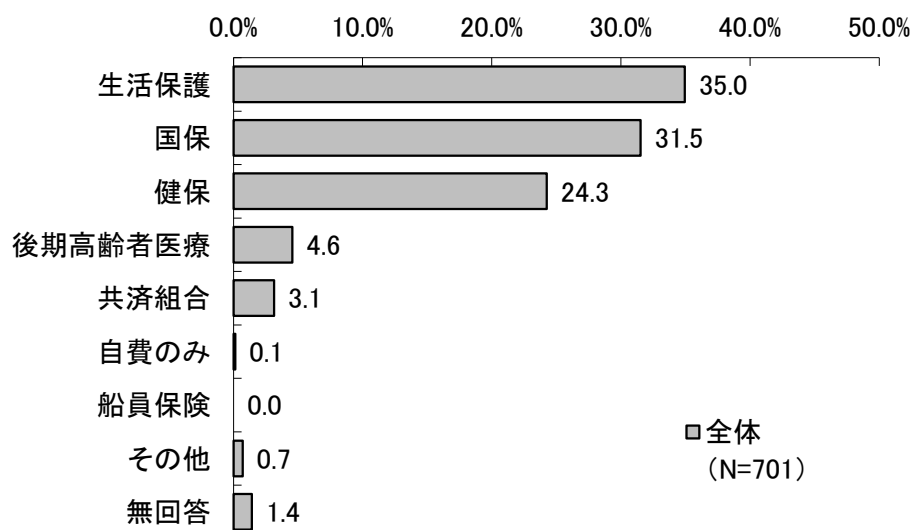


【図表8-4 障がい支援区分の認定状況】



(2) 保険の種類

【図表8-5 保険の種類】（複数回答）

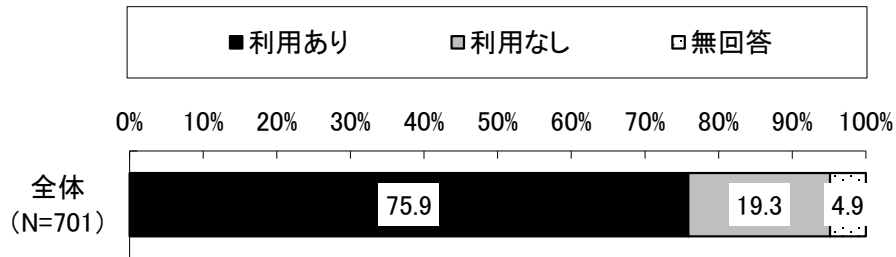


【図表8-6 年齢別、主な診断名（集約）別 保険の種類】 (%)

	調査数 (人)	保険の種類								
		生活保護	国保	健保	後期高齢者医療	共済組合	自費のみ	船員保険	その他	無回答
全体	701	35.0	31.5	24.3	4.6	3.1	0.1	-	0.7	1.4
年齢	29歳以下	81	25.9	28.4	42.0	-	2.5	-	-	1.2
	30歳代	109	30.3	26.6	40.4	0.9	3.7	-	-	-
	40歳代	185	34.6	30.8	25.9	-	4.9	0.5	-	2.2
	50歳代	148	45.3	33.1	18.2	-	3.4	-	-	-
	60～64歳	45	42.2	28.9	24.4	-	4.4	-	-	-
	65～74歳	89	41.6	49.4	4.5	4.5	-	-	-	-
	75歳以上	35	5.7	14.3	-	77.1	-	-	-	2.9
	無回答	9	22.2	11.1	22.2	-	-	-	-	44.4
全体	701	35.0	31.5	24.3	4.6	3.1	0.1	-	0.7	1.4
主な診断名 (集約)	認知症	28	21.4	21.4	3.6	53.6	-	-	-	3.6
	物質依存症	50	58.0	32.0	4.0	6.0	2.0	-	-	-
	統合失調症	232	42.7	35.3	15.5	3.0	1.3	-	-	1.3
	気分障害	199	28.6	31.2	31.2	3.0	5.0	-	-	0.5
	その他	166	28.9	27.1	38.6	0.6	4.2	0.6	-	-
	診断保留	3	-	33.3	66.7	-	-	-	-	-
	無回答	23	26.1	39.1	13.0	-	4.3	-	-	17.4

(3) 自立支援医療の利用

【図表8-7 自立支援医療の利用】

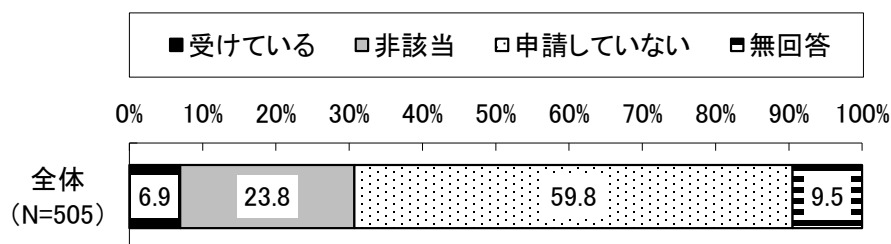


【図表8-8 年齢別、主な診断名（集約）別 自立支援医療の利用】 (%)

		調査数 (人)	保険の種類		
			利用あり	利用なし	無回答
全体		701	75.9	19.3	4.9
年齢	29歳以下	81	82.7	13.6	3.7
	30歳代	109	78.0	21.1	0.9
	40歳代	185	76.2	17.8	5.9
	50歳代	148	79.1	16.2	4.7
	60～64歳	45	77.8	20.0	2.2
	65～74歳	89	79.8	16.9	3.4
	75歳以上	35	31.4	54.3	14.3
	無回答	9	55.6	11.1	33.3
全体		701	75.9	19.3	4.9
主な診断名 (集約)	認知症	28	46.4	46.4	7.1
	物質依存症	50	82.0	18.0	-
	統合失調症	232	89.2	7.8	3.0
	気分障害	199	77.9	18.1	4.0
	その他	166	62.0	32.5	5.4
	診断保留	3	-	100.0	-
	無回答	23	56.5	8.7	34.8

(4) 要介護認定の認定状況（40歳以上）

【図表8-9 要介護認定の認定状況】

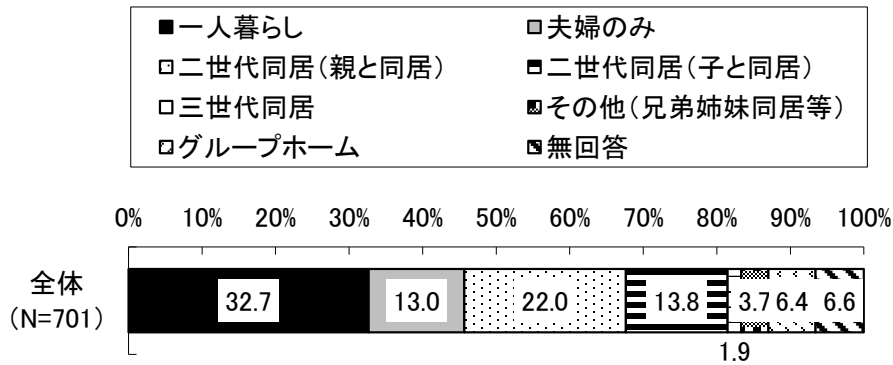


【図表8-10 年齢別、主な診断名（集約）別 要介護認定の認定状況】 (%)

	調査数 (人)	要介護認定の認定状況				
		受けている	非該当	申請していない	無回答	
全体	505	6.9	23.8	59.8	9.5	
年齢	29歳以下	-	-	-	-	
	30歳代	-	-	-	-	
	40歳代	185	1.1	27.0	62.7	9.2
	50歳代	148	2.7	27.7	60.1	9.5
	60～64歳	45	2.2	17.8	75.6	4.4
	65～74歳	89	12.4	20.2	55.1	12.4
	75歳以上	35	45.7	2.9	40.0	11.4
	無回答	3	33.3	66.7	-	-
全体	505	6.9	23.8	59.8	9.5	
主な診断名 (集約)	認知症	27	44.4	7.4	40.7	7.4
	物質依存症	42	2.4	14.3	83.3	-
	統合失調症	175	6.9	20.0	62.9	10.3
	気分障害	147	6.1	31.3	57.1	5.4
	その他	97	1.0	30.9	52.6	15.5
	診断保留	2	-	50.0	-	50.0
	無回答	15	-	-	73.3	26.7

(5) 同居家族の状況

【図表8-11 世帯状況】

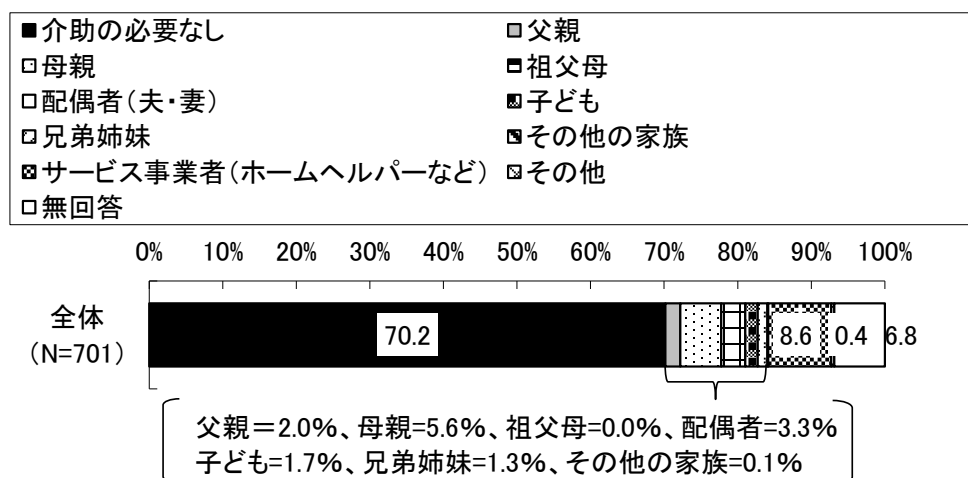


【図表8-12 年齢別、主な診断名（集約）別 世帯状況】 (%)

	調査数（人）	世帯状況								
		一人暮らし	夫婦のみ	二世帯同居（親と同居）	二世帯同居（子と同居）	三世帯同居	妹同居等） その他（兄弟姉妹同居等）	グループホーム	無回答	
全体	701	32.7	13.0	22.0	13.8	1.9	3.7	6.4	6.6	
年齢	29歳以下	81	30.9	4.9	42.0	2.5	4.9	2.5	3.7	8.6
	30歳代	109	28.4	9.2	36.7	13.8	2.8	0.9	7.3	0.9
	40歳代	185	29.2	8.6	24.9	19.5	0.5	2.2	7.0	8.1
	50歳代	148	41.9	12.8	19.6	10.8	1.4	4.1	5.4	4.1
	60～64歳	45	33.3	28.9	-	15.6	2.2	11.1	4.4	4.4
	65～74歳	89	40.4	25.8	1.1	12.4	-	9.0	5.6	5.6
	75歳以上	35	17.1	17.1	-	28.6	5.7	-	11.4	20.0
	無回答	9	-	-	44.4	-	-	-	22.2	33.3
全体	701	32.7	13.0	22.0	13.8	1.9	3.7	6.4	6.6	
主な診断名 (集約)	認知症	28	21.4	10.7	3.6	21.4	7.1	3.6	17.9	14.3
	物質依存症	50	36.0	18.0	12.0	16.0	-	2.0	14.0	2.0
	統合失調症	232	34.9	10.8	29.7	5.6	1.7	3.4	8.2	5.6
	気分障害	199	33.7	15.1	17.1	24.1	2.5	2.5	1.0	4.0
	その他	166	30.1	12.7	24.7	12.7	1.2	6.0	6.0	6.6
	診断保留	3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-
	無回答	23	26.1	8.7	13.0	-	-	4.3	8.7	39.1

(6) 主な介助者の状況

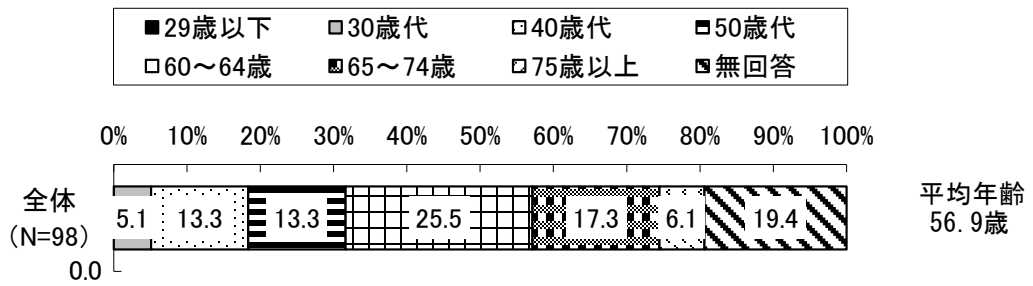
【図表8-13 主な介助者】



【図表8-14 年齢別、世帯状況別、主な診断名(集約)別 主な介助者】(%)

	調査数(人)	主な介助者											
		介助の必要なし	父親	母親	祖父母	(配偶者(夫・妻))	子ども	兄弟姉妹	その他の家族	パ(ー)ー(ホームヘルパーなど)	サ(ー)ー(ビス事業者)	その他	無回答
全体	701	70.2	2.0	5.6	-	3.3	1.7	1.3	0.1	8.6	0.4	6.8	
年齢	29歳以下	81	66.7	2.5	18.5	-	1.2	-	-	6.2	1.2	3.7	
	30歳代	109	73.4	4.6	8.3	-	3.7	-	0.9	5.5	0.9	2.8	
	40歳代	185	75.7	2.2	4.9	-	2.2	-	-	7.0	-	8.1	
	50歳代	148	77.7	1.4	4.1	-	2.7	-	2.0	7.4	-	4.7	
	60~64歳	45	66.7	-	-	-	11.1	-	2.2	2.2	11.1	-	6.7
	65~74歳	89	68.5	-	-	-	3.4	2.2	4.5	-	13.5	1.1	6.7
	75歳以上	35	25.7	-	-	-	5.7	28.6	-	-	17.1	-	22.9
	無回答	9	33.3	11.1	-	-	-	-	-	22.2	-	33.3	
全体	701	70.2	2.0	5.6	-	3.3	1.7	1.3	0.1	8.6	0.4	6.8	
世帯状況	一人暮らし	229	78.6	-	1.7	-	0.9	0.9	-	10.9	0.4	6.6	
	夫婦のみ	91	76.9	-	-	-	20.9	-	-	1.1	-	1.1	
	二世帯同居(親と同居)	154	72.1	8.4	18.2	-	-	-	0.6	-	0.6	-	
	二世帯同居(子と同居)	97	82.5	-	1.0	-	3.1	6.2	-	3.1	1.0	3.1	
	三世帯同居	13	30.8	7.7	38.5	-	-	15.4	-	-	-	7.7	
	その他(兄弟姉妹同居等)	26	73.1	-	-	-	-	-	23.1	-	3.8	-	
	グループホーム	45	37.8	-	-	-	-	-	-	55.6	2.2	4.4	
無回答	46	23.9	-	2.2	-	2.2	4.3	-	2.2	8.7	-	56.5	
全体	701	70.2	2.0	5.6	-	3.3	1.7	1.3	0.1	8.6	0.4	6.8	
主な診断名(集約)	認知症	28	25.0	-	-	-	3.6	28.6	7.1	-	28.6	-	7.1
	物質依存症	50	86.0	4.0	-	-	2.0	2.0	-	6.0	-	-	
	統合失調症	232	63.4	4.3	8.6	-	2.6	0.4	1.7	-	12.1	0.9	6.0
	気分障害	199	80.9	-	2.0	-	3.0	0.5	1.0	-	5.5	0.5	6.5
	その他	166	73.5	1.2	9.0	-	4.2	0.6	0.6	-	3.6	-	7.2
	診断保留	3	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	23	39.1	-	-	-	8.7	-	-	4.3	17.4	-	30.4

【図表8-15 主な介助者（サービス事業者、その他以外）の年齢】

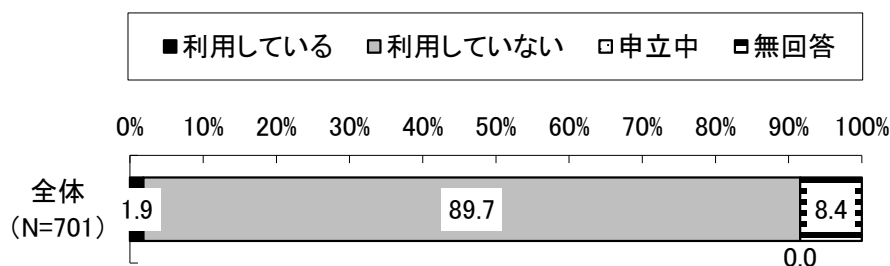


【図表8-16 年齢別、世帯状況別、主な診断名（集約）別 主な介助者の年齢】 (%)

	調査数 (人)	主な介助者の年齢							
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	65~74歳	75歳以上	無回答
全体	98	-	5.1	13.3	13.3	25.5	17.3	6.1	19.4
年齢	29歳以下	18	-	5.6	11.1	50.0	16.7	-	16.7
	30歳代	19	-	15.8	15.8	5.3	42.1	21.1	-
	40歳代	17	-	5.9	11.8	-	11.8	35.3	17.6
	50歳代	15	-	-	6.7	13.3	20.0	26.7	13.3
	60~64歳	7	-	-	-	-	57.1	14.3	-
	65~74歳	9	-	-	11.1	11.1	33.3	11.1	-
	75歳以上	12	-	-	33.3	-	8.3	8.3	8.3
	無回答	1	-	-	-	-	100.0	-	-
全体	98	-	5.1	13.3	13.3	25.5	17.3	6.1	19.4
世帯状況	一人暮らし	8	-	12.5	12.5	25.0	12.5	-	37.5
	夫婦のみ	19	-	5.3	21.1	5.3	31.6	15.8	5.3
	二世帯同居(親と同居)	42	-	2.4	7.1	14.3	23.8	28.6	11.9
	二世帯同居(子と同居)	10	-	20.0	50.0	10.0	-	10.0	-
	三世帯同居	8	-	-	-	37.5	37.5	-	-
	その他(兄弟姉妹同居等)	6	-	-	-	-	66.7	-	33.3
	グループホーム	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	5	-	-	-	-	20.0	20.0	60.0
全体	98	-	5.1	13.3	13.3	25.5	17.3	6.1	19.4
主な診断名 (集約)	認知症	11	-	-	18.2	-	18.2	-	63.6
	物質依存症	4	-	-	25.0	-	25.0	50.0	-
	統合失調症	41	-	2.4	7.3	12.2	34.1	22.0	12.2
	気分障害	13	-	15.4	23.1	-	23.1	23.1	-
	その他	26	-	7.7	15.4	30.8	15.4	11.5	3.8
	診断保留	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	3	-	-	-	-	33.3	-	66.7

(7) 成年後見制度の利用状況

【図表8-17 成年後見制度の利用状況】

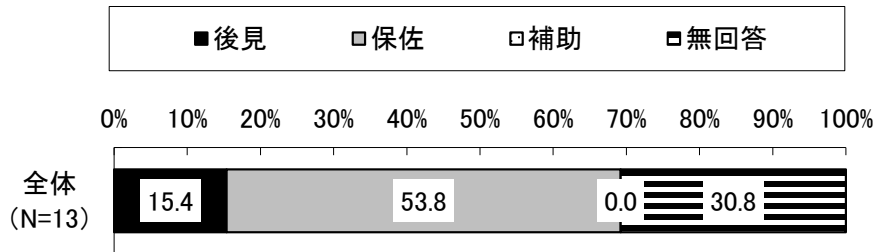


【図表8-18 年齢別、主な診断名（集約）別 成年後見制度の利用状況】 (%)

	調査数 (人)	成年後見制度の利用状況				
		利用している	利用していない	申立中	無回答	
全体	701	1.9	89.7	-	8.4	
年齢	29歳以下	81	2.5	93.8	-	3.7
	30歳代	109	0.9	94.5	-	4.6
	40歳代	185	1.1	88.6	-	10.3
	50歳代	148	2.0	90.5	-	7.4
	60～64歳	45	-	93.3	-	6.7
	65～74歳	89	5.6	84.3	-	10.1
	75歳以上	35	-	82.9	-	17.1
	無回答	9	-	66.7	-	33.3
全体	701	1.9	89.7	-	8.4	
主な診断名 (集約)	認知症	28	-	82.1	-	17.9
	物質依存症	50	-	96.0	-	4.0
	統合失調症	232	3.4	90.1	-	6.5
	気分障害	199	1.5	91.5	-	7.0
	その他	166	1.2	91.6	-	7.2
	診断保留	3	-	100.0	-	-
	無回答	23	-	52.2	-	47.8

(8) 利用している成年後見制度の詳細

【図表8-19 利用している成年後見制度の詳細】



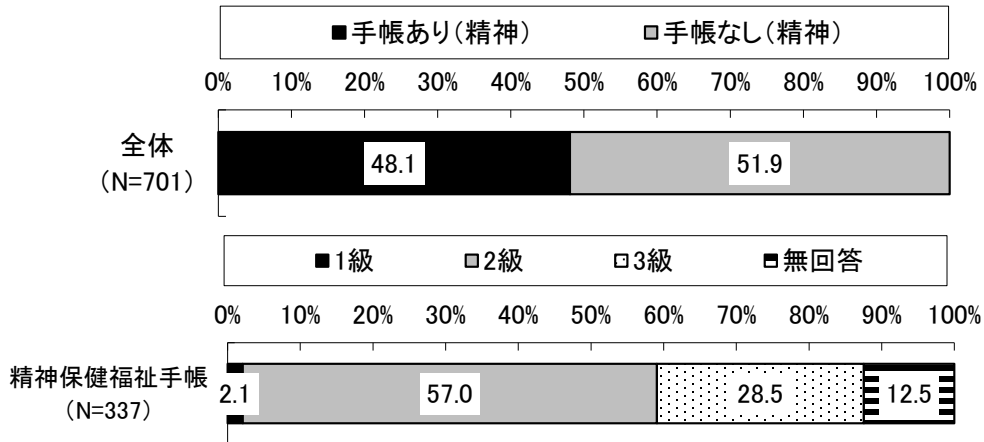
【図表8-20 年齢別、主な診断名（集約）別 利用している成年後見制度の詳細】 (%)

	調査数 (人)	利用している成年後見制度の詳細				
		後見	保佐	補助	無回答	
全体	13	15.4	53.8	-	30.8	
年齢	29歳以下	2	-	-	-	100.0
	30歳代	1	-	100.0	-	-
	40歳代	2	-	50.0	-	50.0
	50歳代	3	-	66.7	-	33.3
	60～64歳	-	-	-	-	-
	65～74歳	5	40.0	60.0	-	-
	75歳以上	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-
全体	13	15.4	53.8	-	30.8	
主な診断名 (集約)	認知症	-	-	-	-	-
	物質依存症	-	-	-	-	-
	統合失調症	8	25.0	75.0	-	-
	気分障害	3	-	33.3	-	66.7
	その他	2	-	-	-	100.0
	診断保留	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-

(9) 手帳の状況

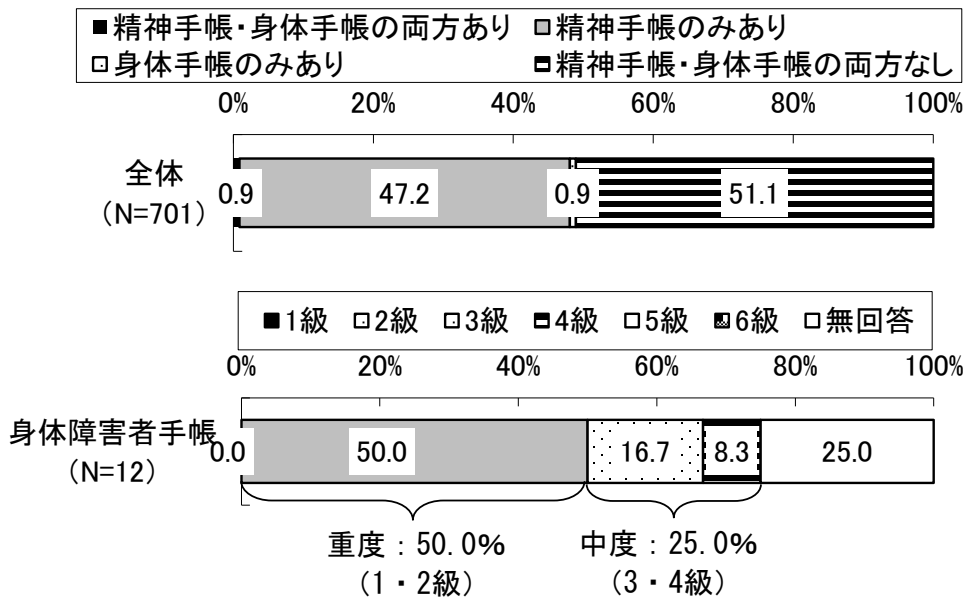
【図表8-21 精神保健福祉手帳の所持状況、等級】

<精神手帳>

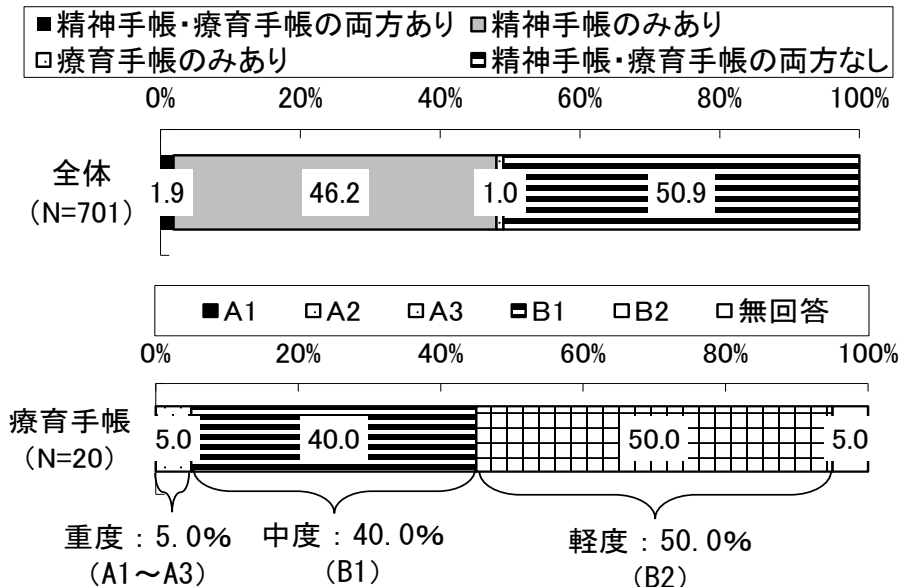


【図表8-22 他の障害者手帳との重複所持状況、等級・判定】

<身体手帳>



<療育手帳>



【図表8-23 年齢別、主な診断名別 手帳の所持状況、精神保健福祉手帳の等級】（%）

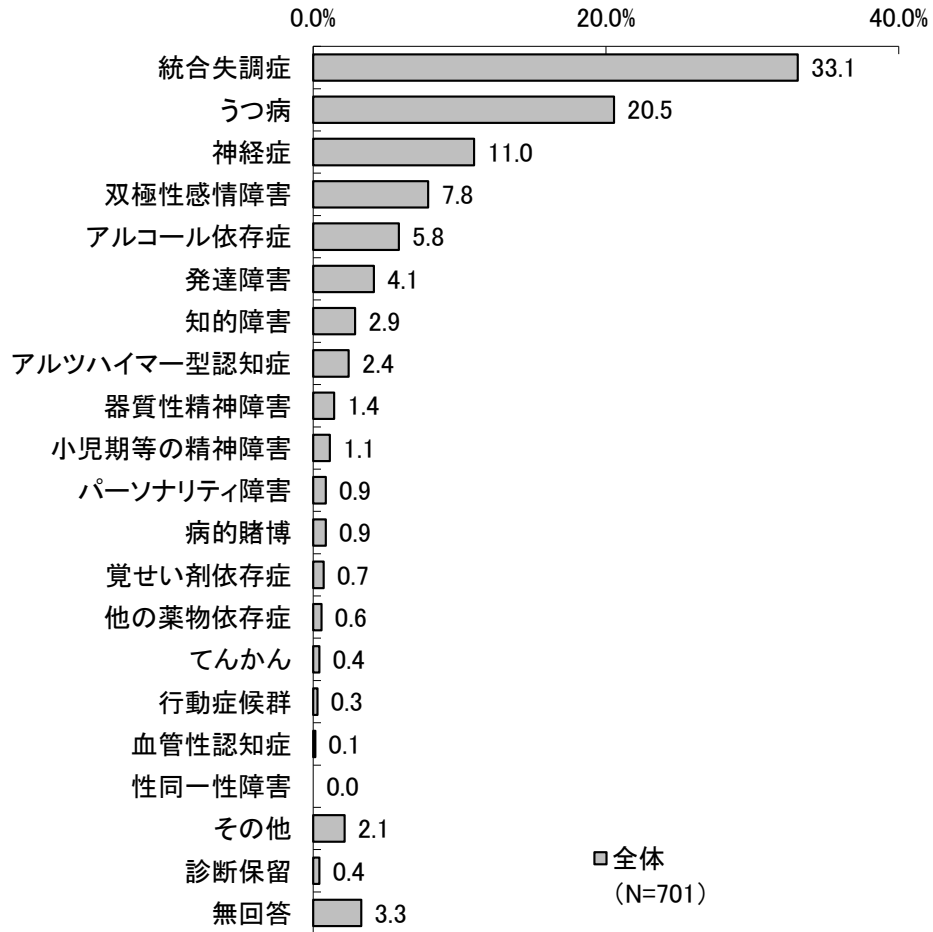
	調査数 (人)	手帳の所持状況				調査数 (人)	精神保健福祉手帳の等級				
		精神保健福祉手帳	身体障害者手帳	療育手帳	手帳なし		1級	2級	3級	無回答	
全体	701	48.1	1.7	2.9	50.1	337	2.1	57.0	28.5	12.5	
年齢	29歳以下	81	44.4	-	2.5	54.3	36	-	61.1	19.4	19.4
	30歳代	109	50.5	-	5.5	47.7	55	1.8	65.5	16.4	16.4
	40歳代	185	53.0	2.2	4.9	44.3	98	2.0	55.1	28.6	14.3
	50歳代	148	55.4	2.7	1.4	43.2	82	1.2	54.9	31.7	12.2
	60～64歳	45	44.4	4.4	2.2	53.3	20	-	60.0	40.0	-
	65～74歳	89	49.4	2.2	-	48.3	44	4.5	50.0	40.9	4.5
	75歳以上	35	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
無回答	9	22.2	-	-	77.8	2	50.0	50.0	-	-	
全体	701	48.1	1.7	2.9	50.1	337	2.1	57.0	28.5	12.5	
主な診断名	アルツハイマー型認知症	17	5.9	-	-	94.1	1	-	-	100.0	-
	血管性認知症	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	器質性精神障害	10	60.0	-	-	40.0	6	-	66.7	33.3	-
	アルコール依存症	41	17.1	4.9	-	78.0	7	-	28.6	57.1	14.3
	覚せい剤依存症	5	60.0	20.0	20.0	20.0	3	-	33.3	66.7	-
	他の薬物依存症	4	50.0	-	-	50.0	2	-	50.0	50.0	-
	統合失調症	232	67.2	1.7	1.3	32.3	156	4.5	67.3	17.3	10.9
	うつ病	144	38.9	0.7	1.4	61.1	56	-	48.2	46.4	5.4
	双極性感情障害	55	67.3	1.8	3.6	30.9	37	-	40.5	48.6	10.8
	神経症	77	24.7	2.6	2.6	70.1	19	-	47.4	31.6	21.1
	行動症候群	2	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	パーソナリティ障害	6	50.0	-	-	50.0	3	-	33.3	-	66.7
	病的賭博	6	33.3	-	-	66.7	2	-	-	50.0	50.0
	性同一性障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	知的障害	20	65.0	5.0	45.0	15.0	13	-	69.2	15.4	15.4
	発達障害	29	41.4	-	-	58.6	12	-	66.7	-	33.3
	小児期等の精神障害	8	25.0	-	-	75.0	2	-	100.0	-	-
	てんかん	3	33.3	-	-	66.7	1	-	100.0	-	-
	その他	15	66.7	-	6.7	33.3	10	-	30.0	30.0	40.0
	診断保留	3	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
無回答	23	30.4	-	-	69.6	7	-	57.1	42.9	-	

2. 患者の疾患や入院状況

- 主な診断名は、「統合失調症」が33.1%で最も高く、「うつ病」（20.5%）、「神経症」（11.0%）の順となっている。年齢別にみると、29歳以下では「発達障害」が17.3%、75歳以上では「アルツハイマー型認知症」が37.1%とそれぞれ他の年代に比べて高くなっている。【図表8-25】
- 初めて精神科・神経科を受診した年齢は、「20歳代」（26.5%）と「30歳代」（20.4%）がいずれも2割台で高くなっている。現在の年齢別にみると、29歳以下では「15～19歳」（35.8%）、「20歳代」（40.7%）が高く、30歳代では「20歳代」での初受診が43.1%を占めている。また60～64歳では「40歳代」（28.9%）と「50歳代」（26.7%）がともに3割弱、75歳以上では「70歳代」（37.1%）と「80歳以上」（25.7%）がともに3割前後と高くなっている。主な診断名別にみると、統合失調症では「20歳代」が37.1%、発達障害では「15～19歳」が24.1%で他の診断に比べて高く初めて受診は比較的若い年代となっている。【図表8-27】
- 入院経験の有無は、「入院あり」が54.8%と過半数を占め、入院回数は「5回以上」が27.1%で最も高い。年齢別にみると、60～74歳の各層で「入院あり」が7割前後と高い割合を占めており、入院回数では、50歳代で「5回以上」が37.9%と高くなっている。主な診断名別にみると、アルコール依存症、統合失調症では「入院あり」がともに8割強と高い割合を占めている。一方、神経症では「入院なし」（70.1%）が7割と高くなっている。【図表8-30】
- 精神科への入院経験がある人（384人）の前回の入院期間は、「1～3ヶ月未満」が31.0%、「3～6ヶ月未満」が26.8%と高く、平均期間は6.5ヶ月となっている。年齢別にみると、29歳以下では「1～3ヶ月未満」が44.8%と高く、65～74歳では「3～6ヶ月未満」が38.3%と高くなっている。また、60～64歳では「6ヶ月～1年未満」が21.9%と他の年代に比べて高くなっているため平均期間が最も長くなっている。主な診断名別にみると、双極性感情障害では「1～3ヶ月未満」が51.9%と高くなっている。【図表8-32】
- 以前に精神科病院への入院経験がある人の、退院からの経過期間は、「1～3年未満」が25.5%で最も高い。年齢別にみると、29歳以下では「6ヶ月～1年未満」が24.1%と他の年代に比べて高くなっている。主な診断名別にみると、双極性感情障害（37.0%）、アルコール依存症（35.3%）では「1～3年未満」が他の年代に比べてやや高くなっている。【図表8-34】
- 通院の状況は、「ほぼ主治医の指示通りに通院」が90.3%を占めている。【図表8-35】
- 通院の頻度は、「月に1回程度」が42.5%で最も高く、「隔週に1回程度」が25.5%で続いている。年齢別にみると、65～74歳では「月に1回程度」が52.8%と半数以上を占めて高くなっている。主な診断名別にみると、アルコール依存症では「週に2回以上」が24.4%と他の診断に比べて高く、通院の頻度は多い。【図表8-38】

(1) 主な診断名

【図表8-24 主な診断名】

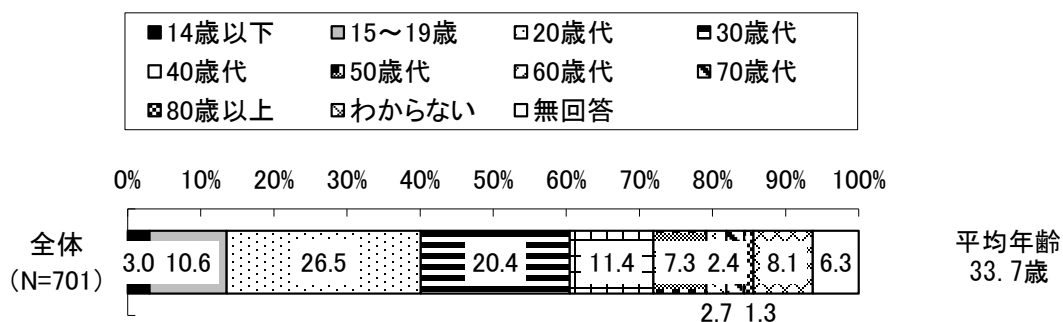


【図表8-25 性別、年齢別 主な診断名】 (%)

	調査数 (人)	主な診断名																					
		統合失調症	うつ病	神経症	双極性感情障害	アルコール依存症	発達障害	知的障害	アルツハイマー型認知症	器質性精神障害	小児期等の精神障害	パーソナリティ障害	病的賭博	覚せい剤依存症	他の薬物依存症	てんかん	行動症候群	血管性認知症	性同一性障害	その他	診断保留	無回答	
全体	701	33.1	20.5	11.0	7.8	5.8	4.1	2.9	2.4	1.4	1.1	0.9	0.9	0.7	0.6	0.4	0.3	0.1	-	2.1	0.4	3.3	
性別	男性	327	31.8	21.4	8.0	7.0	9.8	3.4	2.1	1.5	1.8	1.2	0.9	1.8	0.6	0.9	0.6	0.3	-	1.8	0.6	3.7	
	女性	367	34.6	20.2	13.4	8.7	2.5	4.6	3.5	3.3	1.1	1.1	0.8	-	0.8	0.3	0.3	-	-	2.5	0.3	2.2	
	無回答	7	14.3	-	28.6	-	-	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42.9
全体	701	33.1	20.5	11.0	7.8	5.8	4.1	2.9	2.4	1.4	1.1	0.9	0.9	0.7	0.6	0.4	0.3	0.1	-	2.1	0.4	3.3	
年齢	29歳以下	81	21.0	16.0	8.6	8.6	-	17.3	7.4	-	1.2	4.9	2.5	3.7	-	1.2	-	-	-	-	3.7	-	3.7
	30歳代	109	34.9	22.9	11.0	6.4	5.5	6.4	4.6	-	-	0.9	0.9	0.9	-	-	-	-	-	-	1.8	0.9	1.8
	40歳代	185	38.4	21.1	13.0	8.1	3.8	2.7	2.7	-	1.6	1.1	1.1	-	0.5	0.5	-	0.5	-	-	1.6	-	3.2
	50歳代	148	32.4	27.7	8.8	9.5	5.4	0.7	2.0	-	1.4	0.7	-	0.7	0.7	0.7	1.4	0.7	-	-	4.1	0.7	2.7
	60～64歳	45	28.9	20.0	8.9	11.1	13.3	4.4	2.2	-	-	-	-	-	2.2	-	2.2	-	-	-	-	2.2	4.4
	65～74歳	89	40.4	11.2	16.9	7.9	12.4	-	-	4.5	1.1	-	1.1	-	1.1	-	-	-	-	-	1.1	-	2.2
	75歳以上	35	14.3	20.0	2.9	-	8.6	-	-	37.1	8.6	-	-	2.9	-	-	-	-	2.9	-	-	-	2.9
無回答	9	44.4	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.1	-	-	-	-	-	-	33.3	

(2) 初めて精神科・神経科を受診した年齢

【図表8-26 初めて精神科・神経科を受診した年齢】

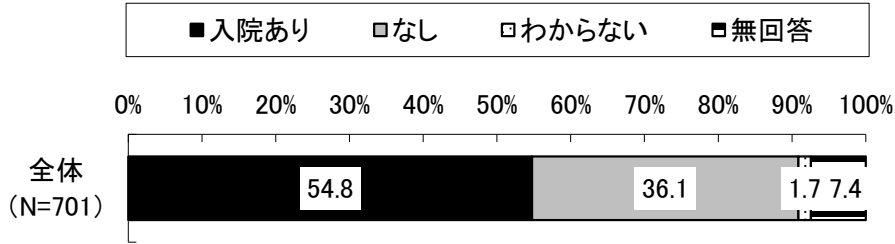


【図表8-27 年齢別、主な診断名別 初めて精神科・神経科を受診した年齢】 (%)

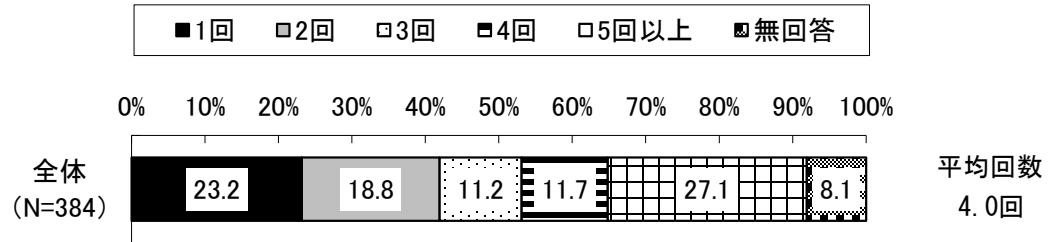
	調査数 (人)	初めて精神科・神経科を受診した年齢											
		14歳以下	15~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	わからない	無回答	
全体	701	3.0	10.6	26.5	20.4	11.4	7.3	2.7	2.4	1.3	8.1	6.3	
年齢	29歳以下	81	14.8	35.8	40.7	-	-	-	-	-	4.9	3.7	
	30歳代	109	5.5	15.6	43.1	24.8	-	-	-	-	6.4	4.6	
	40歳代	185	-	5.9	34.6	29.2	13.5	-	-	-	9.7	7.0	
	50歳代	148	1.4	6.8	17.6	25.0	21.6	14.9	-	-	8.1	4.7	
	60~64歳	45	-	2.2	11.1	15.6	28.9	26.7	4.4	-	4.4	6.7	
	65~74歳	89	-	3.4	12.4	19.1	10.1	15.7	18.0	4.5	11.2	5.6	
	75歳以上	35	-	-	-	2.9	2.9	5.7	2.9	37.1	25.7	11.4	11.4
	無回答	9	11.1	33.3	-	-	-	11.1	-	-	-	-	44.4
全体	701	3.0	10.6	26.5	20.4	11.4	7.3	2.7	2.4	1.3	8.1	6.3	
主な診断名	アルツハイマー型認知症	17	-	-	-	-	-	5.9	17.6	23.5	35.3	11.8	5.9
	血管性認知症	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	器質性精神障害	10	-	-	20.0	10.0	10.0	10.0	-	-	30.0	20.0	-
	アルコール依存症	41	2.4	2.4	17.1	17.1	19.5	12.2	14.6	7.3	-	4.9	2.4
	覚せい剤依存症	5	20.0	-	-	20.0	40.0	20.0	-	-	-	-	-
	他の薬物依存症	4	-	-	50.0	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-
	統合失調症	232	2.6	16.4	37.1	22.0	6.9	3.4	0.4	-	-	6.9	4.3
	うつ病	144	0.7	4.2	24.3	26.4	16.7	9.7	3.5	3.5	-	5.6	5.6
	双極性感情障害	55	-	16.4	30.9	16.4	20.0	12.7	1.8	-	-	-	1.8
	神経症	77	2.6	6.5	10.4	28.6	14.3	7.8	3.9	3.9	-	14.3	7.8
	行動症候群	2	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0
	パーソナリティ障害	6	-	16.7	33.3	16.7	-	-	-	-	-	16.7	16.7
	病的賭博	6	-	-	50.0	16.7	-	16.7	-	16.7	-	-	-
	性同一性障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	知的障害	20	10.0	10.0	40.0	10.0	5.0	5.0	-	-	-	15.0	5.0
	発達障害	29	17.2	24.1	17.2	10.3	6.9	3.4	-	-	-	13.8	6.9
	小児期等の精神障害	8	12.5	25.0	37.5	12.5	-	12.5	-	-	-	-	-
	てんかん	3	-	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3
	その他	15	6.7	-	33.3	33.3	6.7	6.7	-	-	-	13.3	-
	診断保留	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
無回答	23	4.3	4.3	13.0	4.3	8.7	4.3	-	4.3	-	8.7	47.8	

(3) 入院経験の有無・回数

【図表8-28 入院経験の有無】



【図表8-29 入院の回数】

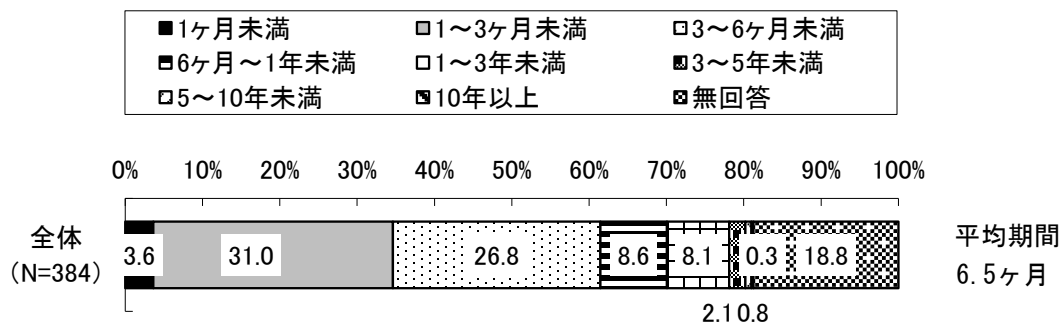


【図表8-30 年齢別、主な診断名別 入院経験の有無、入院の回数】 (%)

	調査数 (人)	入院経験の有無				調査数 (人)	入院の回数							
		入院あり	入院なし	わからない	無回答		1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答		
全体	701	54.8	36.1	1.7	7.4	384	23.2	18.8	11.2	11.7	27.1	8.1		
年齢	29歳以下	81	35.8	56.8	-	7.4	29	51.7	17.2	3.4	10.3	13.8	3.4	
	30歳代	109	48.6	44.0	1.8	5.5	53	37.7	15.1	15.1	7.5	17.0	7.5	
	40歳代	185	53.5	34.6	2.7	9.2	99	20.2	19.2	10.1	17.2	26.3	7.1	
	50歳代	148	64.2	29.1	1.4	5.4	95	16.8	17.9	8.4	11.6	37.9	7.4	
	60～64歳	45	71.1	24.4	-	4.4	32	18.8	9.4	15.6	9.4	31.3	15.6	
	65～74歳	89	67.4	25.8	2.2	4.5	60	11.7	26.7	16.7	10.0	25.0	10.0	
	75歳以上	35	31.4	51.4	2.9	14.3	11	36.4	27.3	-	-	27.3	9.1	
	無回答	9	55.6	-	-	44.4	5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	
全体	701	54.8	36.1	1.7	7.4	384	23.2	18.8	11.2	11.7	27.1	8.1		
主な診断名	アルツハイマー型認知症	17	35.3	52.9	-	11.8	6	-	83.3	-	-	-	16.7	-
	血管性認知症	1	100.0	-	-	-	1	100.0	-	-	-	-	-	
	器質性精神障害	10	50.0	30.0	10.0	10.0	5	-	60.0	-	-	-	40.0	
	アルコール依存症	41	82.9	14.6	-	2.4	34	26.5	23.5	11.8	14.7	17.6	5.9	
	覚せい剤依存症	5	80.0	20.0	-	-	4	25.0	-	25.0	-	50.0	-	
	他の薬物依存症	4	75.0	25.0	-	-	3	-	33.3	-	33.3	33.3	-	
	統合失調症	232	84.1	9.9	2.2	3.9	195	19.5	16.4	14.4	12.8	29.7	7.2	
	うつ病	144	36.1	58.3	1.4	4.2	52	32.7	23.1	7.7	11.5	15.4	9.6	
	双極性感情障害	55	49.1	43.6	3.6	3.6	27	22.2	11.1	14.8	11.1	37.0	3.7	
	神経症	77	20.8	70.1	1.3	7.8	16	18.8	6.3	-	18.8	37.5	18.8	
	行動症候群	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	
	パーソナリティ障害	6	50.0	33.3	-	16.7	3	66.7	33.3	-	-	-	-	
	病的賭博	6	50.0	50.0	-	-	3	33.3	-	-	-	33.3	33.3	
	性同一性障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	知的障害	20	55.0	30.0	5.0	10.0	11	36.4	-	9.1	9.1	27.3	18.2	
	発達障害	29	20.7	65.5	-	13.8	6	50.0	16.7	-	-	16.7	16.7	
	小児期等の精神障害	8	12.5	87.5	-	-	1	100.0	-	-	-	-	-	
	てんかん	3	33.3	33.3	-	33.3	1	-	-	-	-	100.0	-	
その他	15	53.3	46.7	-	-	8	12.5	25.0	-	-	62.5	-		
診断保留	3	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-		
無回答	23	34.8	8.7	-	56.5	8	25.0	37.5	12.5	12.5	12.5	-		

(4) 前回の入院期間

【図表8-31 前回の入院期間】

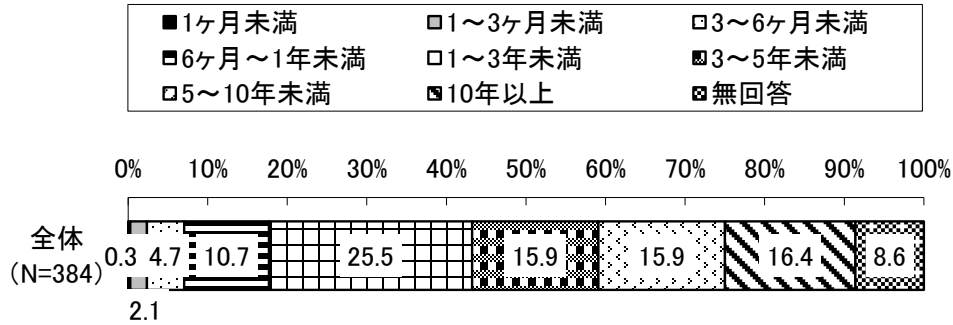


【図表8-32 年齢別、主な診断名別 前回の入院期間】 (%)

	調査数 (人)	前回の入院期間									平均期間 (ヶ月)	
		1ヶ月未満	1～3ヶ月未満	3～6ヶ月未満	6ヶ月～1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年以上	無回答		
全体	384	3.6	31.0	26.8	8.6	8.1	2.1	0.8	0.3	18.8	6.5	
年齢	29歳以下	29	-	44.8	34.5	3.4	-	-	3.4	-	13.8	5.4
	30歳代	53	5.7	34.0	28.3	7.5	3.8	1.9	1.9	-	17.0	5.5
	40歳代	99	4.0	30.3	27.3	9.1	11.1	2.0	-	-	16.2	5.9
	50歳代	95	4.2	27.4	23.2	5.3	8.4	2.1	-	-	29.5	5.8
	60～64歳	32	3.1	37.5	6.3	21.9	9.4	3.1	-	-	18.8	7.9
	65～74歳	60	1.7	26.7	38.3	10.0	10.0	3.3	1.7	-	8.3	7.3
	75歳以上	11	9.1	18.2	36.4	9.1	9.1	-	-	-	18.2	3.9
	無回答	5	-	40.0	-	-	-	-	-	20.0	40.0	42.0
全体	384	3.6	31.0	26.8	8.6	8.1	2.1	0.8	0.3	18.8	6.5	
主な診断名	アルツハイマー型認知症	6	16.7	16.7	50.0	-	16.7	-	-	-	-	3.9
	血管性認知症	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	5.0
	器質性精神障害	5	-	-	20.0	20.0	20.0	-	-	-	40.0	8.7
	アルコール依存症	34	-	38.2	41.2	8.8	5.9	2.9	-	-	2.9	5.1
	覚せい剤依存症	4	-	50.0	-	-	-	25.0	-	-	25.0	16.8
	他の薬物依存症	3	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	33.3	62.5
	統合失調症	195	2.6	27.7	27.2	10.8	11.3	2.6	1.0	-	16.9	7.3
	うつ病	52	5.8	32.7	26.9	3.8	-	1.9	-	-	28.8	3.7
	双極性感情障害	27	11.1	51.9	18.5	11.1	-	-	-	-	7.4	2.3
	神経症	16	-	31.3	18.8	-	12.5	-	-	-	37.5	5.9
	行動症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	パーソナリティ障害	3	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3	8.0
	病的賭博	3	-	33.3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	26.3
	性同一性障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	知的障害	11	9.1	27.3	18.2	-	-	-	-	-	45.5	2.1
	発達障害	6	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	33.3	2.8
	小児期等の精神障害	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	2.0
	てんかん	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	3.0
その他	8	12.5	37.5	12.5	12.5	-	-	-	-	25.0	2.4	
診断保留	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	8	-	25.0	12.5	25.0	25.0	-	-	-	12.5	8.3	

(5) 退院からの経過期間

【図表8-33 退院からの経過期間】

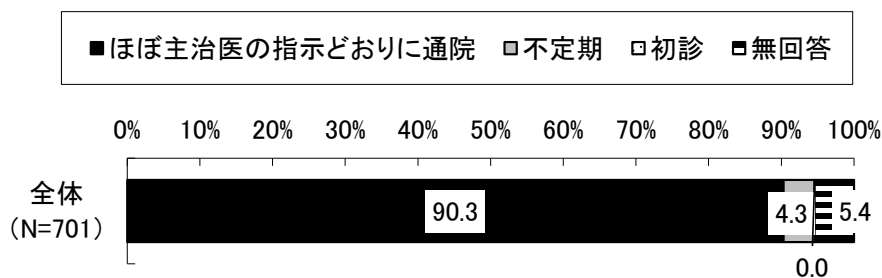


【図表8-34 年齢別、主な診断名別 退院からの経過期間】 (%)

	調査数 (人)	退院からの経過期間									
		1ヶ月未満	1~3ヶ月未満	3~6ヶ月未満	6ヶ月~1年未満	1~3年未満	3~5年未満	5~10年未満	10年以上	無回答	
全体	384	0.3	2.1	4.7	10.7	25.5	15.9	15.9	16.4	8.6	
年齢	29歳以下	29	3.4	3.4	13.8	24.1	24.1	20.7	3.4	-	6.9
	30歳代	53	-	-	7.5	11.3	30.2	11.3	13.2	13.2	13.2
	40歳代	99	-	1.0	4.0	8.1	22.2	21.2	20.2	20.2	3.0
	50歳代	95	-	4.2	1.1	11.6	27.4	12.6	11.6	20.0	11.6
	60~64歳	32	-	3.1	3.1	12.5	28.1	15.6	21.9	15.6	-
	65~74歳	60	-	1.7	5.0	6.7	25.0	11.7	23.3	18.3	8.3
	75歳以上	11	-	-	-	9.1	18.2	36.4	9.1	-	27.3
	無回答	5	-	-	20.0	-	20.0	-	-	20.0	40.0
全体	384	0.3	2.1	4.7	10.7	25.5	15.9	15.9	16.4	8.6	
主な診断名	アルツハイマー型認知症	6	-	-	-	16.7	33.3	16.7	16.7	-	16.7
	血管性認知症	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	器質性精神障害	5	-	-	-	-	40.0	-	20.0	40.0	-
	アルコール依存症	34	-	-	8.8	11.8	35.3	17.6	17.6	2.9	5.9
	覚せい剤依存症	4	-	-	25.0	-	25.0	-	25.0	-	25.0
	他の薬物依存症	3	-	-	-	33.3	-	-	33.3	33.3	-
	統合失調症	195	-	1.5	4.6	8.2	26.2	19.0	12.8	21.0	6.7
	うつ病	52	1.9	1.9	-	19.2	21.2	13.5	17.3	15.4	9.6
	双極性感情障害	27	-	7.4	3.7	7.4	37.0	7.4	18.5	11.1	7.4
	神経症	16	-	6.3	6.3	12.5	18.8	12.5	25.0	-	18.8
	行動症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	パーソナリティ障害	3	-	-	-	-	66.7	33.3	-	-	-
	病的賭博	3	-	33.3	33.3	-	-	33.3	-	-	-
	性同一性障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	知的障害	11	-	-	18.2	18.2	-	-	36.4	18.2	9.1
	発達障害	6	-	-	-	16.7	50.0	-	-	-	33.3
	小児期等の精神障害	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	てんかん	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	その他	8	-	-	-	12.5	12.5	12.5	12.5	50.0	-
	診断保留	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	8	-	-	-	12.5	-	12.5	37.5	12.5	25.0	

(6) 通院の状況

【図表8-35 通院の状況】

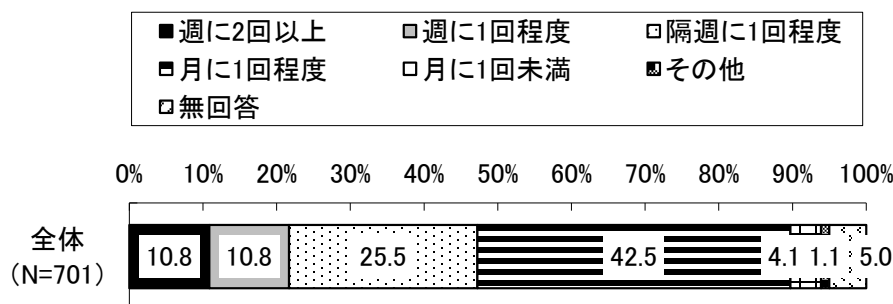


【図表8-36 年齢別、主な診断名別 通院の状況】 (%)

	調査数 (人)	通院の状況				
		示ほ どほ お主 り治 に医 通の 院指	不 定 期	初 診	無 回 答	
全体	701	90.3	4.3	-	5.4	
年齢	29歳以下	81	90.1	6.2	-	3.7
	30歳代	109	91.7	6.4	-	1.8
	40歳代	185	89.7	2.7	-	7.6
	50歳代	148	91.9	3.4	-	4.7
	60～64歳	45	88.9	6.7	-	4.4
	65～74歳	89	94.4	3.4	-	2.2
	75歳以上	35	82.9	2.9	-	14.3
	無回答	9	55.6	11.1	-	33.3
全体	701	90.3	4.3	-	5.4	
主な 診断 名	アルツハイマー型認知症	17	88.2	5.9	-	5.9
	血管性認知症	1	100.0	-	-	-
	器質性精神障害	10	100.0	-	-	-
	アルコール依存症	41	95.1	4.9	-	-
	覚せい剤依存症	5	100.0	-	-	-
	他の薬物依存症	4	100.0	-	-	-
	統合失調症	232	92.7	3.9	-	3.4
	うつ病	144	89.6	5.6	-	4.9
	双極性感情障害	55	92.7	5.5	-	1.8
	神経症	77	93.5	1.3	-	5.2
	行動症候群	2	50.0	-	-	50.0
	パーソナリティ障害	6	83.3	-	-	16.7
	病的賭博	6	100.0	-	-	-
	性同一性障害	-	-	-	-	-
	知的障害	20	100.0	-	-	-
	発達障害	29	86.2	6.9	-	6.9
	小児期等の精神障害	8	100.0	-	-	-
	てんかん	3	66.7	-	-	33.3
その他	15	86.7	13.3	-	-	
診断保留	3	33.3	66.7	-	-	
無回答	23	47.8	-	-	52.2	

(7) 通院の頻度

【図表8-37 通院の頻度】



【図表8-38 年齢別、主な診断名別 通院の頻度】 (%)

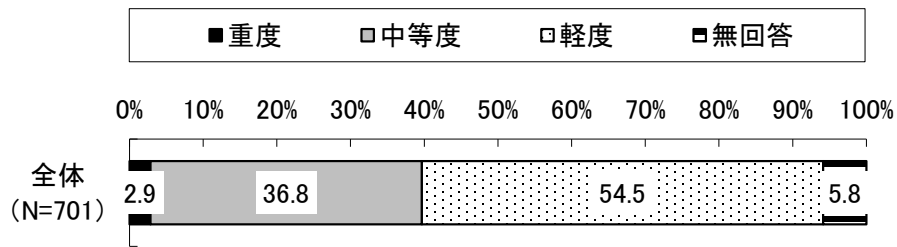
	調査数 (人)	通院の頻度							
		週に2回以上	週に1回程度	隔週に1回程度	月に1回程度	月に1回未満	その他	無回答	
全体	701	10.8	10.8	25.5	42.5	4.1	1.1	5.0	
年齢	29歳以下	81	8.6	17.3	27.2	39.5	4.9	-	2.5
	30歳代	109	10.1	6.4	28.4	46.8	5.5	-	2.8
	40歳代	185	10.3	10.8	30.3	36.2	4.3	0.5	7.6
	50歳代	148	8.8	10.1	30.4	39.9	3.4	3.4	4.1
	60～64歳	45	11.1	8.9	20.0	48.9	8.9	-	2.2
	65～74歳	89	18.0	12.4	13.5	52.8	-	1.1	2.2
	75歳以上	35	11.4	11.4	8.6	51.4	5.7	-	11.4
	無回答	9	11.1	11.1	11.1	22.2	-	11.1	33.3
全体	701	10.8	10.8	25.5	42.5	4.1	1.1	5.0	
主な診断名	アルツハイマー型認知症	17	11.8	5.9	-	76.5	-	-	5.9
	血管性認知症	1	-	-	-	100.0	-	-	-
	器質性精神障害	10	20.0	20.0	20.0	40.0	-	-	-
	アルコール依存症	41	24.4	19.5	19.5	29.3	7.3	-	-
	覚せい剤依存症	5	-	-	60.0	20.0	20.0	-	-
	他の薬物依存症	4	-	-	50.0	50.0	-	-	-
	統合失調症	232	15.1	10.3	28.9	39.2	1.7	0.9	3.9
	うつ病	144	8.3	13.2	23.6	43.8	5.6	1.4	4.2
	双極性感情障害	55	9.1	12.7	36.4	38.2	3.6	-	-
	神経症	77	3.9	5.2	24.7	54.5	5.2	3.9	2.6
	行動症候群	2	-	-	-	50.0	-	-	50.0
	パーソナリティ障害	6	-	-	16.7	66.7	-	-	16.7
	病的賭博	6	-	-	50.0	33.3	16.7	-	-
	性同一性障害	-	-	-	-	-	-	-	-
	知的障害	20	5.0	15.0	25.0	40.0	10.0	-	5.0
	発達障害	29	3.4	10.3	17.2	55.2	6.9	-	6.9
	小児期等の精神障害	8	-	25.0	50.0	25.0	-	-	-
	てんかん	3	-	33.3	33.3	-	-	-	33.3
その他	15	13.3	6.7	26.7	53.3	-	-	-	
診断保留	3	-	-	-	33.3	66.7	-	-	
無回答	23	13.0	4.3	4.3	26.1	-	4.3	47.8	

3. 患者の病状等

- ・現在の病状の程度は、「軽度」（54.5%）が5割強を占めており、次いで「中等度」（36.8%）、「重度」（2.9%）も割合となっている。年齢別にみると、大きな差はみられないが60歳以上の高齢層では「軽度」の割合が6割と比較的高い。主な診断名別にみると、アルコール依存症、神経症では「軽度」の割合が7割と高く、双極性感情障害、統合失調症では「中等度」が5割弱と他の診断に比べて高くなっている。【図表8-39、図表8-40】
- ・患者本人が抱えている問題は、「家族関係」が31.5%で最も高く、「就労面」（28.4%）、「経済面」（24.3%）が2割台で続いている。年齢別にみると、年齢が若い層ほど「就労面」の割合が高くなる傾向がみられ、29歳以下では51.9%に達している。29歳以下は他にも「コミュニケーション能力」（38.3%）、「規則正しい生活」（29.6%）、「社会的活動への参加」（27.2%）の割合が30歳以上よりも高くなっている。また60～64歳では「家族関係」（46.7%）、75歳以上では「家事全般」（25.7%）がそれぞれ他の年代に比べて高い。主な診断名別にみると、双極性感情障害では「経済面」（38.2%）が高く、発達障害では「コミュニケーション能力」（69.0%）、「就労面」（51.7%）、「社会的活動への参加」（34.5%）、「規則正しい生活」（31.0%）、「適切な食事摂取」（27.6%）など多くの項目が他の診断に比べて高くなっている。【図表8-41、図表8-42】

(1) 現在の病状の程度

【図表8-39 現在の病状の程度】

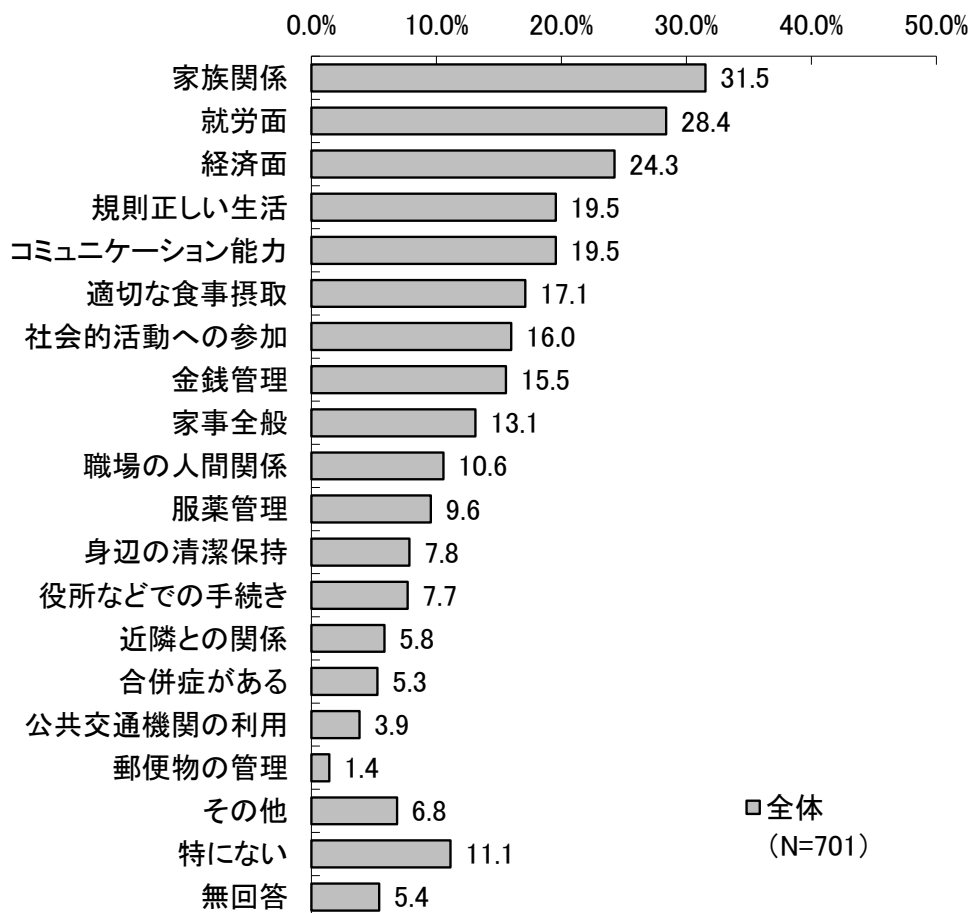


【図表8-40 年齢別、主な診断名別 現在の病状の程度】 (%)

	調査数 (人)	現在の病状の程度				
		重度	中等度	軽度	無回答	
全体	701	2.9	36.8	54.5	5.8	
年齢	29歳以下	81	1.2	39.5	54.3	4.9
	30歳代	109	5.5	33.0	58.7	2.8
	40歳代	185	2.2	40.0	50.3	7.6
	50歳代	148	1.4	44.6	50.0	4.1
	60～64歳	45	-	33.3	62.2	4.4
	65～74歳	89	4.5	30.3	61.8	3.4
	75歳以上	35	5.7	17.1	62.9	14.3
	無回答	9	11.1	22.2	22.2	44.4
全体	701	2.9	36.8	54.5	5.8	
主な診断名	アルツハイマー型認知症	17	23.5	17.6	47.1	11.8
	血管性認知症	1	-	100.0	-	-
	器質性精神障害	10	-	70.0	30.0	-
	アルコール依存症	41	2.4	24.4	73.2	-
	覚せい剤依存症	5	-	60.0	40.0	-
	他の薬物依存症	4	-	50.0	50.0	-
	統合失調症	232	4.3	47.0	44.0	4.7
	うつ病	144	2.1	29.2	63.9	4.9
	双極性感情障害	55	-	49.1	49.1	1.8
	神経症	77	-	23.4	72.7	3.9
	行動症候群	2	-	-	50.0	50.0
	パーソナリティ障害	6	-	33.3	50.0	16.7
	病的賭博	6	16.7	50.0	33.3	-
	性同一性障害	-	-	-	-	-
	知的障害	20	-	45.0	55.0	-
	発達障害	29	-	37.9	58.6	3.4
	小児期等の精神障害	8	-	12.5	87.5	-
	てんかん	3	-	-	66.7	33.3
その他	15	-	33.3	66.7	-	
診断保留	3	-	-	100.0	-	
無回答	23	4.3	21.7	17.4	56.5	

(2) 患者本人が抱えている問題

【図表8-41 患者本人が抱えている問題】（複数回答）



【図表8-42 年齢別、主な診断名別 患者本人が抱えている問題】（%）

	調査数（人）	患者本人が抱えている問題										
		家族関係	就労面	経済面	規則正しい生活	コミュニケーション能力	適切な食事摂取	参加社会的活動への	金銭管理	家事全般	職場の人間関係	
全体	701	31.5	28.4	24.3	19.5	19.5	17.1	16.0	15.5	13.1	10.6	
年齢	29歳以下	81	28.4	51.9	30.9	29.6	38.3	23.5	27.2	16.0	13.6	14.8
	30歳代	109	34.9	40.4	27.5	16.5	27.5	16.5	19.3	20.2	13.8	11.9
	40歳代	185	24.9	34.1	24.3	21.1	18.4	14.6	15.7	14.6	12.4	14.6
	50歳代	148	35.1	28.4	28.4	14.9	13.5	16.2	13.5	17.6	10.8	12.8
	60～64歳	45	46.7	6.7	22.2	20.0	13.3	22.2	8.9	6.7	15.6	4.4
	65～74歳	89	33.7	2.2	16.9	22.5	11.2	18.0	7.9	13.5	11.2	-
	75歳以上	35	22.9	-	8.6	11.4	8.6	14.3	20.0	14.3	25.7	-
	無回答	9	33.3	33.3	-	11.1	33.3	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1
全体	701	31.5	28.4	24.3	19.5	19.5	17.1	16.0	15.5	13.1	10.6	
主な診断名	アルツハイマー型認知症	17	35.3	-	5.9	17.6	11.8	11.8	29.4	29.4	23.5	-
	血管性認知症	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	器質性精神障害	10	40.0	30.0	20.0	20.0	30.0	30.0	-	30.0	30.0	10.0
	アルコール依存症	41	14.6	24.4	19.5	12.2	7.3	14.6	4.9	12.2	7.3	-
	覚せい剤依存症	5	60.0	-	20.0	-	-	-	-	20.0	20.0	-
	他の薬物依存症	4	25.0	25.0	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-
	統合失調症	232	33.2	29.3	21.1	24.6	23.3	23.3	22.0	22.0	14.7	8.6
	うつ病	144	30.6	32.6	26.4	14.6	8.3	10.4	9.0	6.9	10.4	16.0
	双極性感情障害	55	40.0	27.3	38.2	25.5	12.7	16.4	20.0	12.7	21.8	16.4
	神経症	77	29.9	26.0	27.3	7.8	13.0	6.5	10.4	5.2	3.9	14.3
	行動症候群	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	パーソナリティ障害	6	16.7	-	16.7	50.0	50.0	16.7	50.0	-	16.7	-
	病的賭博	6	33.3	16.7	33.3	16.7	50.0	16.7	33.3	83.3	-	-
	性同一性障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	知的障害	20	30.0	40.0	35.0	40.0	40.0	30.0	20.0	40.0	35.0	15.0
	発達障害	29	34.5	51.7	24.1	31.0	69.0	27.6	34.5	10.3	17.2	13.8
	小児期等の精神障害	8	25.0	62.5	25.0	12.5	12.5	12.5	-	12.5	-	-
	てんかん	3	33.3	-	-	-	33.3	-	33.3	-	33.3	-
その他	15	46.7	6.7	13.3	20.0	20.0	26.7	6.7	20.0	13.3	-	
診断保留	3	33.3	66.7	66.7	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	23	21.7	13.0	26.1	13.0	26.1	17.4	4.3	13.0	4.3	13.0	

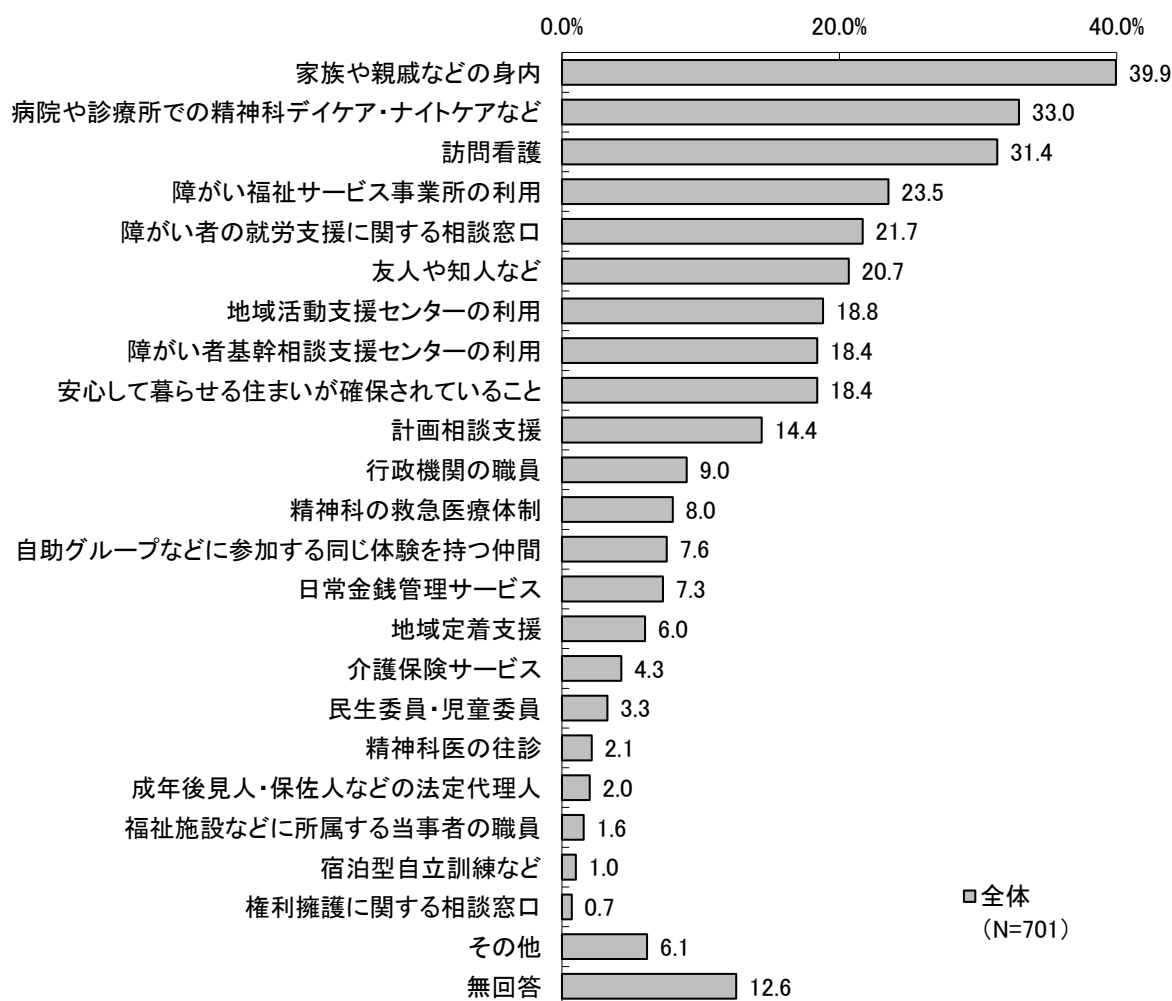
	調査数（人）	患者本人が抱えている問題										
		服薬管理	身の周りの清潔保持	続きの服薬などでの手	近隣との関係	合併症がある	公共交通機関の利用	郵便物の管理	その他	特にな	無回答	
全体	701	9.6	7.8	7.7	5.8	5.3	3.9	1.4	6.8	11.1	5.4	
年齢	29歳以下	81	6.2	7.4	11.1	1.2	2.5	1.2	3.7	14.8	4.9	4.9
	30歳代	109	5.5	4.6	5.5	5.5	0.9	4.6	-	1.8	8.3	1.8
	40歳代	185	8.6	6.5	4.3	4.3	4.3	2.7	1.1	9.2	9.2	7.0
	50歳代	148	10.1	9.5	6.8	8.1	6.8	4.1	0.7	3.4	9.5	3.4
	60～64歳	45	17.8	6.7	6.7	8.9	11.1	4.4	-	6.7	6.7	2.2
	65～74歳	89	11.2	7.9	12.4	7.9	10.1	5.6	4.5	6.7	23.6	5.6
	75歳以上	35	20.0	14.3	14.3	8.6	-	5.7	-	5.7	28.6	14.3
	無回答	9	-	33.3	22.2	-	22.2	11.1	-	11.1	-	33.3
全体	701	9.6	7.8	7.7	5.8	5.3	3.9	1.4	6.8	11.1	5.4	
主な診断名	アルツハイマー型認知症	17	35.3	23.5	23.5	5.9	-	11.8	-	5.9	23.5	5.9
	血管性認知症	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	器質性精神障害	10	10.0	10.0	20.0	-	-	10.0	-	-	30.0	-
	アルコール依存症	41	4.9	4.9	2.4	2.4	4.9	-	-	2.4	31.7	-
	覚せい剤依存症	5	40.0	20.0	-	40.0	40.0	-	-	20.0	-	-
	他の薬物依存症	4	-	25.0	25.0	-	25.0	-	-	25.0	-	25.0
	統合失調症	232	17.2	9.5	11.2	6.0	4.3	5.2	2.6	8.6	7.8	5.2
	うつ病	144	-	2.8	1.4	2.8	4.2	0.7	-	4.2	10.4	4.2
	双極性感情障害	55	7.3	7.3	3.6	14.5	12.7	1.8	-	3.6	7.3	1.8
	神経症	77	2.6	2.6	5.2	2.6	7.8	5.2	1.3	10.4	14.3	2.6
	行動症候群	2	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0
	パーソナリティ障害	6	-	-	16.7	16.7	-	16.7	-	-	16.7	16.7
	病的賭博	6	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-
	性同一性障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	知的障害	20	25.0	25.0	30.0	10.0	15.0	10.0	10.0	-	-	-
	発達障害	29	6.9	17.2	10.3	3.4	-	3.4	3.4	6.9	-	6.9
	小児期等の精神障害	8	-	-	-	-	-	-	-	25.0	12.5	-
	てんかん	3	33.3	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3
その他	15	-	13.3	13.3	-	-	6.7	-	20.0	33.3	-	
診断保留	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	23	4.3	8.7	-	17.4	-	-	-	4.3	4.3	43.5	

4. 日常生活や今後の暮らし方等について

・地域で生活するために必要な支援は、「家族や親族などの身内」が39.9%で最も高く、「病院や診療所での精神科デイケア・ナイトケアなど」(33.0%)、「訪問看護」(31.4%)が3割台で続いている。年齢別にみると、年代が若い層ほど「障がい福祉サービス事業所の利用」と「障がい者の就労支援に関する相談窓口」が高くなる傾向がみられる。また60～64歳では「訪問看護」(46.7%)、「計画相談支援」(24.4%)、65～74歳では「訪問看護」(46.1%)、「病院や診療所での精神科デイケア・ナイトケアなど」(43.8%)、75歳以上では「家族や親族などの身内」(51.4%)、「介護サービス」(37.1%)、「精神科医の往診」(14.3%)がそれぞれ他の年代に比べて高くなっている。主な診断名(集約)別にみると、認知症では「家族や親族などの身内」(53.6%)、「介護保険サービス」(32.1%)、物質依存症では、「病院や診療所での精神科デイケア・ナイトケアなど」(62.0%)、「自助グループなどに参加する同じ体験を持つ仲間」(54.0%)、「行政機関の職員」(30.0%)、「精神科の救急医療体制」(28.0%)、統合失調症では「訪問看護」(47.8%)がそれぞれ他の診断に比べて高くなっている。【図表8—43、図表8—44】

(1) 地域で生活するために必要な支援

【図表8—43 地域で生活するために必要な支援】（複数回答）



【図表8-44 年齢別、主な診断名（集約）別 地域で生活するために必要な支援】（%）

	調査数（人）	地域で生活するために必要な支援												
		家族や親戚などの身内	イケアや診療所での精神科デ	訪問看護	の障がい福祉サービス事業所	る障がいの就労支援に関する相談窓口	友人や知人など	地域活動支援センターの利用	障がいの利用者基幹相談支援センターの利用	確保されていること	安心して暮らせる住まいが	計画相談支援	行政機関の職員	精神科の救急医療体制
全体	701	39.9	33.0	31.4	23.5	21.7	20.7	18.8	18.4	18.4	14.4	9.0	8.0	
年齢	29歳以下	81	48.1	23.5	22.2	37.0	43.2	23.5	22.2	21.0	22.2	11.1	8.6	9.9
	30歳代	109	45.9	26.6	27.5	33.0	32.1	26.6	17.4	15.6	18.3	14.7	7.3	4.6
	40歳代	185	30.3	32.4	27.6	28.6	25.9	21.6	18.9	21.1	18.4	10.3	6.5	8.6
	50歳代	148	37.2	30.4	29.1	22.3	16.9	18.9	18.9	17.6	17.6	17.6	10.1	4.1
	60～64歳	45	51.1	42.2	46.7	13.3	6.7	15.6	17.8	26.7	15.6	24.4	13.3	8.9
	65～74歳	89	38.2	43.8	46.1	5.6	3.4	15.7	15.7	12.4	19.1	16.9	11.2	13.5
	75歳以上	35	51.4	42.9	34.3	-	-	14.3	17.1	11.4	14.3	2.9	8.6	8.6
	無回答	9	55.6	55.6	44.4	22.2	33.3	33.3	44.4	33.3	22.2	44.4	22.2	22.2
全体	701	39.9	33.0	31.4	23.5	21.7	20.7	18.8	18.4	18.4	14.4	9.0	8.0	
主な診断名（集約）	認知症	28	53.6	32.1	28.6	14.3	10.7	14.3	17.9	7.1	14.3	14.3	7.1	3.6
	物質依存症	50	36.0	62.0	38.0	16.0	16.0	22.0	12.0	18.0	18.0	8.0	30.0	28.0
	統合失調症	232	47.0	42.7	47.8	31.0	22.4	25.9	27.2	21.1	24.1	21.6	7.3	12.5
	気分障害	199	32.2	22.6	15.6	17.6	23.1	19.1	12.1	15.1	9.0	10.1	7.0	4.5
	その他	166	42.2	23.5	27.1	25.3	24.7	16.9	18.1	21.7	22.3	13.3	9.0	1.8
	診断保留	3	66.7	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	23	8.7	21.7	26.1	17.4	8.7	17.4	17.4	13.0	21.7	4.3	-	-

	調査数（人）	地域で生活するために必要な支援											無回答	
		自助グループなどに参加する仲間	日常金銭管理サービス	地域定着支援	介護保険サービス	民生委員・児童委員	精神科医の往診	法定代理人・保佐人などの職員の職員	福祉施設などに所属する当	宿泊型自立訓練など	権利擁護に関する相談窓口	その他		
全体	701	7.6	7.3	6.0	4.3	3.3	2.1	2.0	1.6	1.0	0.7	6.1	12.6	
年齢	29歳以下	81	11.1	9.9	1.2	1.2	2.5	-	1.2	4.9	4.9	2.5	4.9	6.2
	30歳代	109	13.8	5.5	5.5	-	1.8	-	1.8	2.8	-	-	4.6	9.2
	40歳代	185	3.8	6.5	5.9	-	1.1	1.1	2.2	1.1	-	-	8.1	12.4
	50歳代	148	5.4	6.8	5.4	-	4.1	1.4	1.4	-	-	0.7	8.1	13.5
	60～64歳	45	8.9	2.2	8.9	6.7	6.7	4.4	-	-	-	2.2	8.9	6.7
	65～74歳	89	6.7	11.2	7.9	13.5	5.6	2.2	5.6	1.1	2.2	1.1	3.4	18.0
	75歳以上	35	8.6	8.6	11.4	37.1	8.6	14.3	-	-	2.9	-	-	22.9
	無回答	9	11.1	11.1	11.1	11.1	-	22.2	-	11.1	-	-	-	33.3
全体	701	7.6	7.3	6.0	4.3	3.3	2.1	2.0	1.6	1.0	0.7	6.1	12.6	
主な診断名（集約）	認知症	28	-	10.7	3.6	32.1	7.1	10.7	-	-	3.6	-	-	28.6
	物質依存症	50	54.0	2.0	4.0	2.0	-	6.0	-	2.0	-	-	4.0	4.0
	統合失調症	232	1.7	10.8	10.3	3.4	4.7	1.7	4.3	1.3	0.4	0.9	2.2	7.8
	気分障害	199	4.0	3.0	4.0	3.0	2.5	2.5	1.0	1.0	0.5	0.5	12.1	13.1
	その他	166	8.4	8.4	3.6	3.6	3.0	-	1.2	3.0	2.4	1.2	7.2	13.9
	診断保留	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	23	-	8.7	4.3	-	-	-	-	-	-	-	-	47.8

5～12は、通院患者本人による回答結果である（本人票）。

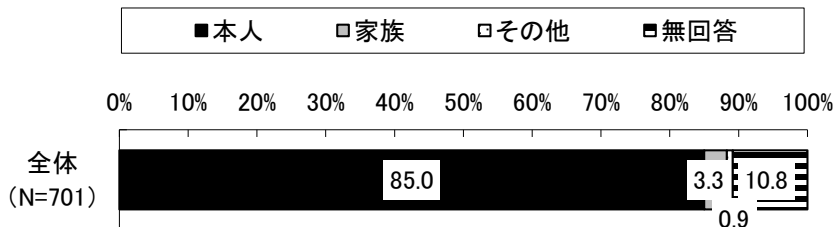
5. 通院患者の状況

- 精神保健福祉手帳の有無は、「持っている」（52.5%）が過半数を占める。年齢別にみると40～50歳代では、手帳を持っている人の割合が6割前後と比較的高い。主な診断名別にみると、統合失調症、双極性感情障害では手帳を持っている人の割合が7割前後と高くなっている。【図表8-46、図表8-48】
- 精神保健福祉手帳を持っていない理由は、「対象ではなかった」（31.0%）が最も多く、次いで「制度を知らなかった」（30.2%）が僅差で続いている。年齢別にみると75歳以上では「制度を知らなかった」（53.8%）、60～64歳では「対象ではなかった」（47.1%）が高くなっている。また29歳以下では「取得するのは気が進まないので申請しなかった」が23.3%と他の年代に比べて高くなっている。【図表8-47、図表8-48】
- 外出の頻度は、「週4回以上」（54.6%）が過半数を占める。主な診断名別にみると、物質依存症では「週4回以上」が68.0%と高くなっている。一方、認知症は「月に1～2回」が17.9%と他の診断に比べて高く外出頻度は少ない。【図表8-51、図表8-52】
- 主な外出先は、「買い物」が72.5%で最も高く、「病院・医院など」が58.9%で続いている。年齢別にみると、29歳以下では「病院・医院など」（70.3%）、「親戚や友人」（23.4%）、60～64歳では「買い物」（85.0%）の割合がそれぞれ他の年代に比べて高くなっている。主な診断別にみると、物質依存症では「散歩・散策」「通所施設など」（ともに42.9%）の割合が4割強と他の診断に比べて高い。【図表8-53、図表8-54】
- 外出時の移動手段は、「徒歩」が64.0%で最も高く、「バス」が39.0%で続いている。年齢別にみると、29歳以下では「地下鉄」（48.4%）、「JR・西鉄電車」（46.9%）、75歳以上の高齢者では「送迎車（施設など）」（42.3%）が他の年代に比べて高くなっている。【図表8-55、図表8-56】
- 外出時に不便や困難を感じることは、「歩行者や走行自転車のマナーの悪さ」が26.0%で最も高く、「歩道がない道路に危険を感じる」が21.4%で続いている。年齢別にみると、60～64歳では「歩行者や走行自転車のマナーの悪さ」（40.0%）、「歩道がない道路に危険を感じる」（33.3%）、「歩道に段差が多い」（28.9%）の割合が他の年代に比べて高い。【図表8-57、図表8-58】
- 就労状況は、「働いている」（27.4%）、「以前は働いていたが辞めた」（49.8%）、「働いたことはない」（6.6%）の割合となっている。年齢別にみると、65歳以上では「以前働いていたが辞めた」の割合が6割と高くなっている。主な診断別にみると、認知症では「以前働いていたが辞めた」の割合が64.3%と他の診断に比べて高い。【図表8-59、図表8-61】
- 就労形態は、「臨時・日雇、アルバイト、パート」が39.1%で最も高く、「正規の社員・従業員」が24.5%で続いている。性別にみると、男性は女性に比べ「正規の社員・従業員」（34.4%）の割合が高い。年齢別にみると、30歳代以下では「臨時・日雇、アルバイト、パート」が5割強と過半数を占め40歳代以上よりも高くなっている。【図表8-60、図表8-61】
- 以前働いていた人の仕事を辞めた原因は、「障がいや病気で身体的に働くことが困難になったため」が64.5%を占めている。年齢別にみると、29歳以下では「仕事内容が自分には向いていなかったため」（44.4%）、30歳代では「障がいや病気で身体的に働くことが困難になったため」（83.3%）、「職場の人間関係が上手くいかなかったため」（50.0%）がそれぞれ他の年代に比べて高くなっている。【図表8-66、図表8-67】
- 今後の就労意向は、「働きたい（働き続けたい）」（60.1%）、「働きたくない」（25.2%）の割合となっている。性別にみると、どちらかといえば男性の方が女性よりも「働きたい（働き続けたい）」（65.1%）の割合が高い。年齢別にみると、50歳代までは「働きたい（働き続けたい）」が6～7割台と高く、60歳以上になると「働きたくない」が5割を超えている。主な診断名（集約）別にみると、認知症では「働きたくない」（60.7%）が6割を占めている。一方、気分障害では「働きたい（働き続けたい）」（70.4%）の割合が7割に達している。【図表8-68、図表8-69】

- 精神障がい者の就労に対する社会の理解度は、『理解があると思わない』人（「あまりあると思わない」＋「あると思わない」）が4割強（41.8%）である。年齢別にみると、30歳代のみ『理解があると思わない』人の割合が過半数（53.2%）を占めている。主な診断名（集約）別にみると、気分障害では『理解があると思わない』人の割合が過半数（50.3%）を占める。就労状況（集約）別にみると、今までに働いたことがない人は『理解があると思わない』（56.5%）の割合が高い。【図表8-70、図表8-71】
- 精神障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由は、「障がいへの理解が進んでいないため」が69.3%で最も高く、次いで「障がいのある人の働く場（雇用機会）が少ないため」（53.6%）となっている。年齢別にみると、30歳代では「障がいへの理解が進んでいないため」（79.3%）、40歳代では「障がいのある人の働く場（雇用機会）が少ないため」（68.0%）、「障がいのある人が働くための情報提供が進んでいないため」（42.7%）、50歳代では「障がい者雇用に関する制度が不十分なため」（47.0%）がそれぞれ他の年代に比べて高くなっている。【図表8-72、図表8-73】
- 精神障がい者の就労支援として必要なことは、「調子の悪いときに休みを取りやすくする」が54.8%で最も高く、次いで「短時間勤務などの労働（作業）時間の配慮」（44.7%）、「工賃（収入）の増加」（35.4%）、「在宅勤務」（31.0%）の順となっている。年齢別にみると、30歳代では「調子の悪いときに休みを取りやすくする」（66.1%）が他の年代に比べて高くなっている。主な診断名（集約）別にみると、気分障害では「調子の悪いときに休みを取りやすくする」（64.3%）、「短時間勤務などの労働（作業）時間の配慮」（52.3%）、「在宅勤務」（39.2%）が他の診断に比べてやや高くなっている。【図表8-74、図表8-75】

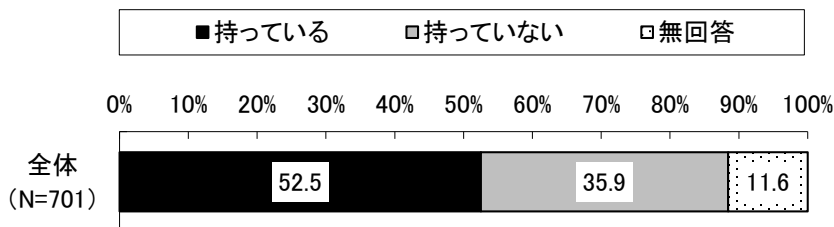
(1) 調査票（本人票）の記入者

【図表8-45 調査票（本人票）の記入者】

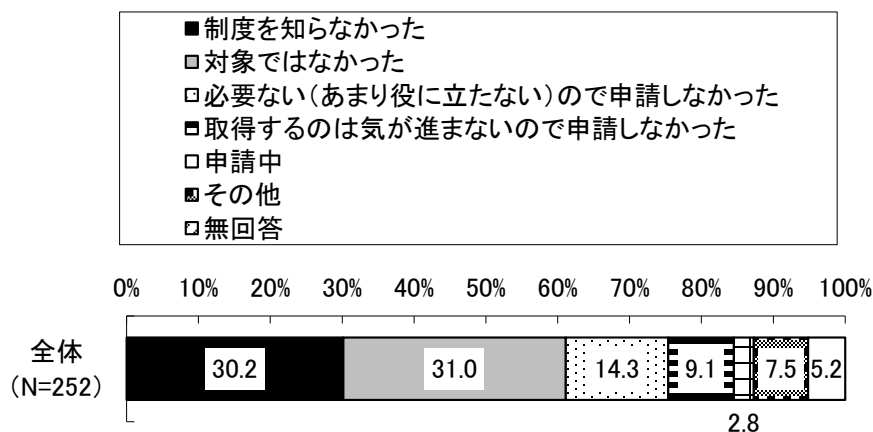


(2) 精神保健福祉手帳の有無・持っていない理由

【図表8-46 精神保健福祉手帳の有無】



【図表8-47 精神保健福祉手帳を持っていない理由】



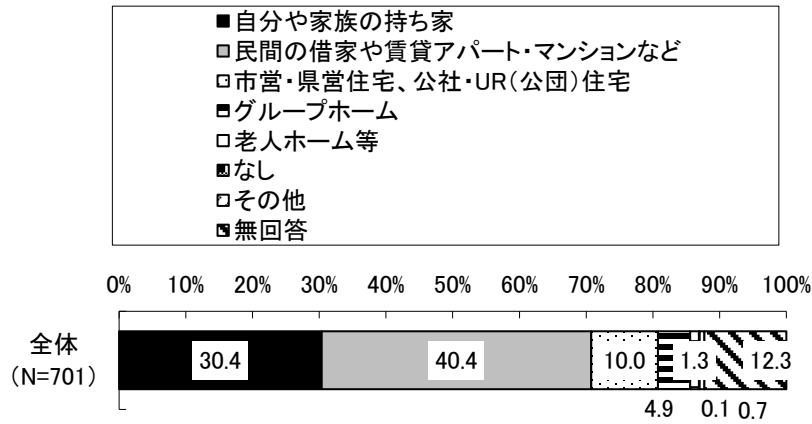
【図表8-48 年齢別、主な診断名別 精神保健福祉手帳の有無、精神保健福祉手帳を持っていない理由】(%)

	調査数(人)	精神保健福祉手帳の有無			調査数(人)	精神保健福祉手帳を持っていない理由							
		持っている	持っていない	無回答		制度を知らなかった	対象ではなかった	必要ない(あまり役に立たない)ので申請しなかった	取得するのは気が進まない(ので申請しなかった)	申請中	その他	無回答	
全体	701	52.5	35.9	11.6	252	30.2	31.0	14.3	9.1	2.8	7.5	5.2	
年齢	29歳以下	81	43.2	37.0	19.8	30	20.0	13.3	20.0	23.3	6.7	10.0	6.7
	30歳代	109	48.6	42.2	9.2	46	17.4	26.1	17.4	15.2	6.5	13.0	4.3
	40歳代	185	58.9	26.5	14.6	49	36.7	32.7	8.2	12.2	2.0	6.1	2.0
	50歳代	148	61.5	32.4	6.1	48	35.4	35.4	14.6	4.2	2.1	8.3	-
	60～64歳	45	53.3	37.8	8.9	17	23.5	47.1	23.5	-	-	5.9	-
	65～74歳	89	53.9	39.3	6.7	35	25.7	34.3	20.0	2.9	-	5.7	11.4
	75歳以上	35	2.9	74.3	22.9	26	53.8	30.8	-	-	-	-	15.4
無回答	9	77.8	11.1	11.1	1	-	100.0	-	-	-	-	-	
全体	701	52.5	35.9	11.6	252	30.2	31.0	14.3	9.1	2.8	7.5	5.2	
主な診断名	アルツハイマー型認知症	17	5.9	88.2	5.9	15	33.3	33.3	-	-	-	6.7	26.7
	血管性認知症	1	-	100.0	-	1	-	100.0	-	-	-	-	-
	器質性精神障害	10	40.0	50.0	10.0	5	60.0	-	40.0	-	-	-	-
	アルコール依存症	41	22.0	63.4	14.6	26	23.1	38.5	11.5	11.5	3.8	3.8	7.7
	覚せい剤依存症	5	60.0	20.0	20.0	1	-	100.0	-	-	-	-	-
	他の薬物依存症	4	75.0	-	25.0	0	-	-	-	-	-	-	-
	統合失調症	232	74.1	17.2	8.6	40	35.0	10.0	12.5	25.0	-	10.0	7.5
	うつ病	144	47.2	46.5	6.3	67	35.8	34.3	14.9	3.0	3.0	6.0	3.0
	双極性感情障害	55	69.1	20.0	10.9	11	36.4	27.3	9.1	9.1	-	18.2	-
	神経症	77	28.6	63.6	7.8	49	28.6	30.6	16.3	12.2	-	10.2	2.0
	行動症候群	2	-	50.0	50.0	1	-	100.0	-	-	-	-	-
	パーソナリティ障害	6	50.0	33.3	16.7	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-
	病的賭博	6	50.0	33.3	16.7	2	-	50.0	-	-	50.0	-	-
	性同一性障害	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
	知的障害	20	50.0	25.0	25.0	5	-	60.0	40.0	-	-	-	-
	発達障害	29	31.0	37.9	31.0	11	18.2	18.2	18.2	-	18.2	18.2	9.1
	小児期等の精神障害	8	37.5	50.0	12.5	4	25.0	25.0	-	25.0	25.0	-	-
	てんかん	3	33.3	33.3	33.3	1	-	-	100.0	-	-	-	-
	その他	15	60.0	20.0	20.0	3	-	66.7	33.3	-	-	-	-
診断保留	3	-	100.0	-	3	33.3	66.7	-	-	-	-	-	
無回答	23	43.5	21.7	34.8	5	40.0	60.0	-	-	-	-	-	

(3) 住まいの形態

問3 現在の住まいの形態は何ですか。【○は1つだけ】

【図表8-49 住まいの形態】



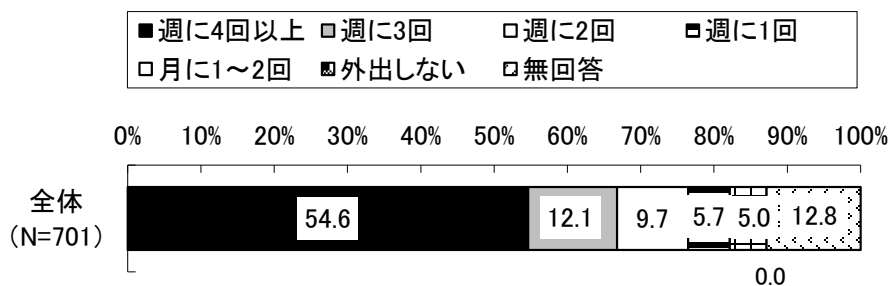
【図表8-50 年齢別、主な診断名（集約）別、退院からの経過期間別 住まいの形態】 (%)

	調査数（人）	住まいの形態							
		自分や家族の持ち家	民間の借家や賃貸アパート・マンションなど	公社・UR(公団)住宅	市営・県営住宅	グループホーム	老人ホーム等	なし	その他
全体	701	30.4	40.4	10.0	4.9	1.3	0.1	0.7	12.3
年齢	29歳以下	81	23.5	40.7	11.1	6.2	-	-	18.5
	30歳代	109	33.0	39.4	10.1	5.5	0.9	0.9	10.1
	40歳代	185	26.5	40.5	10.8	5.4	1.6	-	15.1
	50歳代	148	32.4	45.9	7.4	3.4	2.0	0.7	7.4
	60～64歳	45	33.3	42.2	11.1	4.4	-	-	8.9
	65～74歳	89	32.6	41.6	11.2	4.5	-	-	9.0
	75歳以上	35	42.9	17.1	5.7	2.9	2.9	-	22.9
	無回答	9	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1	-	11.1
全体	701	30.4	40.4	10.0	4.9	1.3	0.1	0.7	12.3
主な診断名（集約）	認知症	28	32.1	28.6	7.1	10.7	3.6	-	10.7
	物質依存症	50	24.0	32.0	8.0	10.0	6.0	2.0	18.0
	統合失調症	232	29.3	40.9	11.6	6.0	0.9	-	10.3
	気分障害	199	31.7	45.7	14.1	1.0	0.5	-	7.0
	その他	166	33.7	39.2	4.2	5.4	0.6	-	16.9
	診断保留	3	66.7	33.3	-	-	-	-	-
	無回答	23	13.0	30.4	8.7	4.3	4.3	-	34.8
全体	701	30.4	40.4	10.0	4.9	1.3	0.1	0.7	12.3
退院からの経過期間	1ヶ月未満	1	-	-	100.0	-	-	-	-
	1～3ヶ月未満	8	12.5	50.0	12.5	25.0	-	-	-
	3～6ヶ月未満	18	38.9	27.8	16.7	5.6	-	-	11.1
	6ヶ月～1年未満	41	24.4	41.5	14.6	17.1	-	-	2.4
	1～3年未満	98	30.6	38.8	10.2	7.1	3.1	1.0	8.2
	3～5年未満	61	24.6	47.5	3.3	6.6	3.3	-	9.8
	5～10年未満	61	29.5	32.8	16.4	6.6	3.3	-	11.5
	10年以上	63	33.3	41.3	15.9	3.2	1.6	-	4.8
無回答	33	27.3	45.5	9.1	3.0	3.0	-	9.1	

(4) 外出の頻度

問4 あなたは、どのくらいの頻度で通勤や通学、通所、買い物、通院、レジャーなどをしていきますか。付き添い者と一緒に外出する場合も含めてお答えください。【○は1つだけ】

【図表8-51 外出の頻度】



【図表8-52 年齢別、主な診断名（集約）別 外出の頻度】 (%)

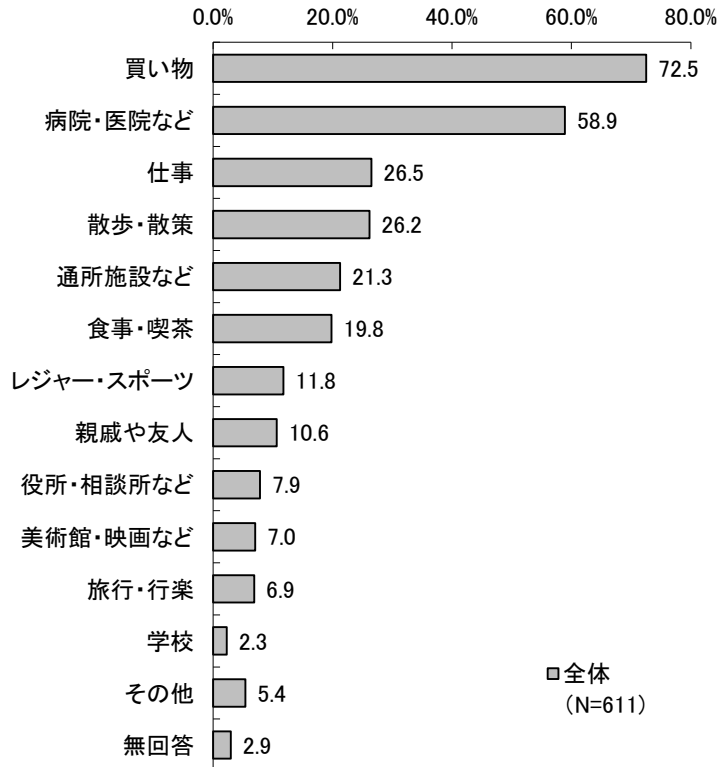
	調査数（人）	外出の頻度							
		週に4回以上	週に3回	週に2回	週に1回	月に1~2回	外出しない	無回答	
全体	701	54.6	12.1	9.7	5.7	5.0	-	12.8	
年齢	29歳以下	81	50.6	11.1	8.6	4.9	3.7	-	21.0
	30歳代	109	57.8	8.3	11.9	4.6	5.5	-	11.9
	40歳代	185	53.5	13.0	5.9	7.0	5.9	-	14.6
	50歳代	148	61.5	10.1	11.5	6.1	2.7	-	8.1
	60~64歳	45	55.6	20.0	8.9	4.4	-	-	11.1
	65~74歳	89	48.3	19.1	13.5	5.6	6.7	-	6.7
	75歳以上	35	40.0	5.7	11.4	2.9	14.3	-	25.7
	無回答	9	77.8	-	-	11.1	-	-	11.1
全体	701	54.6	12.1	9.7	5.7	5.0	-	12.8	
主な診断名（集約）	認知症	28	46.4	7.1	10.7	7.1	17.9	-	10.7
	物質依存症	50	68.0	4.0	4.0	2.0	6.0	-	16.0
	統合失調症	232	52.6	15.1	9.5	5.6	6.9	-	10.3
	気分障害	199	55.3	11.6	14.1	7.5	3.0	-	8.5
	その他	166	54.8	13.9	6.6	4.8	1.8	-	18.1
	診断保留	3	100.0	-	-	-	-	-	-
	無回答	23	43.5	-	8.7	4.3	8.7	-	34.8

(5) 主な外出

[問4で「1.」～「5.」を選ばれた方におたずねします]

問4-1 どのようなところに外出することが多いですか。【○はあてはまるものすべて】

【図表8-53 主な外出先】

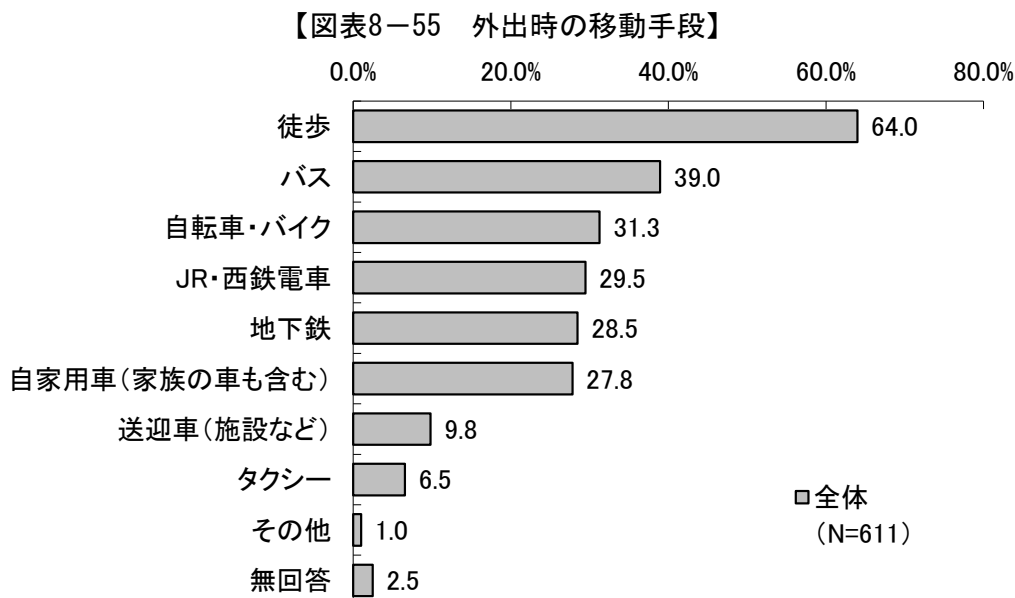


【図表8-54 主な外出先】

	調査数 (人)	主な外出先														
		買い物	病院・医院など	仕事	散歩・散策	通所施設など	食事・喫茶	レジャー・スポーツ	親戚や友人	役所・相談所など	美術館・映画など	旅行・行楽	学校	その他	無回答	
全体	611	72.5	58.9	26.5	26.2	21.3	19.8	11.8	10.6	7.9	7.0	6.9	2.3	5.4	2.9	
年齢	29歳以下	64	68.8	70.3	31.3	21.9	26.6	28.1	12.5	23.4	6.3	9.4	4.7	10.9	3.1	1.6
	30歳代	96	74.0	55.2	35.4	27.1	19.8	24.0	14.6	14.6	6.3	6.3	5.2	2.1	4.2	5.2
	40歳代	158	73.4	61.4	35.4	26.6	20.9	23.4	10.1	7.0	8.9	5.7	8.9	2.5	3.8	1.9
	50歳代	136	74.3	58.8	24.3	25.7	18.4	14.7	16.2	10.3	8.8	7.4	7.4	0.7	6.6	4.4
	60～64歳	40	85.0	60.0	20.0	25.0	20.0	22.5	5.0	12.5	12.5	10.0	5.0	-	7.5	-
	65～74歳	83	66.3	51.8	10.8	31.3	22.9	13.3	9.6	6.0	7.2	4.8	8.4	-	6.0	3.6
	75歳以上	26	65.4	50.0	-	15.4	26.9	3.8	3.8	-	-	3.8	3.8	-	15.4	-
	無回答	8	62.5	62.5	25.0	37.5	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	37.5	-	-	-	-
全体	611	72.5	58.9	26.5	26.2	21.3	19.8	11.8	10.6	7.9	7.0	6.9	2.3	5.4	2.9	
主な診断名 (集約)	認知症	25	68.0	52.0	8.0	20.0	32.0	-	-	4.0	8.0	-	-	4.0	8.0	-
	物質依存症	42	69.0	59.5	23.8	42.9	42.9	16.7	19.0	9.5	9.5	4.8	9.5	-	9.5	2.4
	統合失調症	208	76.9	63.5	19.7	26.4	25.5	23.1	10.1	11.1	6.7	6.7	7.7	1.4	3.4	3.4
	気分障害	182	68.1	56.6	32.4	22.5	13.2	19.2	9.3	7.7	6.6	5.5	4.4	1.6	7.7	1.1
	その他	136	72.1	57.4	33.1	26.5	17.6	19.9	15.4	14.7	11.0	10.3	8.8	5.1	3.7	5.9
	診断保留	3	66.7	-	66.7	33.3	-	33.3	66.7	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-
	無回答	15	86.7	60.0	20.0	26.7	20.0	20.0	20.0	13.3	6.7	13.3	6.7	-	6.7	-

(6) 外出時の移動手段

[問4で「1.」～「5.」を選ばれた方におたずねします]
 問4-2 どのような方法で、あるいはどのような移動手段を使って外出しますか。
 【〇はあてはまるものすべて】



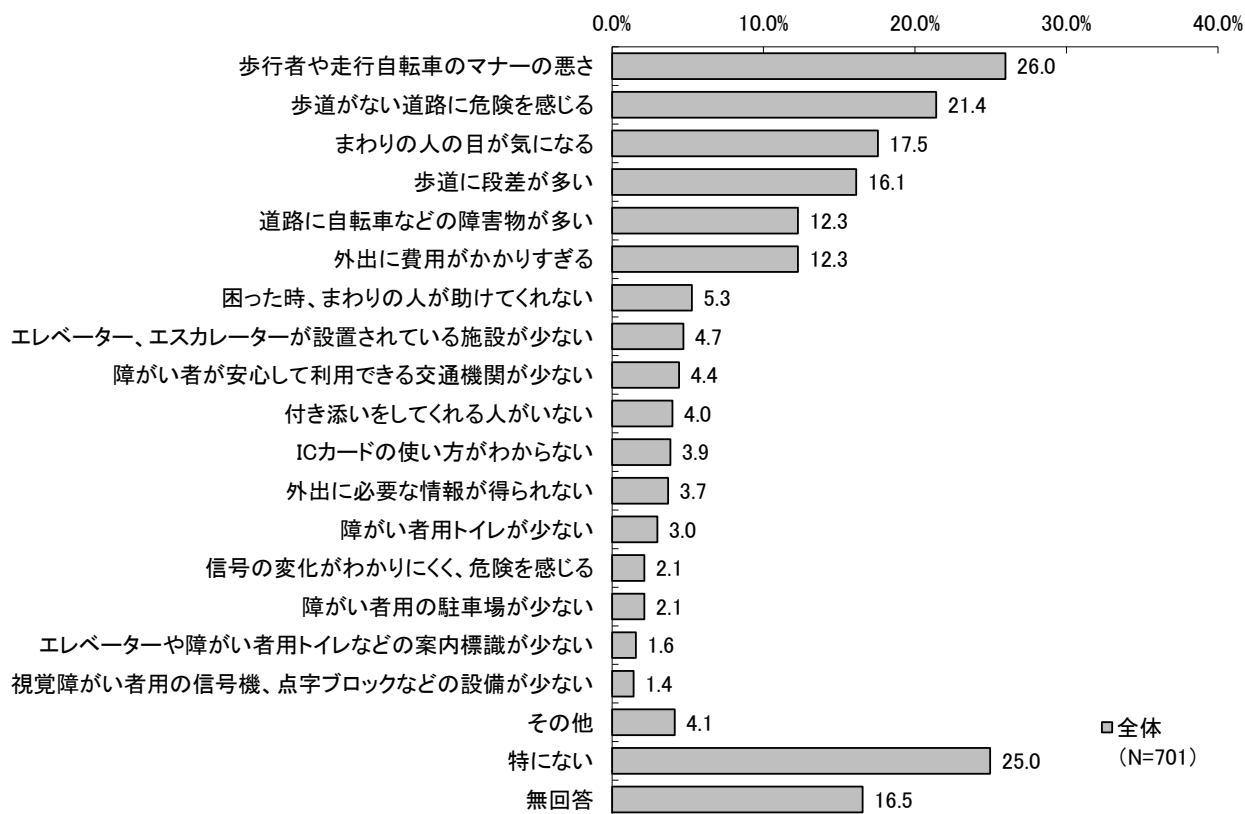
【図表8-56 年齢別、主な診断名（集約）別 外出時の移動手段】 (%)

	調査数 (人)	外出時の移動手段										
		徒歩	バス	自転車・バイク	JR・西鉄電車	地下鉄	自家用車(家族も含む)	送迎車(施設など)	タクシー	その他	無回答	
全体	611	64.0	39.0	31.3	29.5	28.5	27.8	9.8	6.5	1.0	2.5	
年齢	29歳以下	64	65.6	46.9	31.3	46.9	48.4	32.8	4.7	7.8	-	1.6
	30歳代	96	68.8	38.5	31.3	32.3	37.5	36.5	7.3	7.3	-	2.1
	40歳代	158	65.8	41.8	39.2	26.6	27.2	27.2	8.9	5.7	1.3	1.3
	50歳代	136	60.3	34.6	38.2	29.4	26.5	26.5	5.9	5.9	1.5	4.4
	60～64歳	40	67.5	42.5	17.5	30.0	20.0	17.5	17.5	5.0	-	2.5
	65～74歳	83	59.0	41.0	16.9	22.9	15.7	25.3	12.0	9.6	1.2	3.6
	75歳以上	26	61.5	19.2	15.4	23.1	7.7	15.4	42.3	3.8	3.8	-
	無回答	8	62.5	25.0	25.0	-	62.5	37.5	-	-	-	-
全体	611	64.0	39.0	31.3	29.5	28.5	27.8	9.8	6.5	1.0	2.5	
主な診断名 (集約)	認知症	25	64.0	12.0	8.0	24.0	16.0	24.0	44.0	-	4.0	-
	物質依存症	42	54.8	35.7	45.2	45.2	19.0	21.4	14.3	-	-	2.4
	統合失調症	208	66.3	40.9	34.1	27.9	26.0	24.0	13.0	7.7	0.5	2.9
	気分障害	182	60.4	34.6	28.6	24.7	33.0	33.5	5.5	6.0	0.5	2.2
	その他	136	68.4	49.3	30.9	33.8	31.6	29.4	4.4	9.6	2.2	2.2
	診断保留	3	-	-	-	33.3	-	66.7	-	-	-	33.3
	無回答	15	73.3	33.3	33.3	33.3	33.3	13.3	-	-	-	-

(7) 外出時に不便や困難を感じること

問5 あなたは、外出する時、どのようなことに不便や困難を感じますか。
【〇はあてはまるものすべて】

【図表8-57 外出時に不便や困難を感じること】



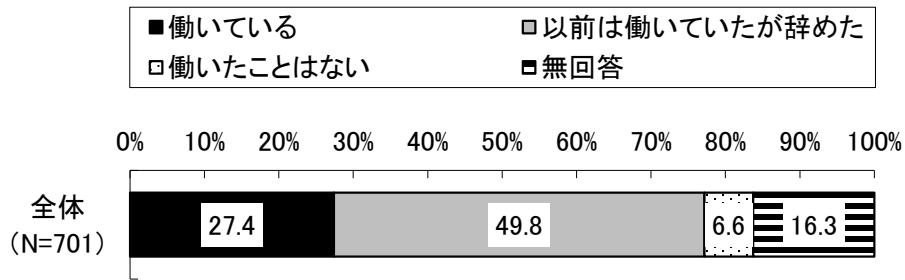
【図表8-58 年齢別、主な診断名（集約）別 外出時に不便や困難を感じること】（％）

	調査数（人）	外出時に不便や困難を感じること										
		歩行者や走行自転車のマナーの悪さ	歩道がない道路に危険を感じる	まわりの人の目が気になる	歩道に段差が多い	道路に自転車などの障害物が多い	外出に費用がかかりすぎ	困った時、まわりの人が助けてくれない	エレベーター、エスカレーターが設置されていない	障がい者が安心して利用できる交通機関が少ない	付き添いをしてくれる人がいない	
全体	701	26.0	21.4	17.5	16.1	12.3	12.3	5.3	4.7	4.4	4.0	
年齢	29歳以下	81	19.8	14.8	24.7	3.7	12.3	12.3	3.7	1.2	2.5	1.2
	30歳代	109	22.9	19.3	22.0	10.1	7.3	11.9	5.5	4.6	4.6	1.8
	40歳代	185	28.6	17.3	23.2	14.1	8.6	13.0	4.9	4.3	5.4	4.9
	50歳代	148	28.4	29.1	14.2	22.3	14.2	15.5	7.4	5.4	5.4	6.8
	60～64歳	45	40.0	33.3	11.1	28.9	17.8	11.1	8.9	8.9	4.4	-
	65～74歳	89	23.6	20.2	9.0	22.5	21.3	11.2	4.5	7.9	4.5	4.5
	75歳以上	35	20.0	22.9	2.9	20.0	8.6	2.9	-	-	-	5.7
	無回答	9	-	11.1	11.1	-	11.1	-	-	-	-	-
全体	701	26.0	21.4	17.5	16.1	12.3	12.3	5.3	4.7	4.4	4.0	
主な診断名（集約）	認知症	28	28.6	14.3	10.7	21.4	7.1	3.6	3.6	-	-	10.7
	物質依存症	50	26.0	18.0	12.0	22.0	10.0	10.0	2.0	8.0	4.0	2.0
	統合失調症	232	21.6	24.1	19.4	15.1	14.7	12.1	7.3	3.9	5.2	5.2
	気分障害	199	34.2	26.6	22.1	18.6	11.6	13.1	4.5	7.0	3.0	4.5
	その他	166	24.1	13.9	14.5	13.3	12.0	13.9	5.4	3.6	6.6	1.8
	診断保留	3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	23	8.7	21.7	4.3	8.7	8.7	13.0	-	-	-	-

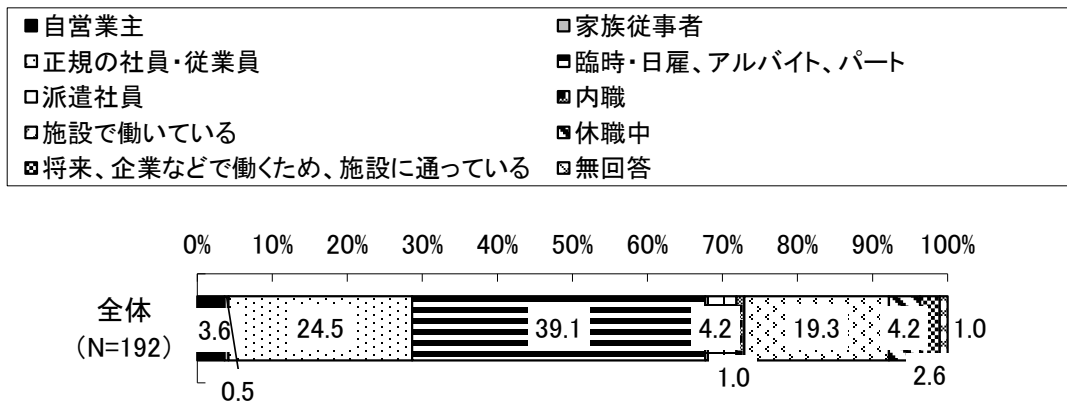
	調査数（人）	外出時に不便や困難を感じること										
		ICカードの使い方がわからない	外出に必要な情報が得られない	障がい者用トイレが少ない	信号、危険の変化がわかりにくい	障がい者用の駐車場が少ない	用トレバーなどの案内標識が少ない	設備、点字、ブロッカーなどの視覚障がい者用の信号	その他	特になし	無回答	
全体	701	3.9	3.7	3.0	2.1	2.1	1.6	1.4	4.1	25.0	16.5	
年齢	29歳以下	81	2.5	-	1.2	-	1.2	1.2	-	6.2	24.7	29.6
	30歳代	109	1.8	5.5	1.8	0.9	0.9	1.8	1.8	7.3	24.8	14.7
	40歳代	185	4.9	4.9	4.3	2.2	3.2	2.2	0.5	1.6	23.8	17.8
	50歳代	148	2.0	6.1	5.4	2.0	3.4	1.4	3.4	5.4	25.0	10.8
	60～64歳	45	6.7	4.4	2.2	6.7	-	2.2	2.2	-	17.8	13.3
	65～74歳	89	6.7	-	1.1	4.5	1.1	1.1	1.1	2.2	31.5	13.5
	75歳以上	35	5.7	-	-	-	2.9	-	-	2.9	20.0	22.9
	無回答	9	-	-	-	-	-	-	22.2	44.4	11.1	
全体	701	3.9	3.7	3.0	2.1	2.1	1.6	1.4	4.1	25.0	16.5	
主な診断名（集約）	認知症	28	10.7	-	-	3.6	-	-	3.6	25.0	10.7	
	物質依存症	50	4.0	2.0	4.0	-	-	2.0	2.0	22.0	22.0	
	統合失調症	232	3.0	6.5	3.9	4.3	3.0	2.2	1.3	4.7	22.4	14.2
	気分障害	199	4.5	2.5	3.5	1.5	2.0	2.0	4.0	22.6	11.1	
	その他	166	3.6	3.0	1.8	0.6	2.4	0.6	4.8	30.7	22.9	
	診断保留	3	-	-	-	-	-	-	-	66.7	-	
	無回答	23	-	-	-	-	-	-	4.3	4.3	30.4	39.1

(8) 就労状況、就労形態

【図表8-59 就労状況】



【図表8-60 就労形態】



【図表8-61 性別、年齢別、主な診断名（集約）別 就労状況・就労形態】（%）

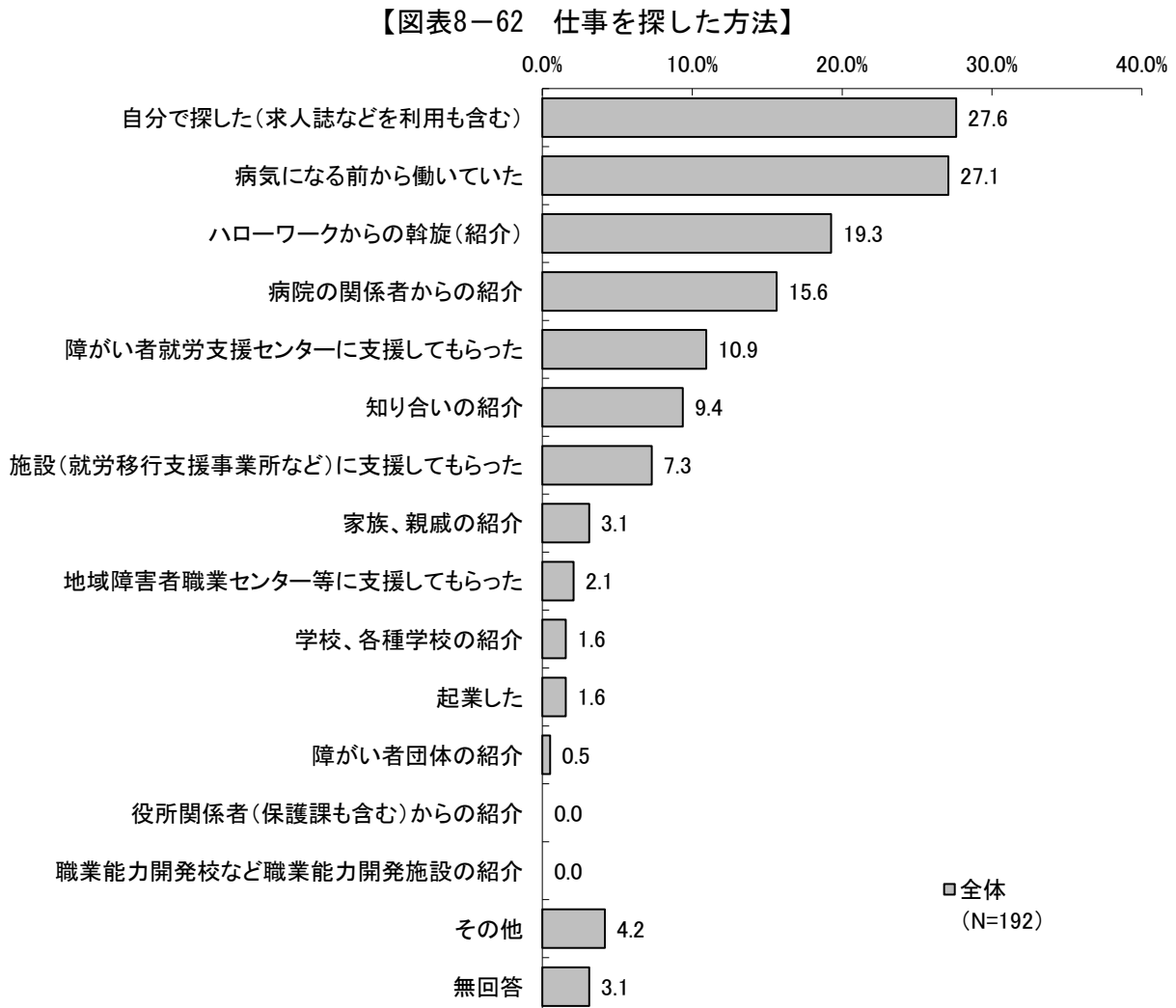
	調査数（人）	就労状況				
		働いている	た以前が辞めた働いていない	働いたことはな	無回答	
全体	701	27.4	49.8	6.6	16.3	
性別	男性	327	28.4	52.9	4.6	14.1
	女性	367	26.4	47.4	8.2	18.0
	無回答	7	28.6	28.6	14.3	28.6
全体	701	27.4	49.8	6.6	16.3	
年齢	29歳以下	81	30.9	33.3	14.8	21.0
	30歳代	109	34.9	44.0	7.3	13.8
	40歳代	185	33.0	43.2	3.8	20.0
	50歳代	148	31.1	58.8	1.4	8.8
	60～64歳	45	17.8	57.8	6.7	17.8
	65～74歳	89	11.2	62.9	10.1	15.7
	75歳以上	35	5.7	60.0	8.6	25.7
	無回答	9	22.2	44.4	22.2	11.1
全体	701	27.4	49.8	6.6	16.3	
主な診断名（集約）	認知症	28	10.7	64.3	7.1	17.9
	物質依存症	50	16.0	54.0	2.0	28.0
	統合失調症	232	22.0	56.5	8.6	12.9
	気分障害	199	35.2	48.2	3.5	13.1
	その他	166	30.1	41.6	9.6	18.7
	診断保留	3	100.0	-	-	-
	無回答	23	30.4	34.8	-	34.8

	調査数（人）	就労形態										
		自営業主	家族従事者	正規の社員・従業員	パート・アルバイト・日雇・パート・アルバイト	派遣社員	内職	施設で働いている	休職中	働いていないため、施設などで	将来、企業などで	無回答
全体	192	3.6	0.5	24.5	39.1	4.2	1.0	19.3	4.2	2.6	1.0	
性別	男性	93	4.3	-	34.4	29.0	2.2	1.1	20.4	5.4	1.1	2.2
	女性	97	3.1	1.0	14.4	48.5	6.2	1.0	18.6	3.1	4.1	-
	無回答	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-
全体	192	3.6	0.5	24.5	39.1	4.2	1.0	19.3	4.2	2.6	1.0	
年齢	29歳以下	25	-	-	24.0	52.0	4.0	-	20.0	-	-	-
	30歳代	38	-	-	21.1	52.6	5.3	-	10.5	5.3	5.3	-
	40歳代	61	1.6	-	29.5	29.5	4.9	1.6	23.0	3.3	3.3	3.3
	50歳代	46	4.3	-	23.9	32.6	4.3	2.2	21.7	8.7	2.2	-
	60～64歳	8	12.5	12.5	25.0	25.0	-	-	25.0	-	-	-
	65～74歳	10	20.0	-	10.0	50.0	-	-	20.0	-	-	-
	75歳以上	2	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-
	無回答	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-
全体	192	3.6	0.5	24.5	39.1	4.2	1.0	19.3	4.2	2.6	1.0	
主な診断名（集約）	認知症	3	-	-	-	33.3	-	-	66.7	-	-	-
	物質依存症	8	-	-	12.5	37.5	-	-	37.5	-	-	12.5
	統合失調症	51	-	2.0	5.9	43.1	2.0	-	41.2	-	5.9	-
	気分障害	70	8.6	-	32.9	31.4	2.9	1.4	11.4	7.1	2.9	1.4
	その他	50	-	-	34.0	46.0	10.0	-	6.0	4.0	-	-
	診断保留	3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-
	無回答	7	-	-	28.6	57.1	-	14.3	-	-	-	-

(9) 仕事を探した方法

[問6で「1. 働いている」を選ばれた方におたずねします]

問8 どのような方法で仕事を探しましたか。【〇はあてはまるものすべて】



【図表8-63 性別、年齢別、主な診断名（集約）別 仕事を探した方法】（%）

	調査数（人）	仕事を探した方法											
		利用（自分も含む）	自分で探した	病気にいる前か	紹介（～）	ハローワーク	病院の紹介	支援センター	障がい者就労支援	知り合いの紹介	もどらった	支援（～）	施設（～）
全体	192	27.6	27.1	19.3	15.6	10.9	9.4	7.3	3.1				
性別	男性	93	25.8	32.3	21.5	15.1	14.0	8.6	4.3	3.2			
	女性	97	29.9	22.7	16.5	16.5	7.2	10.3	9.3	3.1			
	無回答	2	-	-	50.0	-	50.0	-	50.0	-			
全体	192	27.6	27.1	19.3	15.6	10.9	9.4	7.3	3.1				
年齢	29歳以下	25	36.0	12.0	20.0	8.0	20.0	12.0	12.0	4.0			
	30歳代	38	21.1	28.9	28.9	5.3	13.2	7.9	10.5	5.3			
	40歳代	61	26.2	32.8	14.8	21.3	9.8	6.6	6.6	3.3			
	50歳代	46	34.8	30.4	15.2	17.4	6.5	10.9	2.2	-			
	60～64歳	8	25.0	25.0	-	25.0	12.5	37.5	12.5	12.5			
	65～74歳	10	20.0	20.0	30.0	30.0	-	-	-	-			
	75歳以上	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-			
無回答	2	-	-	50.0	-	50.0	-	50.0	-				
全体	192	27.6	27.1	19.3	15.6	10.9	9.4	7.3	3.1				
主な診断名（集約）	認知症	3	-	-	-	100.0	-	-	-	-			
	物質依存症	8	50.0	12.5	25.0	62.5	25.0	12.5	25.0	-			
	統合失調症	51	11.8	7.8	25.5	35.3	11.8	11.8	15.7	5.9			
	気分障害	70	32.9	37.1	17.1	5.7	10.0	10.0	2.9	1.4			
	その他	50	34.0	34.0	18.0	-	6.0	8.0	2.0	4.0			
	診断保留	3	66.7	66.7	-	-	-	-	-	-			
	無回答	7	14.3	28.6	14.3	-	42.9	-	14.3	-			

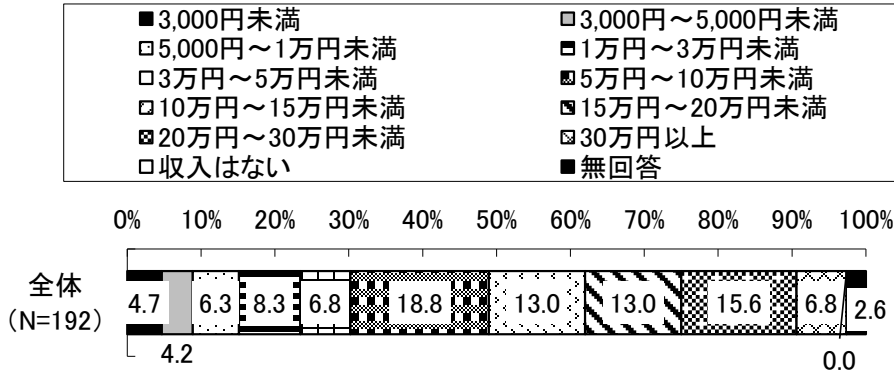
	調査数（人）	仕事を探した方法									
		支援（～）	地域（～）	学校の紹介	起業した	紹介（～）	障がい者団体の紹介	課（～）	役所関係（～）	発設（～）	その他
全体	192	2.1	1.6	1.6	0.5	-	-	4.2	3.1		
性別	男性	93	2.2	2.2	1.1	1.1	-	1.1	2.2		
	女性	97	2.1	1.0	2.1	-	-	7.2	3.1		
	無回答	2	-	-	-	-	-	-	50.0		
全体	192	2.1	1.6	1.6	0.5	-	-	4.2	3.1		
年齢	29歳以下	25	-	8.0	-	-	-	-	-		
	30歳代	38	5.3	-	-	-	-	-	5.3		
	40歳代	61	-	1.6	1.6	-	-	-	6.6	3.3	
	50歳代	46	4.3	-	4.3	2.2	-	-	6.5	-	
	60～64歳	8	-	-	-	-	-	-	12.5	-	
	65～74歳	10	-	-	-	-	-	-	-	-	
	75歳以上	2	-	-	-	-	-	-	-	50.0	
無回答	2	-	-	-	-	-	-	-	50.0		
全体	192	2.1	1.6	1.6	0.5	-	-	4.2	3.1		
主な診断名（集約）	認知症	3	-	-	-	-	-	-	-		
	物質依存症	8	-	-	-	-	-	-	-		
	統合失調症	51	3.9	-	-	2.0	-	-	5.9	3.9	
	気分障害	70	2.9	1.4	4.3	-	-	-	4.3	1.4	
	その他	50	-	4.0	-	-	-	-	2.0	4.0	
	診断保留	3	-	-	-	-	-	-	-	-	
	無回答	7	-	-	-	-	-	-	14.3	14.3	

(10) 月収

〔問6で「1. 働いている」を選ばれた方におたずねします〕

問9 あなたの、ふだんの月収（手取り額）はどのぐらいですか。賞与（ボーナス）などの臨時的に支給されるものや障害年金、生活保護は除きます。【○は1つだけ】

【図表8-64 月収】



【図表8-65 性別、年齢別、主な診断名（集約）別 月収】（%）

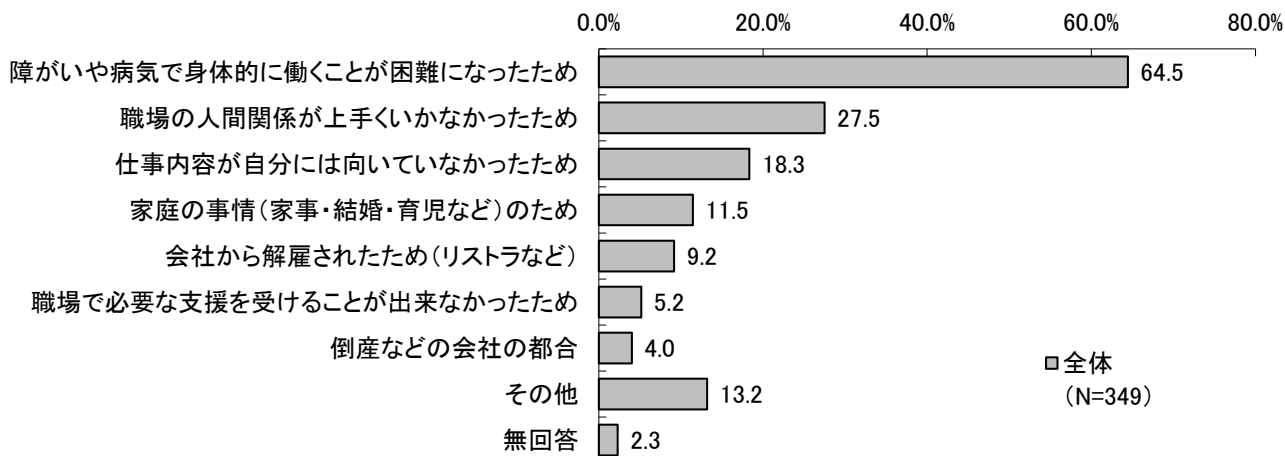
	調査数（人）	月収												
		3,000円未満	3,000円～5,000円未満	5,000円～1万円未満	1万円～3万円未満	3万円～5万円未満	5万円～10万円未満	10万円～15万円未満	15万円～20万円未満	20万円～30万円未満	30万円以上	収入はない	無回答	
全体	192	4.7	4.2	6.3	8.3	6.8	18.8	13.0	13.0	15.6	6.8	-	2.6	
性別	男性	93	5.4	2.2	8.6	3.2	1.1	17.2	14.0	12.9	20.4	11.8	-	3.2
	女性	97	4.1	6.2	4.1	13.4	12.4	20.6	11.3	13.4	10.3	2.1	-	2.1
	無回答	2	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-
全体	192	4.7	4.2	6.3	8.3	6.8	18.8	13.0	13.0	15.6	6.8	-	2.6	
年齢	29歳以下	25	4.0	-	8.0	12.0	4.0	28.0	24.0	12.0	8.0	-	-	-
	30歳代	38	5.3	-	2.6	2.6	2.6	18.4	23.7	26.3	13.2	5.3	-	-
	40歳代	61	8.2	4.9	6.6	11.5	4.9	19.7	8.2	6.6	23.0	6.6	-	-
	50歳代	46	2.2	8.7	6.5	6.5	8.7	17.4	8.7	6.5	17.4	10.9	-	6.5
	60～64歳	8	-	-	12.5	-	25.0	12.5	-	25.0	-	25.0	-	-
	65～74歳	10	-	10.0	10.0	20.0	10.0	10.0	-	20.0	-	-	-	20.0
	75歳以上	2	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-
無回答	2	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	
全体	192	4.7	4.2	6.3	8.3	6.8	18.8	13.0	13.0	15.6	6.8	-	2.6	
主な診断名（集約）	認知症	3	-	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-
	物質依存症	8	-	-	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5	12.5	-	-	-	12.5
	統合失調症	51	11.8	11.8	11.8	9.8	7.8	25.5	11.8	5.9	2.0	-	-	2.0
	気分障害	70	2.9	-	4.3	5.7	2.9	17.1	15.7	14.3	24.3	10.0	-	2.9
	その他	50	2.0	2.0	4.0	8.0	10.0	14.0	12.0	16.0	22.0	8.0	-	2.0
	診断保留	3	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	66.7	-	-
	無回答	7	-	-	-	14.3	14.3	14.3	14.3	28.6	14.3	-	-	-

(11) 仕事を辞めた原因

[問6で「2. 以前は働いていたが辞めた」を選ばれた方におたずねします]

問10 仕事を辞めた原因は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

【図表8-66 仕事を辞めた原因】



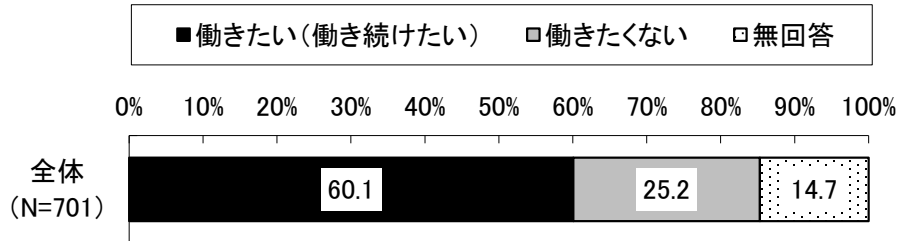
【図表8-67 性別、年齢別、主な診断名（集約）別 仕事を辞めた原因】 (%)

	調査数 (人)	仕事をやめた原因											
		困難的になつたため	障がいのため	身体的に働くことが困難になったため	上手い人間関係がなかったため	職場の人間関係が上手くいかなかったため	仕事内容が自分には向いていなかったため	家庭の事情(家事・結婚・育児など)のため	会社から解雇されたため(リストラなど)	職場で必要な支援を受けることが出来なかったため	倒産などの会社の都合	その他	無回答
全体	349	64.5	27.5	18.3	11.5	9.2	5.2	4.0	13.2	2.3			
性別	男性	173	66.5	28.9	20.2	4.6	9.8	5.8	4.6	11.0	3.5		
	女性	174	63.2	25.9	16.1	18.4	8.6	4.6	3.4	14.9	1.1		
	無回答	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-		
全体	349	64.5	27.5	18.3	11.5	9.2	5.2	4.0	13.2	2.3			
年齢	29歳以下	27	66.7	37.0	44.4	7.4	3.7	11.1	-	3.7	-		
	30歳代	48	83.3	50.0	20.8	6.3	8.3	6.3	4.2	8.3	-		
	40歳代	80	72.5	31.3	21.3	16.3	12.5	7.5	5.0	2.5	3.8		
	50歳代	87	72.4	25.3	13.8	14.9	13.8	4.6	6.9	3.4	1.1		
	60~64歳	26	61.5	19.2	11.5	15.4	7.7	3.8	-	19.2	-		
	65~74歳	56	44.6	16.1	16.1	7.1	3.6	1.8	3.6	25.0	5.4		
	75歳以上	21	14.3	-	-	4.8	4.8	-	-	76.2	4.8		
	無回答	4	50.0	25.0	25.0	-	-	-	-	25.0	-		
全体	349	64.5	27.5	18.3	11.5	9.2	5.2	4.0	13.2	2.3			
主な診断名 (集約)	認知症	18	27.8	5.6	-	11.1	11.1	-	-	55.6	5.6		
	物質依存症	27	63.0	22.2	11.1	3.7	-	7.4	3.7	29.6	-		
	統合失調症	131	61.1	29.8	19.8	11.5	8.4	5.3	6.1	9.2	1.5		
	気分障害	96	71.9	26.0	15.6	14.6	10.4	4.2	-	9.4	5.2		
	その他	69	69.6	34.8	26.1	11.6	11.6	7.2	4.3	10.1	-		
	診断保留	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	無回答	8	75.0	12.5	25.0	-	12.5	-	25.0	-	-		

(12) 今後の就労意向

問11 あなたは、今後、働きたい（働き続けたい）ですか。【○は1つだけ】

【図表8-68 今後の就労意向】



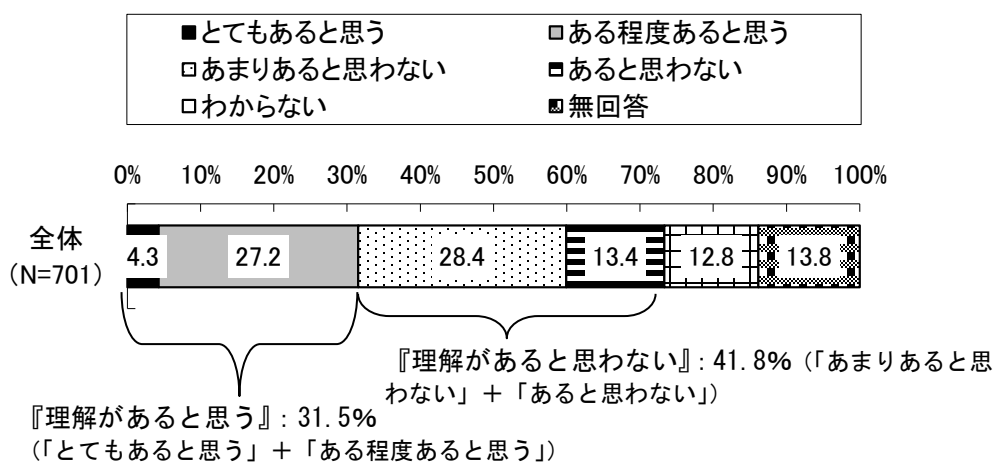
【図表8-69 性別、年齢別、主な診断名（集約）別 今後の就労意向】 (%)

		調査数 (人)	今後の就労意向		
			働きたい (働きたい)	働きたくない	無回答
全体		701	60.1	25.2	14.7
性別	男性	327	65.1	21.7	13.1
	女性	367	55.6	28.6	15.8
	無回答	7	57.1	14.3	28.6
全体		701	60.1	25.2	14.7
年齢	29歳以下	81	69.1	8.6	22.2
	30歳代	109	78.0	11.9	10.1
	40歳代	185	65.9	17.3	16.8
	50歳代	148	72.3	20.3	7.4
	60～64歳	45	33.3	51.1	15.6
	65～74歳	89	29.2	57.3	13.5
	75歳以上	35	8.6	57.1	34.3
	無回答	9	77.8	11.1	11.1
全体		701	60.1	25.2	14.7
主な診断名 (集約)	認知症	28	21.4	60.7	17.9
	物質依存症	50	60.0	20.0	20.0
	統合失調症	232	56.9	30.6	12.5
	気分障害	199	70.4	20.1	9.5
	その他	166	59.0	21.7	19.3
	診断保留	3	100.0	-	-
	無回答	23	52.2	13.0	34.8

(13) 精神障がい者の就労に対する社会の理解度

問12 障がいのある人が働くことについて社会の理解があると思いますか。【○は1つだけ】

【図表8-70 精神障がい者の就労に対する社会の理解度】



【図表8-71 性別、年齢別、主な診断名（集約）別、就労状況（集約）別 精神障がい者の就労に対する社会の理解度】 (%)

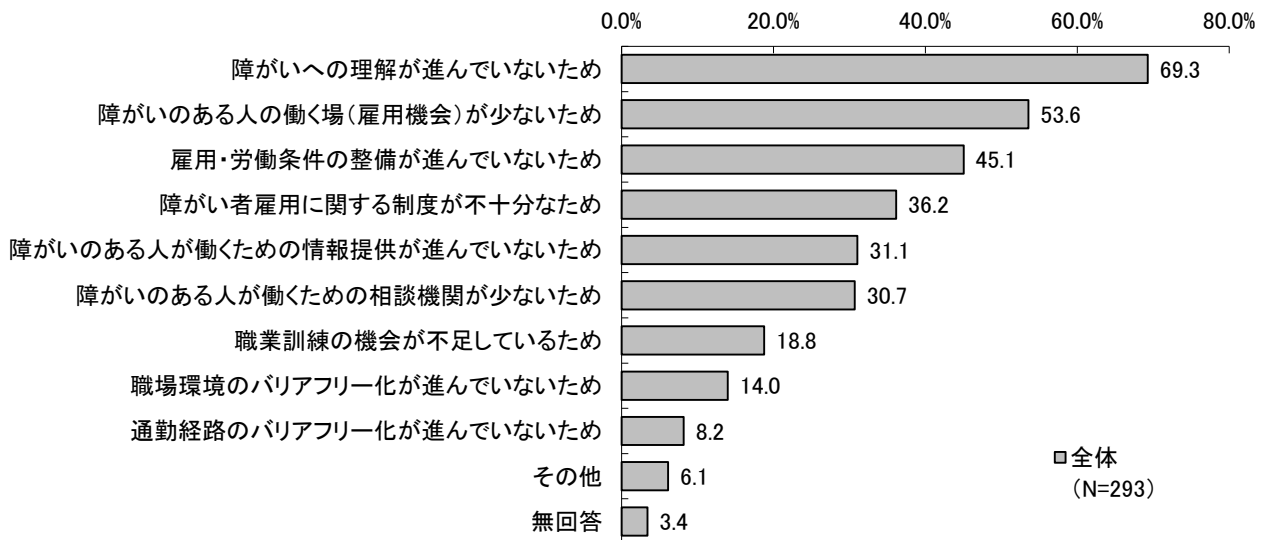
	調査数 (人)	精神障がい者の就労に対する社会の理解度							『理解があると思う』	『理解があると思わない』
		とてもあると思う	ある程度あると思う	あまりあると思わない	あると思わない	わからない	無回答			
全体	701	4.3	27.2	28.4	13.4	12.8	13.8	31.5	41.8	
性別	男性	327	5.2	30.0	27.2	14.1	11.6	11.9	35.2	41.3
	女性	367	3.5	25.3	29.2	12.8	13.9	15.3	28.9	42.0
	無回答	7	-	-	42.9	14.3	14.3	28.6	-	57.1
	全体	701	4.3	27.2	28.4	13.4	12.8	13.8	31.5	41.8
年齢	29歳以下	81	-	35.8	27.2	9.9	6.2	21.0	35.8	37.0
	30歳代	109	2.8	24.8	37.6	15.6	8.3	11.0	27.5	53.2
	40歳代	185	4.3	27.6	27.6	13.0	12.4	15.1	31.9	40.5
	50歳代	148	5.4	31.8	28.4	16.2	11.5	6.8	37.2	44.6
	60~64歳	45	2.2	26.7	26.7	13.3	15.6	15.6	28.9	40.0
	65~74歳	89	10.1	21.3	15.7	14.6	24.7	13.5	31.5	30.3
	75歳以上	35	2.9	14.3	37.1	-	17.1	28.6	17.1	37.1
	無回答	9	-	11.1	44.4	22.2	11.1	11.1	11.1	66.7
全体	701	4.3	27.2	28.4	13.4	12.8	13.8	31.5	41.8	
主な診断名 (集約)	認知症	28	7.1	14.3	42.9	-	21.4	14.3	21.4	42.9
	物質依存症	50	2.0	32.0	26.0	10.0	10.0	20.0	34.0	36.0
	統合失調症	232	6.0	31.5	27.2	12.5	11.6	11.2	37.5	39.7
	気分障害	199	3.5	25.1	31.7	18.6	11.1	10.1	28.6	50.3
	その他	166	3.6	25.9	23.5	13.3	16.9	16.9	29.5	36.7
	診断保留	3	-	66.7	33.3	-	-	-	66.7	33.3
	無回答	23	-	13.0	34.8	4.3	8.7	39.1	13.0	39.1
全体	701	4.3	27.2	28.4	13.4	12.8	13.8	31.5	41.8	
就労状況 (集約)	働いている	192	6.8	36.5	30.7	12.5	11.5	2.1	43.2	43.2
	以前は働いていたが辞めた	349	4.9	28.7	33.0	16.3	15.8	1.4	33.5	49.3
	働いたことはない	46	-	19.6	39.1	17.4	15.2	8.7	19.6	56.5
	無回答	114	-	10.5	6.1	4.4	5.3	73.7	10.5	10.5

(14) 精神障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由

[問12で「3. あまりあると思わない」または「4. あると思わない」を選ばれた方におたずねします]

問12-1 障がいのある人が働くことについて社会の理解があると思わない理由は何ですか。
【〇はあてはまるものすべて】

【図表8-72 精神障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由】



【図表8-73 性別、年齢別、主な診断名（集約）別、就労状況（集約）別
精神障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由】（%）

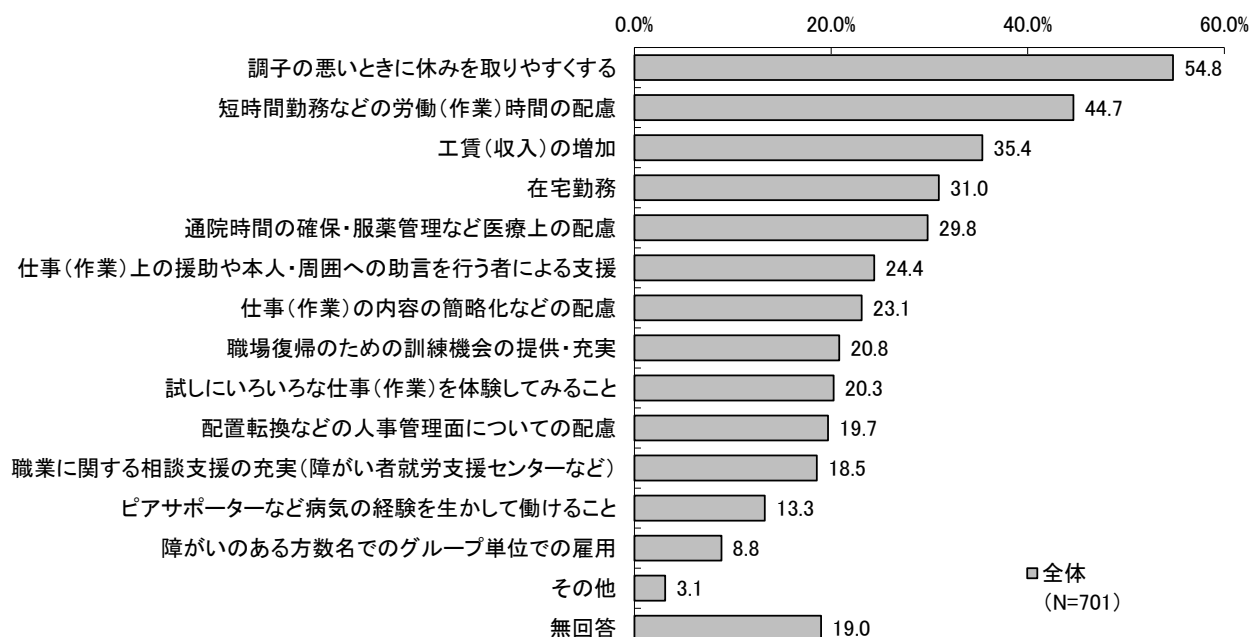
	調査数（人）	障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由											
		い障 ない いた への 理解 が進 んで	め（障 雇い 機あ ）る が少 ない いた 場	進雇 用で ・労 働条 件た め	度障 がが 不十 分雇 用た め	なめ障 いの 情の 報あ 提有 供が 進人 ん働 でく いた	め障 がの 相の 談あ 機有 関人 が少 ない 働 いた	て職 業訓 練た めの 機あ が不 足し	化職 場進 環境 での いバ りな いア たフ めリ	化通 勤経 路の いバ りな いア たフ めリ	そ 他	無 回 答	
全体	293	69.3	53.6	45.1	36.2	31.1	30.7	18.8	14.0	8.2	6.1	3.4	
性別	男性	135	67.4	55.6	43.0	39.3	35.6	37.8	23.7	13.3	8.1	9.6	1.5
	女性	154	71.4	51.3	47.4	33.1	27.3	25.3	13.6	14.3	8.4	2.6	5.2
	無回答	4	50.0	75.0	25.0	50.0	25.0	-	50.0	25.0	-	25.0	-
全体	293	69.3	53.6	45.1	36.2	31.1	30.7	18.8	14.0	8.2	6.1	3.4	
年齢	29歳以下	30	73.3	43.3	53.3	26.7	20.0	30.0	20.0	16.7	3.3	3.3	3.3
	30歳代	58	79.3	43.1	46.6	32.8	29.3	25.9	15.5	15.5	8.6	12.1	-
	40歳代	75	76.0	68.0	48.0	41.3	42.7	32.0	12.0	12.0	6.7	2.7	-
	50歳代	66	66.7	56.1	51.5	47.0	34.8	39.4	21.2	10.6	6.1	4.5	3.0
	60～64歳	18	66.7	61.1	33.3	38.9	33.3	27.8	22.2	27.8	27.8	-	5.6
	65～74歳	27	48.1	44.4	22.2	25.9	14.8	37.0	29.6	14.8	11.1	7.4	11.1
	75歳以上	13	38.5	30.8	30.8	-	7.7	-	15.4	7.7	7.7	15.4	23.1
無回答	6	66.7	66.7	50.0	50.0	33.3	16.7	50.0	16.7	-	16.7	-	
全体	293	69.3	53.6	45.1	36.2	31.1	30.7	18.8	14.0	8.2	6.1	3.4	
主な （集約） 診断名	認知症	12	41.7	41.7	50.0	25.0	33.3	8.3	25.0	8.3	8.3	-	25.0
	物質依存症	18	61.1	44.4	38.9	27.8	33.3	27.8	27.8	16.7	22.2	16.7	5.6
	統合失調症	92	65.2	60.9	35.9	39.1	29.3	34.8	18.5	9.8	5.4	6.5	5.4
	気分障害	100	72.0	53.0	53.0	35.0	31.0	31.0	18.0	17.0	8.0	5.0	1.0
	その他	61	80.3	50.8	47.5	39.3	32.8	32.8	19.7	16.4	9.8	3.3	-
	診断保留	1	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	9	55.6	33.3	33.3	33.3	33.3	11.1	-	11.1	-	22.2	-	
全体	293	69.3	53.6	45.1	36.2	31.1	30.7	18.8	14.0	8.2	6.1	3.4	
（就 集約 労状 況）	働いている	83	72.3	61.4	49.4	41.0	28.9	27.7	10.8	15.7	8.4	7.2	-
	以前は働いていたが辞めた	172	69.2	50.0	43.6	33.1	30.8	32.6	21.5	12.8	7.6	4.7	2.9
	働いたことはない	26	57.7	46.2	38.5	38.5	26.9	26.9	26.9	11.5	3.8	11.5	19.2
	無回答	12	75.0	66.7	50.0	41.7	58.3	33.3	16.7	25.0	25.0	8.3	-

(15) 精神障がい者の就労支援として必要なこと

問13 どのような働き方や制度があれば障がいのある方が働きやすいと思いますか。

【〇はあてはまるものすべて】

【図表8-74 精神障がい者の就労支援として必要なこと】



【図表8-75 性別、年齢別、主な診断名(集約)別、就労状況(集約)別 精神障がい者の就労支援として必要なこと】 (%)

	調査数(人)	精神障がい者の就労支援として必要なこと															
		取りやすくなる	短時間勤務などの配慮	工賃(収入)の増加	在宅勤務	通院時間の確保・服薬管理	本人・周囲への支援	仕事(作業)上の助言	仕事(作業)内容の簡略化	職場復帰のための訓練機	試しにいろいろな仕事(作業)を体験してみる	配置転換などの配慮	職業に関する相談支援	ピアサポーターなど病気の経験を生かして働けること	障がいのある方数名での雇用	その他	無回答
全体	701	54.8	44.7	35.4	31.0	29.8	24.4	23.1	20.8	20.3	19.7	18.5	13.3	8.8	3.1	19.0	
性別																	
男性	327	54.7	42.5	41.6	31.5	31.8	26.3	25.7	23.5	19.9	21.4	20.8	15.3	12.5	3.4	15.3	
女性	367	55.0	46.6	30.0	30.5	28.3	22.6	20.7	18.3	20.7	18.5	16.6	11.2	5.7	3.0	21.8	
無回答	7	42.9	42.9	28.6	28.6	14.3	28.6	28.6	28.6	14.3	-	14.3	28.6	-	-	42.9	
年齢																	
29歳以下	81	55.6	46.9	38.3	30.9	24.7	22.2	23.5	23.5	12.3	17.3	13.6	7.4	1.2	22.2		
30歳代	109	66.1	45.9	37.6	35.8	33.0	33.0	29.4	26.6	22.9	26.6	20.2	13.8	11.9	4.6	14.7	
40歳代	185	58.4	48.6	40.0	32.4	33.0	22.2	24.3	18.9	21.6	23.8	17.3	11.9	10.3	2.2	19.5	
50歳代	148	62.2	45.9	34.5	29.1	35.1	31.1	21.6	26.4	23.0	25.7	25.0	16.9	8.1	2.0	10.1	
60~64歳	45	48.9	53.3	31.1	35.6	37.8	20.0	22.2	22.2	20.0	15.6	26.7	15.6	8.9	4.4	20.0	
65~74歳	89	38.2	34.8	31.5	21.3	15.7	13.5	19.1	12.4	13.5	11.2	12.4	10.1	9.0	5.6	24.7	
75歳以上	35	14.3	17.1	17.1	14.3	5.7	14.3	11.4	2.9	2.9	-	-	5.7	-	5.7	45.7	
無回答	9	66.7	66.7	33.3	44.4	22.2	22.2	44.4	22.2	22.2	-	22.2	22.2	-	-	11.1	
主な診断名(集約)																	
認知症	28	32.1	17.9	21.4	21.4	14.3	28.6	17.9	14.3	14.3	3.6	3.6	17.9	-	-	28.6	
物質依存症	50	42.0	34.0	32.0	28.0	30.0	28.0	28.0	28.0	22.0	20.0	28.0	12.0	6.0	6.0	28.0	
統合失調症	232	53.0	47.0	41.4	25.0	31.5	22.4	25.0	20.7	17.2	13.8	20.3	13.8	10.3	5.2	15.1	
気分障害	199	64.3	52.3	32.2	39.2	36.2	23.1	22.1	21.6	23.6	26.6	19.6	11.6	8.5	2.0	14.1	
その他	166	55.4	44.0	35.5	33.7	25.3	28.3	22.9	19.9	22.3	22.3	16.3	15.1	9.6	1.8	22.9	
診断保留	3	33.3	33.3	-	-	33.3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	33.3	
無回答	23	43.5	17.4	30.4	21.7	8.7	13.0	13.0	17.4	13.0	17.4	8.7	8.7	8.7	-	39.1	
就労状況(集約)																	
働いている	192	61.5	47.4	39.1	31.8	30.2	30.7	22.9	20.8	22.4	27.1	18.2	14.6	9.4	3.6	7.3	
以前は働いていたが辞めた	349	63.9	54.4	41.8	36.4	36.4	26.9	26.9	25.2	22.1	20.9	22.3	16.0	10.9	2.6	6.6	
働いたことはない	46	56.5	37.0	28.3	34.8	30.4	23.9	26.1	23.9	32.6	8.7	21.7	15.2	8.7	8.7	19.6	
無回答	114	14.9	13.2	12.3	11.4	8.8	6.1	10.5	6.1	6.1	7.9	6.1	1.8	1.8	1.8	76.3	

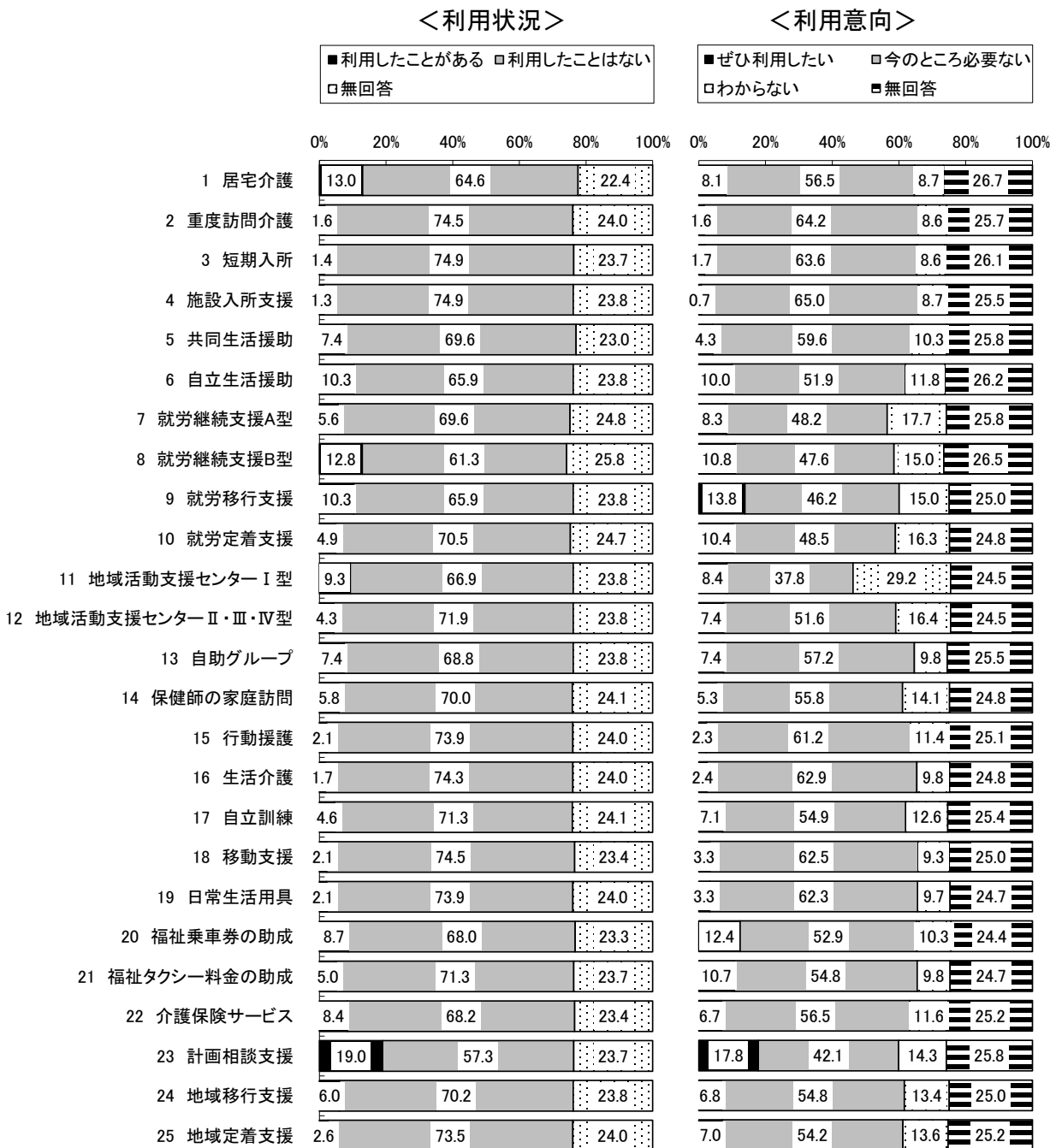
6. 福祉サービス等の利用について

- ・福祉サービス等の利用については、＜利用状況＞＜利用意向＞ともに「23. 計画相談支援」が最も割合が高い。【図表8-76】
- ・対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス等は、「福祉乗車券の助成」と「計画相談支援」がともに16.7%で最も割合が高くなっている。【図表8-80】

(1) 福祉サービス等の利用状況・利用意向

問14 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また、今後（2～3年以内に）利用したいと思いますか。1～25の項目ごとに、利用状況と利用意向のそれぞれについて○をつけてください。

【図表8-76 福祉サービス等の利用状況・利用意向】



【図表8-77 年齢別、主な診断名（集約）別
福祉サービス等の利用状況（「利用したことがある」の割合）】（%）

	調査数（人）	福祉サービス等の利用状況（「利用したことがある」の割合）													
		1 居宅介護	2 重度訪問介護	3 短期入所	4 施設入所支援	5 共同生活援助	6 自立生活援助	7 就労継続支援A型	8 就労継続支援B型	9 就労移行支援	10 就労定着支援	11 地域活動支援センターI型	12 地域活動支援センターII・III・IV型	13 自助グループ	
全体	701	13.0	1.6	1.4	1.3	7.4	10.3	5.6	12.8	10.3	4.9	9.3	4.3	7.4	
年齢	29歳以下	81	7.4	-	-	-	8.6	6.2	8.6	9.9	16.0	11.1	4.9	2.5	8.6
	30歳代	109	11.0	1.8	1.8	2.8	7.3	12.8	8.3	14.7	17.4	5.5	10.1	3.7	6.4
	40歳代	185	9.7	1.1	0.5	1.1	10.3	9.7	7.6	17.8	11.9	4.9	10.8	3.2	4.3
	50歳代	148	18.9	2.0	1.4	0.7	5.4	10.1	4.7	16.9	8.1	3.4	10.8	8.1	10.1
	60～64歳	45	22.2	4.4	6.7	-	6.7	22.2	2.2	13.3	2.2	2.2	20.0	4.4	11.1
	65～74歳	89	12.4	2.2	1.1	1.1	2.2	7.9	1.1	2.2	2.2	2.2	3.4	2.2	7.9
	75歳以上	35	14.3	-	2.9	5.7	11.4	2.9	-	-	2.9	2.9	2.9	2.9	8.6
	無回答	9	11.1	-	-	-	11.1	22.2	-	-	22.2	11.1	11.1	11.1	-
全体	701	13.0	1.6	1.4	1.3	7.4	10.3	5.6	12.8	10.3	4.9	9.3	4.3	7.4	
主な診断名（集約）	認知症	28	14.3	-	3.6	7.1	14.3	-	-	3.6	7.1	3.6	7.1	3.6	3.6
	物質依存症	50	6.0	2.0	2.0	2.0	8.0	16.0	12.0	10.0	6.0	2.0	4.0	4.0	56.0
	統合失調症	232	20.3	3.4	2.6	1.7	10.8	17.2	5.6	20.3	10.3	6.9	18.5	7.8	2.6
	気分障害	199	11.6	0.5	1.0	0.5	2.5	5.5	6.5	9.5	11.1	4.0	5.0	1.5	3.0
	その他	166	7.8	0.6	-	-	7.2	6.6	4.2	10.2	10.2	4.2	4.2	3.6	6.6
	診断保留	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	23	4.3	-	-	4.3	8.7	8.7	-	4.3	17.4	4.3	4.3	-	-

	調査数（人）	福祉サービス等の利用状況（「利用したことがある」の割合）												
		14 保健師の家庭訪問	15 行動援助	16 生活介護	17 自立訓練	18 移動支援	19 日常生活用具	20 福祉乗車券の助成	21 福祉タクシー料金	22 介護保険サービス	23 計画相談支援	24 地域移行支援	25 地域定着支援	
全体	701	5.8	2.1	1.7	4.6	2.1	2.1	8.7	5.0	8.4	19.0	6.0	2.6	
年齢	29歳以下	81	1.2	1.2	1.2	6.2	1.2	2.5	4.9	1.2	3.7	19.8	2.5	2.5
	30歳代	109	5.5	3.7	2.8	8.3	3.7	0.9	6.4	0.9	10.1	18.3	8.3	0.9
	40歳代	185	6.5	1.6	2.7	2.7	1.6	2.2	5.4	6.5	5.9	20.0	6.5	2.7
	50歳代	148	7.4	1.4	0.7	4.1	1.4	2.0	16.9	8.1	7.4	27.0	6.8	4.1
	60～64歳	45	8.9	2.2	2.2	8.9	4.4	6.7	8.9	2.2	8.9	13.3	13.3	4.4
	65～74歳	89	6.7	3.4	1.1	2.2	1.1	2.2	7.9	6.7	12.4	14.6	3.4	2.2
	75歳以上	35	2.9	2.9	-	2.9	2.9	-	8.6	-	22.9	-	-	-
	無回答	9	-	-	-	-	11.1	-	11.1	22.2	-	11.1	-	-
全体	701	5.8	2.1	1.7	4.6	2.1	2.1	8.7	5.0	8.4	19.0	6.0	2.6	
主な診断名（集約）	認知症	28	7.1	3.6	-	3.6	3.6	-	-	-	32.1	7.1	3.6	3.6
	物質依存症	50	6.0	2.0	-	10.0	2.0	6.0	10.0	8.0	8.0	18.0	12.0	-
	統合失調症	232	9.9	3.9	3.4	6.9	4.3	3.4	12.5	7.3	11.2	28.9	11.2	5.6
	気分障害	199	4.0	0.5	0.5	1.5	0.5	2.0	7.5	5.0	7.0	13.6	3.0	1.0
	その他	166	3.0	1.8	1.2	4.2	1.2	-	6.6	1.8	3.6	15.1	1.2	1.2
	診断保留	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	23	-	-	4.3	-	-	-	4.3	4.3	-	13.0	4.3	-

【図表8-78 年齢別、主な診断名（集約）別
福祉サービス等の利用意向（「ぜひ利用したい」の割合）】（%）

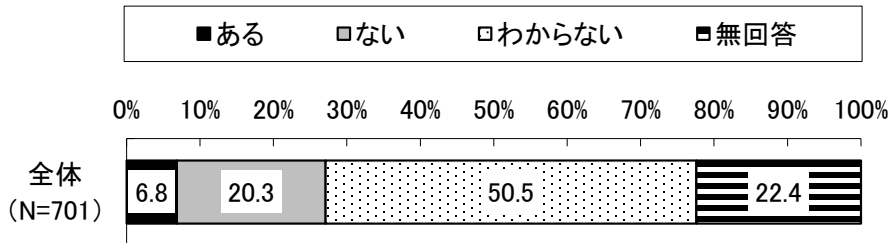
	調査数（人）	福祉サービス等の利用状況（「ぜひ利用したい」の割合）													
		1 居宅介 護	2 重 度 訪 問 介 護	3 短 期 入 所	4 施 設 入 所 支 援	5 共 同 生 活 援 助	6 自 立 生 活 援 助	7 就 労 継 続 支 援 A 型	8 就 労 継 続 支 援 B 型	9 就 労 移 行 支 援	10 就 労 定 着 支 援	11 地 域 活 動 支 援 セ ン I 型	12 地 域 活 動 支 援 セ ン II ・ III ・ IV 型	13 自 助 グ ル ー プ	
全体	701	8.1	1.6	1.7	0.7	4.3	10.0	8.3	10.8	13.8	10.4	8.4	7.4	7.4	
年 齢	29歳以下	81	7.4	2.5	2.5	-	9.9	11.1	14.8	12.3	25.9	21.0	12.3	13.6	9.9
	30歳代	109	5.5	-	2.8	-	3.7	9.2	10.1	11.0	20.2	13.8	11.0	9.2	6.4
	40歳代	185	8.1	2.2	1.1	0.5	3.8	13.5	11.9	15.1	13.5	11.4	8.6	8.1	7.0
	50歳代	148	10.8	1.4	1.4	0.7	3.4	10.1	6.8	13.5	16.9	10.8	10.1	7.4	8.8
	60～64歳	45	13.3	4.4	2.2	-	-	11.1	4.4	8.9	-	2.2	6.7	4.4	8.9
	65～74歳	89	6.7	1.1	1.1	3.4	4.5	4.5	-	1.1	1.1	-	2.2	2.2	5.6
	75歳以上	35	5.7	-	2.9	-	2.9	2.9	-	-	-	-	-	-	5.7
無回答	9	-	-	-	-	11.1	11.1	11.1	11.1	33.3	33.3	11.1	11.1	-	
全体	701	8.1	1.6	1.7	0.7	4.3	10.0	8.3	10.8	13.8	10.4	8.4	7.4	7.4	
主 な 診 断 名 （ 集 約 ）	認知症	28	10.7	-	3.6	-	7.1	-	-	3.6	3.6	3.6	-	-	-
	物質依存症	50	10.0	2.0	4.0	-	6.0	14.0	10.0	12.0	14.0	12.0	10.0	12.0	40.0
	統合失調症	232	10.3	1.7	2.2	1.3	7.3	14.7	11.2	17.7	13.4	10.8	11.2	9.5	4.3
	気分障害	199	8.0	1.5	0.5	0.5	0.5	7.0	9.0	8.5	17.1	11.6	7.0	6.5	4.0
	その他	166	4.2	1.2	1.2	-	3.0	6.6	4.2	6.0	13.3	9.0	7.8	6.0	7.2
	診断保留	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	23	8.7	4.3	4.3	4.3	8.7	17.4	8.7	4.3	8.7	13.0	4.3	4.3	8.7

	調査数（人）	福祉サービス等の利用状況（「ぜひ利用したい」の割合）												
		14 保 健 師 の 家 庭 訪 問	15 行 動 援 護	16 生 活 介 護	17 自 立 訓 練	18 移 動 支 援	19 日 常 生 活 用 具	20 福 祉 乗 車 券 の 助 成	21 の 福 祉 助 成 タ ク シー 料 金	22 介 護 保 険 サ ー ビ ス	23 計 画 相 談 支 援	24 地 域 移 行 支 援	25 地 域 定 着 支 援	
全体	701	5.3	2.3	2.4	7.1	3.3	3.3	12.4	10.7	6.7	17.8	6.8	7.0	
年 齢	29歳以下	81	3.7	2.5	2.5	8.6	2.5	3.7	8.6	7.4	6.2	25.9	7.4	8.6
	30歳代	109	7.3	1.8	1.8	13.8	3.7	1.8	11.0	8.3	5.5	16.5	9.2	9.2
	40歳代	185	6.5	3.2	3.2	6.5	3.2	3.8	11.9	12.4	5.4	21.6	7.0	8.1
	50歳代	148	4.7	1.4	1.4	5.4	4.1	4.1	18.9	14.9	4.7	19.6	6.8	7.4
	60～64歳	45	11.1	2.2	4.4	8.9	4.4	6.7	13.3	6.7	8.9	8.9	13.3	8.9
	65～74歳	89	2.2	2.2	2.2	3.4	2.2	2.2	6.7	9.0	9.0	9.0	2.2	1.1
	75歳以上	35	-	-	2.9	-	-	-	11.4	8.6	20.0	8.6	-	-
無回答	9	-	11.1	-	11.1	11.1	-	22.2	11.1	-	22.2	11.1	11.1	
全体	701	5.3	2.3	2.4	7.1	3.3	3.3	12.4	10.7	6.7	17.8	6.8	7.0	
主 な 診 断 名 （ 集 約 ）	認知症	28	-	-	3.6	-	3.6	3.6	3.6	17.9	10.7	-	-	
	物質依存症	50	2.0	4.0	-	10.0	2.0	8.0	20.0	16.0	8.0	16.0	12.0	6.0
	統合失調症	232	6.5	4.3	4.3	8.6	5.6	3.9	14.2	12.5	9.5	25.0	10.3	10.8
	気分障害	199	6.0	0.5	1.0	6.5	2.5	1.5	12.1	12.6	5.5	15.6	5.5	5.5
	その他	166	4.8	1.2	1.8	6.0	1.8	3.0	10.2	6.0	3.0	13.9	3.0	4.8
	診断保留	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	23	4.3	4.3	4.3	8.7	-	4.3	8.7	8.7	-	8.7	8.7	8.7

(2) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス等の有無

問15 問14の1～25のサービス・事業の中で、サービスの量が不足していたり、他のサービス・事業よりも優先して、利用対象・範囲の拡大などを図るべきだと思うものがありますか。【○は1つだけ】

【図表8-79 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス等の有無】

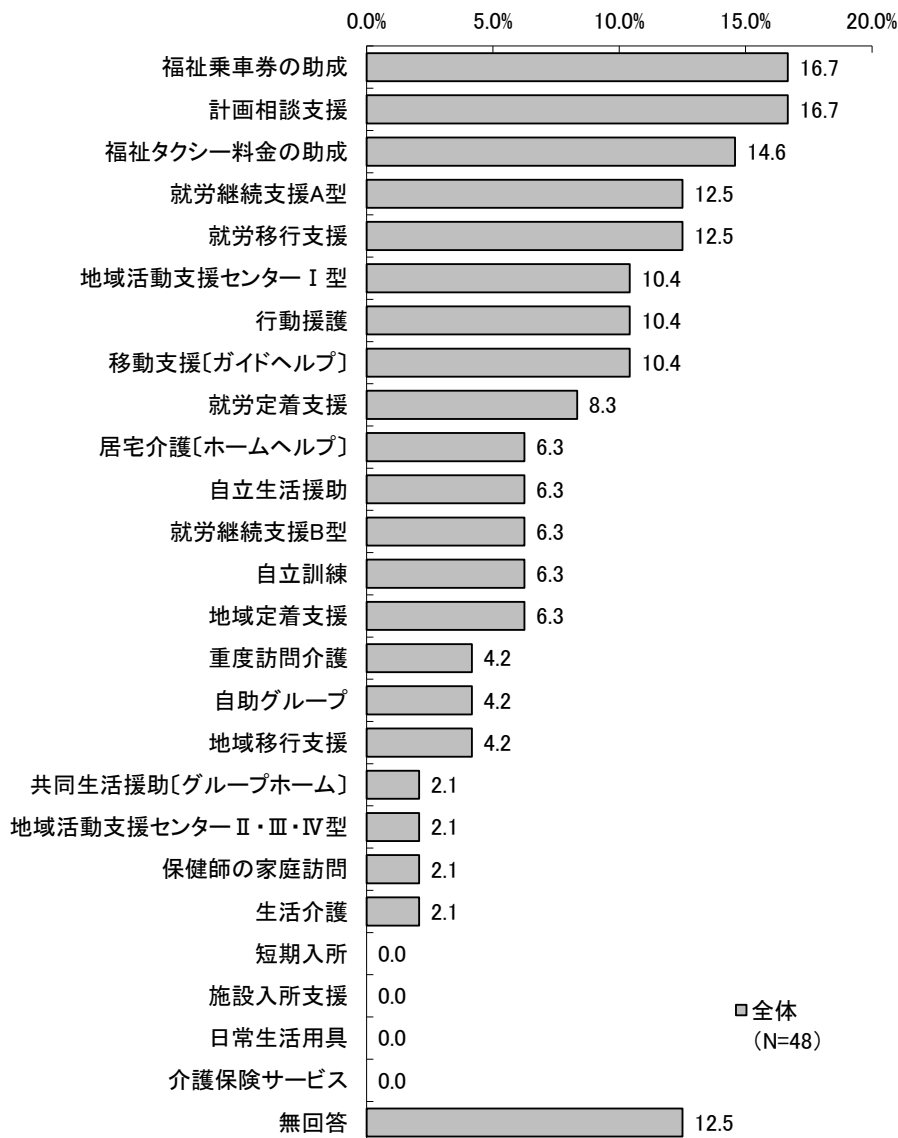


(3) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス等

[問15で「1. ある」を選ばれた方におたずねします]

問15-1 それはどのサービス・事業ですか。優先度が高いと思うものを3つまで選んでください。【事業番号は1～25の数字を記入してください】

【図表8-80 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス等】



7. 今後の暮らし方について

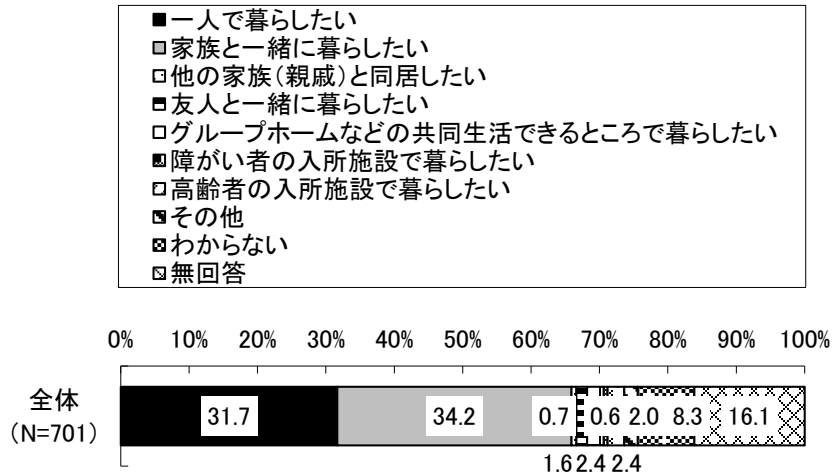
- ・希望する今後の暮らし方は、「家族と一緒に暮らしたい」（34.2%）と「一人で暮らしたい」（31.7%）が拮抗している。年齢別にみると、大きな差はみられないが、30歳代では「家族と一緒に暮らしたい」（42.2%）、60～64歳では「一人で暮らしたい」（40.0%）の割合が4割となっており他の年代に比べて高い。世帯状況別にみると、現在、夫婦のみや二世帯・三世帯同居している人は今後も「家族と一緒に暮らしたい」と考えている人が多く、特に夫婦のみでは68.1%に達している。また現在一人暮らしの人では、今後も「一人で暮らしたい」（53.3%）人が高く、グループホームの人も「一人で暮らした」（48.9%）がおよそ半数を占めている。主な診断名（集約）別にみると、認知症では「高齢者の入所施設で暮らしたい」（17.9%）の割合が他の診断に比べて高くなっている。【図表8-81、図表8-82】
- ・自宅やグループホームで生活するために必要な医療支援は、「精神科デイケアや訪問看護の充実」が21.5%で最も高く、「夜間や休日に対応（受診・入院）できる精神科の医療機関」が19.3%で続いている。年齢別にみると、大きな差はみられないが、60～64歳では「夜眠れない時などに利用できる医療電話相談」（24.4%）、65～74歳では「精神科デイケアや訪問看護の充実」（30.3%）の割合が他に年代に比べてやや高い。主な診断名（集約）別にみると、認知症では「精神科デイケアや訪問看護の充実」（35.7%）の割合が他の診断に比べて高くなっている。【図表8-83、図表8-84】
- ・自宅やグループホームなどで生活するために必要な条件は、「仕事があること」が26.2%で最も高く、「主治医や医療機関が近くにあること」が25.8%と僅差が続いている。年齢別にみると、50歳代以下では「仕事があること」が比較的高く、特に30歳代が37.6%と高くなっている。また、60～64歳では「夜間の介護を頼める人がいること」（20.0%）が他の年代に比べて高くなっている。主な診断名（集約）別にみると、認知症では「昼間の介護を頼める人がいること」（17.9%）の割合が他の診断に比べて高い。【図表8-85、図表8-86】

(1) 希望する今後の暮らし方

問16 あなたは、今後（親なき後を含む）、どのように暮らしたいと思いますか。

【○は1つだけ】

【図表8-81 希望する今後の暮らし方】



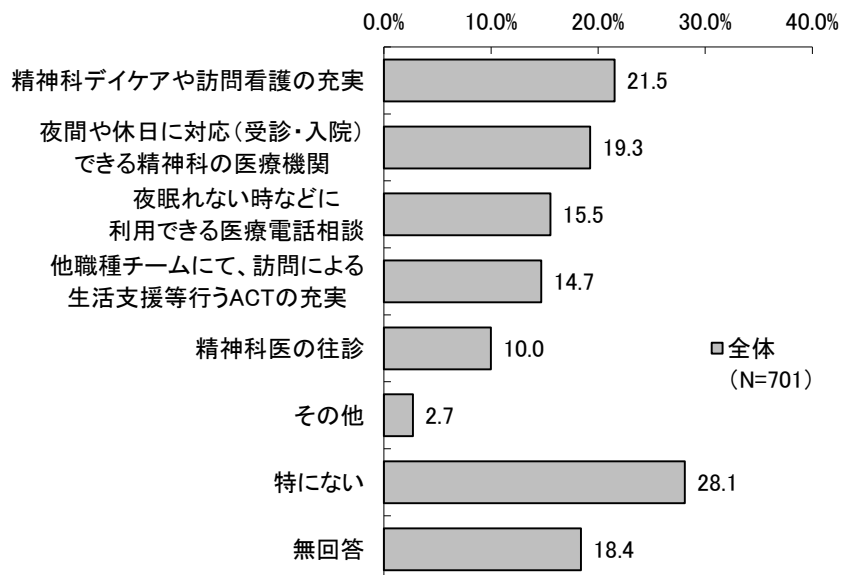
【図表8-82 年齢別、世帯状況別、主な診断名（集約）別 希望する今後の暮らし方】 (%)

	調査数(人)	希望する今後の暮らし方									
		一人暮らし	家族と一緒に暮らしたい	他の家族(親戚)と同居したい	友人と一緒に暮らしたい	グループホームなどの共同生活できるところで暮らしたい	障がい者の入所施設で暮らしたい	高齢者の入所施設で暮らしたい	その他	わからない	無回答
全体	701	31.7	34.2	0.7	1.6	2.4	0.6	2.4	2.0	8.3	16.1
年齢	29歳以下	81	33.3	27.2	1.2	3.7	-	-	6.2	7.4	21.0
	30歳代	109	28.4	42.2	0.9	-	0.9	0.9	5.5	7.3	13.8
	40歳代	185	29.2	35.1	1.1	2.7	3.2	0.5	1.1	0.5	9.7
	50歳代	148	35.1	38.5	0.7	1.4	0.7	0.7	-	0.7	10.8
	60~64歳	45	40.0	35.6	-	2.2	4.4	2.2	2.2	2.2	8.9
	65~74歳	89	34.8	25.8	-	-	4.5	-	9.0	-	9.0
	75歳以上	35	11.4	25.7	-	-	5.7	-	17.1	-	2.9
	無回答	9	55.6	22.2	-	-	11.1	-	-	-	-
全体	701	31.7	34.2	0.7	1.6	2.4	0.6	2.4	2.0	8.3	16.1
世帯状況	一人暮らし	229	53.3	15.3	1.3	2.6	2.6	0.4	1.7	2.2	7.9
	夫婦のみ	91	3.3	68.1	-	-	-	2.2	2.2	-	7.7
	二世帯同居(親と同居)	154	29.2	37.0	0.6	0.6	1.9	-	0.6	3.2	11.7
	二世帯同居(子と同居)	97	12.4	57.7	-	1.0	-	-	2.1	3.1	7.2
	三世帯同居	13	15.4	46.2	7.7	15.4	-	-	-	-	15.4
	その他(兄弟姉妹同居等)	26	19.2	42.3	-	3.8	3.8	-	7.7	-	7.7
	グループホーム	45	48.9	20.0	-	-	15.6	2.2	4.4	2.2	4.4
無回答	46	23.9	8.7	-	-	-	-	8.7	-	4.3	
全体	701	31.7	34.2	0.7	1.6	2.4	0.6	2.4	2.0	8.3	16.1
主な診断名(集約)	認知症	28	17.9	21.4	-	-	7.1	-	17.9	-	10.7
	物質依存症	50	36.0	24.0	-	2.0	2.0	4.0	4.0	-	8.0
	統合失調症	232	33.2	36.2	2.2	1.7	3.9	0.4	1.3	2.6	6.0
	気分障害	199	31.7	40.2	-	2.5	1.0	-	2.0	2.5	7.0
	その他	166	29.5	31.9	-	0.6	1.2	0.6	1.8	1.8	12.7
	診断保留	3	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	23	43.5	8.7	-	-	4.3	-	-	-	8.7
	無回答	23	43.5	8.7	-	-	4.3	-	-	-	8.7

(2) 自宅やグループホームなどで生活するために必要な医療支援

問17 あなたが、今後も自宅やグループホームなどで生活し続けるためには、どのような医療の支援が必要だと思いますか。【〇はあてはまるものすべて】

【図表8-83 自宅やグループホームなどで生活するために必要な医療支援】



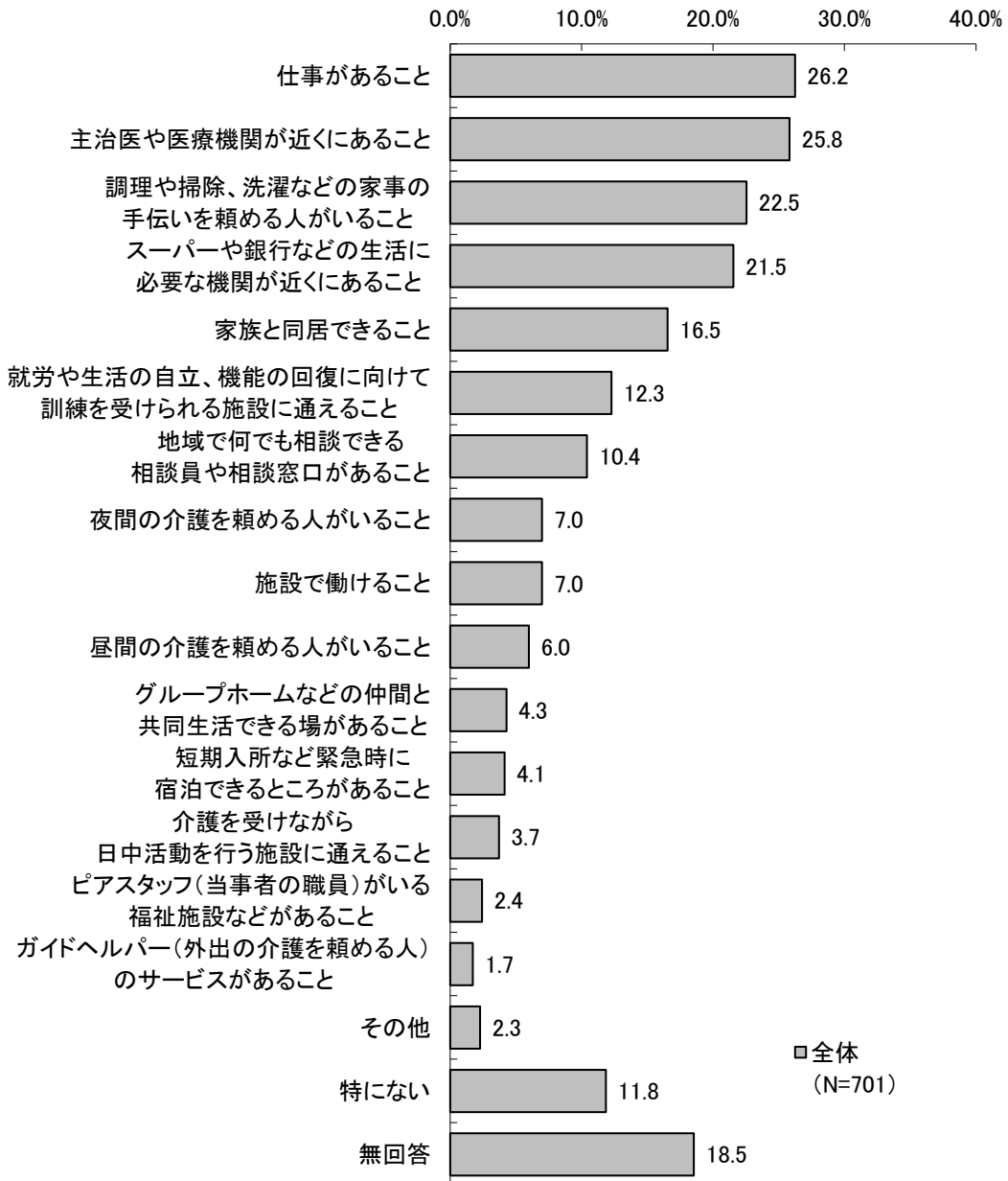
【図表8-84 年齢別、主な診断名（集約）別 自宅やグループホームなどで生活するために必要な医療支援】 (%)

	調査数 (人)	自宅やグループホームなどで生活するために必要な医療支援								
		精神科デイケアや訪問看護の充実	診療・入院や休日に対応できる精神科の医療機関	夜間や休日診療に利用できる医療電話相談	夜眠れない時などに利用できる医療電話相談	ACTによる生活支援等を行う訪問	精神科医の往診	その他	特にない	無回答
全体	701	21.5	19.3	15.5	14.7	10.0	2.7	28.1	18.4	
年齢	29歳以下	81	14.8	22.2	14.8	8.6	11.1	2.5	30.9	21.0
	30歳代	109	22.9	21.1	13.8	23.9	9.2	3.7	20.2	18.3
	40歳代	185	21.6	21.6	16.2	16.2	12.4	2.2	24.9	18.9
	50歳代	148	19.6	22.3	17.6	18.9	8.8	4.1	31.8	11.5
	60～64歳	45	17.8	17.8	24.4	6.7	11.1	4.4	31.1	15.6
	65～74歳	89	30.3	9.0	14.6	5.6	5.6	-	32.6	23.6
	75歳以上	35	22.9	5.7	-	8.6	8.6	2.9	31.4	31.4
	無回答	9	22.2	33.3	22.2	11.1	22.2	-	33.3	11.1
全体	701	21.5	19.3	15.5	14.7	10.0	2.7	28.1	18.4	
主な診断名 (集約)	認知症	28	35.7	17.9	3.6	17.9	17.9	3.6	14.3	25.0
	物質依存症	50	24.0	12.0	14.0	14.0	6.0	-	32.0	22.0
	統合失調症	232	30.6	17.2	15.9	17.2	11.2	3.0	24.6	15.5
	気分障害	199	15.6	22.6	18.1	14.1	9.5	3.5	32.7	13.1
	その他	166	15.1	20.5	16.3	12.7	9.0	2.4	27.7	24.1
	診断保留	3	-	-	33.3	-	-	-	66.7	-
	無回答	23	8.7	21.7	-	8.7	8.7	-	30.4	39.1

(3) 自宅やグループホームなどで生活するために必要な条件

問18 あなたが、今後も自宅やグループホームなどで生活し続けるためには、どのような条件が必要だと思いますか。【〇はあてはまるものすべて】

【図表8-85 自宅やグループホームなどで生活するために必要な条件】



【図表8-86 年齢別、主な診断名（集約）別
自宅やグループホームなどで生活するために必要な条件】（%）

	調査数（人）	自宅やグループホームなどで生活するために必要な条件										
		仕事があること	主治医や医療機関が近くに	家事や掃除、洗濯などの家事	調理や掃除、洗濯などの家事	必要機器が近くに	スパーや銀行などの生活	家族と同居できること	回復施設に通えること	就業や生活の自立、機能の	地域や何でも相談できる相	夜間の介護を頼める人がい
全体	701	26.2	25.8	22.5	21.5	16.5	12.3	10.4	7.0	7.0		
年齢	29歳以下	81	35.8	22.2	19.8	18.5	16.0	14.8	6.2	2.5	6.2	
	30歳代	109	37.6	23.9	21.1	16.5	16.5	21.1	11.0	8.3	4.6	
	40歳代	185	33.0	29.2	20.5	24.3	20.5	14.1	11.4	5.4	9.7	
	50歳代	148	24.3	27.7	27.7	25.7	17.6	10.8	12.8	6.1	9.5	
	60～64歳	45	8.9	20.0	24.4	24.4	13.3	8.9	11.1	20.0	6.7	
	65～74歳	89	6.7	24.7	23.6	19.1	10.1	4.5	10.1	6.7	3.4	
	75歳以上	35	5.7	17.1	17.1	8.6	14.3	-	2.9	5.7	-	
	無回答	9	55.6	55.6	22.2	44.4	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1	
全体	701	26.2	25.8	22.5	21.5	16.5	12.3	10.4	7.0	7.0		
主な診断名（集約）	認知症	28	17.9	21.4	17.9	10.7	14.3	-	10.7	7.1	-	
	物質依存症	50	20.0	30.0	12.0	14.0	16.0	14.0	18.0	2.0	10.0	
	統合失調症	232	23.7	26.7	25.4	24.1	19.4	15.5	8.2	8.2	9.5	
	気分障害	199	30.7	27.1	24.6	21.6	18.1	12.6	10.6	8.0	7.5	
	その他	166	27.1	24.1	21.1	19.3	13.3	10.2	10.8	6.6	4.2	
	診断保留	3	-	-	33.3	-	-	33.3	33.3	-	-	
	無回答	23	34.8	17.4	13.0	43.5	4.3	-	8.7	-	-	

	調査数（人）	自宅やグループホームなどで生活するために必要な条件										
		屋間の介護を頼める人がい	共同生活できる場がある間	グループホームなどがあること	短期入所などが緊急時に宿泊	介護施設に通えること	介護を受ける施設に通えること	ピアサポート（福祉施設などの職	があること	ガイドヘルパー（外出の介	その他	特にな
全体	701	6.0	4.3	4.1	3.7	2.4	1.7	2.3	11.8	18.5		
年齢	29歳以下	81	2.5	2.5	3.7	2.5	2.5	-	1.2	14.8	21.0	
	30歳代	109	7.3	3.7	2.8	1.8	3.7	0.9	5.5	9.2	15.6	
	40歳代	185	2.2	4.3	1.6	2.2	2.2	1.1	1.1	8.6	20.0	
	50歳代	148	5.4	4.1	6.1	2.7	2.7	2.7	1.4	14.2	12.2	
	60～64歳	45	8.9	6.7	6.7	6.7	2.2	4.4	4.4	11.1	13.3	
	65～74歳	89	12.4	4.5	6.7	10.1	2.2	2.2	3.4	15.7	23.6	
	75歳以上	35	11.4	8.6	5.7	5.7	-	-	-	14.3	37.1	
	無回答	9	11.1	-	-	-	-	11.1	-	-	11.1	
全体	701	6.0	4.3	4.1	3.7	2.4	1.7	2.3	11.8	18.5		
主な診断名（集約）	認知症	28	17.9	7.1	10.7	10.7	7.1	-	-	7.1	32.1	
	物質依存症	50	2.0	6.0	6.0	2.0	2.0	-	-	14.0	24.0	
	統合失調症	232	6.5	6.9	2.6	5.2	2.6	3.0	3.9	10.3	15.5	
	気分障害	199	7.0	1.5	5.0	3.5	2.0	1.5	0.5	11.1	14.1	
	その他	166	4.2	3.0	3.6	1.2	2.4	0.6	3.6	14.5	22.3	
	診断保留	3	-	-	-	33.3	-	33.3	-	33.3	-	
	無回答	23	-	4.3	4.3	-	-	-	-	13.0	34.8	

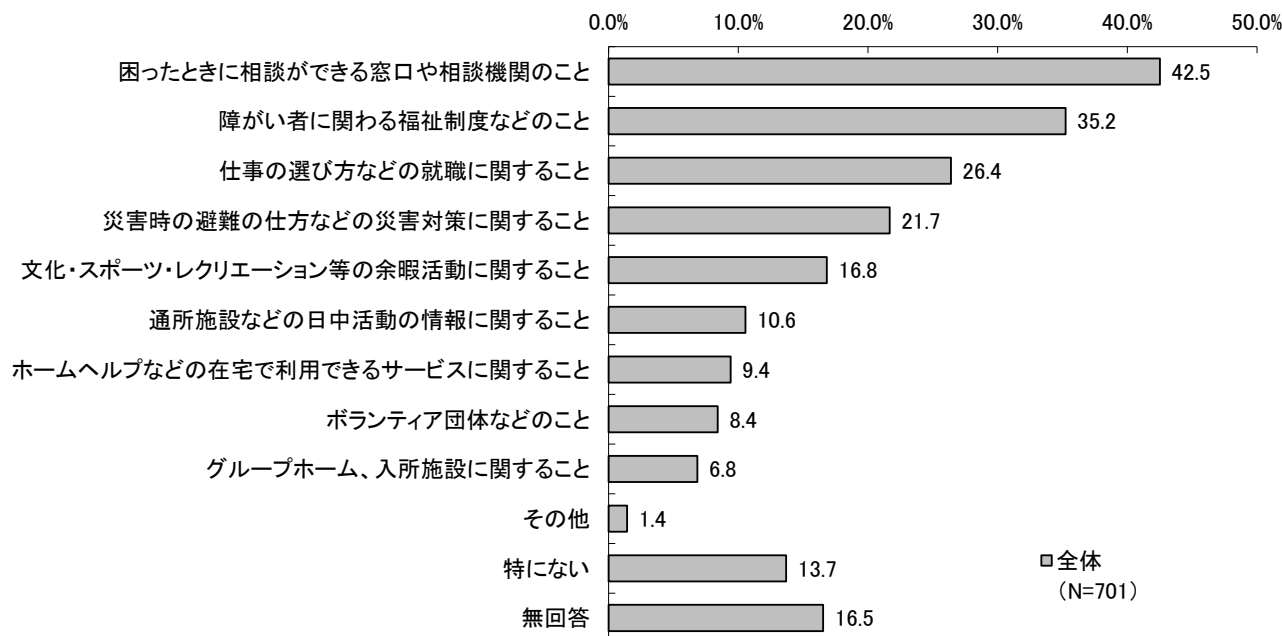
8. 情報収集や相談について

- ・福岡市からの情報で知りたいことは、「困ったときに相談ができる窓口や相談機関のこと」が42.5%で最も高く、次いで「障がい者に関わる福祉制度などのこと」(35.2%)、「仕事の選び方などの就職に関すること」(26.4%)の順となっている。年齢別にみると、30歳代以下では「仕事の選び方などの就職に関すること」の割合が4割前後と40歳以上に比べて高い。主な診断名（集約）別に見ると、物質依存症では「文化・スポーツ・レクリエーション等の余暇活動に関すること」(30.0%)の割合が、他の診断に比べて高くなっている。【図表8-87、図表8-88】
- ・福岡市の福祉施策情報の入手先は、「市政だより」が45.6%で最も高く、「病院、診療所（主治医、スタッフなど）」(28.4%)、「テレビ・ラジオ」(25.2%)、「ホームページ、インターネット」(20.3%)が2割台で続いている。年齢別にみると、30歳代以下では「ホームページ、インターネット」が3割前後で高く、60～64歳では「市役所、区役所、保健福祉センター」(26.7%)が他の年代に比べて高くなっている。主な診断名（集約）別に見ると、物質依存症では「テレビ・ラジオ」(38.0%)、「新聞」(28.0%)、気分障害では「ホームページ、インターネット」(33.7%)の割合が、他の年代に比べて高い。【図表8-89、図表8-90】
- ・生活の中で困っていることや心配なことは、「生活費などの経済的なこと」が33.1%で最も高く、次いで「老後や将来のこと」(29.1%)、「健康や病気、障がいのこと」(27.0%)の順となっている。年齢別にみると、30歳代以下では「就労のこと」が3割弱、更に30歳代では「家族との関係」(30.3%)についても40歳以上に比べて高くなっている。【図表8-91、図表8-92】
- ・相談機関の認知度（「知っている」の割合）は、「①区保健福祉センター」(46.5%)、「④民生委員・児童委員」(35.2%)、「②福岡市精神保健福祉センター」(33.4%)、「⑤障がい者就労支援センター」(30.4%)の順で高くなっている。年齢別にみると、75歳以上では「④民生委員・児童委員」の認知率が45.7%と74歳以下に比べて高い。主な診断名（集約）別に見ると、認知症では「④民生委員・児童委員」(57.1%)、「⑩いきいきセンターふくおか」(32.1%)、物質依存症では「⑨社会福祉協議会」(40.0%)がそれぞれ他の診断に比べて高くなっている。【図表8-93、図表8-94】

(1) 福岡市からの情報で知りたいこと

問19 あなたは、生活に関することで、福岡市からどのような情報が知りたいですか。
【〇はあてはまるものすべて】

【図表8-87 福岡市からの情報で知りたいこと】



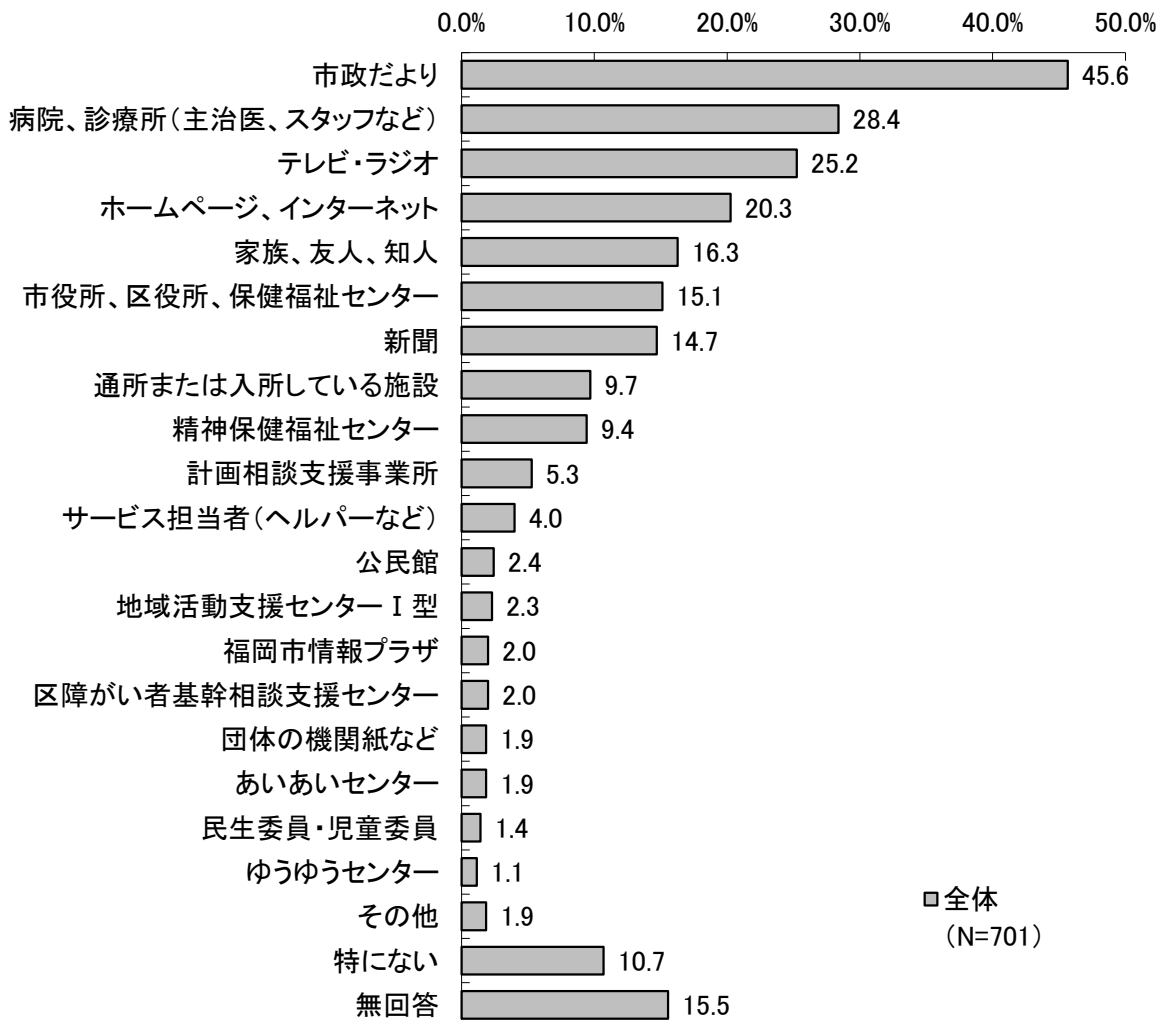
【図表8-88 年齢別、主な診断名（集約）別 福岡市からの情報で知りたいこと】 (%)

	調査数 (人)	福岡市からの情報で知りたいこと												
		困ったときに相談ができる窓口	障がい者に関わる福祉制度など	仕事の選び方などの就職に関すること	災害時の避難の仕方などの災害対策に関すること	活動に関すること	文化・スポーツ・レクリエーション等の余暇活動に関する情報	通所施設などの日中活動の情報	利用できるサービスの利用	ホームヘルプなどの在宅で利用できること	ボランティア団体などのこと	グループホーム、入所施設に関すること	その他	特にない
全体	701	42.5	35.2	26.4	21.7	16.8	10.6	9.4	8.4	6.8	1.4	13.7	16.5	
年齢	29歳以下	81	34.6	37.0	38.3	21.0	13.6	9.9	7.4	6.2	-	12.3	22.2	
	30歳代	109	45.9	43.1	45.0	25.7	21.1	12.8	9.2	12.8	6.4	2.8	8.3	13.8
	40歳代	185	43.8	39.5	30.3	23.8	16.8	9.7	8.6	9.2	4.9	-	11.4	18.4
	50歳代	148	46.6	37.2	24.3	23.0	18.2	12.8	10.1	7.4	8.1	0.7	15.5	10.1
	60～64歳	45	42.2	31.1	11.1	17.8	20.0	6.7	15.6	2.2	8.9	4.4	13.3	13.3
	65～74歳	89	42.7	24.7	4.5	20.2	15.7	10.1	11.2	10.1	10.1	1.1	20.2	18.0
	75歳以上	35	22.9	5.7	-	5.7	2.9	5.7	5.7	-	5.7	8.6	22.9	31.4
無回答	9	55.6	44.4	44.4	11.1	22.2	11.1	-	22.2	-	-	11.1	11.1	
全体	701	42.5	35.2	26.4	21.7	16.8	10.6	9.4	8.4	6.8	1.4	13.7	16.5	
主な診断名 (集約)	認知症	28	32.1	21.4	14.3	7.1	7.1	10.7	10.7	3.6	10.7	3.6	17.9	25.0
	物質依存症	50	38.0	30.0	28.0	26.0	30.0	12.0	8.0	16.0	12.0	4.0	6.0	22.0
	統合失調症	232	40.1	41.4	25.9	24.1	16.8	14.2	11.2	7.3	6.9	2.2	16.4	14.7
	気分障害	199	49.7	37.2	31.7	20.6	16.6	9.0	8.0	9.5	7.5	0.5	10.6	12.1
	その他	166	42.8	30.1	21.7	21.7	15.7	7.2	9.6	6.6	4.8	0.6	16.3	19.3
	診断保留	3	33.3	33.3	66.7	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	-
	無回答	23	26.1	21.7	26.1	13.0	13.0	8.7	-	13.0	-	-	8.7	34.8

(2) 福岡市の福祉施策情報の入手先

問20 福岡市が実施している福祉施策について、あなたが知る手掛かりとなっているのは、次のどれですか。【〇はあてはまるものすべて】

【図表8-89 福岡市の福祉施策情報の入手先】



【図表8-90 年齢別、主な診断名（集約）別 福岡市の福祉施策情報の入手先】（%）

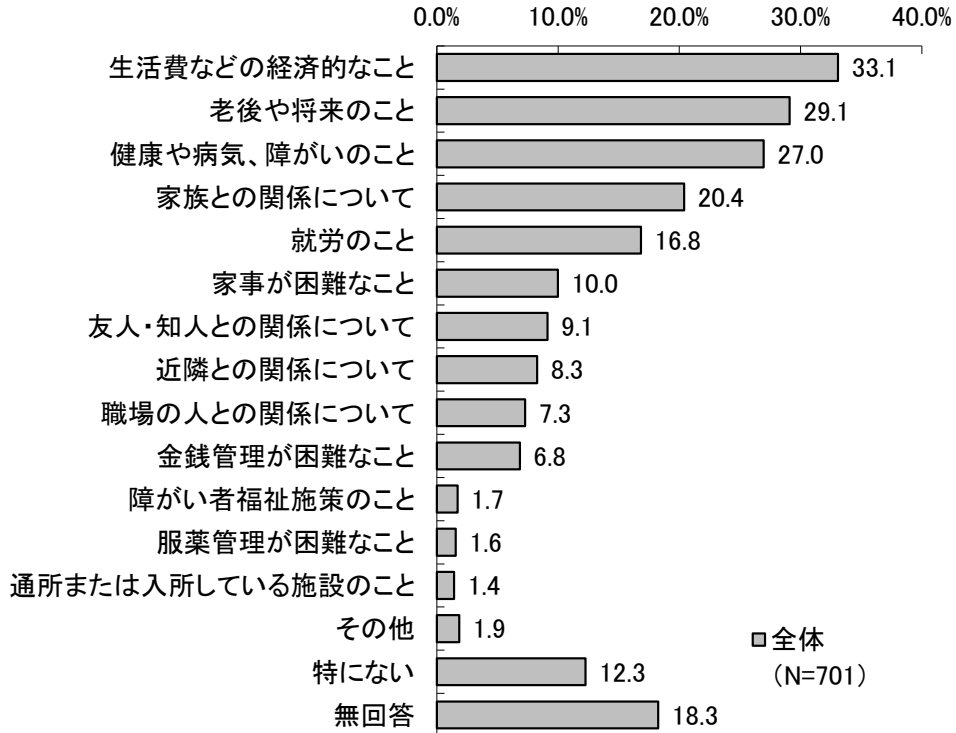
	調査数（人）	福岡市の福祉施策情報の入手先											
		市政だより	病院、診療所（主治）	テレビ・ラジオ	ホームページ、インターネット	家族、友人、知人	市役所、区役所、保健センター	新聞	通所施設または入所して	精神保健福祉センター	計画相談支援事業所	サービスペルパル担当者（ヘルパーなど）	
全体	701	45.6	28.4	25.2	20.3	16.3	15.1	14.7	9.7	9.4	5.3	4.0	
年齢	29歳以下	81	25.9	28.4	16.0	29.6	19.8	9.9	7.4	11.1	11.1	6.2	2.5
	30歳代	109	41.3	32.1	22.0	30.3	21.1	13.8	11.9	11.0	7.3	5.5	2.8
	40歳代	185	47.0	24.9	24.9	21.1	16.8	18.9	14.6	8.1	10.8	5.4	4.9
	50歳代	148	50.7	34.5	31.8	18.9	14.2	16.2	12.8	11.5	9.5	7.4	6.8
	60～64歳	45	53.3	28.9	28.9	17.8	22.2	26.7	22.2	15.6	13.3	2.2	-
	65～74歳	89	51.7	23.6	32.6	7.9	12.4	12.4	20.2	5.6	9.0	3.4	3.4
	75歳以上	35	51.4	17.1	8.6	2.9	-	2.9	25.7	2.9	-	-	2.9
	無回答	9	44.4	44.4	22.2	22.2	22.2	-	11.1	22.2	11.1	11.1	-
全体	701	45.6	28.4	25.2	20.3	16.3	15.1	14.7	9.7	9.4	5.3	4.0	
主な診断名（集約）	認知症	28	53.6	25.0	14.3	3.6	7.1	-	21.4	10.7	3.6	-	10.7
	物質依存症	50	46.0	28.0	38.0	8.0	18.0	18.0	28.0	18.0	12.0	6.0	-
	統合失調症	232	44.4	31.5	31.9	12.1	20.3	17.2	12.9	12.1	12.5	6.0	4.7
	気分障害	199	51.8	28.1	17.6	33.7	14.1	18.1	12.6	6.0	7.5	3.5	2.5
	その他	166	39.2	24.1	22.3	21.1	15.7	10.8	14.5	8.4	7.8	6.6	4.2
	診断保留	3	66.7	-	-	66.7	-	-	33.3	-	-	-	-
	無回答	23	39.1	39.1	34.8	21.7	8.7	13.0	13.0	8.7	8.7	8.7	8.7

	調査数（人）	福岡市の福祉施策情報の入手先											
		公民館	地域活動支援センター	福岡市情報プラザ	区障がい者基幹相談支援センター	団体の機関紙など	あいあいセンター	民生委員・児童委員	ゆうゆうセンター	その他	特にない	無回答	
全体	701	2.4	2.3	2.0	2.0	1.9	1.9	1.4	1.1	1.9	10.7	15.5	
年齢	29歳以下	81	1.2	1.2	-	2.5	-	3.7	-	2.5	-	17.3	19.8
	30歳代	109	0.9	3.7	4.6	2.8	1.8	1.8	-	0.9	3.7	11.0	14.7
	40歳代	185	1.6	2.2	3.8	1.6	1.6	0.5	1.1	0.5	2.2	8.6	17.8
	50歳代	148	2.7	3.4	-	1.4	3.4	2.7	2.0	2.0	2.7	8.8	8.8
	60～64歳	45	2.2	2.2	2.2	4.4	2.2	-	2.2	-	2.2	15.6	8.9
	65～74歳	89	6.7	-	1.1	1.1	2.2	1.1	3.4	1.1	-	11.2	16.9
	75歳以上	35	2.9	2.9	-	-	-	5.7	2.9	-	-	5.7	31.4
	無回答	9	-	-	-	11.1	-	-	-	-	-	11.1	11.1
全体	701	2.4	2.3	2.0	2.0	1.9	1.9	1.4	1.1	1.9	10.7	15.5	
主な診断名（集約）	認知症	28	-	3.6	-	-	-	3.6	-	3.6	-	7.1	25.0
	物質依存症	50	4.0	-	4.0	2.0	6.0	-	-	2.0	-	12.0	22.0
	統合失調症	232	2.2	4.3	2.2	3.0	3.4	1.3	1.7	0.9	2.6	9.5	13.8
	気分障害	199	3.0	2.0	2.0	2.0	-	3.5	2.0	0.5	2.0	9.0	10.6
	その他	166	2.4	0.6	1.2	0.6	1.2	0.6	1.2	1.2	1.8	15.7	18.1
	診断保留	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-
	無回答	23	-	-	4.3	4.3	-	4.3	-	4.3	-	-	34.8

(3) 困っていることや心配なこと

問21 あなたは、今の生活の中で困っていることや心配なこと、悩んでいることがありますか。
【〇はあてはまるものすべて】

【図表8-91 困っていることや心配なこと】



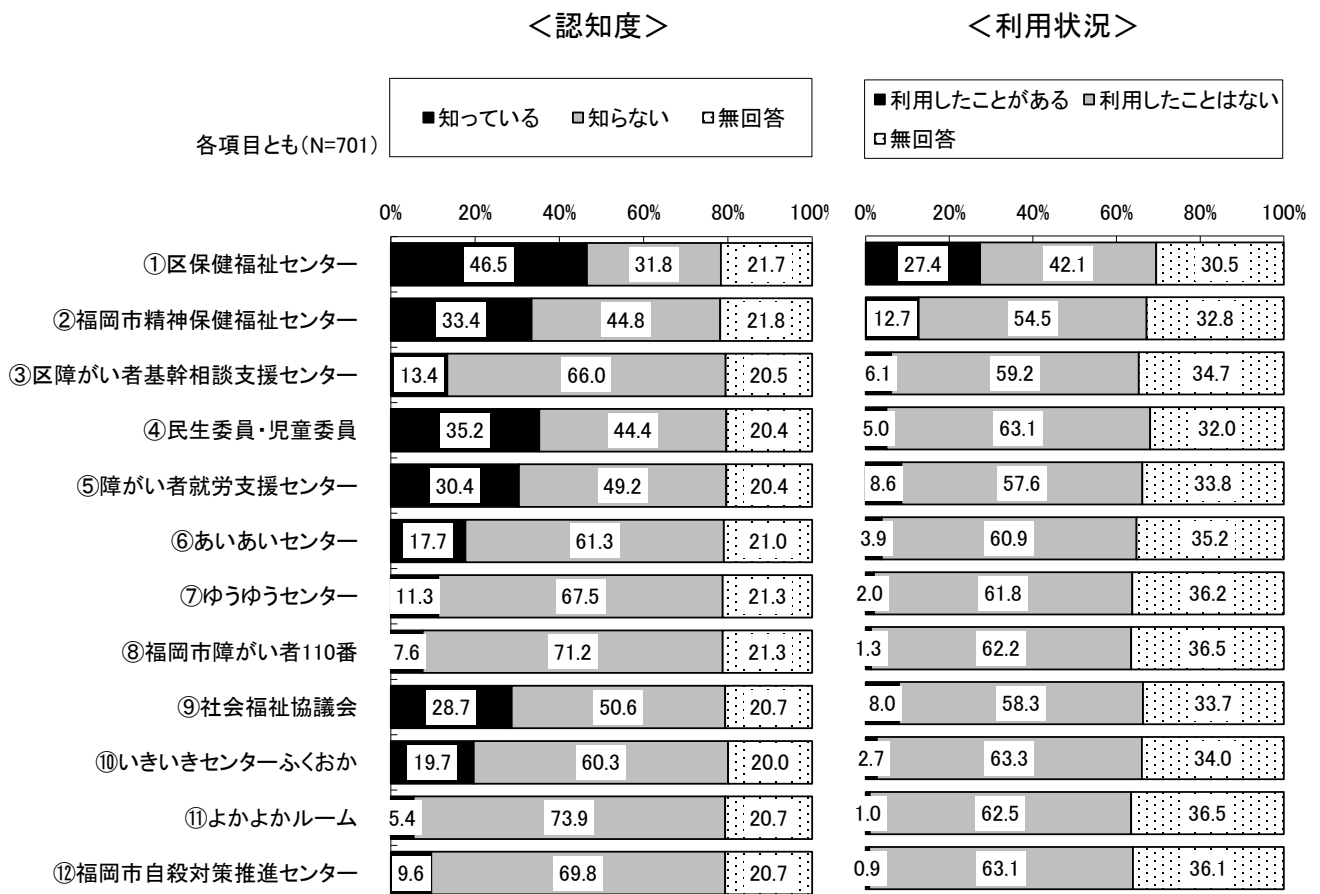
【図表8-92 年齢別、主な診断名（集約）別 困っていることや心配なこと】 (%)

	調査数 (人)	困っていることや心配なこと																
		生活費などの経済	老後や将来のこと	健康や病気、障がい	家族との関係について	就労のこと	家事が困難なこと	友人・知人との関係について	近隣との関係について	職場の人との関係について	金銭管理が困難なこと	障がい者福祉施策のこと	服薬管理が困難なこと	通所または入所している施設のこと	その他	特にない	無回答	
全体	701	33.1	29.1	27.0	20.4	16.8	10.0	9.1	8.3	7.3	6.8	1.7	1.6	1.4	1.9	12.3	18.3	
年齢	29歳以下	81	28.4	24.7	27.2	9.9	29.6	7.4	13.6	4.9	6.2	11.1	1.2	-	2.5	-	7.4	22.2
	30歳代	109	37.6	30.3	24.8	30.3	26.6	9.2	7.3	7.3	11.0	11.0	0.9	0.9	2.8	2.8	6.4	18.3
	40歳代	185	41.6	29.2	31.4	18.4	16.8	13.0	10.8	8.1	11.4	8.1	1.6	0.5	1.6	2.2	7.0	18.4
	50歳代	148	37.8	29.1	30.4	28.4	18.2	12.2	11.5	12.2	5.4	3.4	2.7	2.0	0.7	0.7	12.2	12.8
	60～64歳	45	31.1	35.6	17.8	17.8	2.2	6.7	6.7	15.6	4.4	4.4	2.2	6.7	-	4.4	17.8	13.3
	65～74歳	89	18.0	32.6	22.5	15.7	4.5	6.7	5.6	5.6	2.2	5.6	2.2	2.2	-	1.1	24.7	20.2
	75歳以上	35	2.9	14.3	17.1	8.6	-	5.7	-	2.9	-	-	-	2.9	2.9	5.7	34.3	31.4
無回答	9	44.4	44.4	33.3	11.1	22.2	11.1	-	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-	22.2
全体	701	33.1	29.1	27.0	20.4	16.8	10.0	9.1	8.3	7.3	6.8	1.7	1.6	1.4	1.9	12.3	18.3	
主な診断名 (集約)	認知症	28	14.3	21.4	25.0	25.0	3.6	17.9	3.6	3.6	3.6	7.1	3.6	3.6	3.6	3.6	25.0	17.9
	物質依存症	50	28.0	24.0	14.0	6.0	8.0	2.0	8.0	12.0	2.0	2.0	2.0	2.0	6.0	6.0	18.0	30.0
	統合失調症	232	33.2	33.2	28.0	20.7	15.9	7.8	11.6	12.1	7.8	9.9	1.7	1.7	0.4	1.3	11.2	16.4
	気分障害	199	42.7	27.1	32.7	23.6	21.1	14.6	7.0	6.5	7.0	4.5	2.5	0.5	-	0.5	9.5	13.1
	その他	166	27.7	30.7	25.3	20.5	18.7	10.2	9.6	6.0	9.0	7.8	0.6	2.4	3.0	3.0	12.0	20.5
	診断保留	3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-
	無回答	23	21.7	17.4	13.0	17.4	8.7	-	8.7	-	8.7	-	-	-	-	-	17.4	43.5

（4） 相談機関の認知度・利用状況

問22 福岡市には、精神疾患や障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる場所（機関）があります。あなたは、そういった相談場所（機関）があることを知っていましたか。また、それらの相談場所（機関）を利用したことがありますか。さらに、「利用したことがある」を選ばれた方は、その際の満足度はどうでしたか。①～⑫の項目ごとに、認知度、利用状況、満足度のそれぞれについて、○をつけてください。

【図表8-93 相談機関の認知度・利用状況】



【図表8-94 年齢別、主な診断名（集約）別 相談機関の認知度（「知っている」の割合）】（%）

	調査数（人）	相談機関の認知度（「知っている」の割合）												
		タ① 区保健福祉セン	福② 社福岡市精神保健	相③ 談支障がい者基幹	委④ 員民生委員・児童	援⑤ セン障がい者就労支	タ⑥ ああいせん	タ⑦ ゆうゆうセン	1⑧ 10番福岡市障がい者	⑨ 社会福祉協議会	タ⑩ いきいきセン	⑪ よかよかルーム	推⑫ 進センタ自殺対策	
全体	701	46.5	33.4	13.4	35.2	30.4	17.7	11.3	7.6	28.7	19.7	5.4	9.6	
年齢	29歳以下	81	40.7	35.8	7.4	16.0	29.6	18.5	13.6	2.5	21.0	9.9	8.6	8.6
	30歳代	109	52.3	38.5	11.9	30.3	32.1	22.0	13.8	6.4	33.9	17.4	2.8	12.8
	40歳代	185	42.7	33.5	14.6	36.8	40.0	17.8	11.9	7.0	28.6	17.8	4.9	9.7
	50歳代	148	50.0	39.9	14.9	43.9	33.1	18.2	10.1	10.8	27.7	23.0	4.1	10.1
	60～64歳	45	55.6	31.1	24.4	42.2	24.4	22.2	13.3	15.6	40.0	20.0	8.9	11.1
	65～74歳	89	47.2	23.6	11.2	36.0	14.6	14.6	9.0	4.5	25.8	22.5	6.7	7.9
	75歳以上	35	31.4	11.4	11.4	45.7	11.4	5.7	5.7	8.6	28.6	37.1	2.9	2.9
	無回答	9	55.6	33.3	11.1	11.1	33.3	-	-	11.1	22.2	22.2	22.2	-
全体	701	46.5	33.4	13.4	35.2	30.4	17.7	11.3	7.6	28.7	19.7	5.4	9.6	
主な診断名（集約）	認知症	28	42.9	17.9	14.3	57.1	25.0	14.3	10.7	14.3	32.1	32.1	7.1	7.1
	物質依存症	50	42.0	32.0	20.0	40.0	30.0	22.0	12.0	16.0	40.0	28.0	14.0	18.0
	統合失調症	232	46.6	34.1	12.1	28.0	28.0	12.9	6.5	6.9	25.9	16.8	3.4	5.6
	気分障害	199	54.3	39.7	14.1	38.7	37.2	20.1	14.1	6.0	29.6	21.1	5.0	12.6
	その他	166	41.0	28.9	13.3	36.1	27.7	22.3	15.1	6.0	28.9	18.7	6.0	9.0
	診断保留	3	66.7	33.3	33.3	66.7	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-	33.3
	無回答	23	30.4	26.1	4.3	30.4	21.7	8.7	8.7	13.0	17.4	8.7	4.3	8.7

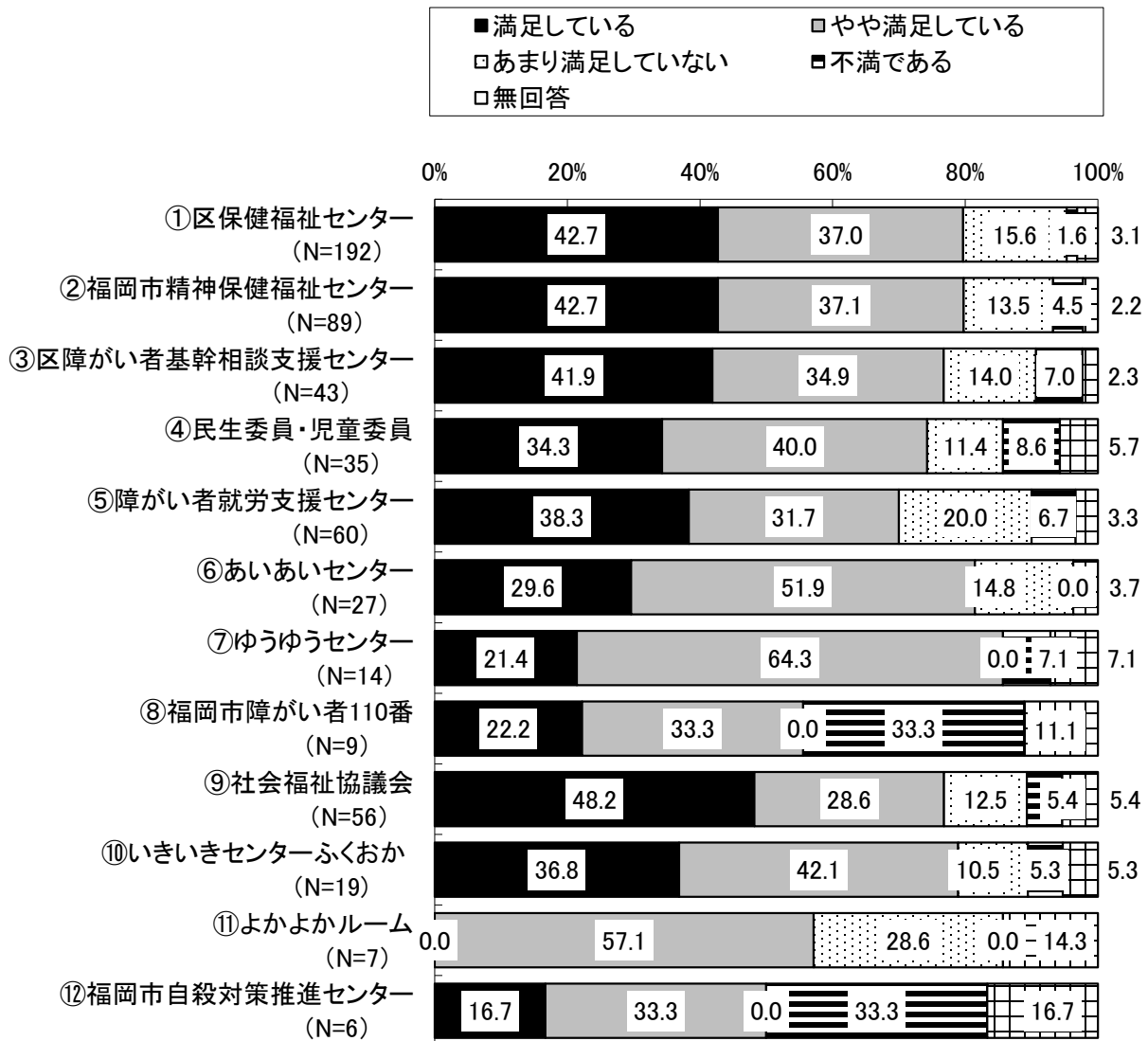
【図表8-95 年齢別、主な診断名（集約）別 相談機関の利用状況（「利用したことがある」の割合）】（%）

	調査数（人）	相談機関の利用状況（「利用したことがある」の割合）												
		タ① 区保健福祉セン	福② 社福岡市精神保健	相③ 談支障がい者基幹	委④ 員民生委員・児童	援⑤ セン障がい者就労支	タ⑥ ああいせん	タ⑦ ゆうゆうセン	1⑧ 10番福岡市障がい者	⑨ 社会福祉協議会	タ⑩ いきいきセン	⑪ よかよかルーム	推⑫ 進センタ自殺対策	
全体	701	27.4	12.7	6.1	5.0	8.6	3.9	2.0	1.3	8.0	2.7	1.0	0.9	
年齢	29歳以下	81	23.5	14.8	2.5	1.2	11.1	3.7	2.5	-	6.2	1.2	3.7	-
	30歳代	109	33.9	15.6	3.7	2.8	11.0	6.4	1.8	-	6.4	-	-	-
	40歳代	185	22.7	9.7	6.5	7.0	9.2	4.9	3.2	1.6	7.0	1.6	0.5	1.1
	50歳代	148	29.7	16.9	8.8	6.1	11.5	3.4	1.4	2.7	10.8	2.7	-	2.0
	60～64歳	45	40.0	15.6	15.6	6.7	2.2	4.4	2.2	2.2	17.8	4.4	4.4	-
	65～74歳	89	31.5	10.1	4.5	5.6	2.2	1.1	1.1	1.1	7.9	5.6	-	1.1
	75歳以上	35	2.9	-	-	2.9	-	-	-	-	-	11.4	-	-
	無回答	9	33.3	11.1	11.1	-	22.2	-	-	-	-	-	11.1	-
全体	701	27.4	12.7	6.1	5.0	8.6	3.9	2.0	1.3	8.0	2.7	1.0	0.9	
主な診断名（集約）	認知症	28	17.9	-	3.6	7.1	-	3.6	3.6	3.6	3.6	10.7	-	-
	物質依存症	50	24.0	14.0	6.0	8.0	6.0	2.0	2.0	-	8.0	2.0	-	2.0
	統合失調症	232	33.2	16.8	5.6	6.5	9.5	2.6	1.3	2.6	11.6	3.4	1.3	-
	気分障害	199	29.6	11.6	8.0	4.5	7.5	3.0	1.5	0.5	5.0	1.5	0.5	0.5
	その他	166	22.9	10.8	6.0	3.0	9.6	7.8	3.6	0.6	7.8	2.4	1.2	2.4
	診断保留	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	23	4.3	8.7	-	-	17.4	-	-	-	4.3	-	4.3	-

(5) 相談機関の満足度

問2 2 福岡市には、精神疾患や障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる場所（機関）があります。あなたは、そういった相談場所（機関）があることを知っていましたか。また、それらの相談場所（機関）を利用したことがありますか。さらに、「利用したことがある」を選ばれた方は、その際の満足度はどうでしたか。①～⑫の項目ごとに、認知度、利用状況、満足度のそれぞれについて、○をつけてください。

【図表8-96 相談機関の満足度】



【図表8-97 年齢別、主な診断名（集約）別 相談機関の満足度（「満足している」の割合）】（%）

		相談機関の満足度（「満足している」の割合）												
		① 区保健福祉センター	② 福岡市精神保健福祉センター	③ 区障がい者基幹相談支援センター	④ 民生委員・児童委員	⑤ 障がい者就労支援センター	⑥ あいあいセンター	⑦ ゆうゆうセンター	⑧ 福岡市障がい者110番	⑨ 社会福祉協議会	⑩ いきいきセンターふくおか	⑪ よかよかルーム	⑫ 福岡市自殺対策推進センター	
N=		192	89	43	35	60	27	14	9	56	19	7	6	
全体		42.7	42.7	41.9	34.3	38.3	29.6	21.4	22.2	48.2	36.8	-	16.7	
年齢	29歳以下	31.6	50.0	50.0	-	55.6	33.3	50.0	-	60.0	-	-	-	
	30歳代	24.3	52.9	-	33.3	25.0	28.6	-	-	42.9	-	-	-	
	40歳代	45.2	22.2	33.3	30.8	41.2	22.2	33.3	33.3	61.5	33.3	-	-	
	50歳代	43.2	32.0	53.8	33.3	29.4	60.0	-	25.0	31.3	25.0	-	33.3	
	60～64歳	50.0	57.1	57.1	33.3	-	-	-	-	62.5	50.0	-	-	
	65～74歳	64.3	77.8	50.0	60.0	50.0	-	-	-	42.9	40.0	-	-	
	75歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	
	無回答	66.7	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	
全体		42.7	42.7	41.9	34.3	38.3	29.6	21.4	22.2	48.2	36.8	-	16.7	
主な診断名 （集約）	認知症	100.0	-	100.0	-	-	100.0	100.0	100.0	-	33.3	-	-	
	物質依存症	58.3	42.9	100.0	50.0	-	-	-	-	75.0	100.0	-	-	
	統合失調症	44.2	53.8	46.2	40.0	40.9	33.3	-	16.7	48.1	37.5	-	-	
	気分障害	28.8	21.7	12.5	11.1	20.0	33.3	-	-	50.0	33.3	-	-	
	その他	47.4	38.9	60.0	60.0	62.5	23.1	33.3	-	38.5	25.0	-	25.0	
	診断保留	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		無回答	100.0	100.0	-	-	25.0	-	-	-	100.0	-	-	-

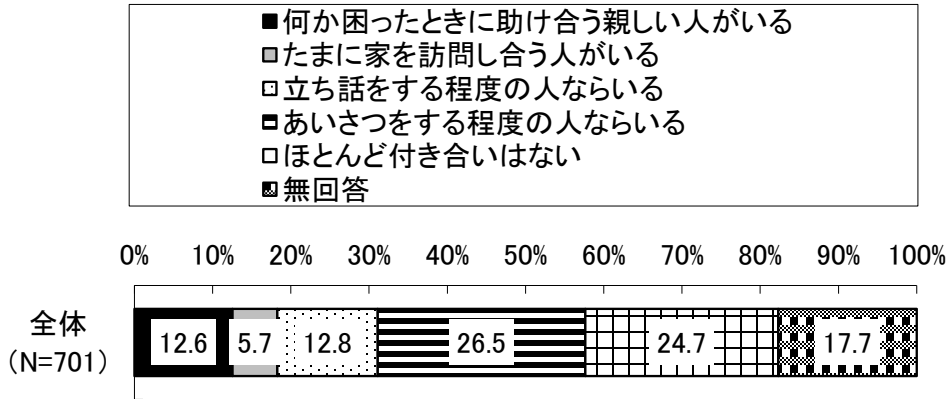
9. 地域との関わりについて

- ・近所の方との関係は、「あいさつをする程度の人ならいる」（26.5%）が最も高く、「ほとんど付き合いはない」（24.7%）が僅差で続いている。年齢別にみると、若い層ほど「ほとんど付き合いはない」の割合が高くなる傾向がみられ、29歳以下の近所付き合いは浅い。世帯状況別にみると、一人暮らしとその他（兄弟姉妹同居等）では「ほとんど付き合いはない」が4割程度と高く、グループホームでは「あいさつをする程度の人ならいる」が37.8%と他の世帯状況に比べて高い。主な診断名（集約）別にみると、認知症では「立ち話をする程度の人ならいる」（28.6%）の割合が他の診断に比べて高くなっている。【図表8-98、図表8-99】
- ・地域行事への参加状況は、「参加していない」（46.8%）がおおよそ半数を占めており、「参加している」は8.8%、「たまに参加している」は11.7%となっている。年齢別にみると、30歳代では「参加していない」が57.8%を占めている。参加率が比較的高いのは65～74歳である。主な診断名（集約）別にみると、物質依存症では「参加している」（16.0%）と「たまに参加している」（18.0%）を合わせた割合が34.0%と他の診断に比べて参加率が高くなっている。【図表8-100、図表8-101】
- ・地域住民のボランティア参加の際に望みたい支援交流は、「普段から定期的に声掛けをする」が18.7%で最も高く、次いで「趣味やスポーツ活動を一緒にする」（18.5%）、「世間話をして一緒に過ごす」（18.1%）が僅差で続いている。主な診断名（集約）別にみると、物質依存症では「趣味やスポーツ活動を一緒にする」（30.0%）、「地域の行事やイベントと一緒に参加する」（26.0%）といった地域と関わった支援が他の診断に比べて高くなっている。【図表8-102、図表8-103】

(1) 近所の方との関係

問23 あなたのご近所の方との関係は、次のどれに近いですか。【○は1つだけ】

【図表8-98 近所の方との関係】



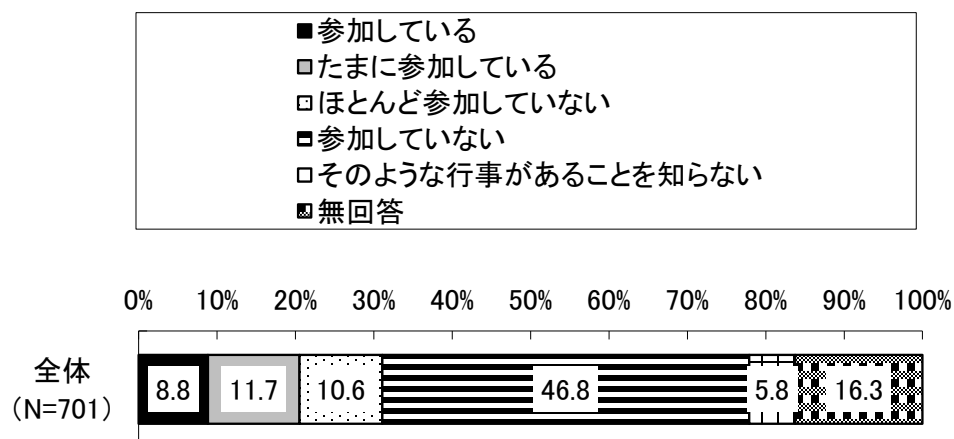
【図表8-99 性別、年齢別、世帯状況別、主な診断名（集約）別 近所の方との関係】 (%)

	調査数 (人)	近所の方との関係						無回答
		が助け合 う親しい 人	何か困 ったと きに	合 う ま に 家 を 訪 問 し	の 立 ち 話 を す る 程 度	度 あ い さ つ を す る 程	は ほ ん と ど 付 き 合 い	
全体	701	12.6	5.7	12.8	26.5	24.7	17.7	
性別	男性	327	10.4	5.2	11.6	30.0	26.6	16.2
	女性	367	14.7	6.0	14.2	23.7	22.6	18.8
	無回答	7	-	14.3	-	14.3	42.9	28.6
全体	701	12.6	5.7	12.8	26.5	24.7	17.7	
年齢	29歳以下	81	2.5	3.7	3.7	34.6	34.6	21.0
	30歳代	109	11.0	7.3	13.8	25.7	28.4	13.8
	40歳代	185	11.9	4.3	12.4	25.4	25.4	20.5
	50歳代	148	12.2	5.4	16.2	29.7	24.3	12.2
	60~64歳	45	20.0	6.7	8.9	24.4	20.0	20.0
	65~74歳	89	23.6	9.0	15.7	18.0	15.7	18.0
	75歳以上	35	11.4	2.9	20.0	25.7	11.4	28.6
	無回答	9	-	11.1	-	33.3	44.4	11.1
全体	701	12.6	5.7	12.8	26.5	24.7	17.7	
世帯状況	一人暮らし	229	14.4	6.6	9.2	19.7	38.4	11.8
	夫婦のみ	91	13.2	6.6	12.1	35.2	15.4	17.6
	二世帯同居(親と同居)	154	8.4	5.2	16.2	33.8	18.8	17.5
	二世帯同居(子と同居)	97	17.5	6.2	22.7	21.6	15.5	16.5
	三世帯同居	13	23.1	-	30.8	38.5	7.7	-
	その他(兄弟姉妹同居等)	26	19.2	-	-	23.1	42.3	15.4
	グループホーム	45	6.7	6.7	11.1	37.8	22.2	15.6
無回答	46	4.3	4.3	4.3	17.4	10.9	58.7	
全体	701	12.6	5.7	12.8	26.5	24.7	17.7	
主な診断名 (集約)	認知症	28	7.1	3.6	28.6	21.4	14.3	25.0
	物質依存症	50	16.0	2.0	12.0	26.0	18.0	26.0
	統合失調症	232	10.8	8.6	12.9	29.7	22.8	15.1
	気分障害	199	15.6	4.0	12.6	25.1	29.6	13.1
	その他	166	12.7	4.8	10.8	24.1	26.5	21.1
	診断保留	3	-	33.3	33.3	33.3	-	-
	無回答	23	4.3	4.3	8.7	30.4	17.4	34.8

(2) 地域行事への参加状況

問24 ここ2～3年の間、地域での行事（町内会などが実施する防災訓練、夏祭りなど）に参加したことがありますか。【○は1つだけ】

【図表8-100 地域行事への参加状況】



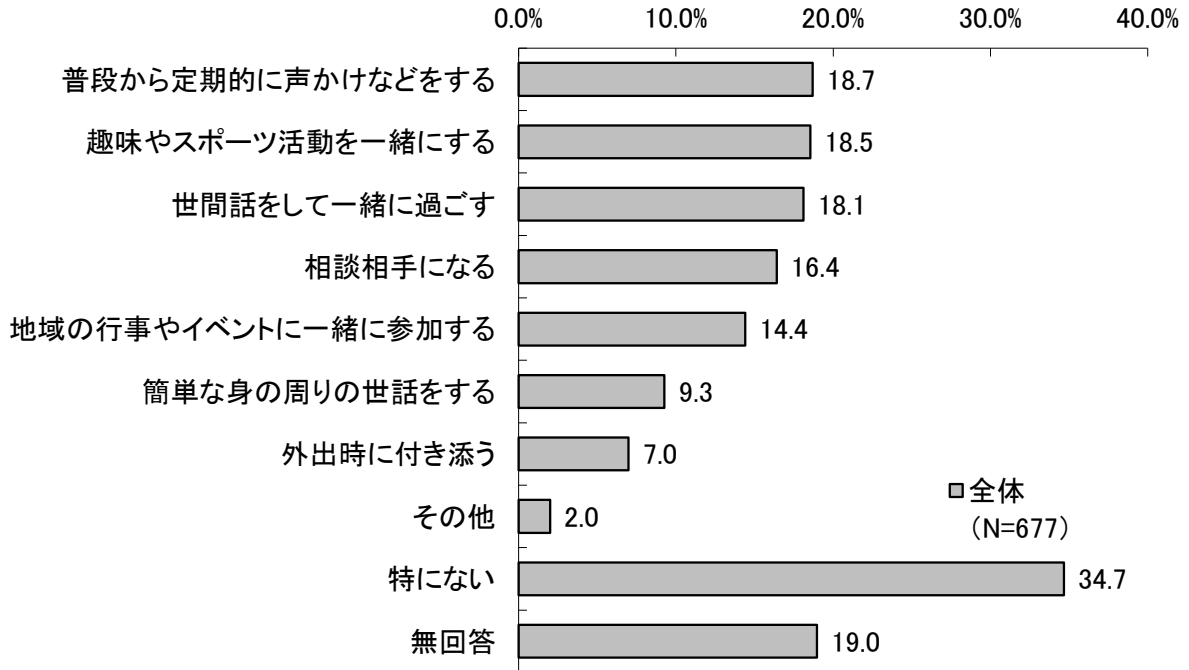
【図表8-101 性別、年齢別、主な診断名（集約）別 地域行事への参加状況】 (%)

	調査数（人）	地域行事への参加状況						
		参加している	たまに参加している	ほとんど参加していない	参加していない	そのような行事がない	無回答	
全体	701	8.8	11.7	10.6	46.8	5.8	16.3	
性別	男性	327	9.5	12.5	10.4	47.1	6.1	14.4
	女性	367	8.4	10.9	10.6	46.9	5.4	17.7
	無回答	7	-	14.3	14.3	28.6	14.3	28.6
全体	701	8.8	11.7	10.6	46.8	5.8	16.3	
年齢	29歳以下	81	6.2	7.4	8.6	46.9	8.6	22.2
	30歳代	109	6.4	11.0	7.3	57.8	5.5	11.9
	40歳代	185	8.6	13.0	13.0	41.6	5.4	18.4
	50歳代	148	9.5	9.5	10.1	51.4	7.4	12.2
	60～64歳	45	4.4	20.0	15.6	35.6	6.7	17.8
	65～74歳	89	18.0	12.4	11.2	42.7	2.2	13.5
	75歳以上	35	5.7	14.3	5.7	42.9	2.9	28.6
無回答	9	-	11.1	11.1	55.6	11.1	11.1	
全体	701	8.8	11.7	10.6	46.8	5.8	16.3	
主な診断名（集約）	認知症	28	3.6	14.3	3.6	50.0	3.6	25.0
	物質依存症	50	16.0	18.0	4.0	40.0	2.0	20.0
	統合失調症	232	10.3	9.9	12.5	47.0	6.0	14.2
	気分障害	199	5.5	12.6	11.1	53.8	5.5	11.6
	その他	166	9.6	11.4	9.6	42.2	7.2	19.9
	診断保留	3	-	-	66.7	33.3	-	-
無回答	23	8.7	8.7	8.7	30.4	8.7	34.8	

(3) 地域住民のボランティア参加の際に望みたい支援交流

問25 あなたは、地域の方が何かボランティア活動をしたいと思っている場合、どのような支援交流があったらいいと思いますか。【○はあてはまるものすべて】

【図表8-102 地域住民のボランティア参加の際に望みたい支援交流】



【図表8-103 地域住民のボランティア参加の際に望みたい支援交流】

	調査数 (人)	地域住民のボランティア参加の際に望みたい支援交流										
		声かけから定期的に	趣味やスポーツに	世間話をして一緒に	相談相手になる	地域の行事やイベントに	簡単な身の周りの	外出時に付き添う	その他	特にない	無回答	
全体	701	18.7	18.5	18.1	16.4	14.4	9.3	7.0	2.0	34.7	19.0	
性別	男性	327	18.3	22.9	19.0	17.7	16.5	9.8	7.0	0.9	34.3	17.4
	女性	367	19.3	14.7	17.4	15.5	12.3	9.0	7.1	3.0	34.9	20.2
	無回答	7	-	14.3	14.3	-	28.6	-	-	-	42.9	28.6
全体	701	18.7	18.5	18.1	16.4	14.4	9.3	7.0	2.0	34.7	19.0	
年齢	29歳以下	81	13.6	18.5	17.3	19.8	16.0	4.9	4.9	1.2	35.8	22.2
	30歳代	109	22.9	24.8	25.7	18.3	14.7	6.4	6.4	4.6	32.1	14.7
	40歳代	185	20.5	20.5	20.5	15.1	17.3	11.4	8.1	1.1	32.4	20.5
	50歳代	148	18.9	18.9	18.9	20.9	15.5	13.5	8.8	0.7	35.8	15.5
	60～64歳	45	24.4	13.3	11.1	13.3	11.1	11.1	6.7	8.9	31.1	17.8
	65～74歳	89	15.7	13.5	12.4	13.5	10.1	9.0	4.5	1.1	38.2	18.0
	75歳以上	35	8.6	5.7	5.7	5.7	-	-	5.7	-	40.0	37.1
	無回答	9	11.1	22.2	11.1	-	33.3	-	11.1	-	44.4	11.1
全体	701	18.7	18.5	18.1	16.4	14.4	9.3	7.0	2.0	34.7	19.0	
主な診断名 (集約)	認知症	28	10.7	3.6	3.6	10.7	3.6	3.6	-	3.6	39.3	35.7
	物質依存症	50	20.0	30.0	18.0	18.0	26.0	10.0	8.0	2.0	24.0	20.0
	統合失調症	232	20.7	19.8	19.0	18.1	15.9	12.5	8.2	2.2	31.5	18.1
	気分障害	199	19.1	19.6	18.6	16.6	10.1	8.0	5.5	2.0	39.2	15.1
	その他	166	17.5	15.7	18.7	15.1	15.7	7.2	7.8	1.2	38.0	19.9
	診断保留	3	-	66.7	33.3	-	33.3	-	-	33.3	-	-
無回答	23	13.0	4.3	17.4	13.0	13.0	8.7	8.7	-	26.1	34.8	

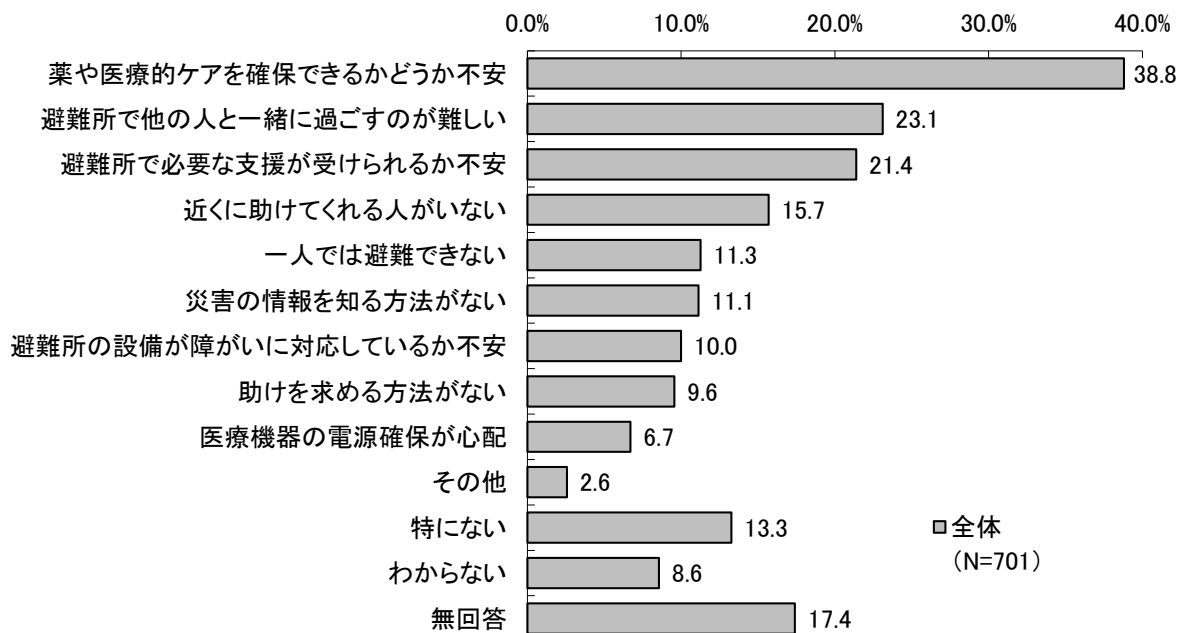
10. 防災について

- ・地震などの災害発生時に困ることや不安なことは、「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が38.8%で最も高く、次いで「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」(23.1%)、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」(21.4%)が2割台で続いている。年齢別にみると、30歳代では「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が49.5%とおおよそ半数を占め他に年代比べて高くなっている。世帯状況別にみると、二世帯同居（親と同居）では「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」(50.0%)、その他（兄弟姉妹同居等）やグループホームでは「特にない」の割合が2割強と他の年代に比べて高い。主な診断名（集約）別にみると、認知症では「一人では避難できない」(21.4%)の割合が高い。【図表8-104、図表8-105】
- ・災害への備えは、「特にない」が50.4%と半数を占めている。年齢別にみると、60～64歳では、「非常時持ち出し品の用意、非常食などの備蓄をしている」(26.7%)が、他の年代に比べて高くなっている。世帯状況別にみると、その他（兄弟姉妹同居等）やグループホームではいずれも「特にない」が6割強を占める。【図表8-106、図表8-107】
- ・災害時に頼れる人は、「同居の家族」が36.5%で最も高く、次いで「同居していない家族」(20.1%)、「友人、知人」(15.4%)の順となっている。世帯状況別にみると、一人暮らしでは他に比べて「頼れる人がいない」(26.2%)の割合が高くなっている。また夫婦のみ、二世帯同居（親と同居）、二世帯同居（子と同居）、その他（兄弟姉妹同居等）では「同居の家族」が5～7割台と高くなっており、グループホームでは「入所している施設のスタッフ」が71.1%を占めている。主な診断名（集約）別にみると、物質依存症では「近所の人」が18.0%と他の診断に比べて高くなっている。【図表8-108、図表8-109】
- ・福岡市の安全・安心の為の社会環境整備の実感度は、『感じている』（「感じている」＋「どちらかといえば感じている」の合計）の割合が33.6%となっている。年齢別にみると、65～74歳では『感じている』が43.8%と4割強が実感している。世帯状況別にみると、グループホームでは『感じている』が44.5%と高い。一方、その他（兄弟姉妹同居等）では『感じていない』（「どちらかといえば感じていない」＋「感じていない」）が34.6%を占め『感じている』を上回っている。【図表8-110、図表8-111】

(1) 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと

問26 あなたが、地震などの災害が発生したときに、困ることや不安なことは何ですか。
【○はあてはまるものすべて】

【図表8-104 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと】



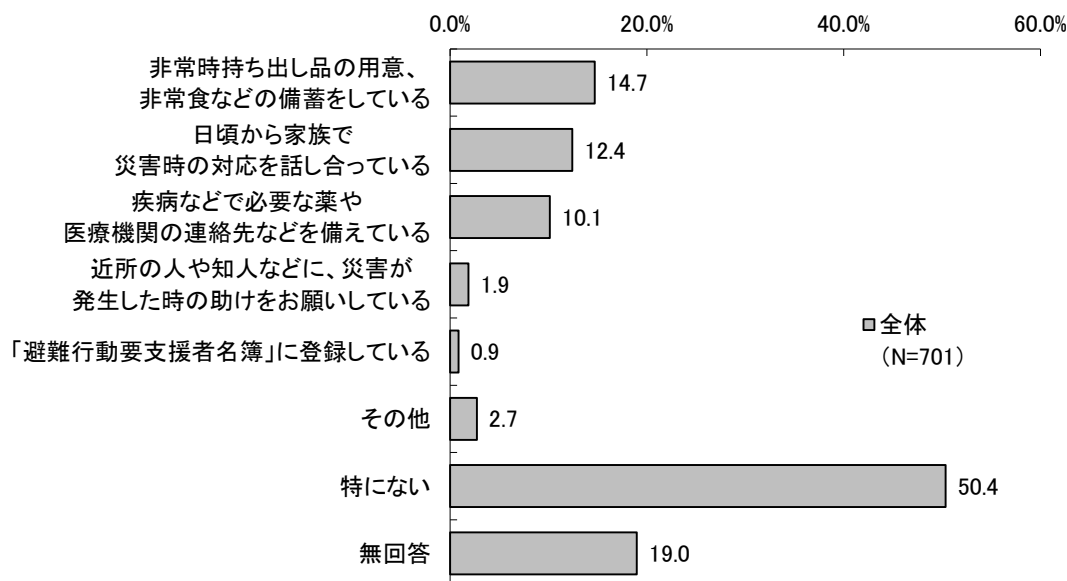
【図表8-105 年齢別、世帯状況別、主な診断名（集約）別 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと】 (%)

	調査数 (人)	地震などの災害発生時に困ることや不安なこと													
		薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安	避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい	避難所で必要な支援が受けられるか不安	近くに助けてくれる人がいない	一人では避難できない	災害の情報を知る方法がない	避難所の設備が障がいに対応しているか不安	助けを求める方法がない	医療機器の電源確保が心配	その他	特にない	わからない	無回答	
全体	701	38.8	23.1	21.4	15.7	11.3	11.1	10.0	9.6	6.7	2.6	13.3	8.6	17.4	
年齢	29歳以下	81	37.0	24.7	19.8	9.9	12.3	8.6	3.7	7.4	6.2	2.5	8.6	8.6	21.0
	30歳代	109	49.5	24.8	22.0	16.5	9.2	13.8	10.1	10.1	4.6	4.6	10.1	5.5	18.3
	40歳代	185	44.3	26.5	25.9	19.5	6.5	11.4	14.1	11.9	10.3	2.7	11.4	7.0	18.4
	50歳代	148	40.5	26.4	20.3	17.6	10.8	12.2	10.8	8.1	6.1	2.0	16.2	7.4	12.2
	60～64歳	45	33.3	24.4	22.2	17.8	15.6	4.4	11.1	6.7	4.4	6.7	11.1	15.6	15.6
	65～74歳	89	25.8	15.7	18.0	11.2	18.0	12.4	5.6	13.5	7.9	-	19.1	11.2	15.7
	75歳以上	35	5.7	2.9	8.6	8.6	17.1	8.6	8.6	2.9	-	-	20.0	14.3	31.4
	無回答	9	66.7	11.1	33.3	11.1	22.2	11.1	11.1	-	-	-	11.1	11.1	11.1
全体	701	38.8	23.1	21.4	15.7	11.3	11.1	10.0	9.6	6.7	2.6	13.3	8.6	17.4	
世帯状況	一人暮らし	229	40.2	25.3	20.5	22.7	12.7	11.8	11.4	13.5	6.6	3.1	12.7	8.7	14.0
	夫婦のみ	91	36.3	27.5	19.8	17.6	12.1	11.0	11.0	6.6	6.6	2.2	16.5	7.7	13.2
	二世帯同居(親と同居)	154	50.0	22.7	20.8	13.6	11.0	13.0	7.8	8.4	7.8	3.9	7.1	7.1	16.9
	二世帯同居(子と同居)	97	38.1	21.6	23.7	5.2	8.2	8.2	10.3	5.2	7.2	3.1	14.4	11.3	17.5
	三世帯同居	13	38.5	38.5	30.8	7.7	7.7	15.4	7.7	7.7	7.7	-	15.4	15.4	7.7
	その他(兄弟姉妹同居等)	26	38.5	15.4	30.8	19.2	11.5	11.5	11.5	11.5	15.4	-	23.1	3.8	19.2
	グループホーム	45	24.4	22.2	33.3	17.8	17.8	15.6	13.3	17.8	2.2	-	24.4	13.3	6.7
	無回答	46	15.2	8.7	6.5	4.3	4.3	2.2	4.3	-	2.2	-	10.9	4.3	56.5
全体	701	38.8	23.1	21.4	15.7	11.3	11.1	10.0	9.6	6.7	2.6	13.3	8.6	17.4	
主な診断名(集約)	認知症	28	14.3	7.1	14.3	3.6	21.4	7.1	10.7	-	-	3.6	17.9	10.7	28.6
	物質依存症	50	14.0	8.0	14.0	14.0	8.0	12.0	6.0	10.0	2.0	4.0	20.0	10.0	24.0
	統合失調症	232	44.4	25.4	24.6	21.6	15.5	15.5	12.9	14.2	6.9	2.6	9.1	6.5	15.1
	気分障害	199	45.2	25.6	22.1	16.1	6.5	8.0	9.5	8.0	8.0	3.0	14.6	8.5	12.6
	その他	166	38.0	25.3	21.1	11.4	12.0	10.2	8.4	7.2	7.8	1.8	10.8	10.8	20.5
	診断保留	3	33.3	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-
	無回答	23	17.4	8.7	8.7	4.3	-	4.3	4.3	4.3	4.3	-	39.1	8.7	34.8

(2) 災害への備え

問27 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。【〇はあてはまるものすべて】

【図表8-106 災害への備え】



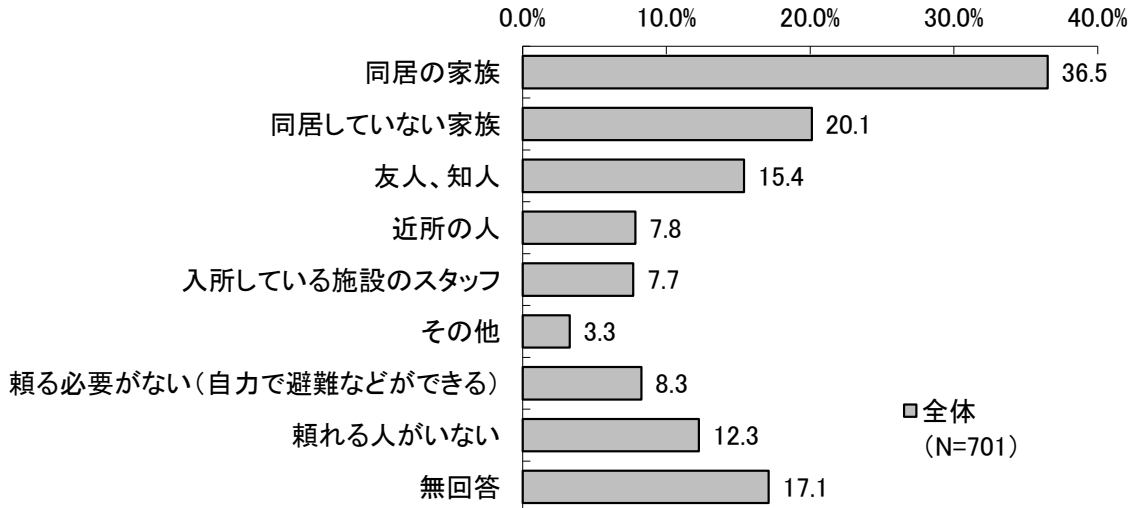
【図表8-107 年齢別、世帯状況別、主な診断名（集約）別 災害への備え】 (%)

	調査数 (人)	災害への備え								
		し意非 てい常 る非常 持食 ち出 の品 の蓄 用を	対日 応頃 を話 し家 合族 つで 災 害時 の	え療疾 て機病 る関な の連で 絡先要 な薬 をや 備医	を災近 お害の 願が い人 し生 てし いた 時 の 助に け、	簿「 避 難 行 動 要 支 援 者 名	そ 他	特 に な い	無 回 答	
全体	701	14.7	12.4	10.1	1.9	0.9	2.7	50.4	19.0	
年齢	29歳以下	81	8.6	11.1	3.7	1.2	1.2	2.5	51.9	24.7
	30歳代	109	18.3	12.8	11.9	0.9	-	3.7	49.5	17.4
	40歳代	185	14.1	18.9	11.4	1.1	1.1	1.6	44.9	20.5
	50歳代	148	12.2	9.5	10.1	1.4	0.7	2.7	58.8	13.5
	60～64歳	45	26.7	6.7	17.8	2.2	2.2	4.4	46.7	13.3
	65～74歳	89	15.7	10.1	11.2	5.6	1.1	2.2	51.7	18.0
	75歳以上	35	11.4	5.7	-	2.9	-	2.9	42.9	37.1
無回答	9	22.2	11.1	11.1	-	-	11.1	55.6	11.1	
全体	701	14.7	12.4	10.1	1.9	0.9	2.7	50.4	19.0	
世帯状況	一人暮らし	229	10.9	6.1	10.9	2.2	0.9	3.9	55.5	17.0
	夫婦のみ	91	24.2	24.2	12.1	3.3	1.1	-	45.1	14.3
	二世帯同居(親と同居)	154	14.9	15.6	10.4	0.6	0.6	3.2	48.7	18.8
	二世帯同居(子と同居)	97	21.6	18.6	7.2	1.0	1.0	1.0	46.4	15.5
	三世帯同居	13	23.1	23.1	15.4	-	-	-	46.2	7.7
	その他(兄弟姉妹同居等)	26	7.7	3.8	11.5	-	-	-	65.4	19.2
	グループホーム	45	4.4	-	11.1	2.2	2.2	8.9	64.4	11.1
無回答	46	10.9	10.9	4.3	4.3	-	-	28.3	56.5	
全体	701	14.7	12.4	10.1	1.9	0.9	2.7	50.4	19.0	
主な診断名 (集約)	認知症	28	10.7	3.6	3.6	3.6	-	3.6	46.4	32.1
	物質依存症	50	24.0	12.0	10.0	6.0	4.0	2.0	40.0	28.0
	統合失調症	232	15.5	10.8	8.6	0.4	0.4	5.2	53.4	17.7
	気分障害	199	16.1	14.1	13.6	2.0	0.5	1.5	50.8	12.6
	その他	166	9.6	14.5	9.0	2.4	1.2	0.6	50.6	21.7
	診断保留	3	66.7	33.3	33.3	-	-	-	33.3	-
無回答	23	8.7	8.7	8.7	-	-	4.3	43.5	34.8	

(3) 災害時に頼れる人

問28 あなたは、水害や地震などが発生したときに、安全の確保などで頼れる人はどなたですか。【〇はあてはまるものすべて】

【図表8-108 災害時に頼れる人】



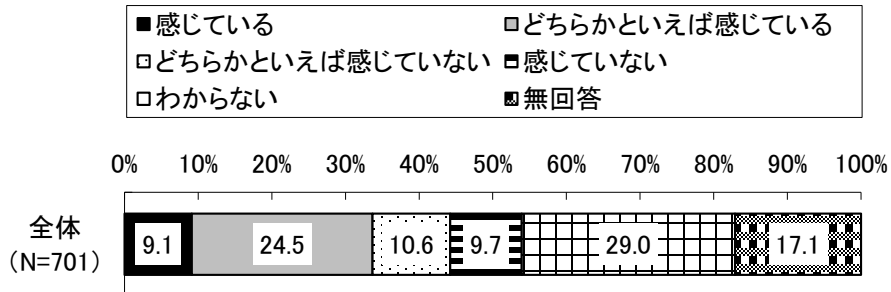
【図表8-109 年齢別、世帯状況別、主な診断名（集約）別 災害時に頼れる人】 (%)

	調査数 (人)	災害時に頼れる人									
		同居の家族	同居していない家族	友人、知人	近所の人	入所している施設のスタッフ	その他	避難が必要がない(自力で)	頼れる人がいない	無回答	
全体	701	36.5	20.1	15.4	7.8	7.7	3.3	8.3	12.3	17.1	
年齢	29歳以下	81	39.5	16.0	19.8	3.7	6.2	1.2	13.6	6.2	21.0
	30歳代	109	39.4	27.5	13.8	2.8	6.4	3.7	11.0	7.3	18.3
	40歳代	185	40.5	19.5	14.1	6.5	6.5	2.7	5.9	13.5	17.8
	50歳代	148	33.1	19.6	18.9	9.5	8.1	5.4	7.4	18.2	11.5
	60～64歳	45	35.6	22.2	11.1	8.9	8.9	2.2	4.4	17.8	13.3
	65～74歳	89	27.0	16.9	16.9	16.9	7.9	4.5	11.2	13.5	18.0
	75歳以上	35	34.3	17.1	2.9	11.4	14.3	-	-	2.9	28.6
	無回答	9	55.6	22.2	22.2	-	22.2	-	11.1	-	11.1
全体	701	36.5	20.1	15.4	7.8	7.7	3.3	8.3	12.3	17.1	
世帯状況	一人暮らし	229	5.7	22.7	21.0	7.4	5.7	4.8	10.9	26.2	12.2
	夫婦のみ	91	72.5	26.4	8.8	8.8	-	1.1	4.4	3.3	14.3
	二世帯同居(親と同居)	154	59.1	20.1	18.8	10.4	3.2	3.2	10.4	5.2	17.5
	二世帯同居(子と同居)	97	54.6	21.6	5.2	9.3	-	3.1	6.2	9.3	16.5
	三世帯同居	13	69.2	7.7	30.8	7.7	7.7	-	15.4	-	7.7
	その他(兄弟姉妹同居等)	26	53.8	7.7	7.7	7.7	-	3.8	3.8	11.5	19.2
	グループホーム	45	11.1	6.7	17.8	2.2	71.1	4.4	-	4.4	6.7
	無回答	46	10.9	15.2	8.7	2.2	6.5	-	8.7	2.2	58.7
全体	701	36.5	20.1	15.4	7.8	7.7	3.3	8.3	12.3	17.1	
主な診断名(集約)	認知症	28	39.3	14.3	3.6	3.6	14.3	-	3.6	7.1	25.0
	物質依存症	50	22.0	16.0	16.0	18.0	16.0	2.0	10.0	10.0	26.0
	統合失調症	232	33.6	22.8	15.1	7.3	11.2	5.6	4.3	12.5	15.1
	気分障害	199	42.7	21.1	17.6	7.0	2.0	2.0	10.6	13.1	11.6
	その他	166	38.6	18.1	16.3	8.4	6.0	3.0	10.8	13.9	20.5
	診断保留	3	100.0	33.3	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	23	17.4	13.0	8.7	-	8.7	-	13.0	4.3	34.8

(4) 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度

問29 あなたは、福岡市は安全・安心のための社会環境整備ができていると感じていますか。
【○は1つだけ】

【図表8-110 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度】



【図表8-111 年齢別、世帯状況別、主な診断名（集約）別、精神障害者保健福祉手帳の等級別 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度】 (%)

	調査数 (人)	福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度						
		感じている	どちらかといえば感じている	どちらかといえば感じていない	感じていない	わからない	無回答	
全体	701	9.1	24.5	10.6	9.7	29.0	17.1	
年齢	29歳以下	81	3.7	30.9	9.9	4.9	28.4	22.2
	30歳代	109	7.3	23.9	11.0	8.3	33.0	16.5
	40歳代	185	8.1	24.9	14.1	5.9	29.2	17.8
	50歳代	148	10.8	23.6	12.2	15.5	26.4	11.5
	60～64歳	45	2.2	17.8	6.7	22.2	37.8	13.3
	65～74歳	89	23.6	20.2	5.6	9.0	23.6	18.0
	75歳以上	35	-	34.3	-	2.9	31.4	31.4
	無回答	9	-	22.2	22.2	22.2	22.2	11.1
全体	701	9.1	24.5	10.6	9.7	29.0	17.1	
世帯状況	一人暮らし	229	11.4	24.0	9.2	11.4	31.0	13.1
	夫婦のみ	91	6.6	24.2	17.6	5.5	31.9	14.3
	二世帯同居(親と同居)	154	9.1	30.5	11.7	7.1	25.3	16.2
	二世帯同居(子と同居)	97	8.2	16.5	11.3	11.3	36.1	16.5
	三世帯同居	13	7.7	30.8	7.7	7.7	38.5	7.7
	その他(兄弟姉妹同居等)	26	-	26.9	7.7	26.9	19.2	19.2
	グループホーム	45	15.6	28.9	6.7	8.9	31.1	8.9
	無回答	46	4.3	17.4	4.3	6.5	10.9	56.5
全体	701	9.1	24.5	10.6	9.7	29.0	17.1	
主な診断名 (集約)	認知症	28	7.1	35.7	7.1	7.1	17.9	25.0
	物質依存症	50	14.0	26.0	-	4.0	30.0	26.0
	統合失調症	232	15.9	26.3	10.3	9.9	22.4	15.1
	気分障害	199	4.5	24.1	14.6	13.1	32.2	11.6
	その他	166	3.6	19.3	10.2	7.8	38.6	20.5
	診断保留	3	33.3	-	33.3	33.3	-	-
	無回答	23	8.7	34.8	4.3	4.3	13.0	34.8
全体	701	9.1	24.5	10.6	9.7	29.0	17.1	
精神障害者保健福祉手帳の等級	1級	7	-	42.9	-	42.9	14.3	-
	2級	192	16.7	24.5	11.5	9.9	25.5	12.0
	3級	96	9.4	25.0	12.5	17.7	27.1	8.3
	無回答	42	7.1	28.6	7.1	7.1	33.3	16.7

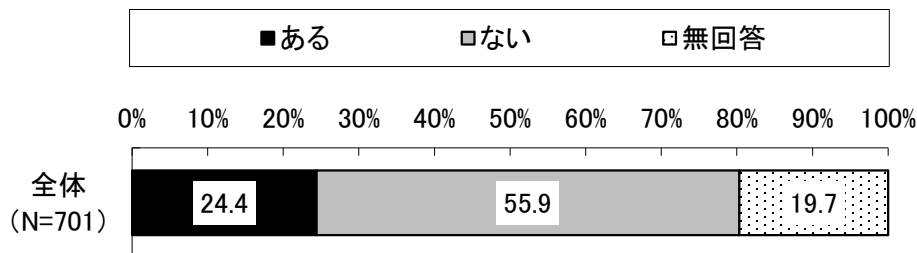
11. 障がい者に対する差別について

- ・差別を受けたり、いやな思いをした経験がある人の割合は、24.4%となっている。年齢別にみると、30歳代が37.6%と他の年代に比べて高くなっている。主な診断名（集約）別にみると、認知症のみ「ある」が7.1%と低くなっているのが特徴的である。【図表8-112、図表8-113】
- ・差別を受けたり、いやな思いをした内容は、「近所の人達の対応で不愉快な思いをした」が22.2%で最も高い。年齢別にみると、50歳代では「役所の窓口に行ったとき、職員の対応で不愉快な思いをした」が24.2%で他の年代に比べてやや高くなっている。主な診断名（集約）別にみると、気分障害では「病気や障がいを理由とした不採用や解雇」が27.7%で他の診断に比べて高い割合となっている。【図表8-114、図表8-115】

(1) 差別を受けたり、いやな思いをした経験

問30 あなたは、ここ2～3年の間に、精神疾患や障がいがあるため、差別を受けたり、いやな思いをしたことがありますか。【○は1つだけ】

【図表8-112 差別を受けたり、いやな思いをした経験】



【図表8-113 年齢別、主な診断名（集約）別 差別を受けたり、いやな思いをした経験】 (%)

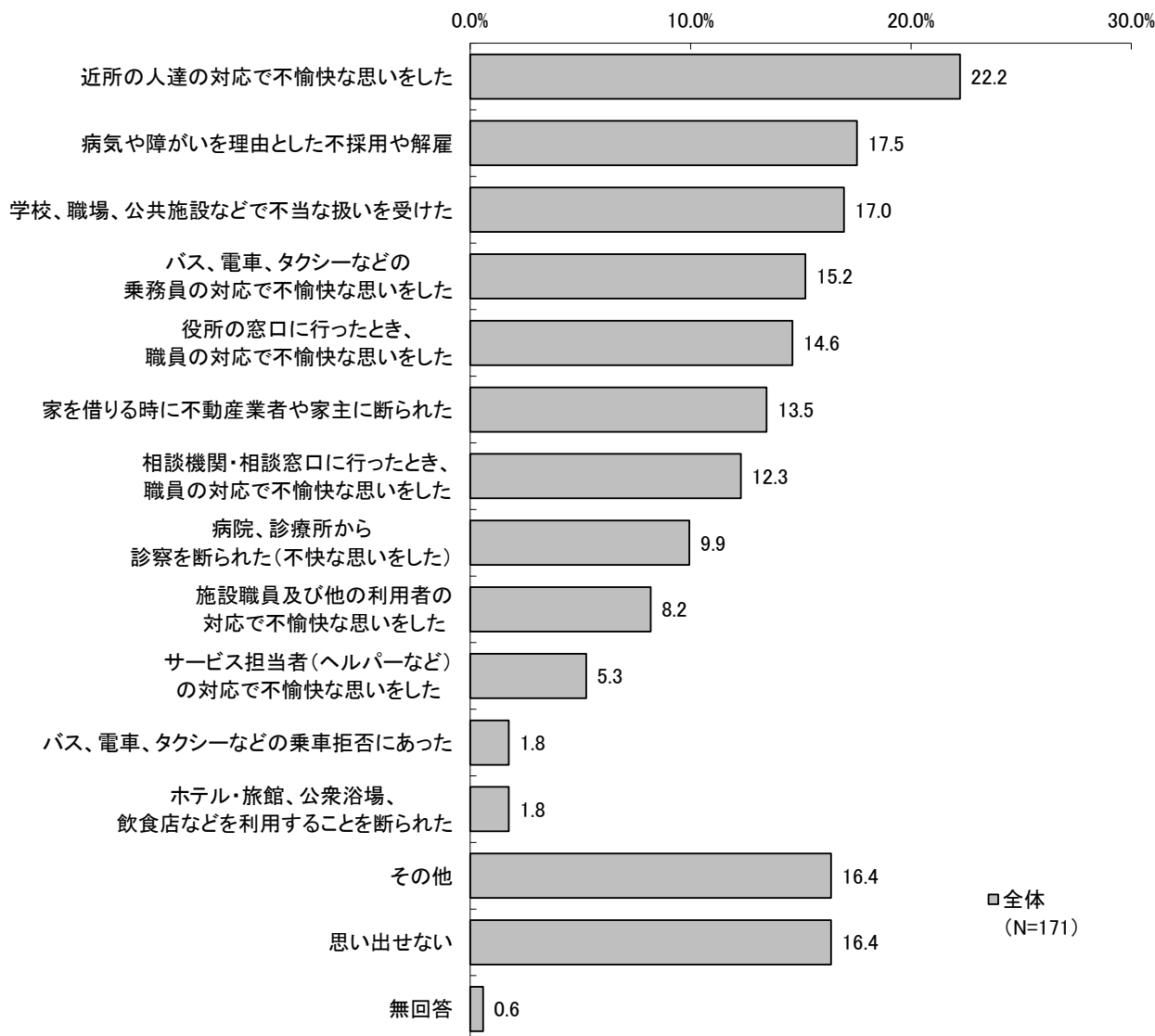
	調査数 (人)	差別を受けたり、いやな思いをした経験			
		ある	ない	無回答	
全体	701	24.4	55.9	19.7	
年齢	29歳以下	81	18.5	56.8	24.7
	30歳代	109	37.6	43.1	19.3
	40歳代	185	28.1	53.0	18.9
	50歳代	148	22.3	62.8	14.9
	60～64歳	45	24.4	60.0	15.6
	65～74歳	89	18.0	60.7	21.3
	75歳以上	35	2.9	62.9	34.3
	無回答	9	22.2	55.6	22.2
全体	701	24.4	55.9	19.7	
主な診断名 (集約)	認知症	28	7.1	64.3	28.6
	物質依存症	50	20.0	54.0	26.0
	統合失調症	232	28.9	51.3	19.8
	気分障害	199	23.6	63.3	13.1
	その他	166	25.3	52.4	22.3
	診断保留	3	-	100.0	-
	無回答	23	13.0	52.2	34.8

(2) 差別を受けたり、いやな思いをした内容

[問30で「1. ある」を選ばれた方におたずねします]

問30-1 どのようなことで、いやな思いをしましたか。【〇はあてはまるものすべて】

【図表8-114 差別を受けたり、いやな思いをした内容】



【図表8-115 年齢別、主な診断名（集約）別 差別を受けたり、いやな思いをした内容】（％）

	調査数（人）	差別を受けたり、いやな思いをした内容										
		近所の人達の対応で不愉快	病院や障がい者の雇用理由とし	学校、職場、公共施設など	バス、乗車、タクシーなど	バスの乗車、タクシーなど	駅、公共施設など	役所の窓口、対応で不快	業者や家主に断られた	行ったり来たりの不快な思いをした	相談機関・相談窓口	断られた（不快な思いをした）
全体	171	22.2	17.5	17.0	15.2	14.6	13.5	12.3	9.9			
年齢	29歳以下	15	6.7	33.3	6.7	20.0	13.3	6.7	6.7	6.7		
	30歳代	41	19.5	22.0	24.4	12.2	19.5	9.8	14.6	7.3		
	40歳代	52	23.1	19.2	15.4	13.5	9.6	17.3	15.4	11.5		
	50歳代	33	24.2	12.1	15.2	21.2	24.2	21.2	15.2	12.1		
	60～64歳	11	18.2	18.2	27.3	9.1	9.1	-	9.1	27.3		
	65～74歳	16	37.5	-	6.3	12.5	6.3	12.5	-	-		
	75歳以上	1	-	-	-	-	-	-	-	-		
無回答	2	50.0	-	50.0	50.0	-	-	-	-			
全体	171	22.2	17.5	17.0	15.2	14.6	13.5	12.3	9.9			
主な診断名（集約）	認知症	2	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-		
	物質依存症	10	10.0	-	-	40.0	10.0	20.0	10.0	20.0		
	統合失調症	67	23.9	13.4	16.4	9.0	14.9	14.9	6.0	6.0		
	気分障害	47	23.4	27.7	21.3	17.0	23.4	8.5	21.3	12.8		
	その他	42	16.7	19.0	16.7	16.7	7.1	14.3	14.3	11.9		
	診断保留	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無回答	3	66.7	-	33.3	33.3	-	-	-	-			

	調査数（人）	差別を受けたり、いやな思いをした内容							
		施設での対応で不愉快な思いをした	タクシーの対応で不愉快	バス、乗車、タクシーなど	ホテル、飲食店、旅館、公共浴場など	その他	思い出せない	無回答	
全体	171	8.2	5.3	1.8	1.8	16.4	16.4	0.6	
年齢	29歳以下	15	13.3	-	-	-	26.7	13.3	-
	30歳代	41	12.2	4.9	2.4	4.9	19.5	7.3	-
	40歳代	52	11.5	7.7	1.9	-	5.8	19.2	1.9
	50歳代	33	-	6.1	-	-	15.2	15.2	-
	60～64歳	11	-	9.1	-	-	45.5	9.1	-
	65～74歳	16	6.3	-	6.3	6.3	12.5	37.5	-
	75歳以上	1	-	-	-	-	-	100.0	-
無回答	2	-	-	-	-	50.0	-	-	
全体	171	8.2	5.3	1.8	1.8	16.4	16.4	0.6	
主な診断名（集約）	認知症	2	-	-	-	-	-	-	-
	物質依存症	10	30.0	-	-	-	10.0	20.0	-
	統合失調症	67	9.0	9.0	1.5	1.5	16.4	16.4	-
	気分障害	47	6.4	2.1	-	-	12.8	17.0	-
	その他	42	4.8	2.4	4.8	2.4	23.8	14.3	2.4
	診断保留	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	3	-	33.3	-	33.3	-	33.3	-	

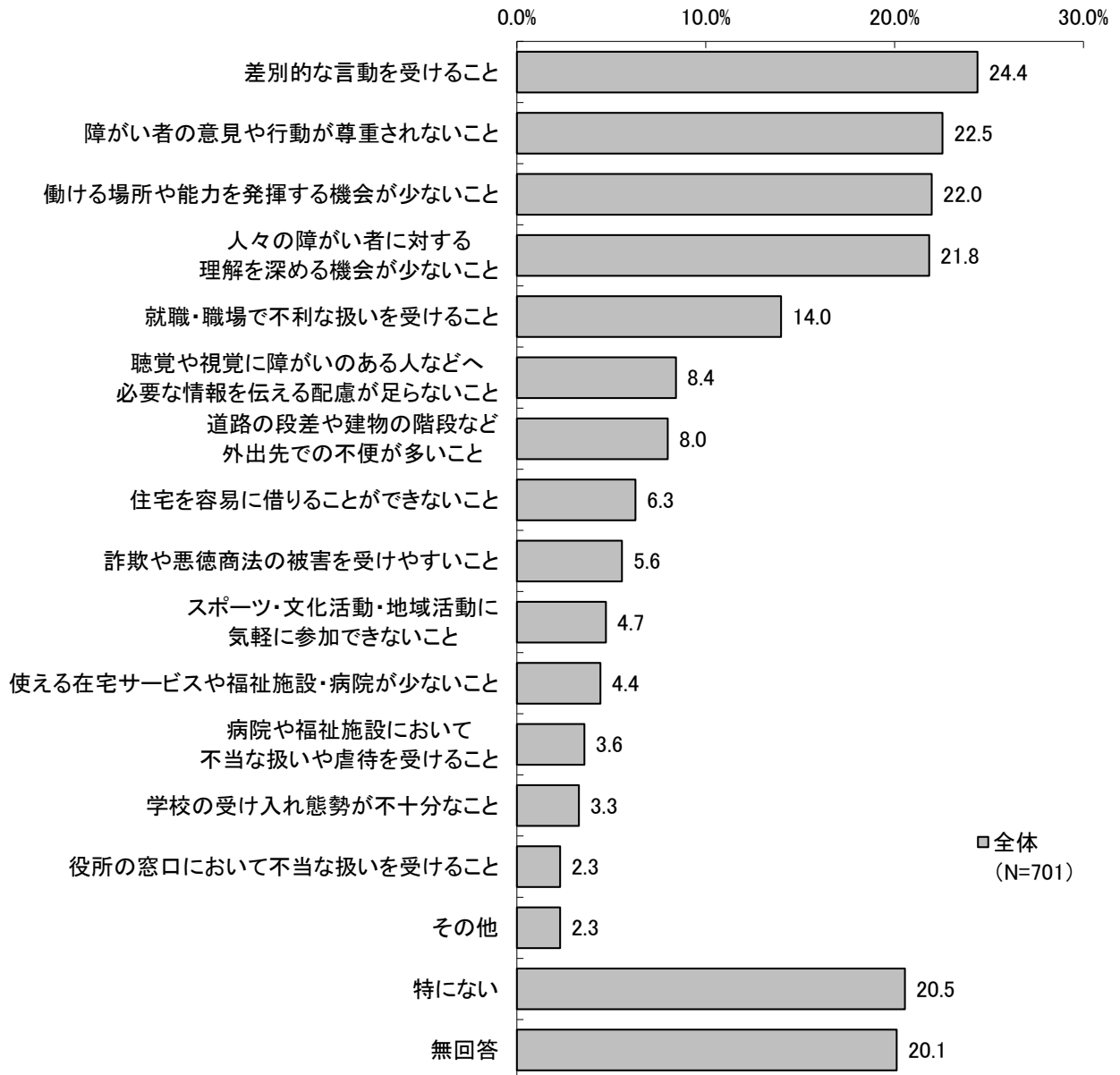
12. 福祉施策全般について

- ・障がい者の人権に関して問題があると思うことは、「差別的な言動を受けること」（24.4%）、「障がい者の意見や行動が尊重されないこと」（22.5%）、「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」（22.0%）、「人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないこと」（21.8%）が2割台で上位を占める。年齢別にみると、30歳代では「差別的な言動を受けること」（35.8%）、「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」（33.0%）の割合が高く、29歳以下では「就職・職場で不利な扱いを受けること」（24.7%）の割合がそれぞれ他の年代に比べて高くなっている。また60～64歳では「使える在宅サービスや福祉施設・病院が少ないこと」（15.6%）、65歳以上では「特にない」の割合が3割台と他の年代に比べて高くなっている。主な診断名（集約）別にみると、気分障害では「人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないこと」（32.7%）の割合が、他の年代に比べて高くなっている。【図表8-116、図表8-117】
- ・障がい者福祉施策として、国や県、市に力を入れてほしいことは、「年金など、所得保障の充実」が33.7%で最も高く、「障がい者に配慮した保健、医療体制及び医療費公費負担制度の充実」が31.0%で続いている。年齢別にみると、比較的若い層で「就労支援の充実（働くための訓練や職場定着など）」が高く、29歳以下では35.8%と高くなっている。また30歳代では「障がい者に対する社会全体の理解を深めるための啓発や教育の充実」（24.8%）が他の年代に比べて高くなっている。【図表8-118、図表8-119】
- ・障がい者支援として地域社会や企業等に望むことは、「障がいに対する理解を深める」が43.7%で最も高くなっている。年齢別にみると、「一般企業で働ける（働き続ける）ための支援」は50歳代以下でいずれも3割を超えているが特に30歳代が42.2%と高い。また、60～64歳では「障がい者等を支える地域活動やボランティア活動を活発にする」（26.7%）が他の年代に比べて高い。主な診断名（集約）別にみると、物質依存症では「障がい者等を支える地域活動やボランティア活動を活発にする」（24.0%）、気分障害では「一般企業で働ける（働き続ける）ための支援」（39.2%）が、他の年代に比べて高くなっている。【図表8-120、図表8-121】
- ・福岡市の暮らしやすさは、『感じている』（「感じている」＋「どちらかといえば感じている」）の割合が34.2%みられる。年齢別にみると、『感じている』の割合は、50歳代で43.9%を占め高くなっている。また29歳以下は「わからない」が39.5%と高くなっている。主な診断名（集約）別にみると、統合失調症では『感じている』が44.8%と他の診断に比べて割合が高い。精神保健福祉手帳の等級別では、2級では『感じている』の割合が44.2%と高くなっている。【図表8-122、図表8-123】

(1) 障がい者の人権に関して問題があると思うこと

問3 1 障がい者に関する事柄で、特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。【〇はあてはまるものすべて】

【図表8-116 障がい者の人権に関して問題があると思うこと】



【図表8-117 年齢別、主な診断名（集約）別
障がい者の人権に関して問題があると思うこと】（%）

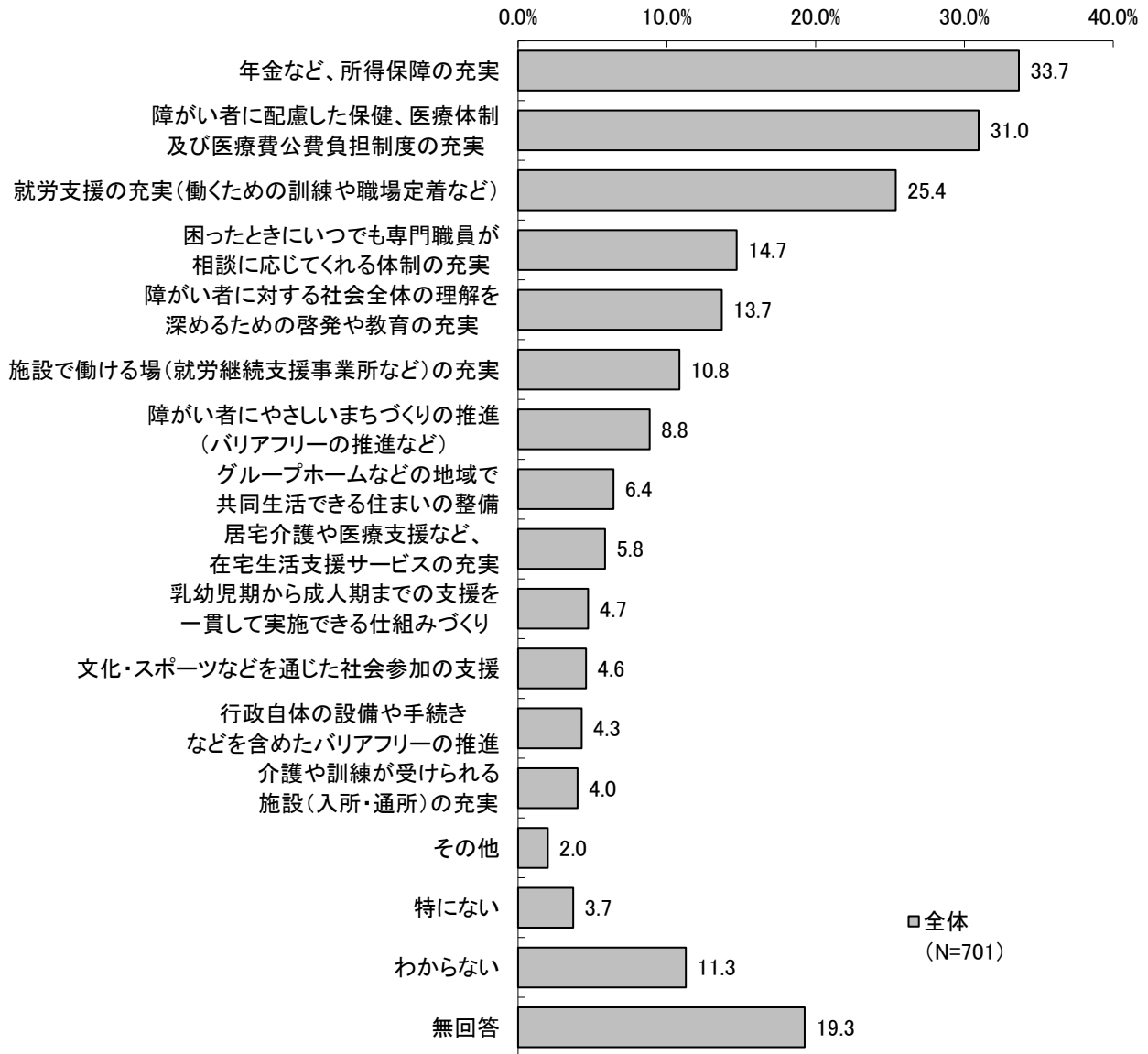
	調査数（人）	障がい者の人権に関して問題があると思うこと										
		差別的な言動を受けること	重さがい者の意見や行動が尊重されないこと	働ける場所や能力を發揮する機会が少ないこと	と解を深める機会が少ないこと	人々への障がい者に対する理	受ける・職場で不利な扱いを	就業配慮が足りないこと	人などへ必要な情報を伝える	と外路の段差や物の多い段	道外先での不便が階段な	住宅を容易に借りることが
全体	701	24.4	22.5	22.0	21.8	14.0	8.4	8.0	6.3	5.6		
年齢	29歳以下	81	24.7	23.5	29.6	16.0	24.7	8.6	4.9	3.7	6.2	
	30歳代	109	35.8	28.4	33.0	30.3	22.9	10.1	6.4	5.5	5.5	
	40歳代	185	24.9	24.3	21.6	25.4	11.9	11.9	6.5	9.7	7.0	
	50歳代	148	23.0	23.0	24.3	22.3	12.2	6.1	9.5	7.4	4.7	
	60～64歳	45	26.7	20.0	15.6	28.9	11.1	13.3	8.9	8.9	6.7	
	65～74歳	89	18.0	16.9	5.6	12.4	6.7	4.5	14.6	2.2	3.4	
	75歳以上	35	5.7	8.6	8.6	2.9	-	-	5.7	-	5.7	
	無回答	9	22.2	22.2	33.3	22.2	22.2	-	-	-	-	
全体	701	24.4	22.5	22.0	21.8	14.0	8.4	8.0	6.3	5.6		
主な診断名（集約）	認知症	28	7.1	3.6	7.1	3.6	-	-	3.6	3.6	7.1	
	物質依存症	50	22.0	18.0	18.0	18.0	10.0	14.0	12.0	4.0	-	
	統合失調症	232	27.2	24.1	19.4	18.5	9.9	7.3	5.6	8.2	3.9	
	気分障害	199	24.6	22.6	28.6	32.7	18.6	11.1	11.1	4.5	7.0	
	その他	166	24.7	27.1	21.7	16.3	17.5	7.8	7.2	7.2	8.4	
	診断保留	3	33.3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	
	無回答	23	17.4	8.7	17.4	30.4	13.0	-	8.7	4.3	-	

	調査数（人）	障がい者の人権に関して問題があると思うこと								
		活動に気軽に参加できない地域	スポーツ・文化活動	施設・病院内が少ないこと	使える在宅サービスや福祉	と当院や福祉施設をい	分な学校の受け入れ態勢が不	扱いを窓口にいて不当な	その他	特にな
全体	701	4.7	4.4	3.6	3.3	2.3	2.3	20.5	20.1	
年齢	29歳以下	81	4.9	2.5	4.9	6.2	1.2	-	16.0	22.2
	30歳代	109	7.3	3.7	4.6	4.6	4.6	2.8	10.1	16.5
	40歳代	185	3.8	2.2	5.4	2.7	2.2	2.2	15.1	21.6
	50歳代	148	3.4	5.4	2.0	2.0	1.4	2.7	21.6	15.5
	60～64歳	45	13.3	15.6	4.4	4.4	4.4	6.7	26.7	17.8
	65～74歳	89	2.2	4.5	-	1.1	2.2	2.2	37.1	21.3
	75歳以上	35	2.9	5.7	2.9	2.9	-	-	34.3	40.0
	無回答	9	-	-	-	11.1	-	-	33.3	11.1
全体	701	4.7	4.4	3.6	3.3	2.3	2.3	20.5	20.1	
主な診断名（集約）	認知症	28	3.6	7.1	3.6	3.6	-	3.6	35.7	35.7
	物質依存症	50	8.0	10.0	-	6.0	4.0	-	24.0	22.0
	統合失調症	232	4.7	2.2	2.6	1.7	2.2	3.4	22.4	18.1
	気分障害	199	4.5	6.0	6.5	5.0	2.5	2.5	19.6	15.6
	その他	166	4.2	4.2	3.0	2.4	2.4	1.2	15.1	23.5
	診断保留	3	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-
	無回答	23	-	-	-	4.3	-	-	21.7	34.8

(2) 障がい者福祉施策として、国や県、市に力を入れてほしいこと

問32 障がいのある人が暮らしやすい社会をつくるために、国や県、市に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。【〇はあてはまるものすべて】

【図表8-118 障がい者福祉施策として、国や県、市に力を入れてほしいこと】



【図表8-119 年齢別、主な診断名（集約）別
障がい者福祉施策として、国や県、市に力を入れてほしいこと】（%）

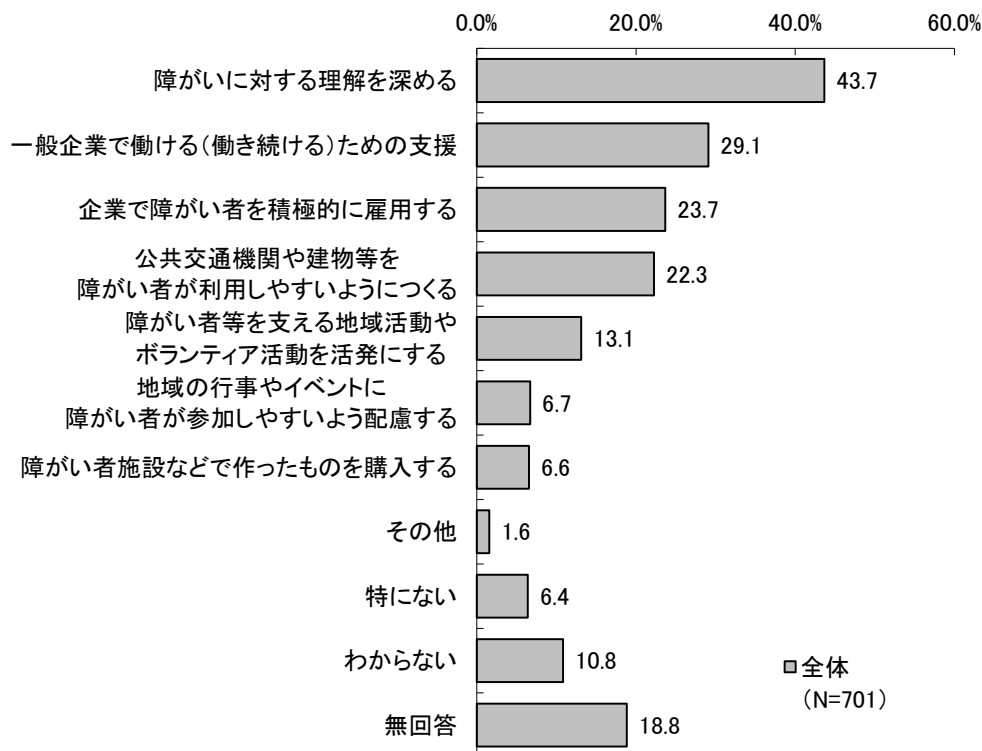
	調査数（人）	障がい者福祉施策として、国や県、市に力を入れてほしいこと																		
		年金など、所得保障の充実	公費負担療養体制の充実	健診、医療者への配慮した医療費	障がい者に配慮した生活保護	だめの訓練や職場定着など	就業支援の充実（働かなく	れる体制の充実	門職員の相談に応じて専門職員が相談に	困ったときにいつでも専	啓発や教育の充実	障がい者に対する社会的な	障がい者に対する社会的な	実施業務所など（就労継続	施設での働き場（就労継続	リハビリの推進など（バリアフリー	障がい者の生活環境の整備	地域の共同生活など住ま	グーループホームなどの住	ド、在宅生活支援サービス
全体	701	33.7	31.0	25.4	14.7	13.7	10.8	8.8	6.4	5.8										
年齢	29歳以下	81	25.9	32.1	35.8	7.4	11.1	11.1	11.1	3.7	1.2									
	30歳代	109	42.2	22.0	33.9	13.8	24.8	13.8	11.9	6.4	4.6									
	40歳代	185	33.5	36.2	23.2	15.7	14.6	15.1	10.3	6.5	7.0									
	50歳代	148	39.9	35.8	29.7	20.9	9.5	8.8	6.1	8.8	8.1									
	60～64歳	45	28.9	26.7	17.8	22.2	22.2	8.9	11.1	6.7	8.9									
	65～74歳	89	27.0	31.5	12.4	9.0	5.6	6.7	7.9	5.6	5.6									
	75歳以上	35	22.9	14.3	11.4	8.6	5.7	2.9	-	5.7	-									
	無回答	9	33.3	22.2	22.2	11.1	22.2	-	-	-	11.1									
全体	701	33.7	31.0	25.4	14.7	13.7	10.8	8.8	6.4	5.8										
主な診断名（集約）	認知症	28	21.4	28.6	21.4	7.1	7.1	3.6	-	7.1	-									
	物質依存症	50	24.0	30.0	26.0	20.0	12.0	16.0	8.0	4.0	10.0									
	統合失調症	232	36.2	36.6	22.4	15.5	13.4	8.2	6.9	6.9	6.5									
	気分障害	199	40.2	31.2	32.7	15.1	15.1	11.1	11.6	7.0	6.5									
	その他	166	28.9	25.3	22.9	14.5	12.7	13.9	9.0	6.0	4.8									
	診断保留	3	-	-	33.3	-	33.3	33.3	33.3	33.3	-									
	無回答	23	26.1	21.7	13.0	4.3	21.7	8.7	13.0	-	-									

	調査数（人）	障がい者福祉施策として、国や県、市に力を入れてほしいこと										
		きの支援組織の充実	幼少期の参加支援	文化・スポーツなどの通	リハビリの推進	行政の推進	実施施設（入所・通所）の充	介護や訓練が受けられる	その他	特にな	わから	無回
全体	701	4.7	4.6	4.3	4.0	2.0	3.7	11.3	19.3			
年齢	29歳以下	81	4.9	6.2	4.9	3.7	1.2	4.9	9.9	22.2		
	30歳代	109	10.1	6.4	1.8	3.7	2.8	1.8	8.3	16.5		
	40歳代	185	4.3	3.2	4.3	4.3	1.6	1.6	10.8	22.2		
	50歳代	148	4.1	4.7	5.4	2.7	0.7	4.1	11.5	13.5		
	60～64歳	45	4.4	6.7	8.9	4.4	4.4	-	17.8	13.3		
	65～74歳	89	2.2	3.4	3.4	6.7	1.1	9.0	14.6	20.2		
	75歳以上	35	-	2.9	2.9	2.9	5.7	5.7	8.6	37.1		
	無回答	9	-	-	-	-	11.1	11.1	11.1	11.1		
全体	701	4.7	4.6	4.3	4.0	2.0	3.7	11.3	19.3			
主な診断名（集約）	認知症	28	3.6	3.6	3.6	7.1	-	7.1	7.1	35.7		
	物質依存症	50	6.0	4.0	8.0	10.0	6.0	6.0	4.0	22.0		
	統合失調症	232	1.3	6.5	2.6	3.0	2.6	5.2	9.5	16.8		
	気分障害	199	6.0	4.0	5.5	4.0	1.5	2.0	11.6	15.6		
	その他	166	8.4	2.4	4.2	3.0	0.6	2.4	16.9	21.7		
	診断保留	3	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-		
	無回答	23	-	4.3	4.3	-	4.3	4.3	8.7	34.8		

(3) 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと

問33 障がいのある人が暮らしやすい社会をつくるために、地域社会や企業に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。【〇はあてはまるものすべて】

【図表8-120 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと】



【図表8-121 年齢別、主な診断名（集約）別

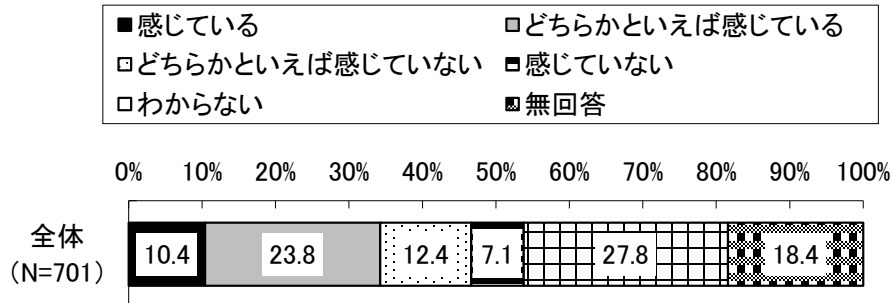
障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと】 (%)

	調査数 (人)	障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと											
		深障 めが い に 対 す る 理 解 を	き一 続般 け企 る業 で た働 めけ る支 援働	的企 業に 雇 用 す る 障 が い 者 を 積 極	すを 公 共 交 通 機 関 に 利 用 し 物 や 等	活動 を動 き 活 発 に す る テ ィ ア 地	障が い 者 の 支 援 を 促 す 地	すに 地 域 の 行 事 や イ ベ ン ト に 参 加 し や す い よ う 配 慮 す る	作障 つが たい もの 施 設 な ど を 購 入 す る	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体	701	43.7	29.1	23.7	22.3	13.1	6.7	6.6	1.6	6.4	10.8	18.8	
年齢	29歳以下	81	39.5	37.0	28.4	23.5	4.9	4.9	3.7	1.2	3.7	9.9	21.0
	30歳代	109	50.5	42.2	28.4	22.0	13.8	8.3	8.3	4.6	5.5	4.6	17.4
	40歳代	185	49.2	33.0	29.7	20.5	11.9	5.4	7.0	-	3.2	9.2	20.5
	50歳代	148	41.2	33.1	25.0	23.0	12.8	8.8	5.4	0.7	8.1	13.5	13.5
	60~64歳	45	51.1	11.1	13.3	28.9	26.7	11.1	13.3	4.4	4.4	13.3	13.3
	65~74歳	89	33.7	7.9	9.0	24.7	18.0	4.5	5.6	1.1	15.7	15.7	21.3
	75歳以上	35	25.7	2.9	11.4	11.4	11.4	5.7	2.9	-	5.7	14.3	34.3
	無回答	9	55.6	55.6	22.2	22.2	-	-	11.1	11.1	-	11.1	11.1
全体	701	43.7	29.1	23.7	22.3	13.1	6.7	6.6	1.6	6.4	10.8	18.8	
主な 診断 名 (集約)	認知症	28	39.3	14.3	7.1	10.7	14.3	10.7	7.1	-	3.6	14.3	32.1
	物質依存症	50	46.0	24.0	20.0	32.0	24.0	10.0	10.0	-	10.0	2.0	24.0
	統合失調症	232	42.2	25.0	26.3	21.1	13.8	6.9	8.2	1.7	10.3	9.1	17.2
	気分障害	199	48.7	39.2	28.6	21.1	11.6	6.5	5.0	1.5	4.0	11.6	14.1
	その他	166	41.6	27.7	18.7	24.1	12.0	5.4	6.0	1.2	4.2	14.5	21.1
	診断保留	3	33.3	33.3	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	23	30.4	21.7	17.4	17.4	4.3	4.3	-	8.7	-	13.0	34.8

(4) 福岡市の暮らしやすさ

問3 4 あなたは、福岡市は障がいのある人が暮らしやすいまちだと感じますか。
【○は1つだけ】

【図表8-122 福岡市の暮らしやすさ】



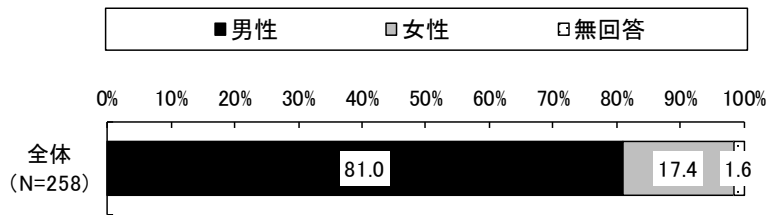
【図表8-123 年齢別、主な診断名（集約）別、精神障害者保健福祉手帳の等級別 福岡市の暮らしやすさ】 (%)

		調査数 (人)	福岡市の暮らしやすさ					
			感じている	どちらかといえば感じている	どちらかといえば感じていない	感じていない	わからない	無回答
全体		701	10.4	23.8	12.4	7.1	27.8	18.4
年齢	29歳以下	81	4.9	17.3	12.3	3.7	39.5	22.2
	30歳代	109	5.5	32.1	9.2	7.3	28.4	17.4
	40歳代	185	8.6	20.0	16.2	7.0	28.1	20.0
	50歳代	148	12.8	31.1	11.5	12.2	18.9	13.5
	60～64歳	45	8.9	28.9	15.6	6.7	26.7	13.3
	65～74歳	89	22.5	16.9	9.0	3.4	30.3	18.0
	75歳以上	35	11.4	11.4	14.3	2.9	25.7	34.3
	無回答	9	-	33.3	-	11.1	44.4	11.1
全体		701	10.4	23.8	12.4	7.1	27.8	18.4
主な診断名 (集約)	認知症	28	14.3	10.7	10.7	7.1	25.0	32.1
	物質依存症	50	12.0	28.0	12.0	2.0	22.0	24.0
	統合失調症	232	17.2	27.6	10.3	7.3	22.0	15.5
	気分障害	199	6.0	26.6	12.6	10.6	30.7	13.6
	その他	166	5.4	13.9	15.7	5.4	37.3	22.3
	診断保留	3	-	33.3	66.7	-	-	-
	無回答	23	8.7	39.1	4.3	-	13.0	34.8
全体		701	10.4	23.8	12.4	7.1	27.8	18.4
精神障害者保健福祉手帳の等級	1級	7	-	28.6	-	14.3	57.1	-
	2級	192	15.6	28.6	11.5	8.3	22.9	13.0
	3級	96	14.6	25.0	16.7	9.4	22.9	11.5
	無回答	42	11.9	16.7	9.5	2.4	40.5	19.0

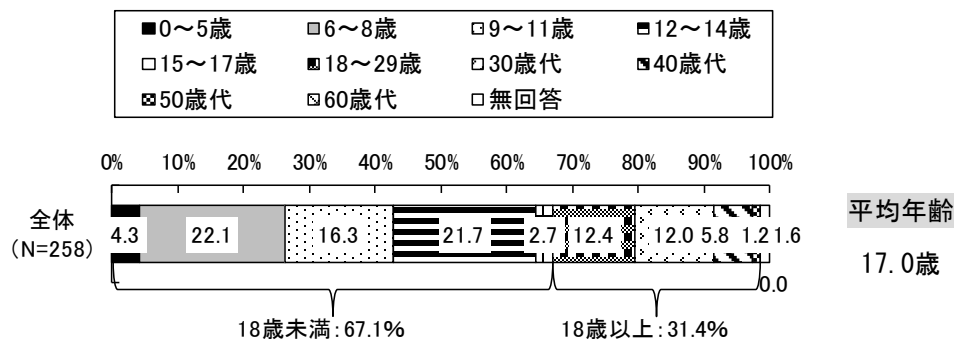
第9章 発達障がい児・者調査

1. 基本属性

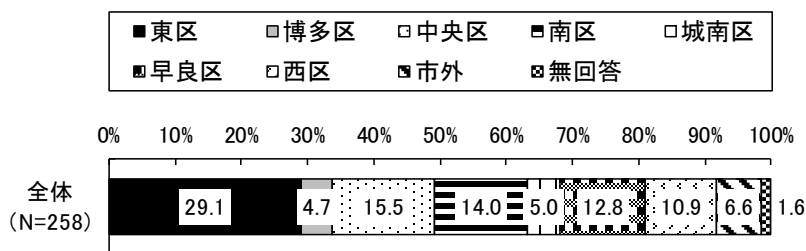
【図表9-1 性別】



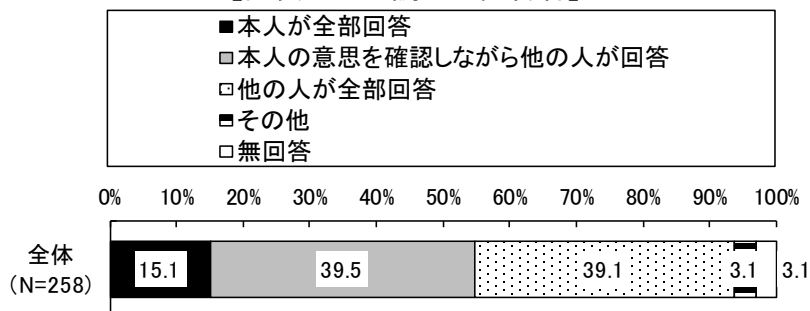
【図表9-2 年齢】



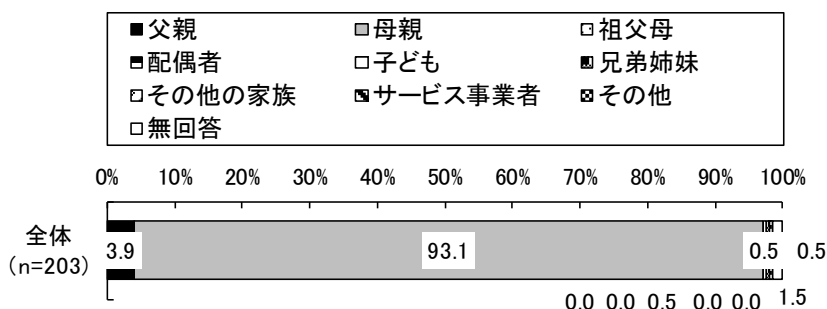
【図表9-3 居住地区】



【図表9-4 調査の回答者】



【図表9-5 調査回答者の続柄】

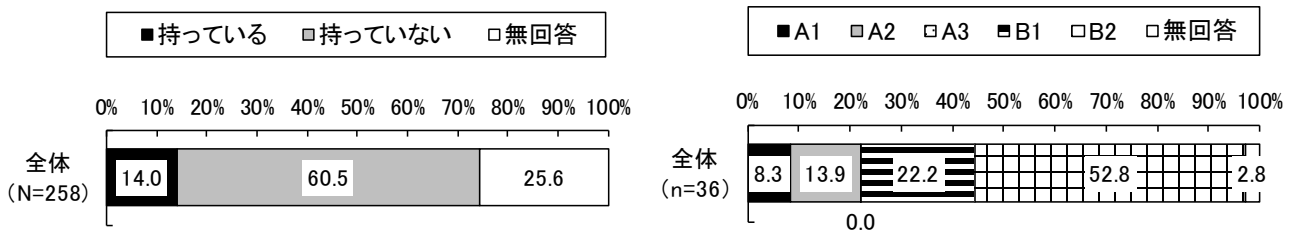


2. 障がいの状況について

- ・発達障がいの診断の有無をみると、全体の93.8%が診断を受けている。ただし、12～14歳及び40歳代以上では診断を受けている人が9割を下回っており、他の年代に比べてやや低くなっている。【図表9-10、図表9-11】
- ・診断を受けた機関をみると、「医院・病院」(52.5%)が最も多く、次いで「あいあいセンター、西部・東部療育センター」(40.9%)となっている。年齢別では、8歳以下では「あいあいセンター、西部・東部療育センター」、9歳以上では「医院・病院」で診断を受けた割合がそれぞれ高い。【図表9-12、図表9-13】
- ・診断名をみると、「広汎性発達障がい」(45.8%)が最も多く、次いで「注意欠陥多動性障がい(ADHD)」(34.8%)、「自閉症」(30.0%)の順である。また、全体の36.8%が複数の発達障がいを重複している。【図表9-15、9-16】
- ・二次的な情緒や行動などの問題の有無をみると、5割弱(48.1%)の人が問題を抱えたことがある。【図表9-18】
- ・二次的な問題に関する相談機関や医療機関の利用状況では、「現在、医療機関を利用している」(62.1%)が最も多く、次いで「現在、相談機関を利用している」(33.1%)となっている。【図表9-20】

(1) 療育手帳の有無・判定

【図表9-6 療育手帳の有無・判定】

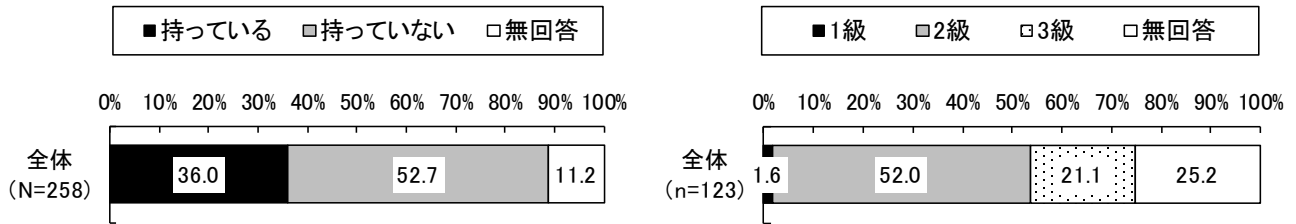


【図表9-7 年齢別 療育手帳の有無・判定】 (%)

	調査数 (人)	療育手帳の有無			調査数 (人)	療育手帳の判定						調査数 (人)	療育手帳の判定(集約)				
		持っている	持っていない	無回答		A1	A2	A3	B1	B2	無回答		(A度15A3)	(B度1)	(B度2)	無回答	
全体	258	14.0	60.5	25.6	36	8.3	13.9	-	22.2	52.8	2.8	36	22.2	22.2	52.8	2.8	
年齢	0～5歳	11	54.5	45.5	-	6	-	-	-	16.7	83.3	-	6	-	16.7	83.3	-
	6～8歳	57	1.8	80.7	17.5	1	-	-	-	-	100.0	-	1	-	-	100.0	-
	9～11歳	42	-	73.8	26.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12～14歳	56	7.1	76.8	16.1	4	-	25.0	-	-	50.0	25.0	4	25.0	-	50.0	25.0
	15～17歳	7	14.3	42.9	42.9	1	-	-	-	-	100.0	-	1	-	-	100.0	-
	18～29歳	32	31.3	43.8	25.0	10	10.0	30.0	-	20.0	40.0	-	10	40.0	20.0	40.0	-
	30歳代	31	35.5	25.8	38.7	11	18.2	-	-	27.3	54.5	-	11	18.2	27.3	54.5	-
	40歳代	15	20.0	26.7	53.3	3	-	33.3	-	66.7	-	-	3	33.3	66.7	-	-
	50歳代	3	-	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(2) 精神障がい者保健福祉手帳の有無・等級

【図表9-8 精神障がい者保健福祉手帳の有無・等級】

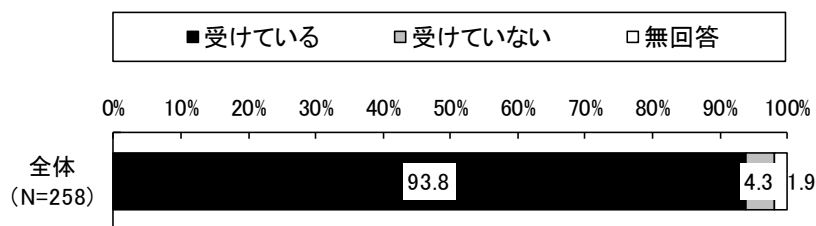


【図表9-9 年齢別 精神障がい者保健福祉手帳の有無・等級】 (%)

	調査数 (人)	精神障害者保健福祉手帳の有無			調査数 (人)	精神障がい者保健福祉手帳の等級				
		持っている	持っていない	無回答		1級	2級	3級	無回答	
全体	258	36.0	52.7	11.2	123	1.6	52.0	21.1	25.2	
年齢	0～5歳	11	-	72.7	27.3	3	-	-	-	100.0
	6～8歳	57	26.3	70.2	3.5	17	-	52.9	29.4	17.6
	9～11歳	42	31.0	59.5	9.5	17	-	70.6	5.9	23.5
	12～14歳	56	30.4	66.1	3.6	20	-	55.0	25.0	20.0
	15～17歳	7	85.7	14.3	-	6	-	83.3	16.7	-
	18～29歳	32	46.9	40.6	12.5	19	-	42.1	36.8	21.1
	30歳代	31	51.6	32.3	16.1	21	-	47.6	28.6	23.8
	40歳代	15	60.0	6.7	33.3	14	14.3	50.0	7.1	28.6
	50歳代	3	66.7	-	33.3	3	-	66.7	-	33.3
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	4	-	25.0	75.0	-	-	-	-	-	

(3) 発達障がいの診断の有無

【図表9-10 発達障がいの診断の有無】

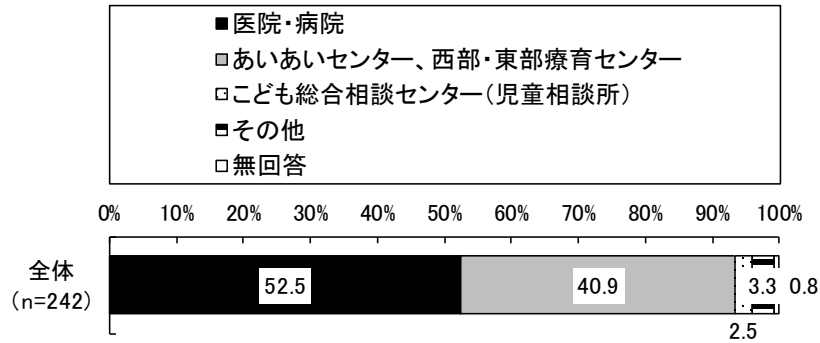


【図表9-11 年齢別 発達障がいの診断の有無】 (%)

	調査数 (人)	発達障がいの 診断の有無			
		受 け て い る	受 け て い な い	無 回 答	
全体	258	93.8	4.3	1.9	
年 齢	0～5歳	11	100.0	-	-
	6～8歳	57	100.0	-	-
	9～11歳	42	100.0	-	-
	12～14歳	56	89.3	8.9	1.8
	15～17歳	7	100.0	-	-
	18～29歳	32	93.8	3.1	3.1
	30歳代	31	93.5	6.5	-
	40歳代	15	86.7	13.3	-
	50歳代	3	66.7	-	33.3
	60歳代	-	-	-	-
	無回答	4	25.0	25.0	50.0

(4) 発達障がいの診断を受けた機関

【図表9-12 発達障がいの診断を受けた機関】

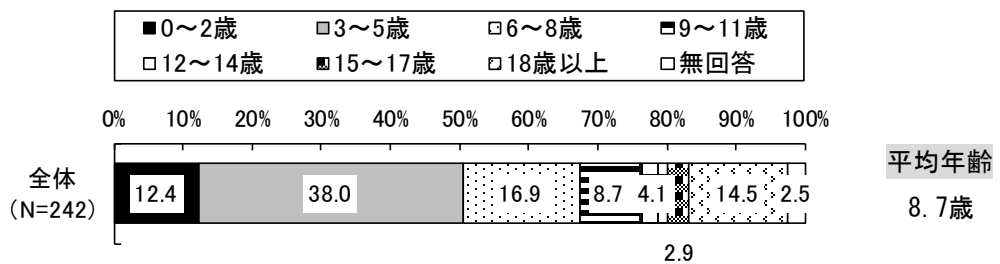


【図表9-13 年齢別 発達障がいの診断を受けた機関】 (%)

	調査数 (人)	発達障がいの診断を受けた機関					
		医院・病院	あいあいセンター、西部・東部療育センター	こども総合相談センター(児童相談所)	その他	無回答	
全体	242	52.5	40.9	2.5	3.3	0.8	
年齢	0~5歳	11	9.1	81.8	-	-	9.1
	6~8歳	57	17.5	77.2	-	5.3	-
	9~11歳	42	50.0	42.9	4.8	-	2.4
	12~14歳	50	58.0	32.0	4.0	6.0	-
	15~17歳	7	57.1	28.6	14.3	-	-
	18~29歳	30	80.0	16.7	3.3	-	-
	30歳代	29	75.9	17.2	-	6.9	-
	40歳代	13	100.0	-	-	-	-
	50歳代	2	100.0	-	-	-	-
	60歳代	-	-	-	-	-	-
無回答	1	100.0	-	-	-	-	

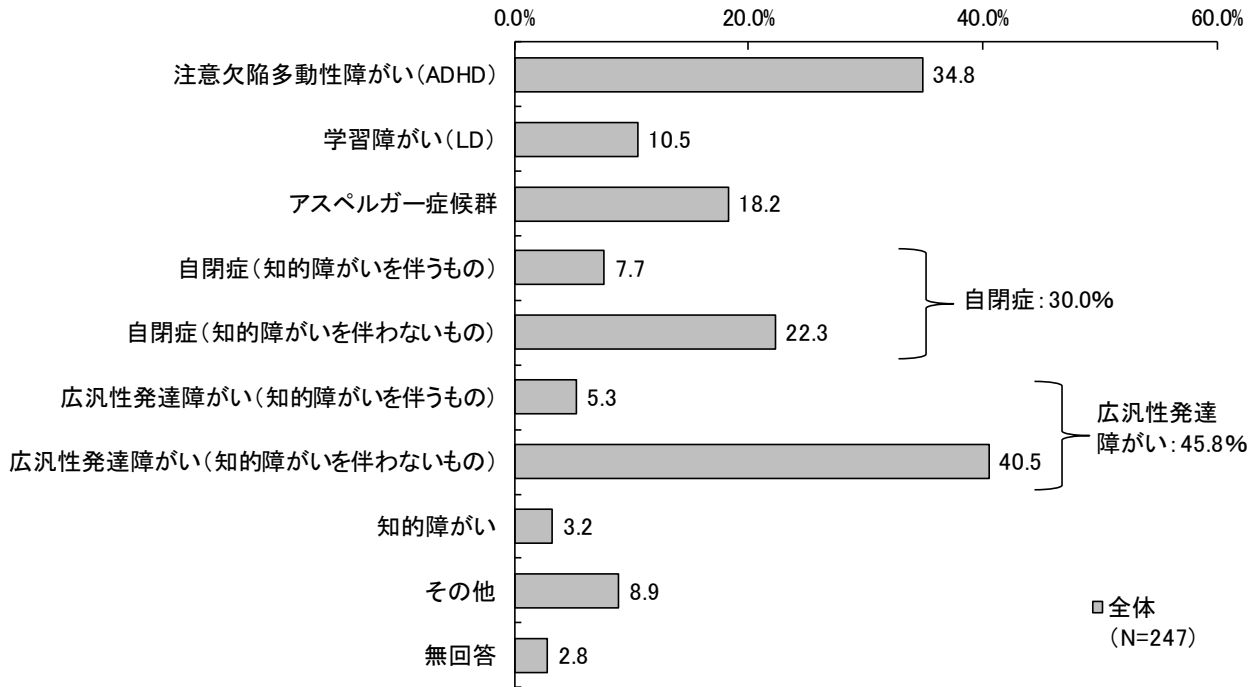
(5) 発達障がいの診断を受けた年齢

【図表9-14 発達障がいの診断を受けた年齢】

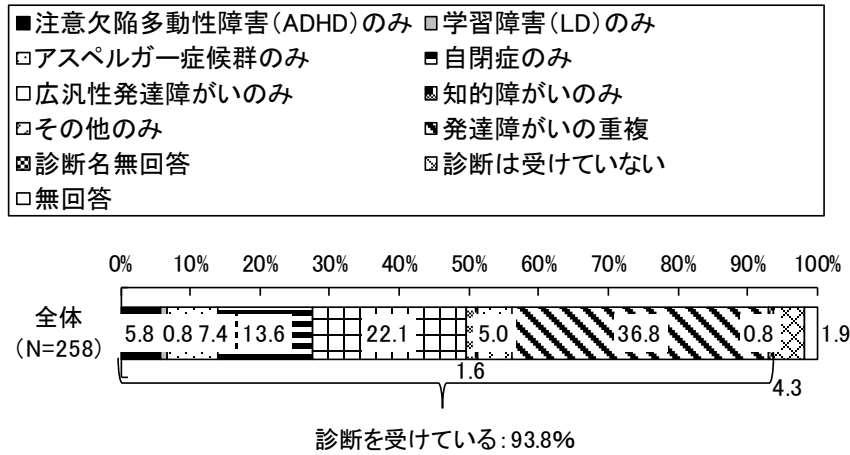


(6) 発達障がいの診断名

【図表9-15 発達障がいの診断名】(複数回答)



【図表9-16 発達障がいの診断有無と診断区分】



【図表9-17 年齢別 発達障がいの診断名、診断有無と診断区分】(%)

	調査数(人)	発達障がいの診断名										
		(A D H D) 注意欠陥多動性障がい	学習障がい(L D)	アスペルガー症候群	自閉症(知的障がいを伴うもの)	自閉症(知的障がいを伴わないもの)	障がい(知的障がいを伴うもの)	広汎性発達障がい(知的障がい)	広汎性発達障がい(知的障がい)	知的障がい	その他	無回答
全体	247	34.8	10.5	18.2	7.7	22.3	5.3	40.5	3.2	8.9	2.8	
年齢	0~5歳	11	18.2	-	-	27.3	18.2	9.1	9.1	9.1	18.2	9.1
	6~8歳	57	36.8	7.0	12.3	7.0	31.6	1.8	45.6	3.5	17.5	-
	9~11歳	42	54.8	16.7	9.5	2.4	23.8	2.4	59.5	2.4	4.8	-
	12~14歳	51	51.0	19.6	15.7	3.9	21.6	2.0	45.1	-	5.9	2.0
	15~17歳	7	28.6	14.3	-	-	28.6	14.3	42.9	-	-	-
	18~29歳	31	22.6	9.7	19.4	12.9	12.9	9.7	29.0	6.5	9.7	3.2
	30歳代	29	10.3	-	44.8	13.8	17.2	13.8	20.7	6.9	-	3.4
	40歳代	13	7.7	7.7	46.2	7.7	7.7	7.7	46.2	-	15.4	-
	50歳代	3	33.3	-	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-	33.3
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	66.7	

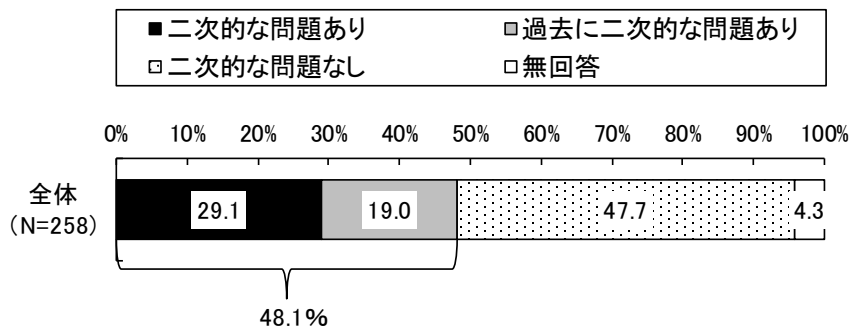
	調査数(人)	発達障がいの診断有無と診断区分										診断は受けていない	無回答	
		診断を受けている	(A D H D) のみのみ	学習障がい(L D) のみ	アスペルガー症候群のみ	自閉症のみ	広汎性発達障がいのみ	知的障がいのみ	その他のみ	発達障がいの重複	診断名不明			
全体	258	57.0	5.8	0.8	7.4	13.6	22.1	1.6	5.0	-	0.8	4.3	1.9	
年齢	0~5歳	11	81.8	-	-	-	36.4	9.1	9.1	18.2	-	9.1	-	-
	6~8歳	57	57.9	3.5	-	5.3	17.5	21.1	1.8	8.8	-	-	-	-
	9~11歳	42	42.9	9.5	2.4	2.4	7.1	19.0	-	2.4	-	-	-	-
	12~14歳	56	48.2	8.9	-	1.8	8.9	25.0	-	3.6	-	-	8.9	1.8
	15~17歳	7	71.4	14.3	-	-	14.3	42.9	-	-	-	-	-	-
	18~29歳	32	68.8	6.3	3.1	9.4	15.6	28.1	-	6.3	-	-	3.1	3.1
	30歳代	31	74.2	3.2	-	29.0	16.1	16.1	6.5	-	-	3.2	6.5	-
	40歳代	15	53.3	-	-	13.3	6.7	26.7	-	6.7	-	-	13.3	-
	50歳代	3	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	4	25.0	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	25.0	50.0	

(7) 二次的な情緒や行動などの問題の有無

問6 あなたは、本来抱えている困難さとは別の二次的な情緒や行動などの問題を抱えていますか。(○は1つだけ)

※「不登校」「ひきこもり」「いじめ」「自傷・他傷」「破壊行動」などの問題を抱えていたり、PTSD・うつ・解離性障がい・適応障がいなどの、発達障がいとは別の症状を抱えていること。

【図表9-18 二次的な情緒や行動などの問題の有無】



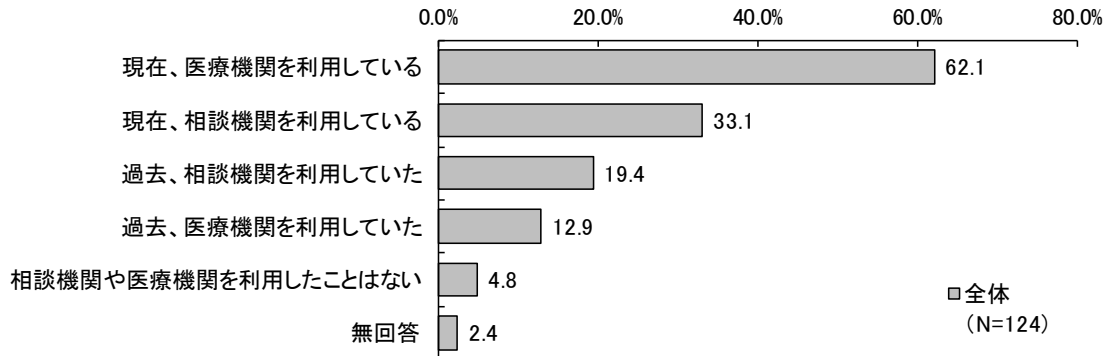
【図表9-19 年齢別、発達障がいの診断別 二次的な情緒や行動などの問題の有無】(%)

	調査数(人)	二次的な情緒や行動などの問題の有無				
		二次的な問題あり	過去に二次的な問題あり	二次的な問題なし	無回答	
全体	258	29.1	19.0	47.7	4.3	
年齢	0~5歳	11	9.1	-	72.7	18.2
	6~8歳	57	12.3	7.0	80.7	-
	9~11歳	42	23.8	16.7	57.1	2.4
	12~14歳	56	30.4	21.4	48.2	-
	15~17歳	7	28.6	57.1	14.3	-
	18~29歳	32	34.4	34.4	25.0	6.3
	30歳代	31	54.8	19.4	19.4	6.5
	40歳代	15	66.7	6.7	13.3	13.3
	50歳代	3	-	33.3	33.3	33.3
	60歳代	-	-	-	-	-
	無回答	4	-	75.0	-	25.0
全体	258	29.1	19.0	47.7	4.3	
発達障がいの診断	診断を受けている	242	29.8	19.0	49.2	2.1
	注意欠陥多動性障害(ADHD)のみ	15	20.0	13.3	66.7	-
	学習障害(LD)のみ	2	-	-	100.0	-
	アスペルガー症候群のみ	19	57.9	5.3	26.3	10.5
	自閉症のみ	35	28.6	25.7	45.7	-
	広汎性発達障がいのみ	57	21.1	28.1	49.1	1.8
	知的障がいのみ	4	-	-	100.0	-
	その他のみ	13	7.7	15.4	69.2	7.7
	発達障がいの重複	95	35.8	16.8	46.3	1.1
	診断名不明	2	50.0	-	50.0	-
	診断は受けていない	11	18.2	9.1	36.4	36.4
無回答	5	20.0	40.0	-	40.0	

(8) 二次的な問題に関する相談機関や医療機関の利用状況

問6-1 二次的な問題について、相談機関や医療機関の利用状況を教えてください。
(○はあてはまるものすべて)

【図表9-20 二次的な問題に関する相談機関や医療機関の利用状況】



【図表9-21 年齢別、療育手帳の有無別

二次的な問題に関する相談機関や医療機関の利用状況】 (%)

	調査数 (人)	二次的な問題に関する 相談機関や医療機関の利用状況						
		て現在、 相談 機関を 利用し	て現在、 医療 機関を 利用し	て過 い去 た、 相 談 機 関 を 利 用 し	て過 い去 た、 医 療 機 関 を 利 用 し	用 相 談 機 関 と は な い や 医 療 機 関 を 利 用 し	無 回 答	
全体	124	33.1	62.1	19.4	12.9	4.8	2.4	
年齢	0~5歳	1	100.0	-	-	-	-	-
	6~8歳	11	45.5	90.9	18.2	18.2	-	-
	9~11歳	17	47.1	70.6	17.6	11.8	-	-
	12~14歳	29	51.7	41.4	20.7	17.2	-	6.9
	15~17歳	6	16.7	83.3	16.7	-	-	-
	18~29歳	22	13.6	68.2	22.7	13.6	9.1	-
	30歳代	23	17.4	60.9	26.1	8.7	13.0	-
	40歳代	11	27.3	72.7	9.1	9.1	9.1	-
	50歳代	1	-	100.0	-	-	-	-
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-
無回答	3	33.3	-	-	33.3	-	33.3	
全体	124	33.1	62.1	19.4	12.9	4.8	2.4	
療育手帳の有無	持っている	21	23.8	47.6	23.8	14.3	9.5	4.8
	持っていない	65	40.0	58.5	20.0	10.8	4.6	1.5
	無回答	38	26.3	76.3	15.8	15.8	2.6	2.6

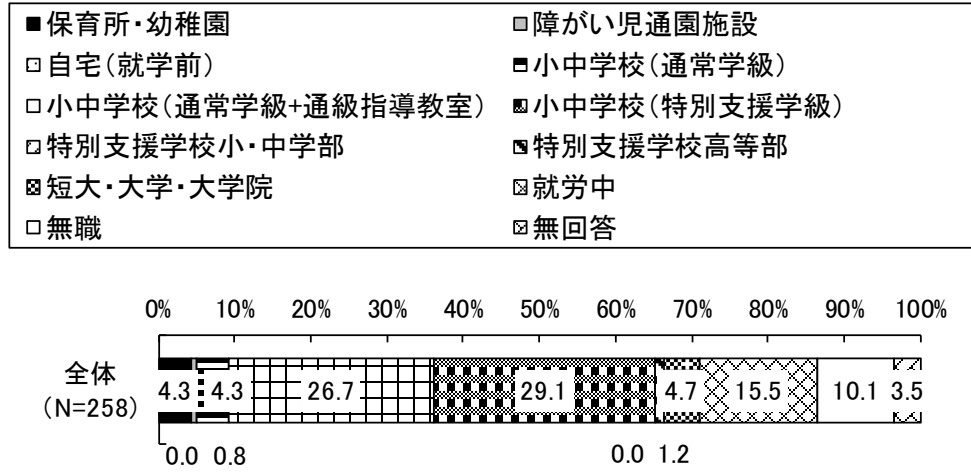
3. 生活状況について

- ・世帯状況は、「二世帯同居（親と本人）」（84.5％）が8割を超えている。年齢別にみると、18歳以上でも7割前後が親との二世帯同居世帯である。【図表9-26、図表9-27】
- ・主な介助者は「母親」（76.0％）が最も多く、次いで「世話をしてもらわない」（17.1％）となっている。また、主な介助者の平均年齢は47.5歳で、「40歳代」（46.1％）が4割超を占めて最も多く、次いで「30歳代」（17.6％）、「50歳代」（16.2％）がそれぞれ1割台で続いている。障がい者本人の年齢別にみると、特に6～11歳において「母親」の割合が9割超と高い。【図表9-28、図表9-29、図表9-30】

(1) 通園・通学・就労等の状況

問7 あなたの所属を教えてください。(○は1つだけ)

【図表9-22 通園・通学・就労等の状況】

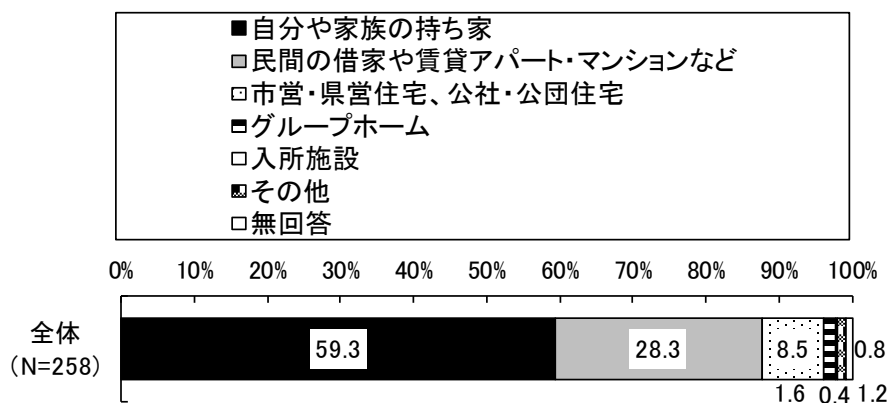


【図表 9-23 通園・通学・就労等の状況別 発達障がいの診断有無と診断区分】(%)

通園・通学・就労等の状況	調査数(人)	発達障がいの診断有無と診断区分											診断は受けていない	無回答
		診断を受けている												
		注意欠陥多動性障害(A D H D)のみ	学習障害(L D)のみ	アスペルガー症候群のみ	自閉症のみ	広汎性発達障がいのみ	知的障がいのみ	その他のみ	発達障がいの重複	診断名不明				
全体	258	93.8	5.8	0.8	7.4	13.6	22.1	1.6	5.0	36.8	0.8	4.3	1.9	
保育所・幼稚園	11	100.0	-	-	-	54.5	9.1	9.1	-	18.2	9.1	-	-	
障がい児通園施設	2	100.0	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	
自宅(就学前)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
小中学校(通常学級)	11	90.9	-	-	9.1	9.1	18.2	-	9.1	45.5	-	9.1	-	
小中学校(通常学級+通級指導教室)	69	95.7	7.2	1.4	4.3	8.7	29.0	-	8.7	36.2	-	2.9	1.4	
小中学校(特別支援学級)	75	97.3	9.3	-	1.3	13.3	17.3	-	1.3	54.7	-	2.7	-	
特別支援学校小・中学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
特別支援学校高等部	3	100.0	-	-	-	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-	
短大・大学・大学院	12	100.0	-	-	16.7	8.3	33.3	8.3	-	33.3	-	-	-	
就労中	40	92.5	7.5	2.5	12.5	15.0	27.5	2.5	2.5	22.5	-	2.5	5.0	
無職	26	92.3	-	-	26.9	15.4	15.4	-	3.8	26.9	3.8	3.8	3.8	
無回答	9	44.4	-	-	-	-	-	-	22.2	22.2	-	44.4	11.1	

(2) 住まいの形態

【図表9-24 住まいの形態】

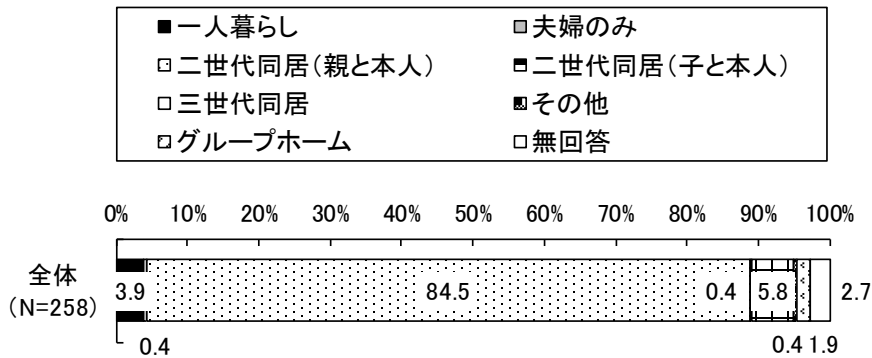


【図表9-25 年齢別 住まいの形態】 (%)

	調査数 (人)	住まいの形態							
		自分や家族の持ち家	民間の借家や賃貸アパート・マンションなど	市営・県営住宅、公社・公団住宅	グループホーム	入所施設	その他	無回答	
全体	258	59.3	28.3	8.5	1.6	0.4	1.2	0.8	
年齢	0~5歳	11	63.6	18.2	9.1	-	-	-	9.1
	6~8歳	57	50.9	42.1	7.0	-	-	-	-
	9~11歳	42	52.4	35.7	4.8	-	-	4.8	2.4
	12~14歳	56	58.9	30.4	7.1	1.8	-	1.8	-
	15~17歳	7	57.1	-	42.9	-	-	-	-
	18~29歳	32	65.6	18.8	6.3	6.3	3.1	-	-
	30歳代	31	67.7	19.4	12.9	-	-	-	-
	40歳代	15	80.0	6.7	6.7	6.7	-	-	-
	50歳代	3	33.3	66.7	-	-	-	-	-
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	4	75.0	-	25.0	-	-	-	-	

(3) 同居家族の状況

【図表9-26 世帯状況】

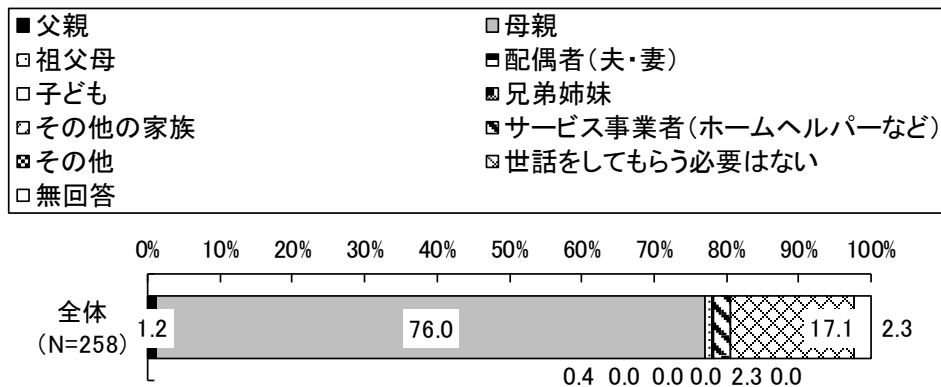


【図表9-27 年齢別 世帯状況】 (%)

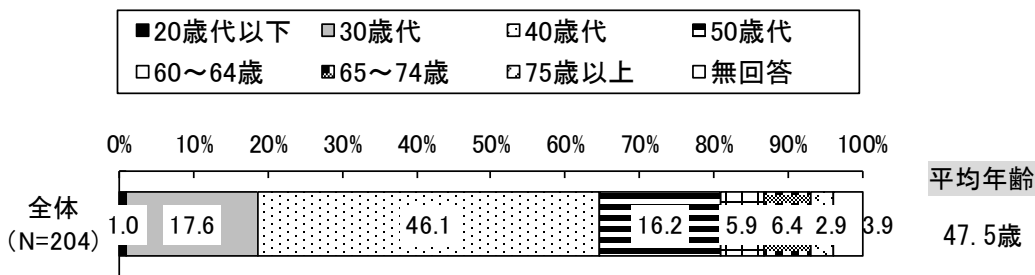
	調査数 (人)	世帯状況							
		一人暮らし	夫婦のみ	二世帯同居 (親と本人)	二世帯同居 (子と本人)	三世帯同居	その他	グループホーム	無回答
全体	258	3.9	0.4	84.5	0.4	5.8	0.4	1.9	2.7
年齢	0~5歳	11	-	90.9	-	-	-	-	9.1
	6~8歳	57	-	91.2	-	8.8	-	-	-
	9~11歳	42	-	92.9	-	7.1	-	-	-
	12~14歳	56	-	89.3	-	5.4	-	1.8	3.6
	15~17歳	7	-	100.0	-	-	-	-	-
	18~29歳	32	9.4	3.1	68.8	-	9.4	-	9.4
	30歳代	31	16.1	-	74.2	-	3.2	3.2	3.2
	40歳代	15	13.3	-	73.3	-	-	-	6.7
	50歳代	3	-	-	66.7	33.3	-	-	-
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	4	-	-	50.0	-	-	-	50.0

(4) 主な介助者の状況

【図表9-28 主な介助者】



【図表9-29 主な介助者(サービス事業者、その他以外)の年齢】



【図表9-30 年齢別 主な介助者】 (%)

	調査数 (人)	主な介助者										
		父親	母親	祖父母	配偶者(夫・妻)	子ども	兄弟姉妹	その他の家族	サービス事業者(ホームヘルパーなど)	その他	世話をしてもらう必要はない	無回答
全体	258	1.2	76.0	0.8	0.4	-	-	-	2.3	-	17.1	2.3
年齢	0~5歳	11	9.1	72.7	-	-	-	-	-	-	9.1	9.1
	6~8歳	57	-	93.0	-	-	-	-	-	-	7.0	-
	9~11歳	42	2.4	90.5	-	-	-	-	-	-	7.1	-
	12~14歳	56	-	73.2	3.6	-	-	-	1.8	-	21.4	-
	15~17歳	7	-	71.4	-	-	-	-	-	-	28.6	-
	18~29歳	32	3.1	53.1	-	3.1	-	-	6.3	-	34.4	-
	30歳代	31	-	71.0	-	-	-	-	3.2	-	22.6	3.2
	40歳代	15	-	60.0	-	-	-	-	13.3	-	20.0	6.7
	50歳代	3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	4	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0

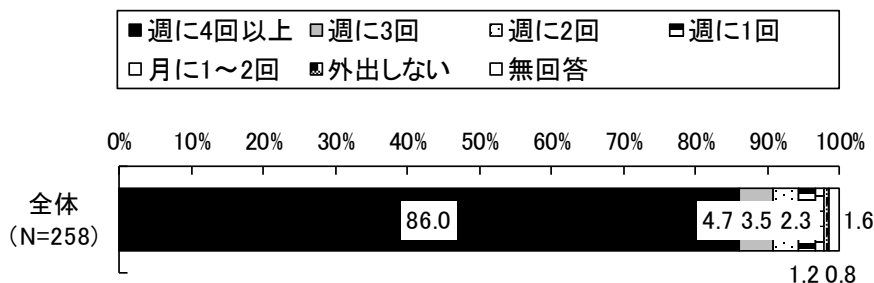
4. 外出の状況などについて

- 外出の頻度をみると、全体の8割超が「週に4回以上」外出しており、特に6～14歳では9割超が「週に4回以上」外出していると回答している。【図表9-31、図表9-32】
- 主な外出先としては、「学校」(60.9%)と「買い物」(59.3%)となっている。【図表9-33】
- 外出時に不便や困難を感じることは、回答者全体では「まわりの人の目が気になる」(21.7%)「歩道がない道路に危険を感じる」(18.6%)、「歩行者や走行自転車のマナーの悪さ」(18.2%)などが多い。年齢別にみると、6～8歳では「歩道がない道に危険を感じる」(36.8%)の割合が高くなっている。二次的な情緒や行動などの問題の有無別にみると、二次的な問題がある人は、ない人等に比べて「まわりの人の目が気になる」(32.0%)や「外出に費用がかかりすぎる」(20.0%)、「困った時、まわりの人が助けてくれない」(14.7%)等の割合が高い。【図表9-37、図表9-38】
- コミュニケーション支援については「何も利用していない」(64.7%)が6割超を占めている。利用しているものとしては、「継続して関わることで意思を理解してくれる人による支援」(14.0%)と「パソコンやスマートフォン・携帯電話の利用」(13.6%)、「わかりやすい日本語の使用」(12.4%)がそれぞれ1割を超えている。療育手帳の有無別にみると、療育手帳を持っている人では、持っていない人に比べて、全体的に利用している人の割合が高く、特に「継続して関わることで意思を理解してくれる人による支援」(30.6%)と「わかりやすい日本語の使用」(27.8%)では差が大きくなっている。【図表9-39、図表9-40】
- コミュニケーションで困っていることは、「難しい内容やあいまいな表現を理解することが難しい」(61.8%)、「話をうまく組み立てられない」(52.9%)、「どのように人とコミュニケーションをとればいいのかわからない」(46.1%)、「面と向かって人と話すのが苦手」(42.9%)などが多い。療育手帳の有無別にみると、療育手帳を持っている人では「声や言葉がでにくいいため、自分の思いが伝わりづらい」(50.0%)で割合が高い。【図表9-43、図表9-44】

(1) 外出の頻度

問11 あなたは、通勤や通学、通所、買い物、通院、レジャーなどの外出を1ヶ月にどのくらいしていますか。付き添い者と一緒に外出する場合も含めてお答えください。
(○は1つだけ)

【図表9-31 外出の頻度】



【図表9-32 年齢別、発達障がいの診断別、二次的な情緒や行動などの問題の有無別 外出の頻度】 (%)

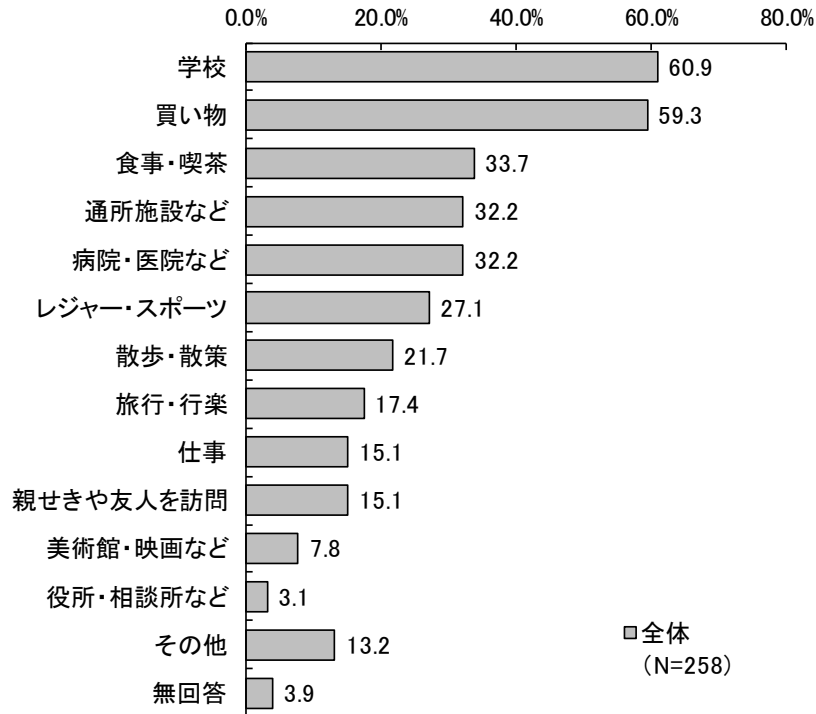
	調査数 (人)	外出の頻度							
		週に4回以上	週に3回	週に2回	週に1回	月に1~2回	外出しない	無回答	
全体	258	86.0	4.7	3.5	2.3	1.2	0.8	1.6	
年齢	0~5歳	11	81.8	-	9.1	-	-	-	9.1
	6~8歳	57	94.7	3.5	1.8	-	-	-	-
	9~11歳	42	92.9	2.4	2.4	2.4	-	-	-
	12~14歳	56	92.9	1.8	3.6	1.8	-	-	-
	15~17歳	7	57.1	28.6	-	14.3	-	-	-
	18~29歳	32	87.5	6.3	-	3.1	3.1	-	-
	30歳代	31	67.7	12.9	6.5	3.2	-	6.5	3.2
	40歳代	15	73.3	-	13.3	6.7	6.7	-	-
	50歳代	3	66.7	-	-	-	33.3	-	-
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	4	50.0	-	-	-	-	-	50.0	
全体	258	86.0	4.7	3.5	2.3	1.2	0.8	1.6	
発達障がいの診断	診断を受けている	242	86.4	5.0	3.7	2.5	1.2	0.8	0.4
	注意欠陥多動性障害 (ADHD) のみ	15	93.3	-	6.7	-	-	-	-
	学習障害 (LD) のみ	2	100.0	-	-	-	-	-	-
	アスペルガー症候群のみ	19	47.4	21.1	15.8	-	5.3	10.5	-
	自閉症のみ	35	88.6	5.7	2.9	2.9	-	-	-
	広汎性発達障がいのみ	57	89.5	5.3	3.5	-	1.8	-	-
	知的障がいのみ	4	75.0	-	-	-	-	-	25.0
	その他のみ	13	100.0	-	-	-	-	-	-
	発達障がいの重複	95	89.5	3.2	1.1	5.3	1.1	-	-
	診断名不明	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-
診断を受けていない	11	81.8	-	-	-	-	-	18.2	
無回答	5	80.0	-	-	-	-	-	20.0	
全体	258	86.0	4.7	3.5	2.3	1.2	0.8	1.6	
二次的な情緒や行動的な問題の有無	二次的な問題あり	75	74.7	10.7	5.3	5.3	2.7	1.3	-
	過去に二次的な問題あり	49	91.8	2.0	-	2.0	-	2.0	2.0
	二次的な問題なし	123	92.7	1.6	3.3	0.8	0.8	-	0.8
	無回答	11	63.6	9.1	9.1	-	-	-	18.2

(2) 主な外出先

[問11で「1」～「5」を選ばれた方におたずねします]

問11-1 どのようなところに外出することが多いですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表9-33 主な外出先】



【図表9-34 年齢別 主な外出先】 (%)

	調査数 (人)	主な外出先														
		学校	買い物	食事・喫茶	通所施設など	病院・医院など	レジャー・スポーツ	散歩・散策	旅行・行楽	仕事	親せきや友人を訪問	美術館・映画など	役所・相談所など	その他	無回答	
全体	258	60.9	59.3	33.7	32.2	32.2	27.1	21.7	17.4	15.1	15.1	7.8	3.1	13.2	3.9	
年齢	0～5歳	11	18.2	63.6	18.2	54.5	27.3	18.2	54.5	9.1	-	18.2	-	-	18.2	9.1
	6～8歳	57	93.0	63.2	47.4	45.6	22.8	47.4	28.1	29.8	-	15.8	7.0	3.5	8.8	-
	9～11歳	42	92.9	59.5	23.8	40.5	38.1	31.0	9.5	19.0	-	23.8	7.1	-	19.0	-
	12～14歳	56	87.5	51.8	32.1	26.8	21.4	23.2	14.3	12.5	-	12.5	5.4	3.6	19.6	1.8
	15～17歳	7	85.7	28.6	42.9	14.3	42.9	-	-	-	-	28.6	14.3	14.3	28.6	-
	18～29歳	32	15.6	59.4	28.1	21.9	37.5	21.9	31.3	9.4	53.1	9.4	6.3	3.1	9.4	-
	30歳代	31	3.2	74.2	35.5	16.1	45.2	16.1	22.6	12.9	51.6	9.7	12.9	3.2	9.7	9.7
	40歳代	15	6.7	60.0	33.3	33.3	53.3	20.0	26.7	20.0	33.3	13.3	13.3	-	-	13.3
	50歳代	3	-	33.3	33.3	-	33.3	-	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	33.3
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	4	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-	50.0

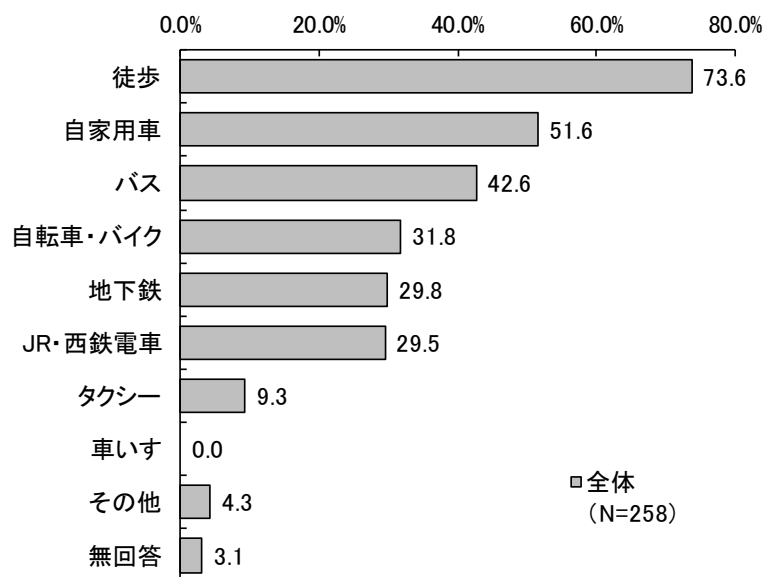
(3) 外出時の移動手段

[問11で「1」～「5」を選ばれた方におたずねします]

問11-2 どのような方法で、あるいはどのような移動手段を使って外出しますか。

(○はあてはまるものすべて)

【図表9-35 外出時の移動手段】



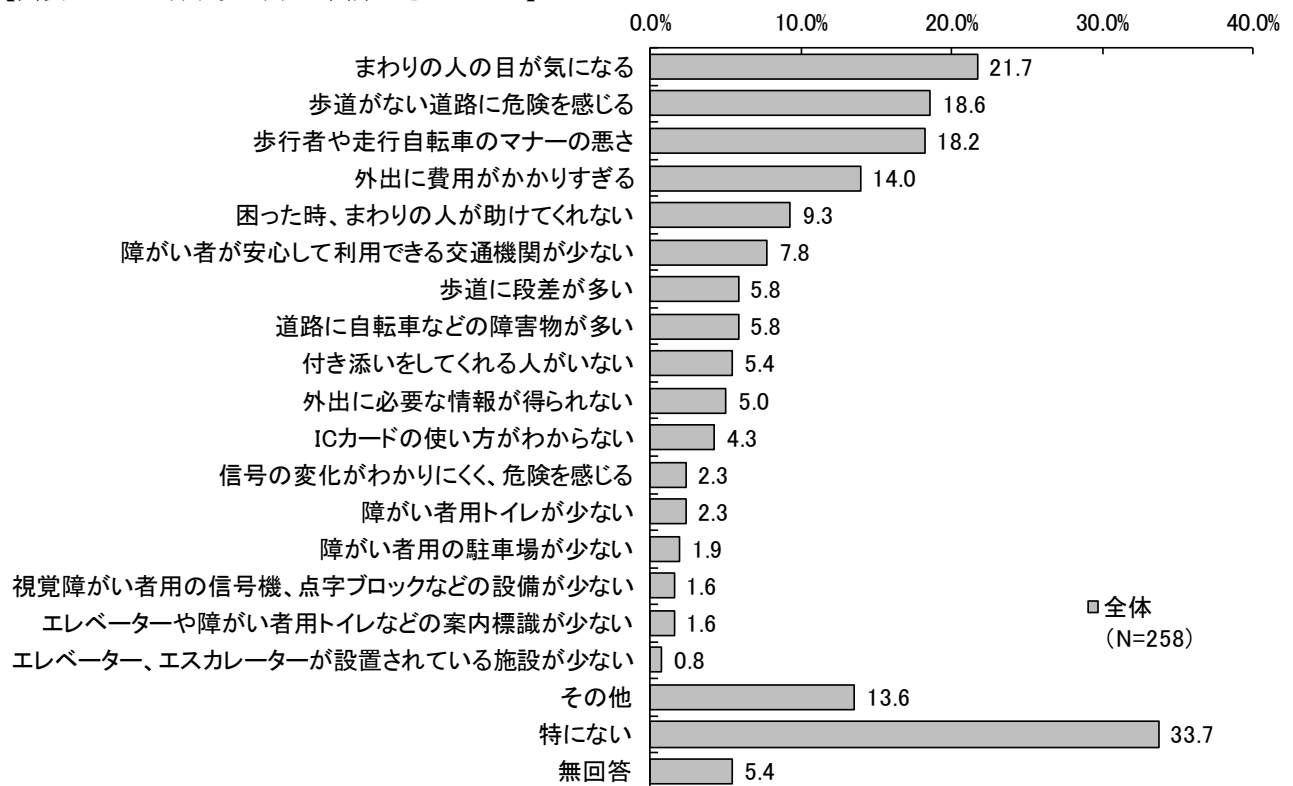
【図表9-36 年齢別 外出時の移動手段】 (%)

	調査数 (人)	外出時の移動手段										
		徒歩	自家用車	バス	自転車・バイク	地下鉄	JR・西鉄電車	タクシー	車いす	その他	無回答	
全体	258	73.6	51.6	42.6	31.8	29.8	29.5	9.3	-	4.3	3.1	
年齢	0～5歳	11	81.8	63.6	45.5	27.3	27.3	9.1	9.1	-	9.1	9.1
	6～8歳	57	82.5	77.2	38.6	22.8	28.1	38.6	12.3	-	1.8	-
	9～11歳	42	71.4	64.3	42.9	33.3	16.7	7.1	9.5	-	-	2.4
	12～14歳	56	73.2	50.0	37.5	33.9	19.6	23.2	7.1	-	8.9	-
	15～17歳	7	42.9	42.9	85.7	42.9	28.6	28.6	-	-	14.3	-
	18～29歳	32	81.3	28.1	50.0	43.8	50.0	43.8	9.4	-	9.4	-
	30歳代	31	71.0	35.5	48.4	35.5	38.7	48.4	12.9	-	-	9.7
	40歳代	15	46.7	26.7	33.3	20.0	53.3	33.3	6.7	-	-	6.7
	50歳代	3	66.7	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	33.3
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	4	75.0	-	50.0	50.0	25.0	-	-	-	-	25.0

(4) 外出時に不便や困難を感じること

問12 あなたは、外出する時、どのようなことに不便や困難を感じますか。(〇は5つまで)

【図表9-37 外出時に不便や困難を感じること】



【図表9-38 年齢別、二次的な情緒や行動などの問題の有無別
外出時に不便や困難を感じること】(%)

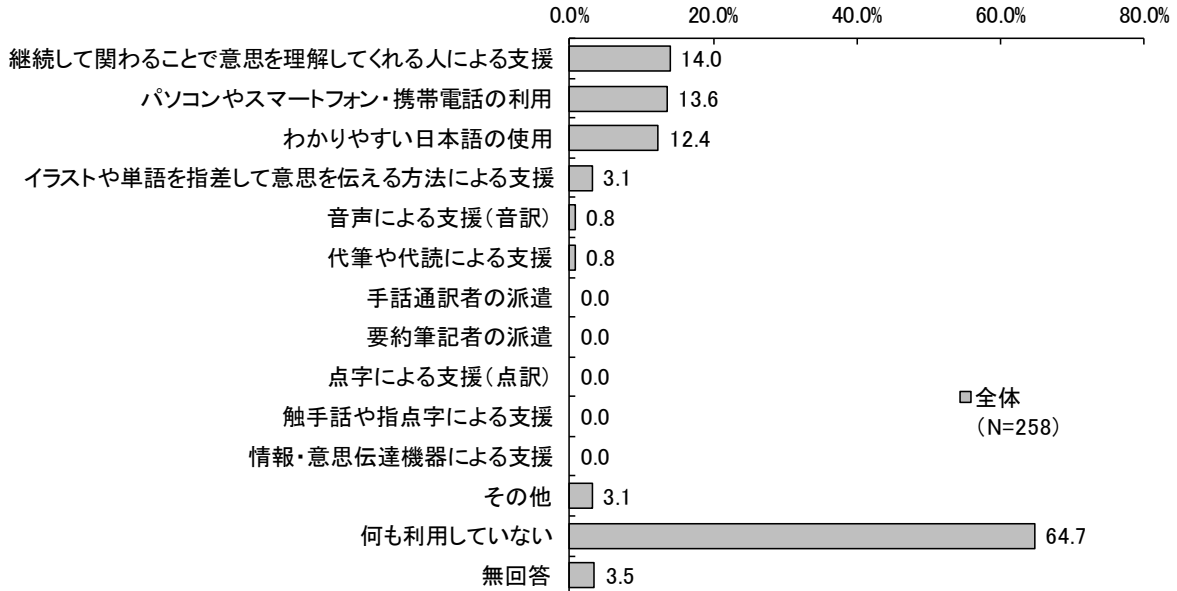
	調査数(人)	外出時に不便や困難を感じること										
		まわりの人の目が気になる	歩道がない道路に危険を感じる	悪歩行者や走行自転車のマナーの悪さ	外出に費用がかかりすぎる	困った時、まわりの人が助けてくれない	交通機関が安心して利用できる	歩道に段差が多い	道路に自転車などの障害物が多い	付き添いをしてくれる人がいない	外出に必要な情報が得られない	
全体	258	21.7	18.6	18.2	14.0	9.3	7.8	5.8	5.8	5.4	5.0	
年齢	0~5歳	11	27.3	27.3	27.3	-	-	18.2	18.2	-	9.1	-
	6~8歳	57	19.3	36.8	15.8	10.5	14.0	12.3	8.8	14.0	-	5.3
	9~11歳	42	28.6	16.7	21.4	4.8	9.5	4.8	4.8	2.4	7.1	11.9
	12~14歳	56	17.9	7.1	7.1	8.9	7.1	3.6	1.8	1.8	1.8	3.6
	15~17歳	7	28.6	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3	-	-	28.6	14.3
	18~29歳	32	21.9	12.5	28.1	25.0	12.5	6.3	3.1	9.4	12.5	3.1
	30歳代	31	25.8	6.5	19.4	25.8	6.5	6.5	6.5	3.2	6.5	-
	40歳代	15	20.0	13.3	20.0	40.0	6.7	6.7	6.7	-	6.7	6.7
	50歳代	3	-	33.3	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-
60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	4	-	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	
全体	258	21.7	18.6	18.2	14.0	9.3	7.8	5.8	5.8	5.4	5.0	
二次的な問題の有無	二次的な問題あり	75	32.0	10.7	16.0	20.0	14.7	12.0	5.3	4.0	9.3	5.3
	過去に二次的な問題あり	49	26.5	22.4	22.4	14.3	6.1	8.2	2.0	6.1	6.1	6.1
	二次的な問題なし	123	14.6	23.6	17.9	8.9	7.3	5.7	8.1	7.3	2.4	4.9
	無回答	11	9.1	-	18.2	27.3	9.1	-	-	-	9.1	-

	調査数(人)	外出時に不便や困難を感じること										
		ICカードの使い方がわからない	信号の変化がわかりにくく、危険を感じる	障がい者用トイレが少ない	障がい者用の駐車場が少ない	視覚障害者用の設備が少ない	ブロッックなどの信号機、点字	エレベーターや障がい者用トイレなどの案内標識が少ない	エレベーター、エスカレーター、設置されている施設が少ない	その他	特になし	無回答
全体	258	4.3	2.3	2.3	1.9	1.6	1.6	0.8	13.6	33.7	5.4	
年齢	0~5歳	11	-	-	-	-	9.1	-	9.1	-	9.1	9.1
	6~8歳	57	7.0	3.5	3.5	1.8	-	1.8	-	10.5	38.6	1.8
	9~11歳	42	4.8	4.8	-	4.8	4.8	2.4	2.4	21.4	31.0	4.8
	12~14歳	56	3.6	-	-	-	-	-	-	8.9	48.2	14.3
	15~17歳	7	-	-	-	-	-	-	-	-	28.6	14.3
	18~29歳	32	6.3	3.1	6.3	-	3.1	6.3	-	18.8	25.0	-
	30歳代	31	-	-	3.2	6.5	-	-	-	22.6	25.8	-
	40歳代	15	6.7	6.7	6.7	-	-	-	-	13.3	20.0	-
	50歳代	3	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	-
60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	4	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	25.0	
全体	258	4.3	2.3	2.3	1.9	1.6	1.6	0.8	13.6	33.7	5.4	
二次的な問題の有無	二次的な問題あり	75	5.3	4.0	2.7	2.7	-	-	-	20.0	21.3	8.0
	過去に二次的な問題あり	49	2.0	-	2.0	-	-	2.0	-	20.4	36.7	-
	二次的な問題なし	123	3.3	2.4	0.8	2.4	3.3	2.4	1.6	6.5	42.3	4.9
	無回答	11	18.2	-	18.2	-	-	-	-	18.2	9.1	18.2

(5) 利用しているコミュニケーション支援

問13 あなたは、普段、どのようなコミュニケーション（意思疎通）の支援を利用していますか。（○はあてはまるものすべて）

【図表9-39 利用しているコミュニケーション支援】



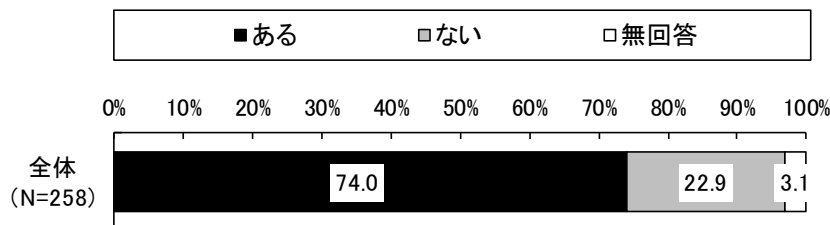
【図表9-40 療育手帳の有無別、発達障がいの診断別、二次的な情緒や行動などの問題の有無別 利用しているコミュニケーション支援】 (%)

	調査数 (人)	利用しているコミュニケーション支援														
		継続して関わることで意思を理解してくれる人による支援	パソコンやスマートフォン・携帯電話の利用	わかりやすい日本語の使用	イラストや単語を指差して意思を伝える方法による支援	音声による支援(音訳)	代筆や代読による支援	手話通訳者の派遣	要約筆記者の派遣	点字による支援(点訳)	触手話や指点字による支援	情報・意思伝達機器による支援	その他	何もしない	無回答	
全体	258	14.0	13.6	12.4	3.1	0.8	0.8	-	-	-	-	-	3.1	64.7	3.5	
療育手帳の有無	持っている	36	30.6	16.7	27.8	16.7	-	2.8	-	-	-	-	-	2.8	36.1	8.3
	持っていない	156	10.9	8.3	9.6	1.3	0.6	0.6	-	-	-	-	-	3.8	74.4	2.6
	無回答	66	12.1	24.2	10.6	-	1.5	-	-	-	-	-	-	1.5	57.6	3.0
全体	258	14.0	13.6	12.4	3.1	0.8	0.8	-	-	-	-	-	3.1	64.7	3.5	
発達障がいの診断	診断を受けている	242	14.0	12.8	13.2	3.3	0.8	0.8	-	-	-	-	-	3.3	65.3	2.5
	注意欠陥多動性障害(ADHD)のみ	15	13.3	6.7	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80.0	-
	学習障害(LD)のみ	2	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-
	アスペルガー症候群のみ	19	10.5	21.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	68.4	-
	自閉症のみ	35	17.1	8.6	28.6	5.7	-	-	-	-	-	-	-	2.9	57.1	-
	広汎性発達障がいのみ	57	14.0	10.5	12.3	1.8	-	-	-	-	-	-	-	-	70.2	1.8
	知的障がいのみ	4	-	25.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-
	その他のみ	13	7.7	15.4	15.4	15.4	-	-	-	-	-	-	-	-	53.8	7.7
	発達障がいの重複	95	15.8	13.7	10.5	2.1	2.1	2.1	-	-	-	-	-	5.3	65.3	3.2
	診断名無回答	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0
診断を受けていない	11	18.2	18.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	54.5	27.3	
無回答	5	-	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60.0	-	
全体	258	14.0	13.6	12.4	3.1	0.8	0.8	-	-	-	-	-	3.1	64.7	3.5	
二次的な問題の有無	二次的な問題あり	75	21.3	20.0	12.0	2.7	1.3	1.3	-	-	-	-	-	5.3	54.7	2.7
	過去に二次的な問題あり	49	10.2	14.3	16.3	2.0	-	-	-	-	-	-	-	2.0	71.4	-
	二次的な問題なし	123	11.4	9.8	12.2	4.1	0.8	0.8	-	-	-	-	-	2.4	69.1	3.3
	無回答	11	9.1	9.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	54.5	27.3

(6) コミュニケーションで困っていることの有無

問14 あなたは、コミュニケーション（意思疎通）する上で、困っていることがありますか。（○は1つだけ）

【図表9-41 コミュニケーションで困っていることの有無】



【図表9-42 療育手帳の有無別、発達障がいの診断別、二次的な情緒や行動などの問題の有無別 コミュニケーションで困っていることの有無】 (%)

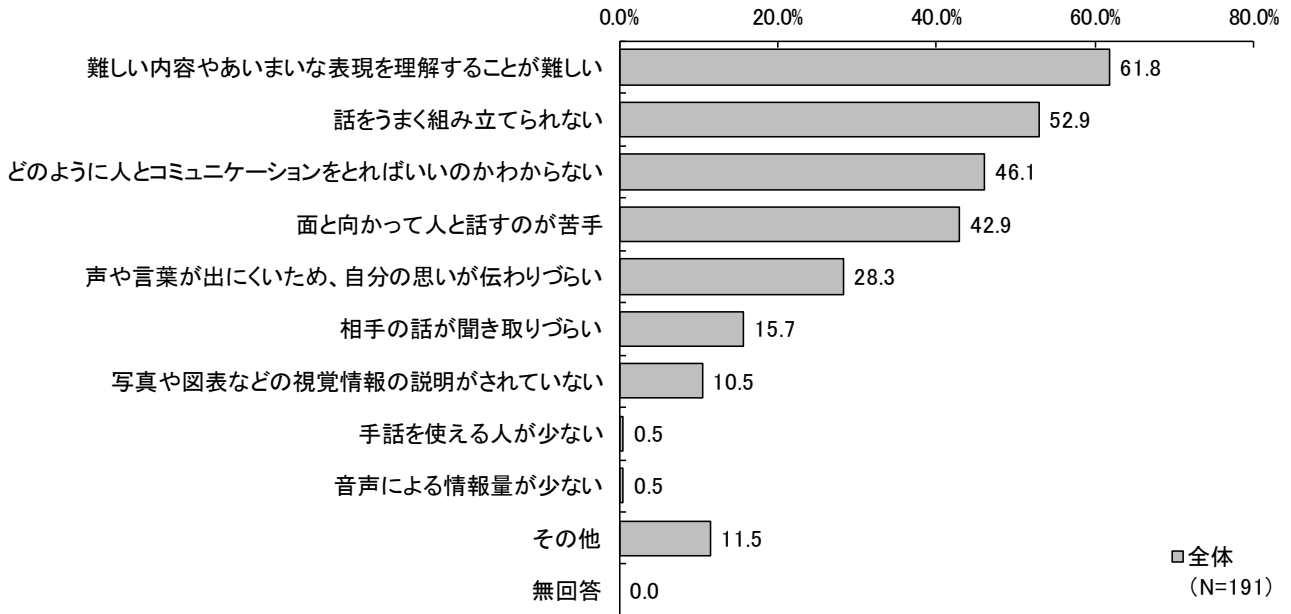
	調査数 (人)	コミュニケーションで困っていることの有無			
		ある	ない	無回答	
全体	258	74.0	22.9	3.1	
有無 療育手帳	持っている	36	77.8	16.7	5.6
	持っていない	156	71.2	26.9	1.9
	無回答	66	78.8	16.7	4.5
全体	258	74.0	22.9	3.1	
発達障がいの診断	診断を受けている	242	74.8	23.1	2.1
	注意欠陥多動性障害(ADHD)のみ	15	66.7	33.3	-
	学習障害(LD)のみ	2	50.0	50.0	-
	アスペルガー症候群のみ	19	84.2	15.8	-
	自閉症のみ	35	94.3	5.7	-
	広汎性発達障がいのみ	57	73.7	26.3	-
	知的障がいのみ	4	100.0	-	-
	その他のみ	13	69.2	23.1	7.7
	発達障がいの重複	95	67.4	28.4	4.2
	診断名無回答	2	100.0	-	-
	診断は受けていない	11	63.6	9.1	27.3
無回答	5	60.0	40.0	-	
全体	258	74.0	22.9	3.1	
有無 二次的な問題	二次的な問題あり	75	85.3	10.7	4.0
	過去に二次的な問題あり	49	71.4	26.5	2.0
	二次的な問題なし	123	69.9	29.3	0.8
	無回答	11	54.5	18.2	27.3

(7) コミュニケーションで困っていること

[問14で「1」を選ばれた方におたずねします]

問14-1 どのようなことで困っていますか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表9-43 コミュニケーションで困っていること】



【図表9-44 療育手帳の有無別 コミュニケーションで困っていること】 (%)

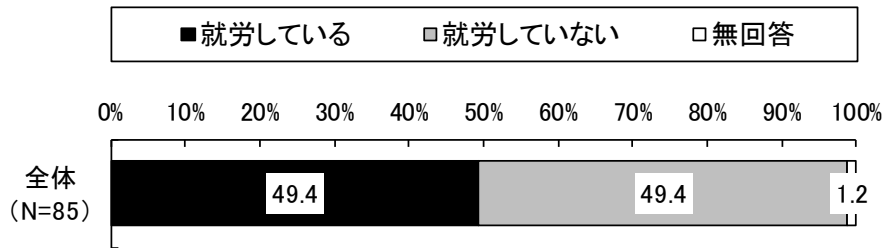
	調査数 (人)	コミュニケーションで困っていること											
		解 難 す しい こ と が 難 しい あ い ま い な 表 現 を 理 解 す る こ と が 難 しい	話 を う ま く 組 み 立 て ら れ な い	ど の よ う に 人 と コ ミ ュ ニ カ ー シ ョ ン を と れ ば い い の か わ か ら な い	面 と 向 か っ て 人 と 話 す の が 苦 手	思 声 や 言 葉 が 出 な い 、 自 分 の 思 い が 伝 わ り づ ら い	相 手 の 話 が 聞 き 取 り づ ら い	が 写 真 や 図 表 な ど の 視 覚 情 報 の 説 明 が さ れ て い な い	手 話 を 使 え る 人 が 少 な い	音 声 に よ る 情 報 量 が 少 な い	そ の 他	無 回 答	
全体	191	61.8	52.9	46.1	42.9	28.3	15.7	10.5	0.5	0.5	11.5	-	
有 無 の 手 帳 の 療 育	持っている	28	53.6	42.9	35.7	32.1	50.0	17.9	7.1	-	-	10.7	-
	持っていない	111	64.0	57.7	50.5	39.6	24.3	15.3	11.7	0.9	-	13.5	-
	無回答	52	61.5	48.1	42.3	55.8	25.0	15.4	9.6	-	1.9	7.7	-

5. 就労の状況について

- ・現在仕事をしている人は42人で、18歳未満を除いた回答者（85人）の49.4%にあたる。就労形態をみると、「臨時・日雇、アルバイト、パート」（41.3%）、次いで「施設で働いている」（28.3%）、「正規の社員・従業員」（17.4%）となっている。【図表9-45、図表9-46】
- ・発達障がい者の就労に対する社会の理解度は「あまりあると思わない」（38.8%）、「あると思わない」（22.4%）の順で多く、これらをあわせた『理解があると思わない』人（61.2%）が6割強を占めている。また、二次的な問題ありの層の7割超が『理解があると思わない』と回答しており、相対的に高い値を示している。【図表9-50、図表9-51】
- ・発達障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由については、「発達障がいへの理解が進んでいないため」（73.7%）、「障がいへの理解が進んでいないため」（70.2%）、「発達障がい者の働く場（雇用機会）が少ないため」（56.1%）、「雇用・労働条件の整備が進んでいないため」（52.6%）といった理由が上位に挙がっている。【図表9-52】
- ・発達障がい者の就労支援として必要なことについて、回答者全体では「仕事（作業）上の援助や本人・周囲への助言を行う者による支援」（61.2%）が最も多く、次いで「調子の悪い時に休みを取りやすくする」（57.6%）、「発達障がいの特性を踏まえた作業手順の視覚化などの配慮」（56.5%）、「短時間勤務などの労働（作業）時間の配慮」（50.6%）と続いている。年齢別にみると、18～29歳では他の年代に比べて「発達障がいの特性を踏まえた作業手順の視覚化などの配慮」（78.1%）、「工賃（収入）の増加」（53.1%）といった項目の割合が高い。【図表9-53、図表9-54】
- ・今後、「働きたい（働き続けたい）」と考えている人が8割（80.0%）を占めている。年齢別にみると18～29歳で9割超が「働きたい（働き続けたい）」と回答しており、特に高くなっている。また、二次的な問題の有無別にみると、二次的な問題を抱えている層では「働きたい（働き続けたい）」との回答が7割弱に留まっており、低い傾向が見られる。【図表9-55、図表9-56】

(1) 就労の有無、就労形態

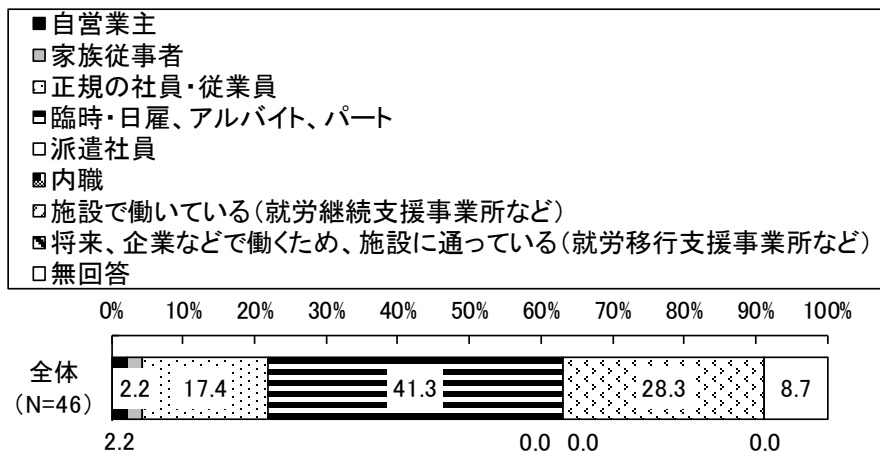
【図表9-45 就労の有無】



[現在働いている方のみお答えください]

問15 あなたの就労形態は何ですか。(○は1つだけ)

【図表9-46 就労形態】

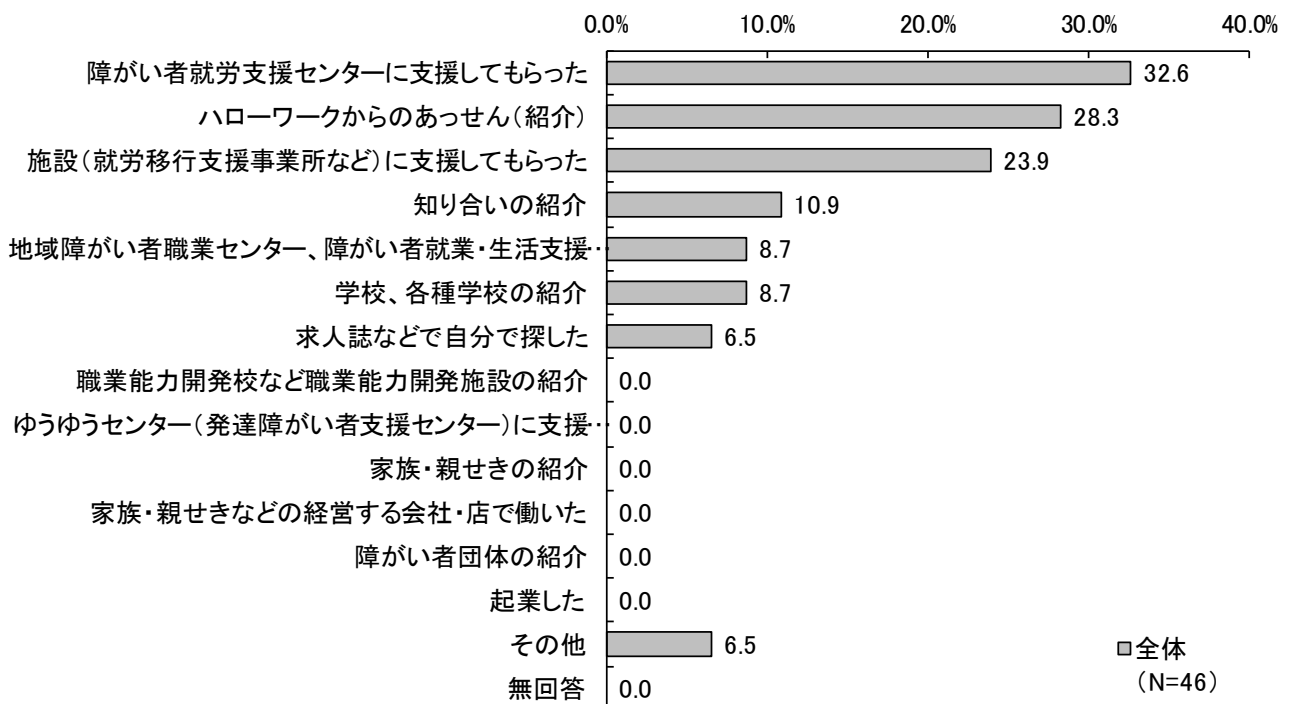


(2) 仕事を探した方法

[現在働いている方のみお答えください]

問16 どのような方法で仕事を探しましたか。(○はあてはまるものすべて)

【図表9-47 仕事を探した方法】

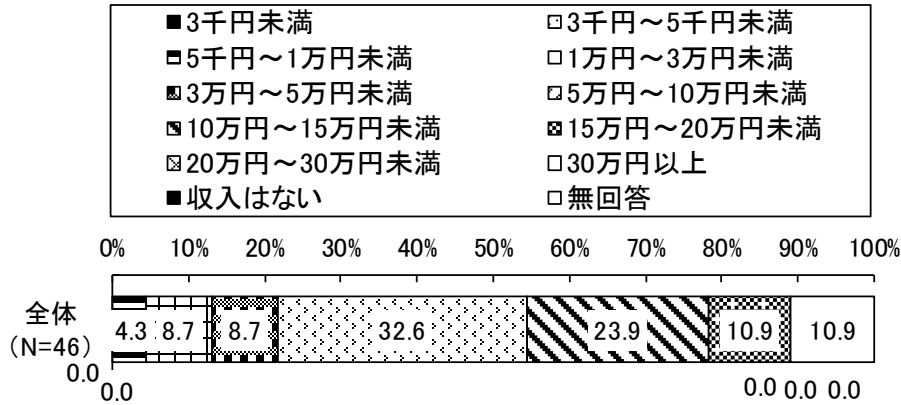


(3) 月収

[現在働いている方のみお答えください]

問17 あなたの、ふだんの月収（手取り額）はどのくらいですか。賞与などの臨時的に支給されるものは除きます。（○は1つだけ）

【図表9-48 月収】

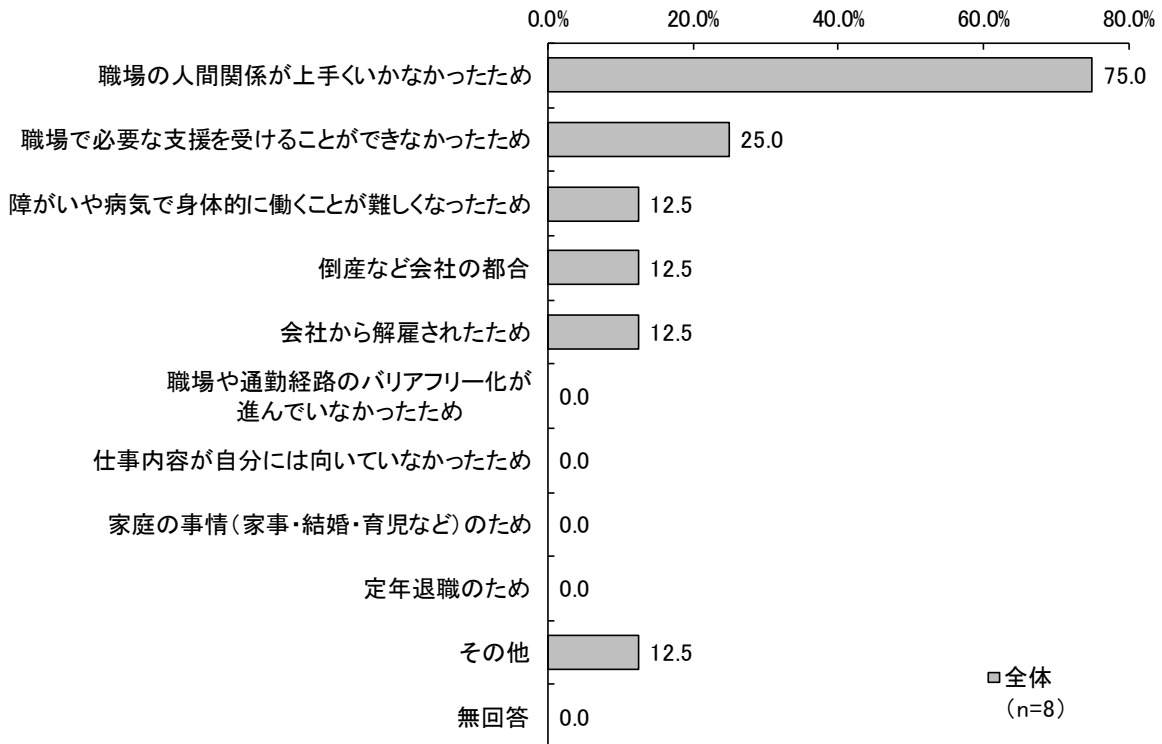


(4) 仕事をやめた原因

[以前働いていたが仕事をやめた方のみお答えください]

問18 仕事をやめた原因は何ですか。（○はあてはまるものすべて）

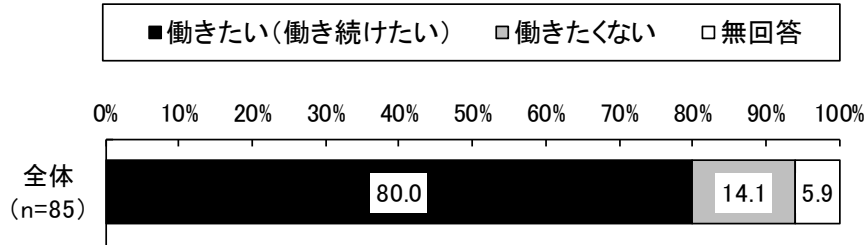
【図表9-49 仕事をやめた原因】



(5) 就労意向、希望する就労形態

問19 あなたは、今後、働きたい（働き続けたい）ですか。（○は1つだけ）

【図表9-55 就労意向】



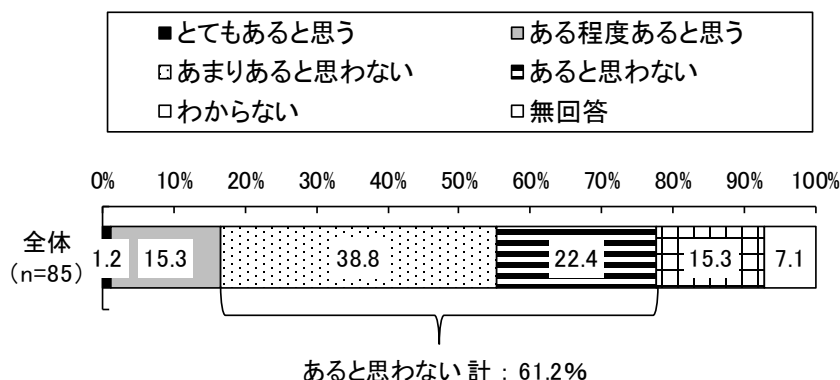
【図表9-56 年齢別、発達障がいの診断別、二次的な情緒や行動などの問題の有無別 就労意向】 (%)

	調査数 (人)	就労意向			
		(働きたい 働き続けたい)	働きたくない	無回答	
全体	85	80.0	14.1	5.9	
年齢	0~5歳	-	-	-	
	6~8歳	-	-	-	
	9~11歳	-	-	-	
	12~14歳	-	-	-	
	15~17歳	-	-	-	
	18~29歳	32	90.6	6.3	3.1
	30歳代	31	80.6	19.4	-
	40歳代	15	66.7	20.0	13.3
	50歳代	3	66.7	33.3	-
	60歳代	-	-	-	-
	無回答	4	50.0	-	50.0
全体	85	80.0	14.1	5.9	
発達障がいの診断	診断を受けている	75	81.3	14.7	4.0
	注意欠陥多動性障害(ADHD)のみ	3	100.0	-	-
	学習障害(LD)のみ	1	100.0	-	-
	アスペルガー症候群のみ	14	57.1	35.7	7.1
	自閉症のみ	12	91.7	-	8.3
	広汎性発達障がいのみ	19	89.5	10.5	-
	知的障がいのみ	2	100.0	-	-
	その他のみ	3	100.0	-	-
	発達障がいの重複	20	75.0	20.0	5.0
	診断名無回答	1	100.0	-	-
	診断は受けていない	6	50.0	16.7	33.3
無回答	4	100.0	-	-	
全体	85	80.0	14.1	5.9	
二次的な問題の有無	二次的な問題あり	38	68.4	23.7	7.9
	過去に二次的な問題あり	22	90.9	4.5	4.5
	二次的な問題なし	17	94.1	5.9	-
	無回答	8	75.0	12.5	12.5

(6) 発達障がい者の就労に対する社会の理解度

問20 発達障がいのある人が働くことについて社会の理解があると思いますか。
(○は1つだけ)

【図表9-50 発達障がい者の就労に対する社会の理解度】



【図表9-51 年齢別、発達障がいの診断別、二次的な情緒や行動などの問題の有無別 発達障がい者の就労に対する社会の理解度】 (%)

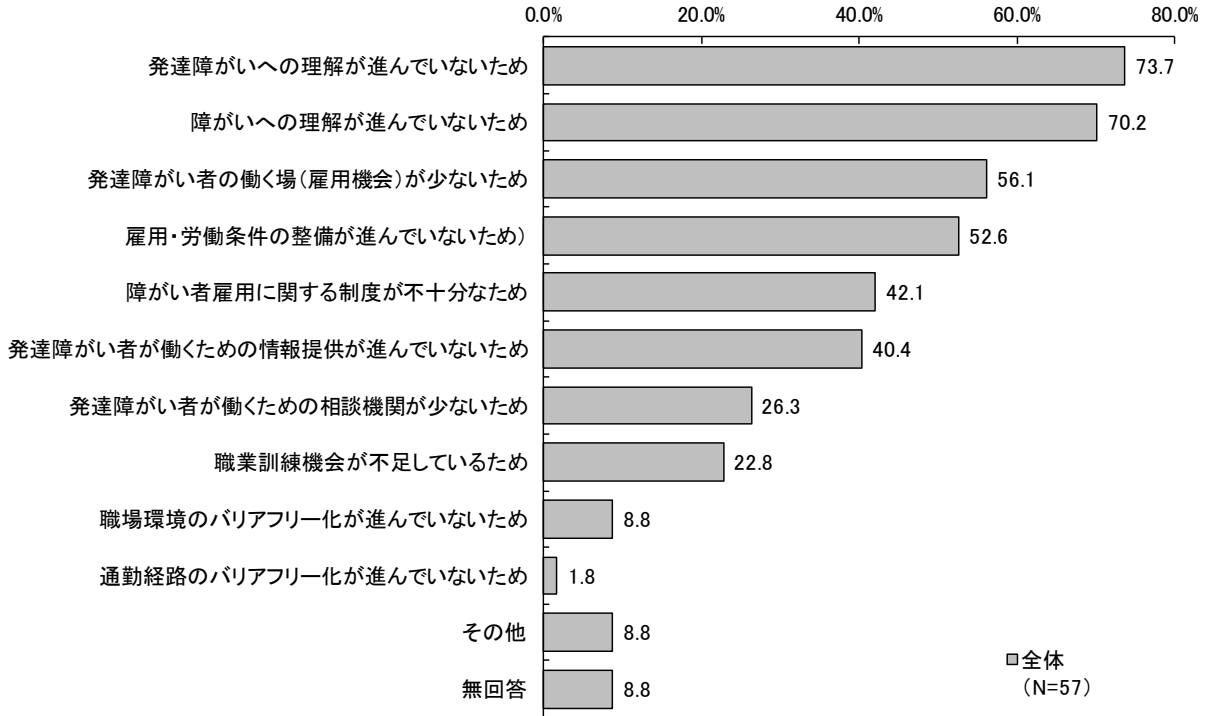
		発達障がい者の就労に対する社会の理解度								
		調査数 (人)	とてもあると思う	ある程度あると思う	あまりあると思わない	あると思わない	わからない	無回答	理解があると思う	理解があると思わない
全体		85	1.2	15.3	38.8	22.4	15.3	7.1	16.5	61.2
年齢	0~5歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6~8歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9~11歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12~14歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	15~17歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	18~29歳	32	3.1	18.8	37.5	12.5	21.9	6.3	21.9	50.0
	30歳代	31	-	16.1	45.2	32.3	6.5	-	16.1	77.4
	40歳代	15	-	13.3	26.7	33.3	13.3	13.3	13.3	60.0
	50歳代	3	-	-	66.7	-	33.3	-	-	66.7
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	4	-	-	25.0	-	25.0	50.0	-	25.0	
全体		85	1.2	15.3	38.8	22.4	15.3	7.1	16.5	61.2
発達障がいの診断	診断を受けている	75	1.3	16.0	42.7	24.0	13.3	2.7	17.3	66.7
	注意欠陥多動性障害(ADHD)のみ	3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	66.7
	学習障害(LD)のみ	1	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0
	アスペルガー症候群のみ	14	-	14.3	28.6	35.7	14.3	7.1	14.3	64.3
	自閉症のみ	12	-	8.3	33.3	41.7	8.3	8.3	8.3	75.0
	広汎性発達障がいのみ	19	-	21.1	52.6	15.8	10.5	-	21.1	68.4
	知的障がいのみ	2	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-
	その他のみ	3	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-	66.7
	発達障がいの重複	20	5.0	10.0	55.0	10.0	20.0	-	15.0	65.0
	診断名無回答	1	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0
診断は受けていない	6	-	16.7	-	16.7	16.7	50.0	16.7	16.7	
無回答	4	-	-	25.0	-	50.0	25.0	-	25.0	
全体		85	1.2	15.3	38.8	22.4	15.3	7.1	16.5	61.2
二次的な問題の有無	二次的な問題あり	38	-	7.9	36.8	34.2	15.8	5.3	7.9	71.1
	過去に二次的な問題あり	22	4.5	4.5	59.1	13.6	13.6	4.5	9.1	72.7
	二次的な問題なし	17	-	41.2	35.3	17.6	5.9	-	41.2	52.9
	無回答	8	-	25.0	-	-	37.5	37.5	25.0	-

(7) 発達障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由

[問20で「3」「4」を選ばれた方におたずねします]

問20-1 発達障がいのある人が働くことについて社会の理解があると思わない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

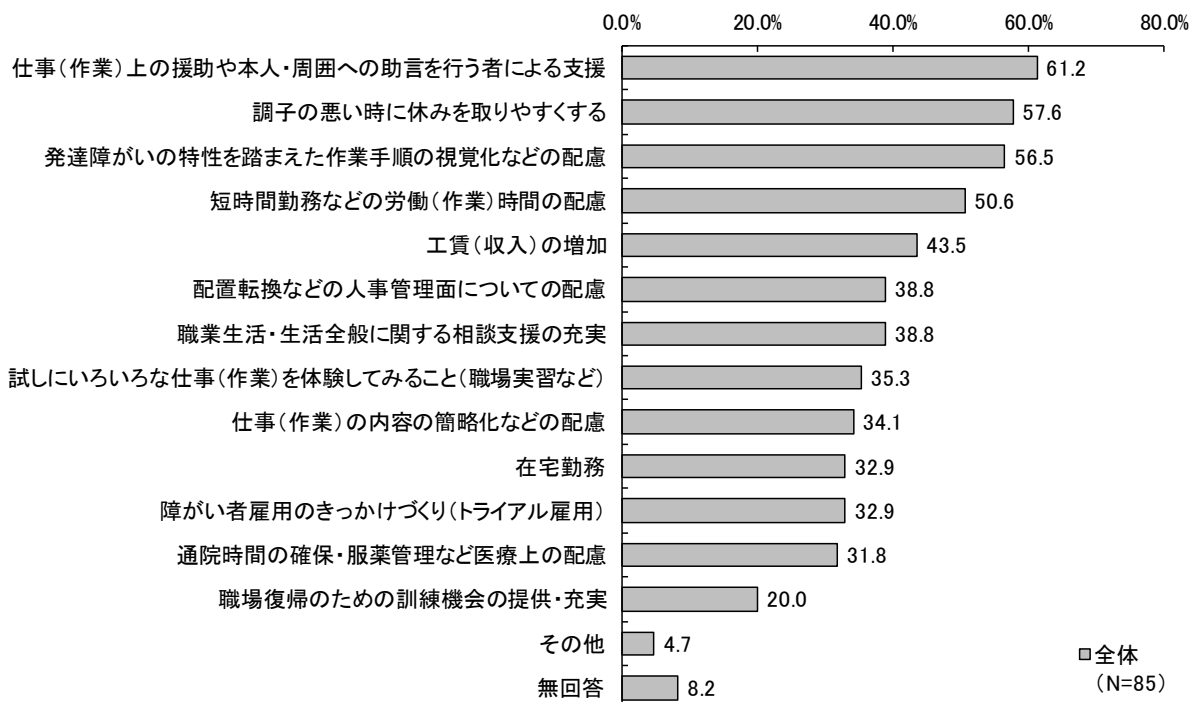
【図表9-52 発達障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由】



(8) 発達障がい者の就労支援として必要なこと

問21 どのような働き方や制度があれば発達障がいのある人が働きやすいと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表9-53 発達障がい者の就労支援として必要なこと】



【図表9-54 年齢別、発達障がいの診断別、二次的な情緒や行動などの問題の有無別
発達障がい者の就労支援として必要なこと】(%)

	調査数(人)	発達障がい者の就労支援として必要なこと								
		う本人仕り調どえ発 者人事や子の配た障 による・作すの悪のた 支困業すくすい順業 援への上のの時に休みを取 言助の援の休みを取 を言の助の休みを取 行助の助の休みを取 行助の助の休みを取	短(短 作時 業間 勤務 時間 の配 慮労働	工賃(収入)の増加	面配置転換などの配慮	職業生活・生活全般に関する相談支援の充実	こ(試 作し 業)に いろ いろ な 仕 事 る			
全体	85	61.2	57.6	56.5	50.6	43.5	38.8	38.8	35.3	
年齢	18~29歳	32	62.5	56.3	78.1	50.0	53.1	43.8	40.6	28.1
	30歳代	31	61.3	61.3	51.6	54.8	41.9	32.3	41.9	35.5
	40歳代	15	66.7	60.0	40.0	60.0	33.3	40.0	33.3	46.7
	50歳代	3	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	66.7	66.7	33.3
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	4	25.0	25.0	-	-	25.0	25.0	-	50.0
全体	85	61.2	57.6	56.5	50.6	43.5	38.8	38.8	35.3	
発達障がいの診断	診断を受けている	75	66.7	64.0	64.0	57.3	48.0	42.7	44.0	37.3
	注意欠陥多動性障害(ADHD)のみ	3	66.7	33.3	100.0	33.3	100.0	33.3	66.7	33.3
	学習障害(LD)のみ	1	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-
	アスペルガー症候群のみ	14	42.9	57.1	35.7	71.4	21.4	35.7	21.4	35.7
	自閉症のみ	12	66.7	50.0	83.3	50.0	25.0	33.3	25.0	33.3
	広汎性発達障がいのみ	19	84.2	73.7	68.4	47.4	68.4	36.8	57.9	31.6
	知的障がいのみ	2	100.0	100.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0
	その他のみ	3	33.3	33.3	66.7	33.3	-	33.3	66.7	33.3
	発達障がいの重複	20	65.0	75.0	60.0	65.0	55.0	55.0	50.0	45.0
	診断名無回答	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-	100.0
診断は受けていない	6	16.7	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	4	25.0	25.0	-	-	25.0	25.0	-	50.0	
全体	85	61.2	57.6	56.5	50.6	43.5	38.8	38.8	35.3	
二次的な問題の有無	二次的な問題あり	38	60.5	65.8	44.7	50.0	36.8	28.9	28.9	28.9
	過去に二次的な問題あり	22	68.2	59.1	72.7	54.5	54.5	59.1	50.0	50.0
	二次的な問題なし	17	82.4	58.8	82.4	58.8	58.8	41.2	58.8	35.3
	無回答	8	-	12.5	12.5	25.0	12.5	25.0	12.5	25.0

	調査数(人)	発達障がい者の就労支援として必要なこと							
		略仕 化事 な(作 業)の 配 慮 の 内 容 の 簡	在宅 勤務	用づ障 くが りい 者 (ト 雇 用 の ア ル つ 雇 か け	理通 など 時 医 療 の 確 配 服 薬 管	会職 の場 提復 供婦 のた め の 訓 練 機	そ 他	無 回 答	
全体	85	34.1	32.9	32.9	31.8	20.0	4.7	8.2	
年齢	18~29歳	32	37.5	37.5	31.3	28.1	9.4	-	6.3
	30歳代	31	38.7	38.7	38.7	32.3	29.0	9.7	3.2
	40歳代	15	26.7	20.0	33.3	33.3	20.0	6.7	13.3
	50歳代	3	33.3	-	33.3	66.7	66.7	-	-
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	4	-	25.0	-	25.0	-	-	50.0
全体	85	34.1	32.9	32.9	31.8	20.0	4.7	8.2	
発達障がいの診断	診断を受けている	75	37.3	34.7	36.0	33.3	22.7	5.3	4.0
	注意欠陥多動性障害(ADHD)のみ	3	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-
	学習障害(LD)のみ	1	-	100.0	-	-	-	-	-
	アスペルガー症候群のみ	14	28.6	42.9	21.4	21.4	14.3	7.1	7.1
	自閉症のみ	12	33.3	16.7	25.0	25.0	25.0	-	8.3
	広汎性発達障がいのみ	19	47.4	21.1	47.4	47.4	36.8	-	-
	知的障がいのみ	2	100.0	50.0	50.0	100.0	50.0	-	-
	その他のみ	3	-	33.3	33.3	-	-	-	33.3
	発達障がいの重複	20	35.0	45.0	40.0	35.0	15.0	15.0	-
	診断名無回答	1	-	100.0	100.0	-	-	-	-
診断は受けていない	6	16.7	-	16.7	-	-	-	66.7	
無回答	4	-	50.0	-	50.0	-	-	-	
全体	85	34.1	32.9	32.9	31.8	20.0	4.7	8.2	
二次的な問題の有無	二次的な問題あり	38	28.9	36.8	26.3	31.6	10.5	10.5	7.9
	過去に二次的な問題あり	22	36.4	27.3	45.5	31.8	31.8	-	4.5
	二次的な問題なし	17	47.1	35.3	47.1	41.2	29.4	-	-
	無回答	8	25.0	25.0	-	12.5	12.5	-	37.5

6. 利用したいサービス等について

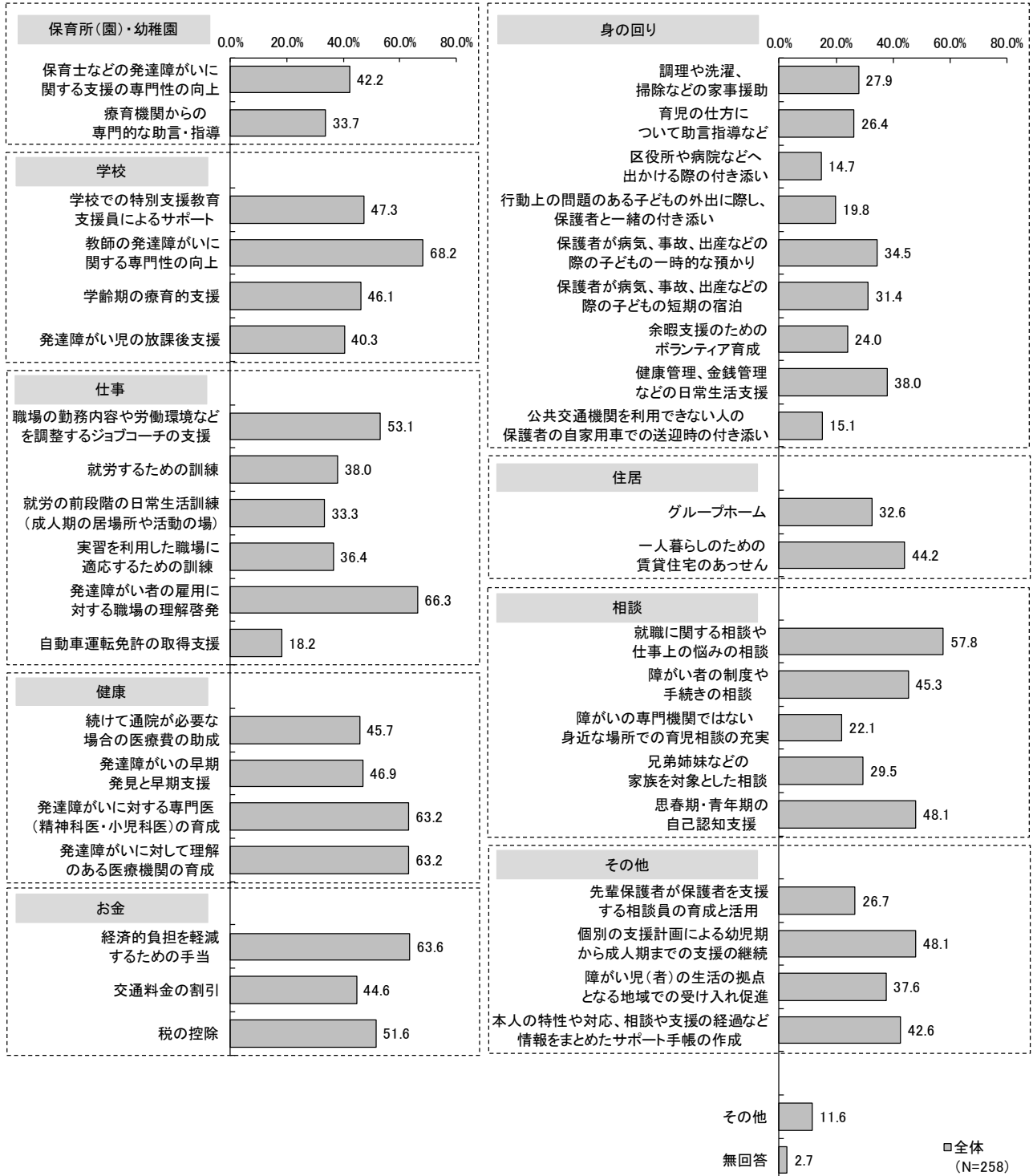
- ・今後必要なサービスや充実すべき施策としては、「教師の発達障がいに関する専門性の向上」が7割弱（68.2%）で最も高く、次いで「発達障がい者の雇用に対する職場の理解啓発」（66.3%）、「経済的負担を軽減するための手当」（63.6%）、「発達障がいに対する専門医（精神科医、小児科医）の育成」と「発達障がいに対して理解のある医療機関の育成」（ともに63.2%）と続いており、医療・教育・雇用分野での関係者の理解促進や専門性向上や経済的負担の軽減策に関する項目が上位を占めている。【図表9-57】
- ・また、これらの中で最も力を入れてほしいことでは、「教師の発達障がいに関する専門性の向上」（16.3%）が突出しており、次いで「発達障がい者の雇用に対する職場の理解啓発」（8.1%）、「本人・保護者の希望を反映した個別の支援計画による幼児期から成人期までの支援の継続」（6.6%）の順に続いている。【図表9-58】

(1) 必要なサービスや充実すべき施策

問22 利用したいサービスなどについておたずねします。

(1) あなたは、これから、こんなことができればいいな、必要だなと思うサービスや充実すべき施策は何だと思われますか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表9-57 必要なサービスや充実すべき施策】



問22 利用したいサービスなどについておたずねします。

(2)(1)で回答したもののうち、最も力を入れてほしいことは何ですか。

(1)で回答したもののの中から1つだけ、選択肢の番号を記入してください。

【図表9-58 最も力を入れてほしいサービスや施策（上位5項目）】

1位	2位	3位	4位	5位
教師の発達障がいに関する専門性の向上 (16.3%)	発達障がい者の雇用に対する職場の理解啓発(8.1%)	本人・保護者の希望を反映した個別の支援計画による幼児期から成人期までの支援の継続(6.6%)	学齢期の療育的支援(5.8%) 経済的負担を軽減するための手当(5.8%)	学校での特別支援教育支援員によるサポート(5.4%) グループホーム(アパートなどでの世話人付きの共同生活)(5.4%)

7. 今後の暮らし方について

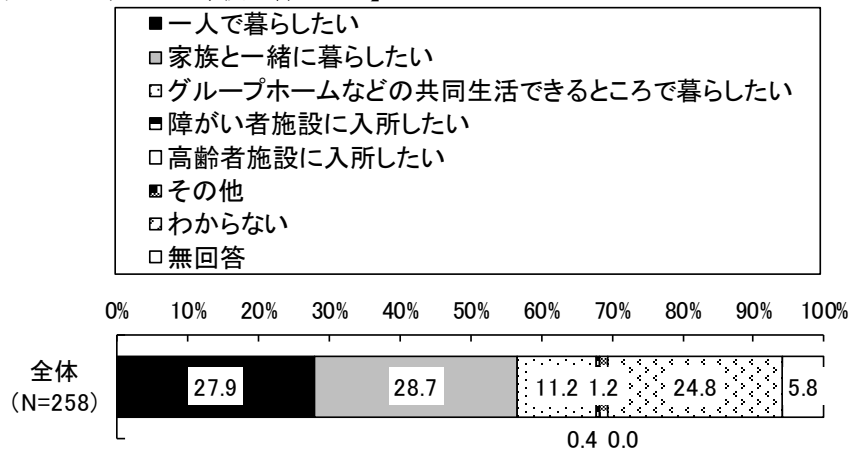
・希望する今後の暮らし方は、「家族と一緒に暮らしたい」(28.7%)が3割弱を占めて最も多く、「一人で暮らしたい」(27.9%)が僅差で続いている。年齢別にみると、9～11歳では「家族と一緒に暮らしたい」(50.0%)が非常に高い。一方、18～29歳では「一人で暮らしたい」(53.1%)の割合が突出して高い。また、療育手帳を持っている層では、「グループホームなどで暮らしたい」(38.9%)が4割弱を占め、最も高くなっている。【図表9-59、図表9-60】

・自宅やグループホームなどで生活するために必要な条件は、「仕事があること」(56.2%)が最も多く、次いで「地域や職場の人たちが障がいについて理解があること」(46.9%)がそれに続いている。年齢別にみると、18～29歳では「調理や掃除、洗濯などの家事の手伝いを頼める人がいること」(37.5%)の回答比率が高い。また、療育手帳を持っている層では、「グループホームなどの仲間と共同生活ができる場があること」(30.6%)が療育手帳を持っていない層よりも顕著に高くなっている。【図表9-61、図表9-62、図表9-63】

(1) 希望する今後の暮らし方

問23 あなたは、今後、どのように暮らしたいと思いますか。(○は1つだけ)

【図表9-59 希望する今後の暮らし方】



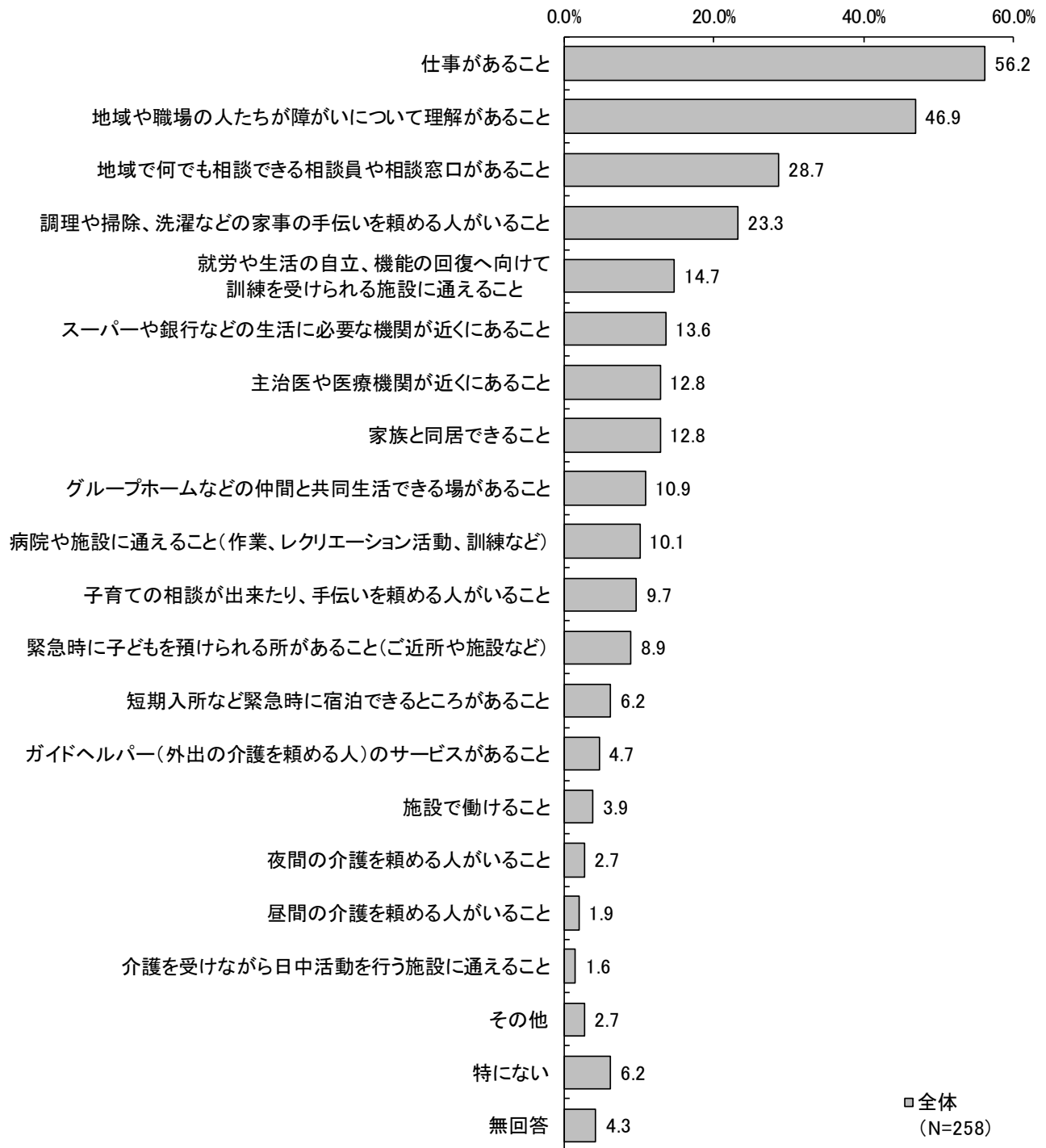
【図表9-60 年齢別、療育手帳の有無別 希望する今後の暮らし方】(%)

	調査数(人)	希望する今後の暮らし方								
		一人で暮らしたい	家族と一緒に暮らしたい	グループホームなどで暮らしたい	障がい者施設に入所したい	高齢者施設に入所したい	その他	わからない	無回答	
全体	258	27.9	28.7	11.2	0.4	-	1.2	24.8	5.8	
年齢	0～5歳	11	18.2	9.1	18.2	-	-	-	54.5	-
	6～8歳	57	17.5	35.1	3.5	-	-	1.8	38.6	3.5
	9～11歳	42	11.9	50.0	2.4	-	-	-	28.6	7.1
	12～14歳	56	28.6	35.7	7.1	-	-	-	23.2	5.4
	15～17歳	7	57.1	14.3	-	-	-	-	14.3	14.3
	18～29歳	32	53.1	9.4	18.8	-	-	3.1	9.4	6.3
	30歳代	31	38.7	19.4	25.8	-	-	3.2	6.5	6.5
	40歳代	15	33.3	-	20.0	6.7	-	-	33.3	6.7
	50歳代	3	-	33.3	66.7	-	-	-	-	-
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	4	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	25.0	
全体	258	27.9	28.7	11.2	0.4	-	1.2	24.8	5.8	
療育手帳の有無	持っている	36	30.6	11.1	38.9	-	-	-	16.7	2.8
	持っていない	156	23.1	34.0	5.8	0.6	-	-	31.4	5.1
	無回答	66	37.9	25.8	9.1	-	-	4.5	13.6	9.1

(2) 自宅や地域で生活するために必要な条件

問24 自宅やグループホームなどで生活するためには、どのような条件が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【図表9-61 自宅やグループホームなどで生活するために必要な条件】



【図表9-62 年齢別、療育手帳の有無別
自宅やグループホームなどで生活するために必要な条件】(%)

	調査数(人)	自宅やグループホームで生活するために必要な条件																
		仕事があること	地域や職場の理解があること	地域や相談窓口があること	地域で何でも相談できること	この手伝いを頼める人がいること	調理や掃除、洗濯などの家事	回復施設に通えること	就労や生活の自立、機能の	必要機関が近くにあること	スーパーストアや銀行などの生活	主治医や医療機関が近くにあること	家族と同居できること	共同生活できる場があること	グループホームなどの仲間	活動、訓練など	病院や施設に通えること	と手育ての相談が出来る人
全体	258	56.2	46.9	28.7	23.3	14.7	13.6	12.8	12.8	10.9	10.1	9.7						
年齢	0~5歳	11	36.4	45.5	18.2	9.1	27.3	18.2	9.1	-	9.1	18.2	36.4					
	6~8歳	57	64.9	52.6	31.6	17.5	17.5	3.5	17.5	12.3	8.8	8.8	5.3					
	9~11歳	42	59.5	57.1	21.4	19.0	7.1	14.3	4.8	19.0	2.4	4.8	23.8					
	12~14歳	56	55.4	46.4	19.6	16.1	16.1	17.9	12.5	14.3	7.1	7.1	8.9					
	15~17歳	7	42.9	28.6	14.3	42.9	14.3	14.3	-	14.3	-	-	28.6					
	18~29歳	32	62.5	40.6	37.5	37.5	18.8	15.6	15.6	6.3	12.5	6.3	3.1					
	30歳代	31	58.1	41.9	35.5	22.6	6.5	16.1	12.9	16.1	19.4	16.1	-					
	40歳代	15	26.7	33.3	53.3	53.3	20.0	20.0	13.3	6.7	26.7	26.7	-					
	50歳代	3	33.3	33.3	66.7	33.3	-	33.3	66.7	33.3	66.7	33.3	-					
60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
無回答	4	50.0	50.0	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-					
全体	258	56.2	46.9	28.7	23.3	14.7	13.6	12.8	12.8	10.9	10.1	9.7						
療育手帳の有無	持っている	36	33.3	33.3	30.6	22.2	19.4	25.0	8.3	13.9	30.6	25.0	8.3					
	持っていない	156	60.9	50.0	25.0	21.2	14.1	10.9	10.9	12.2	5.8	5.1	11.5					
	無回答	66	57.6	47.0	36.4	28.8	13.6	13.6	19.7	13.6	12.1	13.6	6.1					

	調査数(人)	自宅やグループホームで生活するために必要な条件											
		施設があること(ご近所や)	緊急時に子どもを預けられること	短期入所など緊急時に宿泊できること	ガイドヘルパー(外出の介)	介護を頼める人がいること	施設で働けること	夜間の介護を頼める人がいること	昼間の介護を頼める人がいること	介護施設にしながら日中活動を行うこと	その他	特にな	無回答
全体	258	8.9	6.2	4.7	3.9	2.7	1.9	1.6	2.7	6.2	4.3		
年齢	0~5歳	11	36.4	-	-	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	-	
	6~8歳	57	8.8	10.5	5.3	3.5	-	-	1.8	8.8	5.3		
	9~11歳	42	19.0	4.8	4.8	2.4	-	-	2.4	11.9	2.4		
	12~14歳	56	5.4	8.9	1.8	3.6	5.4	3.6	1.8	5.4	8.9		
	15~17歳	7	-	-	-	-	-	-	-	14.3	14.3		
	18~29歳	32	6.3	6.3	6.3	6.3	3.1	3.1	3.1	-	-		
	30歳代	31	-	-	9.7	6.5	6.5	3.2	-	-	3.2	-	
	40歳代	15	6.7	-	6.7	-	-	-	6.7	6.7	-	-	
	50歳代	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無回答	4	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	25.0		
全体	258	8.9	6.2	4.7	3.9	2.7	1.9	1.6	2.7	6.2	4.3		
療育手帳の有無	持っている	36	11.1	8.3	16.7	13.9	11.1	2.8	8.3	-	2.8	-	
	持っていない	156	11.5	7.1	1.9	1.3	1.3	2.6	-	4.5	7.1	5.1	
	無回答	66	1.5	3.0	4.5	4.5	1.5	-	1.5	-	6.1	4.5	

【図表9-63 発達障がいの診断別 自宅やグループホームで生活するために必要な条件】(%)

	調査数(人)	自宅やグループホームで生活するために必要な条件																
		仕事があること	地域や職場の理解があること	地域で何でも相談できること	地域や相談窓口があること	必要なことを伝えること	調理や掃除、洗濯などの家事	回復や生活の自立、機能の向上	就労や生活の自立、機能の向上	必要となる機関が近くにあること	主治医や医療機関が近くにあること	家族と同居できること	共同生活のできる場があること	グループホームなどの仲間	活動、訓練など	病院や施設に通えること	手伝いの頼める人がいること	子育ての相談が出来ること
全体	258	56.2	46.9	28.7	23.3	14.7	13.6	12.8	12.8	10.9	10.1	9.7						
発達障がいの診断	診断を受けている	242	58.3	47.5	28.9	23.6	14.5	14.0	12.8	12.8	9.5	9.5	9.5					
	注意欠陥多動性障害(ADHD)のみ	15	66.7	40.0	20.0	20.0	6.7	13.3	6.7	13.3	6.7	6.7	20.0					
	学習障害(LD)のみ	2	100.0	100.0	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-					
	アスペルガー症候群のみ	19	57.9	42.1	31.6	21.1	15.8	15.8	5.3	15.8	5.3	15.8	5.3					
	自閉症のみ	35	48.6	48.6	31.4	25.7	22.9	14.3	17.1	14.3	11.4	8.6	11.4					
	広汎性発達障がいのみ	57	63.2	49.1	31.6	22.8	12.3	8.8	15.8	15.8	7.0	3.5	5.3					
	知的障がいのみ	4	75.0	50.0	50.0	25.0	50.0	50.0	-	25.0	50.0	50.0	-					
	その他のみ	13	53.8	46.2	23.1	30.8	7.7	-	-	-	7.7	15.4	30.8					
	発達障がいの重複	95	56.8	48.4	26.3	24.2	13.7	16.8	14.7	11.6	9.5	10.5	7.4					
	診断名無回答	2	50.0	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0					
診断は受けていない	11	18.2	45.5	27.3	27.3	27.3	9.1	18.2	18.2	18.2	18.2	18.2						
無回答	5	40.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-	60.0	20.0						

	調査数(人)	自宅やグループホームで生活するために必要な条件										
		施設があること(ご近所や)	緊急時に子どもを預けられること	短期入所など緊急時に宿泊できること	ガイドヘルパー(外出の介助)を頼めること	施設で働けること	夜間の介護を頼める人がいること	昼間の介護を頼める人がいること	介護を受けるがら日中活動	その他	特になし	無回答
全体	258	8.9	6.2	4.7	3.9	2.7	1.9	1.6	2.7	6.2	4.3	
発達障がいの診断	診断を受けている	242	8.3	5.4	5.0	4.1	2.5	1.7	1.7	2.5	6.6	3.7
	注意欠陥多動性障害(ADHD)のみ	15	6.7	6.7	-	6.7	-	-	-	-	13.3	-
	学習障害(LD)のみ	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	アスペルガー症候群のみ	19	15.8	10.5	5.3	-	-	10.5	5.3	-	-	-
	自閉症のみ	35	5.7	5.7	14.3	8.6	14.3	5.7	5.7	-	2.9	5.7
	広汎性発達障がいのみ	57	5.3	1.8	3.5	3.5	1.8	-	-	3.5	5.3	5.3
	知的障がいのみ	4	-	-	-	25.0	-	-	25.0	-	-	-
	その他のみ	13	23.1	7.7	-	-	-	-	-	-	15.4	7.7
	発達障がいの重複	95	7.4	6.3	4.2	3.2	-	-	-	4.2	8.4	3.2
	診断名無回答	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
診断は受けていない	11	27.3	18.2	-	-	9.1	9.1	-	9.1	-	9.1	
無回答	5	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	20.0	

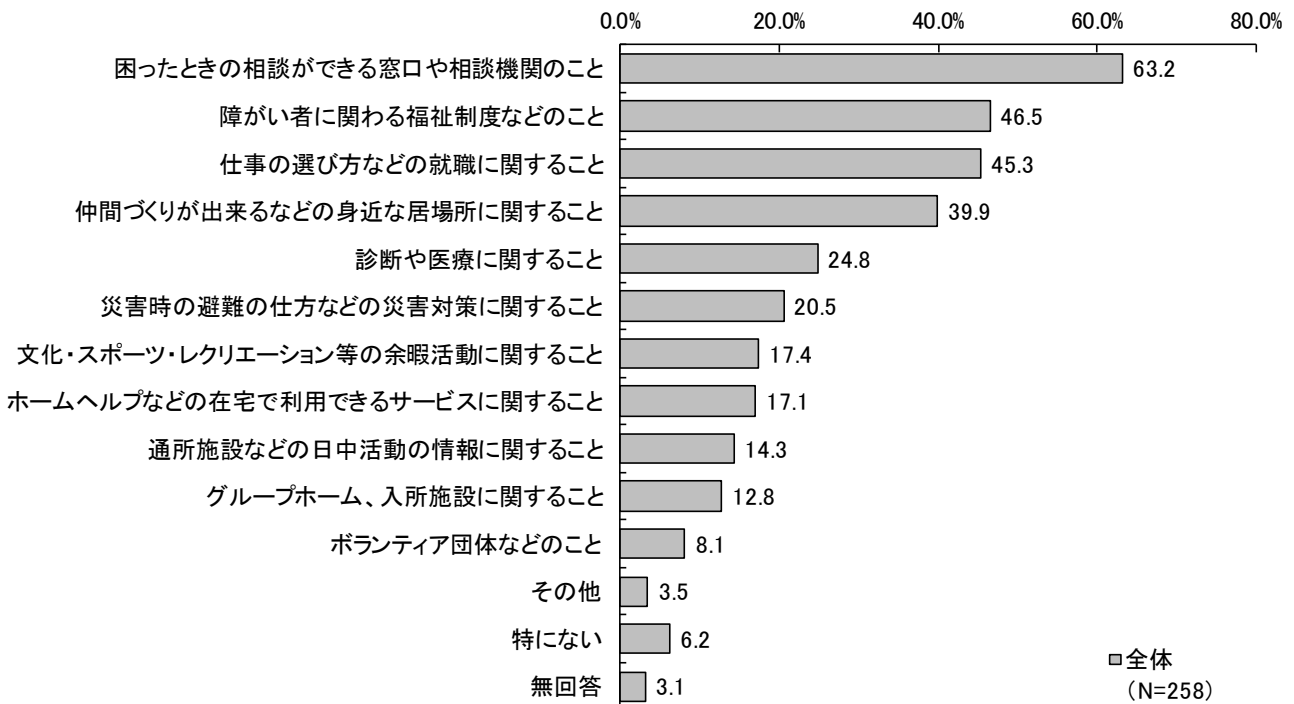
8. 情報収集や相談について

- ・福岡市からの情報で知りたいことについては、回答者全体では「困ったときに相談ができる窓口や相談機関のこと」(63.2%)が6割強と最も多い。年齢別にみると、18～29歳では「困った時の相談ができる窓口や相談機関のこと」(90.6%)が突出して高く、「障がい者に関わる福祉制度のこと」(62.5%)、「災害時の避難の仕方などの災害対策に関すること」(31.3%)、「グループホーム、入所施設に関すること」(28.1%)といった項目でも全体と比較して高い。また、療育手帳を持っている層では、「グループホーム、入所施設に関すること」(30.6%)や「通所施設などの日中活動の情報に関すること」(27.8%)で回答率が高い傾向が見られる。【図表9-64、図表9-65】
- ・今の生活の中で困っていることや心配なことでは、「体、心の健康や障がいのこと」(45.0%)と「老後や将来のこと」(42.6%)の2項目が4割超となっており、他の項目よりも高い。年齢別にみると、15～30歳代で「老後や将来のこと」や「生活費などの経済的なこと」、「仕事のこと」といった項目の回答率が高くなっている。また、療育手帳を持っている層では、「住まいのこと」(27.8%)が相対的に高い傾向がみられる。二次的な問題を抱えている層では、「体、心の健康や障がいのこと」(56.0%)、「老後や将来のこと」(57.3%)、「生活費などの経済的なこと」(44.0%)などで手帳を持っていない層よりも回答比率が顕著に高い。【図表9-68、図表9-69】
- ・相談窓口の認知度(「知っている」の割合)は、「②あいあいセンター、西部療育センター、東部療育センター」(78.7%)が8割弱で最も高く、次いで「⑥ゆうゆうセンター(発達障がい者支援センター)」(70.5%)、「①福祉事務所、保健所」(69.8%)となっている。年齢別にみると、「②あいあいセンター、西部療育センター、東部療育センター」は概ね年齢が低いほど認知度が高い。また、「⑩障がい者就労支援センター」「⑨社会福祉協議会」「③区障がい者基幹相談支援センター」については、18歳以上の年齢層で認知度が高くなる傾向がみられる。【図表9-70、図表9-71】

(1) 福岡市からの情報で知りたいこと

問25 あなたは、生活に関することで、福岡市からどのような情報が知りたいですか。
(○はあてはまるものすべて)

【図表9-64 福岡市からの情報で知りたいこと】



【図表9-65 年齢別、療育手帳の有無別、発達障がいの診断別

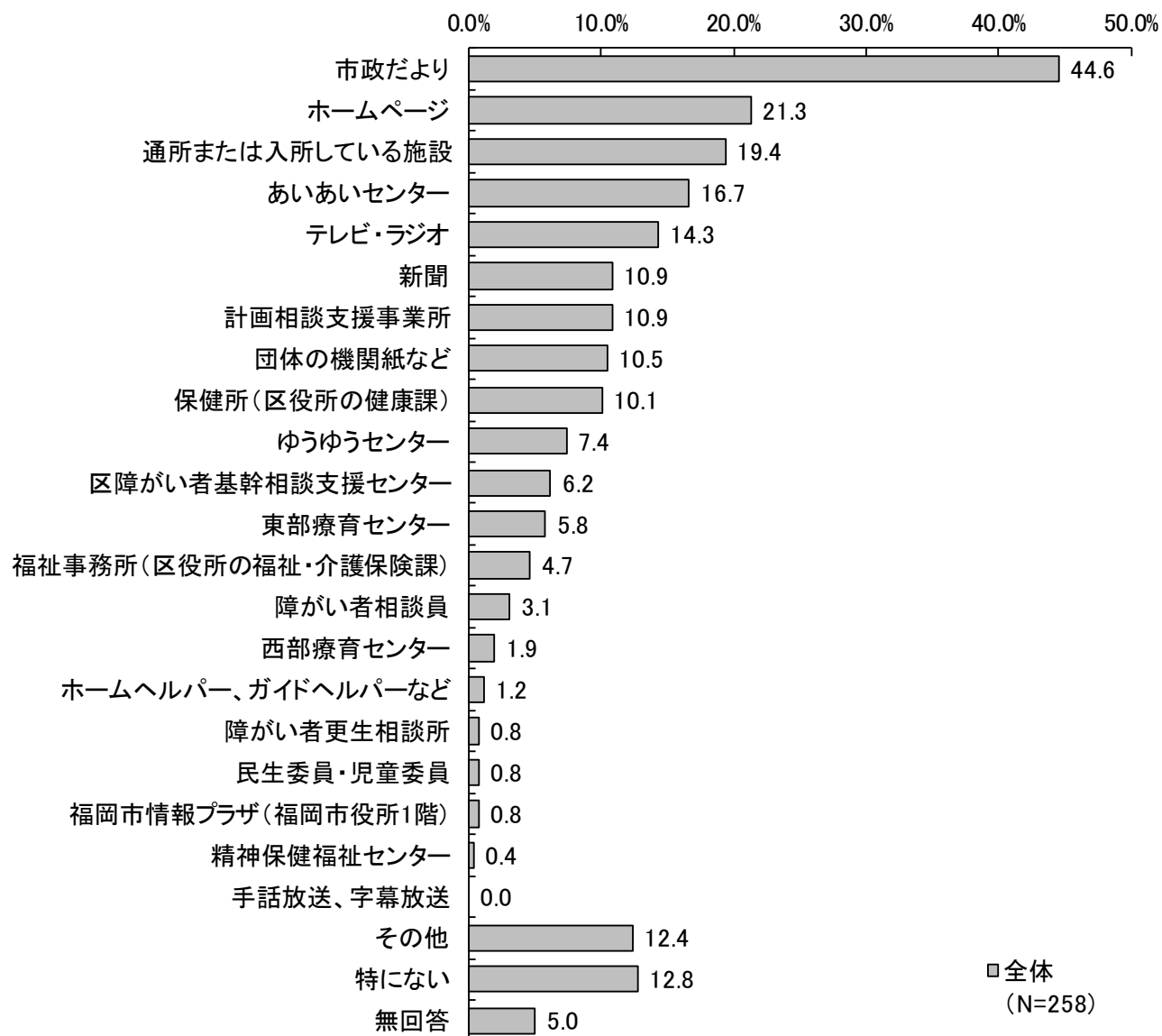
福岡市からの情報で知りたいこと】(%)

	調査数(人)	福岡市からの情報で知りたいこと														
		機関の困ったこと	障がい者に関する福祉制度など	仕事の選び方などの就職に関する	仲間づくりが出来るなどの身近な居場所に関する	診断や医療に関する	災害時の避難の仕方などの災害対策に関する	文化・スポーツ・レジャーなどの余暇活動に関する	ホームヘルプなどの在宅で利用できる	通所施設などの日中活動の情報に関する	グループホーム、入所施設に関する	ボランティア団体などの	その他	特になし	無回答	
全体	258	63.2	46.5	45.3	39.9	24.8	20.5	17.4	17.1	14.3	12.8	8.1	3.5	6.2	3.1	
年齢	0～5歳	11	72.7	54.5	9.1	36.4	36.4	18.2	9.1	27.3	45.5	9.1	18.2	-	9.1	-
	6～8歳	57	63.2	38.6	45.6	42.1	31.6	22.8	22.8	8.8	14.0	3.5	5.3	5.3	3.5	1.8
	9～11歳	42	61.9	42.9	50.0	45.2	16.7	16.7	14.3	14.3	9.5	2.4	11.9	4.8	14.3	-
	12～14歳	56	48.2	41.1	55.4	42.9	25.0	17.9	14.3	7.1	7.1	7.1	8.9	3.6	12.5	3.6
	15～17歳	7	42.9	28.6	57.1	14.3	28.6	-	14.3	14.3	-	-	-	-	-	14.3
	18～29歳	32	90.6	62.5	40.6	40.6	18.8	31.3	25.0	25.0	21.9	28.1	12.5	-	-	3.1
	30歳代	31	67.7	54.8	38.7	29.0	22.6	29.0	12.9	22.6	16.1	25.8	3.2	6.5	-	6.5
	40歳代	15	60.0	60.0	33.3	40.0	26.7	-	13.3	53.3	13.3	40.0	-	-	-	-
	50歳代	3	66.7	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	-	-	-
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	4	50.0	50.0	75.0	50.0	-	25.0	-	-	25.0	25.0	-	-	-	25.0	
全体	258	63.2	46.5	45.3	39.9	24.8	20.5	17.4	17.1	14.3	12.8	8.1	3.5	6.2	3.1	
療育手帳の有無	持っている	36	63.9	50.0	30.6	36.1	33.3	27.8	13.9	25.0	27.8	30.6	16.7	-	-	8.3
	持っていない	156	61.5	41.0	49.4	43.6	23.7	19.2	19.2	10.9	12.2	8.3	7.7	5.1	9.0	0.6
	無回答	66	66.7	57.6	43.9	33.3	22.7	19.7	15.2	27.3	12.1	13.6	4.5	1.5	3.0	6.1
全体	258	63.2	46.5	45.3	39.9	24.8	20.5	17.4	17.1	14.3	12.8	8.1	3.5	6.2	3.1	
発達障がいの診断	診断を受けている	242	64.9	47.1	46.7	40.9	24.4	20.2	18.2	17.8	14.9	13.2	8.7	3.7	5.8	2.5
	注意欠陥多動性障害(ADHD)のみ	15	66.7	40.0	46.7	46.7	13.3	13.3	6.7	13.3	6.7	-	13.3	-	13.3	-
	学習障害(LD)のみ	2	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-
	アスペルガー症候群のみ	19	73.7	57.9	31.6	47.4	31.6	21.1	21.1	21.1	15.8	15.8	5.3	10.5	-	-
	自閉症のみ	35	62.9	51.4	40.0	40.0	28.6	25.7	25.7	17.1	25.7	17.1	14.3	-	2.9	5.7
	広汎性発達障がいのみ	57	73.7	36.8	47.4	31.6	24.6	17.5	17.5	17.5	14.0	14.0	7.0	1.8	7.0	3.5
	知的障がいのみ	4	100.0	50.0	75.0	75.0	50.0	75.0	25.0	50.0	50.0	50.0	25.0	-	-	-
	その他のみ	13	69.2	46.2	38.5	23.1	15.4	-	-	15.4	15.4	-	15.4	15.4	7.7	-
	発達障がいの重複	95	56.8	51.6	52.6	45.3	24.2	22.1	17.9	17.9	11.6	13.7	6.3	4.2	6.3	2.1
	診断名無回答	2	50.0	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-
診断は受けていない	11	45.5	36.4	18.2	18.2	36.4	18.2	9.1	9.1	9.1	-	-	-	18.2	9.1	
無回答	5	20.0	40.0	40.0	40.0	20.0	40.0	-	-	-	20.0	-	-	-	20.0	

(2) 福岡市の福祉施策情報の入手先

問26 福岡市が実施している福祉施策について、あなたが知る手掛りとなっているのは、次のどれですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表9-66 福岡市の福祉施策情報の入手先】



【図表9-67 年齢別、療育手帳の有無別 福岡市の福祉施策情報の入手先】(%)

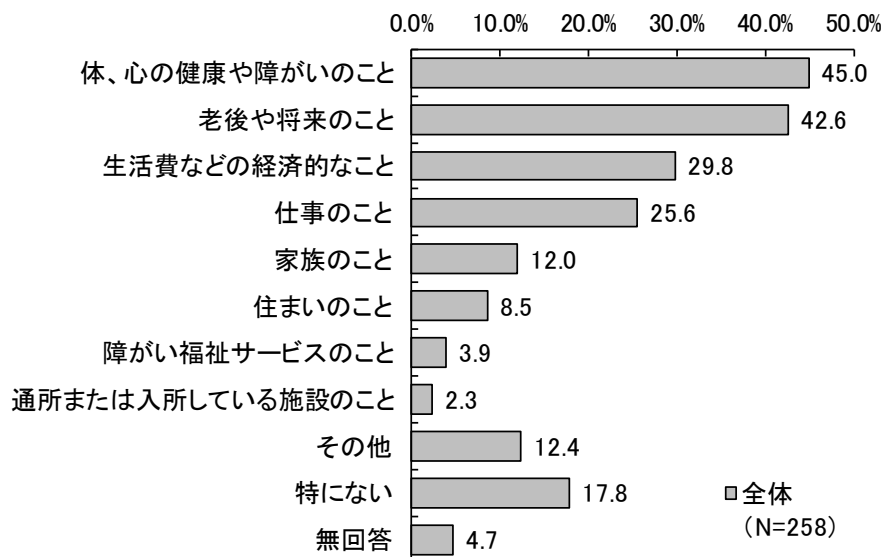
	調査数(人)	福岡市の福祉施策情報の入手先												
		市政だより	新聞	テレビ・ラジオ	ホームページ	団体の機関紙など	福祉事務所(区役所の福祉・介護保険課)	保健所(区役所の健康課)	障がい者更生相談所	民生委員・児童委員	障がい者相談員	通所または入所している施設	あいあいセンター	
全体	258	44.6	10.9	14.3	21.3	10.5	4.7	10.1	0.8	0.8	3.1	19.4	16.7	
年齢	0~5歳	11	54.5	9.1	-	18.2	-	-	18.2	-	-	9.1	54.5	
	6~8歳	57	52.6	1.8	10.5	31.6	8.8	1.8	8.8	-	1.8	19.3	26.3	
	9~11歳	42	38.1	2.4	9.5	14.3	7.1	4.8	11.9	-	-	26.2	19.0	
	12~14歳	56	44.6	19.6	23.2	26.8	3.6	7.1	7.1	-	-	12.5	1.8	
	15~17歳	7	14.3	-	14.3	14.3	14.3	-	-	-	-	-	-	
	18~29歳	32	46.9	18.8	18.8	12.5	12.5	6.3	6.3	-	-	9.4	25.0	25.0
	30歳代	31	35.5	9.7	12.9	12.9	22.6	3.2	16.1	3.2	-	6.5	19.4	3.2
	40歳代	15	53.3	26.7	13.3	26.7	26.7	13.3	20.0	6.7	6.7	6.7	33.3	26.7
	50歳代	3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	4	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	25.0	-	
全体	258	44.6	10.9	14.3	21.3	10.5	4.7	10.1	0.8	0.8	3.1	19.4	16.7	
療育手帳の有無	持っている	36	36.1	16.7	13.9	5.6	11.1	16.7	11.1	2.8	-	5.6	33.3	22.2
	持っていない	156	50.0	10.9	15.4	28.2	9.6	3.2	9.0	0.6	1.3	3.2	17.9	18.6
	無回答	66	36.4	7.6	12.1	13.6	12.1	1.5	12.1	-	-	1.5	15.2	9.1

	調査数(人)	福岡市の福祉施策情報の入手先											
		ゆうゆうセンター	区障がい者基幹相談支援センター	計画相談支援事業所	福岡市情報プラザ(福岡市役所1階)	福岡市ホームページ、ガイドヘルパーなど	手話放送、字幕放送	精神保健福祉センター	西部療育センター	東部療育センター	その他	特になし	無回答
全体	258	7.4	6.2	10.9	0.8	1.2	-	0.4	1.9	5.8	12.4	12.8	5.0
年齢	0~5歳	11	-	-	-	-	-	-	18.2	27.3	-	9.1	-
	6~8歳	57	10.5	1.8	14.0	1.8	-	-	3.5	15.8	10.5	7.0	1.8
	9~11歳	42	7.1	2.4	7.1	-	-	-	-	-	9.5	14.3	7.1
	12~14歳	56	1.8	1.8	3.6	-	-	-	-	3.6	16.1	19.6	7.1
	15~17歳	7	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3	57.1	14.3
	18~29歳	32	21.9	3.1	18.8	-	-	-	-	-	15.6	12.5	3.1
	30歳代	31	-	16.1	12.9	-	3.2	-	-	-	19.4	6.5	6.5
	40歳代	15	6.7	33.3	33.3	6.7	13.3	-	6.7	6.7	6.7	-	-
	50歳代	3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	4	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	
全体	258	7.4	6.2	10.9	0.8	1.2	-	0.4	1.9	5.8	12.4	12.8	5.0
療育手帳の有無	持っている	36	5.6	11.1	22.2	-	-	-	2.8	5.6	2.8	11.1	8.3
	持っていない	156	10.3	1.9	7.7	1.3	1.3	-	0.6	2.6	5.8	11.5	3.8
	無回答	66	1.5	13.6	12.1	-	1.5	-	-	-	6.1	12.1	16.7

(3) 困っていることや心配なこと

問27 あなたは、今の生活の中で困っていることや心配なこと、悩んでいることがありますか。(○は3つまで)

【図表9-68 困っていることや心配なこと】



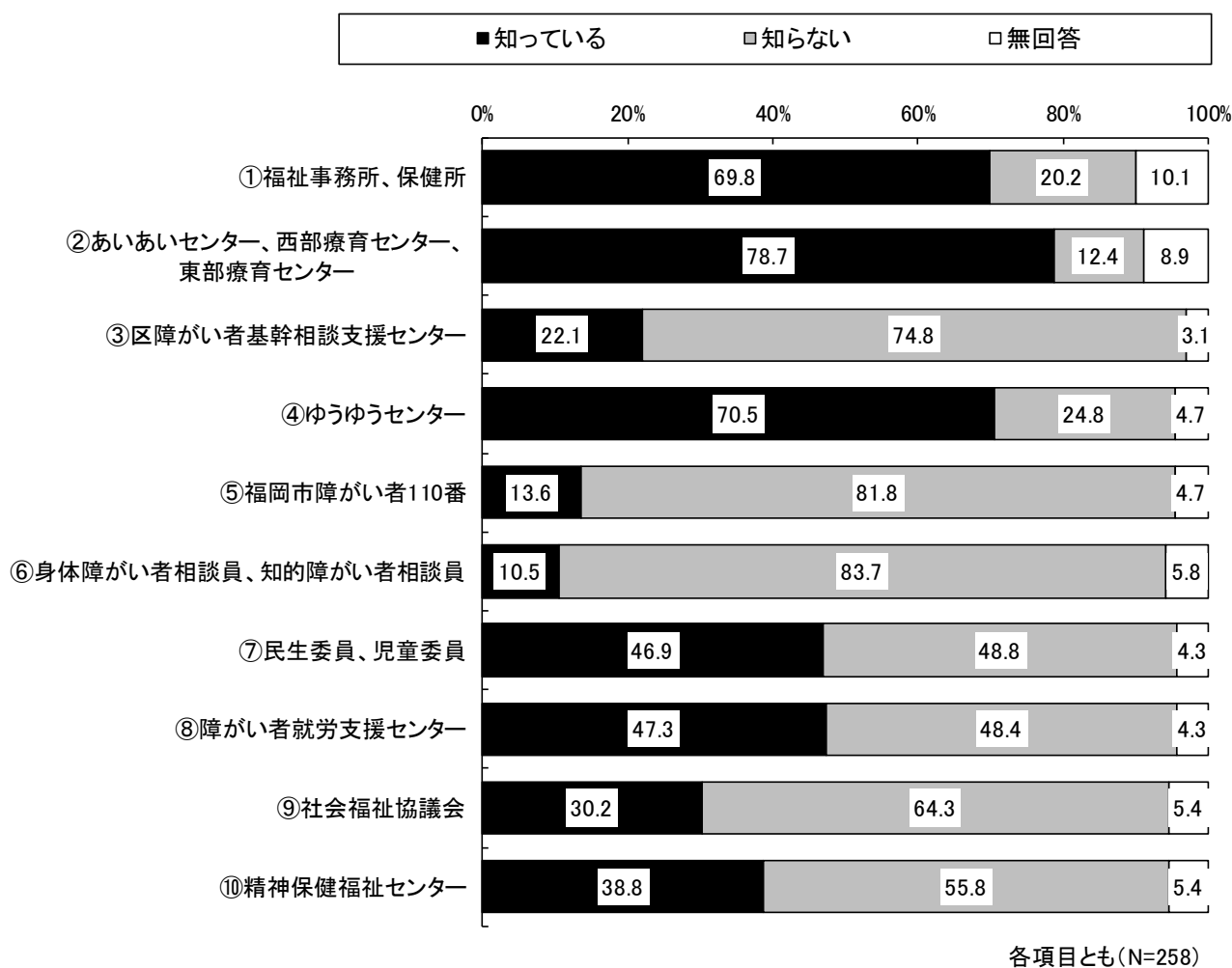
【図表9-69 年齢別、療育手帳の有無別、発達障がいの診断別、二次的な情緒や行動などの問題の有無別 困っていることや心配なこと】(%)

	調査数(人)	困っていることや心配なこと											
		体、心の健康や障がいのこと	老後や将来のこと	生活費などの経済的なこと	仕事のこと	家族のこと	住まいのこと	障がい福祉サービスのこと	通所または入所している施設のこと	その他	特にない	無回答	
全体	258	45.0	42.6	29.8	25.6	12.0	8.5	3.9	2.3	12.4	17.8	4.7	
年齢	0～5歳	11	54.5	27.3	-	-	-	9.1	-	9.1	36.4	9.1	-
	6～8歳	57	47.4	35.1	21.1	15.8	10.5	5.3	7.0	5.3	15.8	29.8	-
	9～11歳	42	52.4	38.1	19.0	14.3	11.9	4.8	2.4	4.8	23.8	21.4	4.8
	12～14歳	56	35.7	33.9	16.1	28.6	8.9	8.9	3.6	-	12.5	26.8	7.1
	15～17歳	7	28.6	71.4	42.9	57.1	-	-	-	-	-	-	14.3
	18～29歳	32	46.9	53.1	53.1	43.8	18.8	18.8	3.1	-	6.3	3.1	3.1
	30歳代	31	58.1	61.3	58.1	32.3	19.4	12.9	3.2	-	-	-	3.2
	40歳代	15	26.7	53.3	66.7	33.3	13.3	-	-	-	-	13.3	13.3
	50歳代	3	66.7	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	4	-	50.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-	25.0	25.0	
全体	258	45.0	42.6	29.8	25.6	12.0	8.5	3.9	2.3	12.4	17.8	4.7	
療育手帳の有無	持っている	36	47.2	44.4	38.9	25.0	11.1	27.8	5.6	2.8	11.1	2.8	8.3
	持っていない	156	46.2	39.1	22.4	26.3	14.1	3.8	3.2	1.9	14.1	21.8	2.6
	無回答	66	40.9	50.0	42.4	24.2	7.6	9.1	4.5	3.0	9.1	16.7	7.6
全体	258	45.0	42.6	29.8	25.6	12.0	8.5	3.9	2.3	12.4	17.8	4.7	
発達障がいの診断	診断を受けている	242	45.5	43.8	29.8	26.4	12.4	8.3	4.1	2.5	12.4	18.2	4.1
	注意欠陥多動性障害(ADHD)のみ	15	40.0	46.7	26.7	20.0	33.3	6.7	6.7	13.3	-	13.3	-
	学習障害(LD)のみ	2	50.0	100.0	50.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	アスペルガー症候群のみ	19	68.4	42.1	57.9	31.6	21.1	5.3	5.3	-	5.3	21.1	-
	自閉症のみ	35	42.9	48.6	34.3	20.0	11.4	11.4	2.9	-	11.4	17.1	5.7
	広汎性発達障がいのみ	57	47.4	43.9	24.6	24.6	5.3	5.3	-	-	8.8	19.3	5.3
	知的障がいのみ	4	25.0	25.0	25.0	-	25.0	50.0	-	-	25.0	-	-
	その他のみ	13	30.8	23.1	7.7	15.4	7.7	15.4	7.7	15.4	23.1	30.8	-
	発達障がいの重複	95	43.2	44.2	29.5	31.6	12.6	7.4	6.3	2.1	15.8	17.9	5.3
	診断名無回答	2	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-
	診断は受けていない	11	36.4	18.2	45.5	-	-	9.1	-	-	18.2	18.2	9.1
無回答	5	40.0	40.0	-	40.0	20.0	20.0	-	-	-	-	20.0	
全体	258	45.0	42.6	29.8	25.6	12.0	8.5	3.9	2.3	12.4	17.8	4.7	
二次的な問題の有無	二次的な問題あり	75	56.0	57.3	44.0	28.0	18.7	9.3	5.3	1.3	8.0	6.7	6.7
	過去に二次的な問題あり	49	36.7	49.0	32.7	40.8	4.1	10.2	-	2.0	14.3	14.3	2.0
	二次的な問題なし	123	40.7	34.1	19.5	18.7	11.4	6.5	4.9	2.4	13.8	26.8	4.1
	無回答	11	54.5	9.1	36.4	18.2	9.1	18.2	-	9.1	18.2	9.1	9.1

(4) 相談窓口の認知度

問28 福岡市には、障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる窓口として、次のような窓口があります。
 あなたは、これらの相談窓口があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。
 さらに、「利用したことがある」を選ばれた方は、その時の満足度はどうでしたか。①～⑩の項目ごとに、認知度、利用状況満足度のそれぞれについて○をつけてください。

【図表9-70 相談窓口の認知度】



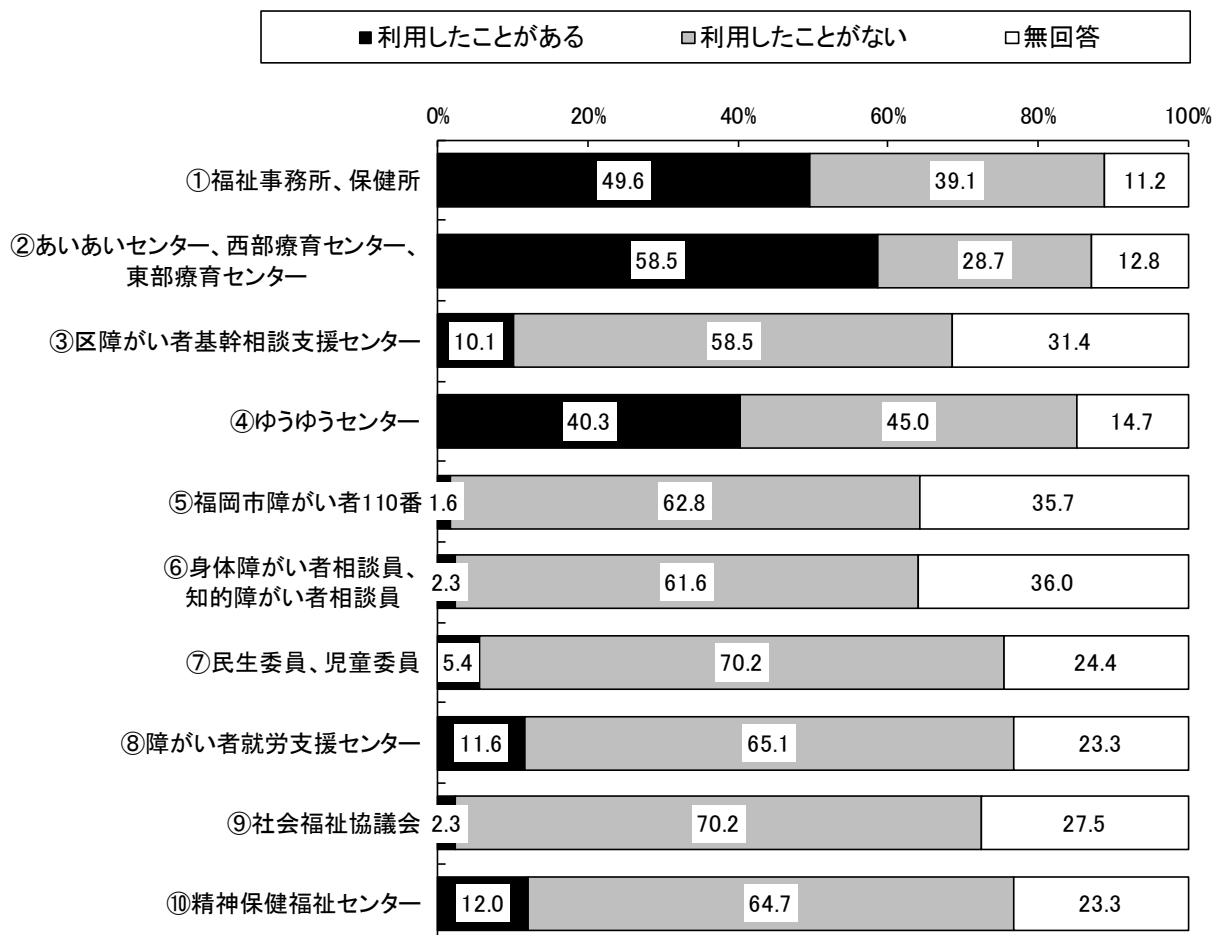
【図表9-71 年齢別 相談窓口の認知度（「知っている」の割合）】（%）

	調査数（人）	相談窓口の認知度（「知っている」の割合）										
		① 福祉事務所、保健所	② 療育センター、東部療育センター	③ センターがい者基幹相談支援センター	④ ゆうゆうセンター	⑤ 福岡市障がい者110番	⑥ 障がい者相談員	⑦ 民生委員、児童委員	⑧ ターゲット障がい者就労支援センター	⑨ 社会福祉協議会	⑩ 精神保健福祉センター	
全体	258	69.8	78.7	22.1	70.5	13.6	10.5	46.9	47.3	30.2	38.8	
年齢	0～5歳	11	54.5	100.0	-	36.4	9.1	-	36.4	-	-	18.2
	6～8歳	57	82.5	96.5	12.3	84.2	8.8	3.5	49.1	43.9	29.8	36.8
	9～11歳	42	76.2	83.3	21.4	76.2	14.3	9.5	45.2	35.7	26.2	35.7
	12～14歳	56	57.1	62.5	12.5	60.7	14.3	14.3	44.6	30.4	21.4	32.1
	15～17歳	7	71.4	85.7	14.3	71.4	14.3	-	42.9	57.1	28.6	28.6
	18～29歳	32	65.6	75.0	34.4	78.1	18.8	12.5	50.0	71.9	37.5	40.6
	30歳代	31	74.2	71.0	32.3	58.1	12.9	12.9	45.2	74.2	48.4	61.3
	40歳代	15	73.3	86.7	66.7	80.0	20.0	26.7	60.0	73.3	53.3	46.7
	50歳代	3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	33.3	-	33.3
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	4	75.0	25.0	25.0	75.0	25.0	25.0	50.0	75.0	25.0	50.0	

(5) 相談窓口の利用状況

問28 福岡市には、障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる窓口として、次のような窓口があります。
 あなたは、これらの相談窓口があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。
 さらに、「利用したことがある」を選ばれた方は、その時の満足度はどうでしたか。①～⑩の項目ごとに、認知度、利用状況満足度のそれぞれについて○をつけてください。

【図表9-72 相談窓口の利用状況】



各項目とも(N=258)

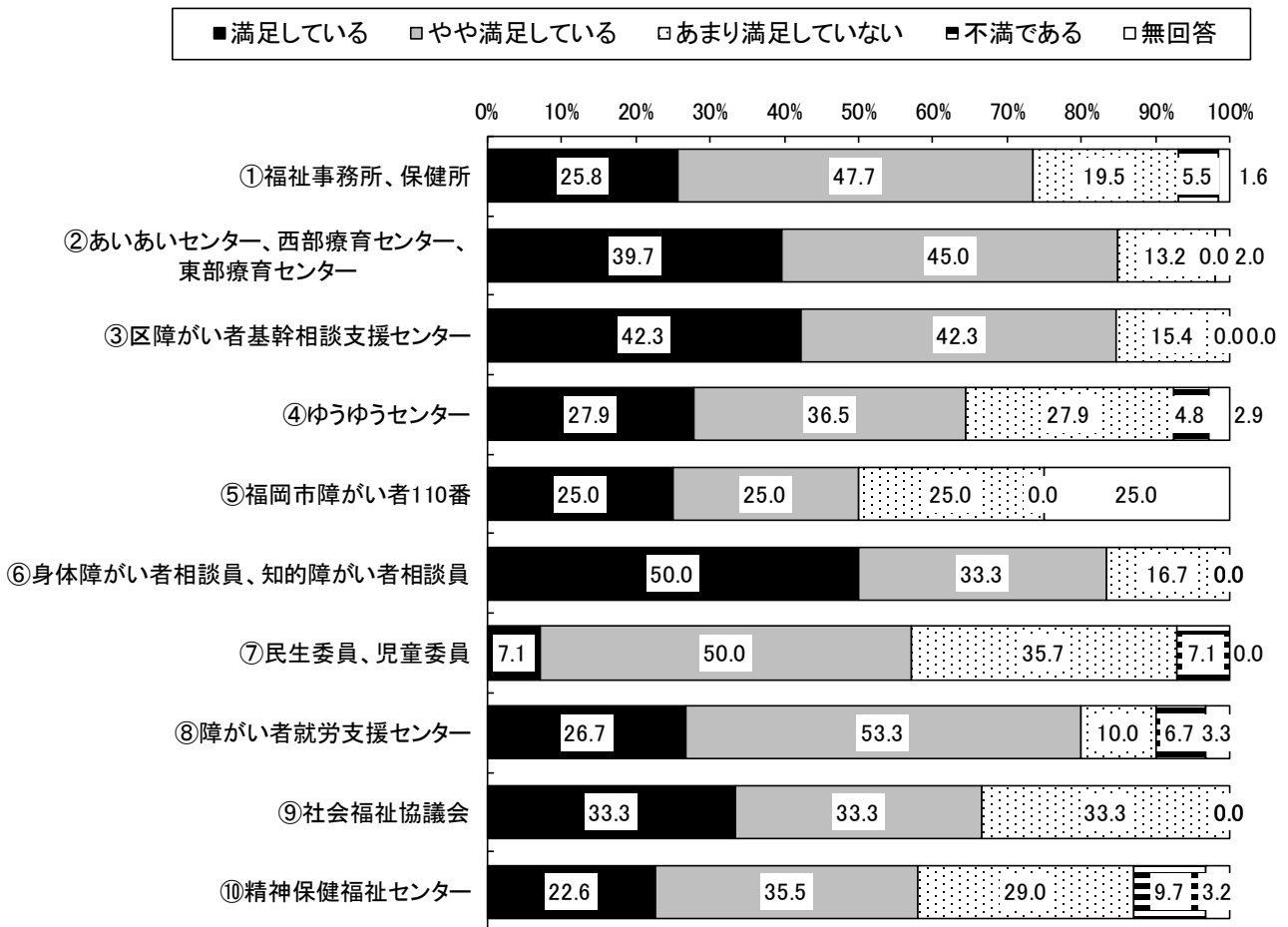
(6) 相談窓口の満足度

問28 福岡市には、障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる窓口として、次のような窓口があります。

あなたは、これらの相談窓口があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。

さらに、「利用したことがある」を選ばれた方は、その時の満足度はどうでしたか。①～⑩の項目ごとに、認知度、利用状況満足度のそれぞれについて○をつけてください。

【図表9-73 相談窓口の満足度】



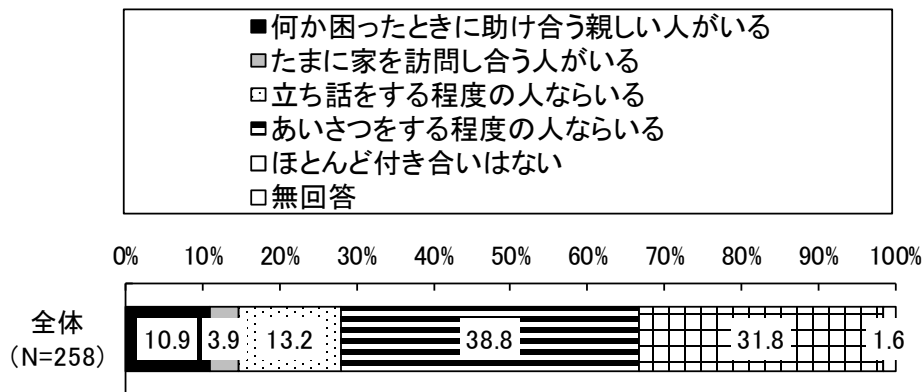
9. 地域とのかかわり・福祉施策全般について

- ・近所の方との関係は、「あいさつをする程度の人ならいる」(38.8%)が4割弱を占めて最も高く、「ほとんど付き合いはない」(31.8%)、「立ち話をする程度の人ならいる」(13.2%)の順となっている。【図表9-74】
- ・地域行事への参加状況では、「参加していない」(36.0%)が最も高く、次いで「たまに参加している」(29.8%)、「参加している」(15.9%)となっている。年齢別にみると、15歳以上では概ね年齢が上がるにつれて参加の頻度が低くなる傾向にある。【図表9-76、図表9-77】
- ・地域住人のボランティア活動に対するニーズについては、「普段から定期的に声かけなどをする」(31.8%)が3割超で最も高く、以下「地域の行事やイベントと一緒に参加する」(27.1%)、「趣味やスポーツ活動を一緒にする」(24.8%)の順となっている。年齢別にみると、12~14歳で「普段から定期的に声かけなどをする」(41.1%)が4割超と高い。【図表9-78、図表9-79】

(1) 近所の方との関係

問29 あなたのご近所の方との関係は、次のどれに近いですか。(○は1つだけ)

【図表9-74 近所の方との関係】



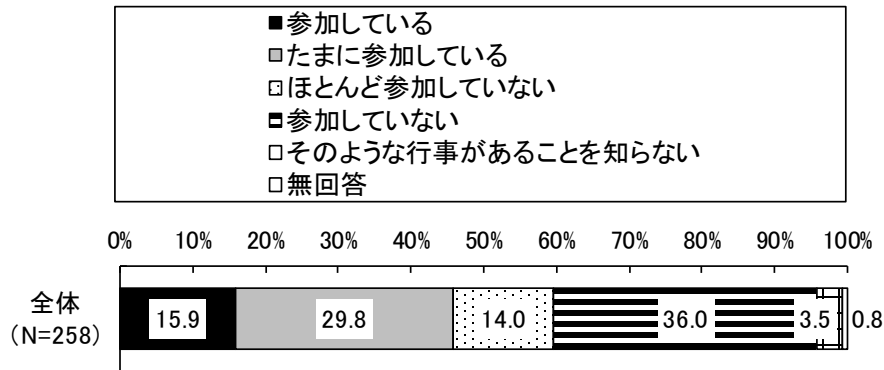
【図表9-75 世帯状況別 近所の方との関係】(%)

	調査数(人)	近所の方との関係					無回答	
		うが親しい人がいる	何か困ったときに助け合う人がいる	がたまに家を訪問し合う人がいる	ら立ち話をする程度の人ならいる	ないあいさつをする程度の人		ほとんど付き合いはない
全体	258	10.9	3.9	13.2	38.8	31.8	1.6	
世帯状況	一人暮らし	10	-	-	-	10.0	90.0	-
	夫婦のみ	1	-	-	-	100.0	-	-
	二世帯同居(親と本人)	218	10.6	3.7	13.8	41.3	29.4	1.4
	二世帯同居(子と本人)	1	-	-	-	-	100.0	-
	三世帯同居	15	13.3	6.7	26.7	26.7	26.7	-
	その他	1	-	-	-	-	100.0	-
	グループホーム	5	20.0	20.0	-	20.0	40.0	-
	無回答	7	28.6	-	-	42.9	14.3	14.3

(2) 地域行事への参加状況

問30 ここ2～3年の間、地域での行事（町内会などが実施する防災訓練、夏祭りなど）に参加したことがありますか。（○は1つだけ）

【図表9-76 地域行事への参加状況】



【図表9-77 年齢別 地域行事への参加状況】 (%)

	調査数 (人)	地域行事への参加状況					無回答	
		参加している	たまに参加している	ほとんど参加していない	参加していない	そのような行事があることを知らない		
全体	258	15.9	29.8	14.0	36.0	3.5	0.8	
年齢	0～5歳	11	18.2	45.5	9.1	27.3	-	-
	6～8歳	57	17.5	38.6	21.1	22.8	-	-
	9～11歳	42	19.0	35.7	19.0	23.8	2.4	-
	12～14歳	56	25.0	39.3	10.7	23.2	1.8	-
	15～17歳	7	-	42.9	14.3	42.9	-	-
	18～29歳	32	15.6	9.4	9.4	53.1	12.5	-
	30歳代	31	-	16.1	6.5	74.2	3.2	-
	40歳代	15	6.7	6.7	13.3	60.0	6.7	6.7
	50歳代	3	-	33.3	-	33.3	33.3	-
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	4	25.0	-	25.0	25.0	-	25.0

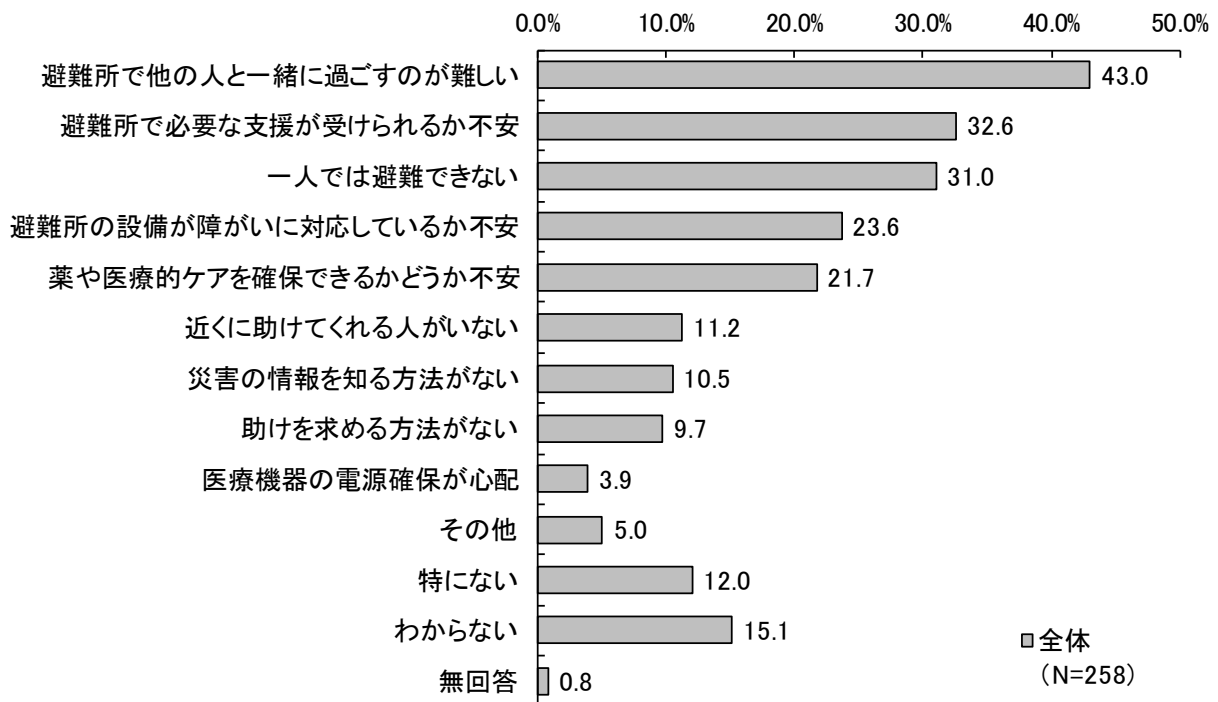
10. 防災について

- 地震などの災害発生時に困ることや不安なことは、回答者全体では「避難所でほかの人と一緒に過ごすのが難しい」(43.0%)が最も高く、次いで「避難所で必要な支援が受けられるか不安」(32.6%)、「一人では避難できない」(31.0%)となっている。年齢別にみると、6～8歳で「一人では避難できない」(52.6%)、30歳代では「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」(64.5%)の割合がそれぞれ高い。療育手帳の有無別にみると、手帳を持っている人では「避難所の設備が障がいに対応しているか不安」(38.9%)、「助けを求める方法がない」(27.8%)、「災害の情報を知る方法がない」(25.0%)といった項目で回答割合が高い傾向がみられる。また、発達障がいの診断別では、自閉症のみの人で「避難所で必要な支援が受けられるか不安」(54.3%)が高くなっている。【図表9-80、図表9-81】
- 災害時に頼れる人について、回答者全体では「同居の家族」(87.6%)が9割弱と突出して高い。年齢別にみても、「同居の家族」の割合が高いが、「同居している家族以外の親族」は、14歳以下の年齢層で比較的高くなっている。【図表9-83、図表9-84】
- 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度については、『感じている』(「感じている」+「どちらかといえば感じている」)(25.6%)と『感じていない』(「どちらかといえば感じていない」+「感じていない」)(26.7%)の回答割合が拮抗している。年齢別にみると、9～14歳では『感じていない』の割合がやや高い傾向がみられる。【図表9-85、図表9-86】

(1) 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと

問32 あなたが、地震などの災害が発生したときに、困ることや不安なことは何ですか。
(○はあてはまるものすべて)

【図表9-80 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと】



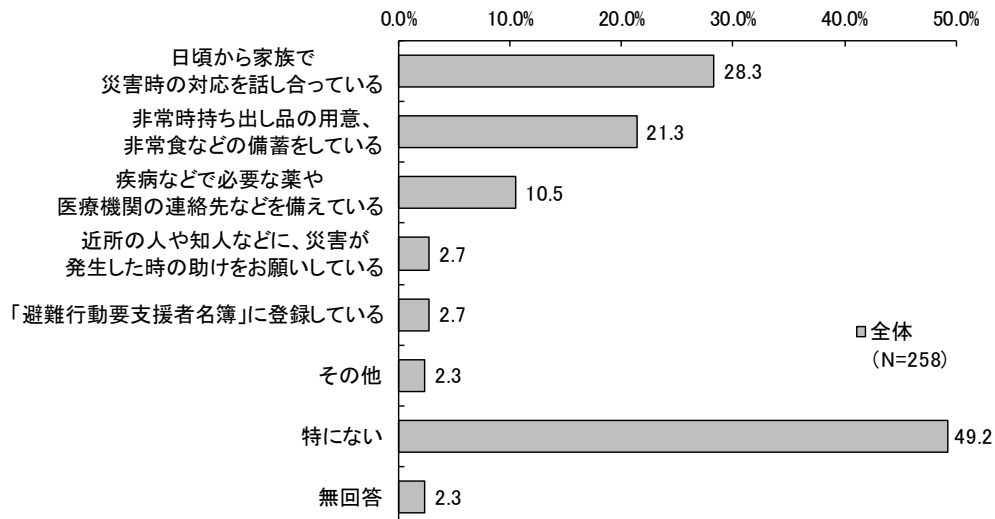
【図表9-81 年齢別、療育手帳の有無別、発達障がいの診断別
地震などの災害発生時に困ることや不安なこと】(%)

	調査数(人)	地震などの災害発生時に困ることや不安なこと																
		過 ご す の が 難 し い と 一 緒 に	避 難 所 で 他 の 人 と 一 緒 に	け ら れ る か 不 安	避 難 所 で 必 要 な 支 援 が 受 け ら れ る	一 人 で は 避 難 で き な い	対 応 し て い る 設 備 が 不 安 が い に	避 難 所 の 設 備 が 不 安 が い に	薬 や 医 療 的 な 支 援 が 不 安 が い に	近 く に 助 け て く れ る 人 が	災 害 の 情 報 を 知 る 方 法 が	助 け を 求 め る 方 法 が な い	配 置 の 電 源 確 保 が 心	医 療 機 器 の 電 源 確 保 が 心	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体	258	43.0	32.6	31.0	23.6	21.7	11.2	10.5	9.7	3.9	5.0	12.0	15.1	0.8				
年 齢	0~5歳	11	45.5	45.5	45.5	18.2	18.2	-	27.3	18.2	-	-	-	18.2	-	-	-	-
	6~8歳	57	43.9	38.6	52.6	26.3	17.5	7.0	8.8	3.5	1.8	1.8	8.8	17.5	-	-	-	-
	9~11歳	42	45.2	38.1	33.3	19.0	21.4	11.9	11.9	11.9	2.4	9.5	11.9	11.9	2.4	-	-	-
	12~14歳	56	26.8	23.2	21.4	17.9	19.6	3.6	8.9	7.1	7.1	7.1	19.6	17.9	-	-	-	-
	15~17歳	7	28.6	28.6	28.6	-	-	14.3	-	-	-	-	-	28.6	42.9	-	-	-
	18~29歳	32	43.8	25.0	31.3	37.5	28.1	21.9	15.6	18.8	6.3	3.1	12.5	12.5	-	-	-	-
	30歳代	31	64.5	35.5	16.1	25.8	25.8	12.9	6.5	9.7	3.2	9.7	6.5	6.5	-	-	-	-
	40歳代	15	53.3	33.3	6.7	26.7	40.0	26.7	6.7	-	-	-	-	6.7	13.3	-	-	-
	50歳代	3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	4	50.0	25.0	-	25.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-	-	25.0	25.0	-	-	-
全体	258	43.0	32.6	31.0	23.6	21.7	11.2	10.5	9.7	3.9	5.0	12.0	15.1	0.8				
手 帳 の 有 無	持っている	36	50.0	38.9	38.9	38.9	22.2	19.4	25.0	27.8	11.1	-	8.3	5.6	-	-	-	-
	持っていない	156	37.8	30.1	31.4	19.9	17.3	5.8	8.3	7.1	2.6	7.1	14.7	16.0	0.6	-	-	-
	無回答	66	51.5	34.8	25.8	24.2	31.8	19.7	7.6	6.1	3.0	3.0	7.6	18.2	1.5	-	-	-
全体	258	43.0	32.6	31.0	23.6	21.7	11.2	10.5	9.7	3.9	5.0	12.0	15.1	0.8				
発 達 障 が い の 診 断	診断を受けている	242	44.2	33.1	32.6	24.0	22.3	10.3	10.3	9.1	3.3	5.4	11.6	15.7	0.4	-	-	-
	注意欠陥多動性障害(ADHD)のみ	15	26.7	26.7	26.7	13.3	13.3	-	6.7	-	-	-	26.7	13.3	-	-	-	-
	学習障害(LD)のみ	2	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-
	アスペルガー症候群のみ	19	47.4	31.6	26.3	26.3	15.8	15.8	5.3	5.3	-	-	10.5	26.3	-	-	-	-
	自閉症のみ	35	51.4	54.3	45.7	31.4	25.7	8.6	14.3	17.1	2.9	8.6	8.6	8.6	-	-	-	-
	広汎性発達障がいのみ	57	43.9	29.8	21.1	26.3	15.8	10.5	8.8	8.8	-	1.8	10.5	19.3	1.8	-	-	-
	知的障がいのみ	4	75.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	50.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-
	その他のみ	13	15.4	15.4	30.8	15.4	-	-	7.7	7.7	-	-	23.1	38.5	-	-	-	-
	発達障がいの重複	95	48.4	31.6	36.8	22.1	29.5	13.7	10.5	8.4	6.3	8.4	9.5	12.6	-	-	-	-
	診断名無回答	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-
	診断を受けていない	11	18.2	27.3	9.1	18.2	18.2	27.3	18.2	9.1	18.2	-	9.1	9.1	9.1	-	-	-
無回答	5	40.0	20.0	-	20.0	-	20.0	-	40.0	-	-	40.0	-	-	-	-	-	

(2) 災害への備え

問33 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(〇はあてはまるものすべて)

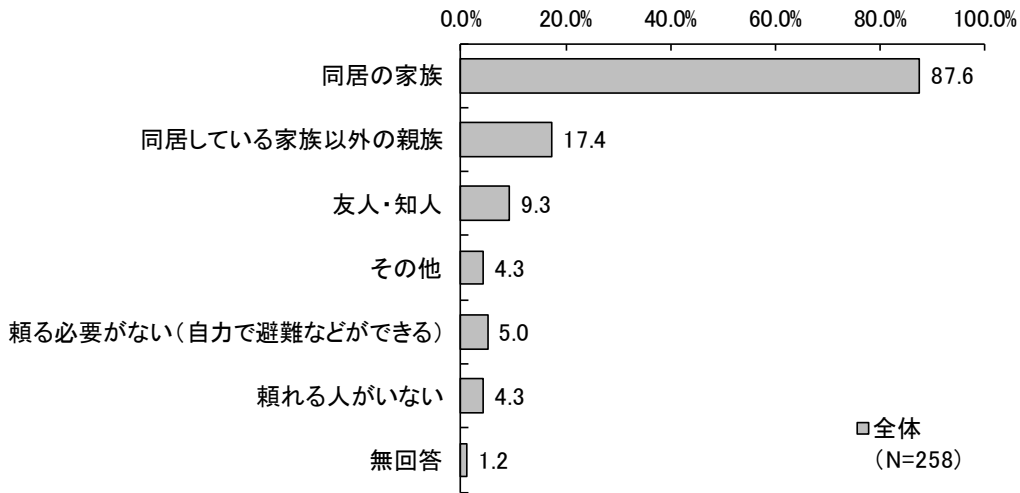
【図表9-82 災害への備え】



(3) 災害時に頼れる人

問34 あなたは、水害や地震などが発生したときに、安全の確保などで頼れる人はどなたですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表9-83 災害時に頼れる人】



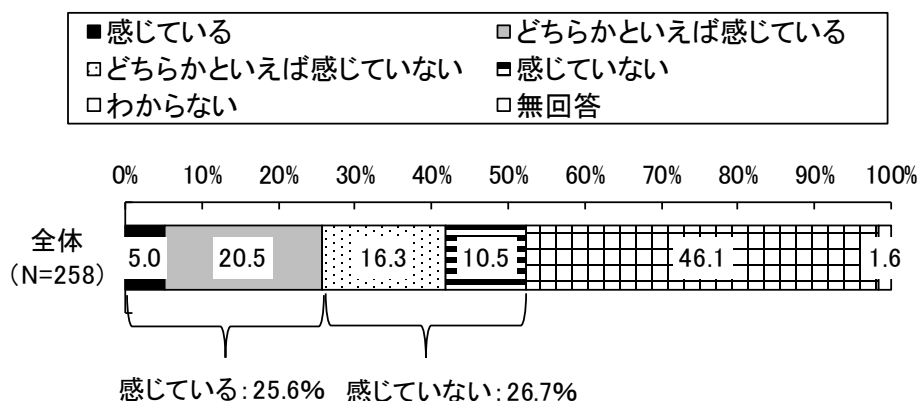
【図表9-84 年齢別、世帯状況別 災害時に頼れる人】(%)

	調査数(人)	災害時に頼れる人							無回答
		同居の家族	親族同居している家族以外の	友人・知人	その他	避難が必要がない(自力で)	頼れる人がいない		
全体	258	87.6	17.4	9.3	4.3	5.0	4.3	1.2	
年齢	0~5歳	11	100.0	9.1	9.1	-	-	-	-
	6~8歳	57	98.2	21.1	3.5	1.8	1.8	-	1.8
	9~11歳	42	92.9	21.4	14.3	4.8	2.4	4.8	-
	12~14歳	56	91.1	21.4	10.7	1.8	1.8	3.6	-
	15~17歳	7	57.1	14.3	42.9	-	14.3	14.3	-
	18~29歳	32	81.3	9.4	12.5	9.4	6.3	3.1	-
	30歳代	31	74.2	12.9	3.2	9.7	9.7	12.9	3.2
	40歳代	15	66.7	13.3	6.7	6.7	20.0	6.7	-
	50歳代	3	100.0	33.3	-	-	33.3	-	-
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	4	75.0	-	-	-	-	-	25.0	
全体	258	87.6	17.4	9.3	4.3	5.0	4.3	1.2	
世帯状況	一人暮らし	10	-	-	20.0	50.0	20.0	10.0	-
	夫婦のみ	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-
	二世帯同居(親と本人)	218	93.6	18.8	7.8	1.8	3.7	4.1	0.5
	二世帯同居(子と本人)	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-
	三世帯同居	15	86.7	13.3	6.7	-	6.7	-	-
	その他	1	-	-	-	-	100.0	100.0	-
	グループホーム	5	60.0	-	60.0	40.0	20.0	-	-
	無回答	7	57.1	-	14.3	-	-	-	28.6

(4) 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度

問35 あなたは、福岡市は安全・安心のための社会環境整備ができていると感じていますか。(○は1つだけ)

【図表9-85 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度】



【図表9-86 年齢別、世帯状況別 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度】 (%)

	調査数 (人)	福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度						
		感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じていない	感じていない	わからない	無回答	
全体	258	5.0	20.5	16.3	10.5	46.1	1.6	
年齢	0~5歳	11	-	9.1	18.2	18.2	54.5	-
	6~8歳	57	3.5	19.3	17.5	14.0	43.9	1.8
	9~11歳	42	2.4	23.8	14.3	16.7	42.9	-
	12~14歳	56	7.1	26.8	14.3	1.8	48.2	1.8
	15~17歳	7	-	42.9	14.3	-	42.9	-
	18~29歳	32	9.4	12.5	15.6	6.3	56.3	-
	30歳代	31	3.2	25.8	19.4	12.9	38.7	-
	40歳代	15	-	6.7	20.0	13.3	53.3	6.7
	50歳代	3	33.3	-	33.3	-	33.3	-
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-
無回答	4	25.0	-	-	25.0	25.0	25.0	
全体	258	5.0	20.5	16.3	10.5	46.1	1.6	
世帯状況	一人暮らし	10	-	10.0	10.0	30.0	50.0	-
	夫婦のみ	1	-	-	-	-	100.0	-
	二世帯同居(親と本人)	218	5.0	21.6	16.5	8.7	46.8	1.4
	二世帯同居(子と本人)	1	-	-	-	-	100.0	-
	三世帯同居	15	-	26.7	20.0	20.0	33.3	-
	その他	1	-	100.0	-	-	-	-
	グループホーム	5	20.0	-	20.0	-	60.0	-
	無回答	7	14.3	-	14.3	28.6	28.6	14.3

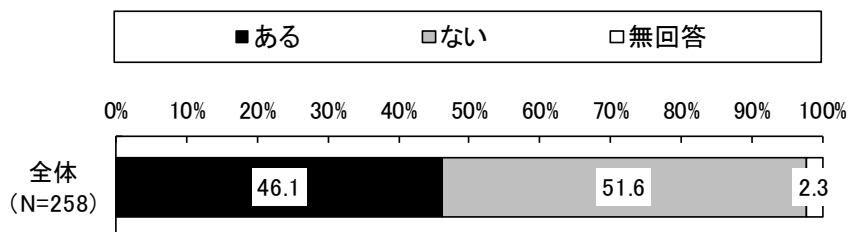
11. 福祉施策全般について

- 差別を受けたり、いやな思いをした経験については、回答者全体の46.1%が「ある」と回答している。年齢別にみると、差別や嫌な思いをした経験がある人の割合は30歳代で6割弱と高い。また、療育手帳を持っている層の7割超、二次的な問題を抱えている層の6割が「ある」と回答しており、全体と比較して高くなっている。【図表9-87、図表9-88】
- 障がい者の人権に関して問題があると思うことについて、回答者全体では「発達障がいの特性から生じる困難さに対し、配慮がなされないこと」(57.8%)が6割弱と突出している。年齢別にみると、0～5歳では「学校における一人ひとりの障がい特性に応じた支援体制が不十分なこと」(61.9%)や「差別的な言動を受けること」(42.9%)、18歳～30歳代では「働ける場所や能力を発揮できる機会が少ないこと」の回答割合が高くなっている。【図表9-91、図表9-92】
- 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいことでは、回答者全体で「就労支援の充実（働くための訓練や職場定着など）」(40.3%)が4割を超えて最も高い。年齢別にみると、6～11歳では「乳幼児期から成人期までの支援を一貫して実施できる仕組みづくり」、18～29歳では「就労支援の充実（働くための訓練や職場定着など）」、30歳代では「年金など所得保障の充実」といった項目で、他の年齢層に比べ回答割合がそれぞれ高くなっている。【図表9-93、図表9-94】
- 障がい者支援として地域社会や企業等に望むことでは、回答者全体で「障がいに対する理解を深める」(76.0%)が8割弱と最も高く、次いで「企業で障がい者を積極的に雇用する」(54.3%)の順となっている。年齢別にみると、18～29歳では「企業で積極的に障がい者を雇用する」が65.6%となっており、他の年代と比較して高い傾向がみられる。【図表9-96、図表9-97】
- 福岡市の暮らしやすさについては、『感じている（「感じている」+「どちらかといえば感じている」）』と『感じていない（「どちらかといえば感じていない」+「感じていない」）』が3割台前半で拮抗している。年齢別にみると、6～11歳では『感じていない』、18～29歳では『感じている』の割合が他の年齢層と比較して高い傾向がみられる。【図表9-98、図表9-99】

(1) 差別を受けたり、いやな思いをした経験

問36 あなたは、ここ2～3年の間に、障がいがあるため、差別を受けたりいやな思いをしたことがありますか。(○は1つだけ)

【図表9-87 差別を受けたり、いやな思いをした経験】



【図表9-88 年齢別、療育手帳の有無別、発達障がいの診断別、二次的な情緒や行動などの問題の有無別 差別を受けたり、いやな思いをした経験】 (%)

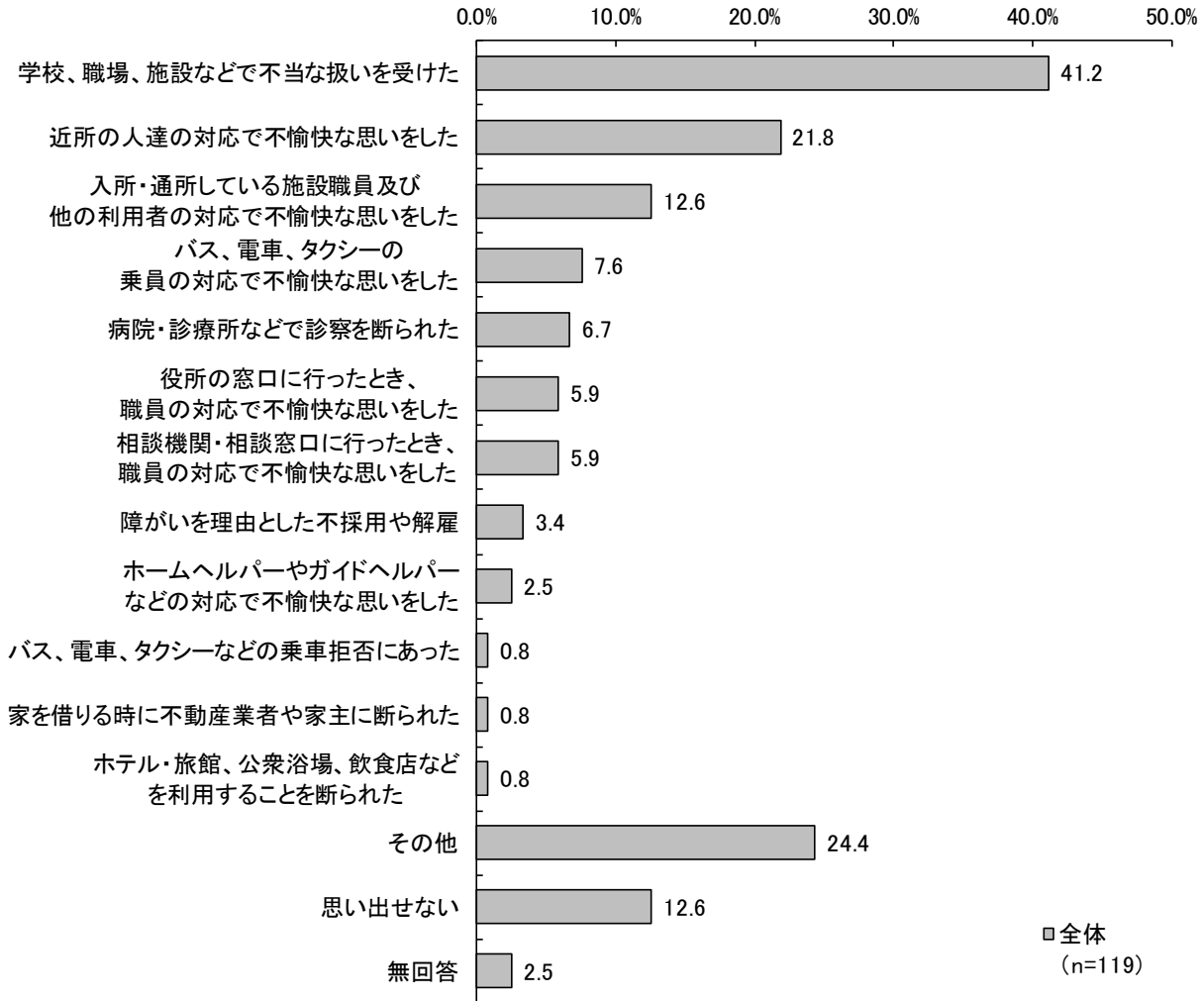
	調査数 (人)	差別を受けたり、いやな思いをした経験			
		ある	ない	無回答	
全体	258	46.1	51.6	2.3	
年齢	0～5歳	11	54.5	45.5	-
	6～8歳	57	49.1	49.1	1.8
	9～11歳	42	50.0	50.0	-
	12～14歳	56	33.9	66.1	-
	15～17歳	7	57.1	42.9	-
	18～29歳	32	37.5	56.3	6.3
	30歳代	31	58.1	35.5	6.5
	40歳代	15	66.7	33.3	-
	50歳代	3	-	100.0	-
	60歳代	-	-	-	-
無回答	4	25.0	50.0	25.0	
全体	258	46.1	51.6	2.3	
療育手帳の有無	持っている	36	72.2	27.8	-
	持っていない	156	41.0	57.7	1.3
	無回答	66	43.9	50.0	6.1
全体	258	46.1	51.6	2.3	
発達障がいの診断	診断を受けている	242	46.3	51.7	2.1
	注意欠陥多動性障害(ADHD)のみ	15	40.0	60.0	-
	学習障害(LD)のみ	2	-	100.0	-
	アスペルガー症候群のみ	19	31.6	57.9	10.5
	自閉症のみ	35	48.6	48.6	2.9
	広汎性発達障がいのみ	57	42.1	57.9	-
	知的障がいのみ	4	50.0	50.0	-
	その他のみ	13	53.8	38.5	7.7
	発達障がいの重複	95	51.6	47.4	1.1
	診断名無回答	2	50.0	50.0	-
診断は受けていない	11	45.5	45.5	9.1	
無回答	5	40.0	60.0	-	
全体	258	46.1	51.6	2.3	
二次的な問題の有無	二次的な問題あり	75	60.0	37.3	2.7
	過去に二次的な問題あり	49	55.1	44.9	-
	二次的な問題なし	123	33.3	65.0	1.6
	無回答	11	54.5	27.3	18.2

(2) 差別を受けたり、いやな思いをした内容

[問36で「1」を選ばれた方におたずねします]

問36-1 どのようなことで、いやな思いをしましたか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表9-89 差別を受けたり、いやな思いをした内容】



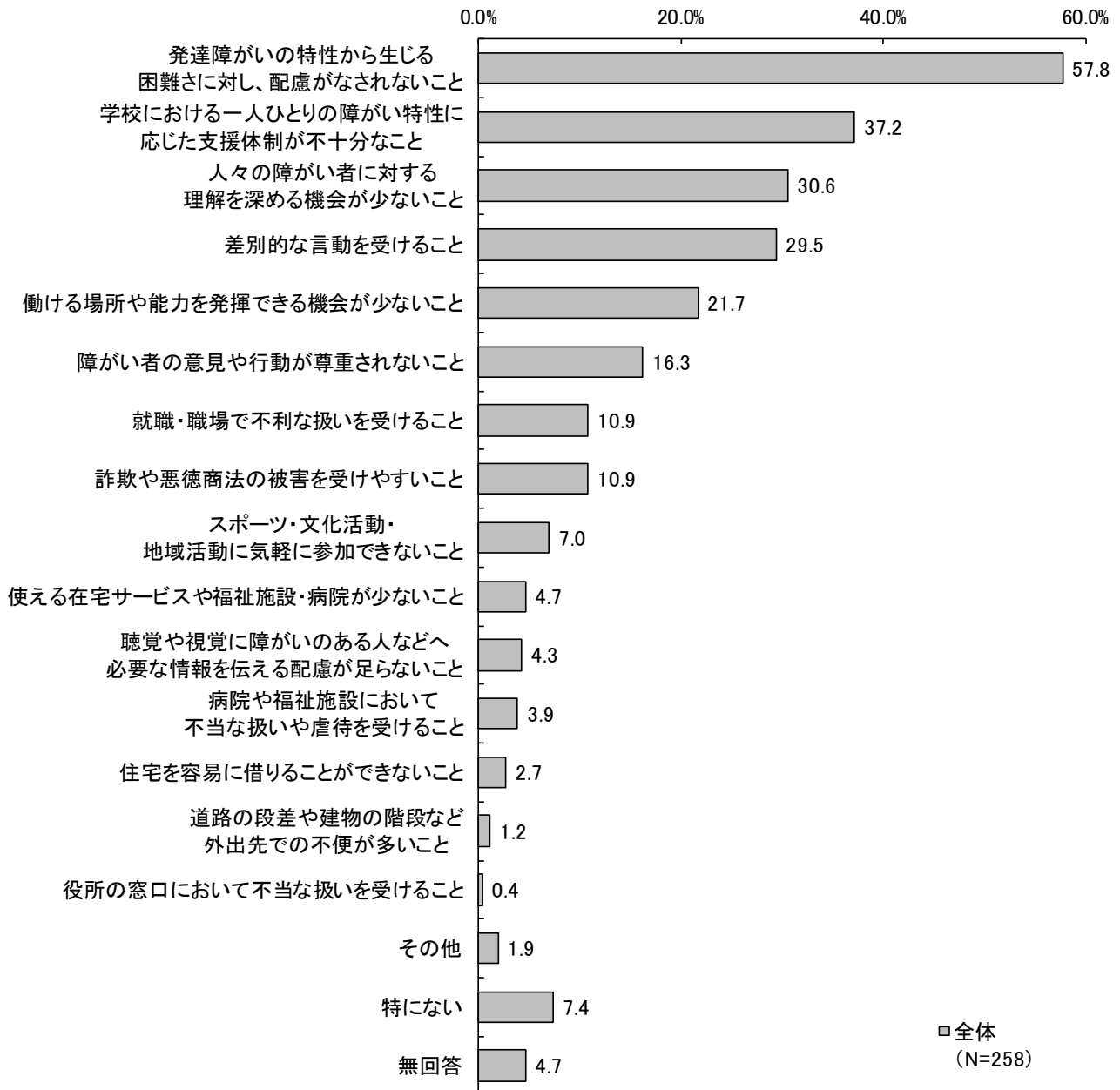
【図表9-90 療育手帳の有無別 差別を受けたり、いやな思いをした内容】 (%)

	調査数 (人)	差別を受けたり、いやな思いをした内容														
		受学校、職場、施設などで不当な扱いを受けた	近所の人達の対応で不愉快な思いをした	入所・通所している施設職員及び他の利用者の対応で不愉快な思いをした	バス、電車、タクシーの乗員の対応で不愉快な思いをした	病院・診療所などで診察を断られた	役所の窓口に行ったとき、職員の対応で不愉快な思いをした	相談機関・相談窓口に行ったとき、職員の対応で不愉快な思いをした	障がいを理由とした不採用や解雇	ホームヘルパーやガイドヘルパーなどの乗車拒否にあった	バス、電車、タクシーなどの乗車拒否	家を借りる時に不動産業者や家主に断られた	ホテル・旅館、公衆浴場、飲食店などを利用することを断られた	その他	思い出せない	無回答
全体	119	41.2	21.8	12.6	7.6	6.7	5.9	5.9	3.4	2.5	0.8	0.8	0.8	24.4	12.6	2.5
手帳の有無	療育を持っている	26	26.9	15.4	19.2	15.4	15.4	3.8	3.8	11.5	3.8	3.8	-	15.4	15.4	3.8
	療育を持っていない	64	42.2	26.6	7.8	3.1	6.3	1.6	4.7	-	-	-	1.6	29.7	12.5	-
	無回答	29	51.7	17.2	17.2	6.9	-	6.9	10.3	10.3	-	-	-	20.7	10.3	6.9

(3) 障がい者の人権に関して問題があると思うこと

問37 障がい者に関する事柄で、特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

【図表9-91 障がい者の人権に関して問題があると思うこと】



【図表9-92 年齢別 障がい者の人権に関して問題があると思うこと】(%)

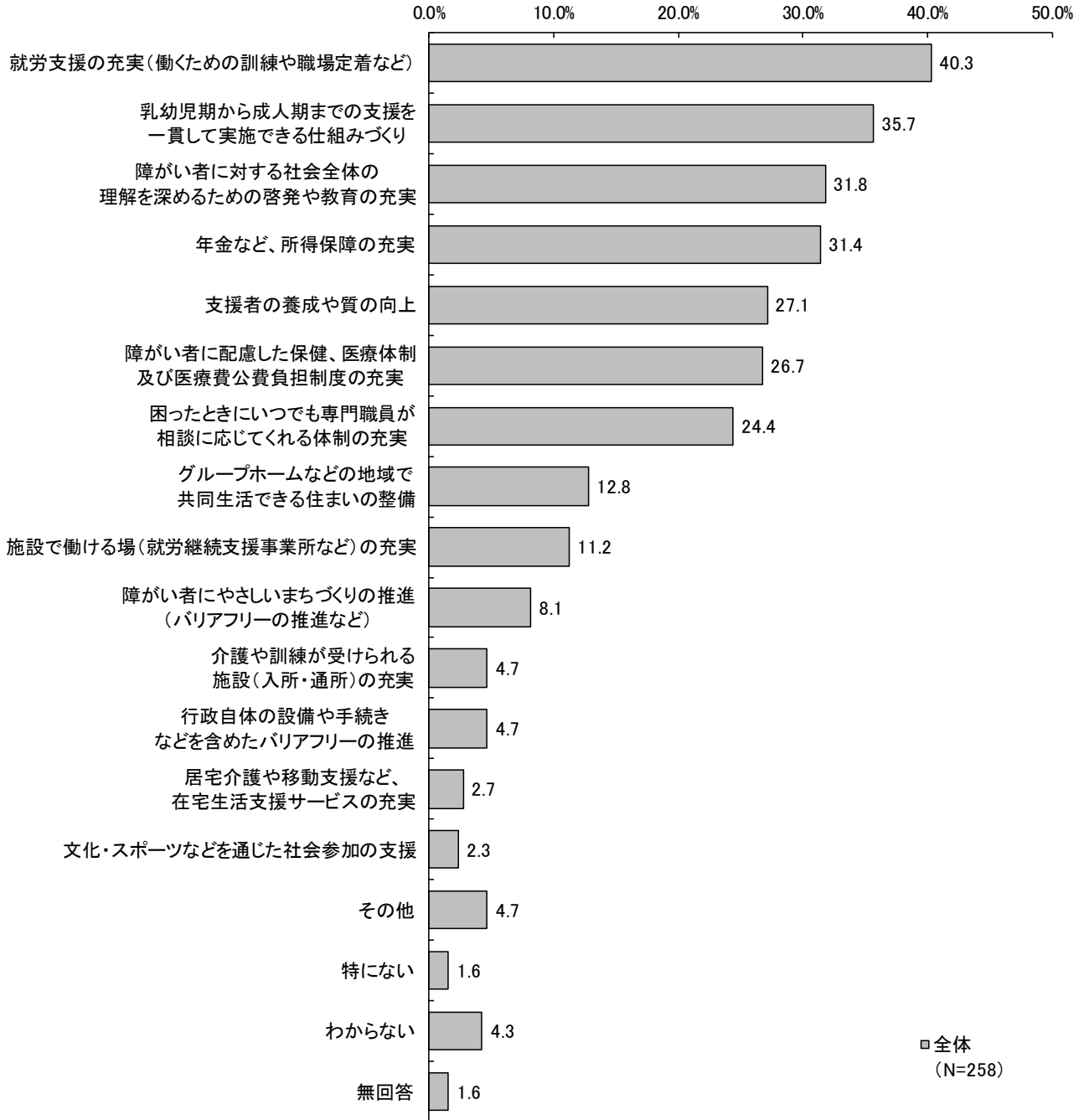
	調査数(人)	障がい者の人権に関して問題があると思うこと									
		発達障がいの特性から生じる困難さに 対し、配慮がなされないこと	学校における一人ひとりの障がい特性 に応じた支援体制が不十分なこと	人々の障がい者に対する理解を深める 機会が少ないこと	差別的な言動を受けること	働ける場所や能力を発揮できる機会が 少ないこと	障がい者の意見や行動が尊重されない こと	就職・職場で不利な扱いを受けること	詐欺や悪徳商法の被害を受けやすいこ と	スポーツ・文化活動・地域活動に気軽 に参加できないこと	
全体	258	57.8	37.2	30.6	29.5	21.7	16.3	10.9	10.9	7.0	
年齢	0~5歳	11	72.7	45.5	45.5	45.5	-	18.2	-	-	9.1
	6~8歳	57	66.7	45.6	31.6	24.6	22.8	17.5	10.5	15.8	12.3
	9~11歳	42	64.3	61.9	38.1	42.9	21.4	14.3	2.4	11.9	4.8
	12~14歳	56	48.2	42.9	21.4	25.0	8.9	16.1	14.3	1.8	3.6
	15~17歳	7	42.9	28.6	42.9	28.6	-	57.1	-	28.6	-
	18~29歳	32	50.0	21.9	25.0	40.6	46.9	15.6	9.4	15.6	9.4
	30歳代	31	48.4	12.9	32.3	19.4	32.3	9.7	19.4	9.7	6.5
	40歳代	15	73.3	6.7	26.7	20.0	26.7	6.7	20.0	20.0	-
	50歳代	3	66.7	-	33.3	-	-	66.7	-	-	-
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	4	50.0	25.0	50.0	25.0	-	-	25.0	-	25.0	

	調査数(人)	障がい者の人権に関して問題があると思うこと									
		が使える在宅サービスや福祉施設・病院 が少ないこと	要な情報や視覚に障がいのある人などへ必 要な情報や視覚に障がいのある人などへ必 要な情報や視覚に障がいのある人などへ必 要な情報や視覚に障がいのある人などへ必	聴覚や視覚に障がいのある人などへ必 要な情報や視覚に障がいのある人などへ必 要な情報や視覚に障がいのある人などへ必	虐待や福祉施設において不当な扱いや 病状を受け入れること	と住宅を容易に借りることができないこ と	道路の段差や建物の階段など外出先で の不便が多量なこと	役所の窓口において不当な扱いを受け ること	その他	特にな い	無回 答
全体	258	4.7	4.3	3.9	2.7	1.2	0.4	1.9	7.4	4.7	
年齢	0~5歳	11	-	9.1	9.1	9.1	-	9.1	-	9.1	-
	6~8歳	57	5.3	3.5	-	-	1.8	-	3.5	5.3	3.5
	9~11歳	42	2.4	-	-	-	-	-	2.4	7.1	-
	12~14歳	56	1.8	5.4	3.6	1.8	-	-	3.6	12.5	7.1
	15~17歳	7	-	-	14.3	-	-	-	-	-	-
	18~29歳	32	6.3	6.3	6.3	9.4	3.1	-	-	6.3	3.1
	30歳代	31	6.5	6.5	12.9	3.2	-	-	-	3.2	9.7
	40歳代	15	20.0	-	-	6.7	6.7	-	-	13.3	6.7
	50歳代	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	4	-	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0	

(4) 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと

問38 障がいのある人が暮らしやすい社会をつくるために、国や県、市に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

【図表9-93 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと】



【図表9-94 年齢別、療育手帳の有無別、障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと】(%)

	調査数(人)	障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと									
		や就 職労 場支 援の 充実 (働 くた めの 訓練)	一乳 貫幼 して 実児 施期 から でき る成 人期 まで の支 援を	を障 が深 い者 に對 する 啓発 や社 会全 体の 理解	年 金な ど、 所得 保障 の充 実	支 援者 の養 成や 質の 向上	制障 及が びい 者に 配慮 した 保健 、医 療充 実	相困 談た にど きに いつ でも 専門 職員 が	生グ 活ル でき るプ ホー ムな どの 地域 で共 同	業施 所設 で働 ける 場(就 労継 続支 援事	
全体	258	40.3	35.7	31.8	31.4	27.1	26.7	24.4	12.8	11.2	
年齢	0~5歳	11	27.3	72.7	54.5	9.1	45.5	36.4	9.1	-	
	6~8歳	57	36.8	66.7	42.1	22.8	29.8	26.3	19.3	10.5	
	9~11歳	42	42.9	54.8	23.8	21.4	35.7	31.0	26.2	9.5	
	12~14歳	56	39.3	33.9	39.3	32.1	14.3	25.0	16.1	8.9	
	15~17歳	7	42.9	-	42.9	14.3	28.6	28.6	28.6	14.3	
	18~29歳	32	56.3	3.1	25.0	43.8	28.1	21.9	31.3	31.3	
	30歳代	31	41.9	6.5	19.4	51.6	35.5	22.6	32.3	19.4	
	40歳代	15	40.0	6.7	6.7	53.3	13.3	26.7	53.3	46.7	
	50歳代	3	-	-	-	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	4	-	-	50.0	-	-	25.0	-	25.0		
全体	258	40.3	35.7	31.8	31.4	27.1	26.7	24.4	12.8	11.2	
療育手帳の有無	持っている	36	30.6	19.4	33.3	30.6	22.2	27.8	19.4	36.1	
	持っていない	156	39.7	44.2	37.8	26.3	28.8	23.7	22.4	7.1	
	無回答	66	47.0	24.2	16.7	43.9	25.8	33.3	31.8	13.6	

	調査数(人)	障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと									
		推障 進が い者 にや アサ フリ のま ちづ なく りの	所介 ・護 や通 所訓 練の 充実	め行 た政 自巴 リ自 体の 設備 や手 続進 を	活居 支宅 援介 サ護 ーサ ービ スの 充実	参文 加化 の・ 支ス 援ポ ー ツな どを 通 じた 社会	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答	
全体	258	8.1	4.7	4.7	2.7	2.3	4.7	1.6	4.3	1.6	
年齢	0~5歳	11	27.3	-	-	-	9.1	-	9.1	-	
	6~8歳	57	12.3	8.8	1.8	1.8	3.5	1.8	5.3	-	
	9~11歳	42	4.8	4.8	4.8	-	2.4	14.3	2.4	4.8	
	12~14歳	56	7.1	7.1	3.6	1.8	-	1.8	5.4	1.8	
	15~17歳	7	28.6	-	-	-	-	14.3	-	-	
	18~29歳	32	6.3	-	12.5	3.1	3.1	3.1	-	3.1	
	30歳代	31	-	3.2	3.2	9.7	-	3.2	-	6.5	
	40歳代	15	-	-	6.7	6.7	-	6.7	-	6.7	
	50歳代	3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	4	25.0	-	25.0	-	-	-	-	50.0		
全体	258	8.1	4.7	4.7	2.7	2.3	4.7	1.6	4.3	1.6	
療育手帳の有無	持っている	36	8.3	-	5.6	11.1	2.8	-	2.8	5.6	
	持っていない	156	7.7	3.8	5.1	0.6	2.6	6.4	1.3	0.6	
	無回答	66	9.1	9.1	3.0	3.0	1.5	3.0	1.5	3.0	

【図表9-95 発達障がいの診断別、二次的な情緒や行動などの問題の有無別
障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと】(%)

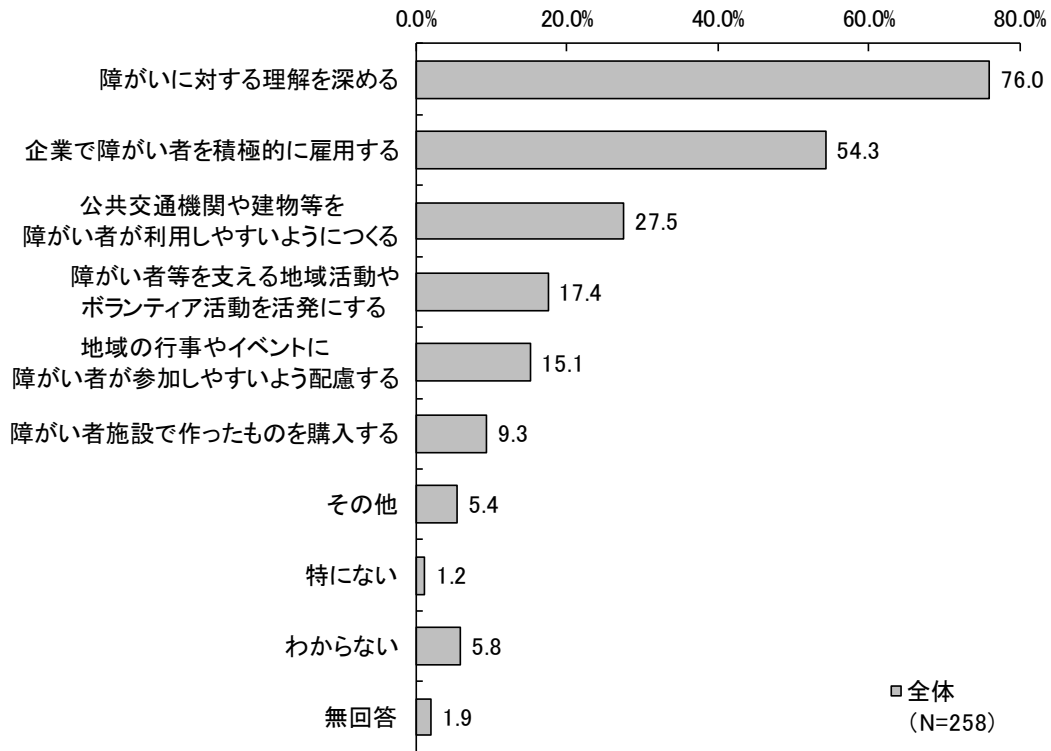
	調査数(人)	障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと									
		や就 職場 支援 の充 実(働 くた めの 訓練)	一乳 幼 児 期 か ら 成 人 期 ま で の 支 援 を	を障 が い 者 に 対 す る 社 会 全 体 の 充 実 理 解	年 金 な ど、 所 得 保 障 の 充 実	支 援 者 の 養 成 や 質 の 向 上	制 障 が い 者 に 配 慮 し た 保 健 、 医 療 体	相 困 に 応 じ て い つ て も 専 門 職 員 が	生 活 で き る 住 ま い の 地 域 で 共 同	業 所 な ど の 充 実	施 設 で 働 け る 場 合 (就 労 継 続 支 援 事
全体	258	40.3	35.7	31.8	31.4	27.1	26.7	24.4	12.8	11.2	
発達障がいの診断	診断を受けている	242	41.7	36.8	32.6	32.2	27.7	26.9	26.0	12.4	11.2
	注意欠陥多動性障害(ADHD)のみ	15	26.7	40.0	33.3	26.7	20.0	40.0	33.3	6.7	13.3
	学習障害(LD)のみ	2	100.0	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-
	アスペルガー症候群のみ	19	42.1	15.8	15.8	57.9	31.6	21.1	36.8	10.5	5.3
	自閉症のみ	35	37.1	34.3	37.1	25.7	28.6	22.9	20.0	20.0	5.7
	広汎性発達障がいのみ	57	47.4	35.1	28.1	33.3	31.6	24.6	29.8	12.3	15.8
	知的障がいのみ	4	25.0	25.0	50.0	50.0	-	25.0	-	50.0	-
	その他のみ	13	53.8	38.5	38.5	30.8	15.4	38.5	23.1	-	15.4
	発達障がいの重複	95	40.0	42.1	35.8	30.5	28.4	25.3	25.3	11.6	11.6
	診断名無回答	2	50.0	50.0	-	-	50.0	100.0	-	-	-
診断は受けていない	11	27.3	27.3	18.2	27.3	18.2	36.4	-	18.2	18.2	
無回答	5	-	-	20.0	-	20.0	-	-	20.0	-	
全体	258	40.3	35.7	31.8	31.4	27.1	26.7	24.4	12.8	11.2	
二次的な問題の有無	二次的な問題あり	75	45.3	26.7	26.7	42.7	32.0	29.3	28.0	17.3	13.3
	過去に二次的な問題あり	49	40.8	20.4	36.7	26.5	22.4	14.3	24.5	22.4	12.2
	二次的な問題なし	123	38.2	48.0	34.1	26.8	26.0	30.1	22.8	6.5	9.8
	無回答	11	27.3	27.3	18.2	27.3	27.3	27.3	18.2	9.1	9.1

	調査数(人)	障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと									
		推 進 が い 者 に ア フ リ ー の 充 実	介 護 や 訓 練 が 受 け ら れ る 施 設 (入 所・ 通 所)	行 政 自 体 の 設 備 や 手 続 き な ど を 含 め た バ リ ア ー の 充 実	活 居 支 援 サ ー ビ ス の 充 実	参 加 の 支 援	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答	
全体	258	8.1	4.7	4.7	2.7	2.3	4.7	1.6	4.3	1.6	
発達障がいの診断	診断を受けている	242	8.7	4.5	4.1	2.9	2.1	4.5	1.7	3.7	0.4
	注意欠陥多動性障害(ADHD)のみ	15	13.3	13.3	-	-	-	-	-	-	-
	学習障害(LD)のみ	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-
	アスペルガー症候群のみ	19	10.5	5.3	10.5	5.3	5.3	10.5	-	-	-
	自閉症のみ	35	8.6	11.4	2.9	5.7	2.9	2.9	-	5.7	-
	広汎性発達障がいのみ	57	10.5	1.8	1.8	1.8	1.8	-	1.8	1.8	1.8
	知的障がいのみ	4	25.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-
	その他のみ	13	7.7	-	15.4	-	-	-	7.7	7.7	-
	発達障がいの重複	95	6.3	3.2	3.2	2.1	1.1	8.4	2.1	5.3	-
	診断名無回答	2	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-
診断は受けていない	11	-	9.1	9.1	-	-	9.1	-	9.1	18.2	
無回答	5	-	-	20.0	-	20.0	-	-	20.0	20.0	
全体	258	8.1	4.7	4.7	2.7	2.3	4.7	1.6	4.3	1.6	
二次的な問題の有無	二次的な問題あり	75	1.3	2.7	2.7	1.3	-	8.0	-	4.0	-
	過去に二次的な問題あり	49	6.1	2.0	8.2	4.1	4.1	8.2	4.1	2.0	2.0
	二次的な問題なし	123	13.8	7.3	4.9	2.4	2.4	1.6	1.6	4.9	0.8
	無回答	11	-	-	-	9.1	9.1	-	-	9.1	18.2

(5) 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと

問39 障がいのある人が暮らしやすい社会をつくるために、地域社会や企業に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

【図表9-96 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと】



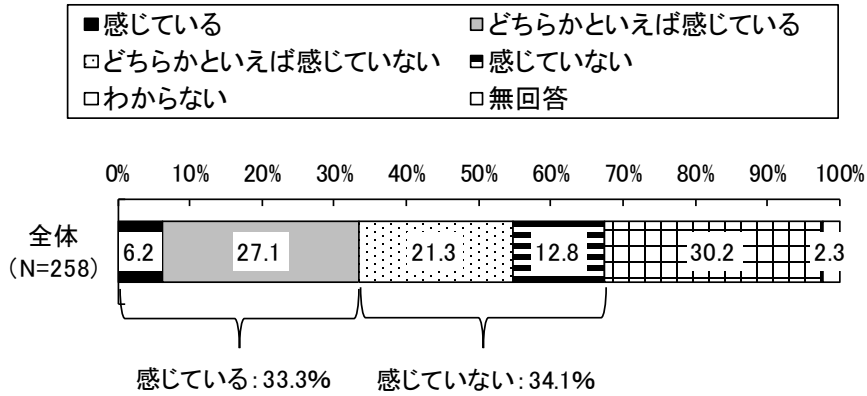
【図表9-97 年齢別 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと】 (%)

	調査数 (人)	障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと (%)										
		障がいに対する理解を深める	企業で障がい者を積極的に雇用する	公共交通機関や建物等を障がい者が利用しやすいようにつくる	障がい者等を支える地域活動やボランティア活動を活発にする	地域の行事やイベントに障がい者が参加しやすいよう配慮する	障がい者施設で作ったものを購入する	その他	特にない	わからない	無回答	
全体	258	76.0	54.3	27.5	17.4	15.1	9.3	5.4	1.2	5.8	1.9	
年齢	0~5歳	11	90.9	18.2	54.5	18.2	36.4	9.1	-	-	9.1	-
	6~8歳	57	77.2	50.9	28.1	15.8	14.0	7.0	7.0	1.8	10.5	1.8
	9~11歳	42	76.2	47.6	23.8	11.9	16.7	9.5	7.1	-	2.4	-
	12~14歳	56	71.4	53.6	17.9	25.0	10.7	7.1	3.6	3.6	5.4	3.6
	15~17歳	7	85.7	85.7	28.6	14.3	28.6	-	-	-	-	-
	18~29歳	32	78.1	65.6	34.4	21.9	15.6	15.6	6.3	-	-	-
	30歳代	31	77.4	61.3	32.3	9.7	16.1	3.2	6.5	-	9.7	-
	40歳代	15	80.0	60.0	20.0	13.3	6.7	33.3	6.7	-	6.7	-
	50歳代	3	66.7	66.7	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	4	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	50.0	

(6) 福岡市の暮らしやすさ

問40 あなたは、福岡市は障がいのある人が暮らしやすいまちだと感じていますか。
(○は1つだけ)

【図表9-98 福岡市の暮らしやすさ】



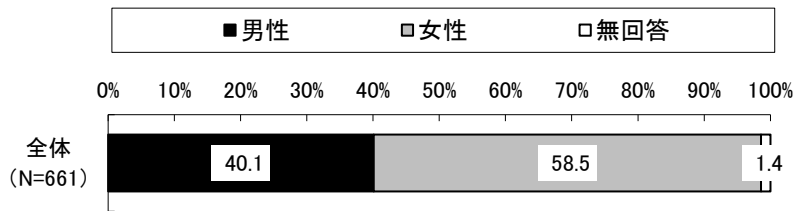
【図表9-99 年齢別 福岡市の暮らしやすさ】 (%)

	調査数 (人)	福岡市の暮らしやすさ						
		感じている	どちらかといえば感じている	どちらかといえば感じていない	感じていない	わからない	無回答	
全体	258	6.2	27.1	21.3	12.8	30.2	2.3	
年齢	0~5歳	11	9.1	9.1	27.3	18.2	36.4	-
	6~8歳	57	5.3	26.3	33.3	14.0	19.3	1.8
	9~11歳	42	4.8	19.0	19.0	23.8	33.3	-
	12~14歳	56	8.9	26.8	14.3	10.7	35.7	3.6
	15~17歳	7	14.3	28.6	-	14.3	42.9	-
	18~29歳	32	6.3	40.6	15.6	6.3	31.3	-
	30歳代	31	3.2	29.0	29.0	6.5	32.3	-
	40歳代	15	6.7	33.3	13.3	13.3	26.7	6.7
	50歳代	3	-	-	33.3	-	66.7	-
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	4	-	50.0	-	-	-	50.0

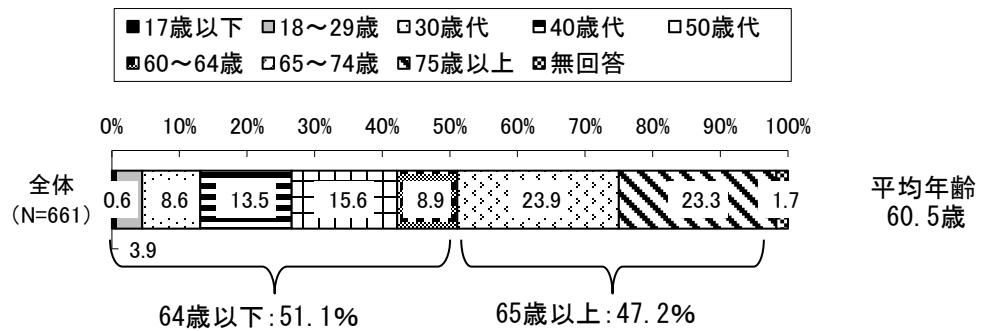
第10章 難病患者調査

1. 基本属性

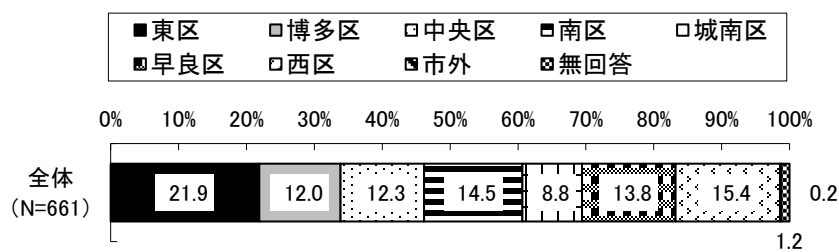
【図表10-1 性別】



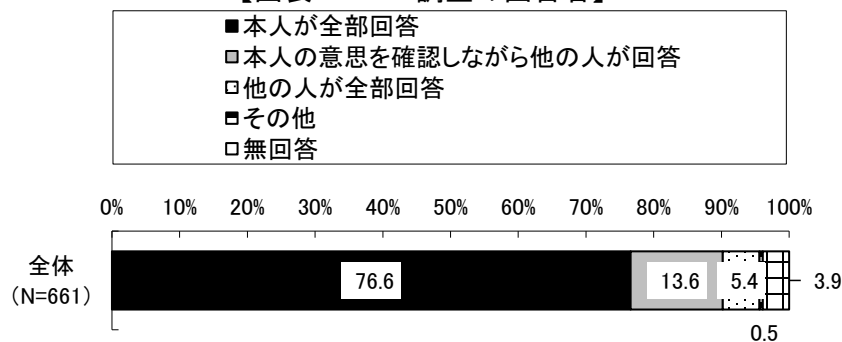
【図表10-2 年齢】



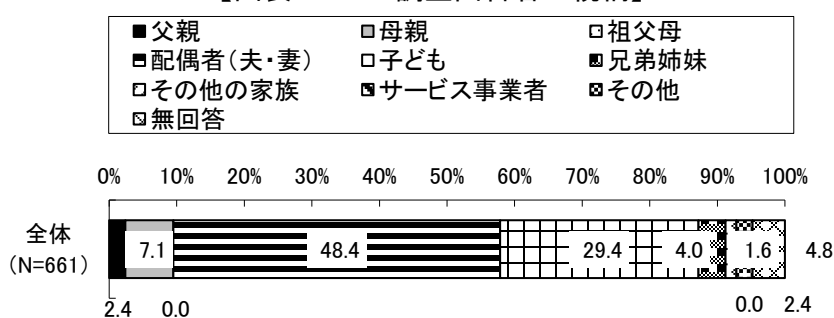
【図表10-3 居住地区】



【図表10-4 調査の回答者】



【図表10-5 調査回答者の続柄】



2. 難病の状況について

- ・疾患が発症した年齢は、「29歳以下」(19.4%)、「50歳代」(17.5%)、「40歳代」「60～64歳」(ともに14.8%)、「30歳代」(12.3%)の順となっており、平均は46.8歳である。【図表10-7】
- ・疾患の診断がついた年齢は、「29歳以下」(18.2%)、「50歳代」(18.0%)、「40歳代」(16.5%)、「65～74歳」(14.1%)、「30歳代」(10.4%)の順となっており、平均は48.6歳である。【図表10-8】
- ・最近6ヶ月の医療機関の受療状況は、「主に通院している」(85.0%)が8割を超えて大半を占めている。主に入院している人(22人)の入院期間は平均年間211.1日であり、入院と通院が半々の人(29人)では、平均年間45.3日である。通院回数は、主に通院している人(562人)では、平均月3.4回であり、入院と通院が半々の人(29人)では、平均月1.3回である。また、主に往診してもらっている人(17人)の往診回数は、平均月2.7回であった。【図表10-9、図表10-10、図表10-11、図表10-12】
- ・主な症状は、「痛み」(23.8%)、「倦怠感」(22.7%)、「手足に力が入らない」(21.0%)がそれぞれ2割を超えている。年齢詳細別にみると、75歳以上の高齢者では「手足に力が入らない」(37.0%)や「耳が聞こえない・聞こえにくい」(22.1%)の割合が74歳以下に比べて高くなっている。【図表10-15、図表10-16】
- ・身体障害者手帳については、2割強(22.7%)が手帳を所持しており、等級では1・2級をあわせた重度者が46.0%で最も高い。【図表10-17】
- ・身体障害者手帳所持者(150人)について、重複する障がいの有無をみると、難病以外では「肢体不自由(下肢)」(12.0%)、「音声、言語、そしゃく機能障がい」(11.3%)が1割台みられる。【図表10-21】

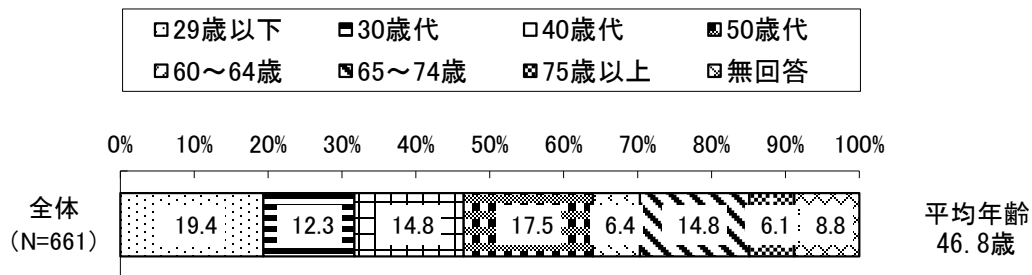
(1) 疾患名

【図表10-6 疾患名】

調査数(人)	パーキンソン病	潰瘍性大腸炎	全身性エリテマトーデス	クローン病	重症筋無力症	全身性强皮症	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)	後縦靭帯骨化症	特発性大腿骨頭壊死症	皮膚筋炎/多発性筋炎	特発性拡張型心筋症	原発性胆汁性胆管炎	シェーグレン症候群			
661	88	79	52	33	27	26	25	22	21	18	17	17	15			
100.0	13.3	12.0	7.9	5.0	4.1	3.9	3.8	3.3	3.2	2.7	2.6	2.6	2.3			
多発性硬化症/視神経脊髄炎	網膜色素変性症	サルコイドーシス	特発性間質性肺炎	ベーチェット病	多系統萎縮症	もやもや病	下垂体前葉機能低下症	好酸球性副鼻腔炎	進行性核上性麻痺	紫斑病	IgA腎症	黄色靭帯骨化症	混合性結合組織病			
14	12	11	11	9	8	8	8	8	7	7	7	7	6			
2.1	1.8	1.7	1.7	1.4	1.2	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	0.9			
大脳皮質基底核変性症	肥大型心筋症	広範脊柱管狭窄症	球脊髄性筋萎縮症	神経線維腫症	天疱瘡	神経有棘赤血球症	結節性多発動脈炎	顕微鏡的多発血管炎	悪性関節リウマチ	成人スチル病	再生不良性貧血	肺動脈性肺高血圧症	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む)			
5	5	5	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3			
0.8	0.8	0.8	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5			
候群	一次性ネフローゼ症	ライソゾーム病	HTLV-1関連脊髄症	全身性アミロイドーシス	膿疱性乾癬(汎発型)	高安動脈炎	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	多発性嚢胞腎	下垂体性ADH分泌異常症	クッシング病	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	原発性硬化性胆管炎	自己免疫性肝炎	ウイルソン病		
3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
0.5	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3		
ファロー四徴症	総排泄腔遺残	筋萎縮性側索硬化症	ハンチントン病	先天性筋無力症候群	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	ミトコンドリア病	巨細胞性動脈炎	多発性血管炎性肉芽腫症	パージャール病	再発性多発軟骨炎	拘束型心筋症	自己免疫性溶血性貧血	発作性夜間ヘモグロビン尿症			
2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2			
群	原発性免疫不全症候群	下垂体性PRL分泌亢進症	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	リンパ脈管筋腫症	先天性ミオパチー	アイザックス症候群	前頭側頭葉変性症	弾性線維性仮性黄色腫	急速進行性糸球体腎炎	副甲状腺機能低下症	副腎皮質刺激ホルモン不応症	強直性脊椎炎	候群	ネーデル・ウエル・バレー症	クリツベル・トレノ	無回答
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	2.1	

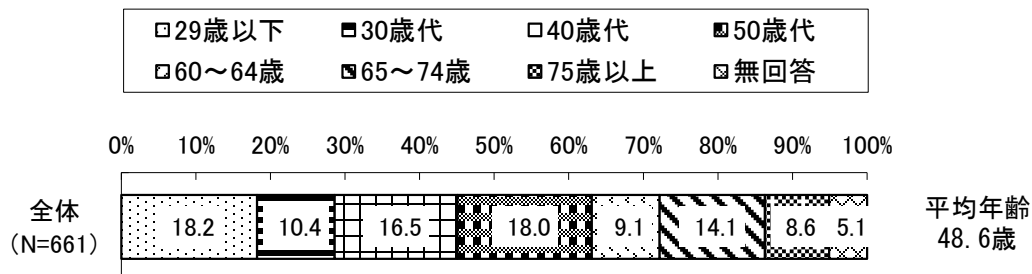
(2) 疾患が発症した年齢

【図表10-7 疾患が発症した年齢】



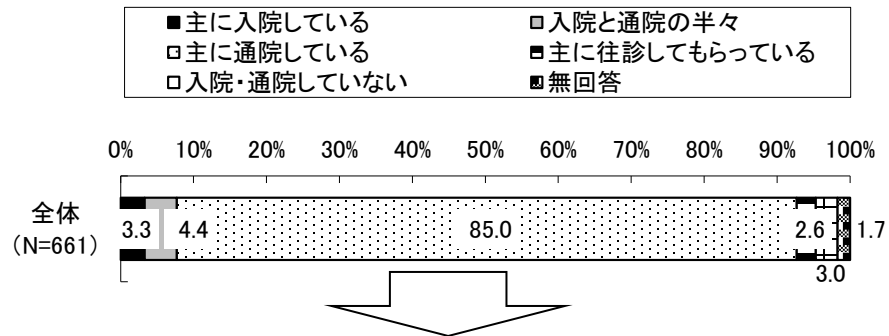
(3) 疾患の診断がついた年齢

【図表10-8 疾患の診断がついた年齢】



(4) 最近6ヶ月の医療機関の受療状況と入院期間等

【図表10-9 最近6ヶ月の医療機関の受療状況】



【図表10-10 入院期間】

(単位：上段=実数、下段=%)

	調査数	年間100日未満	2年010日未満	3年020日未満	年間300日以上	無回答	平均(日)
主に入院している人の入院期間	22	6	2	-	7	7	211.1
	100.0	27.3	9.1	-	31.8	31.8	
入院と通院の半々の人の入院期間	29	21	4	-	-	4	45.3
	100.0	72.4	13.8	-	-	13.8	

【図表10-11 通院回数】

(単位：上段=実数、下段=%)

	調査数	月1回未満	月1回	月2回	月3回	月4回以上	無回答	平均(回)
主に通院している人の通院回数	562	64	410	36	7	27	18	3.4
	100.0	11.4	73.0	6.4	1.2	4.8	3.2	
入院と通院の半々の人の通院回数	29	-	10	8	-	5	6	1.3
	100.0	-	34.5	27.6	-	17.2	20.7	

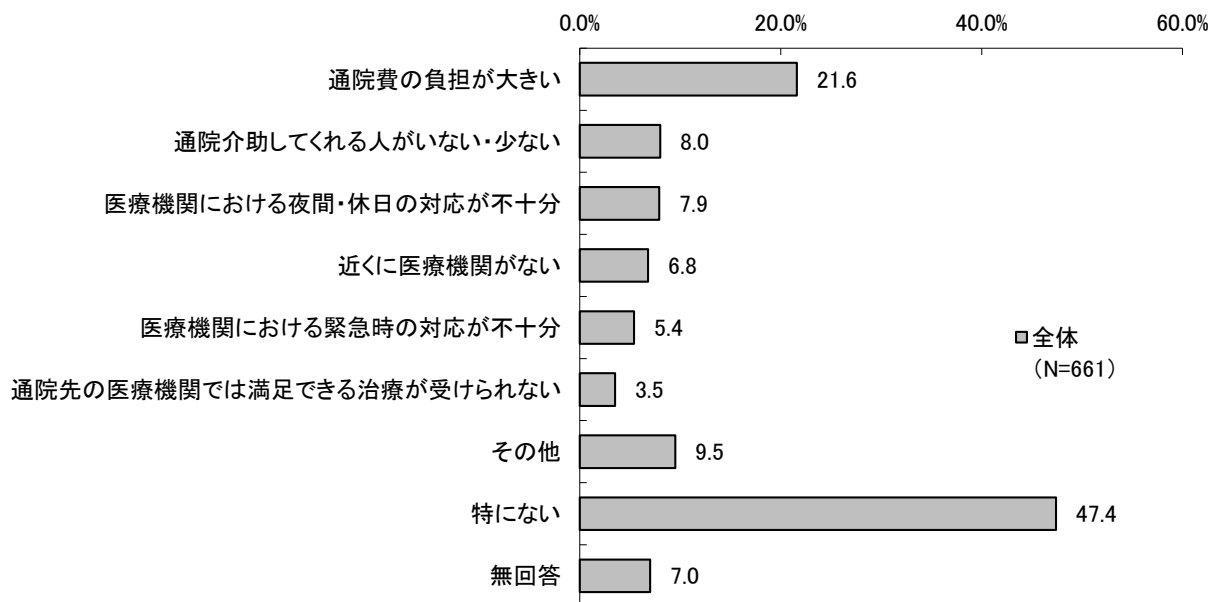
【図表10-12 往診回数】

(単位：上段=実数、下段=%)

	調査数	月1回未満	月1回	月2回	月3回	月4回以上	無回答	平均(回)
主に往診してもらっている人の往診回数	17	-	4	9	-	4	-	2.7
	100	-	23.5	52.9	-	23.5	-	

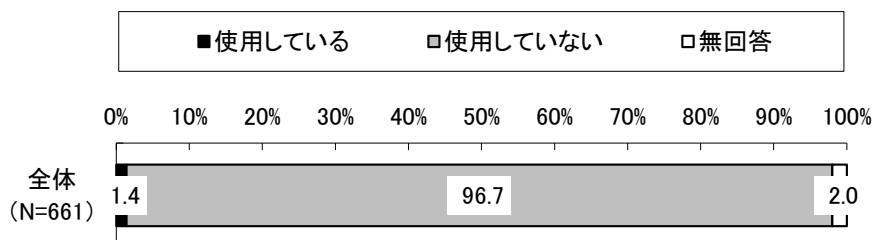
(5) 通院する上での課題や不安に感じること

【図表10-13 通院する上での課題や不安に感じること】(複数回答)



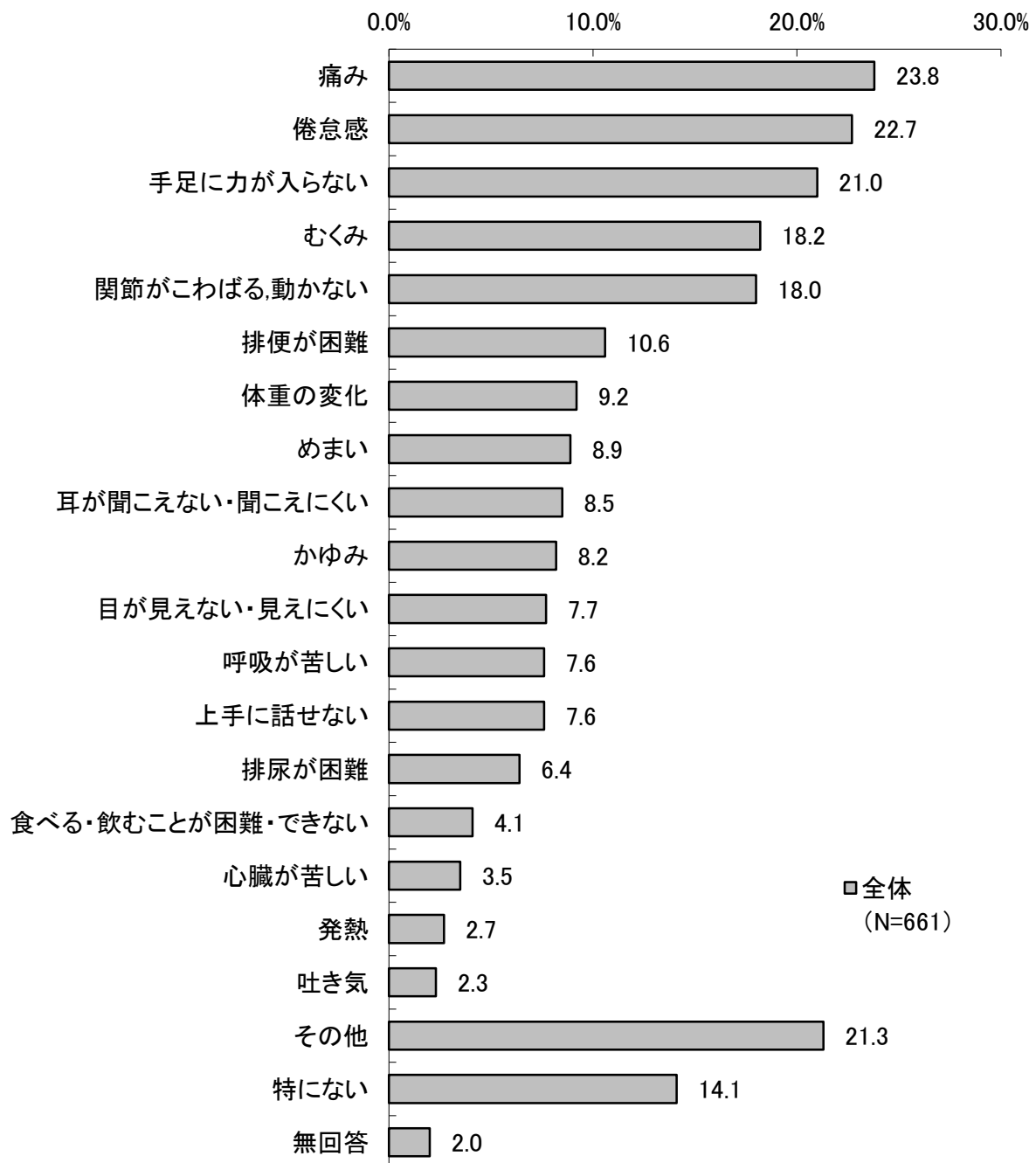
(6) 人工呼吸器使用の有無

【図表10-14 人工呼吸器使用の有無】



(7) 主な症状

【図表10-15 主な症状】(複数回答3つまで)



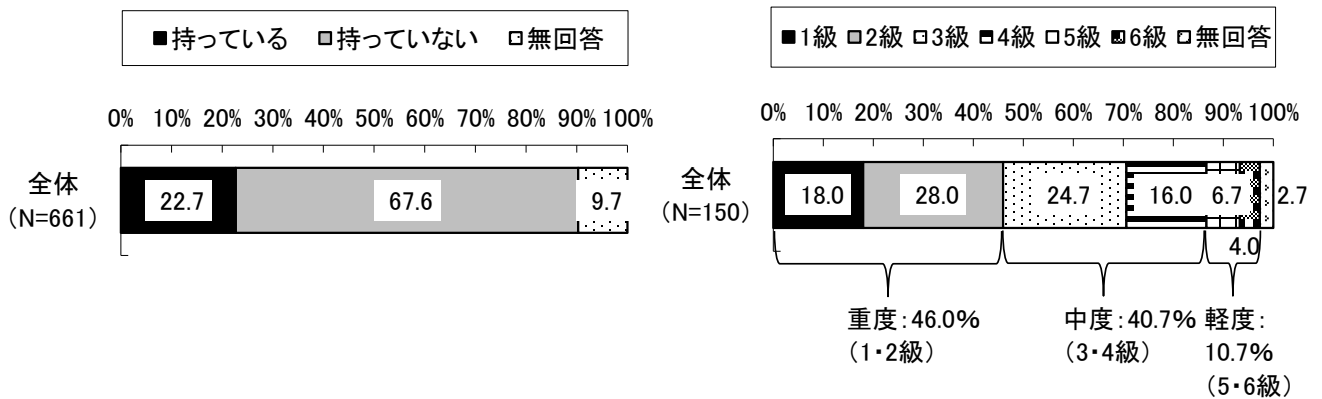
【図表10-16 年齢（2区分、詳細）別 主な症状】（％）

	調査数（人）	主な症状											
		痛み	倦怠感	手足に力が入らない	むくみ	関節がこわばる・動かない	排便が困難	体重の変化	めまい	耳が聞こえない・聞こえにくい	かゆみ	目が見えない・見えにくい	
全体	661	23.8	22.7	21.0	18.2	18.0	10.6	9.2	8.9	8.5	8.2	7.7	
年齢区分2	64歳以下	338	24.3	26.6	11.8	17.8	13.6	8.0	11.8	7.7	3.8	8.6	7.4
	65歳以上	312	24.0	19.2	31.4	19.2	22.4	13.1	6.7	10.6	13.5	8.0	7.7
	無回答	11	-	-	9.1	-	27.3	18.2	-	-	9.1	-	18.2
全体	661	23.8	22.7	21.0	18.2	18.0	10.6	9.2	8.9	8.5	8.2	7.7	
年齢詳細	17歳以下	4	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-
	18～29歳	26	38.5	11.5	7.7	11.5	7.7	19.2	11.5	7.7	3.8	3.8	7.7
	30歳代	57	21.1	24.6	15.8	7.0	12.3	7.0	17.5	10.5	1.8	8.8	7.0
	40歳代	89	24.7	31.5	6.7	27.0	12.4	10.1	15.7	5.6	5.6	9.0	10.1
	50歳代	103	24.3	28.2	16.5	16.5	16.5	5.8	10.7	10.7	3.9	7.8	5.8
	60～64歳	59	20.3	25.4	10.2	20.3	15.3	5.1	3.4	3.4	3.4	10.2	6.8
	65～74歳	158	25.9	22.8	25.9	17.7	19.6	12.0	10.1	9.5	5.1	8.2	7.6
	75歳以上	154	22.1	15.6	37.0	20.8	25.3	14.3	3.2	11.7	22.1	7.8	7.8
	無回答	11	-	-	9.1	-	27.3	18.2	-	-	9.1	-	18.2

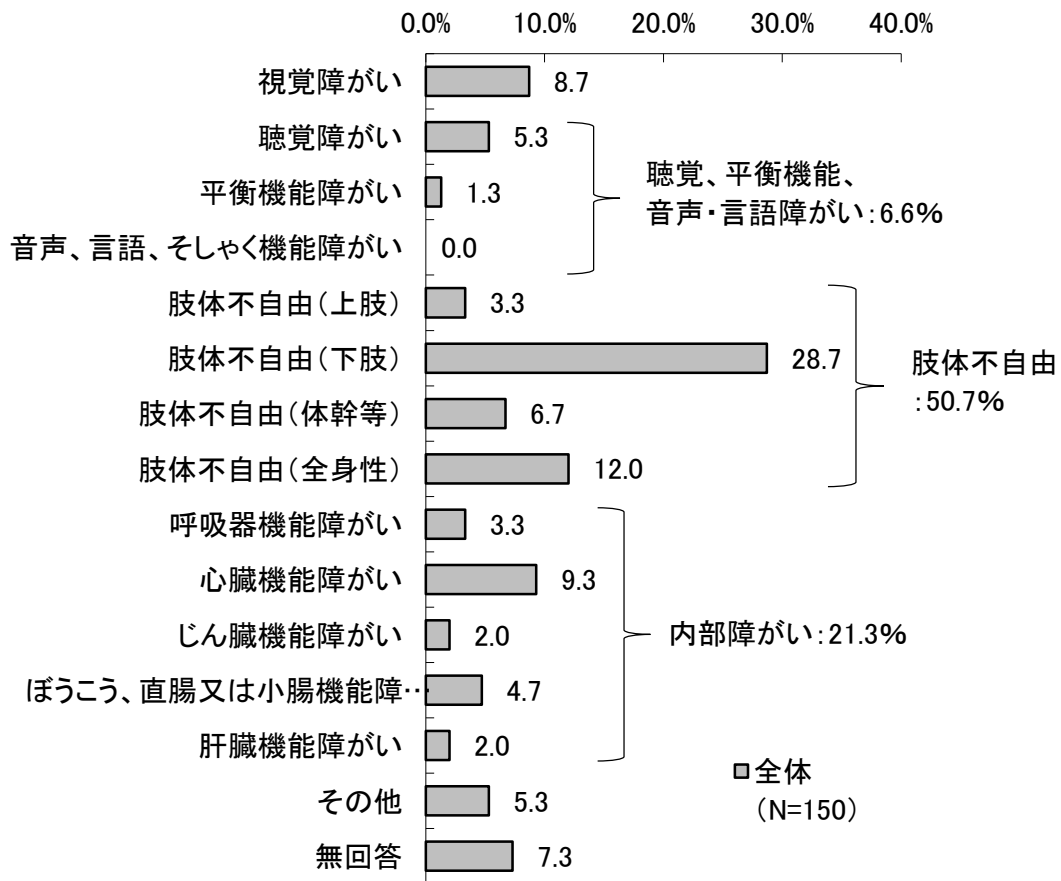
	調査数（人）	主な症状										
		呼吸が苦しい	上手に話せない	排尿が困難	食べる・飲むことが困難	心臓が苦しい	発熱	吐き気	その他	特にない	無回答	
全体	661	7.6	7.6	6.4	4.1	3.5	2.7	2.3	21.3	14.1	2.0	
年齢区分2	64歳以下	338	6.8	3.3	2.7	3.0	3.6	4.1	3.0	24.6	18.3	0.9
	65歳以上	312	8.7	12.2	10.6	5.1	3.5	1.3	1.6	18.6	9.9	1.3
	無回答	11	-	9.1	-	9.1	-	-	-	-	-	54.5
全体	661	7.6	7.6	6.4	4.1	3.5	2.7	2.3	21.3	14.1	2.0	
年齢詳細	17歳以下	4	-	-	-	-	-	-	-	75.0	-	-
	18～29歳	26	-	-	11.5	7.7	-	7.7	7.7	23.1	30.8	-
	30歳代	57	-	3.5	1.8	3.5	3.5	10.5	7.0	26.3	28.1	1.8
	40歳代	89	5.6	3.4	2.2	2.2	5.6	2.2	2.2	21.3	14.6	1.1
	50歳代	103	8.7	3.9	1.0	1.0	1.9	1.9	1.0	27.2	11.7	1.0
	60～64歳	59	15.3	3.4	3.4	5.1	5.1	3.4	1.7	25.4	16.9	-
	65～74歳	158	10.8	8.2	12.7	4.4	5.1	1.9	1.9	24.1	10.8	1.3
	75歳以上	154	6.5	16.2	8.4	5.8	1.9	0.6	1.3	13.0	9.1	1.3
	無回答	11	-	9.1	-	9.1	-	-	-	-	-	54.5

(8) 身体障がいの状況（身体障害者手帳の有無・等級、身体障がいの部位）

【図表10-17 身体障害者手帳の有無・等級】



【図表10-18 主な身体障がいの部位】



【図表10-19 年齢詳細別 身体障害者手帳の有無・等級】(%)

	調査数(人)	身体障害者手帳の有無			調査数(人)	身体障害者手帳の等級							調査数(人)	身体障害者手帳の等級(集約)				
		持っている	持っていない	無回答		1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答		(1・2級)	(3・4級)	(5・6級)	無回答	
全体	661	22.7	67.6	9.7	150	18.0	28.0	24.7	16.0	6.7	4.0	2.7	150	46.0	40.7	10.7	2.7	
年齢詳細	17歳以下	4	-	75.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	18~29歳	26	19.2	80.8	-	5	40.0	20.0	40.0	-	-	-	-	5	60.0	40.0	-	-
	30歳代	57	14.0	73.7	12.3	8	12.5	25.0	37.5	25.0	-	-	-	8	37.5	62.5	-	-
	40歳代	89	15.7	79.8	4.5	14	7.1	21.4	28.6	21.4	7.1	14.3	-	14	28.5	50.0	21.4	-
	50歳代	103	20.4	76.7	2.9	21	28.6	38.1	14.3	4.8	9.5	4.8	-	21	66.7	19.1	14.3	-
	60~64歳	59	30.5	55.9	13.6	18	33.3	16.7	27.8	11.1	5.6	5.6	-	18	50.0	38.9	11.2	-
	65~74歳	158	23.4	67.1	9.5	37	13.5	29.7	18.9	24.3	8.1	2.7	2.7	37	43.2	43.2	10.8	2.7
	75歳以上	154	28.6	55.8	15.6	44	13.6	29.5	29.5	13.6	4.5	2.3	6.8	44	43.1	43.1	6.8	6.8
無回答	11	27.3	54.5	18.2	3	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-	3	33.3	33.3	33.3	-	

【図表10-20 年齢詳細別 主な身体障がいの部位】(%)

	調査数(人)	主な身体障がいの部位																	
		視覚障がい	聴覚障がい	平衡機能障がい	しやく機能障がい	音声、言語、そい	肢(上)	肢(下)	肢(上)	肢(下)	等(体幹)	性(全身)	肢(全身)	呼吸器機能障がい	心臓機能障がい	じん臓機能障がい	は小腸機能障がい	ぼうこう、直腸又	肝臓機能障がい
全体	150	8.7	5.3	1.3	-	3.3	28.7	6.7	12.0	3.3	9.3	2.0	4.7	2.0	5.3	7.3			
年齢詳細	17歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	18~29歳	5	40.0	-	-	-	20.0	20.0	-	-	-	-	20.0	-	-	-			
	30歳代	8	-	-	-	-	37.5	-	12.5	12.5	12.5	-	-	-	25.0	-			
	40歳代	14	7.1	7.1	-	-	7.1	28.6	7.1	-	7.1	-	7.1	21.4	-	25.0	-		
	50歳代	21	9.5	4.8	-	-	-	28.6	14.3	9.5	-	19.0	-	-	9.5	-	4.8		
	60~64歳	18	-	-	-	-	5.6	33.3	-	22.2	5.6	11.1	5.6	-	-	-	16.7		
	65~74歳	37	13.5	-	2.7	-	5.4	29.7	10.8	8.1	2.7	8.1	-	5.4	-	5.4	8.1		
	75歳以上	44	6.8	13.6	2.3	-	-	27.3	2.3	15.9	2.3	9.1	2.3	2.3	2.3	9.1	4.5		
無回答	3	-	-	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	33.3		

	調査数(人)	主な身体障がいの部位(集約)						
		視覚障がい	聴覚、音声、言語、平衡機能障がい	肢不自由	内部障がい	その他	無回答	
全体	150	8.7	6.6	50.7	21.3	5.3	7.3	
年齢詳細	17歳以下	-	-	-	-	-	-	
	18~29歳	5	40.0	-	40.0	20.0	-	
	30歳代	8	-	-	50.0	25.0	25.0	
	40歳代	14	7.1	7.1	42.8	35.6	7.1	
	50歳代	21	9.5	4.8	52.4	28.5	4.8	
	60~64歳	18	-	-	61.1	22.3	16.7	
	65~74歳	37	13.5	2.7	54.0	16.2	5.4	8.1
	75歳以上	44	6.8	15.9	45.5	18.3	9.1	4.5
無回答	3	-	-	66.6	-	-	33.3	

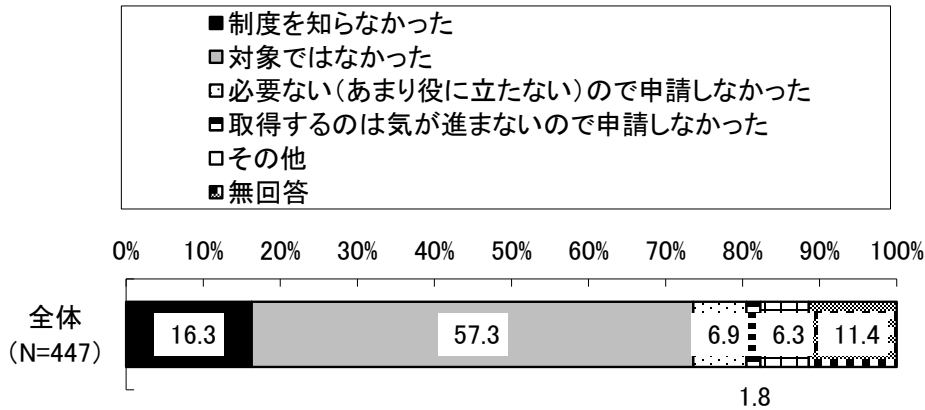
【図表10-21 主な身体障がいの部位と重複する障がい】(%)

	調査数(人)	重複する障がい										
		視覚障がい	聴覚障がい	平衡機能障がい	音声、言語、そしゃく機能障がい	肢体不自由(上肢)	肢体不自由(下肢)	肢体不自由(体幹等)	肢体不自由(全身性)	呼吸器機能障がい	心臓機能障がい	じん臓機能障がい
全体	150	3.3	2.7	5.3	11.3	7.3	12.0	5.3	2.7	0.7	1.3	2.0
主な身体障がいの部位	視覚障がい	13	7.7	-	7.7	-	-	7.7	-	-	-	-
	聴覚障がい	8	-	-	25.0	-	-	12.5	-	-	12.5	-
	平衡機能障がい	2	50.0	-	-	100.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-
	音声、言語、そしゃく機能障がい	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	肢体不自由(上肢)	5	20.0	20.0	-	-	40.0	20.0	-	-	-	20.0
	肢体不自由(下肢)	43	-	-	2.3	9.3	9.3	7.0	2.3	-	-	2.3
	肢体不自由(体幹等)	10	-	-	10.0	20.0	20.0	50.0	-	-	-	-
	肢体不自由(全身性)	18	5.6	5.6	16.7	38.9	16.7	22.2	5.6	-	5.6	-
	呼吸器機能障がい	5	-	-	-	-	20.0	20.0	20.0	20.0	-	-
	心臓機能障がい	14	-	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	じん臓機能障がい	3	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	33.3
	ぼうこう、直腸又は小腸機能障がい	7	-	-	-	-	-	14.3	-	14.3	-	-
	肝臓機能障がい	3	33.3	-	-	-	-	66.7	-	-	-	-
その他	8	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	
無回答	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

	調査数(人)	重複する障がい									
		ぼうこう、直腸又は小腸機能障がい	肝臓機能障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次脳機能障がい	難病	その他	主な障がい以外はない	無回答
全体	150	0.7	0.7	0.7	3.3	2.7	5.3	11.3	7.3	12.0	5.3
主な身体障がいの部位	視覚障がい	13	-	-	-	7.7	-	7.7	-	-	7.7
	聴覚障がい	8	-	-	-	-	-	25.0	-	-	12.5
	平衡機能障がい	2	-	-	-	50.0	-	-	100.0	50.0	50.0
	音声、言語、そしゃく機能障がい	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	肢体不自由(上肢)	5	-	-	-	20.0	20.0	-	-	-	40.0
	肢体不自由(下肢)	43	-	2.3	-	-	-	2.3	9.3	9.3	7.0
	肢体不自由(体幹等)	10	-	-	10.0	-	-	10.0	20.0	20.0	50.0
	肢体不自由(全身性)	18	5.6	-	-	5.6	5.6	16.7	38.9	16.7	22.2
	呼吸器機能障がい	5	-	-	-	-	-	-	-	20.0	20.0
	心臓機能障がい	14	-	-	-	-	14.3	-	-	-	-
	じん臓機能障がい	3	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3
	ぼうこう、直腸又は小腸機能障がい	7	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3
	肝臓機能障がい	3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	66.7
その他	8	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	
無回答	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

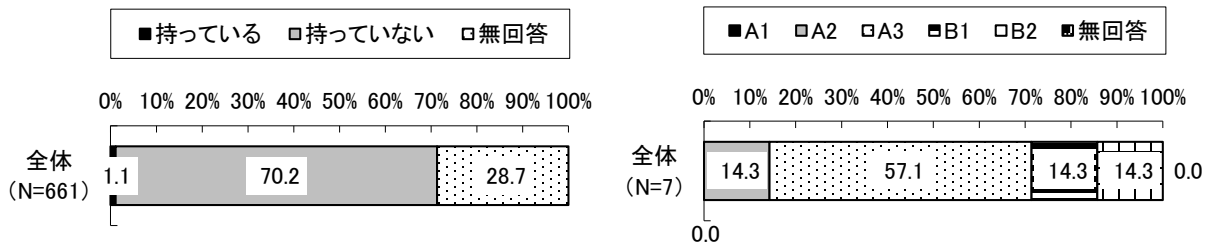
(9) 身体障害者手帳を持っていない理由

【図表10-22 身体障害者手帳を持っていない理由】



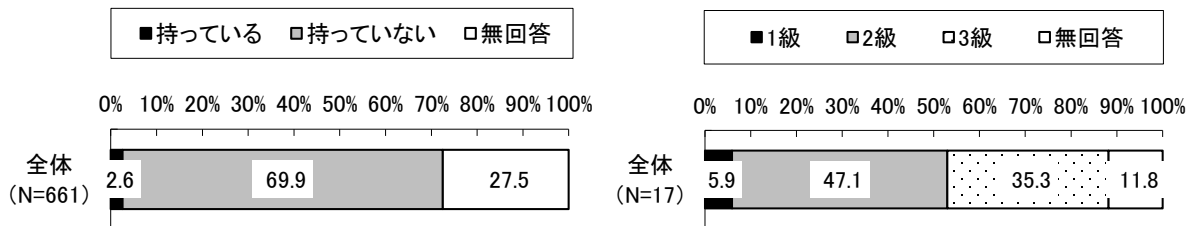
(10) 知的障がいの状況 (療育手帳の有無・判定)

【図表10-23 療育手帳の有無・判定】



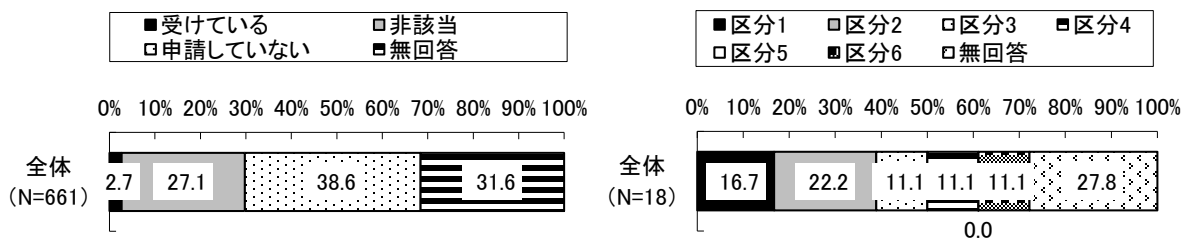
(11) 精神障がいの状況 (精神障害者保健福祉手帳の有無・等級)

【図表10-24 精神障害者保健福祉手帳の有無・等級】



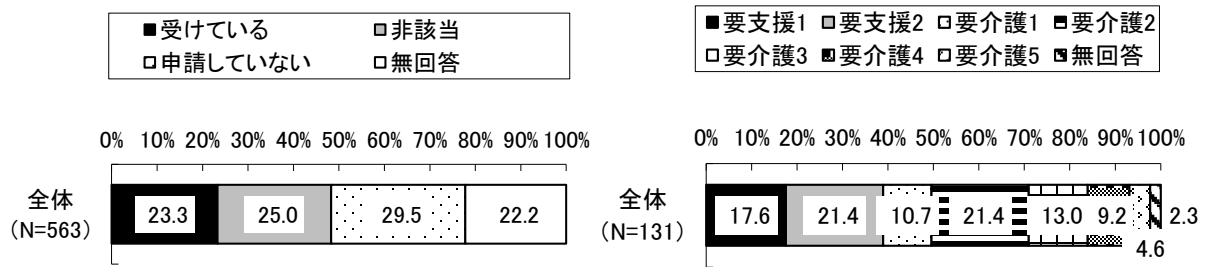
(12) 障がい支援区分の認定状況、判定

【図表10-25 障がい支援区分の認定状況、判定】



(13) 要介護認定の認定状況、判定 (40歳以上)

【図表10-26 要介護認定の認定状況、判定】

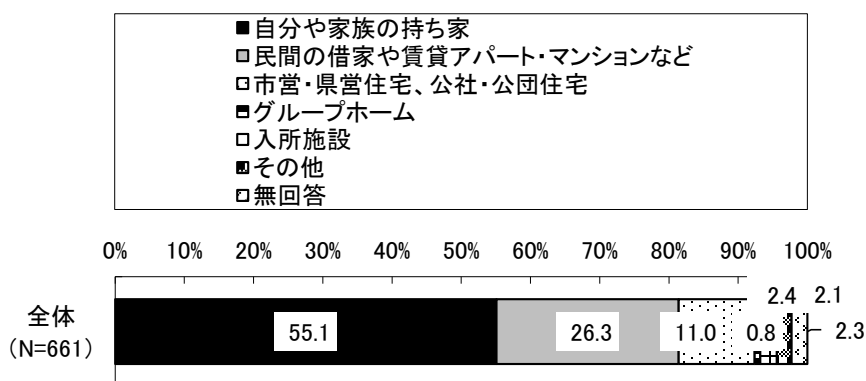


3. 生活状況について

- ・世帯状況を年齢詳細別にみると、60歳代以上では「夫婦のみ」の割合が高く、特に65～74歳は48.1%に達している。また30～50歳代までは「二世帯同居（子と本人）」の割合が比較的高く、特に40歳代で42.7%と目立っている。【図表10-30】
- ・主な介助者を年齢詳細別にみると、50歳代までは、「世話をしてもらわない必要がない」が6割を超えている。また、65歳以上では、それ以下の年齢層に比べ「配偶者」の割合が3割台とやや高くなっている。【図表10-33】
- ・障がい者本人の年齢詳細別に主な介助者の年齢をみると、50歳代以上では本人の年齢と介助者の年齢が同年代である割合が高く、75歳以上では過半数（52.4%）を占めている。【図表10-34】

(1) 住まいの形態

【図表10-27 住まいの形態】

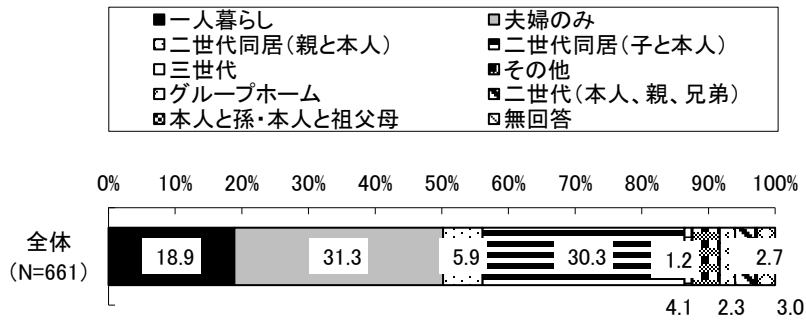


【図表10-28 年齢詳細別 住まいの形態】 (%)

	調査数 (人)	住まいの形態							
		自分や家族の持ち家	民間の借家や賃貸アパート・マンションなど	市営・県営住宅、公社・公団住宅	グループホーム	入所施設	その他	無回答	
全体	661	55.1	26.3	11.0	0.8	2.4	2.1	2.3	
年齢詳細	17歳以下	4	100.0	-	-	-	-	-	-
	18～29歳	26	19.2	76.9	-	-	-	-	3.8
	30歳代	57	45.6	45.6	1.8	-	-	1.8	5.3
	40歳代	89	48.3	41.6	9.0	-	-	-	1.1
	50歳代	103	49.5	35.0	14.6	-	1.0	-	-
	60～64歳	59	54.2	25.4	13.6	-	-	1.7	5.1
	65～74歳	158	63.3	13.3	16.5	-	2.5	4.4	-
	75歳以上	154	62.3	11.0	9.1	3.2	7.1	2.6	4.5
	無回答	11	63.6	18.2	9.1	-	-	9.1	-

(2) 同居家族の状況

【図表10-29 世帯状況】

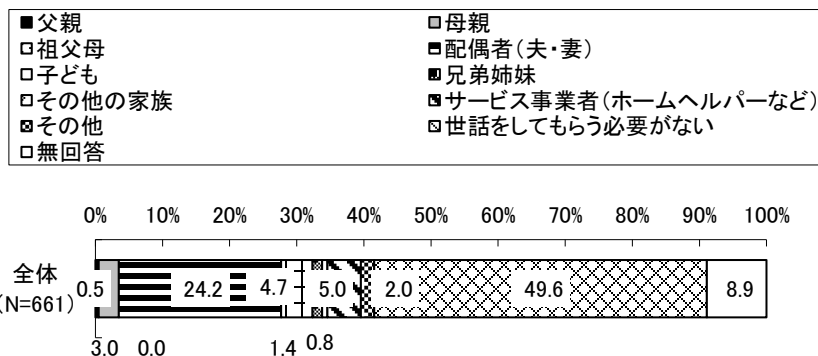


【図表10-30 年齢詳細別 世帯状況】 (%)

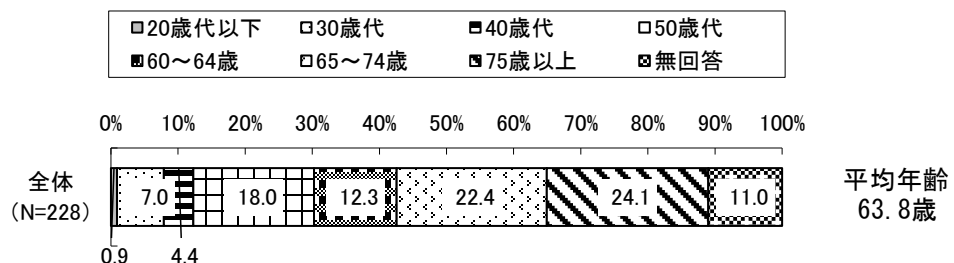
	調査数 (人)	世帯状況										
		一人暮らし	夫婦のみ	(二世帯同居(親と本人))	(二世帯同居(子と本人))	(二世帯同居(本人、親、兄弟))	三世帯	本人と祖孫・父母	その他	入所施設	グループホーム	無回答
全体	661	18.9	31.3	5.9	30.3	3.0	1.2	0.3	4.1	2.3	2.7	
年齢詳細	17歳以下	4	-	-	25.0	-	75.0	-	-	-	-	
	18~29歳	26	46.2	3.8	15.4	3.8	19.2	3.8	-	3.8	-	3.8
	30歳代	57	12.3	14.0	22.8	31.6	5.3	1.8	-	7.0	1.8	3.5
	40歳代	89	24.7	9.0	11.2	42.7	6.7	3.4	-	1.1	-	1.1
	50歳代	103	17.5	27.2	8.7	35.9	2.9	1.9	-	3.9	1.0	1.0
	60~64歳	59	18.6	37.3	3.4	30.5	-	-	1.7	3.4	-	5.1
	65~74歳	158	13.9	48.1	-	29.1	-	-	-	5.7	1.9	1.3
	75歳以上	154	19.5	39.0	-	26.0	-	0.6	0.6	3.2	6.5	4.5
無回答	11	27.3	36.4	-	18.2	-	-	-	9.1	-	9.1	

(3) 主な介助者の状況

【図表10-31 主な介助者】



【図表10-32 主な介助者(サービス事業者、その他以外)の年齢】



【図表10-33 年齢詳細別 主な介助者】(%)

	調査数(人)	主な介助者												
		父親	母親	祖父母	配偶者(夫・妻)	子ども	兄弟姉妹	その他の家族	など(ホームヘルパー)	サービス事業者	その他	必要がない	世話をしてもらおう	無回答
全体	661	0.5	3.0	-	24.2	4.7	1.4	0.8	5.0	2.0	49.6	8.9		
年齢詳細	17歳以下	4	-	25.0	-	-	-	-	-	-	75.0	-		
	18~29歳	26	-	11.5	-	7.7	-	-	3.8	-	69.2	7.7		
	30歳代	57	1.8	10.5	-	5.3	-	1.8	3.5	1.8	66.7	8.8		
	40歳代	89	-	7.9	-	7.9	2.2	2.2	-	-	75.3	4.5		
	50歳代	103	1.0	2.9	-	19.4	1.9	1.0	-	1.0	65.0	6.8		
	60~64歳	59	-	-	-	23.7	3.4	1.7	1.7	5.1	1.7	55.9	6.8	
	65~74歳	158	0.6	-	-	32.9	3.8	0.6	1.3	3.8	1.9	41.1	13.9	
	75歳以上	154	-	-	-	39.6	11.7	2.6	0.6	13.0	3.9	20.8	7.8	
	無回答	11	-	-	-	9.1	9.1	-	-	-	9.1	45.5	27.3	

【図表10-34 年齢詳細別 主な介助者(サービス事業者、その他以外)の年齢】(%)

	調査数(人)	主な介助者(サービス事業者、その他以外)の年齢								
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	65歳代	75歳以上	無回答	
全体	228	0.9	7.0	4.4	18.0	12.3	22.4	24.1	11.0	
年齢詳細	17歳以下	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	18~29歳	5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	-	-
	30歳代	11	-	45.5	-	9.1	45.5	-	-	-
	40歳代	18	-	22.2	16.7	-	-	16.7	22.2	22.2
	50歳代	27	3.7	7.4	3.7	51.9	14.8	-	11.1	7.4
	60~64歳	18	-	5.6	5.6	27.8	33.3	22.2	-	5.6
	65~74歳	62	-	3.2	3.2	9.7	14.5	46.8	6.5	16.1
	75歳以上	84	-	-	2.4	15.5	3.6	16.7	52.4	9.5
	無回答	2	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-

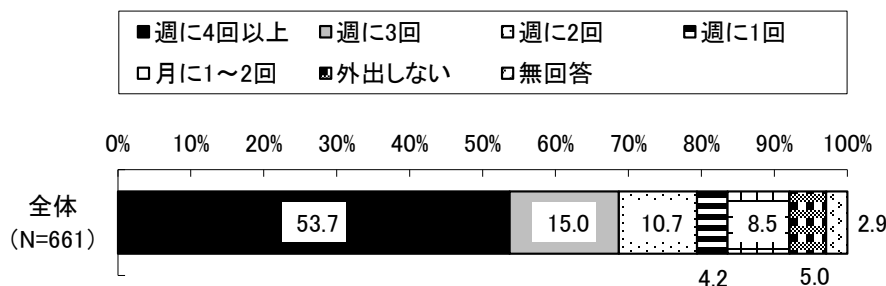
4. 日中の過ごし方や外出の状況などについて

- 外出の頻度は、「週に4回以上」が53.7%と半数を超えている。年齢詳細別にみると、年代が若くなるほど「週に4回以上」の高頻度の割合が高くなる傾向がみられる。【図表10-35】
- 外出時に不便や困難を感じることは、「歩道に段差が多い」(29.7%)が最も高く、次いで「歩行者や走行自転車のマナーの悪さ」(25.4%)、「歩道がない道路に危険を感じる」(21.8%)となっている。一方、「特にない」(30.6%)が3割程度みられる。【図表10-41】
- 利用しているコミュニケーション支援は、「何も利用していない」(71.4%)が7割を超えている。利用しているものとしては、「パソコンやスマートフォン・携帯電話の利用」(14.2%)、「継続して関わることにより意思を理解してくれる人による支援」(5.1%)が比較的高くなっている。【図表10-43】
- コミュニケーション（意思疎通）する上で困っていることがある人（117人）に困っていることをたずねたところ、「声や言葉がでにくいため、自分の思いが伝わりづらい」(46.2%)が最も高く、次いで「相手の話が聞き取りづらい」(37.6%)となっている。【図表10-46】

(1) 外出の頻度

問15 あなたは、通勤や通学、通所、買い物、通院、レジャーなどの外出を1ヶ月にどのくらいしていますか。付き添い者と一緒に外出する場合も含めてお答えください。
(○は1つだけ)

【図表10-35 外出の頻度】



【図表10-36 年齢詳細別 外出の頻度】 (%)

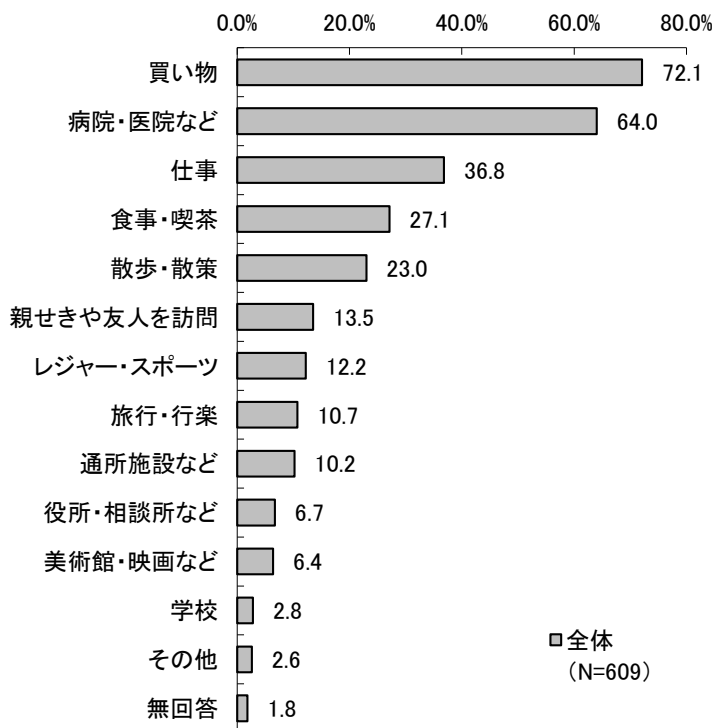
	調査数 (人)	外出頻度							
		週に4回以上	週に3回	週に2回	週に1回	月に1~2回	外出しない	無回答	
全体	661	53.7	15.0	10.7	4.2	8.5	5.0	2.9	
年齢詳細	17歳以下	4	100.0	-	-	-	-	-	-
	18~29歳	26	80.8	7.7	-	3.8	7.7	-	-
	30歳代	57	77.2	8.8	3.5	5.3	1.8	-	3.5
	40歳代	89	75.3	9.0	9.0	2.2	2.2	2.2	-
	50歳代	103	73.8	9.7	7.8	1.9	1.9	1.9	2.9
	60~64歳	59	45.8	20.3	15.3	6.8	8.5	1.7	1.7
	65~74歳	158	45.6	17.1	10.1	6.3	11.4	5.1	4.4
	75歳以上	154	25.3	22.1	16.9	3.9	16.9	11.7	3.2
無回答	11	45.5	9.1	18.2	-	-	18.2	9.1	

(2) 主な外出先

[問15で「1」～「5」を選ばれた方におたずねします]

問15-1 どのようなところに外出することが多いですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表10-37 主な外出先】



【図表10-38 年齢2区分別 主な外出先】 (%)

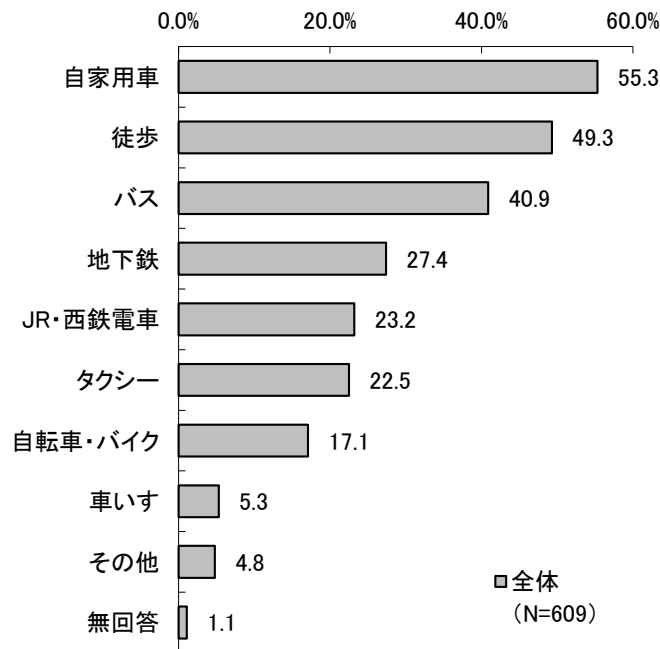
	調査数 (人)	主な外出先														
		買い物	病院・医院など	仕事	食事・喫茶	散歩・散策	親せきや友人を訪問	レジャー・スポーツ	旅行・行楽	通所施設など	役所・相談所など	美術館・映画など	学校	その他	無回答	
全体	609	72.1	64.0	36.8	27.1	23.0	13.5	12.2	10.7	10.2	6.7	6.4	2.8	2.6	1.8	
年齢区分2	64歳以下	327	82.3	55.4	58.7	33.9	20.8	16.2	15.3	14.7	3.4	7.0	9.8	4.9	2.4	0.9
	65歳以上	274	59.9	74.1	11.3	19.0	25.5	10.6	8.8	6.2	17.9	6.6	2.6	0.4	2.9	2.9
	無回答	8	75.0	75.0	12.5	25.0	25.0	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-

(3) 外出時の移動手段

[問15で「1」～「5」を選ばれた方におたずねします]

問15-2 どのような方法で、あるいはどのような移動手段を使って外出しますか。
(○はあてはまるものすべて)

【図表10-39 外出時の移動手段】



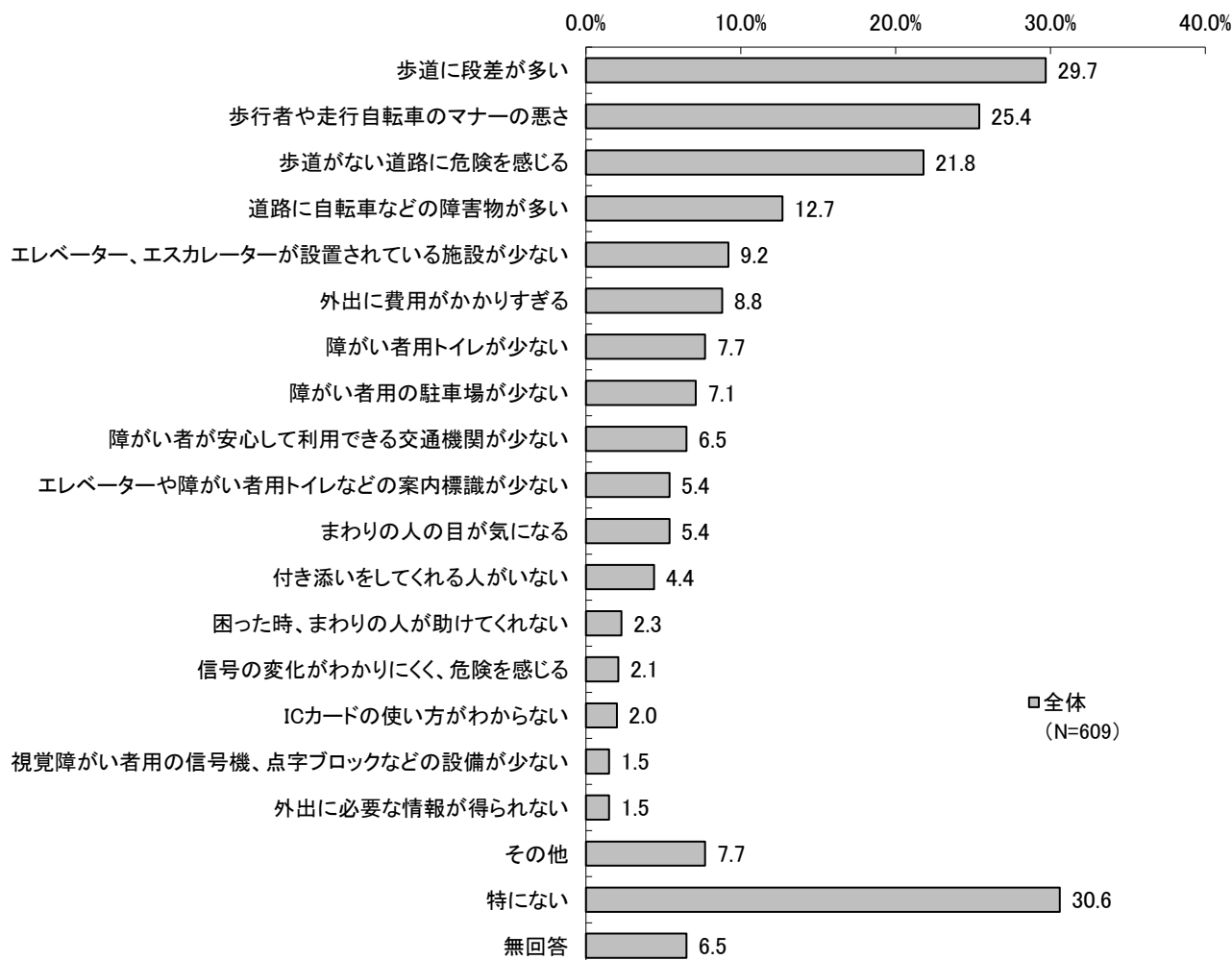
【図表10-40 年齢詳細別 外出時の移動手段】 (%)

	調査数 (人)	外出時の移動手段										
		自家用車	徒歩	バス	地下鉄	JR・西鉄電車	タクシー	自転車・バイク	車いす	その他	無回答	
全体	609	55.3	49.3	40.9	27.4	23.2	22.5	17.1	5.3	4.8	1.1	
年齢詳細	17歳以下	4	75.0	75.0	100.0	25.0	50.0	-	50.0	-	-	-
	18～29歳	26	34.6	65.4	53.8	61.5	46.2	23.1	50.0	3.8	-	-
	30歳代	55	54.5	54.5	41.8	38.2	34.5	16.4	29.1	-	-	-
	40歳代	87	66.7	57.5	48.3	33.3	31.0	13.8	26.4	1.1	2.3	1.1
	50歳代	98	61.2	58.2	43.9	31.6	25.5	15.3	17.3	2.0	2.0	1.0
	60～64歳	57	56.1	47.4	35.1	31.6	19.3	22.8	14.0	5.3	7.0	-
	65～74歳	143	62.9	45.5	39.2	18.2	17.5	16.1	11.9	7.0	4.2	2.8
	75歳以上	131	38.9	35.9	32.8	18.3	15.3	45.0	5.3	11.5	11.5	0.8
	無回答	8	50.0	50.0	50.0	12.5	-	-	12.5	-	-	-

(4) 外出時に不便や困難を感じること

問16 あなたは、外出する時、どのようなことに不便や困難を感じますか。(○は5つまで)

【図表10-41 外出時に不便や困難を感じること】



【図表10-42 年齢詳細別 外出時に不便や困難を感じること】(%)

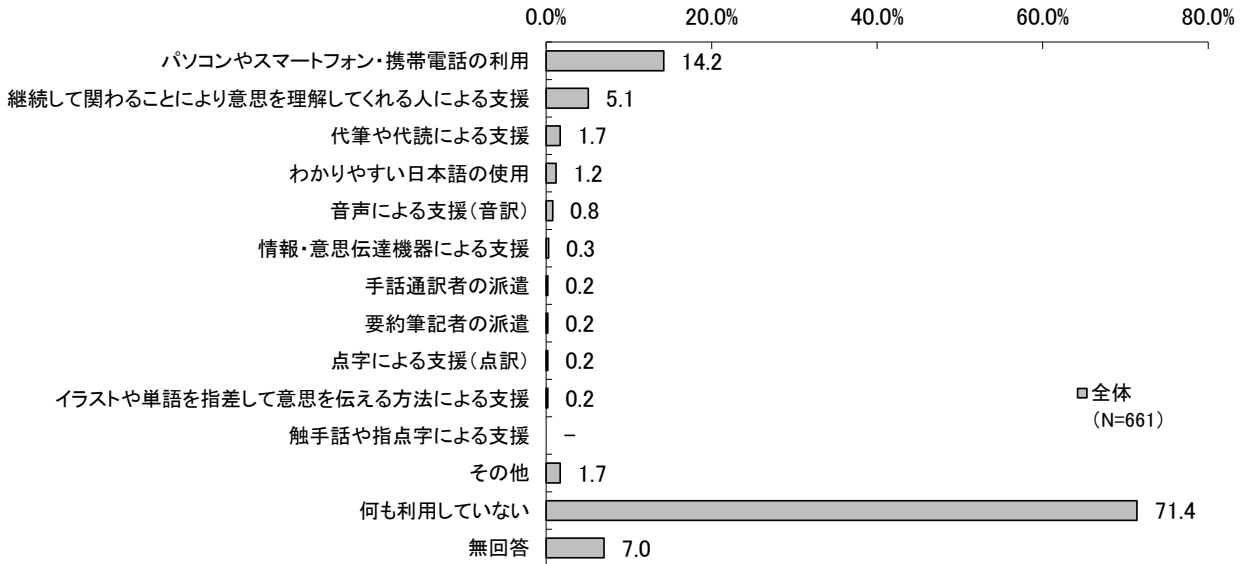
	調査数(人)	外出時に不便や困難を感じること										
		歩道に段差が多い	歩行者や走行自転車のマナーの悪さ	歩道がない道路に危険を感じる	道路に自転車などの障害物が多い	エレベーター、エスカレーターが設置されていない	外出に費用がかかりすぎる	障がい者用トイレが少ない	障がい者用の駐車場が少ない	障がい者が安心して利用できない	エレベーターや障がい者用トイレなどの案内標識が少	
全体	661	29.7	25.4	21.8	12.7	9.2	8.8	7.7	7.1	6.5	5.4	
年齢詳細	17歳以下	4	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	
	18～29歳	26	15.4	23.1	11.5	11.5	3.8	3.8	-	11.5	7.7	-
	30歳代	57	21.1	28.1	21.1	14.0	7.0	5.3	5.3	5.3	7.0	7.0
	40歳代	89	20.2	28.1	16.9	10.1	14.6	7.9	10.1	4.5	6.7	6.7
	50歳代	103	28.2	20.4	23.3	7.8	5.8	7.8	3.9	7.8	5.8	1.0
	60～64歳	59	30.5	22.0	23.7	10.2	6.8	11.9	5.1	5.1	3.4	1.7
	65～74歳	158	30.4	28.5	20.9	12.0	10.1	8.2	10.1	5.7	6.3	6.3
	75歳以上	154	42.2	26.0	26.6	20.1	11.0	12.3	9.1	10.4	8.4	8.4
	無回答	11	18.2	9.1	9.1	-	-	-	18.2	9.1	-	9.1

	調査数(人)	外出時に不便や困難を感じること										
		まわりの人の目が気になる	付き添いをしてくれる人がいない	困った時、まわりの人が助けてくれない	信号、危険の変化がわかりにくい	ICカードの使い方がわからない	点字ブロックなどの設備が、少ない	視覚障がい者用の信号機、	外に出るに必要な情報が得られない	その他	特にな	無回答
全体	661	5.4	4.4	2.3	2.1	2.0	1.5	1.5	7.7	30.6	6.5	
年齢詳細	17歳以下	4	-	-	-	-	-	-	-	75.0	-	
	18～29歳	26	15.4	3.8	-	-	-	3.8	-	19.2	50.0	-
	30歳代	57	8.8	1.8	5.3	-	-	-	-	10.5	40.4	7.0
	40歳代	89	4.5	1.1	3.4	4.5	1.1	2.2	1.1	14.6	34.8	1.1
	50歳代	103	7.8	2.9	2.9	1.9	-	1.0	1.0	7.8	43.7	1.9
	60～64歳	59	5.1	8.5	3.4	1.7	1.7	3.4	-	1.7	37.3	5.1
	65～74歳	158	4.4	5.1	2.5	1.9	1.3	1.3	1.9	4.4	25.9	8.2
	75歳以上	154	3.2	5.8	-	2.6	5.8	1.3	3.2	7.1	13.6	10.4
	無回答	11	-	9.1	-	-	-	-	-	-	27.3	36.4

(5) 利用しているコミュニケーション支援

問17 あなたは、普段、どのようなコミュニケーション（意思疎通）の支援を利用していますか。（○はあてはまるものすべて）

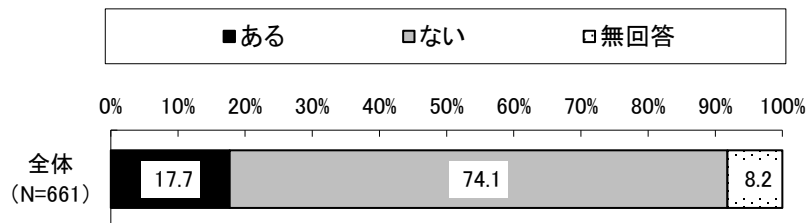
【図表10-43 利用しているコミュニケーション支援】



(6) コミュニケーションで困っていることの有無

問18 あなたは、コミュニケーション（意思疎通）する上で、困っていることがありますか。（○は1つだけ）

【図表10-44 コミュニケーションで困っていることの有無】



【図表10-45 年齢詳細別 コミュニケーションで困っていることの有無】 (%)

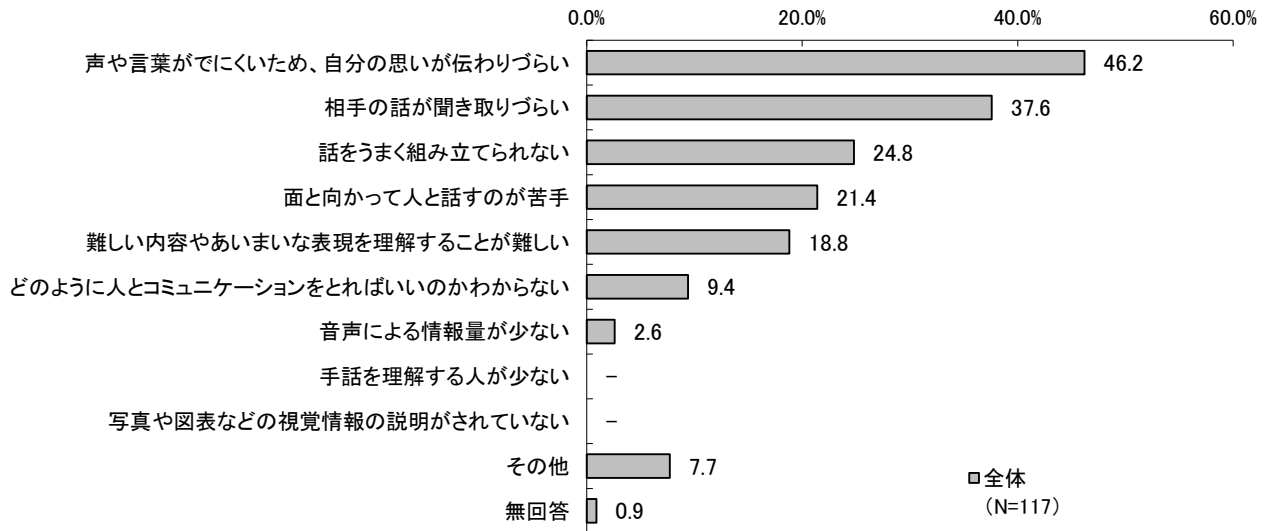
	調査数 (人)	コミュニケーションで困っていることの有無			
		ある	ない	無回答	
全体	661	17.7	74.1	8.2	
年齢詳細	17歳以下	4	-	100.0	-
	18～29歳	26	7.7	92.3	-
	30歳代	57	22.8	77.2	-
	40歳代	89	7.9	88.8	3.4
	50歳代	103	7.8	86.4	5.8
	60～64歳	59	16.9	78.0	5.1
	65～74歳	158	12.0	77.8	10.1
	75歳以上	154	35.7	49.4	14.9
	無回答	11	27.3	45.5	27.3

(7) コミュニケーションで困っていること

[問18で「1」を選ばれた方におたずねします]

問18-1 どのようなことで困っていますか。(○はあてはまるものすべて)

【図表10-46 コミュニケーションで困っていること】

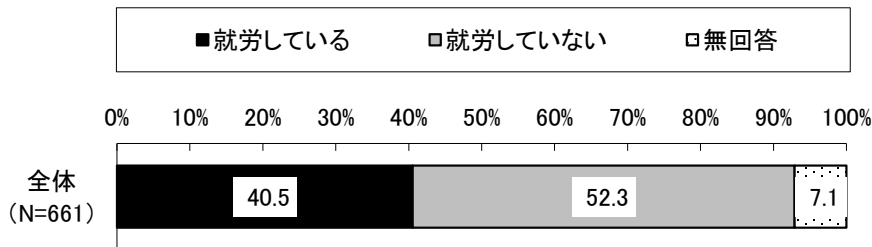


5. 就労の状況について

- ・回答者の4割（40.5%）が就労している。年齢詳細別にみると、30～50歳代ではいずれも7割前後の就労率となっている。【図表10-49】
- ・今後、働きたい（働き続けたい）と考えている人は、回答者全体の過半数（51.7%）を占めている。年齢詳細別にみると、64歳以下では就労意向が高く、今後働きたい（働き続けたい）と考えている人が過半数を占めており、特に50歳代以下では、その割合が8割を超えている。【図表10-54、図表10-55】
- ・難病患者の就労に対する社会の理解度について、「あまりあると思わない」（19.7%）と「あると思わない」（10.4%）をあわせた『理解があると思わない』人（30.3%）が3割に達している。理解があると思わない理由をたずねたところ、「難病患者の働く場（雇用機会）が少ないため」（56.8%）が最も高く、次いで、「雇用・労働条件の整備が進んでいないため」（54.3%）、「難病患者の雇用に関する制度が不十分なため」（51.3%）の順となっている。年齢詳細別にみると、65～74歳では「難病患者の働く場（雇用機会）が少ないため」（68.3%）、「職場環境のバリアフリー化が進んでいないため」（36.6%）、「通勤経路のバリアフリー化が進んでいないため」（34.1%）の割合が他の年代に比べて高い。【図表10-56、図表10-59】
- ・難病患者の就労支援として必要なことは「調子の悪いときに休みを取りやすくする」（54.0%）が半数を超えて最も高く、次いで「短時間勤務などの労働（作業）時間の配慮」（41.3%）、「在宅勤務」（39.8%）、「通院時間の確保・服薬管理など医療上の配慮」（34.5%）の順となっている。年齢詳細別にみると、18～29歳と30歳代では多くの項目で他の年齢層に比べ割合が高くなっている。【図表10-60、図表10-61】

(1) 就労の有無、就労形態

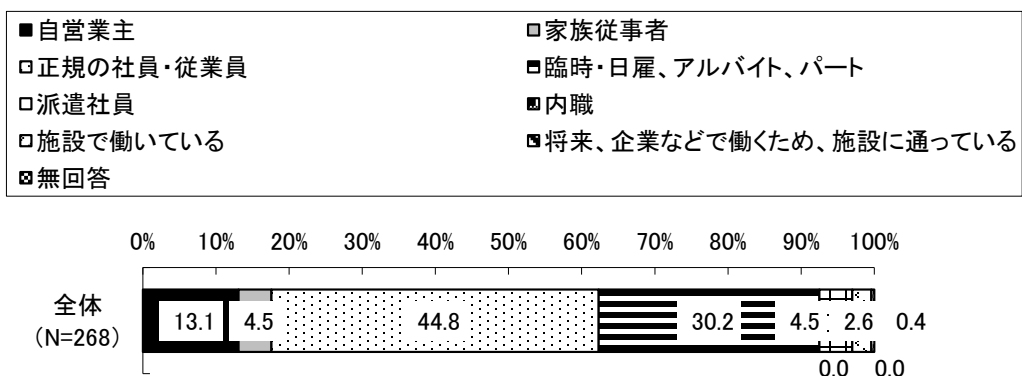
【図表10-47 就労の有無】



[現在就労している方のみお答えください]

問19 あなたの就労形態は何ですか。(○は1つだけ)

【図表10-48 就労形態】



【図表10-49 年齢詳細別 就労の有無、就労形態】(%)

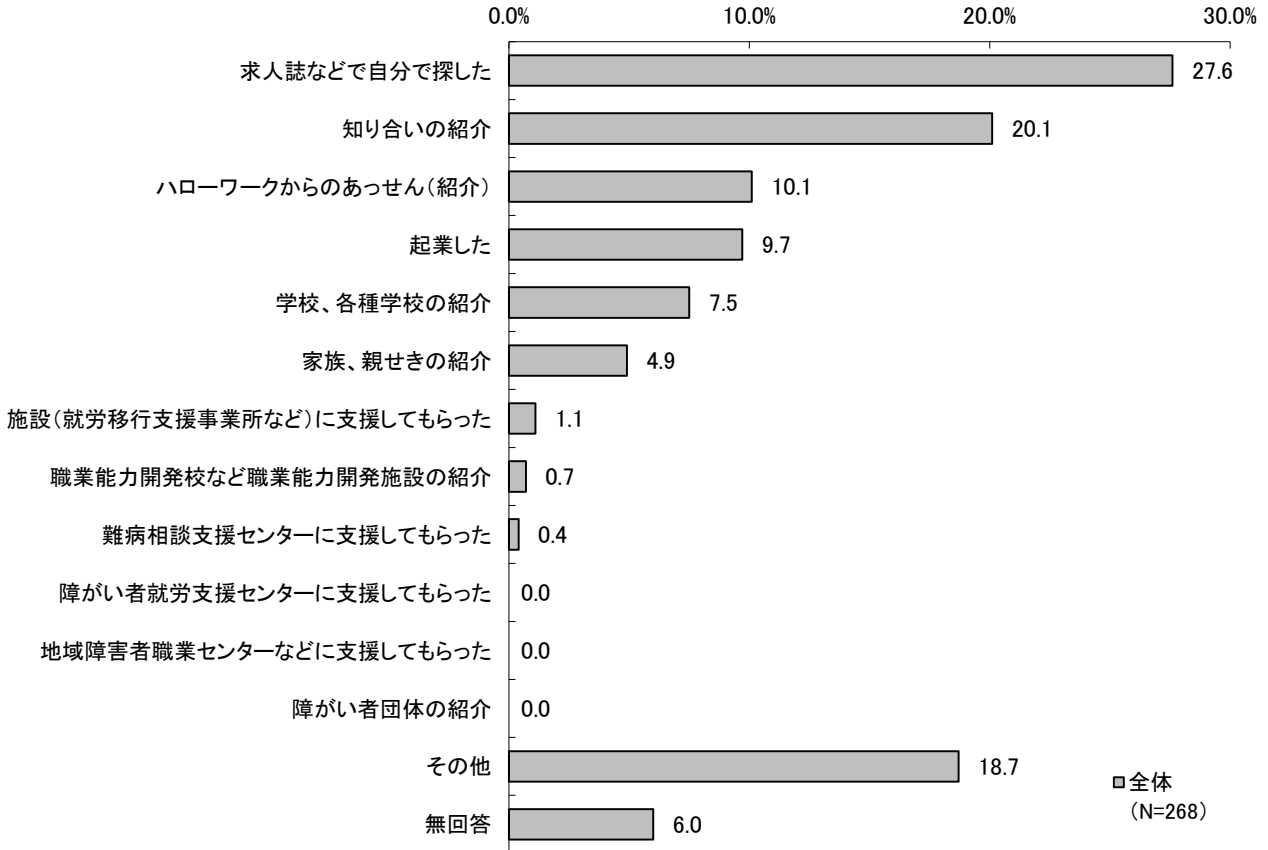
	調査数(人)	就労の有無			調査数(人)	就労形態								
		就労している	就労していない	無回答		自営業主	家族従事者	正規の社員・従業員	臨時・パート	派遣社員	内職	施設で働いている	将来、施設に通って働く	無回答
全体	661	40.5	52.3	7.1	268	13.1	4.5	44.8	30.2	4.5	-	2.6	-	0.4
年齢詳細	17歳以下	4	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	18～29歳	26	57.7	30.7	11.5	15	-	-	60.0	40.0	-	-	-	-
	30歳代	57	78.9	21.1	-	45	11.1	2.2	51.1	20.0	4.4	-	11.1	-
	40歳代	89	75.3	22.4	2.2	67	6.0	4.5	55.2	26.9	7.5	-	-	-
	50歳代	103	68.9	29.1	1.9	71	15.5	2.8	39.4	33.8	5.6	-	2.8	-
	60～64歳	59	37.3	61.0	1.7	22	4.5	-	59.1	36.4	-	-	-	-
	65～74歳	158	25.3	68.4	6.3	40	27.5	7.5	25.0	37.5	2.5	-	-	-
	75歳以上	154	4.5	79.2	16.2	7	42.9	42.9	-	-	-	-	-	14.3
無回答	11	9.1	54.6	36.4	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	

(2) 仕事を探した方法

[現在就労している方のみお答えください]

問20 どのような方法で仕事を探しましたか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表10-50 仕事を探した方法】



【図表10-51 年齢詳細別 仕事を探した方法】 (%)

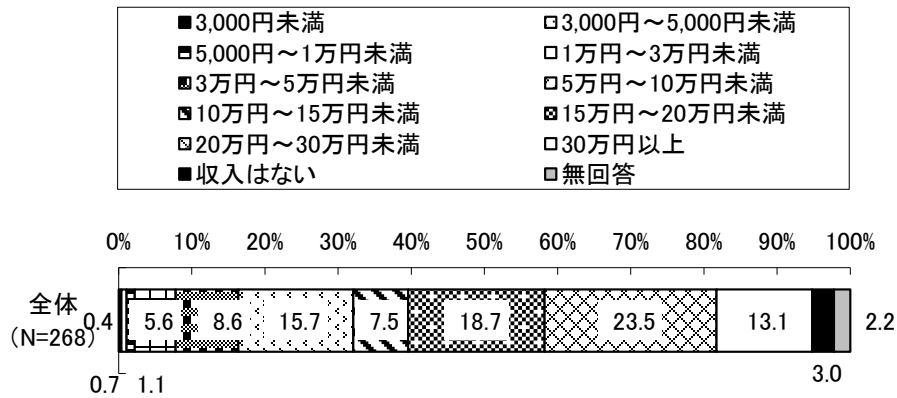
	調査数(人)	仕事を探した方法													
		求人誌などで自分で探した	知り合いの紹介	ハローワークからのあっせん(紹介)	起業した	学校、各種学校の紹介	家族、親せきの紹介	施設(就労移行支援事業所)に支援してもらった	職業能力開発校など職業能力開発施設の紹介	難病相談支援センターに支援してもらった	障がい者就労支援センターに支援してもらった	地域障害者職業センターなどに支援してもらった	障がい者団体の紹介	その他	無回答
全体	268	27.6	20.1	10.1	9.7	7.5	4.9	1.1	0.7	0.4	-	-	-	18.7	6.0
年齢詳細	17歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	18~29歳	15	40.0	40.0	13.3	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-
	30歳代	45	31.1	8.9	6.7	4.4	6.7	13.3	2.2	-	-	-	-	24.4	6.7
	40歳代	67	37.3	25.4	9.0	4.5	10.4	3.0	3.0	3.0	1.5	-	-	16.4	3.0
	50歳代	71	31.0	14.1	15.5	12.7	11.3	1.4	-	-	-	-	-	15.5	1.4
	60~64歳	22	9.1	22.7	13.6	4.5	4.5	13.6	-	-	-	-	-	22.7	13.6
	65~74歳	40	12.5	27.5	5.0	20.0	2.5	2.5	-	-	-	-	-	20.0	10.0
	75歳以上	7	-	14.3	-	42.9	-	-	-	-	-	-	-	-	42.9
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-

(3) 月収

[現在就労している方のみお答えください]

問2-1 あなたの、ふだんの月収(手取り額)はどのくらいですか。賞与などの臨時的に支給されるものは除きます。(〇は1つだけ)

【図表10-52 月収】

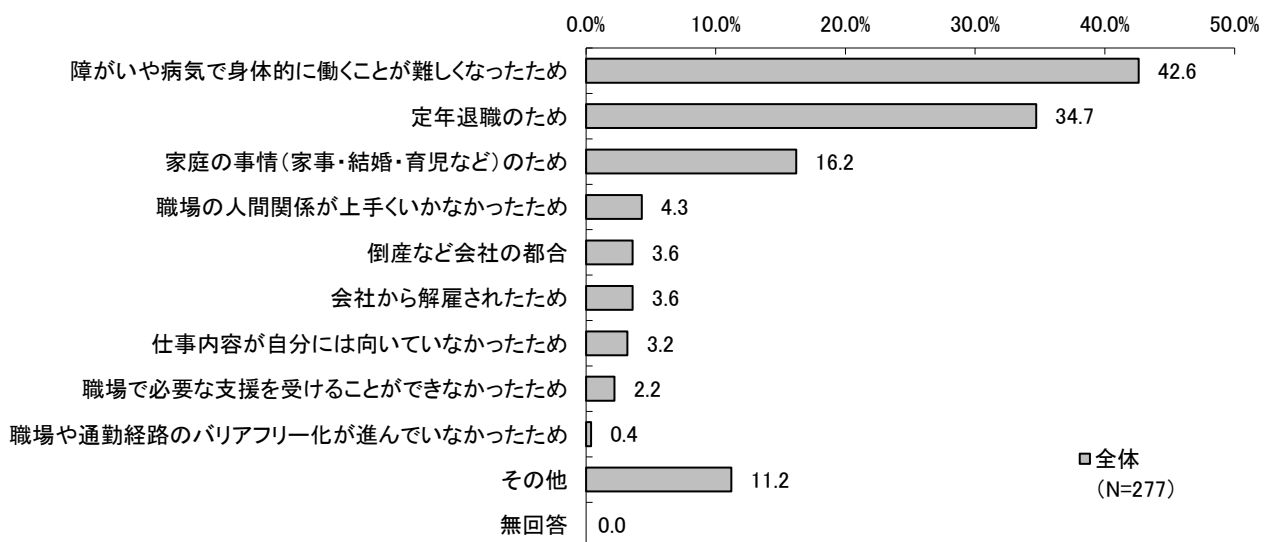


(4) 仕事をやめた原因

[以前働いていたが仕事をやめた方のみお答えください]

問2-2 仕事をやめた原因は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

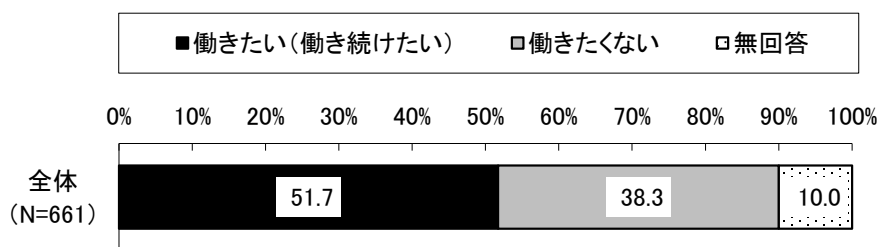
【図表10-53 仕事をやめた原因】



(5) 就労意向

問23 あなたは、今後、働きたい（働き続けたい）ですか。（○は1つだけ）

【図表10-54 就労意向】



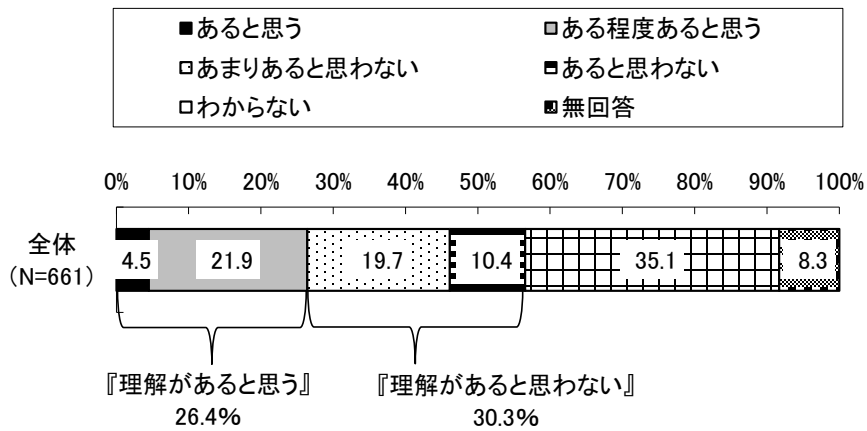
【図表10-55 年齢詳細別 就労意向】 (%)

	調査数 (人)	就労意向			
		働きたい (働き続 けたい)	働きた くない	無回 答	
全体	661	51.7	38.3	10.0	
年齢詳細	17歳以下	4	100.0	-	-
	18～29歳	26	84.6	3.8	11.5
	30歳代	57	94.7	5.3	-
	40歳代	89	89.9	9.0	1.1
	50歳代	103	81.6	15.5	2.9
	60～64歳	59	59.3	35.6	5.1
	65～74歳	158	31.0	57.6	11.4
	75歳以上	154	8.4	68.8	22.7
	無回答	11	9.1	63.6	27.3

(6) 難病患者の就労に対する社会の理解度

問24 難病患者が働くことについて社会の理解があると思いますか。(○は1つだけ)

【図表10-56 難病患者の就労に対する社会の理解度】



【図表10-57 年齢詳細別 難病患者の就労に対する社会の理解度】(%)

	調査数 (人)	難病患者の就労に対する社会の理解度						
		あると思う	ある程度あると思う	あまりあると思わない	あると思わない	わからない	無回答	
全体	661	4.5	21.9	19.7	10.4	35.1	8.3	
年齢詳細	17歳以下	4	25.0	-	25.0	-	50.0	-
	18～29歳	26	3.8	23.1	19.2	19.2	30.8	3.8
	30歳代	57	5.3	29.8	33.3	14.0	17.5	-
	40歳代	89	5.6	20.2	27.0	20.2	24.7	2.2
	50歳代	103	7.8	31.1	22.3	8.7	28.2	1.9
	60～64歳	59	3.4	27.1	15.3	6.8	45.8	1.7
	65～74歳	158	4.4	21.5	18.4	7.6	40.5	7.6
	75歳以上	154	1.9	14.3	10.4	8.4	42.2	22.7
	無回答	11	-	-	36.4	-	45.5	18.2

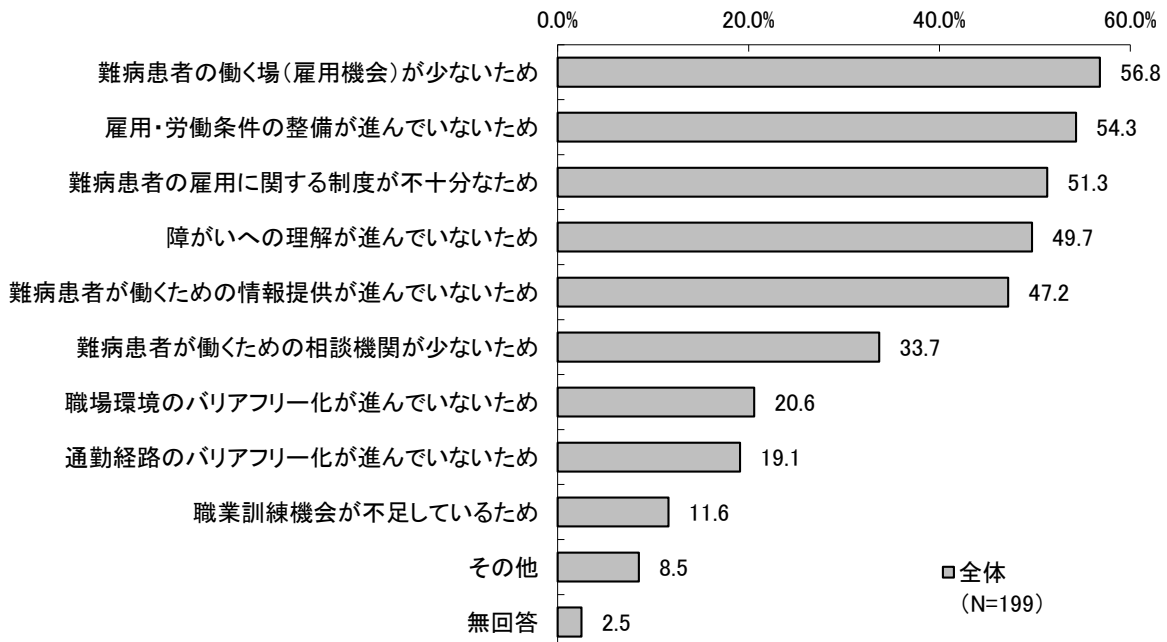
(7) 難病患者の就労に対して社会の理解があると思わない理由

[問24で「3」「4」を選ばれた方におたずねします]

問24-1 難病患者が働くことについて社会の理解があると思わない理由は何ですか。

(○はあてはまるものすべて)

【図表10-58 難病患者の就労に対して社会の理解があると思わない理由】



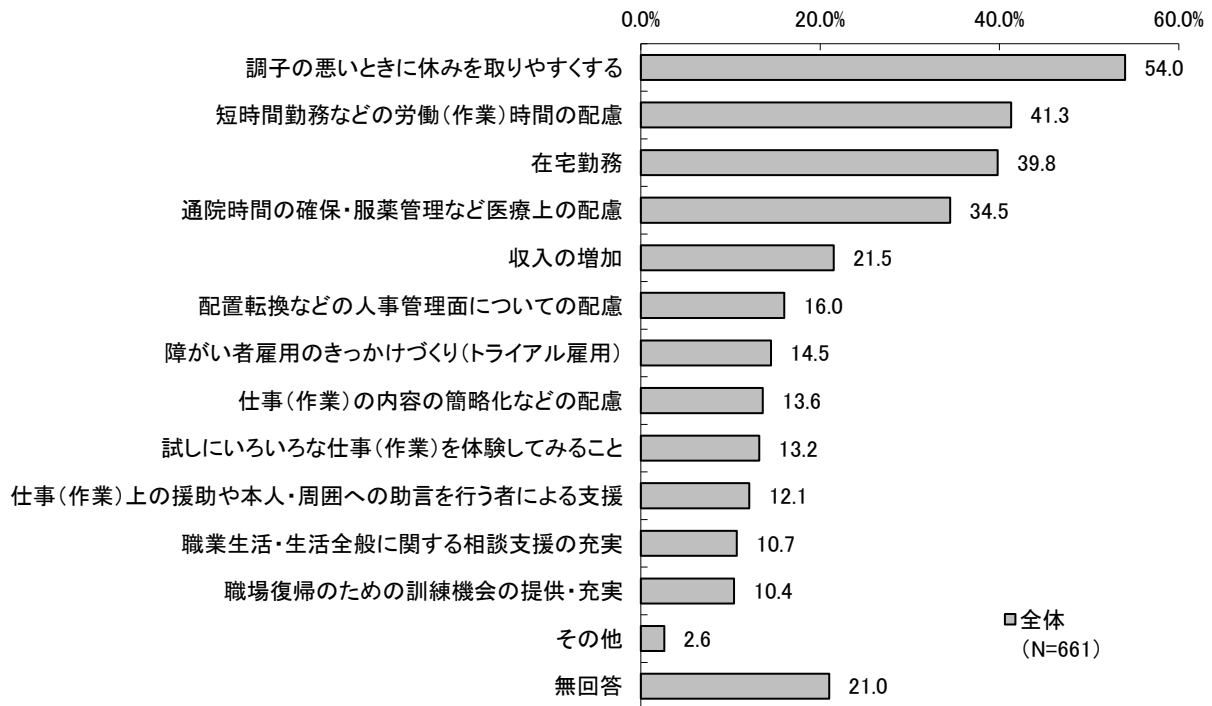
【図表10-59 年齢詳細別 難病患者の就労に対して社会の理解があると思わない理由】 (%)

	調査数 (人)	難病患者の就労に対して社会の理解があると思わない理由										
		会 社 が 少 な い 働 き の 場 (雇 用 機 会)	雇 用 ・ 労 働 条 件 の 整 備 が 進 んで い ない た め	難 病 者 の 雇 用 に 関 する 制 度 が 不 足 な い た め	障 が い へ の 理 解 が 進 んで い ない た め	難 病 者 が 働 く た め の 情 報 提 供 が 進 んで い ない た め	難 病 者 が 働 く た め の 相 談 機 関 が 少 な い た め	職 場 環 境 の バ リ ア フ リ ー 化 が 進 んで い ない た め	通 勤 経 路 の バ リ ア フ リ ー 化 が 進 んで い ない た め	職 業 訓 練 機 会 が 不 足 し て い る た め	そ の 他	無 回 答
全体	199	56.8	54.3	51.3	49.7	47.2	33.7	20.6	19.1	11.6	8.5	2.5
年齢詳細	17歳以下	1	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-
	18～29歳	10	50.0	80.0	60.0	30.0	50.0	50.0	20.0	20.0	-	-
	30歳代	27	51.9	66.7	51.9	59.3	66.7	44.4	11.1	11.1	22.2	3.7
	40歳代	42	52.4	61.9	57.1	45.2	50.0	33.3	21.4	14.3	14.3	21.4
	50歳代	32	50.0	37.5	62.5	40.6	37.5	31.3	9.4	12.5	3.1	12.5
	60～64歳	13	61.5	61.5	69.2	69.2	23.1	23.1	15.4	7.7	-	-
	65～74歳	41	68.3	53.7	46.3	56.1	48.8	29.3	36.6	34.1	14.6	2.4
	75歳以上	29	65.5	48.3	31.0	48.3	44.8	37.9	20.7	24.1	13.8	6.9
	無回答	4	-	-	25.0	25.0	25.0	-	25.0	25.0	-	-

(8) 難病患者の就労支援として必要なこと

問25 どのような働き方や制度があれば難病患者が働きやすいと思いますか。
(○はあてはまるものすべて)

【図表10-60 難病患者の就労支援として必要なこと】



【図表10-61 年齢詳細別 難病患者の就労支援として必要なこと】 (%)

	調査数 (人)	難病患者の就労支援として必要なこと														
		取り調りやの悪くすいときに休みを	(短時間勤務) 時間などの配慮	在宅勤務	通院時間確保・服薬管理	収入の増加	配置転換などの配慮	障がい者雇用のきっかけづくり	略仕事(作業)の内容の簡略化	こ(試し)にいろいろな仕事を体験してみる	う本人・周囲への助言を行う者による支援	す職業生活・生活全般に関する相談支援の充実	会職場復帰のための訓練機	その他	無回答	
全体	661	54.0	41.3	39.8	34.5	21.5	16.0	14.5	13.6	13.2	12.1	10.7	10.4	2.6	21.0	
年齢詳細	17歳以下	4	100.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	25.0	-	-
	18~29歳	26	65.4	38.5	50.0	53.8	42.3	26.9	11.5	3.8	11.5	-	11.5	11.5	-	3.8
	30歳代	57	77.2	56.1	52.6	54.4	35.1	35.1	29.8	22.8	15.8	8.8	12.3	17.5	5.3	3.5
	40歳代	89	74.2	51.7	46.1	42.7	31.5	19.1	7.9	12.4	14.6	4.5	10.1	13.5	3.4	3.4
	50歳代	103	68.9	46.6	46.6	44.7	34.0	22.3	16.5	19.4	12.6	18.4	11.7	12.6	2.9	6.8
	60~64歳	59	62.7	50.8	35.6	35.6	13.6	11.9	18.6	18.6	20.3	16.9	3.4	8.5	3.4	11.9
	65~74歳	158	48.1	44.3	36.1	31.6	12.7	11.4	17.1	12.7	17.7	13.9	13.9	12.0	0.6	26.6
	75歳以上	154	26.0	23.4	32.5	16.9	11.0	8.4	8.4	9.1	5.8	12.3	10.4	3.9	3.2	46.1
無回答	11	18.2	-	18.2	-	18.2	-	-	-	-	9.1	-	-	-	54.5	

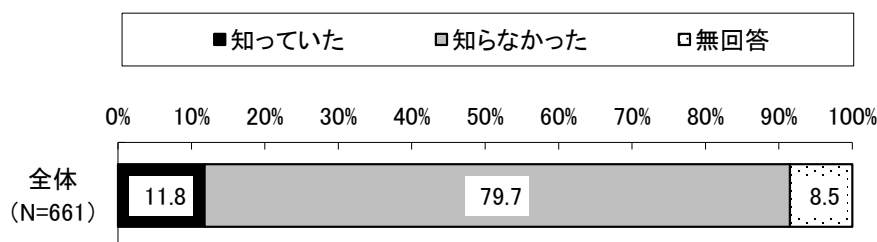
6. 福祉サービスの利用について

- ・障害者総合支援法の施行により、難病患者が障がい者の範囲に追加され、障がい福祉サービスの対象となったことについては、知らなかった人（79.7%）が8割弱を占めている。【図表10-62】
- ・福祉サービスの利用状況については、「①居宅介護」「⑰補装具」（ともに10.0%）、「⑯日常生活用具」（8.6%）、「⑧自立訓練」（8.2%）の利用率が1割程度みられる。【図表10-63】
- ・福祉サービスの利用意向をみると、すべてのサービスで1割未満となっている。比較的高いのは「⑰補装具」（9.4%）、「⑯日常生活用具」（8.5%）である。【図表10-64】
- ・対象・範囲の拡大を希望するサービスでは、「自立訓練」、「移動支援」、「日常生活用具」がいずれも25.7%で比較的高くなっている。【図表10-66】

(1) 難病患者が障がい福祉サービスの対象者となったことの認知度

問26 平成25年4月1日に「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」が施行されました。これにより、障がい者の範囲に難病患者が追加され、障がい福祉サービスの対象となりましたが、このことを知っていましたか。

【図表10-62 難病患者が障がい福祉サービスの対象者となったことの認知度】

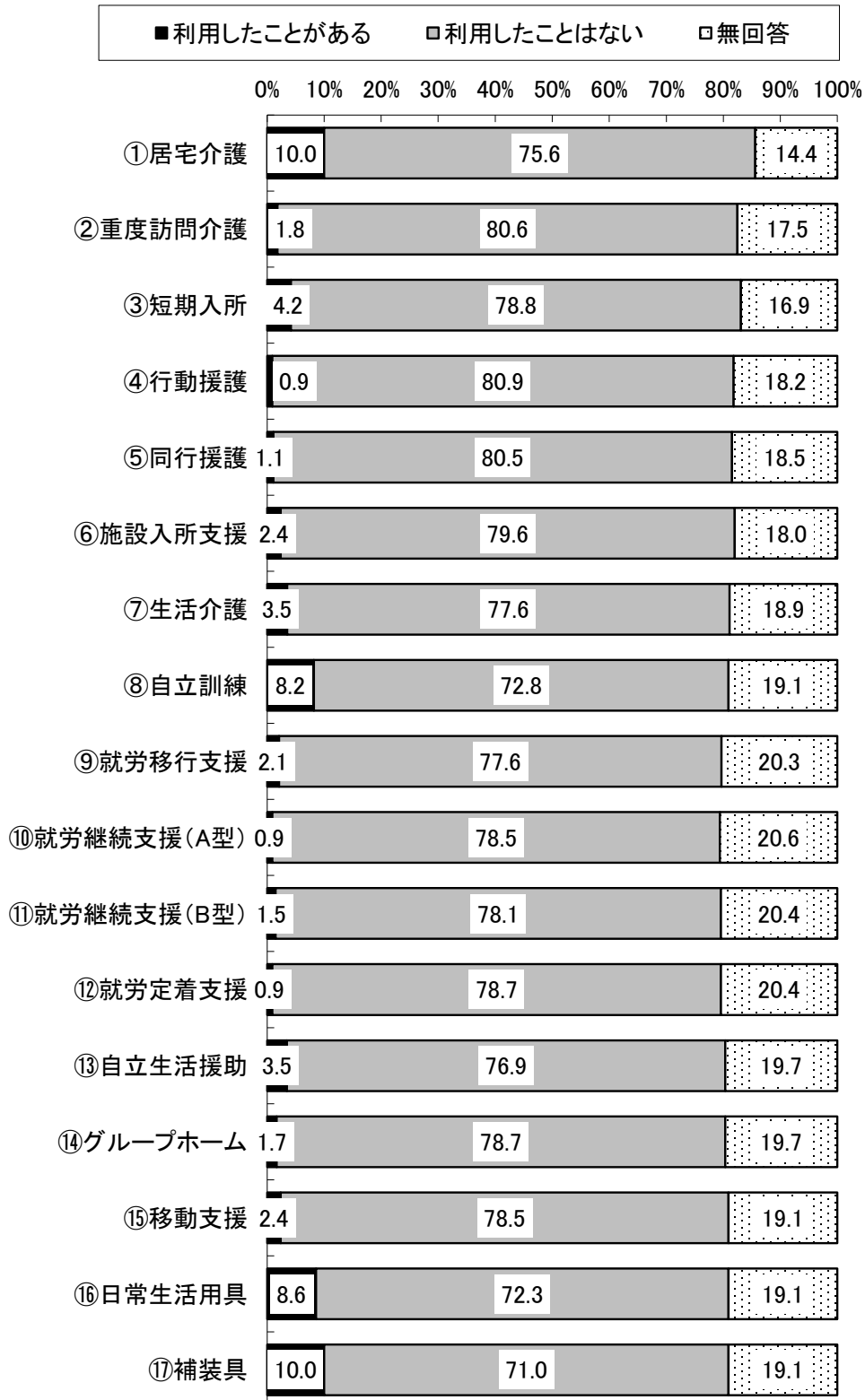


(2) 福祉サービスの利用状況

問27 あなたは、次のようなサービスを利用したことがありますか。また、今後(2~3年以内に)利用したいと思いますか。

①~⑰の項目ごとに、利用状況と利用意向のそれぞれについて○をつけてください。

【図表10-63 福祉サービスの利用状況】



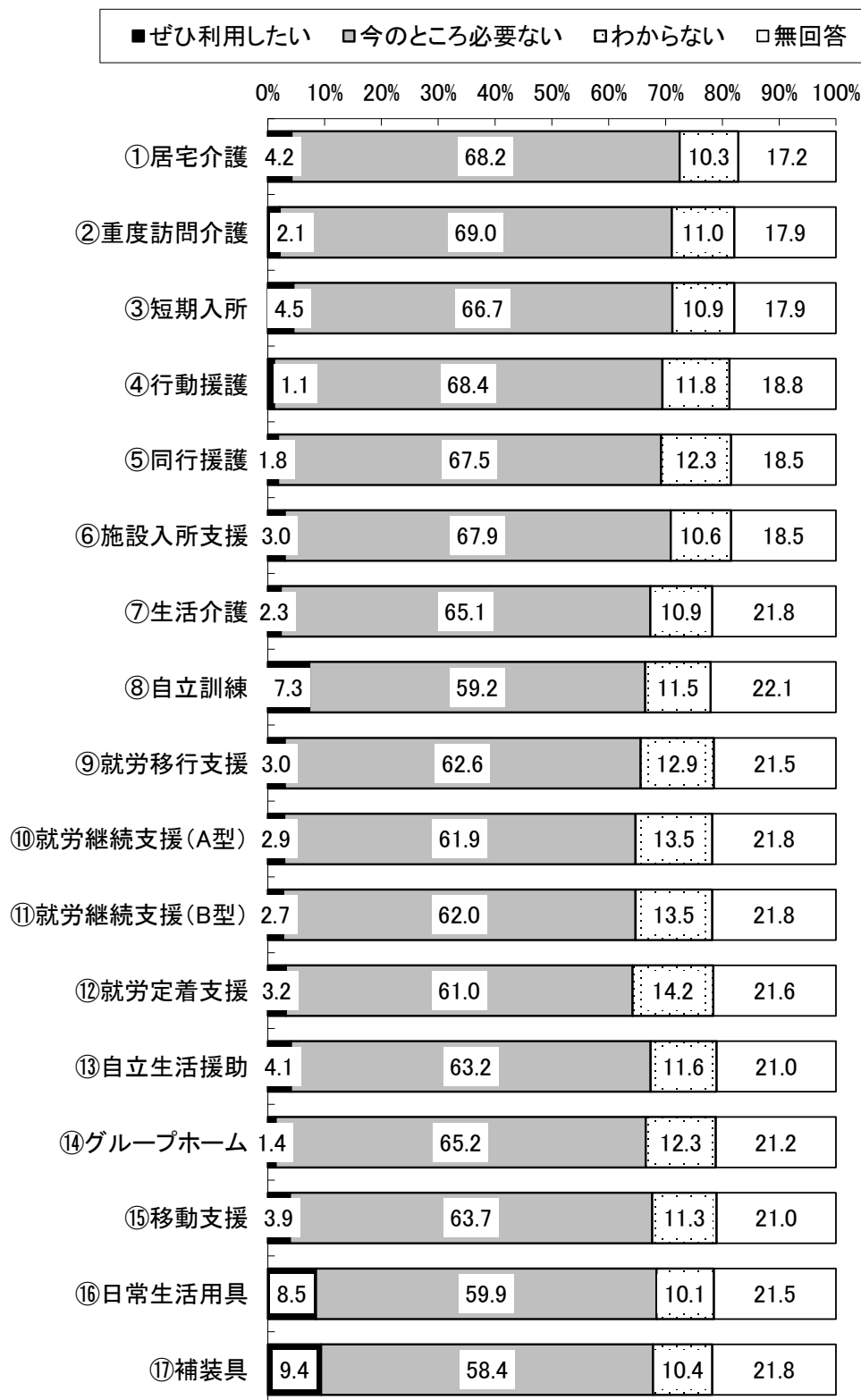
各項目とも(N=661)

(3) 福祉サービスの利用意向

問27 あなたは、次のようなサービスを利用したことがありますか。また、今後(2~3年以内に)利用したいと思いますか。

①~⑰の項目ごとに、利用状況と利用意向のそれぞれについて○をつけてください。

【図表10-64 福祉サービスの利用意向】

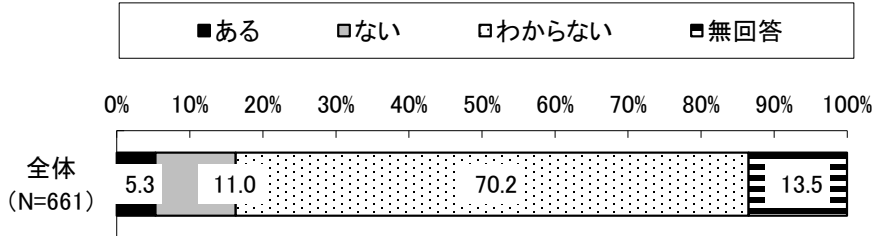


各項目とも(N=661)

(4) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無

問28 ①～⑰のサービス・事業の中で、サービスの量が不足していたり、利用対象・範囲の拡大などを図るべきだと思うものがありますか。(○は1つだけ)

【図表10-65 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無】

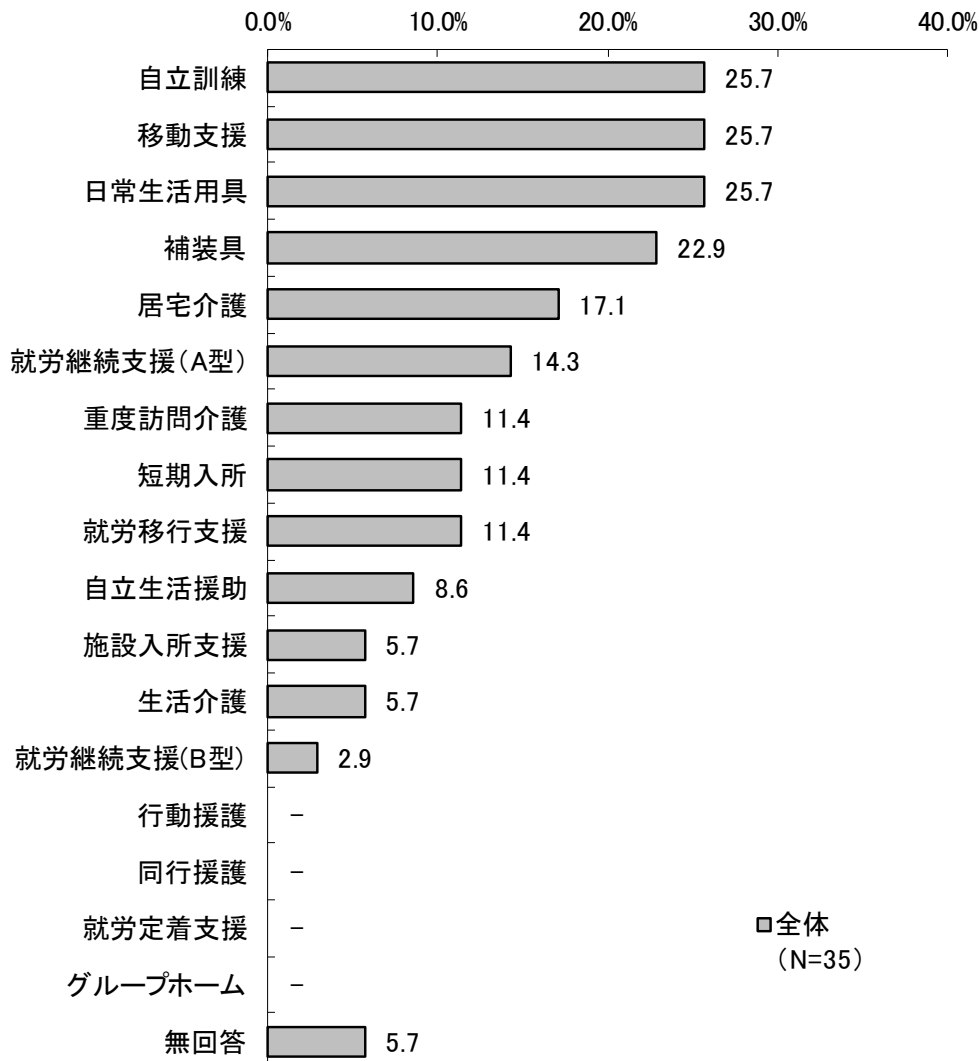


(5) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス

[問28で「1」を選ばれた方におたずねします]

問28-1 それはどのサービス・事業ですか。優先度が高いと思うものを3つまで選んでください。(事業番号は①～⑰の数字を記入してください)

【図表10-66 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス】



7. 今後の暮らし方について

- 希望する今後の暮らし方について年齢詳細別にみると、いずれの年代においても「家族と一緒に暮らしたい」が高いが、18～29歳と60～64歳では、「一人で暮らしたい」も3割弱みられる。世帯状況別にみると、一人暮らしの人は、今後も「一人で暮らしたい」人（47.2%）が5割弱を占める。また、二世帯同居（子と本人）の場合「家族と一緒に暮らしたい」が71.0%と特に高くなっている。

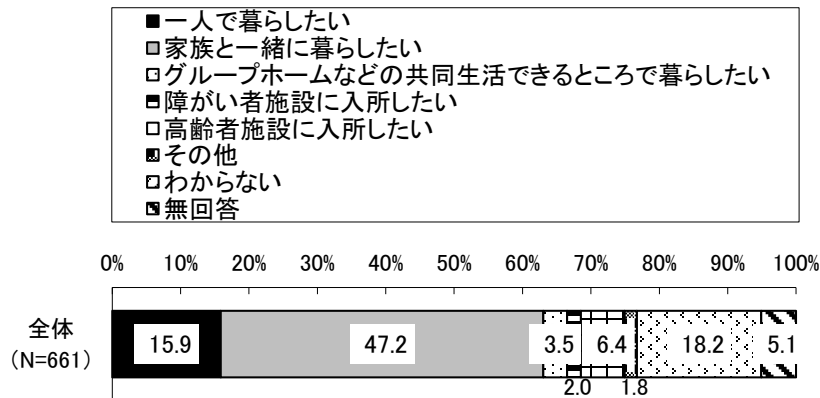
【図表10-68】

- 自宅や地域で生活するために必要な条件を年齢詳細別にみると、18～40歳代では、他に比べて「仕事があること」の割合が高く、5割弱を占めている。また、75歳以上では「調理や掃除、洗濯などの家事の手伝いを頼める人がいること」（37.7%）が74歳以下に比べて高くなっている。【図表10-70】

(1) 希望する今後の暮らし方

問29 あなたは、今後（親なき後を含む）、どのように暮らしたいと思いますか。（○は1つだけ）

【図表10-67 希望する今後の暮らし方】



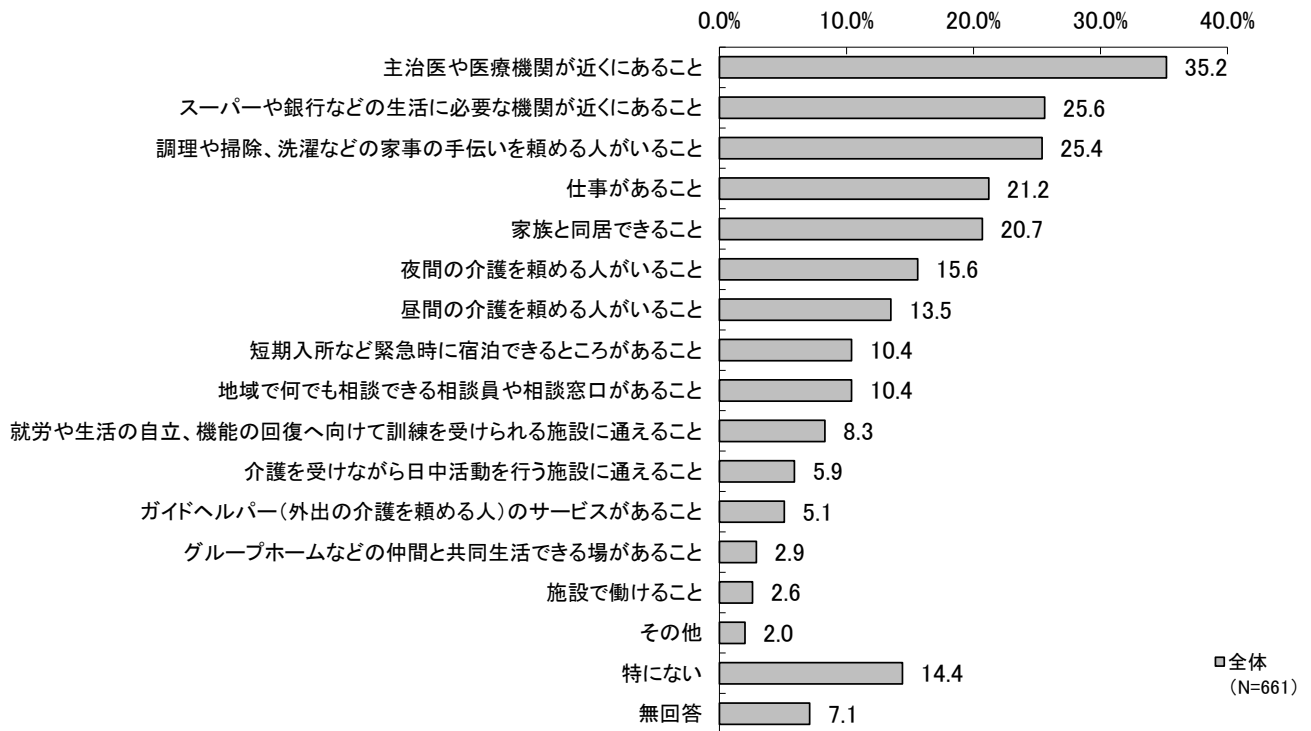
【図表10-68 年齢詳細別、世帯状況別 今後の暮らし方】 (%)

	調査数 (人)	希望する今後の暮らし方								
		一人で暮らしたい	家族と一緒に暮らしたい	このグループホームなどで暮らしたい	障がい者施設に入所したい	高齢者施設に入所したい	その他	わからない	無回答	
全体	661	15.9	47.2	3.5	2.0	6.4	1.8	18.2	5.1	
年齢詳細	17歳以下	4	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-
	18～29歳	26	26.9	38.5	-	3.8	-	-	26.9	3.8
	30歳代	57	14.0	59.6	5.3	-	1.8	3.5	15.8	-
	40歳代	89	23.6	58.4	-	-	-	1.1	12.4	4.5
	50歳代	103	19.4	56.3	2.9	1.9	3.9	1.0	13.6	1.0
	60～64歳	59	28.8	44.1	3.4	1.7	-	-	16.9	5.1
	65～74歳	158	13.3	46.2	4.4	2.5	7.6	1.9	19.0	5.1
	75歳以上	154	6.5	34.4	4.5	2.6	15.6	3.2	22.1	11.0
無回答	11	9.1	36.4	9.1	9.1	9.1	-	27.3	-	
全体	661	15.9	47.2	3.5	2.0	6.4	1.8	18.2	5.1	
世帯状況	一人暮らし	125	47.2	16.8	4.8	1.6	5.6	3.2	17.6	3.2
	夫婦のみ	206	9.2	52.4	3.4	3.4	9.7	0.5	15.5	5.8
	二世帯同居(親と本人)	60	33.3	31.7	3.3	1.7	-	-	26.7	3.3
	二世帯同居(子と本人)	200	2.0	71.0	3.0	-	3.5	0.5	16.5	3.5
	三世帯	8	12.5	50.0	-	-	-	-	25.0	12.5
	その他	29	3.4	34.5	-	-	17.2	6.9	31.0	6.9
	グループホーム	15	-	20.0	13.3	13.3	6.7	20.0	20.0	6.7
	無回答	18	5.6	27.8	-	5.6	11.1	5.6	16.7	27.8

(2) 自宅や地域で生活するために必要な条件

問30 自宅やグループホームなどで生活するためには、どのような条件が必要だと思いますか。
(○は3つまで)

【図表10-69 自宅や地域で生活するために必要な条件】



【図表10-70 年齢詳細別 自宅や地域で生活するために必要な条件】(%)

	調査数(人)	自宅や地域で生活するために必要な条件									
		主治医や医療機関が近くに	必要機関が近くにある	スパーや銀行などの生活	調理や掃除、洗濯などの家事の伝いを頼める人がいる	仕事があること	家族と同居できること	夜間の介護を頼める人がいる	昼間の介護を頼める人がいる	短期入所など緊急時に宿泊	地域で何でも相談できる相
全体	661	35.2	25.6	25.4	21.2	20.7	15.6	13.5	10.4	10.4	
年齢詳細	17歳以下	4	-	-	-	-	-	-	-	-	
	18~29歳	26	26.9	30.8	11.5	46.2	19.2	-	3.8	7.7	19.2
	30歳代	57	36.8	22.8	28.1	45.6	17.5	12.3	7.0	3.5	7.0
	40歳代	89	37.1	31.5	13.5	48.3	21.3	11.2	7.9	6.7	12.4
	50歳代	103	35.0	35.0	15.5	36.9	23.3	12.6	14.6	7.8	9.7
	60~64歳	59	35.6	25.4	23.7	22.0	13.6	11.9	10.2	13.6	10.2
	65~74歳	158	38.0	27.2	29.1	4.4	21.5	17.7	12.7	14.6	7.0
	75歳以上	154	31.8	14.9	37.7	-	22.1	24.0	22.7	13.0	13.6
無回答	11	54.5	27.3	27.3	9.1	27.3	9.1	9.1	-	9.1	

	調査数(人)	自宅や地域で生活するために必要な条件								
		回復施設に通えること	就労や生活の自立、機能の	介護を受けるがら日中活動	介護を頼める人(ヘルパー)のサ	ガイドヘルパー(外出の介	共同生活できる場がある	グループホームなどの仲間	施設で働けること	その他
全体	661	8.3	5.9	5.1	2.9	2.6	2.0	14.4	7.1	
年齢詳細	17歳以下	4	-	-	-	-	25.0	75.0	-	
	18~29歳	26	7.7	3.8	7.7	3.8	-	3.8	19.2	3.8
	30歳代	57	8.8	7.0	3.5	5.3	3.5	1.8	24.6	-
	40歳代	89	7.9	1.1	2.2	1.1	4.5	3.4	16.9	4.5
	50歳代	103	7.8	1.9	1.9	1.0	2.9	1.9	15.5	3.9
	60~64歳	59	3.4	10.2	1.7	-	5.1	-	23.7	6.8
	65~74歳	158	9.5	5.7	8.2	3.8	2.5	1.9	12.0	9.5
	75歳以上	154	9.1	9.7	7.8	4.5	0.6	1.3	5.2	12.3
無回答	11	18.2	9.1	-	-	-	-	9.1	-	

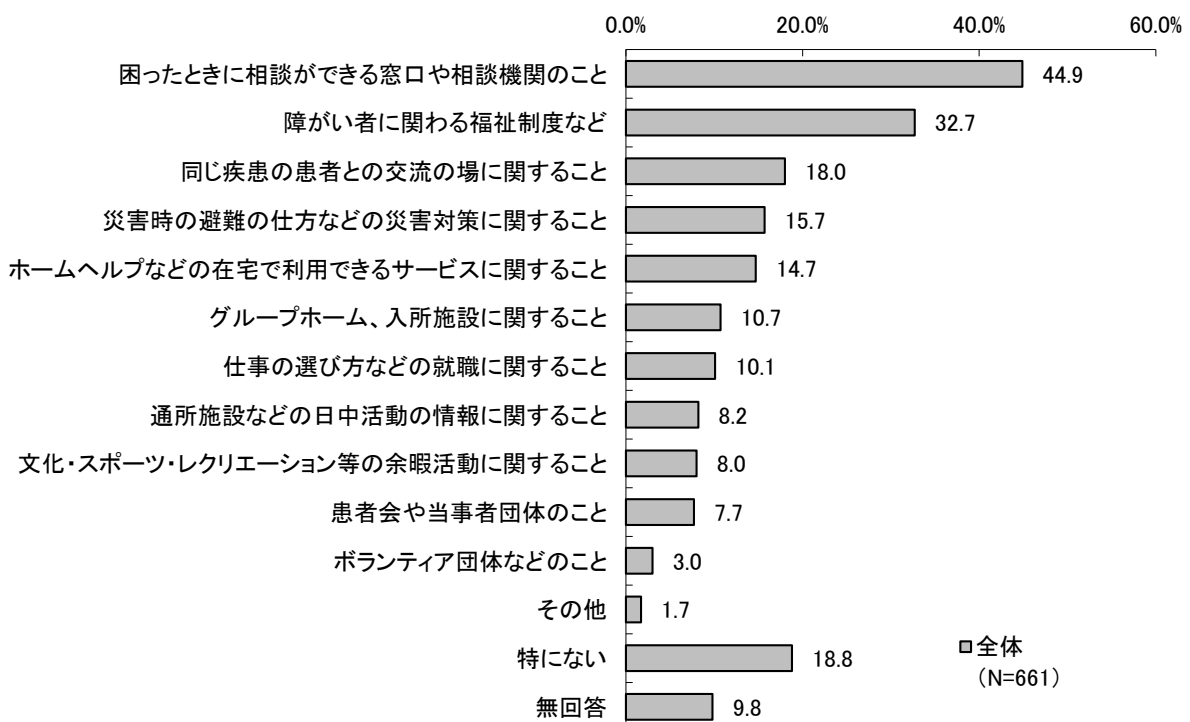
8. 情報収集や相談について

- ・福岡市からの情報で知りたいことを年齢詳細別にみると、18～29歳では「仕事の選び方などの就職に関すること」(42.3%)、「同じ疾患の患者との交流の場に関すること」(38.5%)の割合が他の年代に比べて高くなっている。また、75歳以上では、「ホームヘルプなどの在宅で利用できるサービスに関すること」(24.7%)の割合が74歳以下に比べて高い。【図表10-72】
- ・困っていることや心配なことは、「体、心の健康や障がいのこと」(45.7%)が最も高く、次いで「老後や将来のこと」(41.3%)、「生活費などの経済的なこと」(30.3%)の順となっている。年齢詳細別にみると、18～40歳代では「仕事のこと」が3割前後と、他の年代に比べ高くなっている。【図表10-75、図表10-76】
- ・相談窓口の認知度（「知っている」の割合）は、「①保健福祉センター（区役所の健康課）」(54.6%)が最も高く、次いで「②福祉事務所（区役所の福祉・介護保険課）」(50.8%)、「⑥民生委員・児童委員」(46.0%)が5割前後で上位となっている。【図表10-77】
- ・相談窓口の利用状況（「利用したことがある」の割合）は、「①保健福祉センター（区役所の健康課）」(23.8%)と「②福祉事務所（区役所の福祉・介護保険課）」(20.3%)が2割強となっている。【図表10-78】

(1) 福岡市からの情報で知りたいこと

問3 1 あなたは、生活に関することで、福岡市からどのような情報が知りたいですか。
(○はあてはまるものすべて)

【図表10-71 福岡市からの情報で知りたいこと】



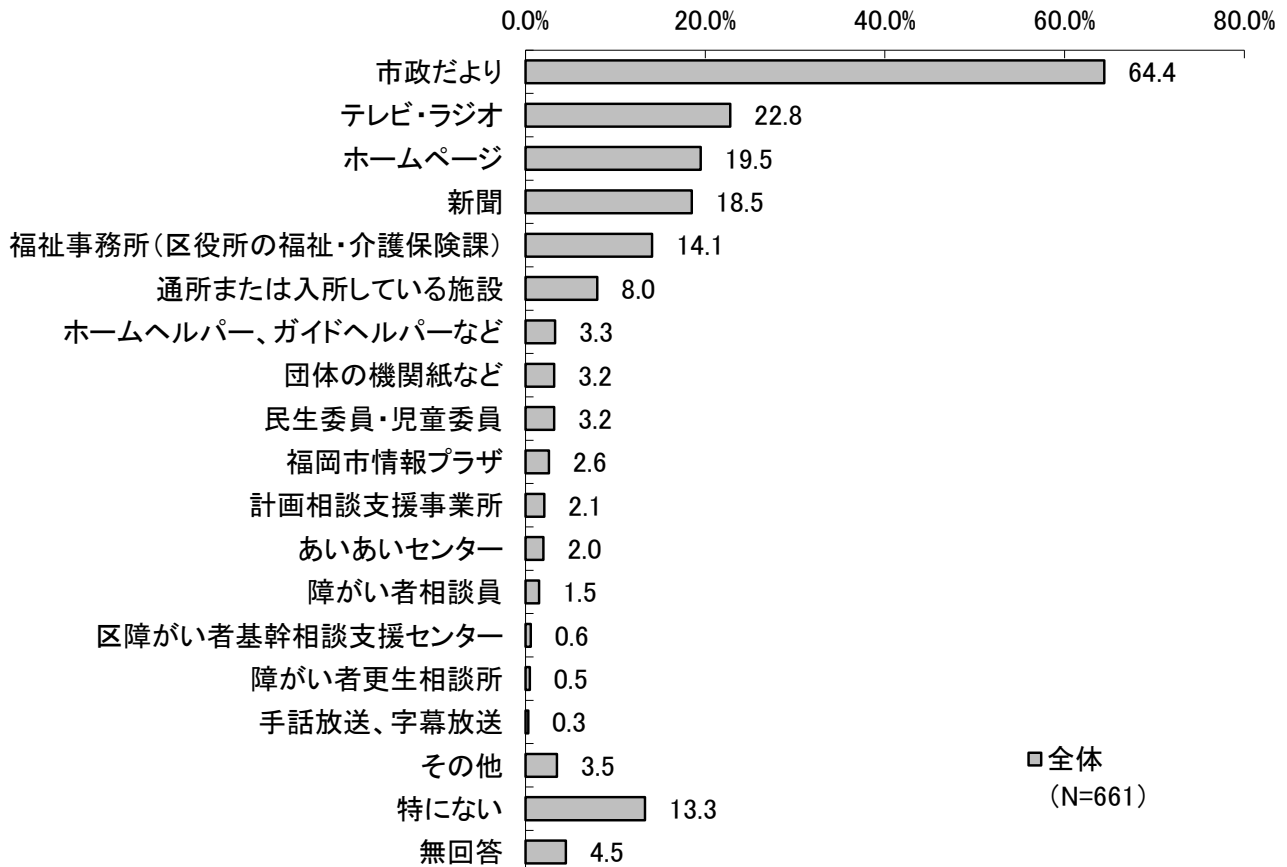
【図表10-72 年齢詳細別 福岡市からの情報で知りたいこと】(%)

	調査数(人)	福岡市からの情報で知りたいこと																					
		こき と	困 ら な い と き に 相 談 機 関 が あ る こ と	制 度 が あ る に 関 わ る 福 祉 事 務 所 な ど	障 が い 者 の 情 報 に 関 わ る こ と	流 同 じ 場 所 に あ る こ と	同 じ 疾 患 の 患 者 と の 交 渉 の こ と	こ の 災 害 時 に あ る こ と	災 害 時 の 避 難 の 仕 方 な ど	ス ト に あ る こ と	宅 に あ る こ と	ホ ム に あ る こ と	グ ル に あ る こ と	職 に あ る こ と	動 の 情 報 に あ る こ と	通 所 に あ る こ と	活 動 に あ る こ と	文 化 ・ レ ク リ エ ー シ ョ ン 等 の 余 暇 の 活 動 に あ る こ と	患 者 会 や 当 事 者 団 体 の 情 報 に あ る こ と	ポ ラ ン テ ィ ア 団 体 な ど	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体	661	44.9	32.7	18.0	15.7	14.7	10.7	10.1	8.2	8.0	7.7	3.0	1.7	18.8	9.8								
年齢詳細	17歳以下	4	-	-	-	25.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-
	18~29歳	26	42.3	30.8	38.5	23.1	7.7	3.8	42.3	-	-	11.5	-	3.8	11.5	7.7	-	-	-	-	3.8	11.5	7.7
	30歳代	57	38.6	40.4	28.1	17.5	1.8	8.8	24.6	5.3	14.0	14.0	1.8	1.8	14.0	8.8	-	-	-	-	1.8	14.0	8.8
	40歳代	89	49.4	31.5	23.6	19.1	6.7	4.5	15.7	5.6	4.5	14.6	4.5	2.2	25.8	5.6	-	-	-	-	2.2	25.8	5.6
	50歳代	103	45.6	32.0	20.4	10.7	9.7	5.8	17.5	2.9	7.8	8.7	3.9	-	22.3	7.8	-	-	-	-	-	22.3	7.8
	60~64歳	59	45.8	30.5	8.5	15.3	13.6	8.5	10.2	5.1	10.2	5.1	3.4	1.7	23.7	6.8	-	-	-	-	1.7	23.7	6.8
	65~74歳	158	42.4	32.9	13.9	15.2	19.6	12.0	1.9	7.0	9.5	5.7	3.8	2.5	19.6	9.5	-	-	-	-	2.5	19.6	9.5
	75歳以上	154	48.1	32.5	14.9	15.6	24.7	18.8	0.6	17.5	6.5	3.9	1.9	0.6	11.7	15.6	-	-	-	-	0.6	11.7	15.6
無回答	11	45.5	36.4	9.1	18.2	9.1	18.2	-	18.2	-	-	-	-	-	18.2	-	-	-	-	9.1	18.2	18.2	

(2) 福岡市の福祉施策情報の入手先

問3 2 福岡市が実施している福祉施策について、あなたが知る手掛りとなっているのは、次のどれですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表10-73 福岡市の福祉施策情報の入手先】



【図表10-74 年齢詳細別 福岡市の福祉施策情報の入手先】(%)

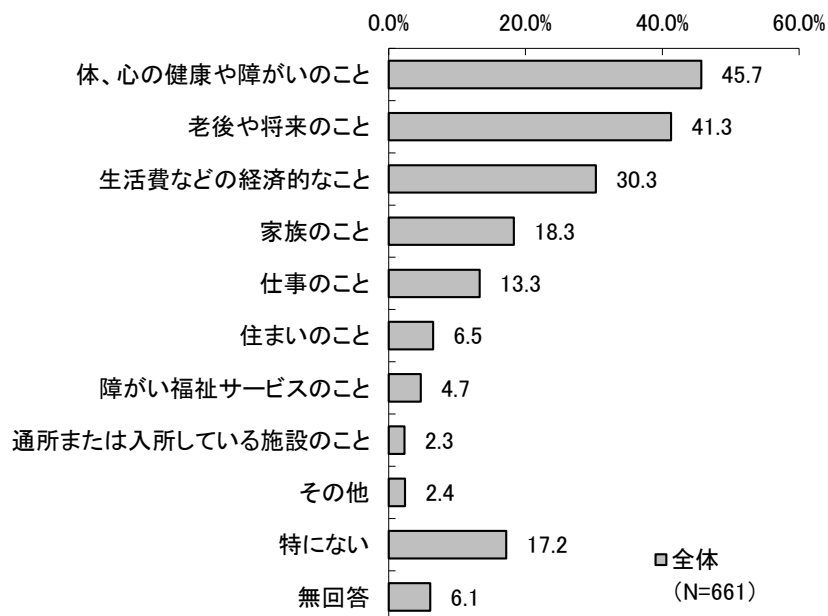
	調査数(人)	福岡市の福祉施策情報の入手先									
		市政だより	テレビ・ラジオ	ホームページ	新聞	福祉・事務所(区役所の介護保険課)	通所または入所している施設	ドームヘルパーなど	団体の機関紙など	民生委員・児童委員	福岡市情報プラザ
全体	661	64.4	22.8	19.5	18.5	14.1	8.0	3.3	3.2	3.2	2.6
年齢詳細	17歳以下	4	50.0	25.0	50.0	-	-	-	-	-	-
	18～29歳	26	23.1	15.4	26.9	7.7	11.5	-	-	3.8	-
	30歳代	57	59.6	15.8	45.6	14.0	10.5	12.3	1.8	1.8	3.5
	40歳代	89	60.7	20.2	28.1	12.4	6.7	4.5	-	2.2	2.2
	50歳代	103	67.0	25.2	23.3	19.4	9.7	1.0	1.0	3.9	1.0
	60～64歳	59	52.5	20.3	22.0	10.2	18.6	1.7	1.7	1.7	1.7
	65～74歳	158	69.0	20.9	12.7	18.4	15.2	8.2	2.5	3.8	3.8
	75歳以上	154	72.7	30.5	6.5	28.6	20.1	16.2	8.4	3.9	7.1
	無回答	11	81.8	9.1	18.2	18.2	18.2	18.2	18.2	-	-

	調査数(人)	福岡市の福祉施策情報の入手先								
		計画相談支援事業所	あいあいセンター	障がい者相談員	区障がい者基幹相談支援センター	障がい者更生相談所	手話放送、字幕放送	その他	特にない	無回答
全体	661	2.1	2.0	1.5	0.6	0.5	0.3	3.5	13.3	4.5
年齢詳細	17歳以下	4	-	-	-	-	-	-	25.0	-
	18～29歳	26	-	3.8	-	-	-	3.8	7.7	30.8
	30歳代	57	7.0	1.8	-	-	-	-	5.3	15.8
	40歳代	89	1.1	-	2.2	-	-	-	3.4	15.7
	50歳代	103	1.0	2.9	1.0	-	-	-	3.9	13.6
	60～64歳	59	-	1.7	3.4	1.7	-	-	8.5	22.0
	65～74歳	158	1.9	2.5	1.3	0.6	-	-	3.2	12.7
	75歳以上	154	3.2	1.3	1.9	1.3	1.9	0.6	0.6	5.2
	無回答	11	-	9.1	-	-	-	-	-	9.1

(3) 困っていることや心配なこと

問33 あなたは、今の生活の中で困っていることや心配なこと、悩んでいることがありますか。
(○は3つまで)

【図表10-75 困っていることや心配なこと】



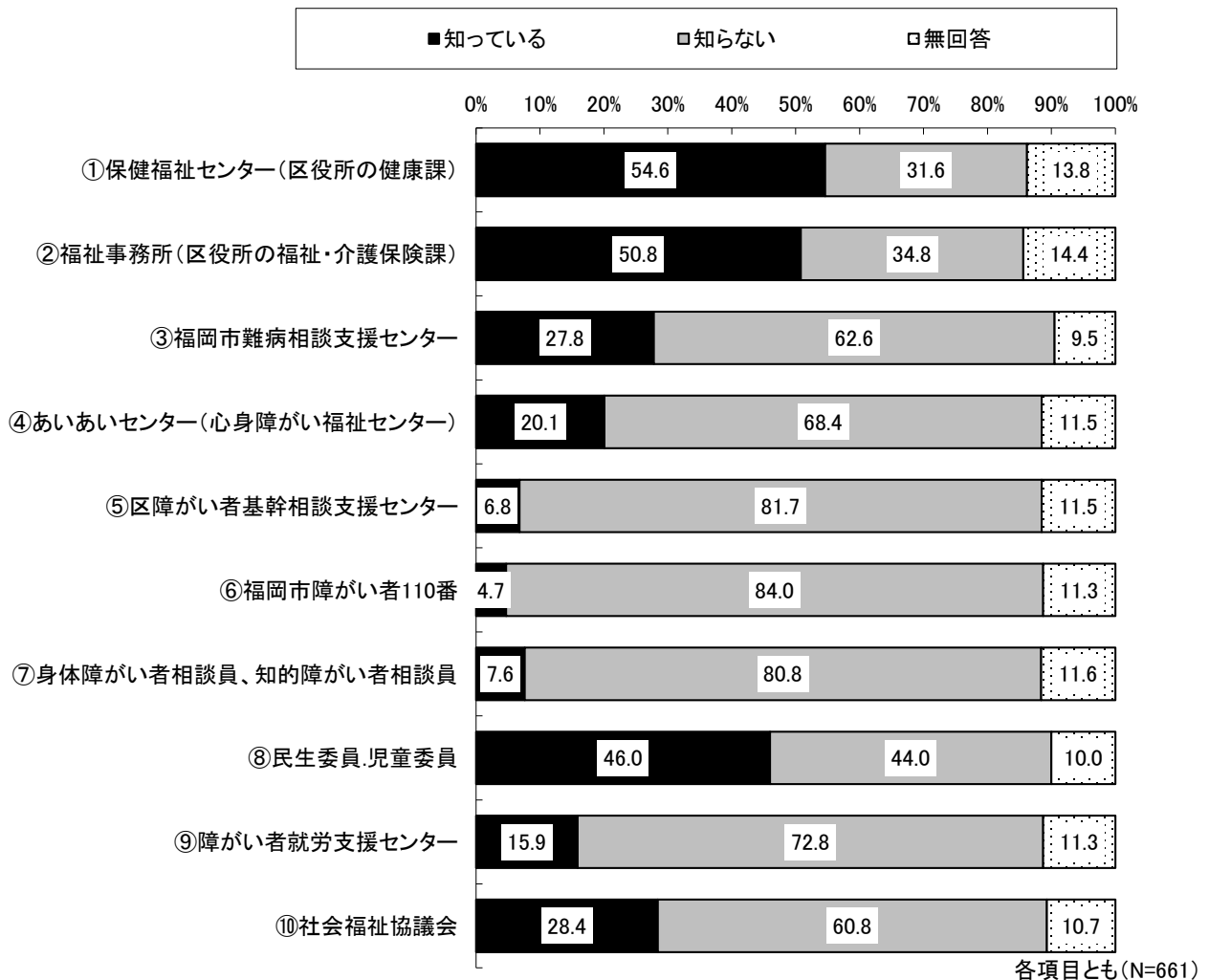
【図表10-76 年齢詳細別 困っていることや心配なこと】 (%)

	調査数 (人)	困っていることや心配なこと										
		の体、心の健康や障がい	老後や将来のこと	こと生活費などの経済的な	家族のこと	仕事のこと	住まいのこと	こ障がい福祉サービスの	る通所または入所している施設のこと	その他	特にない	無回答
全体	661	45.7	41.3	30.3	18.3	13.3	6.5	4.7	2.3	2.4	17.2	6.1
年齢詳細	17歳以下	4	50.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-	50.0	-
	18~29歳	26	42.3	50.0	42.3	7.7	30.8	11.5	3.8	3.8	-	7.7
	30歳代	57	54.4	42.1	38.6	15.8	29.8	3.5	3.5	1.8	3.5	14.0
	40歳代	89	51.7	48.3	36.0	21.3	32.6	2.2	3.4	-	4.5	14.6
	50歳代	103	42.7	45.6	36.9	14.6	21.4	7.8	2.9	-	3.9	21.4
	60~64歳	59	37.3	37.3	32.2	11.9	11.9	5.1	1.7	-	3.4	22.0
	65~74歳	158	43.0	39.2	26.6	24.7	2.5	10.8	5.1	2.5	1.3	17.1
	75歳以上	154	46.8	36.4	22.7	16.9	-	5.2	7.1	5.8	1.3	16.9
	無回答	11	54.5	45.5	9.1	27.3	9.1	-	18.2	-	-	9.1

(4) 相談窓口の認知度

問3 4 福岡市には、障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる窓口として、次のような窓口があります。
 あなたは、これらの相談窓口があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。
 さらに、「利用したことがある」を選ばれた方は、その時の満足度はどうでしたか。
 ①～⑩の項目ごとに、認知度、利用状況、満足度のそれぞれについて○をつけてください。

【図表10-77 相談窓口の認知度】



(5) 相談窓口の利用状況

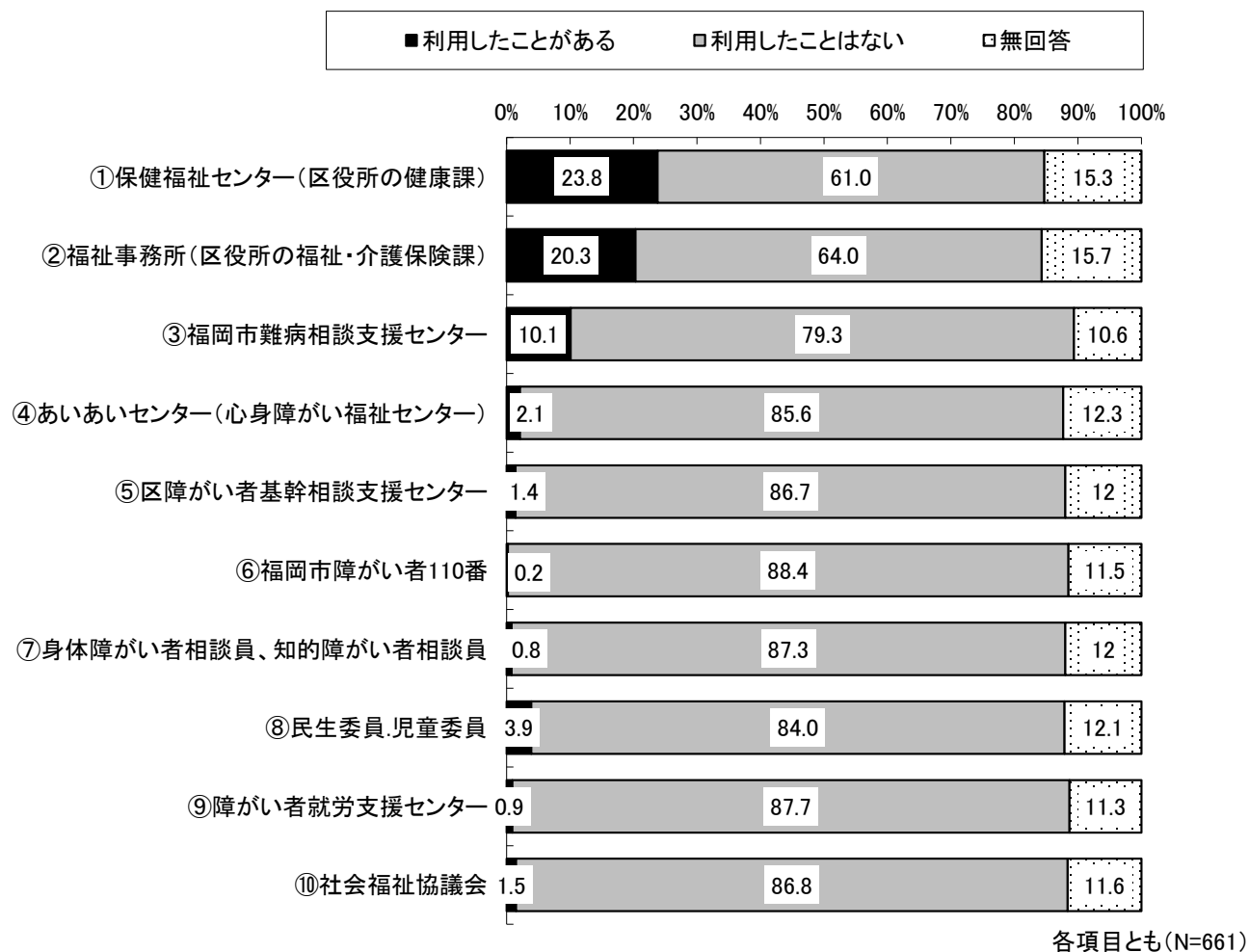
問34 福岡市には、障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる窓口として、次のような窓口があります。

あなたは、これらの相談窓口があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。

さらに、「利用したことがある」を選ばれた方は、その時の満足度はどうでしたか。

①～⑩の項目ごとに、認知度、利用状況、満足度のそれぞれについて○をつけてください。

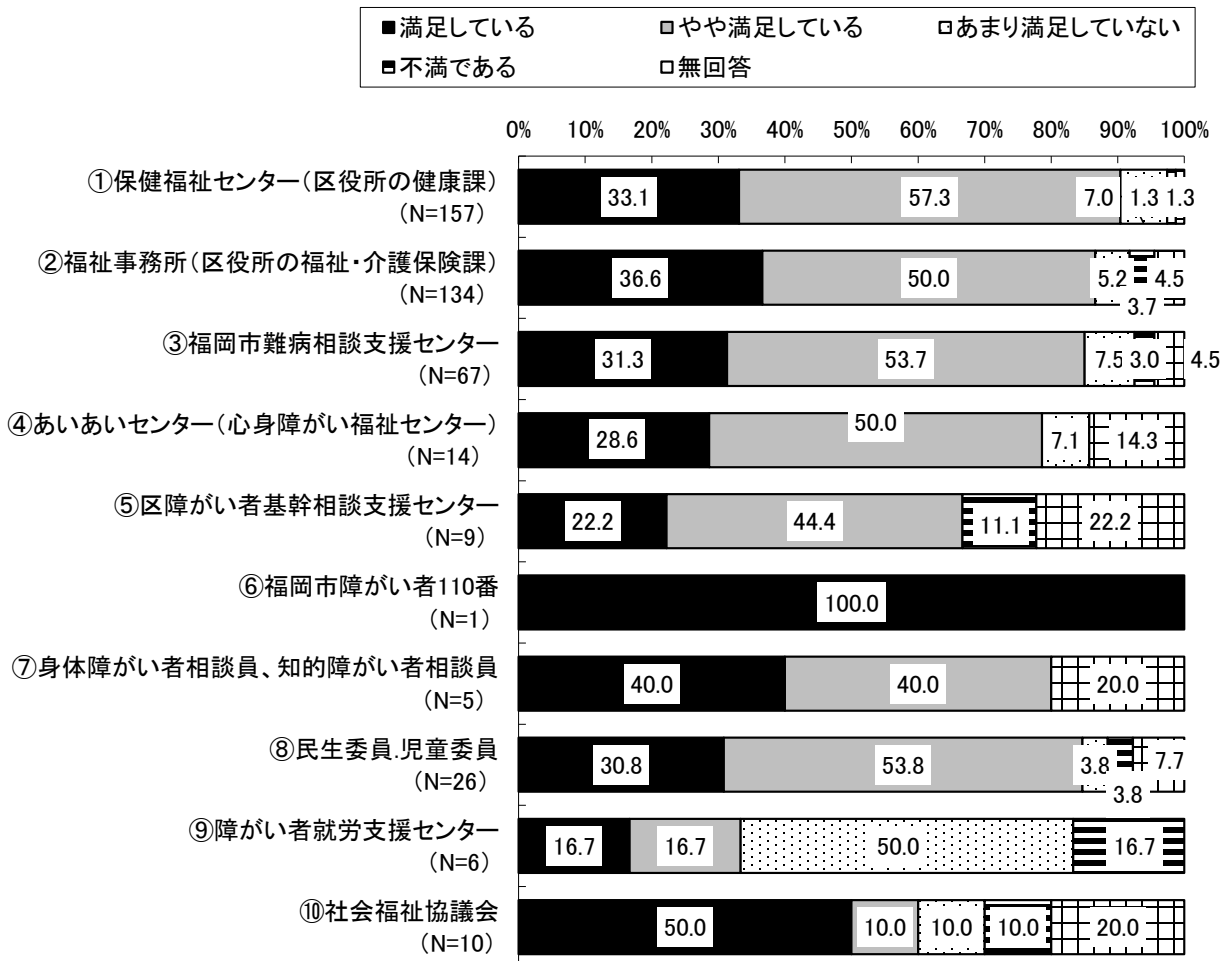
【図表10-78 相談窓口の利用状況】



(6) 相談窓口の満足度

問3 4 福岡市には、障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる窓口として、次のような窓口があります。
 あなたは、これらの相談窓口があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。
 さらに、「利用したことがある」を選ばれた方は、その時の満足度はどうでしたか。
 ①～⑩の項目ごとに、認知度、利用状況、満足度のそれぞれについて○をつけてください。

【図表10-79 相談窓口の満足度】



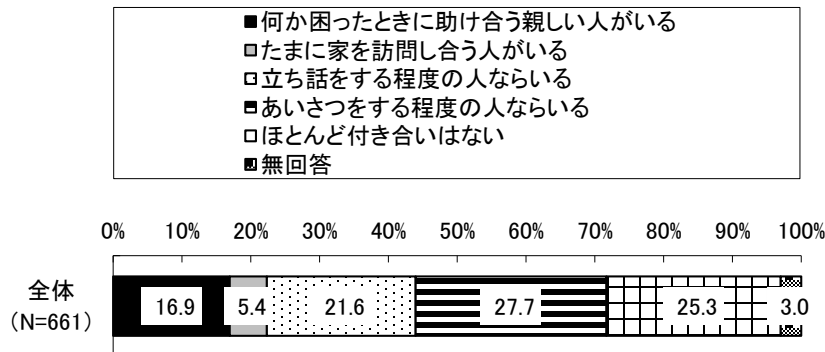
9. 地域とのかかわりについて

- ・近所との関係を世帯状況別にみると、一人暮らし世帯では「ほとんど付き合いはない」(37.6%)が最も高く、他はグループホームを除き「あいさつをする程度の人ならいる」が最も高くなっている。【図表10-81】
- ・地域行事への参加状況は、「参加していない」(52.6%)が過半数を占めており、「参加している」は9.8%、「たまに参加している」は15.9%となっている。年齢詳細別にみると、18～29歳と50歳代では「参加していない」の割合が6割台と高くなっている。【図表10-82、図表10-83】

(1) 近所の方との関係

問35 あなたのご近所の方との関係は、次のどれに近いですか。(○は1つだけ)

【図表10-80 近所の方との関係】



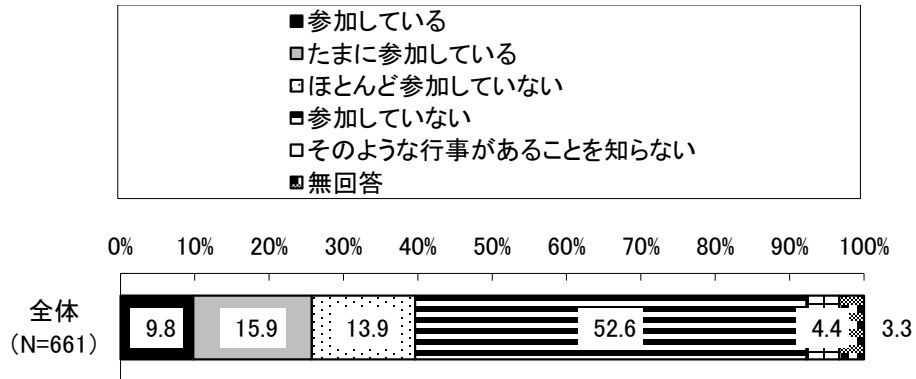
【図表10-81 年齢詳細別、世帯状況別 近所の方との関係】(%)

	調査数(人)	近所の方との関係					無回答	
		何か困ったときに助け	たまに家を訪問し合う	立ち話をする程度の人	あいさつをする程度の人	ほとんど付き合いはない		
全体	661	16.9	5.4	21.6	27.7	25.3	3.0	
年齢詳細	17歳以下	4	50.0	-	-	25.0	25.0	-
	18～29歳	26	7.7	-	7.7	15.4	65.4	3.8
	30歳代	57	14.0	3.5	10.5	42.1	29.8	-
	40歳代	89	12.4	4.5	16.9	34.8	29.2	2.2
	50歳代	103	14.6	4.9	19.4	24.3	35.9	1.0
	60～64歳	59	16.9	6.8	23.7	25.4	25.4	1.7
	65～74歳	158	17.1	7.6	29.1	27.2	14.6	4.4
	75歳以上	154	22.7	5.2	26.0	24.0	17.5	4.5
無回答	11	18.2	9.1	-	27.3	36.4	9.1	
全体	661	16.9	5.4	21.6	27.7	25.3	3.0	
世帯状況	一人暮らし	125	16.0	4.8	17.6	22.4	37.6	1.6
	夫婦のみ	206	16.0	5.8	27.2	26.7	20.4	3.9
	二世帯同居(親と本人)	60	15.0	1.7	11.7	35.0	33.3	3.3
	二世帯同居(子と本人)	200	18.0	6.5	24.0	31.5	19.0	1.0
	三世帯	8	12.5	-	25.0	37.5	12.5	12.5
	その他	29	27.6	-	17.2	27.6	24.1	3.4
	グループホーム	15	20.0	6.7	-	20.0	46.7	6.7
	無回答	18	11.1	16.7	16.7	11.1	27.8	16.7

(2) 地域行事への参加状況

問36 ここ2～3年の間、地域での行事（町内会などが実施する防災訓練、夏まつりなど）に参加したことがありますか。（○は1つだけ）

【図表10-82 地域行事への参加状況】



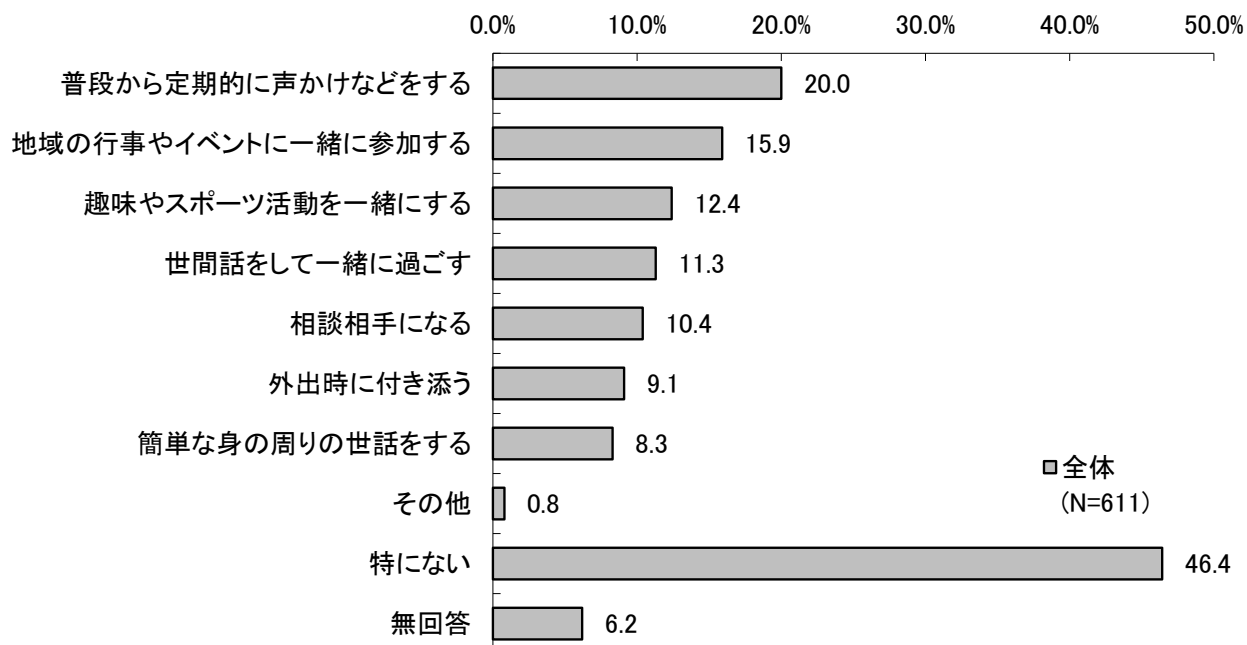
【図表10-83 年齢詳細別 地域行事への参加状況】 (%)

	調査数 (人)	地域行事への参加状況						
		参加している	たまに参加している	ほとんど参加していない	参加していない	そのような行事があることを知らない	無回答	
全体	661	9.8	15.9	13.9	52.6	4.4	3.3	
年齢詳細	17歳以下	4	25.0	50.0	-	-	-	25.0
	18～29歳	26	3.8	-	11.5	69.2	11.5	3.8
	30歳代	57	5.3	15.8	22.8	45.6	10.5	-
	40歳代	89	11.2	15.7	13.5	49.4	7.9	2.2
	50歳代	103	9.7	11.7	8.7	63.1	4.9	1.9
	60～64歳	59	11.9	22.0	11.9	52.5	-	1.7
	65～74歳	158	10.1	15.2	16.5	50.6	3.8	3.8
	75歳以上	154	11.0	18.8	13.0	50.6	1.3	5.2
無回答	11	-	18.2	18.2	54.5	-	9.1	

(3) 地ボランティア活動希望者のための支援・交流

問37 あなたは、地域の方が何かボランティア活動をしたいと思っている場合、どのような支援・交流があったらいいと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表10-84 ボランティア活動希望者のための支援・交流】



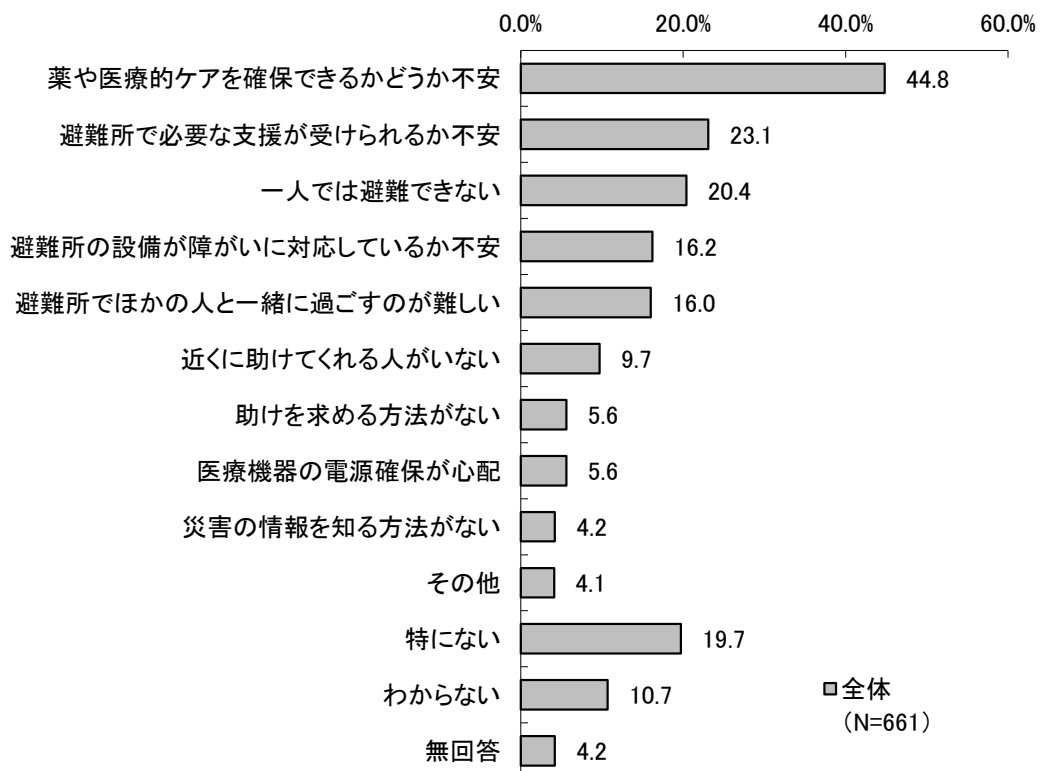
10. 防災について

- ・地震などの災害発生時に困ることや不安なことは、「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」(44.8%)が最も高く、次いで「避難所で必要な支援が受けられるか不安」(23.1%)、「一人では避難できない」(20.4%)、「避難所の設備が障がい者に対応しているか不安」(16.2%)、「避難所でほかの人と一緒に過ごすのが難しい」(16.0%)の順となっている。年齢詳細別にみると、30歳代では「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」(66.7%)、75歳以上では「一人では避難できない」(39.0%)の割合が、他の年代に比べ高くなっている。【図表10-85、図表10-86】
- ・災害への備えは「疾病などで必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている」(28.1%)が最も高く、次いで「非常時持ち出し品の用意、非常食などの備蓄をしている」(21.5%)の順となっている。また、「特にない」(43.9%)が4割強となっている。【図表10-87】
- ・災害時に頼れる人は、「同居の家族」(59.5%)が6割弱を占めて最も高く、次いで「同居している家族以外の親族」(23.4%)、「友人・知人」(12.1%)の順となっている。世帯状況別にみると、一人暮らしでは「頼れる人がいない」(20.8%)の割合が2割に達し高くなっている。【図表10-88、図表10-89】
- ・福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度を年齢詳細別にみると、各年代で「わからない」の割合が比較的高い。一方、『感じている』(「感じている」+「どちらかといえば感じている」の合計)の割合は、60歳以上で4割弱とやや高くなっている。【図表10-91】

(1) 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと

問38 あなたが、地震などの災害が発生したときに、困ることや不安なことは何ですか。
(○はあてはまるものすべて)

【図表10-85 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと】



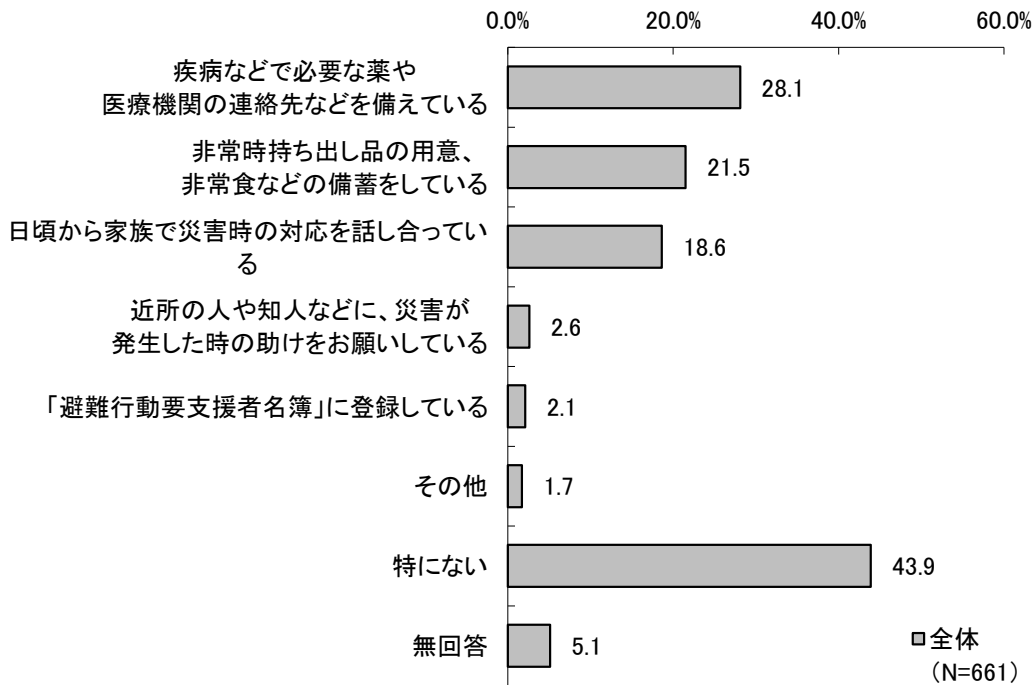
【図表10-86 年齢詳細別 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと】(%)

	調査数(人)	地震などの災害発生時に困ることや不安なこと															
		できるかどうか不安	薬や医療的ケアを確保	受けられるか不安	避難所で必要な支援が	一人では避難できない	に避難所の設備が障がい	避難所でのほかの難し	緒に過ぎずの人の	避に過すの人の	が近くに助けをくれる人	い助けを求め方法がな	心配医療機器の電源確保が	が災害の情報をする方法	その他	特にな	わからない
全体	661	44.8	23.1	20.4	16.2	16.0	9.7	5.6	5.6	4.2	4.1	19.7	10.7	4.2			
年齢詳細	17歳以下	4	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	25.0	-	-
	18~29歳	26	42.3	15.4	15.4	11.5	-	7.7	3.8	7.7	3.8	15.4	23.1	7.7	3.8		
	30歳代	57	66.7	36.8	10.5	22.8	17.5	8.8	3.5	10.5	5.3	7.0	10.5	12.3	-		
	40歳代	89	48.3	21.3	5.6	11.2	13.5	11.2	5.6	7.9	1.1	5.6	29.2	6.7	2.2		
	50歳代	103	53.4	11.7	6.8	10.7	11.7	12.6	2.9	6.8	1.9	2.9	21.4	13.6	1.9		
	60~64歳	59	40.7	20.3	27.1	13.6	16.9	11.9	3.4	6.8	3.4	8.5	25.4	6.8	5.1		
	65~74歳	158	35.4	24.7	20.9	20.3	17.7	6.3	4.4	2.5	6.3	2.5	22.2	13.9	4.4		
	75歳以上	154	41.6	28.6	39.0	17.5	20.8	7.8	10.4	4.5	5.8	1.3	12.3	9.1	7.8		
	無回答	11	27.3	18.2	36.4	27.3	18.2	45.5	9.1	-	-	-	-	9.1	9.1		

(2) 災害への備え

問39 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(〇はあてはまるものすべて)

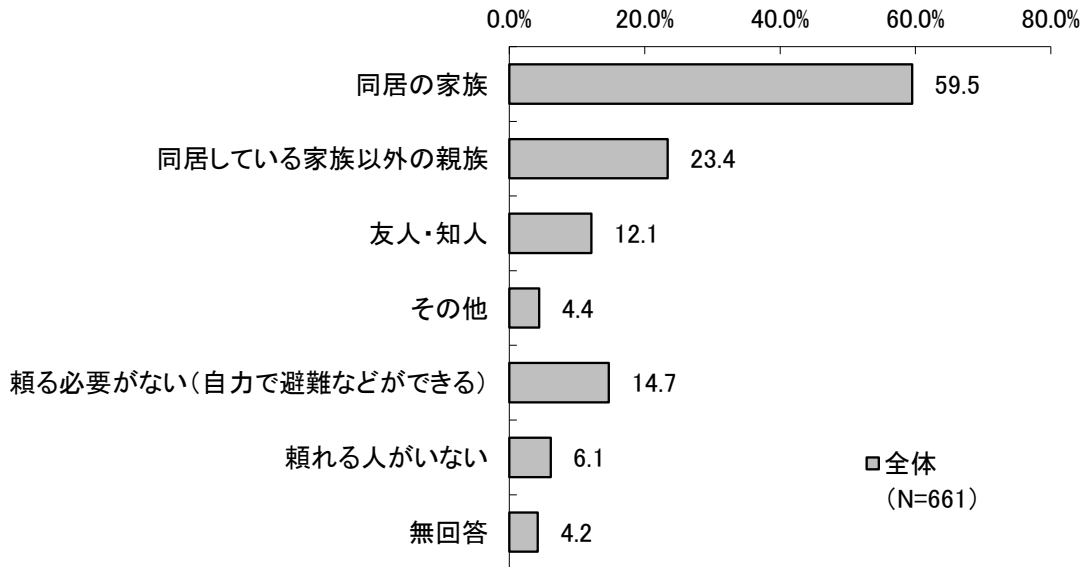
【図表10-87 災害への備え】



(3) 災害時に頼れる人

問40 あなたは、水害や地震などが発生したときに、安全の確保などで頼れる人はどなたですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表10-88 災害時に頼れる人】



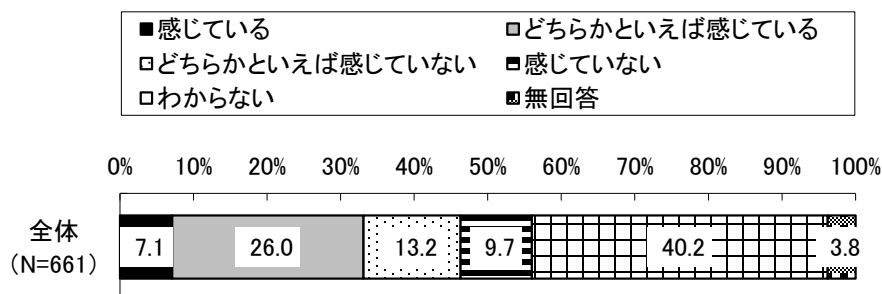
【図表10-89 世帯状況別 災害時に頼れる人】 (%)

	調査数 (人)	災害時に頼れる人							
		同居の家族	同居している家族以外の親族	友人・知人	その他	頼る必要がない(自力で避難などができる)	頼れる人がいない	無回答	
全体	661	59.5	23.4	12.1	4.4	14.7	6.1	4.2	
世帯状況別	一人暮らし	125	-	19.2	20.8	6.4	32.8	20.8	4.8
	夫婦のみ	206	75.7	25.7	6.8	1.5	9.7	2.4	3.9
	二世帯同居(親と本人)	60	66.7	26.7	16.7	-	13.3	5.0	8.3
	二世帯同居(子と本人)	200	84.5	25.0	12.5	0.5	9.5	0.5	2.0
	三世帯	8	87.5	37.5	12.5	12.5	-	-	12.5
	その他	29	37.9	17.2	10.3	10.3	20.7	10.3	3.4
	グループホーム	15	20.0	20.0	-	66.7	6.7	6.7	-
	無回答	18	38.9	5.6	5.6	16.7	11.1	5.6	16.7

(4) 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度

問4-1 あなたは、福岡市は安全・安心のための社会環境整備ができていると感じていますか。
(○は1つだけ)

【図表10-90 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度】



【図表10-91 年齢詳細別、世帯状況別 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度】(%)

	調査数(人)	福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度						
		感じている	どちらかといえば感じている	どちらかといえば感じていない	感じていない	わからない	無回答	
全体	661	7.1	26.0	13.2	9.7	40.2	3.8	
年齢詳細	17歳以下	4	25.0	-	25.0	-	50.0	-
	18～29歳	26	3.8	23.1	7.7	7.7	53.8	3.8
	30歳代	57	3.5	24.6	12.3	8.8	49.1	1.8
	40歳代	89	5.6	24.7	15.7	14.6	38.2	1.1
	50歳代	103	2.9	22.3	18.4	11.7	42.7	1.9
	60～64歳	59	11.9	25.4	13.6	11.9	32.2	5.1
	65～74歳	158	6.3	29.1	10.8	9.5	41.1	3.2
	75歳以上	154	11.0	27.9	11.7	4.5	37.0	7.8
	無回答	11	9.1	27.3	9.1	27.3	27.3	-
全体	661	7.1	26.0	13.2	9.7	40.2	3.8	
世帯状況別	一人暮らし	125	9.6	27.2	12.0	10.4	38.4	2.4
	夫婦のみ	206	8.3	24.8	14.1	8.7	39.3	4.9
	二世帯同居(親と本人)	60	3.3	25.0	16.7	6.7	41.7	6.7
	二世帯同居(子と本人)	200	5.0	28.0	13.5	10.0	41.5	2.0
	三世帯	8	-	37.5	25.0	-	25.0	12.5
	その他	29	10.3	24.1	10.3	17.2	37.9	-
	グループホーム	15	-	20.0	6.7	6.7	66.7	-
	無回答	18	16.7	16.7	-	16.7	33.3	16.7

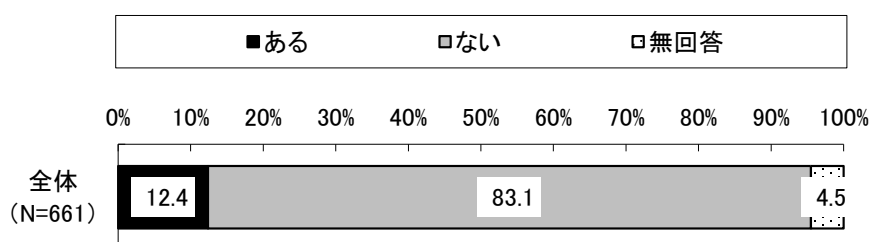
11. 福祉施策全般について

- ・差別を受けたり、いやな思いをした経験は、「ない」(83.1%)が8割を超えている。年齢詳細別にみると、比較的若い年齢層で「ある」割合が高い傾向にあり、18～29歳では38.5%みられる。【図表10-92、図表10-93】
- ・障がい者の人権に関して問題があると思うことは、「道路の段差や建物の階段など外出先での不便が多いこと」(32.1%)が最も高い。年齢詳細別にみると、18～30歳代では「就職・職場で不利な扱いを受けること」「障がい者の意見や行動が尊重されないこと」の割合が高く、それに加えて18～29歳では「人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないこと」、30～40歳代では「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べ高くなっている。【図表10-95、図表10-96】
- ・障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいことは、「障がい者に配慮した保健、医療体制及び医療費公費負担制度の充実」(48.6%)が最も高くなっている。年齢詳細別にみると、18～40歳代では「就労支援の充実(働くための訓練や職場定着など)」の割合が他の年代に比べて高く、3割を超えている。また、40～50歳代では「年金など、所得保障の充実」の割合が5割を超え高くなっている。【図表10-97、図表10-98】
- ・障がい者支援として地域社会や企業等に望むことは、「障がいに対する理解を深める」(44.2%)と「公共交通機関や建物等を障がい者が利用しやすいようにつくる」(43.9%)がともに4割を超え高くなっている。年齢詳細別にみると、30歳代では「障がいに対する理解を深める」(61.4%)の割合が6割強と高くなっている。また、30～40歳代では「企業で障がい者を積極的に雇用する」の割合が4割前後と高い。【図表10-99、図表10-100】
- ・福岡市の暮らしやすさは、「わからない」(38.6%)が最も高いが、『感じている』(「感じている」+「どちらかといえば感じている」)の割合も33.5%みられる。年齢詳細別にみると、『感じている』の割合は、60～64歳で47.5%を占め高くなっている。一方、30歳代は『感じていない』が合わせて36.9%と他の年代よりも高くなっている。【図表10-101、図表10-102】

(1) 差別を受けたり、いやな思いをした経験

問42 あなたは、ここ2～3年の間に、疾患があるため、差別を受けたりいやな思いをしたことがありますか。(○は1つだけ)

【図表10-92 差別を受けたり、いやな思いをした経験】



【図表10-93 年齢詳細別 差別を受けたり、いやな思いをした経験】(%)

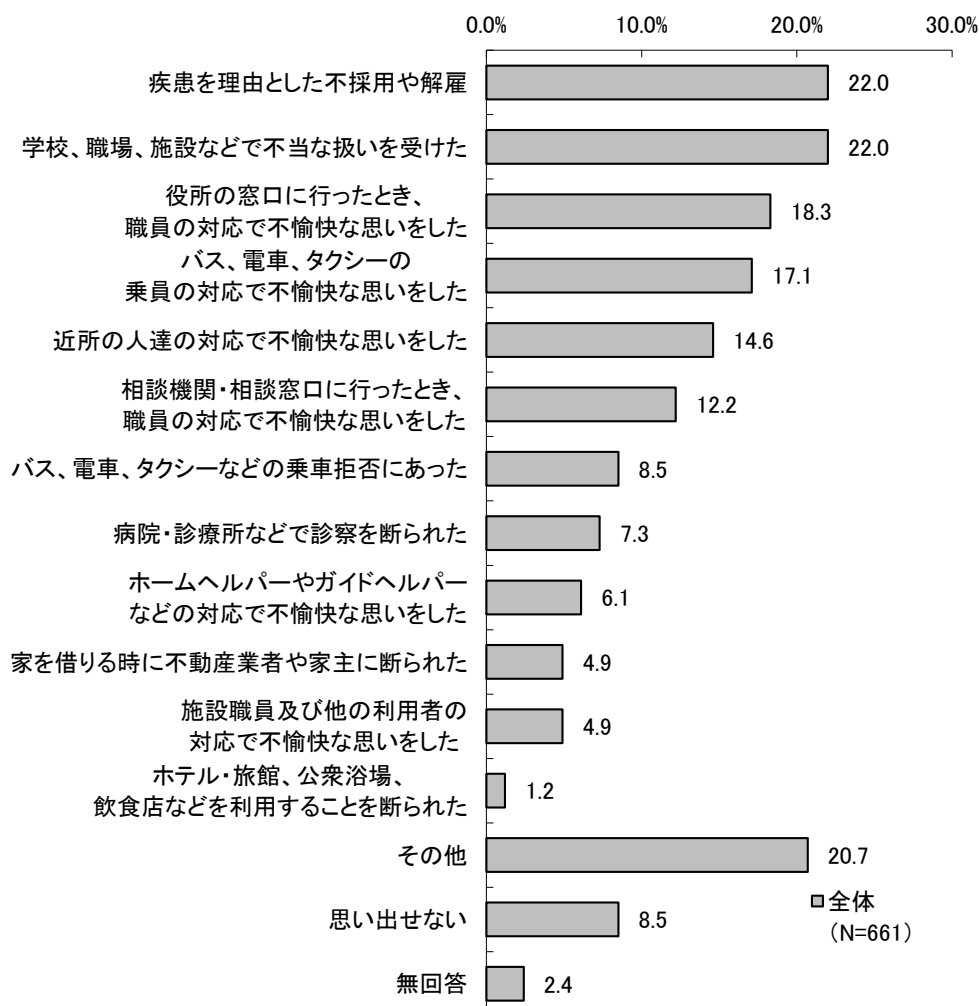
	調査数 (人)	差別を受けたり、いやな 思いをした経験			
		ある	ない	無回答	
全体	661	12.4	83.1	4.5	
年齢詳細	17歳以下	4	25.0	75.0	-
	18～29歳	26	38.5	61.5	-
	30歳代	57	21.1	77.2	1.8
	40歳代	89	18.0	79.8	2.2
	50歳代	103	10.7	83.5	5.8
	60～64歳	59	13.6	83.1	3.4
	65～74歳	158	5.1	90.5	4.4
	75歳以上	154	9.1	83.1	7.8
	無回答	11	18.2	81.8	-

(2) 差別を受けたり、いやな思いをした内容

[問42で「1」を選ばれた方におたずねします]

問42-1 どのようなことで、いやな思いをしましたか。(○はあてはまるものすべて)

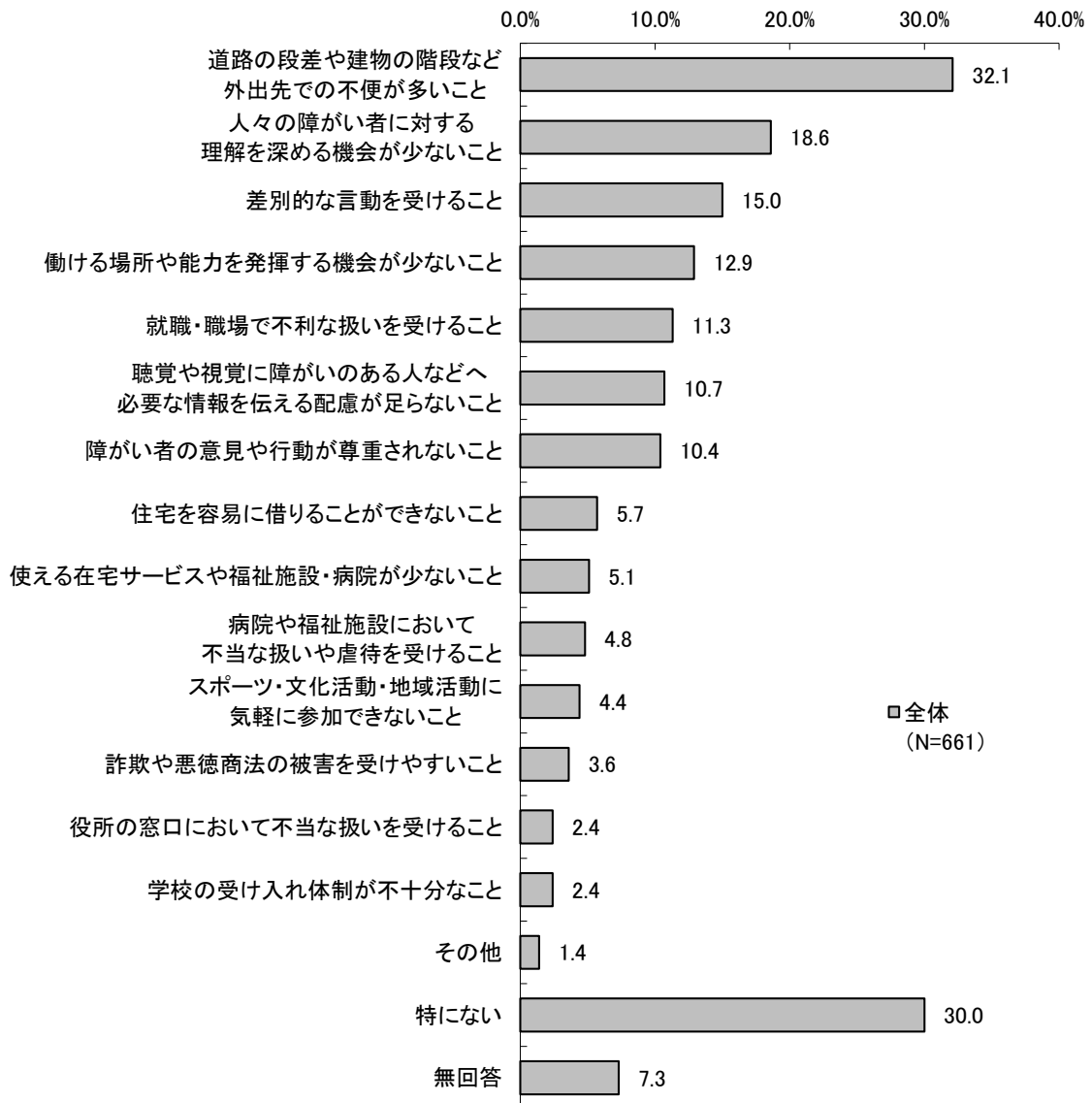
【図表10-94 差別を受けたり、いやな思いをした内容】



(3) 障がい者の人権に関して問題があると思うこと

問43 難病患者を含め、障がい者に関する事柄で、特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

【図表10-95 障がい者の人権に関して問題があると思うこと】



【図表10-96 年齢詳細別 障がい者の人権に関して問題があると思うこと】(%)

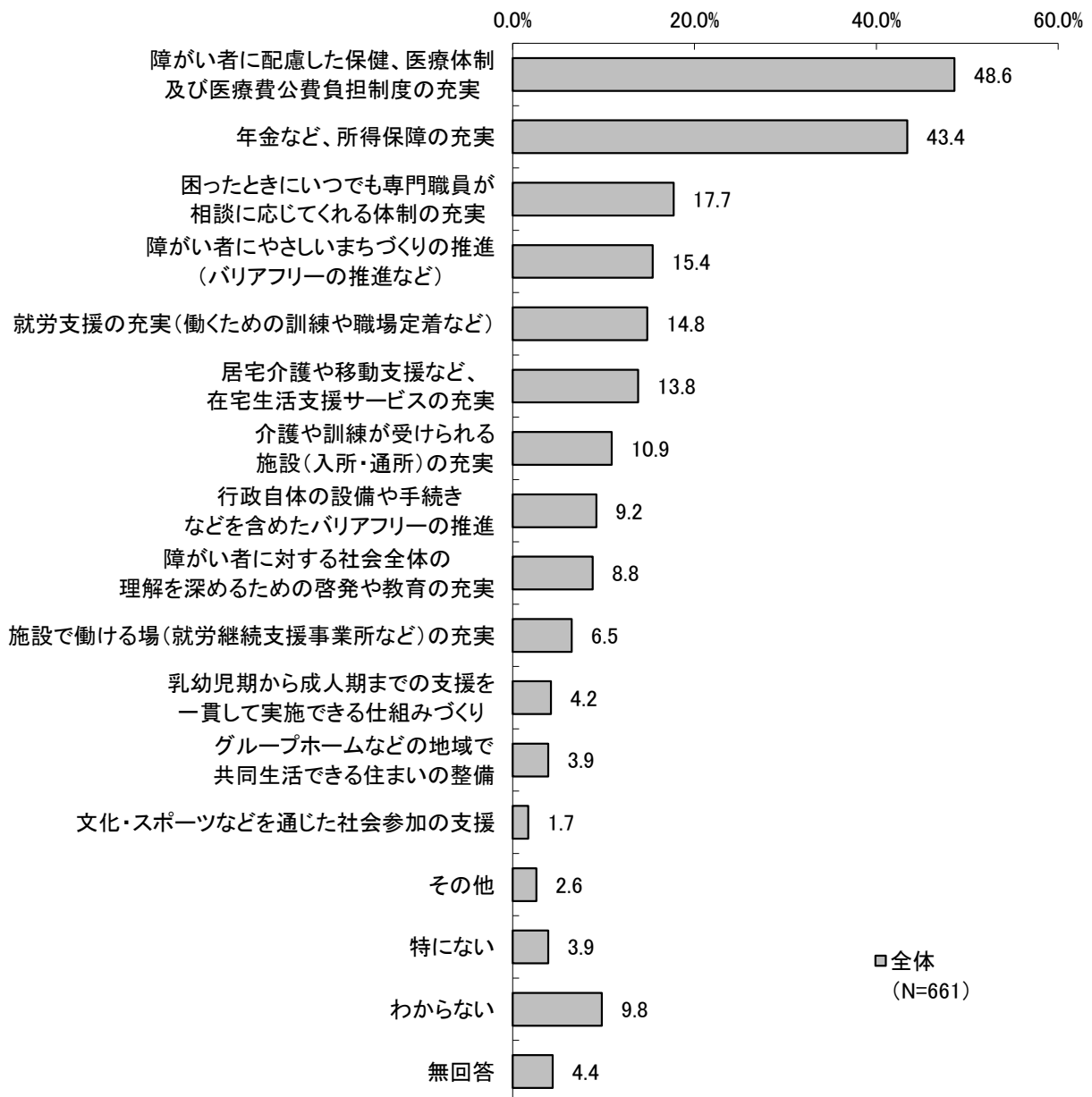
	調査数(人)	障がい者の人権に関して問題があると思うこと									
		とど道とと解人差る働受就る人聴重障で住施使 外路のとを々別機働ける職配な覚さがい宅を設え 出の段のをの々的会的会場の・慮などやされい容を・る在 先の差の深のの的言少場・職慮へや視の者の意の易に病院 でのやめ障障言動を少場・職慮へや視の者の意の易に病院 不便物の機会が少場・職慮へや視の者の意の易に病院 がの階のが少場・職慮へや視の者の意の易に病院 多の段のが少場・職慮へや視の者の意の易に病院 い段のこな	とど道とと解人差る働受就る人聴重障で住施使 外路の段のをの々的会的会場の・慮などや視の者の意の易に病院 先の差の深の障言動を少場・職慮へや視の者の意の易に病院 でのやめ障障言動を少場・職慮へや視の者の意の易に病院 不便物の機会が少場・職慮へや視の者の意の易に病院 がの階のが少場・職慮へや視の者の意の易に病院 多の段のこな	とど道とと解人差る働受就る人聴重障で住施使 外路の段のをの々的会的会場の・慮などや視の者の意の易に病院 先の差の深の障言動を少場・職慮へや視の者の意の易に病院 でのやめ障障言動を少場・職慮へや視の者の意の易に病院 不便物の機会が少場・職慮へや視の者の意の易に病院 がの階のが少場・職慮へや視の者の意の易に病院 多の段のこな	とど道とと解人差る働受就る人聴重障で住施使 外路の段のをの々的会的会場の・慮などや視の者の意の易に病院 先の差の深の障言動を少場・職慮へや視の者の意の易に病院 でのやめ障障言動を少場・職慮へや視の者の意の易に病院 不便物の機会が少場・職慮へや視の者の意の易に病院 がの階のが少場・職慮へや視の者の意の易に病院 多の段のこな	とど道とと解人差る働受就る人聴重障で住施使 外路の段のをの々的会的会場の・慮などや視の者の意の易に病院 先の差の深の障言動を少場・職慮へや視の者の意の易に病院 でのやめ障障言動を少場・職慮へや視の者の意の易に病院 不便物の機会が少場・職慮へや視の者の意の易に病院 がの階のが少場・職慮へや視の者の意の易に病院 多の段のこな	とど道とと解人差る働受就る人聴重障で住施使 外路の段のをの々的会的会場の・慮などや視の者の意の易に病院 先の差の深の障言動を少場・職慮へや視の者の意の易に病院 でのやめ障障言動を少場・職慮へや視の者の意の易に病院 不便物の機会が少場・職慮へや視の者の意の易に病院 がの階のが少場・職慮へや視の者の意の易に病院 多の段のこな	とど道とと解人差る働受就る人聴重障で住施使 外路の段のをの々的会的会場の・慮などや視の者の意の易に病院 先の差の深の障言動を少場・職慮へや視の者の意の易に病院 でのやめ障障言動を少場・職慮へや視の者の意の易に病院 不便物の機会が少場・職慮へや視の者の意の易に病院 がの階のが少場・職慮へや視の者の意の易に病院 多の段のこな	とど道とと解人差る働受就る人聴重障で住施使 外路の段のをの々的会的会場の・慮などや視の者の意の易に病院 先の差の深の障言動を少場・職慮へや視の者の意の易に病院 でのやめ障障言動を少場・職慮へや視の者の意の易に病院 不便物の機会が少場・職慮へや視の者の意の易に病院 がの階のが少場・職慮へや視の者の意の易に病院 多の段のこな	とど道とと解人差る働受就る人聴重障で住施使 外路の段のをの々的会的会場の・慮などや視の者の意の易に病院 先の差の深の障言動を少場・職慮へや視の者の意の易に病院 でのやめ障障言動を少場・職慮へや視の者の意の易に病院 不便物の機会が少場・職慮へや視の者の意の易に病院 がの階のが少場・職慮へや視の者の意の易に病院 多の段のこな	とど道とと解人差る働受就る人聴重障で住施使 外路の段のをの々的会的会場の・慮などや視の者の意の易に病院 先の差の深の障言動を少場・職慮へや視の者の意の易に病院 でのやめ障障言動を少場・職慮へや視の者の意の易に病院 不便物の機会が少場・職慮へや視の者の意の易に病院 がの階のが少場・職慮へや視の者の意の易に病院 多の段のこな
全体	661	32.1	18.6	15.0	12.9	11.3	10.7	10.4	5.7	5.1	
年齢詳細	17歳以下	4	-	25.0	25.0	-	-	25.0	-	-	
	18～29歳	26	15.4	42.3	15.4	19.2	34.6	7.7	23.1	3.8	
	30歳代	57	24.6	15.8	22.8	24.6	26.3	5.3	26.3	1.8	
	40歳代	89	29.2	23.6	16.9	24.7	19.1	12.4	12.4	3.4	
	50歳代	103	34.0	19.4	15.5	16.5	12.6	12.6	11.7	3.9	
	60～64歳	59	35.6	16.9	18.6	15.3	13.6	10.2	6.8	11.9	
	65～74歳	158	32.9	17.7	15.8	8.9	5.7	15.8	6.3	5.1	
	75歳以上	154	38.3	13.0	7.8	2.6	1.3	7.1	5.8	6.5	
無回答	11	9.1	27.3	18.2	-	18.2	-	9.1	-		

	調査数(人)	障がい者の人権に関して問題があると思うこと							
		と当病こ活スけ詐扱役分学そ特無 な院と動ポや欺のい校のの他に 扱や福とにポやすやのの窓のの いや福ににー ツやすや悪のの受 やや福ににに ツやすや悪のの受 虐施にににに ツやすや悪のの受 待設ににににに ツやすや悪のの受 をにににににににににににに 受おににににににににににに けていてこ不	と当病こ活スけ詐扱役分学そ特無 な院と動ポややすやのの窓のの他に いや福にににに ツやすや悪のの受 やや福ににににに ツやすや悪のの受 虐施ににににににににににににに 待設ににににににににににににに をににににににににににににに 受おににににににににににににに けていてこ不	と当病こ活スけ詐扱役分学そ特無 な院と動ポややすやのの窓のの他に いや福にににに ツやすや悪のの受 やや福ににににに ツやすや悪のの受 虐施ににににににににににににに 待設ににににににににににににに をににににににににににににに 受おににににににににににににに けていてこ不	と当病こ活スけ詐扱役分学そ特無 な院と動ポややすやのの窓のの他に いや福にににに ツやすや悪のの受 やや福ににににに ツやすや悪のの受 虐施ににににににににににににに 待設ににににににににににににに をににににににににににににに 受おににににににににににににに けていてこ不	と当病こ活スけ詐扱役分学そ特無 な院と動ポややすやのの窓のの他に いや福にににに ツやすや悪のの受 やや福ににににに ツやすや悪のの受 虐施ににににににににににににに 待設ににににににににににににに をににににににににににににに 受おににににににににににににに けていてこ不	と当病こ活スけ詐扱役分学そ特無 な院と動ポややすやのの窓のの他に いや福にににに ツやすや悪のの受 やや福ににににに ツやすや悪のの受 虐施ににににににににににににに 待設ににににににににににににに をににににににににににににに 受おににににににににににににに けていてこ不	と当病こ活スけ詐扱役分学そ特無 な院と動ポややすやのの窓のの他に いや福にににに ツやすや悪のの受 やや福ににににに ツやすや悪のの受 虐施ににににににににににににに 待設ににににににににににににに をににににににににににににに 受おににににににににににににに けていてこ不	と当病こ活スけ詐扱役分学そ特無 な院と動ポややすやのの窓のの他に いや福にににに ツやすや悪のの受 やや福ににににに ツやすや悪のの受 虐施ににににににににににににに 待設ににににににににににににに をににににににににににににに 受おににににににににににににに けていてこ不
全体	661	4.8	4.4	3.6	2.4	2.4	1.4	30.0	7.3
年齢詳細	17歳以下	4	25.0	-	-	-	-	50.0	-
	18～29歳	26	3.8	7.7	3.8	3.8	-	3.8	3.8
	30歳代	57	17.5	3.5	7.0	7.0	5.3	1.8	24.6
	40歳代	89	3.4	3.4	2.2	3.4	2.2	3.4	31.5
	50歳代	103	4.9	3.9	1.9	-	1.0	1.0	28.2
	60～64歳	59	3.4	8.5	5.1	-	1.7	-	28.8
	65～74歳	158	5.1	4.4	5.7	2.5	3.8	1.9	32.3
	75歳以上	154	1.3	3.9	1.9	2.6	1.9	-	31.8
無回答	11	-	-	-	-	-	-	36.4	

(4) 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと

問4.4 難病患者を含め、障がいのある人が暮らしやすい社会をつくるために、国や県、市に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

【図表10-97 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと】



【図表10-98 年齢詳細別、世帯状況別
障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと】(%)

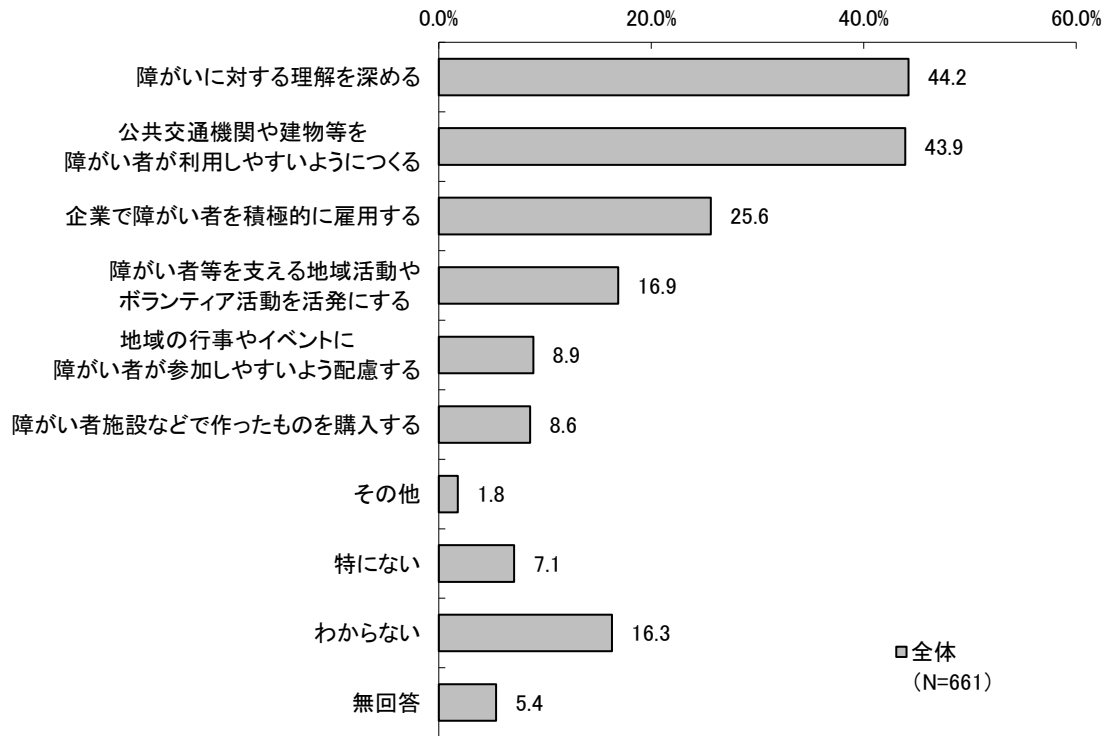
	調査数(人)	障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと															
		公健障 費、が 負担医 担療者 制に 度の制 の及 充慮 実び 医 療 費	実年 金な ど、 所得 保障 の充	門職 の体 制が 相談 に充 実に 応じ ても く専	困った とき にい つで も専	リく ーの 推推 進進 など （パ リア ア フ	障が いの 推推 進進 など （パ リア ア フ	どめ の訓 練支 援の 充 実（ 職場 定 着な くた	就労 支 援の 充 実（ 働 き	スの 充在 実宅 生 活支 援サ ー ビ	居宅 介 護や 移 動支 援な び	実設 （入 所・ 通所 ）の 充 れる	介護 や 訓練 が受 けら れる	行政 の自 体た めた りア フ 手 続 き	啓発 や教 育の 充 実	障が いの 理 解を 深め るた め	障が いの 理 解を 深め るた め
全体	661	48.6	43.4	17.7	15.4	14.8	13.8	10.9	9.2	8.8							
年齢詳細	17歳以下	4	-	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	50.0						
	18～29歳	26	53.8	23.1	11.5	11.5	30.8	3.8	-	3.8	15.4						
	30歳代	57	56.1	49.1	8.8	14.0	33.3	7.0	7.0	17.5	14.0						
	40歳代	89	57.3	53.9	11.2	11.2	30.3	9.0	3.4	7.9	11.2						
	50歳代	103	51.5	54.4	20.4	18.4	17.5	3.9	8.7	7.8	8.7						
	60～64歳	59	33.9	45.8	23.7	16.9	13.6	16.9	11.9	10.2	8.5						
	65～74歳	158	53.2	42.4	17.1	17.1	10.1	20.3	15.2	7.6	6.3						
	75歳以上	154	40.9	32.5	21.4	14.9	1.3	19.5	13.6	11.0	5.8						
	無回答	11	36.4	36.4	27.3	9.1	-	18.2	36.4	-	9.1						
全体	661	48.6	43.4	17.7	15.4	14.8	13.8	10.9	9.2	8.8							
世帯状況別	一人暮らし	125	48.8	38.4	20.8	16.0	14.4	9.6	10.4	8.8	11.2						
	夫婦のみ	206	48.5	48.1	20.9	16.0	11.2	16.5	9.2	8.3	5.3						
	二世帯同居(親と本人)	60	40.0	53.3	16.7	11.7	30.0	8.3	5.0	6.7	13.3						
	二世帯同居(子と本人)	200	53.0	41.0	15.0	15.5	16.5	13.5	11.5	10.0	10.0						
	三世帯	8	37.5	37.5	25.0	12.5	25.0	12.5	25.0	-	12.5						
	その他	29	37.9	44.8	17.2	20.7	13.8	10.3	10.3	17.2	6.9						
	グループホーム	15	46.7	40.0	-	20.0	-	26.7	33.3	6.7	6.7						
	無回答	18	50.0	22.2	5.6	5.6	-	27.8	22.2	16.7	5.6						

	調査数(人)	障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと								
		の継 充実 施設 で支 援事 業所 な ど （就 業）	施 で支 援期 を か ら 組 み 貫 つ て 実 り	乳 幼 児 の 共 同 生 活 で 可 能 な 支 援	住 地 域 の 共 同 生 活 で 可 能 な 支 援	グ ル ー プ ホ ー ム な ど の 支 援	通 文 化 的 ・ 社 会 参 加 の 支 援	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い
全体	661	6.5	4.2	3.9	1.7	2.6	3.9	9.8	4.4	
年齢詳細	17歳以下	4	-	-	-	-	25.0	25.0	-	
	18～29歳	26	11.5	-	-	-	3.8	3.8	15.4	
	30歳代	57	10.5	12.3	5.3	1.8	3.5	-	7.0	
	40歳代	89	6.7	3.4	1.1	-	7.9	4.5	7.9	2.2
	50歳代	103	12.6	2.9	1.0	1.0	1.9	4.9	6.8	2.9
	60～64歳	59	5.1	11.9	5.1	5.1	1.7	-	11.9	3.4
	65～74歳	158	5.7	3.2	5.1	1.3	1.9	3.2	10.8	3.2
	75歳以上	154	1.9	1.9	6.5	2.6	0.6	5.8	11.0	11.0
	無回答	11	-	-	-	-	-	9.1	9.1	-
全体	661	6.5	4.2	3.9	1.7	2.6	3.9	9.8	4.4	
世帯状況別	一人暮らし	125	7.2	2.4	6.4	3.2	3.2	3.2	12.8	2.4
	夫婦のみ	206	4.4	1.9	1.9	1.5	2.4	3.4	7.3	6.8
	二世帯同居(親と本人)	60	5.0	3.3	3.3	-	3.3	5.0	11.7	1.7
	二世帯同居(子と本人)	200	10.0	8.0	3.5	2.0	1.5	3.5	10.0	3.5
	三世帯	8	-	-	-	-	12.5	-	-	12.5
	その他	29	6.9	6.9	-	-	3.4	10.3	13.8	-
	グループホーム	15	-	6.7	26.7	-	-	6.7	6.7	-
	無回答	18	-	-	5.6	-	5.6	5.6	11.1	16.7

(5) 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと

問45 難病患者を含め、障がいある人が暮らしやすい社会をつくるために、地域社会や企業に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

【図表10-99 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと】



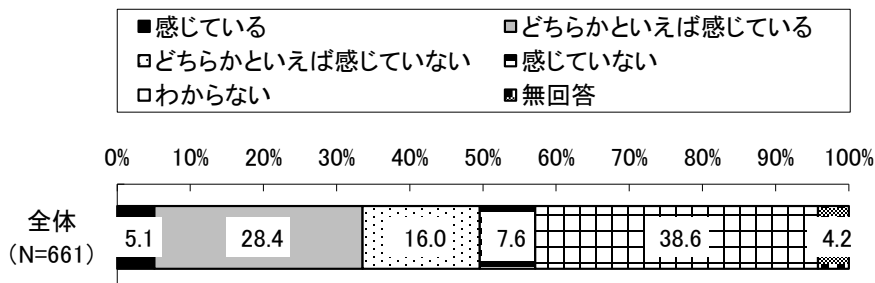
【図表10-100 年齢詳細別 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと】 (%)

	調査数 (人)	障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと										
		深障 めが るに 対す る理 解を	すを公 い障共 よが交 うい通 つが機 く利や る用建 し物や 等	的企 に業 雇で 用障 する い者 を積 極	活域 動活 を動 活や 発ポ にラ す支 すテ るイ ア地	障 が い の う い 配 者 が 参 加 し や	すに地 い障域 がの うい 配者 事 が 参 加 し や	作障 つが たい もの の施 を設 購入 など する	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体	661	44.2	43.9	25.6	16.9	8.9	8.6	1.8	7.1	16.3	5.4	
年齢詳細	17歳以下	4	25.0	25.0	25.0	-	-	-	25.0	25.0	-	
	18~29歳	26	50.0	34.6	30.8	15.4	3.8	7.7	3.8	15.4	-	
	30歳代	57	61.4	45.6	43.9	8.8	5.3	3.5	3.5	1.8	3.5	
	40歳代	89	46.1	47.2	37.1	9.0	5.6	5.6	3.4	10.1	2.2	
	50歳代	103	44.7	47.6	26.2	23.3	5.8	7.8	1.0	6.8	2.9	
	60~64歳	59	35.6	40.7	16.9	15.3	8.5	3.4	3.4	1.7	18.6	5.1
	65~74歳	158	46.2	46.2	27.8	19.0	10.1	10.8	1.3	7.6	13.3	5.1
	75歳以上	154	37.0	40.3	13.0	18.2	14.3	9.7	0.6	6.5	22.7	11.7
	無回答	11	45.5	36.4	9.1	27.3	9.1	54.5	-	18.2	18.2	-

(6) 福岡市の暮らしやすさ

問46 あなたは、福岡市は障がいのある人が暮らしやすいまちだと感じていますか。
(○は1つだけ)

【図表10-101 福岡市の暮らしやすさ】



【図表10-102 年齢詳細別 福岡市の暮らしやすさ】 (%)

	調査数 (人)	福岡市の暮らしやすさ						
		感じている	どちらかといえば感じている	どちらかといえば感じていない	感じていない	わからない	無回答	
全体	661	5.1	28.4	16.0	7.6	38.6	4.2	
年齢詳細	17歳以下	4	-	25.0	-	25.0	50.0	-
	18～29歳	26	3.8	34.6	19.2	3.8	38.5	-
	30歳代	57	5.3	14.0	24.6	12.3	43.9	-
	40歳代	89	3.4	27.0	16.9	14.6	36.0	2.2
	50歳代	103	1.9	27.2	23.3	3.9	40.8	2.9
	60～64歳	59	8.5	39.0	16.9	1.7	30.5	3.4
	65～74歳	158	3.8	29.1	12.7	10.1	41.8	2.5
	75歳以上	154	9.1	29.2	11.0	3.2	37.0	10.4
	無回答	11	-	36.4	9.1	18.2	27.3	9.1

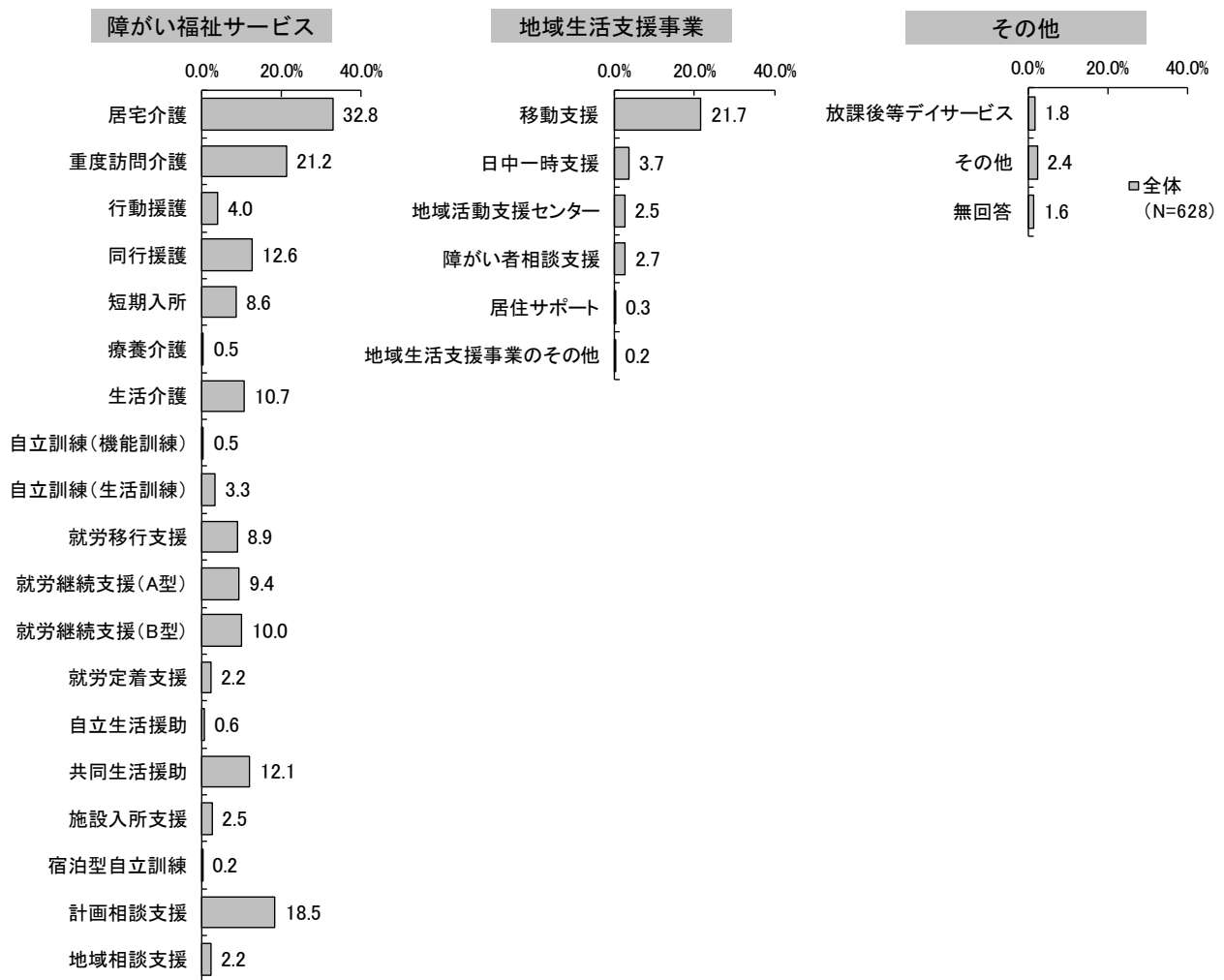
第11章 事業者等状況調査

1. 事業所の概要について

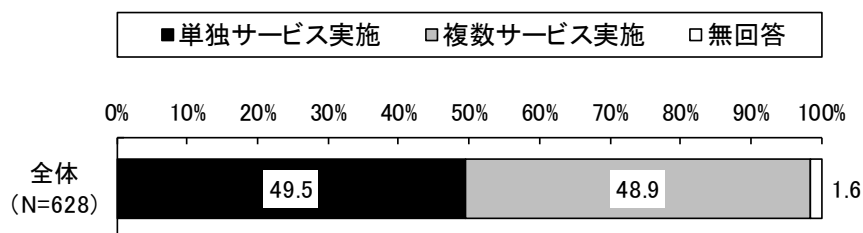
・提供しているサービスは「居宅介護」(32.8%)が3割強と最も多く、次いで「移動支援」(21.7%)、「重度訪問介護」(21.2%)がそれぞれ2割台で続いている。また、単独サービス実施事業所は49.5%、複数サービス実施事業所は48.9%となっており、それぞれ約5割で拮抗している。【図表11-1、図表11-2】

(1) 提供サービスの種類・数

【図表11-1 提供サービスの種類】

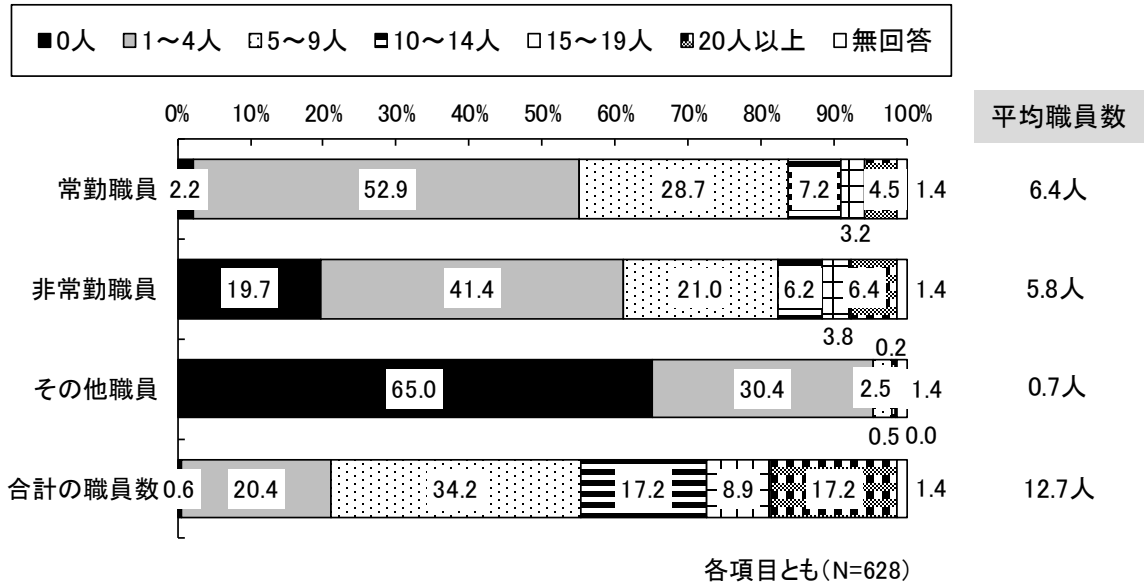


【図表11-2 提供サービス数】



(2) 職員数

【図表11-3 職員数】



常勤職員：週32時間以上サービスに従事している職員
 非常勤職員：週32時間未満サービスに従事している職員
 その他職員：事務員等サービスに従事していない職員

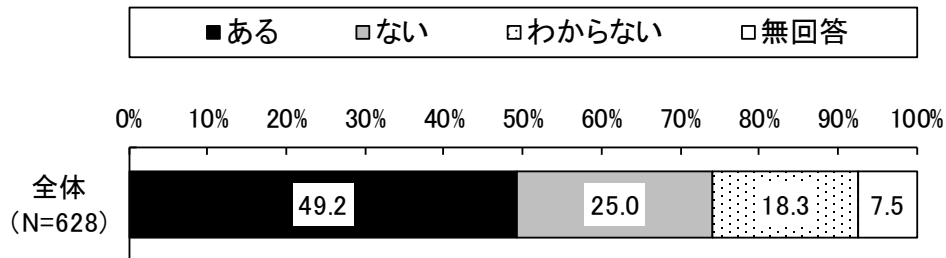
2. 障がい者福祉施策全般について

- 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無について、「ある」(49.2%)が約半数となっている。拡大してほしいサービスの内容は、「グループホーム」(48.2%)が最も多く、次いで「短期入所」(32.7%)、「居宅介護」と「移動支援」(ともに19.7%)となっている。【図表11-4、図表11-5】
- 地域の人からあったらいい支援・交流の内容について、「地域の行事やイベントと一緒に参加する」(64.3%)が6割台を占めて最も多く、次いで「普段から定期的に声かけなどをする(見守る)」(54.6%)、「趣味やスポーツ活動を一緒にする」(49.5%)、「世間話をして一緒に過ごす」(31.7%)となっている。【図表11-6】
- 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこととしては、「グループホームなどの地域で共同生活できる住まいの整備」(44.7%)が最も多く、次いで「障がい者に対する社会全体の理解を深めるための啓発や教育の充実」(30.6%)、「困ったときにいつでも専門職員が相談に応じてくれる体制の充実」(28.5%)となっている。【図表11-7】
- 障がい者支援として地域社会や企業に望むこととしては、「障がいに対する理解を深める」(67.5%)が7割弱を占めて最も多く、次いで「公共交通機関や建物等を障がい者が利用しやすいようにつくる」(45.1%)、「企業で障がい者を積極的に雇用する」(43.9%)となっている。【図表11-8】

(1) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無

問 4 1～28のサービス・事業の中で、サービスの量が不足していたり、利用対象・範囲の拡大を図るべきだと思うものがありますか。(○は1つだけ)

【図表11-4 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無】

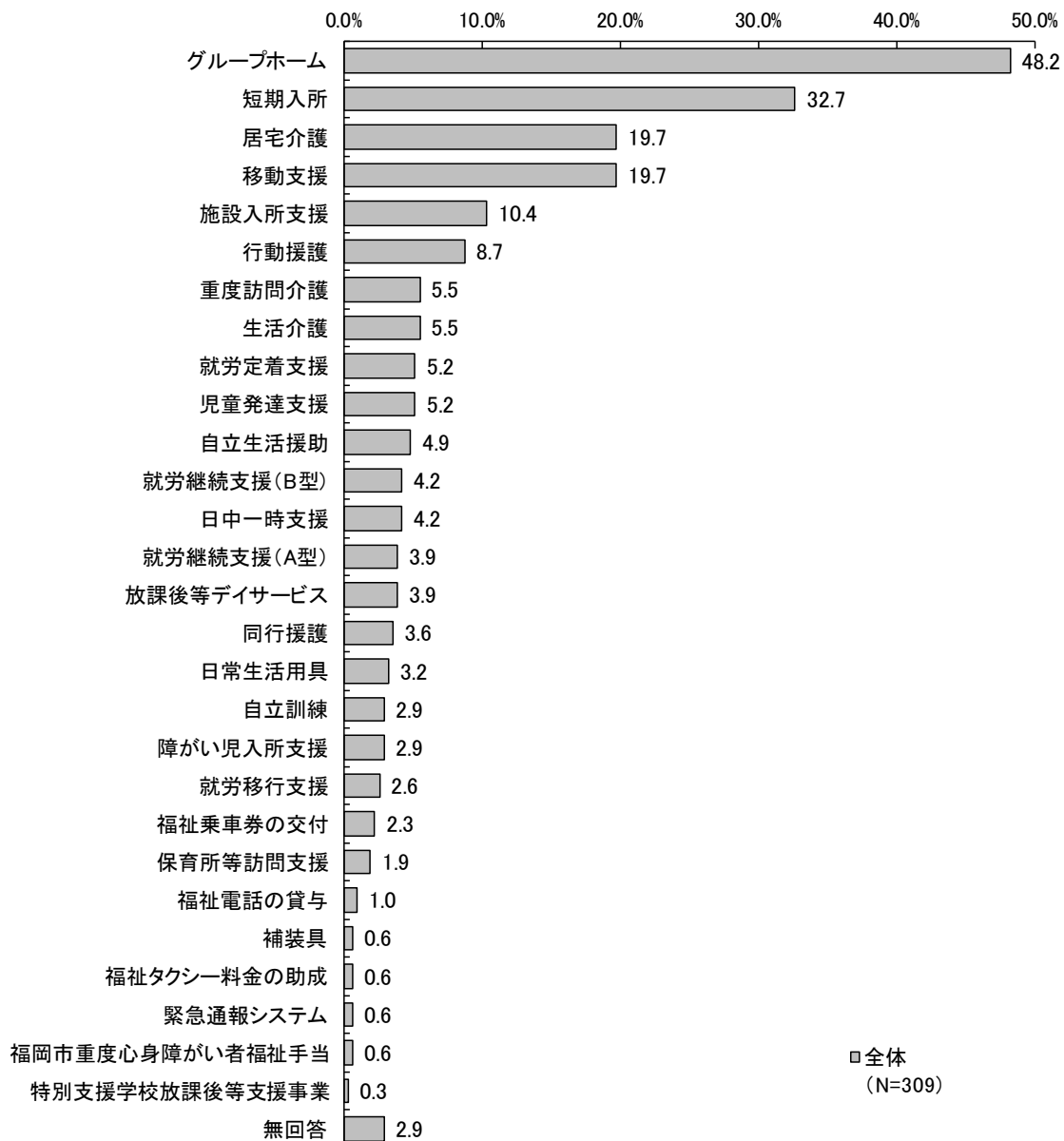


(2) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス

[問4で「1」を選ばれた方におたずねします]

問4-1 それはどのサービス・事業ですか。優先度が高いと思うものを3つまで選んでください。(事業番号は1～28の数字を記入してください)

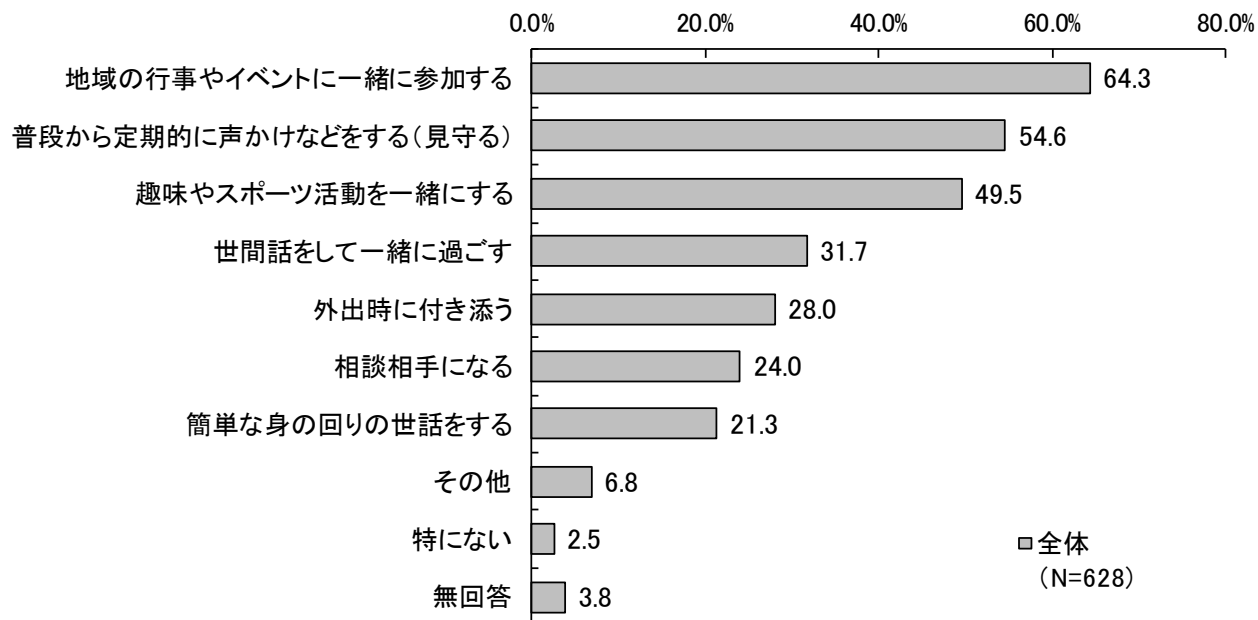
【図表11-5 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス】



(3) 地域の人からあったらいい支援・交流の内容

問5 地域の方が、障がいのある人のために、何かボランティア活動をしたいと思っている場合、どのような支援・交流があったらいいと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

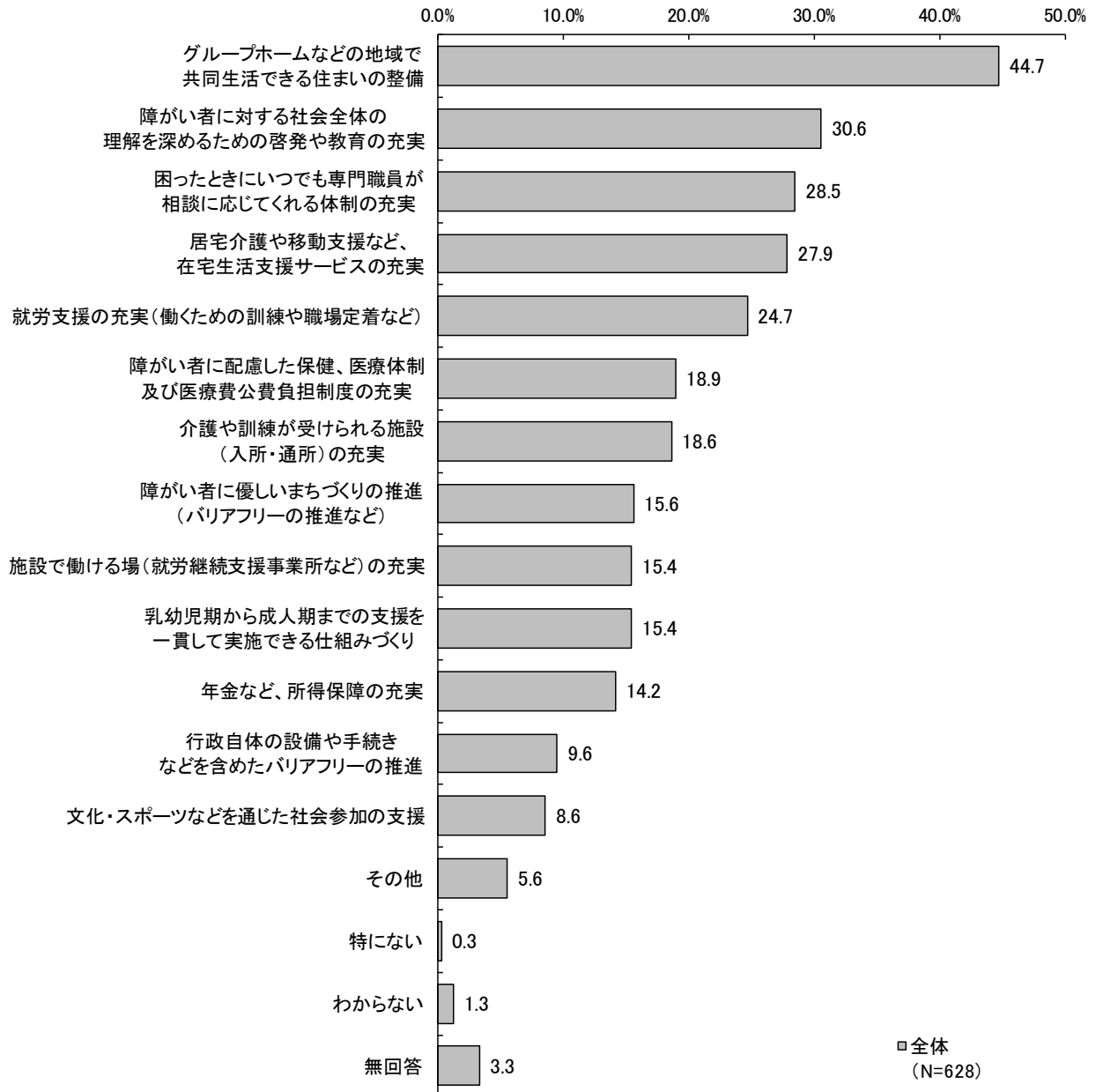
【図表11-6 地域の人からあったらいい支援・交流の内容】



(4) 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと

問 6 障がいのある人が暮らしやすい社会をつくるために、国や県、市に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

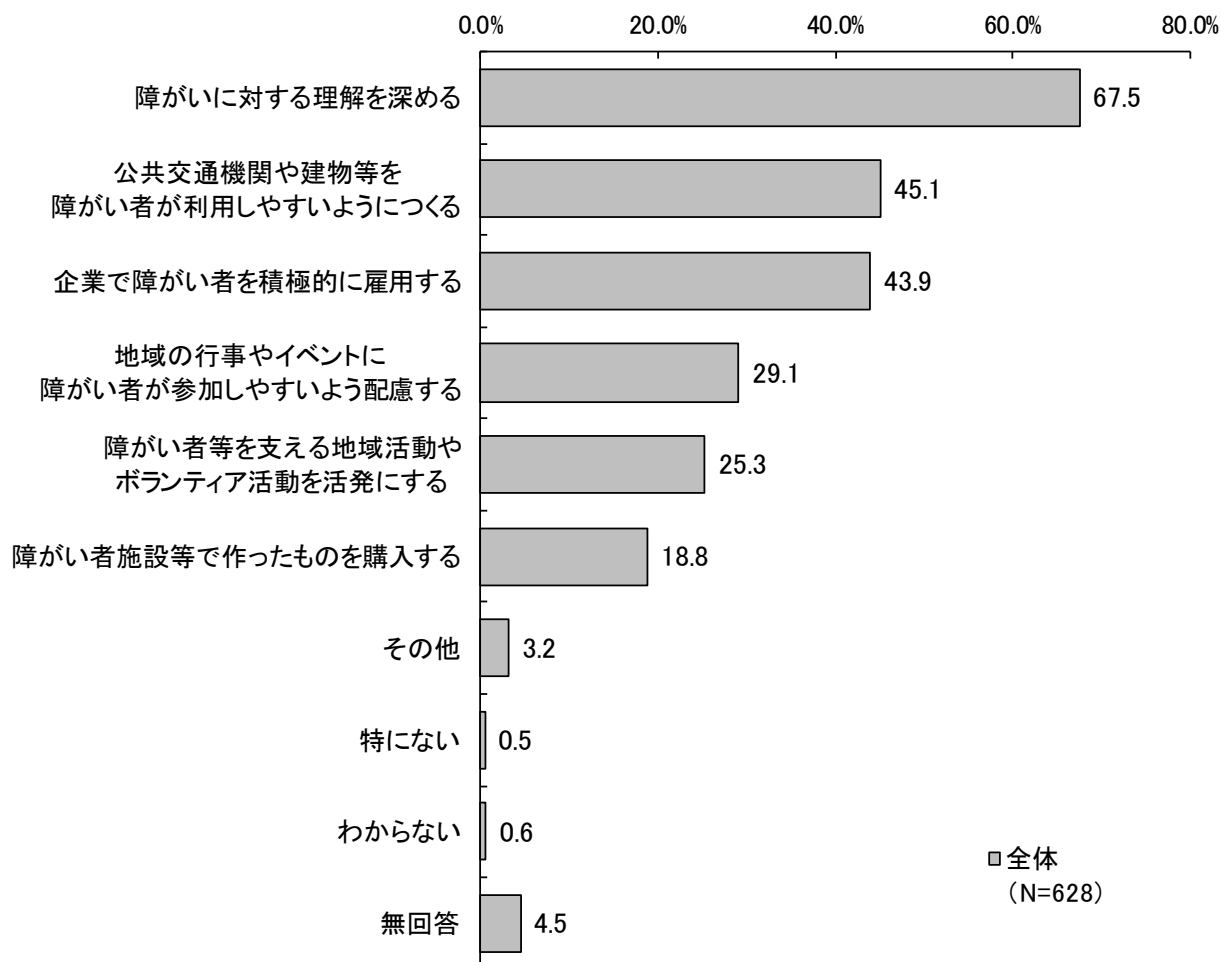
【図表11-7 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと】



(5) 障がい者支援として地域社会や企業に望むこと

問7 障がいのある人が暮らしやすい社会をつくるために、地域社会や企業に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

【図表11-8 障がい者支援として地域社会や企業に望むこと】



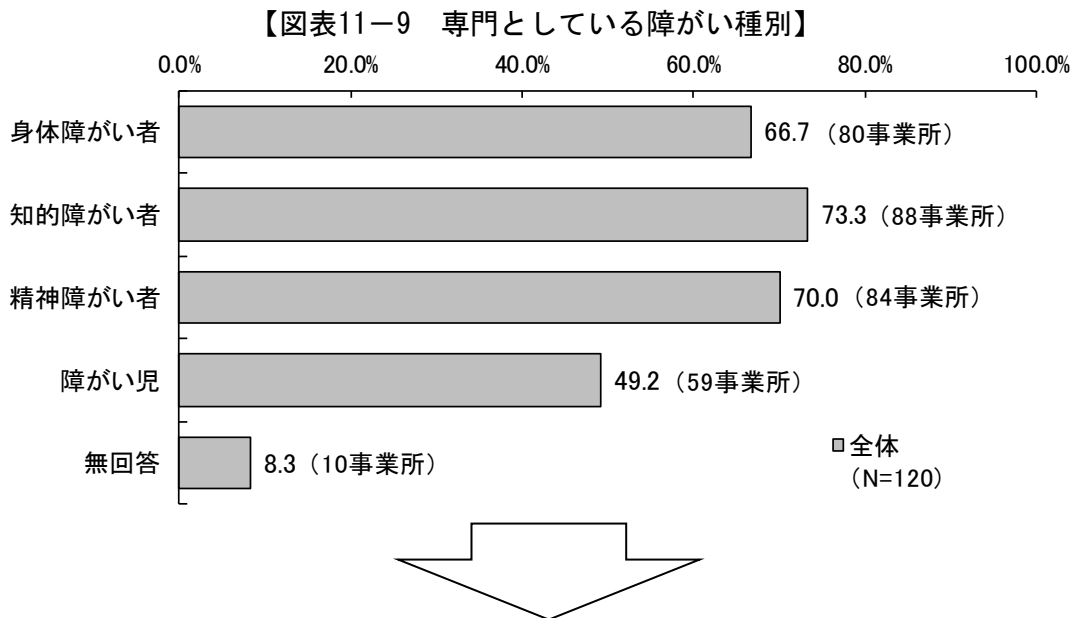
3. 相談支援事業について

- * 以下は、相談支援事業を実施している事業所・関係機関を対象とした設問である。
 <対象> あいあいセンター、知的障がい者相談支援センター、精神障がい者相談支援センター、
 指定相談支援事業所、ゆうゆうセンター、西部療育センター、東部療育センター
- * 回答事業所数：120事業所
- * 回答事業所数が少数であるため、集計結果については、実数値（事業所数）も掲載している。

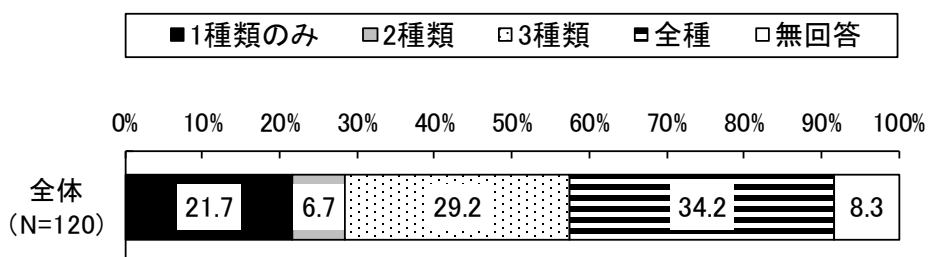
- ・「知的障がい者」を専門としている事業所が88事業所（73.3%）と多く、次いで「精神障がい者」84事業所（70.0%）となっている。各事業所の相談対象を整理すると、「全種」を対象としている事業所が41事業所（34.2%）と最も多く、次いで「3種類」を対象としている事業所が35事業所（29.2%）となっている。【図表11-9、図表11-10】
- ・相談支援の観点から不足している社会資源については、「医療ケアが可能な短期入所施設」（49事業所、40.8%）が最も多く、次いで「グループホーム」（44事業所、36.7%）、「障がい者が入居できる住まい」（37事業所、30.8%）が続いている。【図表11-12】
- ・相談支援を実施するうえでの課題としては、「社会資源の不足で、障がい者（児）のニーズに十分対応できない」が60事業所（50.0%）で最も多く、次いで「相談支援専門員の人数が不足している」（42事業所、35.0%）、「困難事例の処遇をどのようにしたらよいかわからない」（39事業所、32.5%）となっている。【図表11-13】

(1) 専門としている障がい種別

問9 貴事業所が主たる対象としている障がい種別は何ですか。（○はあてはまるものすべて）



【図表11-10 専門としている障がい種別の組合わせ】



(2) 相談支援専門員の職員数

問10 以下の各職種の職員数をご記入ください。1人の相談支援専門員（コーディネーター）が複数の障がいを担当している場合はそれぞれに1人と記入してください。なお、該当者がいない場合は、0人とご記入ください。

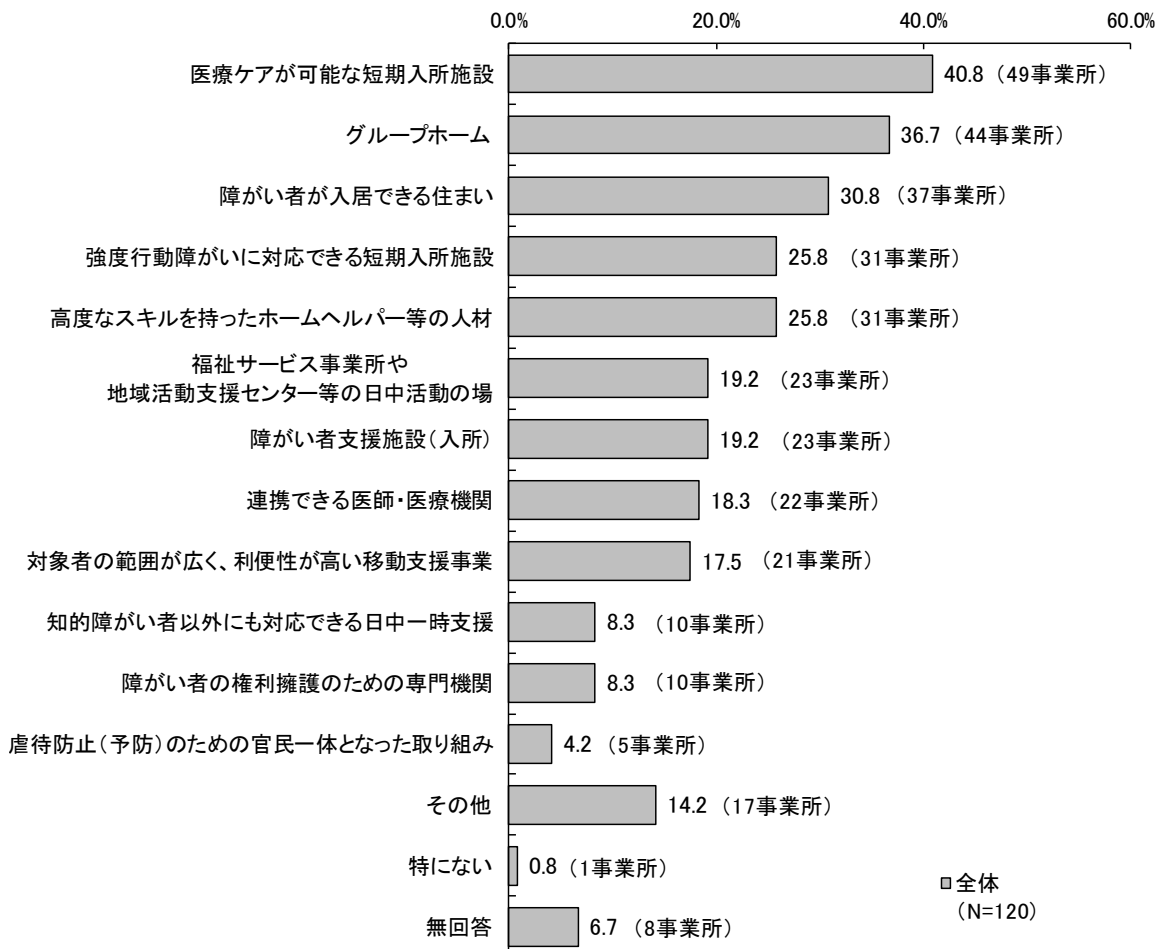
【図表11-11 相談支援専門員の職員数】（上段=実数、下段=%）

	調査数	専従				兼任			
		職員あり	職員なし	無回答	平均職員数（人）	職員あり	職員なし	無回答	平均職員数（人）
身体障がい	120 100.0	62 51.7	45 37.5	13 10.8	1.25	38 31.7	69 57.5	13 10.8	0.76
知的障がい	120 100.0	68 56.7	38 31.7	14 11.7	1.31	40 33.3	66 55.0	14 11.7	0.82
精神障がい	120 100.0	62 51.7	44 36.7	14 11.7	1.28	43 35.8	62 51.7	15 12.5	1.01

(3) 相談支援の観点から不足している社会資源

問11 相談支援の観点から、不足している社会資源は何だと思えますか。（○は3つまで）

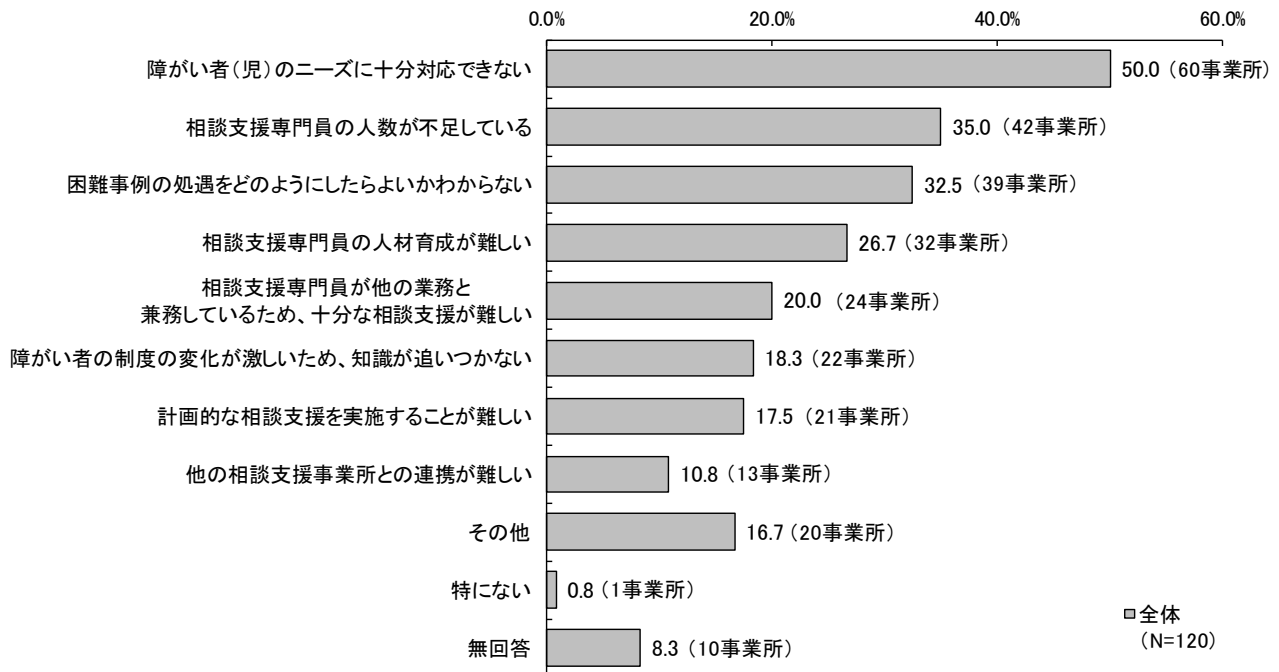
【図表11-12 相談支援の観点から不足している社会資源】



(4) 相談支援を実施するうえでの課題

問 1 2 相談支援を実施するうえで、どのような課題がありますか。
 (○はあてはまるものすべて)

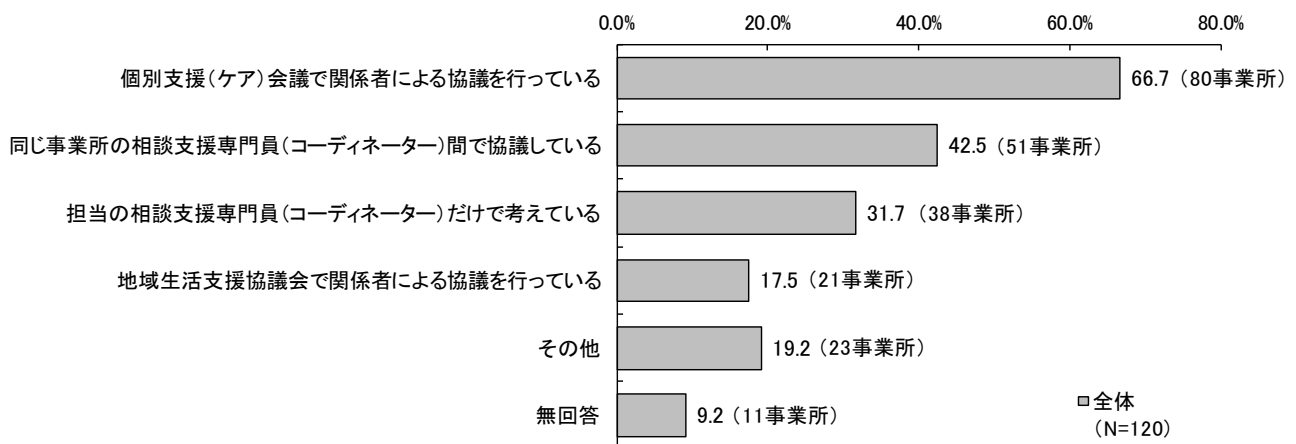
【図表11-13 相談支援を実施するうえでの課題】



(5) 相談支援に関する利用者ニーズへの対応方法

問 1 3 利用者のニーズにはどのように対応していますか。(○はあてはまるものすべて)

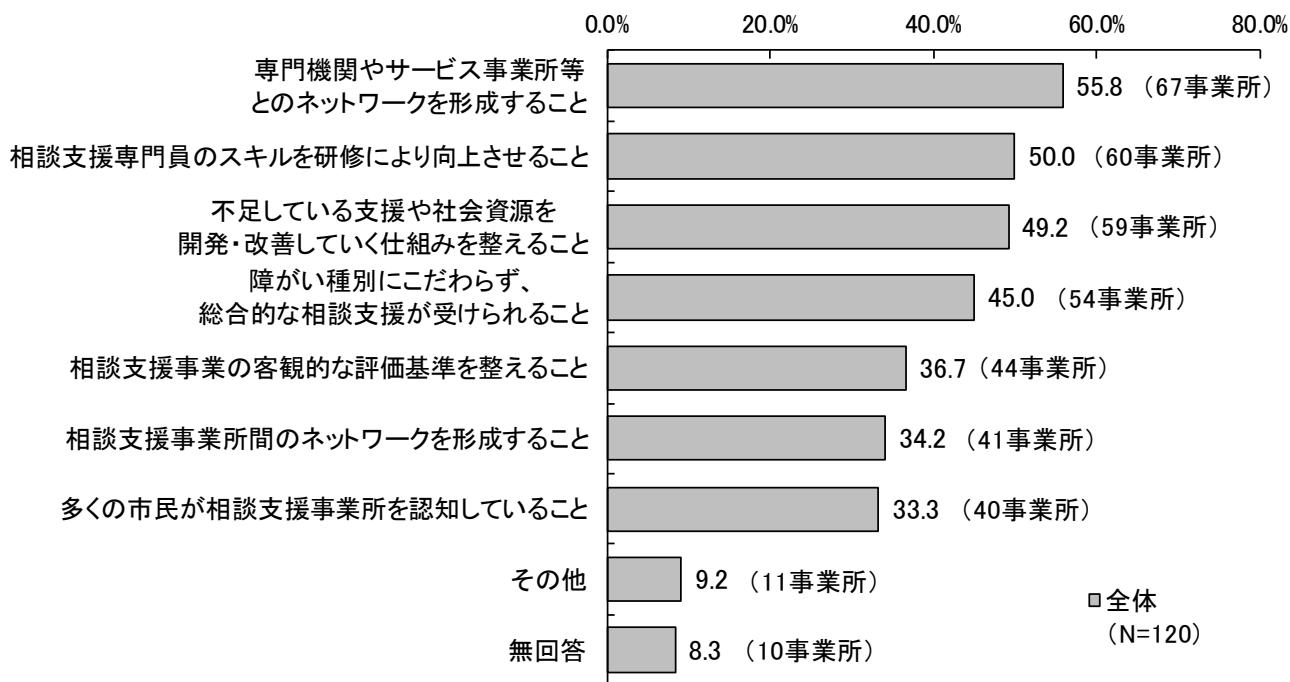
【図表11-14 相談支援に関する利用者ニーズへの対応方法】



(6) 相談支援の発展のために必要なこと

問 1 4 相談支援の発展のために必要なことは何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表11-15 相談支援の発展のために必要なこと】



4. 居宅介護等サービス全般について

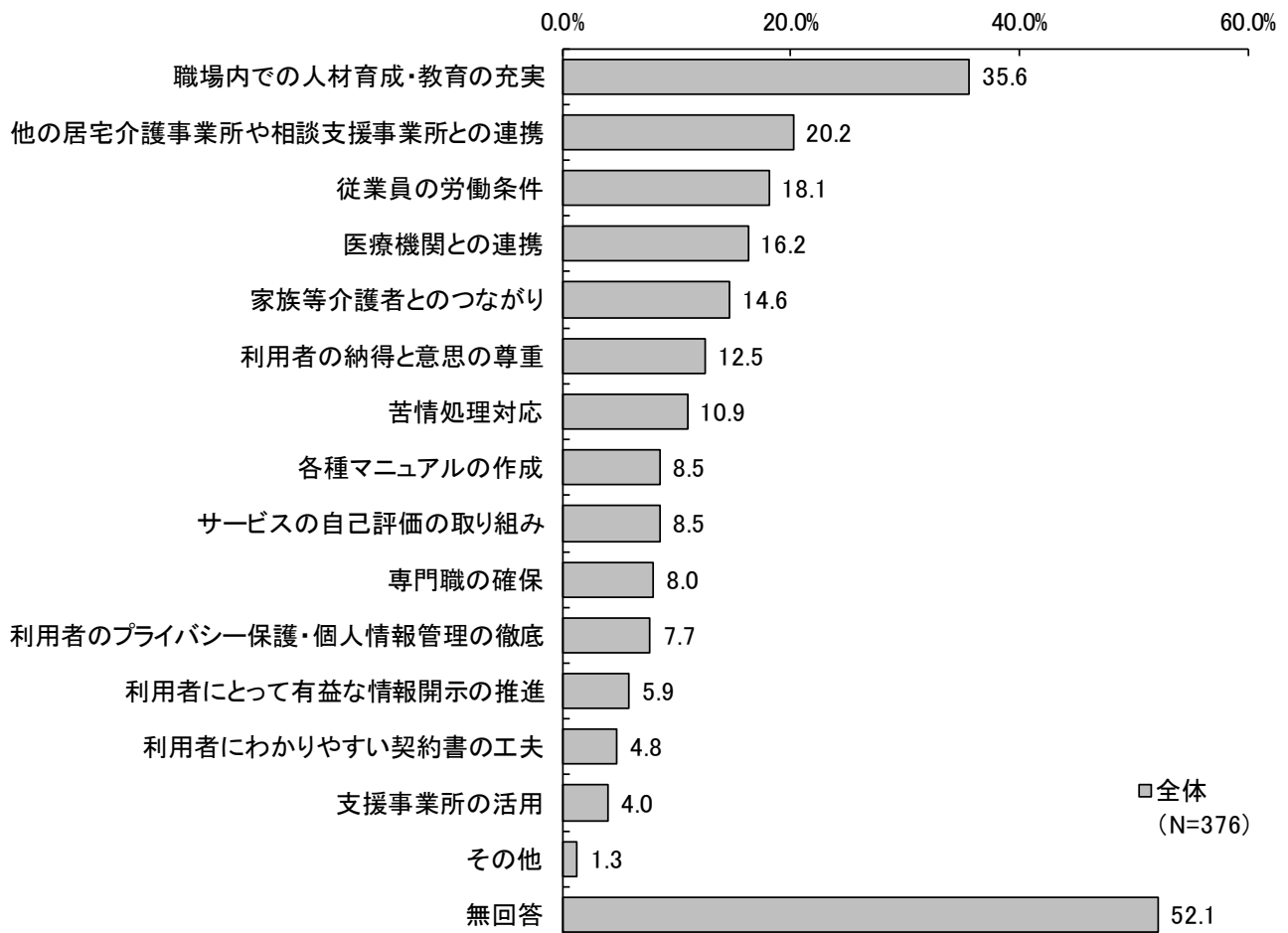
- * 以下は、居宅介護等サービスを実施している事業所を対象とした設問である。
 <対象>相談支援事業所、施設事業所以外の障がい福祉サービス事業所（短期入所・日中一時支援事業所も含む）、
 地域生活支援事業所
- * 回答事業所数：376事業所

・居宅介護等サービス事業所で取り組むべきこととしては、「職場内での人材育成・教育の充実」(35.6%)が最も多く、次いで「他の居宅介護事業所や相談支援事業所との連携」(20.2%)、「従業員の労働条件」(18.1%)、「医療機関との連携」(16.2%)、「家族等介護者とのつながり」(14.6%)となっている。【図表11-16】

(1) 居宅介護等サービス事業所で取り組むべきこと

問15 事業所で取り組む必要があると思うものは何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表11-16 居宅介護等サービス事業所で取り組むべきこと】



5. 行動援護、同行援護、移動支援について

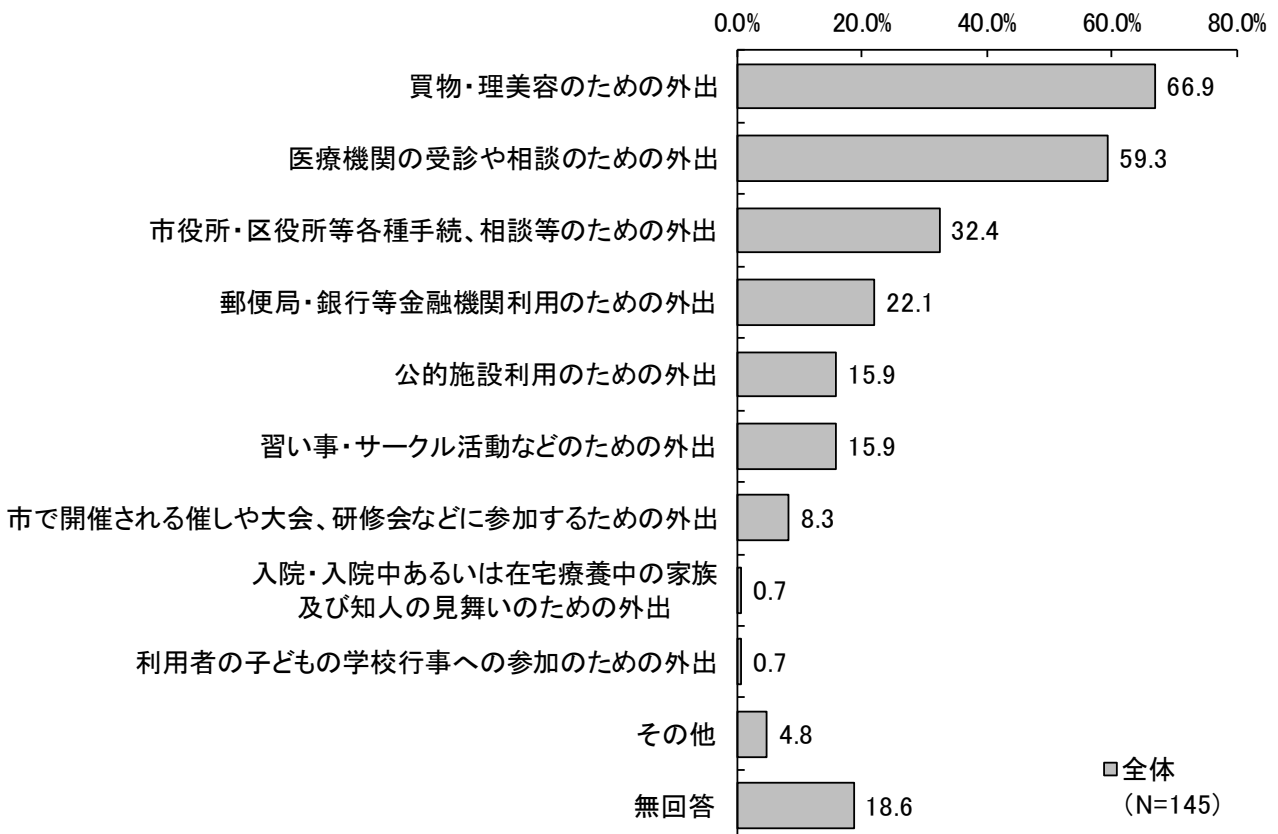
- * 以下は、居宅介護等サービス事業所のうち、「行動援護」、「同行援護」または「移動支援」を実施している事業所を対象とした設問である。
- * 回答事業所数：145事業所（うち、行動援護実施事業所21事業所）

- ・行動援護・同行援護・移動支援で利用が多い外出内容としては、「買物・理美容のための外出」（66.9%）が最も多く、次いで「医療機関の受診や相談のための外出」（59.3%）となっており、半数以上の事業所が買物等や通院のための外出と回答している。【図表11-17】
- ・行動援護・同行援護・移動支援で認めるべきサービスについては、「通年かつ長期にわたる外出（通園、通学、施設等への通所等）」（51.7%）が5割を超えて最も多い。【図表11-18】
- ・行動援護・同行援護・移動支援について不満に思うこととしては、「金銭的負担が大きいタクシーを利用せざるを得ない場合がある」（48.3%）が5割弱で最も多い。【図表11-19】
- ・行動援護事業所（25事業所）がサービス実施にあたり困難に感じることであれば、「要件を満たすヘルパーが集まらない」（14事業所、66.7%）が7割弱を占めており、大半の事業所が困難に感じている。要件を満たすための環境整備に関わる事項が上位にあがっている。【図表11-20】

(1) 行動援護・同行援護・移動支援で利用が多い外出内容

問16 行動援護、同行援護または移動支援は、利用者の社会参加の推進を目的としていますが、事業実施にあたり、利用者がよく利用している外出内容は何だと思えますか。
 (○は3つまで)

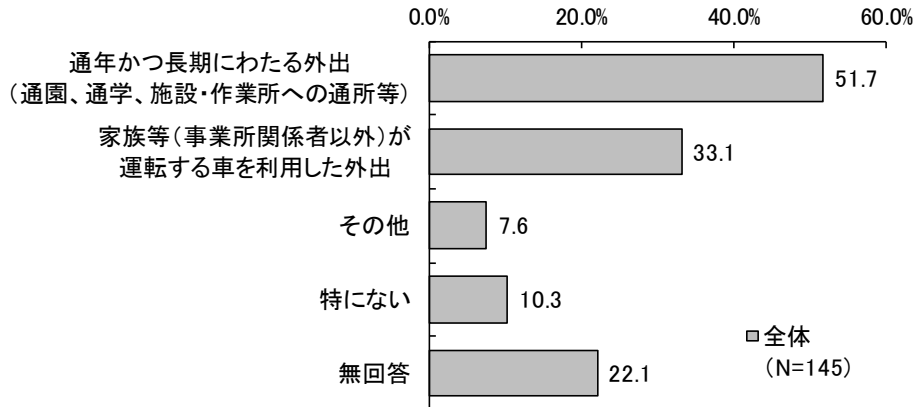
【図表11-17 行動援護・同行援護・移動支援で利用が多い外出内容】



(2) 行動援護・同行援護・移動支援で認めるべきサービス

問 1 7 利用者の社会参加の推進という目的から鑑み、認めるべきと思うサービスは何だと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

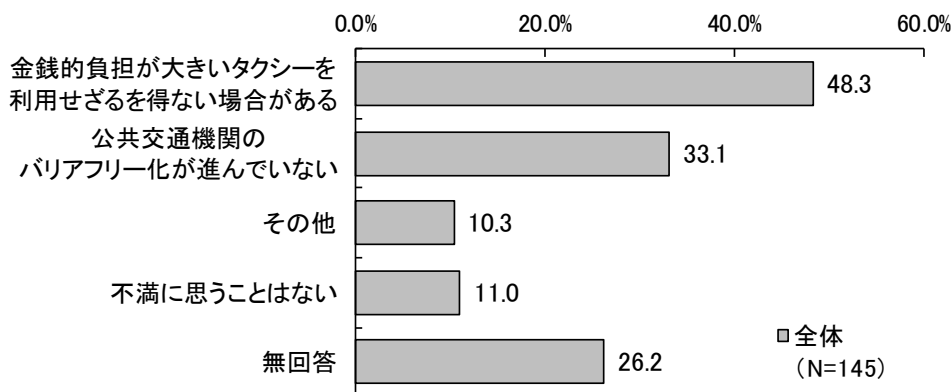
【図表11-18 行動援護・同行援護・移動支援で認めるべきサービス】



(3) 行動援護・同行援護・移動支援について不満に思うこと

問 1 8 行動援護、同行援護または移動支援について、不満に思うことは何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表11-19 行動援護・同行援護・移動支援について不満に思うこと】

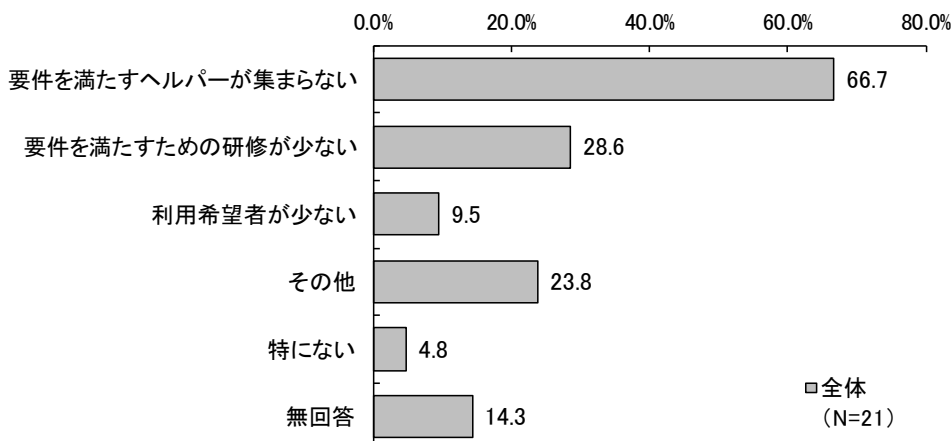


(4) 行動援護の実施にあたり困難を感じる事

[行動援護事業所の方のみお答えください]

問 1 9 行動援護事業の実施にあたり、困難を感じることは何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表11-20 行動援護の実施にあたり困難を感じる事】



6. 施設について

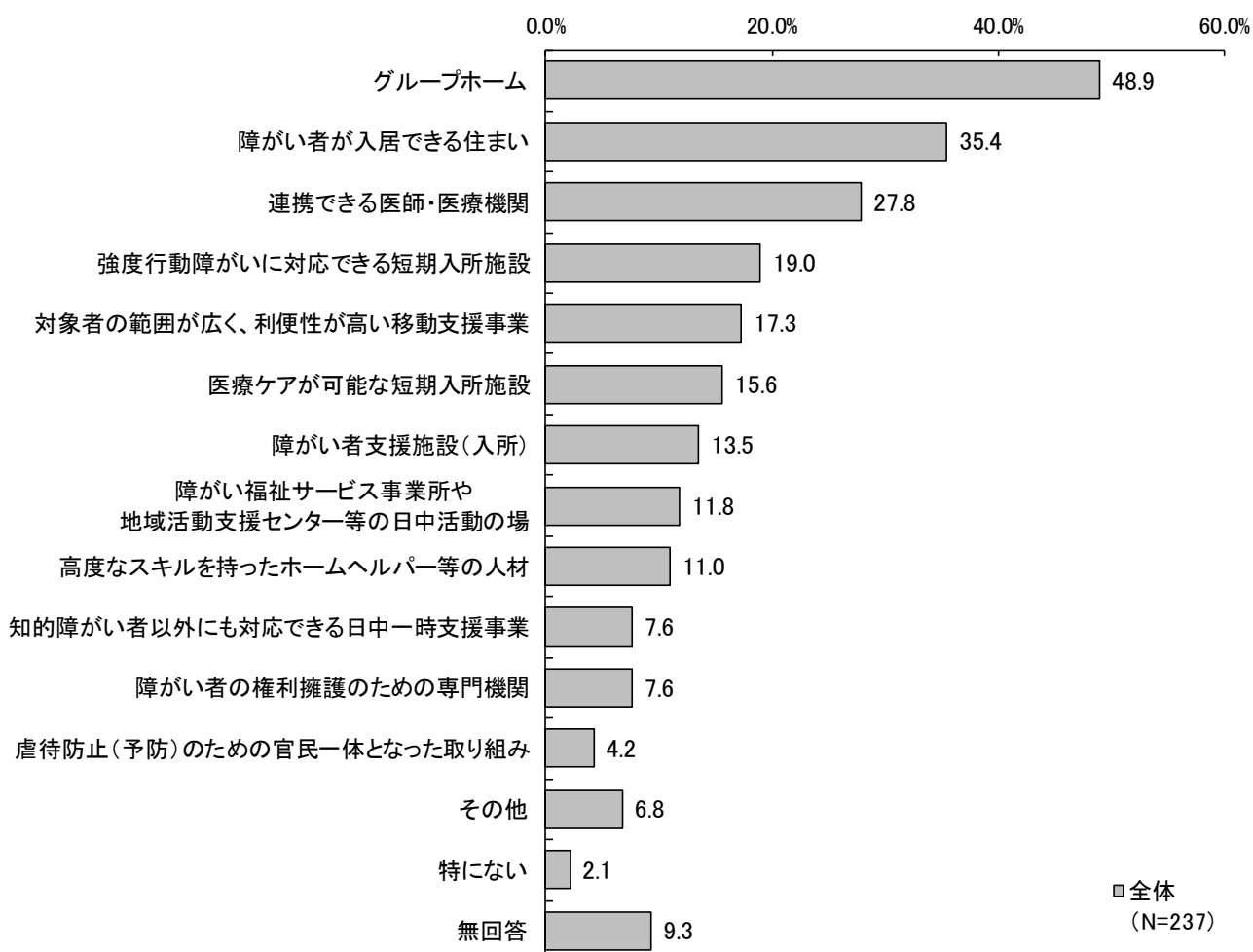
- * 以下は、施設事業所を対象とした設問である。
 <対象>施設入所支援、共同生活援助、宿泊型自立訓練、就労継続支援等
 地域活動支援センター（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型）
- * 回答事業所数：237事業所

- ・施設事業所の観点から不足している社会資源としては、5割弱の事業所が「グループホーム」(48.9%)が不足していると回答しており、次いで「障がい者が入居できる住まい」(35.4%)が続いている。【図表11-21】
- ・施設サービスを提供するうえでの課題として、「職員の確保、人材育成」(67.1%)が7割弱と最も多い。【図表11-22】
- ・施設入所者が地域（在宅）で暮らすために必要な条件等としては、「保健・医療・福祉が連携した支援体制があること」(45.6%)が最も多く、次いで「身近なところで様々な相談ができること」(43.0%)、「障がい者が入居できる民間住宅（アパート等）があること」(38.8%)が続いている。【図表11-23】

(1) 施設事業所の観点から不足している社会資源

問20 施設事業所の観点から、不足している社会資源は何だと思いますか。（○は3つまで）

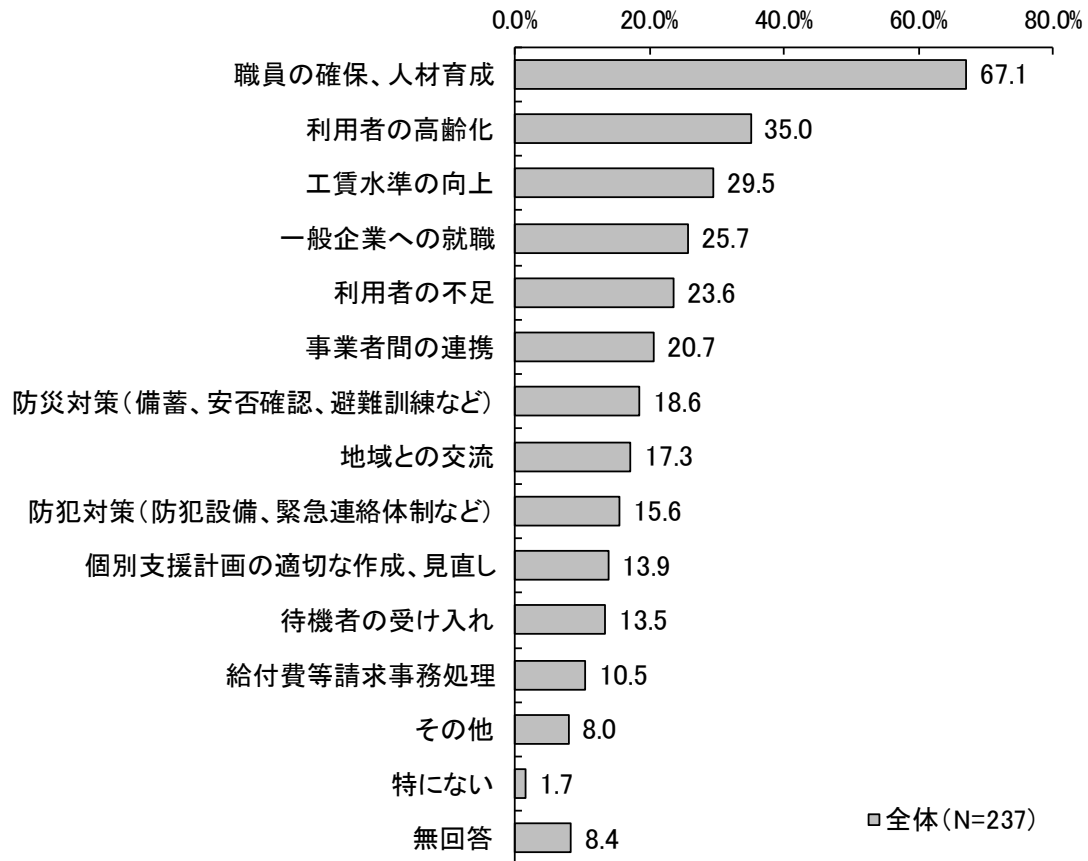
【図表11-21 施設事業所の観点から不足している社会資源】



(2) 施設サービスを提供するうえでの課題

問 2 1 貴事業所において、施設サービスを提供するうえで課題と感ずることはどのようなことですか。(〇はあてはまるものすべて)

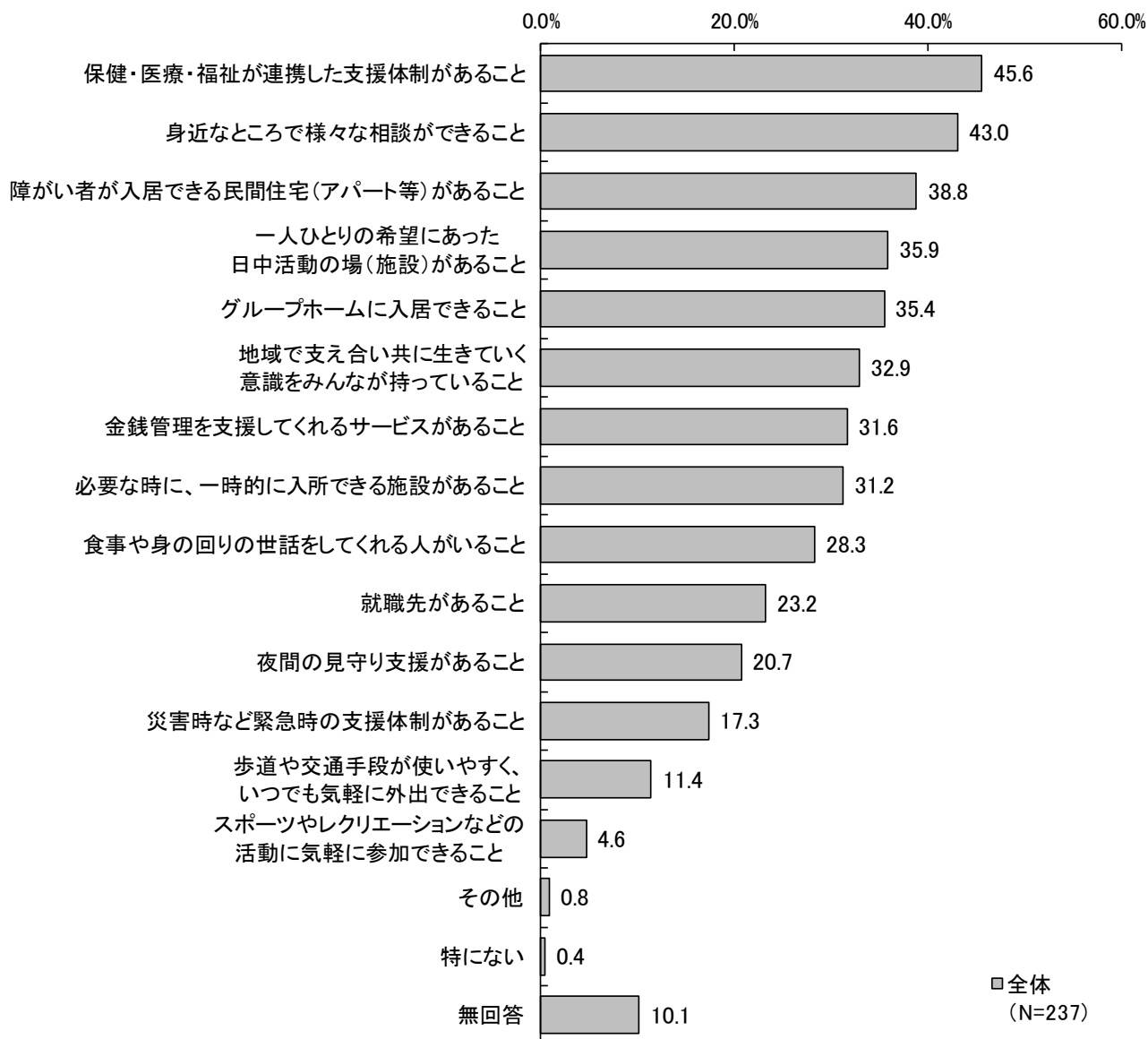
【図表11-22 施設サービスを提供するうえでの課題】



(3) 施設入所者が地域（在宅）で暮らしていくために必要な条件等

問22 施設や病院に入所（入院）している障がい者が、退所（退院）して、地域（在宅）で暮らしていくためにはどのようなこと（条件等）が必要だと思いますか。（○は5つまで）

【図表11-23 施設入所者が地域（在宅）で暮らしていくために必要な条件等】



7. 短期入所・日中一時支援について

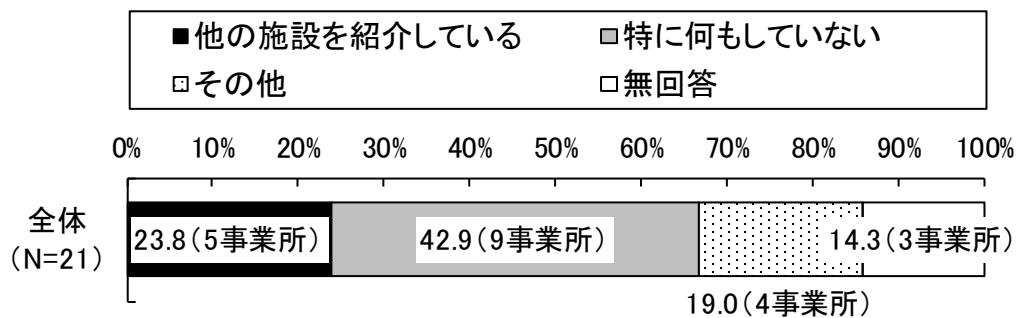
- * 以下は、居宅介護等サービス事業所のうち、「短期入所」または「日中一時支援」を実施している事業所を対象とした設問である。
- * 回答事業所数：21事業所
- * 回答事業所数が少数であるため、集計結果については、実数値（事業所数）も掲載している。

- ・短期入所・日中一時支援の課題と感ずることとしては、「医療的ケアが必要な利用者等に対応できる職員が確保されていない」と「緊急時、本人の身体状況が把握できていないため受入が難しい」（ともに10事業所、47.6%）が最も多く、これに「利用者数が毎日変動するため、人員体制の確保が難しい」（5事業所、23.8%）等が続いている。【図表11-22】
- ・課題として「施設の空きがなく受入を断る時に、他の施設を紹介できない」と回答した4事業所にその理由をたずねたところ、そのすべてが「他の施設の入受体制が分からないため（対象障がい、定員枠等）」と回答している。【図表11-23】

(1) 短期入所・日中一時支援で空きがない場合の対応

問23 施設の空きがなく利用者の受け入れができない場合、どのように対応していますか。
(○は1つだけ)

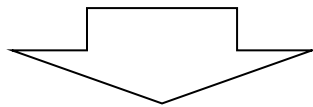
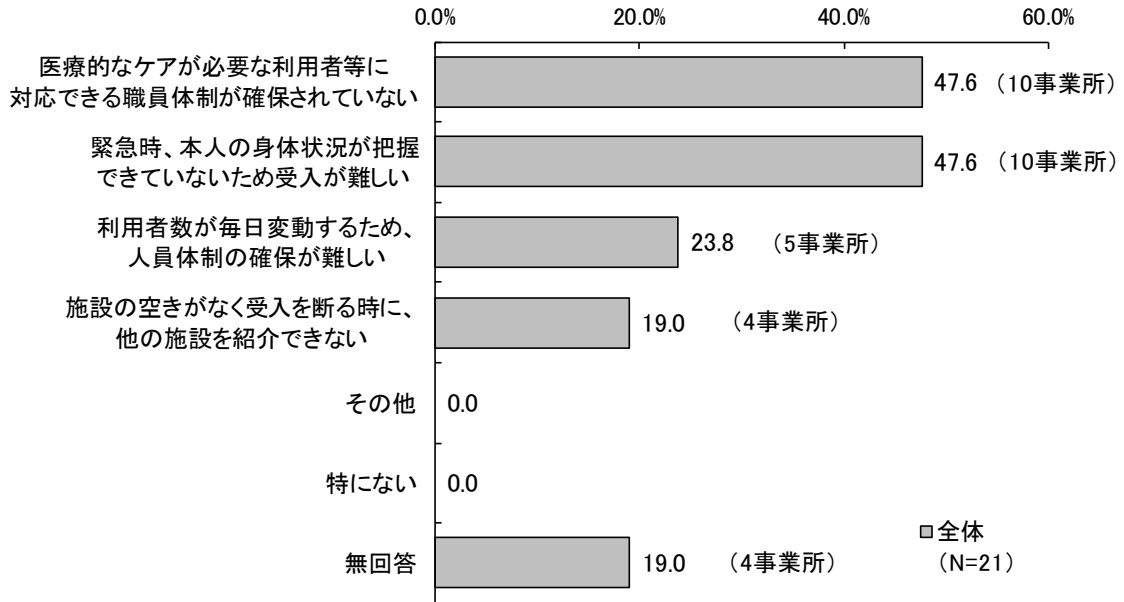
【図表11-24 短期入所・日中一時支援で空きがない場合の対応】



(2) 短期入所・日中一時支援の課題

問2-4 事業実施にあたり、課題と感ずることはどのようなことですか。
 (○はあてはまるものすべて)

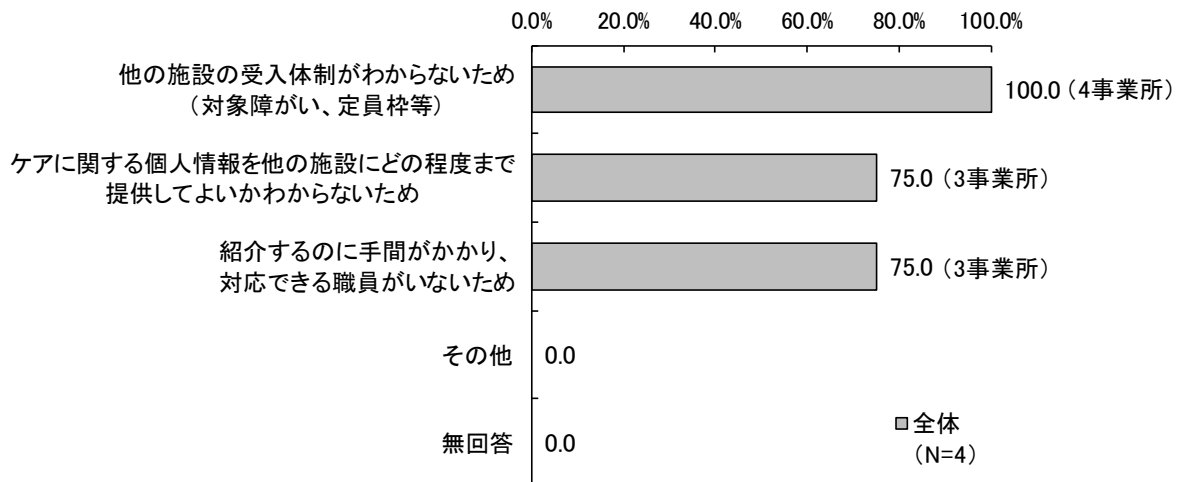
【図表11-25 短期入所・日中一時支援の課題】



[問2-4で「3」を選ばれた方におたずねします]

問2-4-1 他の施設を紹介できない理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

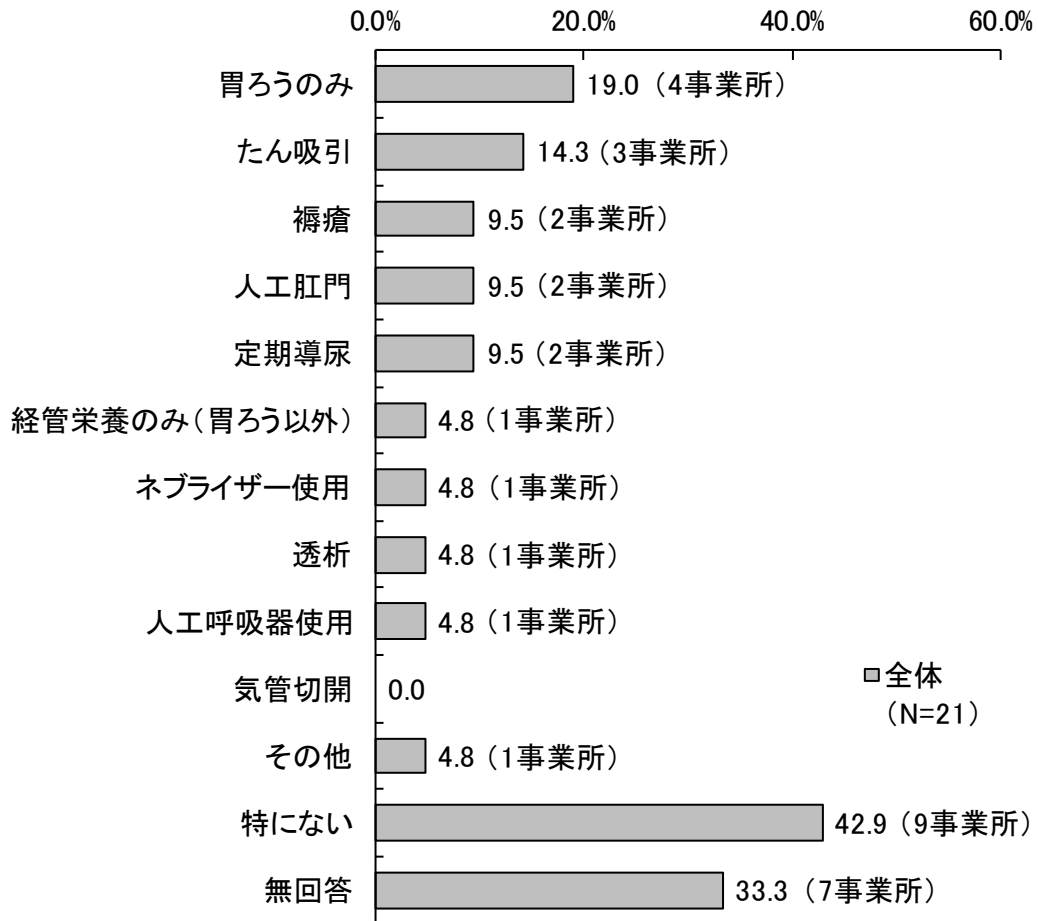
【図表11-26 他の施設を紹介できない理由】



(3) 医療ケアのうち対応可能なもの

問 2 5 下記の医療ケアのうち、貴事業所で対応可能なものはどれですか。
 (○はあてはまるものすべて)

【図表11-27 医療ケアのうち対応可能なもの】



第12章 自由意見

本章では、各調査で共通設問として設定した自由記述形式の質問の提出意見内容を整理している。

1. 障がい者福祉全般に対する意見・要望

(1) 提出意見の概要

障がい者福祉全般に対する意見・要望を自由記述形式で質問したところ、身体障がい者調査回答者の175人（記入率：23.0%）、知的障がい者調査回答者の154人（同 27.4%）、障がい児調査の245人（同 45.1%）、精神障がい者調査回答者の73人（同 10.4%）、発達障がい児・者調査回答者の88人（同 34.1%）、難病患者調査回答者の106人（同 16.0%）から意見を提出いただいた。

分野ごとの提出意見数は次頁の図表12-1のとおりであり、意見件数の合計は、「その他の個別分野」（135件）に関する意見が最も多く、次いで「障がい者福祉施策全般」（92件）、「障がい児支援、療育・教育」（90件）、「啓発活動」（76件）等となっている。

上位3項目を障がい別にみると、身体障がい者では「その他の個別分野」（47件）が最も多く、次いで「交通」（30件）、「障がい者福祉施策全般」（19件）となっている。

知的障がい者では、「親亡き後の支援」（32件）が最も多く、次いで「住宅支援」（24件）、「障がい者福祉施策全般」（20件）となっている。

障がい児では「障がい児支援、療育・教育」（61件）が最も多く、次いで「障がい者福祉施策全般」（29件）、「啓発活動」（26件）となっている。

精神障がい者では、「その他の個別分野」（21件）が最も多く、次いで「就労支援」（13件）、「啓発活動」（8件）となっている。

発達障がい児・者では「障がい児支援、療育・教育」（25件）が最も多く、次いで「啓発活動」（14件）、「就労支援」「発達障がいに対する支援」（それぞれ11件）となっている。

難病患者では、「その他の個別分野」（22件）が最も多く、次いで「障がい者福祉施策全般」（18件）、「啓発活動」「サービスの利用手続き」（それぞれ13件）となっている。

【図表12-1 障がい者福祉全般に対する意見・要望（自由意見）の分類】 (件)

区分	主な意見	合計	身体障がい者	知的障がい者	障がい児	精神障がい者	発達障がい児・者	難病患者
その他の個別分野について	<p>■我が子(自閉スペクトラム)に関しては、社会への理解を求めるだけでなく、改善できる部分を見つけ、生きづらさを軽減していくことがハッピーになると思う。そのための方法を一緒に見つけたり、考えたり、トライ&エラーでともに進んでいける頼もしい支援者との出会いを切望している。“理解してください”“手を差し伸べてください”とだけ思っているわけではないということを声を大にして言いたい。</p> <p>■子どもの為に親は少しでも良い入所施設やグループホーム、作業所など探すが、そのことで心身ともに疲労する。障がい重いほど、子どもに合う施設なのか色々考えなければならない。</p>	135	47	11	24	21	10	22
障がい者福祉施策全般について	<p>■障がい者にも様々な人がいることを知ってほしい。障がい者を価値感の有無など一括りにしないでほしい。</p> <p>■障がい者の自立が進むことは、健常者にとってもプラスになる。「施す、施される」のではなく、あくまでも「自立」した生活を続けられるよう支援をお願いしたい。</p>	92	19	20	29	4	2	18
障がい児支援、療育・教育について	<p>■幼児期の療育が大切だが専門家が少ない。特別支援学校の専門性がある教員が少ない。在学中の療育、教育、生活全般の充実をもっとしてほしい。</p> <p>■障がいがある子の教育支援を、高校などに行くときもしてほしい。</p>	90	1	1	61	1	26	0
啓発活動について	<p>■障がい者に対する理解、知識がなさすぎる。健常者への、障がい者福祉についての理解を深めてもらいたい。企業が障がい者を採用しても、一緒に働く健常者の理解がなく働き続けられない。</p> <p>■発達障害者は見た目ではわかりません。話をただだけではわかりにくい障がいなので、理解されにくいと思っています。一般の方への理解が進むように啓発活動をお願いします。</p>	76	9	6	26	8	14	13
就労支援について	<p>■学校を卒業してからの施設や働く場が少ない。利用したいと思っても定員がいっぱいでなかなか入れないことが多い。</p> <p>■たくさんの企業が、障がい児を受け入れて、そして本人が長続き出来るような、企業側にスペシャリストを配置してほしい。本人がやりがいを感じられるような、努力をしたら、少しずつでもステップをふめるような。本人も親も明るい将来、希望を持たせてほしい。</p>	61	5	10	14	13	11	8
年金・手当について	<p>■福祉手当支給の所得制限をなくしてほしい。就学費、医療費、税金が高く、大変である。</p> <p>■補装具の自己負担をなくしてほしい。</p>	59	17	8	20	2	4	8
情報提供について	<p>■出生から老後まで、障がいに関する情報を一か所でまとめて閲覧できる仕組みがほしい。病院、役所、通所施設など、点と点で手探りで情報を得ている感じがある。</p> <p>■障がい者福祉についての情報がたくさんあったとしても、わかりにくいことがある。簡単に分かりやすく発信できる方法を考えてほしい。</p>	59	12	8	21	6	5	7
交通について	<p>■外出しやすいようなコミュニティバス等があるとよい。</p> <p>■家の近くの信号機は音が鳴らないので、一人で渡るのが不安なので対応してほしい。歩道の側溝を見て歩いているため、そこに自転車や看板があるとつまづくので、対応してほしい。</p>	58	30	6	6	6	1	9
サービスの利用手続きについて	<p>■国(厚労省)と地方公共団体が、責任をもって税金の投入を多くし、いつまでも親と支援者に責任を持たせるのはやめてほしい。本人の意思を確認できない部分が多い重度知的障がい者に対して、毎年毎年の居宅等の申請や年金の申請など、いつまでも親にさせるのはやめてほしい。変化がなければ自動更新とすべき。</p> <p>■親も年齢を重ね、更新の時期を忘れていたりすることもあるので、サービス利用状況、手帳、更新時期などを記載した個人カードがあれば助かる。</p>	54	7	12	18	1	3	13

区分	主な意見	合計	身体障がい者	知的障がい者	障がい児	精神障がい者	発達障がい児・者	難病患者
親亡き後の支援について	<ul style="list-style-type: none"> ■重度のため、ヘルパーさんがどの方でもいいというわけではなく、預けられない。グループホームはないし、預けられる人もいないので、親亡き後どうしようか悩んでいる。 ■親が亡くなったあと、本人が安心して暮らせる場所がほしい。安心して任せられる支援者がいないと不安で仕方ない。 ■支援できる親がいなくなった場合の相談・支援・財産管理などを予め個別支援計画へ組み込んで、成人期→高齢期の支援につなげてほしい。 	53	5	32	11	0	5	0
医療・リハビリテーションについて	<ul style="list-style-type: none"> ■これから医療的ケア児童は増えていくと思う。ケア児童の親はケアに明け暮れる日々。総合的に医療的ケア者をフォローしていける施設を作ってほしい。福岡市は政令指定都市なのであってしかるべきだと思う。 ■乳幼児期の支援(特に重度)、医療的ケアの必要な子供への支援体制が不足している。 	45	8	9	14	2	3	9
住宅支援について(グループホーム等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ■障がい者と親や家族が共同で住める施設、障がい者の通所、入所、家族のアパート、老人ホームが建物の中にある施設を作ってほしい。願いです。 ■グループホーム(特に知的障がい)の数を増やしてほしい。安定した経営ができるように助成してほしい。 	42	3	24	12	0	2	1
通所・入所サービスについて	<ul style="list-style-type: none"> ■共働きの家族が増えており、18時ぐらいまで働いている。しかし、学校を卒業後生活介護を利用すると、16時ごろには帰宅することになり、仕事ができなくなる。生活介護の時間延長(対応できる事業所が少な過ぎて利用できない)や夕方支援のような制度が必要。 ■障がい児の家族が急病、急用の時にすぐに泊りで預けられる病院・施設を増やしてほしい(レスパイトや長期療養など)。 	39	5	13	18	1	2	0
移動・外出について	<ul style="list-style-type: none"> ■街中で障がいを持つ方をあまり見かけない。天神などでしょっちゅうすれ違うようになるといい。彼らが出掛けにくいから、私たちが出会わないのだとしたら、是非出掛けたい街にしてほしい。 ■通勤、通学(特例なし)にヘルパーの利用が出来る嬉しい。ノンステップバスがスロープなしで乗れたらとても助かる。(歩道とバス停をうまく利用して、段差や隙間がなければ可能) 	38	14	5	8	2	3	6
バリアフリーについて	<ul style="list-style-type: none"> ■ユニバーサルベッドのあるトイレが公共の施設どころか区役所にもない。 ■歩道を車椅子で安心していけるような措置をしてほしい。障がい者用トイレの設置を希望。みんなのトイレ(多機能型トイレ)になったため、利用出来ない事が多く、本当に困っている。 	35	16	3	6	2	0	8
福祉人材・事業所等の育成・支援について	<ul style="list-style-type: none"> ■障がい福祉は人であると思う。支援員のお給料を上げることによって、福祉従事者を多くし、底上げが出来ると期待する。 ■施設や、サービス事業所のスタッフの質が下がってきていないか心配。お給料が安く、良い人材が集まっても、生活でできず、転職する人も多く、利用者、家族としては心配。 	32	5	11	13	1	2	0
相談支援について	<ul style="list-style-type: none"> ■家族の事は家族内という遠い立場ではなく、障がい者がいる家庭内の問題などにも介入してくれる相談、サポートしてくれるところがほしい。 ■誕生から亡くなるまで、一生を通じ相談できるような人、場所があればよい。または障がい児の親をサポートしてくれる、迷う時に質問に応じてくれる中立な、アドバイザー的な人と関係できる仕組みや、窓口があれば助かる。 	30	3	13	7	2	2	3
障がい者福祉手帳制度について	<ul style="list-style-type: none"> ■療育手帳は知的障がいが無いと取れないようになっているが、その名前の通り、療育を必要とする人すべてに交付すべきだと思う。知的障がい無くても、言えないからこそ見た目が普通に見えるがゆえに誤解されて困ることもたくさんあるのだから…。 ■完治が難しい難病患者にも手帳などを交付できないのだろうか。 	25	7	5	6	0	4	3
在宅サービスについて(家族介助者支援含む)	<ul style="list-style-type: none"> ■障がい者は在宅という意向はわかるが、経済的負担が大きくなるので、介護者がフルタイムで仕事出来る環境を整えてほしい。レスパイトをもっと手軽に利用できるようにしてほしい。 ■子供に支援するのも必要だが、お世話する人(母)にも支援だったり、相談相手等が必要だと思う。 	23	2	1	12	2	4	2

第12章 自由意見

区分	主な意見	合計	身体障がい者	知的障がい者	障がい児	精神障がい者	発達障がい児・者	難病患者
発達障がいに対する支援について	<p>■発達障がいに関する理解を深めるための活動を活発にしたい。</p> <p>■発達障がいの診断および療育ができる機関が少なすぎる。ただ待機すればいいのか。待機している間にどんどん年齢は進む。医師や専門職を増やしてほしい。</p> <p>進級に行くのに親ありきでは親は働けない。また、受け入れも少人数で親が付き添えなければ外されるので無理やり休むしかない。職場に障がいをもつ子のための休暇制度を充実させるよう市から啓発してほしい。</p>	21	0	0	9	1	11	0
社会参加、スポーツ・文化・レクリエーション、交流活動について	<p>■福岡市は、他県の同等の人口の市に比べて、スポーツ施設や、行事等少ない。</p> <p>■家にこもりきりにならないよう、どの区にも安心してスポーツできる場所がほしい。市民プールにはスロープを作ってほしい。障がい者にも、小さい頃からスポーツをさせて、パラリンピックのような夢を持たせてあげたい。スポーツは体幹にも良いし、心にも良いと思うので、スポーツできる施設を増やし、社会とかかわれる場所を作ってほしい。</p>	20	1	2	13	3	0	1
権利擁護等について	<p>■精神障がい者の方はアパートなど借り入れないと聞いたことがあります。そういう人たちでも、きちんと差別なくアパートなどを借り入れるように制度など決めてほしいと思います。</p> <p>■年々障がいのある人(子)に対しての周囲の理解(接し方)が変化してるように思うが、まだ外出時に横を通るだけで嫌な顔をされたり、避けられたりすることが結構ある。</p>	14	2	3	5	3	1	0